

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可
昭和十三年二月十日發行

同盟旬報

(No. 22) 行發日十月二・號三第 卷二第

【號旬下月一年三十和昭】

主要記事

第七十三回帝國議會再開……
 鐘紡の劃期的擴充案……
 冀東政府、北京政府に合流……
 中國臨時政府關稅改正……
 國際聯盟第百回理事會……
 ソ聯小包郵便物交換停止……
 ル大統領領國防特別敎書……
 世界經濟再建報告書……

附錄自第一卷第一一號至第一九號索引

行發社信通盟同人法團社

同盟通信社の

機構と使命

社団法人同盟通信社は、東京、大阪をはじめ、日本全国各地に亘る約二百社の有力新聞社、並に、日本及び朝鮮の兩放送協會の協力によつて、組織されてゐる國家公共の機關である。

その目的とするところは、國の内外に正確公平なる報道を普及徹底し、以て、内に公正なる輿論を伴興すると共に、外に、國際的理解を増進せんとするにある。

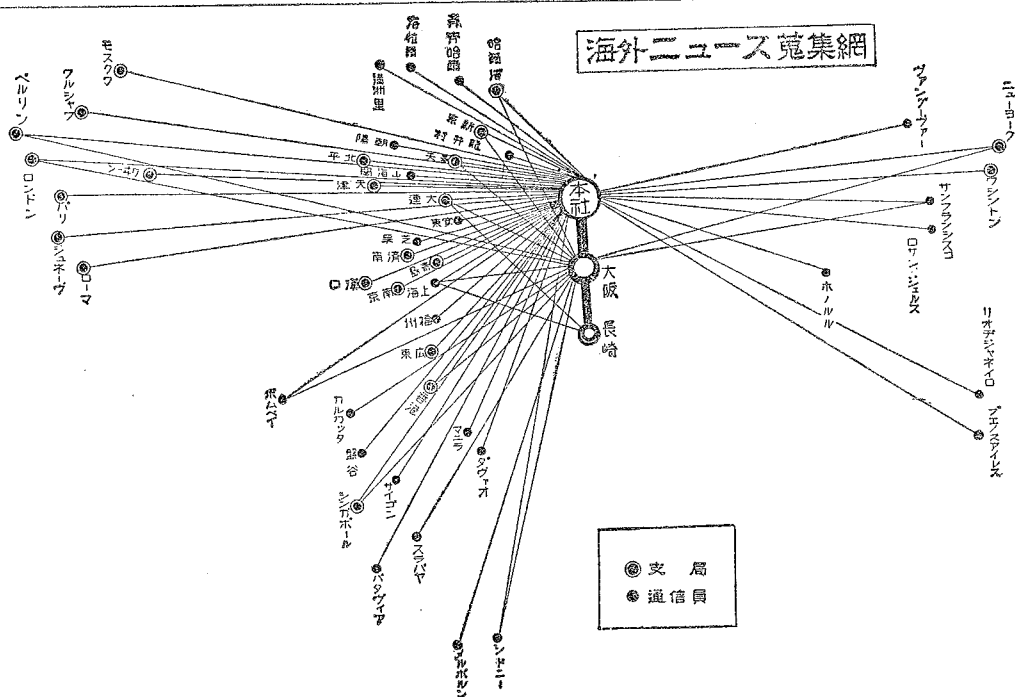
日々の全國の新聞や、朝夕のラジオの放送によつて、「ロンドン一日發同盟」とか、「上海一日發同盟」として發表される海外のニュースは、いづれも、同盟通信社の手によつて蒐集されたものである。

この略稱「同盟」の名を以て、全世界に知られてゐる同盟通信社は、九千萬同胞のために、東西兩半球に跨る五十餘箇國の出來事を最も正確且つ迅速に報道すべく、全世界の隅々に迄完全なニュース網を張り纏らしてゐる。

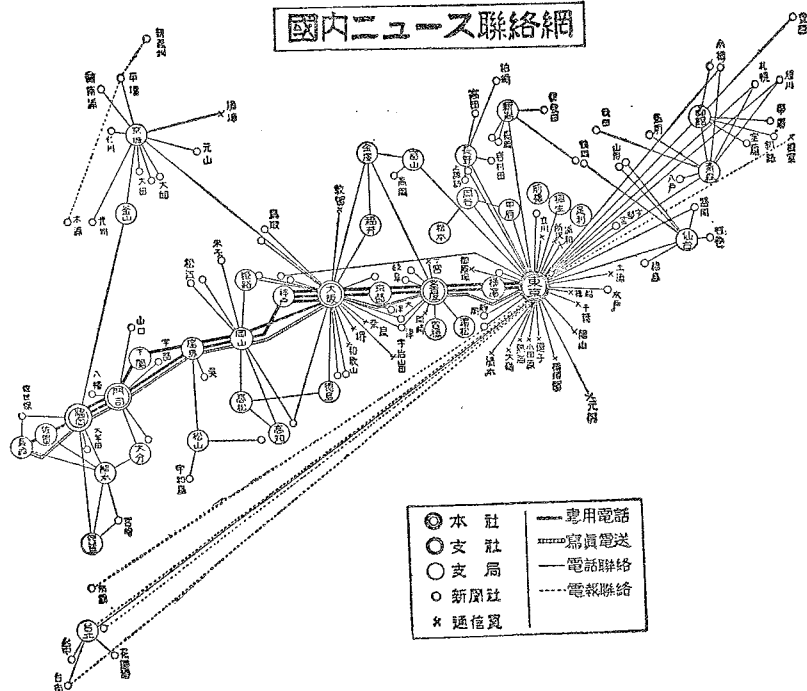
「同盟」は、單に海外のニュースのみならず、日本全國津々浦々にも、綿密な通信網を張り纏らして、中央から地方へ、地方から中央へと、間斷なく流れる國內のニュースを蒐集頒布してゐる。

かくて、世界の動きは「同盟」を通じて、同時に日本全國に報せられると同時に、日本の聲は、「同盟」の手を経て、刻々に、全世界に傳へられつゝあるのである。

海外二ニュース蒐集網



國內二ニュース聯絡網



同盟旬報

昭和三十三年一月下旬 重要日誌

一月廿一日 (金)

- △聖上陛下統後施設御聽取。
- △國民精神總動員中央聯盟聲明を發す。
- △東京市炬燵(小學校建設費補助八百五十餘萬圓)許可さる。
- △バルブ増産五ヶ年計畫大綱發表さる。
- ◇日清汽船沿岸航路一部回復。
- ◇上海市民協會委員楊福源氏暗殺さる。
- ◇北京臨時政府關稅改正布告公布。
- △米國揚子江警備隊司令官更迭。
- △米海軍通常豫算下院通過。
- △佛シヨータン内閣信任さる。
- △赤色空軍サラマンカ空襲。

同 廿二日 (土)

- △今井清中將逝く。
- △第七十三回帝國議會再開、國務大臣施政演說行はれ、質問戦展開さる。
- △昨年度米實收高發表さる。
- △海相彼我艦艇並飛行機損害數報告。
- ◇濟南居留民復興委員會組織。
- ◇衢州玉山燬撃。
- ◇香港で排日闘手入れ。

同 廿三日 (日)

- △衆議院質問戦續行、貴族院本會議休。
- △商工省綿糸配給統制二協議會設置。
- △對支四相會議開催。
- ◇南京で米人家屋への侵入事件起る。
- ◇職殺者懲罰法要行はる。
- ◇韓復榘死刑執行さる。
- ◇佛西國境を空爆。
- ▲米、農藥法案の妥協成る。

同 廿四日 (月)

- △歌御會始。
- △貴族院本會議質問戦續行。
- △文部省學用品制服にスフ等代用品使用通牒を發す。
- △ウェリントンに總領事館開設。

同 廿五日 (火)

- △貴族院本會議廣田外相第三國武器輸出問題につき答ふ。
- △米穀證券借換行はる。
- △衆議院本會議電力管理案上程委員附託とす。
- △木下陸聯總會代表出席。
- ◇青島夜間通行禁止解除さる。
- ◇上海の大抗日テロ團檢擧。
- △米大統領賃銀引下げに警告。
- △全農社大支持合同を決議す。
- ◇蕪湖南方の激戦。
- △支那事件公債三億圓發行。
- △金田灣侵入の英國貨物船軍機保護法違反に問はる。

同 廿六日 (水)

- △衆議院豫算委員會開く。
- △神戸日伊協會發會式。
- △支那事件公債三億圓發行。
- △金田灣侵入の英國貨物船軍機保護法違反に問はる。
- △全農社大支持合同を決議す。
- ◇蕪湖南方の激戦。
- △支那事件公債三億圓發行。
- △金田灣侵入の英國貨物船軍機保護法違反に問はる。

同 廿七日 (木)

- △衆議院豫算委員會、隨相滿洲重工業問題説明△ノ職日ソ小包郵便物交換停止通告。
- △東商、時局經濟審議會設置決定。
- △株式市場久し振りに大活況。
- ◇南昌南京廣東徐州を爆撃す。
- ◇アリソン米領事毆打事件真相發表。
- ◇中國新政權重大聲明發表。
- △靖安軍凱旋。
- △佛閣議社會平和條令採擇。
- △國際聯盟第百回理事會開會。
- △ヴァン・ゼーランド世界經濟再建報告案發表

同 廿八日 (金)

- △植村中將事件民間裁判始まる。
- △十二年末東京市債八億六千萬圓と發表さる。
- △石炭聯、塗炭規定改正。
- ◇第一回上海事變記念日。
- ◇上海爆彈テロ五件。
- △ルーズヴェルト大統領國防特別國防教書發表
- △ツインソン氏下院に海軍擴張案提出。

同 廿九日 (土)

- △荒井樞府副議長逝く。
- △衆議院本會議農地調整法案上程委員附託とす
- △廣田外相豫算總會で北支新政權對策を闡明す
- △鐘紡の劃期的大廣充案發表さる。
- △ス・フ、國用綿糸最高價格決定。
- ◇濟南に投獄中の邦人廿名拉致さる。
- ◇占領地區内の内河航運開始。
- ◇支那軍の高射砲米艦に命中。

同 卅日 (日)

- △稅制調査會支那事變増稅案を承認す
- △大藏省專賣局又も煙草の値上を行ふ。
- △クロード・フアールル翁來朝。
- ◇冀東政府新政權合流調印する。
- ◇河北省を四道に區劃。
- ◇上海合同新聞體還元。
- ◇フランコ軍バルセロナ空襲。

同 卅一日 (月)

- △閣議臨時増稅案を決定す。
- △衆議院電力管理法案委員會審議開始
- △軍事扶助費追加豫算公布。
- ◇陸軍機洛陽で奮戦。
- ◇アリソン事件解決。
- ◇米國上海派遣部隊引上。
- ◇新駐支英國大使赴任。
- ◇米下院海軍委員會質問開始。
- △フランス海相海軍補充計畫を示唆。
- △スペイン、フランコ將軍國共政府組織
- ▲英國船地中海で撃沈さる
- ▲シリア國防設置

同盟旬報 第二卷・第三號 一月下旬號 主要目次

宮 廷

歌御會始
孝明天皇御例祭

樞密院

航空局官制案審議

支那事變

彼我艦艇並飛行機損害書數
上海天津邦人妨被害高

【對支國策】

參謀總長官軍令部總長官御參内
對支聲明の効果
宣戰布告奏請も可能
首相ラチオ放送
杉山陸相訓示
外交官駐在問題
川越大使進言要綱
會同・往來
四相會議開催

【戰 況】

松井最高指揮官杭州巡視
戰死將校姓名
山東省内掃蕩
蒙陰鄒縣南方・曲阜・泰安
河北省内掃蕩
石家莊西方掃蕩
徐州挾撃
支那軍配備狀況
北上軍戰況
中支戰況
杭州山岳地帶掃蕩
蕪湖南方の激戦
南支戰況

海軍、海南島の敵反撃

【空中戦・空爆】

威海衛で支那軍暴動
青島治安回復
治安維持會業績
經濟復興委員會業績
青島入りに許可制
濟南情勢
居留民復興委員會組織
省政府及市政府開設籌備處
膠縣の中興炭田爆破さる
交通・通信
青島濟南間バス聯絡
青島佐世保間電線復舊

【中・南支情勢】

中支の宣撫救恤工作進む
日清汽船沿岸航路一部回復
占領地區間の通信確立
占據地區の電力施設調査
占據地區内の内河航運開始
邦人紡績操業再開
漢口ソ聯大使館の怪火
△上海燃彈テロ
△又も市民協會委員を暗殺
大規模の抗日テロ團檢舉
△アリソン事件
米領事殴打事件真相
軍當局談發表
事件解決
△廣東左右抗争
反蔣和平運動
赤化愈々猛烈
統後施設に畏き聖慮
在支本邦人事業復舊對策

特典・救護
【國民政府】
人事更迭
西南二公路開拓
昨年中の支那關稅收入
共產軍軍費缺乏
四川省不穩
國府の赤化陰謀深刻
モスクワに於ける孫科
要人動靜
陳公博・汪兆銘・許世英
蕭軍テロ
贛復業死刑執行さる
閩錫山も漢口で監禁
地方軍將領續々處刑
抗日戰備

事變と列國動向

新駐英大使赴任
チャーチル米國の歐起要望
米國揚子江艦隊司令官更迭
米國上海派遣部隊引揚
パネー號事件賠償要求額
ソ聯大使型破りの新任の辭
ソ聯空軍援助益々積極化
パネー號映畫波瀾で上映禁止
新疆に東干族の叛亂
【日夜丸事件其他】
日枝丸爆破に支那の魔手
背後關係はカナダ方面
慶洋丸へ脅迫狀
英荷揚子江反日決議
白山丸に積荷を拒絶
濠政府埋頭人夫に警告
【排日貨運動】
ロミエ氏日貨排斥の愚を指摘
米下院對日通商停止決議
絹靴下不買反對運動
米國國際的反日行動不参加
香港で排日團手入れ

【外紙論調】
中國新政權

【北京臨時政府】
重大聲明發表
北支幣制問題
天津南方系銀行邦人に貸出し
北京新聞同業會結成
關稅改正
冀東政府合流
合流協定全文
通州事件賠償は臨時政府繼承
經濟開發
北支鐵道交通の發展
糖聯、山東製糖工廠を買収
山西省内各工場の委任經營
蒙疆聯盟
外相答辯に就き德王談
逆産處理方法決定
經濟開發
産業振興四ヶ年計畫
蒙疆電氣通信設備會社創立
第七十三回帝國議會
【貴族院】
本會議
首相施政方針演說
廣田外相演說
外相演說反響
質問職
質問總會
委員會
本會議
【衆議院】
賀屋藏相演說
質問職
軍事扶助追加豫算可決
豫算總會
滿洲重工業問題質疑
對北支新政權問題答辯

政治・外交

委員會
赤字公債法案委員會
國民健康保健法案委員會
農地調整法案委員會
兵役法改正案委員會
電力管理法案委員會
【一般政治】
閣議
臨時增稅案決定
一般事項
官吏制度改正要旨
内閣參議
閣員參内
往來
法令公布
【外 交】
消息
サンダカン領事館開設
ウェリントン總領事館開設
一般交渉
ソ聯小包郵便物交換停止
國民使節
國民外交
【内 政】
帝國傷兵保護院創設
國民精神總動員中央聯盟聲明
職業紹介所國營案諮問
東京府市
東京市債八億六千萬圓
東京市電十三年度計畫
【財 政】
樟草値上實施
十三年度繼續發六億八千萬圓
事件公債三億圓發行
【國 防】
陸軍省部會議
海軍

天然ガス工業化に成功

軍事航空

所澤航空技術學校卒業式

國策制服きまる

農産物の生産確保を決議

産業奨励・助成金

特許權制取用勅令公布

人造石油法施行令及關係勅令

交通運輸

金銀鐵、屑物、ス・フの運賃値下

拓殖

貴族院

水谷川男當選

政黨

民政黨

政友會

政調役員發表

社會大眾黨

全農社大支持合同決議

人事

辭令・叙位叙勳

金

資金調整標準改正

本年産金買入二億四千萬圓か

會社・倉庫

鐘紡の劃期的大擴充案發表

東商、時局經濟審議會設置

商況

株式市場久し振りに大活況

錫未曾有の高値

市場旬報(一月下旬)

産業

昨年度米實收高六千六百萬石

農村の租稅負擔依然過重

小規模經營自作農の没落顯著

石炭需要激増と其對策

石炭聯、送炭規定改正

津田鐘紡社長の降世的演説

綿絲配給統制二協議會設置

ス・フ國用綿糸最高價格決定

バルブ増産五ヶ年計畫大綱

我が糖界は支那市場に期待

昨年中洋紙製造販賣高新記録

軍需工業下請旋盤中央會設立

海運

日海運會商やり直し

社會・文化

文

萬博入場券前賣決定

赤堀博士最古人骨研究へ

檢

全國博徒の大檢舉

裁判

植村事件民間側公判

社會・舞

興行時間短縮方針決る

鳥居博士父子歸る

フアールル翁來朝

關釜運船船衝突

計

オリソピック

カイロ總會派遣代表團決定

主力艦問題で日本へ照會か

英米ソ聯海軍勢力

日本當局の否定聲明を注目

六萬噸級も出現せん

四萬噸級主力艦建造説

米國

海軍豫算下院通過

國防の全般の強化協議

大統領國防教書全文

心理的軍擴意圖か

海軍大擴張案

ウインソン委員長語る

國防教書の反響

海軍案の質問開始

リ作戦部長海軍大擴張力説

佛國

下院四萬二千噸級建造要望

運搬の海軍計畫に重大關心

海軍擴充計畫示唆

ソ聯

侵略海軍建設を示唆

大海軍根據地建設か

浦鹽に大造船所建設

極東軍備狀況

滿洲國

中銀發行高

靖安軍凱旋

昨年度獨逸の滿洲大豆購入高

匪賊討伐

經濟・産業

電氣化學工業の綜合開發

英佛空軍會議

英佛空軍提携緊密化

南阿聯邦に大軍需工場建設

埃及各政派アラビヤ人支持

フランス

シヨータン内閣信任さる

閣議社會平和條令採擇

資本逃避でフラン貨新安値へ

カグラール團燬破破裂

ドイツ

科學探檢隊露洲へ

イタリヤ

火藥庫大爆發

エチオピアに土民軍蜂起説

歐洲諸國

埃政府ナチ黨本部へ手入れ

羅政府モスクワ駐劄公使召還

ブルガリア内閣改造

ソ聯邦

中央執行委員會決議

イズヴェスチヤ紙改組

一九三八年年度生産計畫

農業人民委員報告

ベリカノフ司令官檢舉

外交

フィンランド公使更迭

領事館閉鎖英國拒絶

閉鎖領事館數四十ヶ所

浦鹽の獨領領事館閉鎖

國境

エストニアに抗議

赤色空軍カラマンカ空襲

佛西國境を空襲

バルセロナを空襲

アジア

シリア國防設置

米國

米加通商交渉開始

議會

農業法案の妥協成る

住宅法案大統領の手許へ

戦債の代りに島嶼割讓せよ

國防演習

海軍豫行演習

經濟

銀行持株會社統制案近く立案

株式空賣彈壓

質銀引下げに大統領警告

鐵鋼値下げ期待薄

工業生産狀態に復す

造船界活況

人絹織々値下げ

米棉の危機

【フリソピック】

鐵鋼開發に日本の協力拒絶

中南米諸國

世界經濟

昨年中世界人絹生産高

昨年の世界産金新記録

國際會議

世界經濟再建報告發表

國際聯盟

第百回聯盟理事會會議

英佛は聯盟規約改正反對

スイス中立復歸宣言か

英佛重要問題の提出を避く

對支援助四國會

對日決議案を繞り理事會難航

規約委員會閉會

支那代表部聲明

歌御會始



【一〇】新春御嘉例の歌御會始は廿四日午前十時から宮中鳳凰の間に於て厳かに執り行はせられた、定刻天皇、皇后兩陛下には梨木元帥宮、閑院若宮妃、伏見若宮妃三殿下を御後に、松平宮相、百武侍從長以下を隨へさせられて出御、先づ民草の詠進三萬八千餘首のうち選ばれた輝く選歌五首、諸役の詠進歌等を御前に披講、その後各皇族殿下の御歌を一度御披講申上げ、讀いて皇后、皇太后兩陛下の御歌を三度御披講、最後に發聲大原伯は悉しく御製を奉誦し、諸員これに和すること五度、かくて古式に則るゆかしき御儀は同十一時半目出度く終了し、天皇皇后兩陛下には御機嫌隨しく入御遊ばされた

▲御製、御歌、選歌【一三】宮中歌會始の儀に於ける御製以下左の如し
神苑朝
御製
靜かなる神のみその朝はらけ
世のありさまもかゝれとそおもふ
皇太后宮御歌
五十鈴川よきなかれをむすひつゝ、
みくにのさきをいのる朝かな
皇太后宮御歌
神その木立をわたるあさかせに
こゝろさへこそひきしまりけれ
選歌 愛知縣勳八等 佐藤 義泰上
神そのはいよ／＼ひろし殿鳥
あさ満つしほに鳥居うかひて
京都市 難波 眞砂上

山はとの一つおりゐて神その、
しはふしつけきこのあしたかな
愛知縣 村手彌兵衛上
あさしほのしつかによする音のして
藻のかみなぎる羽豆の神その

愛知縣 服部 桂上
かちいくさ日毎にいのる人ならし
今朝も逢ひけり神のみそのに
大分縣 上泉 忠吉上
切火打つ音も聞えておこそかに
明けわたりゆく宇佐の神苑

▲三條御歌所長謹語【一四】今回の御製を拜しして恐懼に堪へませぬのは事變發生以來日となく夜となく御感じになつてゐる大御心を其のまゝの御言葉で御示し被遊ました事でありまして是れ程ありがたい事はないと思ひます、それにつけましてもわれ／＼國民は何とぞして一日も早く此の大御心に副ひ奉る事の出来る様に益々心を固め力を合せて進まねばならぬと思ふのであります、なほ今年はやうな折柄であるにも拘らず多數の詠進歌があり、其の中には北支戦線から詠進されたものもありまして他の詠進歌と共に乙夜の覽に供する様に致しました

谷、重藤兩將軍拜誦
【一五】北支に中支に征戦六ヶ月経々たる武勳を建て、この度中部防衛司令官に榮轉、廿六日凱旋した谷壽夫中将並に同じく榮轉凱旋した重藤千秋少將は廿七日午前十一時參内、宮中表御座所に於て天皇陛下に拜謁仰せつけられ具さに任務奏上、御下間に奉答して御前を退下したが陛下にはそれぞれ御紋付銀花瓶一個宛を賜ひ、また南溜間に於て酒饌を賜はつた

【一六】卅日孝明天皇御例祭は午前十時宮中皇靈殿に於いて天皇陛下御親拜殿をかに行はせられた、尙此の京都後月輪東山陵にても嚴そかな山陵祭を行はせられた

【一七】畏くも皇太后陛下には、支那戦線に出勤奮戦を續けてゐる皇軍將兵の上へ絶えず御心を注がせ給ふが、皇軍の進む處將兵と共に決死戦道戦線に活躍して居る數百の從軍記者の上にも常々御心を垂れさせられる由にて畏れ多くも大宮御所の長秋合月並御歌會二月の御題に御兼題「從軍記者」の御題を賜つたと承はる、また護國の鬼と化した忠勇なる英靈を思召されて五月の御題に「招魂社」を、更に思召されては九月「航空機」の御題を賜つて居るが、御歌會にまで時局を偲ばせ給ふ御心の程長き次第である

皇太后様の御仁慈
【一八】皇太后陛下には去る一月四日群馬縣草津町の國立栗生樂泉園兒童補育所が燒失したことを聽召され廿七日厚生省豫防局豫防課長を大宮御所に召され同所に收容されてゐる細患者の兒童の状況につき種々長き御下間があつたが廿八日同園兒童に對し特に人形、玩具、反物文房具等を御下賜になつた
【一九】義宮様には廣帯大夫以下を従へさせられ廿九日午後一時卅五分宮城御出門、同一時五十二分東京驛發電車に御乗車遊ばされ同二時五十一分返子驛歸着、皇太子殿下在す葉山御用邸附屬邸に入らせられた、當分御滞在の御豫定と承る

照宮様東日社へ御成
【二〇】照宮様には廿七日正午御學友の女子學習院中期二年生六十二名と共に新聞ができるまでの状況を御見學の爲丸の内東京日々新聞社に成らせられ折柄夕刊發行で活躍してゐる編輯室から工場まで御熱心に御巡覽の後徳富翁の新聞の話ニュース映畫等御興深く御見聞、午後二時四十五分御發、御歸還遊ばされた
多恵子女王議會御見學
【二一】女子學習院後期三年御在學中の北白川宮多恵子女王殿下には廿二日貴族院本會議御見學のため御學友五十八名と御一緒に佐成主務教授引率にて午前九時半頃お成り遊ばされ散會までいと御熱心に御禮應あらせられて御歸還遊ばされた
荒井賢太郎氏に葡萄酒下賜
【二二】天皇陛下には樞密院副議長荒井賢太郎氏病氣危篤の趣聞こし召され廿九日午後九時大塚の本邸へ御見舞として葡萄酒一打下賜の御沙汰があつた

貴志、成松兩邸へ勅使御差遣
【二三】畏き邊りでは廿九日午前十一時去る廿七日逝去した牛込市ヶ谷の陸軍中將貴志彌次郎氏邸へ勅使として久松侍從を御差遣、幣帛並祭資金一封を下賜せられた、又廿六日死去した世田ヶ谷の陸軍少將故成松愨夫氏邸へも廿九日午前十一時勅使戸田侍從を差遣はされ幣帛を下賜せられた

委員會は廿一日午後一時卅分より樞府事務所に開かれ、荒井副議長、櫻井委員長、鈴木(實)羅田、鈴木(世)、石塚、藤澤、南の各委員(平沼議長病氣缺席)政府側より永井總相、船田法制局長官外關係官出席し
一 航空局官制制定の件
一 選信省官制中改正の件
に就き永井總相より説明あつて審議に入り、航空中央試験所の新設に依り文部省所管の航空研究所との關係は如何になるか、兩者を統合することが施設並びに利用の上に最も効果があると思ふが如何との質問あり、之に對し選相より
航空研究所は純粹の學術研究機關であり航空中央試験所は應用方面の試験所であつてその目的は別個である
旨を答辯し樞府側では同四時半政府側の退場を求め、顧問官のみ居残つて審議の結果、原案通り可決することとして同四時四十分散會した

▲可決【二四】二十六日の樞密院定例本會議は午前十時より宮中東溜間に於て開催、荒井副議長以下各顧問官、村上書記官長、政府側より近衛首相、杉山陸相、米内海相、永井總相、船田法制局長官その他關係官列席、天皇陛下親臨の下に左記議案四件を上議
一 航空局官制制定の件
一 選信省官制中改正の件
一 奏任文官特別任用令改正の件
一 高等官官等俸給令中改正の件
以上四件は何れも航空局新設に伴ふもの
について審議に入り採決の結果何れも原案通り可決、天皇陛下入御あらせられ同十時半散會した



航空局官制案審議
【二五】航空局官制案審査の樞密院審査

支 那 事 變

旬間大観

戰況はこのところ一寸一服といふ態である。揚子江北岸部隊は苦難を耐して津浦線南段を着々北上してはゐるが、途中匪賊を混へた支那兵の掃蕩に疲なからざる努力を費し、戦捷の華々しい凱歌に較べて昨今は縁の下力持といつた地味な奮戦をつゞけてゐる。とは言へ、徐州を中心とする隴海線が津浦線北段よりの南下部隊との北上部隊の挾撃作戦によつて皇軍の手中に歸すのも間もないことであらう。

國民政府も、徐州の重要性を知悉してゐるために今やこゝを先途と防備構築に必死である。徐州が陥れば北支と中支がすらくと我が勢力下に統一されてしまふからだ。——そして徐州の一大會戦が済めば支那軍からはまた敗戦將領の大量受刑者が出ることだらう。

彼我艦艇並飛行機損害數

【一三】今次支那事變に於ける帝國海軍並びに支那海軍艦艇及び航空機の損害に關し米内海相は廿二日の貴族院本會議の席上事變經過説明演説をもつて報告した。がその詳細なる内容は左の如くである

艦艇及航空機損害表	確實在るもの	稍確實在るもの	計
△帝國海軍	擊 墜 二五九	一二二	二八一
△艦 艇 損害なし	擊 墜 三四〇	三八	三七八
△飛行機 六五	計 五九九	六〇	六五九
△支那軍			
△艦 艇			
艦種 隻數 總計噸數	記事		
巡洋艦 八 三三〇〇	本表は沈没又は作戦行動不		
砲 艦 一〇 五五〇	能程度以上の		
砲 艇 一 五			

上海、天津邦人紡被害高

【一六】在華日本紡績同業會では廿六日大阪綿業會館に委員會を開き在支各社復興策に關し協議、政府より實際被害高提示の要望あつたに鑑み議に決定せる青局

を除き上海及び天津の各工場被害高について各調査資料を持寄つて査定した結果上海二千九百一十一萬八千三百圓、天津五萬一千四百圓と概算額を決定、廿七日關係當局に提出する、各社別被害額は左の如くであるがこれは最終的な確定額ではなく現地調査員の歸京を待つて更に再査定する筈である(單位圓)

内外綿	上海	天津
日本綿	六八〇〇	—
鐘 紡	三三、〇〇〇	—
上海紡	八七、八〇〇	六、〇〇〇
裕豐紡	一、五〇〇、五〇〇	六、〇〇〇
日華紡	一〇〇、〇〇〇	—
東華紡	九、二五〇〇〇	—
豐田紡	三、八七〇〇〇	—
同興紡	一、六四一、七〇〇	—
双喜紡	四、一〇〇	—
合 計	三、二一八、〇〇〇	一五、〇〇〇

不良邦人の取締斷行

上海【一七】最近占領區域の治安恢復に伴ひ占領地域内に復歸する内外人の數が漸次多きを加へつゝあるが之等の中には内外人を通じて各種の不正行爲を働く者が尠からず我が官憲に於ては此の際先づ進んで日本人自らの取締の徹底を期し自戒を以て飽くまで公正なる帝國の眞面目を闡明すべく廿七日午後一時左の如き陸

對支國策

【一八】閣院參謀總長宮殿下には廿二日午後一時廿二分宮中に御參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ御所管事項につき奏上、種々御下問に奉答して同五十六分退下遊ばされた

對支國策

【一九】伏見軍令部總長宮殿下には廿五日午前十時廿一分宮中に御參内、天皇陛下に拜謁、御所管事項に關して奏上、同十一時御退出遊ばされた

對支國策

【二〇】帝國政府は去る十六日の聲明並に廿二日の衆議院本會議に於ける近衛首相及び廣田外相の答辭によつて今後國民政府と一切の交渉をなさざるのみならず進んでこれが潰滅を期すると共に北支新政權の基礎が確立する迄これが介添役として凡ゆる援助を惜まざるものなることを明かにした、從つて今後帝國は國民政府を潰滅に導くべ

對支國策

【二一】國民政府を相手に國交調整を讀まないこと云ふ意味であり、この際帝國は將來に於ても國民政府を相手に和平交渉をなすことは絶対にない

對支國策

【二二】帝國政府は去る十六日の聲明並に廿二日の衆議院本會議に於ける近衛首相及び廣田外相の答辭によつて今後國民政府と一切の交渉をなさざるのみならず進んでこれが潰滅を期すると共に北支新政權の基礎が確立する迄これが介添役として凡ゆる援助を惜まざるものなることを明かにした、從つて今後帝國は國民政府を潰滅に導くべ

對支國策

【二三】政府が去る十六日發表した聲明「國民政府を相手にせず」との字句に包藏された帝國政府の態度に就いては休會明け劈頭の衆議院本會議に於ても質問の重點はこゝに集中された觀があつたが、右は

對支國策

宣戰布告奏請も可能
 一 蔣政權との今後の交渉の問題
 一 新朝政權に對する態度
 一 宣戰布告の問題
 一 三點を中心とするもので、右に對し近衛首相及び廣田外相は左の如く答辭を爲し帝國政府の確固不動の方針を明らかにした
 一 相手にせずとは國民政府を相手に國交調整を讀まないこと云ふ意味であり、この際帝國は將來に於ても國民政府を相手に和平交渉をなすことは絶対にない
 一 北支政權の問題については新政權の成立を待望するとは之を拱手傍觀してゐる意味ではない、その基礎が確立するまでの介添役となる必要と責任を感じてゐるものである
 一 宣戰布告の問題については將來將介石の態度並に内外の情勢如何によつては宣戰布告を奏請することもあり得る
 ▲新政權積極的に援助【二四】帝國政府は去る十六日の聲明並に廿二日の衆議院本會議に於ける近衛首相及び廣田外相の答辭によつて今後國民政府と一切の交渉をなさざるのみならず進んでこれが潰滅を期すると共に北支新政權の基礎が確立する迄これが介添役として凡ゆる援助を惜まざるものなることを明かにした、從つて今後帝國は國民政府を潰滅に導くべ

☆ 聲明の効果

軍事上其他の方策を講ずる一方新政權の援助に對しいよ／＼積極的に乗出す譯であるがこれに對する根本方針は大體次の如きものと信ぜられる

一 新政權に對する援助に當りては飽迄も支那人が支那を統治するの根本原則に絕對に背馳せず

一 新政權の指導援助に當る日本人は政治、經濟、産業、文教其他各部門に亘り官民の専門家實際家とす

一 而して是等による指導援助は東亞永遠の福祉増進の大目的に反せざる限り行政權及び支那民衆の要望に即應して行ふ

一 以上の見地に起つて我國の資本と技術を積極的に注ぎ込む方策をとる

一 且つ北支新政權を飽く迄支那の新中国政府として對應する

大體以上の如くで右の方針に基き一日も速かに北京新政權を正式承認し得るやう活潑なる指導援助をなさんとするものである

首相ラヂオ放送

【一・三】近衛首相は廿二日午後七時半より首相官邸から事變の新段階に處する政府の所信と題する講演をラヂオを通じて全國に放送支那事變の目的達成の爲國民の覺悟と協力を要望したが、其の内容は左の如くである

事變の新段階に處する政府の所信

△本日帝國議會に於て開陳致しました政府の所信を改めて申述べたいと存じます

△支那事變勃發以來半歲にして、國民政府は事實上中華民國の政府たるの機能喪失し、これに代つて、北京初め各

地に新政權育成の鬱然たる機運が勃興しつゝあるのであります、此の如き驚異すべき偉大なる戦果はこれを全く御稜威の下、忠勇無比なる我將兵の奮闘と統後國民の熱誠とにより齎らされたものでありまして、これに對し私は感謝の辭を知らないであります

△今後に處する帝國政府の態度は去る一月十六日の聲明によつて明らかであります、國民政府の存在にして一日長からんか、それだけ支那大衆の苦惱を増し、東亞の禍根を深からしむることになるだけでありまして、われ／＼は國民政府の安動に對しては假藉するところなくこれを擯滅すると共に日支間の一切の建設的諸問題は、これを新しき支那政權との間に協力することこそ最も具體的なる唯一の方策であると信ずるのであります、従つてかゝる新政權の強化擴大に對しては帝國は十分の援助を吝まざる決意を有するものであります

△只現在の如き大破壊の直後に於て新政權が單獨に再建の歩を進むることは至難であります故に、帝國はこれに對し積極的に介添への役をする必要と責任があるのであります、然し乍らかゝる一時的現象は支那の領土及主權を尊重する帝國の態度と何等矛盾するものではないのであります

△又帝國は支那に於ける列國の權益はこれを尊重するのみならず、今後は東亞の大勢を正しく理解する諸國と從來にも増して文化的經濟的協力をするところが新支那建設の上の一つの要素とすら考へるものであります、但しかゝる

轉換期にある支那の機微なる事態に對しては列國が舊套を脱して一個創造的な眼光を以て遂にその動向を精察せんことを希望して已まないものであります

△實に國家としての支那建設にとりて日本との協調は何等の矛盾を含むものにも非ず、却てその完成の一要素であることは世界歴史の大勢を知るものにとつて明々白々の事實であります、要するに東亞の安定的勢力としての日本の存在と、並に日本の眞の意圖するところのものが何であるかを、支那國民及び列國が偏見無しに認識することは、今日の混亂を收束し、將來の建設を早めるために極めて必要なる前提であると思ふのであります

△此際特に外交に關し付け加へますれば世界の秩序維持に重大なる役割を力めつゝある日獨防共協定が新に盟邦伊太利を加へて強化されましたことは深き文明史的意義を有するものであつて眞に欣快に堪へぬ所であります、殊に今次事變に對する獨伊兩國の理解ある態度は帝國の深く感謝する所であります

△今や支那問題を中心とする時局は新しき段階に入つたのであります、混沌たる支那の情勢と、複雑なる國際關係とを想ふ時前途は洵に遠遠なるを知るのであります、然しながら帝國不動の國策の命する所に従ひ、日滿支三國の鞏固なる提携を樞軸として東亞永遠の和平を確立し、以て世界平和の完成に貢獻せんとすればこそ敢へて此の苦難の途を選んだのであり、現代の吾々がぞ

の犠牲を忍ぶは固より覺悟の上であるばかりでなく、之は正に吾々が後代同胞に對する崇高なる義務であると信ずるものであります

△政府が當初より堅持して參りました方針、即ち勝利を得る爲に凡ゆる努力を集中すること、及び物心兩面に亘り國家總動員の態勢の完成を期することは愈々焦眉の急となつたのであります

△されば財政經濟、農、産業貿易各方面の政策は、軍備の充實と國費の調達に萬全を期する事を基調として之を實行せんとするものであり、又庶政一般に就ても中央地方を通じ政治行政の刷新をなすべきものは急を要するものより之を斷行する決心であります、更に思ひを統後國民生活一般に致す時、そこに幾多の緊急問題を發見するのであります

△昨年末今議會開院式に際し賜りたる優渥なる勅語によつて、時局に對する深き御軫念の程を拜しましたことは寔に恐懼感激に耐えませぬ、政府は國民諸君と共に一體となつて御聖旨を奉體し飽く迄も不轉の決意を以てこの曠古の大業を遂行せんことを念願して止まないものであります

△小林海防總督は廿二日全島臺北【一・三】小林海防總督は廿二日全島民に對し對支國是に關して左の如き重要聲明を發した

△聲明 帝國政府は去る十六日今後の對支方針に關し重大聲明を發したが之は正に今

次支那事變の一新段階に入るもので之が達成には或は前途に幾多の障害があるかも知れない、或は相當期間を要するかも知れない、初めて今次聖戰の艱難を克服し得る、初めて今次聖戰の目的を貫徹し得るのであるから、吾々國民は正義を四海に布くをその使命の一とする日本人の本懐として大に皇國の精神を發揚し敢然この重大なる帝國の任務遂行に一致協力せねばならぬ、顧るに本島民は事變當初より時局に對する適正なる認識を把握し眞に舉島一致官民一體奉公の至誠を盡し來つたことは誠に欣快にたへない次第である、今や事變は前述する如く新段階に入り、國民の覺悟もまた一段の強化を要するものである、この時に當り、島民がよくこの新時局の重大性を認識し益々日本精神を高揚してこれを日常の業務生活に具現し重大なる帝國の責務達成に貢獻せんことを期待してやまない次第である

杉山陸相訓示

【一・六】杉山陸相は事變に對應する陸軍としての決心を明示するため廿八日左の要旨の訓示を發した

（午後三時四十五分陸軍省發表）時局益々重大性を加へるに當り陸軍大臣は本日左記要旨の訓示を下達せり

事變は益々擴大して時局は益々重大性を加ふるに至り政府はこれに處する確乎不動の大方針を再確認しこれを中外に聲明して國民の擲ふべき處を明らかにしたるを以てこの機會に於て重ねて所懷を述べて全軍將兵に要望す、事變勃發以來忠勇義烈なる皇軍將兵の勇戰

奮闘と内諸部隊の獸身的努力とに對し

ては深く其の勞を多とすると共に特に
鋒鏑の下に或は傷き或は倒れたる多數
の戰傷死者に對しては衷心哀悼の情を
禁する能はず、出動部隊の作戰は未嘗
有の成果を收むと雖も尙敵國政府を屈
服して克く東亞安定の礎石を樹立すべ
き出師の大目的を貫徹するが爲には前
途は遠慮にして今後尙大いに長期持久
の覺悟と準備とを必要とす、事變長期
に亘ると雖も之が解決の鍵は懸て皇軍
の雙肩に在り是を以て外に在つては克
く堅忍持久益々嚴肅なる軍紀を維持す
ると共に旺盛なる士氣を振作して皇軍
の精華を發揚すべく内に在つては長期
持久に即應する如く人馬資材の育成整
備補給等を完備すると共に國民精神を
作興し統後の安定を期し克く長期持久
を可能ならしむる如く自肅克く淬礪の
誠を致さざるべからず、斯くして時局
を打開し能く今次聖戰の目的を達成し
て上は聖明の負托に對へ奉ることを得
べく下は國民の信倚に應へて統後の支
援に酬ゆることを得べし

外交官駐在問題

▲駐日支那外交官保護【一・三】外務省で
は去る十六日の帝國政府聲明後に於ける
支那外交機關の地位に關し廿一日午前左
の如き情報部長談を發表した

南京政府は相手とせずとの十六日帝國
政府聲明は帝國は事實上南京政權を無
視するの態度を示したもので川越大使
に對する歸朝命令は右帝國の決意を明
にする爲である、尙今回の事態に基く
支那外交機關の取扱に就ても事實上の
關係として大體左の通之を行ふ方針で

ある

一 在本邦支那大使以下の外交官及領
事館員の引揚げる者に付ては引揚迄
は外交官及領事官の特權を認め其身
體財産に付ても十分の保護を與へる
二 引揚を爲さず本邦に居發る者に付
ても身體財産に對する保護に付ては
從前の道の取扱をする

三 在本邦支那大使館及領事館の建物
は支那外交官領事官の本邦引揚後と
雖も我方官憲に於て立入る事無く
之を保護する

▲川越大使引揚げ後の措置【一・三】國民
政府を對手にせずとの重大聲明發表を契
機としてわが駐支大使を如何に處理すべ
きは帝國の對支方針と密接不可分の重
大な關聯をもつが廣田外相の意嚮は日滿
支提携を目標とする中華民國臨時政府は
未だ發展途上にあつて帝國政府の承認に
至らず而も國民政府とは一切の外交折衝
を行はざる帝國の方針なので駐支大使な
るものは理論上存在し得ず、従つて正式
の駐支大使は支那新興政府の承認を機に
設置さるべきものとしてあるもの、如く
であるから駐支大使は支那新政府が確立
されるまで置かない事となる模様である
川越大使進官要綱
【一・三】川越駐日大使は去る十六日帝國
政府が國民政府を抹殺せる重大聲明に依
り政府の歸朝命令に接し卅一日午後三時
廿五分東京驛着の特急富士にて入京した
が、一兩日中に廣田外相と會見、現地報
告を兼ねて大體左の如き對支方針に關す
る重要進言をなすものと見られてゐる
一 北支政權に對する根本方針
我方の中華民國臨時政府に對する今後

の根本方針としては飽くまでその政治

行政に干渉又は關與せずしたらず之が
健全なる發達を期待して經濟的提携乃
至經濟復興に協力する事を第一義とせ
ねばならぬ、現地における實情は帝國
政府の方針を基調としてその根本原則
に基き着々成果を擧げてゐる、中支南
支の建設工作もまたこれと同一方針に
則りまづ第一に農村の疲弊救済、都市
の經濟復興に協力することを第一義と
せねばならぬ、經濟復興が出来れば自
然に治安維持、人心の不安除去は可能
でその内に自然發生的に支那の自力を
以て新興政權は樹立されるものと確信
する、現在までのところ特に上海並に
南支では財界のよい人物も未だ多少國
民政府に氣象をしてゐる様だ、政治關
與に亘らぬといふ云ふことはこれが眞に
支那をして帝國の眞意を妥當なりと納
得せしめ支那大衆の心を把握する要諦
なりと固く信するものである
二 中支に對する態度
中支には未だ政權は出來て居ないが以
上の原則は中支に於ても當てはまる、
然し中支に於ては北支と經濟的文化的
又は地理的對外的に種々の異なる事情
のあることを考慮せねばならぬ、中支
の有力な財界は勿論政界方面の人物も
國民政府に對する氣兼ねといふか寧ろ
いつ何時國民政府が勢力を盛り返すか
も知れないといふ不安慮れがある様だ
中支政權の首腦者として唐紹儀、李思
浩等が噂に上つて居るけれども國府の
脅迫にあつて出馬するのを躊躇して居
る様だ、これは政治的意味に解させる
政權を中支に樹立し様とするからであ

つてこの意味から見ても政治的政權の

樹立を急いではならない、殊に中支は
金融經濟力と農村を背景として居る地
域を持つて居るので特に經濟復興と農
村對策を重要視せねばならぬ、政治的
政權の確立は經濟工作が完全に行はれ
れば自然發生的に誕生するものだと思
ふ、この意味の政權ならば將來の發展
性もあり従つて有力なる人物もこの政
權に自然に参加することゝならう

遂け午後六時散會した
翰長兩軍務局長打合
【一・元】風見書記官長は廿九日午前十一
時より院內大臣室において町尻陸軍、井
上海軍兩軍務局長と會見、午前の閉議で
決定せる大本營と政府との連絡會議開催
について事務的打合せを行つた
首相陸相打合
【一・元】近衛首相は廿九日午後六時半院
內首相室に杉山陸相並に風見書記官長を
招き卅一日開催の參議會並に來月早々開
かれる政府と大本營との連絡會議に諮る
べき事變關係事項について打合せをとけ
た

☆ 會 同 ・ 往 來

四相會議開催

【一・三】近衛首相、廣田外相、杉山陸相
米内海相は廿三日午後二時半より院內大
臣室に四相會議を開き約一時間に亘つて
事變に關する重要協議を遂げ同卅五分終
つたがその結果風見書記官長より左の如
く發表された

△ 風見内閣書記官長談

支那事變處理に關する既定方針遂行の
爲總理陸海軍外務の四大臣が院內大臣
室に於て會合重要な協議を行つた
四相會議の結果連絡會議を開くとか關
議を開くとかいふことはなく又新しい
事態が起つたわけでもない、首相の要
求に依つて開かれたものである

各省關係官會合

【一・三】政府は十六日の對支聲明の實現
に邁進しつゝありこれが具體策について
は慎重を期する必要があるため關係各省間
で打合せを行つてゐるが、廿四日正午
より外務省堀内次官、石射東亞局長、同
局課長及び陸海軍關係官が外務次官々郎
に參集情報の交換を行つた後重要協議を

戰 況

松井最高指揮官杭州巡視
杭州【一・三】松井最高指揮官は杭州巡視
の爲廿一日午後四時卅分着列車で來杭、
廿二日早朝杭州の治安及び警備狀況の報
告を受け次いで親しく野戰病院に名譽の
戰傷兵を見舞ひ午後は吳山、西湖を廻つ
て靈隱寺を訪れ行義和尚の案内で市内視
察の後丘王廟に立寄り岳飛の墓に詣で歸
路についた
鈴木同盟太原支局長戰傷死
北京【一・三】去る十三日正太線測石嶺附
近を列車にて進行中敵手榴彈の爲兩脚部
六ヶ所に重傷を負つた同盟通信社太原支
局長鈴木二郎氏は陽泉野戰病院で應急手
當を受けた上石家莊病院に後送後左下肢
の患部化膿してガスマズリを起したため廿

五日左胸切斷手術を行つたが容態悪化し廿六日午後零時廿分遂に報道戦線の華と散つた、享年卅一

▲國通、同盟合同社葬 新京【一六】同盟通信社太原支局長鈴木二郎氏の葬儀は二月五日午後二時新京記念公會堂に於て佛式により滿洲國通信社及同盟通信社合同葬を以て執行される

▲岡岡同盟特派員戦死

上海【一〇】津浦線南段の戦間に從軍して報道戦線に華々しく活躍してゐた同盟通信社特派員岡岡正治氏は卅日朝明光西南方第一線の戦間に於て田代部隊に從軍中敵迫撃砲弾の集中射撃のため壯烈なる戦死を遂げた旨〇〇部隊に午前十一時五十分入電があつた

▲戦死將校氏名

杭州【一二】去る十七日夕刻杭州新橋で敵敗殘兵に襲はれ重傷を負ひ十八日戦病死せる將校左の如し

▲戦傷死 少佐 上田 門藏(福岡縣)

▲島海部隊 中尉 高澤 一郎(埼玉縣)

▲長野(神)部隊 少尉 吉田 潔(廣島市)

▲兩角部隊 中尉 小泉 久一(福島縣)

▲田代部隊 中尉 瀧野 文雄(福島市)

▲倉林部隊 少尉 五十嵐 義四郎(新潟縣)

▲原隊發表 廿五日德縣南方に於

て戦死せる將校左の如し

▲儀我大佐逝去公報 天津【一五】(天津軍午後五時發表) 陸軍歩兵大佐從五位勳三等儀我誠也氏は廿四日午後九時四十分卒去せり

▲原隊發表 去る十四日上海野戦病院に於いてチブスの爲病死せる將校左の如し

▲矢ヶ崎部隊

軍醫少尉 北條 勇(山形縣)

☆ 山東省内掃蕩

臨朐占領 濟南【二三】膠濟全線を確保せる我軍は更に沿線南北地區の殘敵を掃蕩しつゝあるが、廿一日片野部隊の一部は青州南方

五里餘の臨朐東北方に於て小部隊を以て約二百の敵と二時間に亘り激戦の後之を撃破し疾風の如く臨朐縣城に迫り城内約一千の敵を猛攻、城壁の一角を占領した

四南方高地より七、八百の殘敵が増援し來り廿一日は尙ほ激戦中である

濟南【二三】廿日以來臨朐にある殘敵二千の有力なる集團に對して攻撃中の片野部隊の一部は砲兵隊の協力の下に猛攻を加へ寡兵よく敵を撃破廿三日朝岡城を完全占領した、敵の武装解除百廿二、遺棄死體七十、我方は僅か輕傷一名を出したのみであつた、尙武内部隊は廿三日頃

周村北方の長山附近にある殘敵を掃蕩、小銃、拳銃、彈藥等多數を擧獲した

▲陰險掃蕩 濟南【二五】蒙陰に進出せる我が赤柴部隊の一部は廿五日午後四時頃突如支那軍

凡そ三百名の奇襲を受けたが約廿分間の交戦後難なく擊退、敵は屍體多數を殘して潰走した、我が軍の損害は輕傷者五名

西南角で敵友戰態勢 濟南【二五】皇軍の猛追撃にたまりもなく湖沼地間より西側に追込まれた山東軍五ヶ師は新に同方面へ進出せる宋哲元

子學忠の兩軍と合流して小嶺にも側面より我が軍に反撃の態勢を示すに至つた、即ち最近山東第三路軍は金鄉北方、南陽湖西方一帶に新陣地を構築し急速に準備を整へつゝあるが、河北省最南端の東明附近にあつた宋哲元軍及山東東北隅より

徐州に後退し來つた干學忠軍は最近この方面に續々移動を開始し辛くも山東省西南の一角を保持しつゝある山東軍と協力して皇軍の側面を壓迫せんと機を眼つてゐる

▲鄒縣南方掃蕩

曲阜【二六】廿八日鄒縣附近を敵情搜索のため前進中の我が部隊〇〇名は鄒縣南方約四里の樞子附近に於て敵部隊と遭遇

交戦三十分の後これを擊退敵は死體八を殘して敗走した、われに損害なし

▲曲阜、泰安掃蕩

濟南【二六】廿七日拂曉我が〇〇部隊は郭山城(曲阜東方十三キロ)の西方部落に於て兵隊約八十の襲撃を受けたが直ちに之れを擊退、敵は死體五十、武器、彈藥多數を遺棄して逃走した、又廿九日泰安西北方界首においても支那軍は午前三時及同三時四十分の二回に亘り逆襲し來つたが我軍はこれまた直ちに擊退敵を南方に潰走せしめた

▲曲阜東方掃蕩

曲阜【二六】曲阜の東方約三里の大泉村

に約八十名の匪賊ありとの報告に廿七日夜半出動命令を受けた久保部隊は夜行軍を以て大泉村に急行、高さ三米の城壁に

圍まれた同部落を包圍し敵の寢込みを襲つた、敵は周章狼狽南方の山地に逃がせんとしたが我軍はこれに猛射を浴せ殲滅的打撃を與へた、この戦間に於ける敵の遺棄死體五十にして輕機關銃一、小銃十三、彈藥若干を擧獲した、我方の損害は戦死、負傷各一である

▲濟寧逆襲の敵擊退

濟南【二六】八日午前四時半頃約三百よりなる支那軍遊撃隊が濟寧西北方より濟寧を奇襲し來つたが我が軍のため忽ち撃破され屍體十八を遺棄して逃走した、我が方は引き続きこれを猛追中

石家莊西北方掃蕩 石家莊【二六】工藤部隊は石家莊西北方

廿里の洪子店に根據地を有する約三千の敗殘兵大部隊を討伐すべく廿一日二隊に分れて石家莊を出發、一部隊は廿二日拂曉南馬塚に於て二千數百の敵と遭遇、敵

は敗殘兵と言つても機關銃、迫撃砲等を有する共産軍で頑強なる抵抗を試み我が軍は千田久造中尉以下十三名の戦死、戸垣勇少尉以下十五名の戦傷者を出したが遂にこれを擊退敵は約四百の死體を遺棄して山嶺地帯に潰走した、一方平山(石家莊西北方十五里)方面より向つた部隊

は温湯嶺附近にて約六百の敵を攻撃四名の負傷者を出したが迫撃交迫撃、廿三日

☆ 河北省内掃蕩

支那軍配備状況 濟南【二三】我軍の青島、濟南間の確保により山東攻略の大勢決するや戰機は微妙に南方へ動き津浦線南進軍は鄒縣、濟寧より京漢線上の皇軍と相呼應して蜿蜒

八百餘キロの滄海線を壓してゐる、これに對し蔣介石も同線死守作戰を採用し戰雲暗濤として線上を蔽ふものがあるが、遠く西安より鄭州、開封、徐州、海州を連ねる隴海線の一線こそ南京を喪失した蔣介石にとつては北方防禦の最後抵抗線でありこの一線を失はんか北方戰線の總潰滅を意味する、斯くて同線上の敵は我が津浦線の南軍の挾撃に備へて徐州、歸德方面にかけて特に防備を固め津浦線臨城附近には四川軍約二個師徐州を中心として海州間は廣西軍約七ヶ師及干學忠

龐炳勳軍三ヶ師、その西方の要衝歸德方面には敗退せる韓の第三路軍五ヶ師が黄河々岸より南下してその北方地區を護り更に東明附近にあつた宋哲元軍も續々同方面に移動し第五線區總司令李宗仁もこの地にあつて全線の指揮に當つてゐる、更にその西方開封には萬福麟軍が又京漢線と隴海線のクロス點として河南々部の最重要據點たる鄒州には蔣介石直系の會

萬福麟軍が頑張つて京漢線方面より南下せんとする我が軍の防禦陣を構築してゐる外、更にその前衛陣地たる黄河以北には商震軍、孫連仲軍が京漢線守備の第一線

を承つてゐる、斯くて我が北支作戰軍の攻略態勢の整備と之に伴ふ支那側の攻勢

六日朝石家莊に引揚げた

▲徐州挾撃

支那軍配備状況 濟南【二三】我軍の青島、濟南間の確保により山東攻略の大勢決するや戰機は微妙に南方へ動き津浦線南進軍は鄒縣、濟寧より京漢線上の皇軍と相呼應して蜿蜒

禦完成は今や離海線上に刻々と一大決戦期が近づきつゝあるを思はしめる

▲金郷に三個師 濟南【一三】離海線附近の支那軍は最近頗る活潑な動きを見せ

▲連雲港を閉塞して敵艦退却 青島【一三】確報によれば離海線の基地にして敵の重要據點たる海州地方に駐屯し沿岸附近一帯に堅據トーチカを構築抗日戦

▲洪澤湖、漣河の抵抗陣 滌縣【一三】我が飛行機の偵察によれば津浦線鳳陽、蚌埠の敵は洪澤湖、漣河の線によつて我北進部隊に最後の抵抗を試むべく頻りに

然し一方支那軍は早くも敗戦時の準備に備へて漣河一帯の大小多数の戎克、汽艇を發し蚌埠附近に集結しつゝあり此の支那式早手廻しには流石の我が將兵も啞然

▲空陸呼應して死守 濟南【一三】離海線守備のため過般離縣より津浦線鳳陽、蚌埠方面に南下したる于學忠軍の主力は更に北上し目下歸德東方礪山附近に配置し

▲滌縣北方で便衣隊擊破 滌縣【一三】廿二日午前九時滌縣北方四十五キロの鳳現集附近に於て我が添田部隊の將校斥候は便衣を着せる約百五十と交戦、一時間にして之を北方に擊退、敵は死體三十を遺棄して潰走した、我方に損害なし

▲添田部隊北進 明光【一三】廿五日津浦線明光を進發した添田部隊は池河を敵前渡河し午後二時半早くも梁家崗を占領更に敵を急追して北進中

▲敵退却を開始 上海【一三】我が陸軍機の偵察によれば午後四時津浦線南段の郭園子、涇河の敵は戦はずして續々西北方に退却を開始した

▲敵死傷 約一、四〇〇 一 遺棄死體 約八〇 一 兩獲小銃大砲 約六〇

集圍軍と近く接觸を保持しつゝ其前敵を潰滅せしめ江北の守りは愈々固し、而して此の間に於ける部隊の討伐回数無慮五十回、遭遇せし敵兵力一萬五千、敵に與へし損害は數千にしてその遺棄死體千五百を算し輕機關銃、小銃、迫撃砲等多數を鹵獲せり、我が方の損害は頗る輕微而して我が當面に於ける敵兵力は正規軍少くも七、八萬匪賊は目下判明せるもののみでも四、五萬に上り之等は悉く遊撃隊として活動しつゝあり

▲田代部隊勇戦 滌縣【一三】廿六日午前八時頃滌縣西方廿二キロの大柳鎮の田代部隊前面に第百卅八師所屬の敵八百が逆襲し來つたが交戦二時間の後死體百五十を遺棄して潰走した、我軍損害は負傷四名

▲敵退却を開始 上海【一三】我が陸軍機の偵察によれば午後四時津浦線南段の郭園子、涇河の敵は戦はずして續々西北方に退却を開始した

▲敵死傷 約一、四〇〇 一 遺棄死體 約八〇 一 兩獲小銃大砲 約六〇

我が方の損害 約六〇

約七キロ)を攻略した添田部隊は卅一日朝來殘雪を踏んで津浦線に沿つて猛進を續け目下郭園子(明光西方約十キロ)に迫りつつあり

▲田代部隊勇戦 滌縣【一三】廿六日午前八時頃滌縣西方廿二キロの大柳鎮の田代部隊前面に第百卅八師所屬の敵八百が逆襲し來つたが交戦二時間の後死體百五十を遺棄して潰走した、我軍損害は負傷四名

▲敵退却を開始 上海【一三】我が陸軍機の偵察によれば午後四時津浦線南段の郭園子、涇河の敵は戦はずして續々西北方に退却を開始した

▲敵死傷 約一、四〇〇 一 遺棄死體 約八〇 一 兩獲小銃大砲 約六〇

我が方の損害 約六〇

【一三】(大本營陸軍部午後零時半發表)揚子江北岸津浦沿線地區を北上せる我が部隊は夫々大韓庄(滌縣西北六十キロ、明光西北約七キロ)王山(明光西方約七キロ)附近を占領せる約一千の敵及池河驛(滌縣西北四十五キロ)附近を占領せる約二千の敵を擊破し各々その西方地區に進出せり、この戦闘に於て敵の潰棄せる死體數は合計千五百を下らざるものゝ如し

▲支那軍投降 來安【一三】軒隘北方にあつた顧祝同麾下の敵兵六百は廿五日午後來安の我が倉林部隊に代表者を送り投降を申し出たので廿六日現地に於て武裝解除の上來安に收容した

▲敵退却を開始 上海【一三】我が陸軍機の偵察によれば午後四時津浦線南段の郭園子、涇河の敵は戦はずして續々西北方に退却を開始した

▲敵死傷 約一、四〇〇 一 遺棄死體 約八〇 一 兩獲小銃大砲 約六〇

我が方の損害 約六〇

☆ 中支戦況

杭州山岳地帯掃蕩

杭州【一三】藤山部隊を主力とする討伐隊は廿日早朝杭州を出發、杭州、富陽間の山岳地帯に懸崖竄動する敵に對し徹底的掃蕩戦を開始し廿一日朝迄に既に所要の高地を占領包圍體形をとりつゝ降雪を衝いて前進逐次敵を壓迫してゐる

浦東の敵陸兵掃蕩

浦東洋涇鎮【一三】浦東地區に潜む敗殘の敵兵は集團を爲して日夜皇軍に抵抗するので去る十九日浦東半島の殘敵掃蕩を開始した谷川、津田、福井、飯塚各部隊

は廿二日午前十時を以て完全に掃蕩を完了敵は多数の死體を遺棄して潰滅し上海方面最後の橋であった浦東は全く明朗化するに至つた、即ち川沙、集浦鎮、三林塘に對し飯塚部隊が待網を張り正面黃浦江上に海軍砲艇隊、當面の浦東半島外側に〇〇部隊が船を並べ、半島内部の殘敵を完全な袋の鼠とし南方奉賢、閔行鎮の線より谷川、津田、福井各部隊が部落から部落を縫つて清浦、南淮縣城を奪取し逃げ場を失つた殘敵は多少の抵抗を試みつゝ右往左往皇軍の鐵蹄下に葬り去られた

蕪湖南方の激戦

上海【二六】廿五日〇〇部隊の〇〇隊は蕪湖南方八キロの地點にある山口に於て敵一四七師第二旅に關する一ヶ團と壯烈なる激戦を演じ殆んど之を滅滅した、殘餘の敵は死體三百餘を遺棄して石磯嶺南方に敗走した、この戦闘に於て我方の損害は僅かに戦死四名負傷廿四名で江南戰線に於ける久し振の殲滅戦であつた

☆南支戰況

海軍、海南島の敵反撃

【一六】(大本營海軍部午後四時卅分公表) 南支方面海上監視中の我が海軍〇〇部隊は豫て海南島榆林港に支那戎克の密航するものあるに注意しつゝありし處本月十九日軍艦〇〇は午前八時卅分同港に進入し飛行機偵察の結果港内に戎克多数碇泊中なるを發見せり、依つて同艦臨檢隊は内火艇及びカタマーに搭乘し陸岸に向け航行中突如港内陸岸叢林より機銃及び小銃の齊射を受けたるを以て直ちに反

撃を加へ軍艦〇〇亦此敵を砲撃機銃陣地等を粉碎し敵に大打撃を與へ潰走するに至らしめ無事臨檢隊を收容せり、本戦闘に於て臨檢隊員に三名の輕傷者を出したる外我が方損害なし、尙同港周圍には砲臺を構築しあるを確認せり

空中戦・空爆

☆空中戦

蕪湖へ來襲

南京【二三】廿三日午前十一時及び午後五時の二回に亘り敵重機銃機五機編隊が蕪湖に空襲し來り機銃卅數個を投下したが、例に依り我が方には何等の損害なく我が反撃に脆くも何れかへ遁走した

南京蕪湖の空中戦

南京【二三】首都南京の陥落後最初の壯烈なる空中戦が南京及び蕪湖の上空に演ぜられた、即ち本日午前十時半頃敵大型爆撃機十二機が編隊を組んで突如南京を空襲約四千米の高度から連續的に機銃十二個を〇〇基地附近に投じたが何れも出烟の中に落ち我方には何等の被害はなかつた、敵機襲來と同時に我が艦艇及び地上砲火は猛然と火を吐き怒り一機を撃ち墜し又腕を撫して張り切つてゐた我が航空隊〇〇機は荒鷲の如く飛び上り機首を轉じて西方に逃げ行く敵機に食ひ下り遂に蕪湖上空でその半数を追ひ詰め窮鼠の勢で反撃し來れる敵機と壯烈極まる空中戦を演じて中二機を撃墜、他の三機は辛くも逃げ去つた、右敵機の空襲は過激來り聯其他の援助によつて空軍の建直しを

宣傳しつゝある支那側が特にこれを示さんととして白晝珍らしくも襲來し來つたものだが我が精銳の激撃によつて完全に出口を挫かれたものである

▲敵機三機撃墜公表 上海【二六】(艦隊報道部午後二時半發表) 海軍航空隊は本日午前十時頃南京を空襲せる敵重機銃十二機を邀へ撃つて内二機を撃墜せり、又別に地上砲火により敵機一機を撃墜せり

▲我方若干の損害 上海【二六】(上海軍部午後四時發表) 廿六日午前十時頃南京上空に飛來せる敵の爆撃機はその數十機にして大校場飛行場に爆撃を投下せりも防空部隊の活躍と海軍機の迎撃とによりその二機を撃墜せり、我方に若干の損害あり

▲敵機搭乗者はソ聯飛行士 南京【二三】廿六日南京を空襲し我方に撃墜された敵機の搭乗者は死體検視の結果ソ聯飛行士なる事判明した、尙敵機の投下した機銃は二五〇キロ、一五〇キロ三十數個であつた

【二七】(大本營陸軍部午後二時廿分發表) 廿六日南京東南方青龍山附近において撃墜せられたる敵機の操縦者は其の死體並に携帶せる地圖に譯語をもつて註記を施せる等により判断するに概ねソ聯人なるが如し

杭州へも來襲

杭州【二三】廿六日午後四時半敵機三機は編隊で杭州上空に飛び來つたが忽ち我が防空砲火に制せられ内一機は錢塘江上に撃墜他の二機は周章狼狽東方に向け遁走した、敵機の杭州攻撃は我が軍の占領

以來これが始めてゐる

南昌で七機撃墜

上海【二七】(艦隊報道部午後六時發表) 海軍航空隊は廿七日早朝南昌を空襲し折しも哨戒中の敵一・十六型戰鬥機十數機と壯烈なる空中戦闘を交へ七機を撃墜し更に南昌飛行場に待機中の敵機三機及び格納庫を爆破せり、又別の部隊は遠く漢口を空襲し飛行場に在りし重機銃機四機及び格納庫一棟を爆撃大破せしめたり

南京、鎮江へ來襲

上海【二七】本日午前十時過ぎ又も敵爆撃機六機が南京、鎮江を空襲し來つたが我が猛烈な反撃に一弾も投下し得ず直ちに遁走した

陸軍機、洛陽で十數機撃墜

北京【二三】(天津軍司令部午前十時發表) 廿九日午後三時卅分我が飛行隊は銀裂を連ねて洛陽飛行場を爆撃し該空中の敵戰鬥機十數機を撃墜すると共に格納庫及地上にある飛行機數機を爆撃し多大の損害を與へて無事根拠地に歸還せり

洛陽で又十機撃墜

(大本營陸軍部午後三時半發表) 我が航空部隊は卅日午後三時卅分數十機を以て洛陽新舊飛行場を空襲し、勇敢に反撃し來れる敵戰鬥機(カーチスホーク二型)十數機中十機を撃墜し、更に地上に在りし大小飛行機八機及び格納庫に爆撃を加へ相當の損害を與へたり、此の戦闘に於て我また一機を失へり

☆空爆

衢州、玉山爆撃

上海【二三】海軍航空隊員大尉の指揮する部隊は廿二日午前寒風を衝いて錢塘江上流の浙江省衢州及び浙贛鐵道の要地江西省玉山を空襲し兩地の飛行場、格納庫等を爆撃し敵に大打撃を與へて全機無事歸還した

長沙、宜昌爆撃

南京【二三】廿四日午前九時過ぎ加來部隊長指揮の海軍空襲部隊は朝霧を衝いて長沙長沙を襲ひ飛行場、格納庫及び各軍事重要施設を爆撃、又一部〇〇機は宜昌に飛び飛行場に〇〇キロの巨彈を浴びせ何れも無事歸還した

▲十六機爆撃

上海(艦隊報道部午前十一時發表) 三原大尉の指揮する海軍航空隊は廿四日極度の悪天候を同して長陽湖北省宜昌飛行場を衝き折柄同飛行場は白雲に包まれ曇低かつたが飛行場に散在せる廿數機の敵飛行機を發見危険を同して急降下爆撃を敢行十六機を爆撃し又格納庫を爆撃せるが中十機は炎上せり、他の一部隊は南方衢州場漢鐵道各所を爆撃せり

徐州爆撃

上海【二三】海軍航空隊志水、中鉢兩中尉指揮の空襲隊は今朝機銃を運んで徐州驛を爆撃炎燒せしめ湯山に於て戰車隊を滿載せるトラック群を發見之に猛烈なる銃撃を加へ全機悠々〇〇基地に歸還した

廣東省連日爆撃

【二三】(大本營海軍部午後五時十分公表) 海軍航空部隊は概ね南支方面敵空軍並に航空施設の撃滅を完了最近は敵運輸交通機關等を目標とし廣東省奥地方面を

連日攻撃中なり、特に今月中旬以來の我
正確なる反響爆撃の爲め橋梁陸道軌條の
破壊並に崖崩等の爲め膠濟鐵道は近來著
しく運行困難を來しつゝあり又我攻撃の
結果敵は貨車機關車の損耗に苦しみ運行
貨物列車數亦減少の跡見え我が爆撃に依
る貨物の破損損失等の直接効果と相俟つ
て廣東方面よりする敵の軍需品輸入に大
打撃を與へつゝあり、他方敵は最近鐵路
輸送の陣害に鐵口彈藥機彈燃料等の輸送
は道路及水路を主用せる如く奥地河川に
於ける攻撃に於て散在せる運貨船十數隻
が我が一發の爆彈に依り粉碎霧消せし實
例ありたり、同方面に於ける我海軍將士
は連日猛烈なる季節風を冒し激刺たる意
氣を以て重大なる任務を遂行しつゝあり

▲黃浦爆撃 上海【一三】海軍航空隊は
卅日廣東省黃浦の水雷庫、機雷庫其他各
種軍事施設を爆撃した

陸軍機、徐州爆撃

上海【一三】陸軍飛行隊瀋、野中各部隊
○〇機は本日午前十一時過ぎ密雲を厚し
て徐州飛行場を始め各重要軍事施設に猛
烈なる連續爆撃を敢行格納庫、兵舎を爆
撃するなど多大の打撃を與へ又他の一部
隊は津浦龍海兩線に飛び鐵道線路、鐵橋
を破壊して敵の重要軍事輸送に多大の
損害を與へその連絡を完全に遮斷した
▲又徐州爆撃 ○〇【一三】陸軍飛行隊
偵察部隊は廿八日早朝より正午にかけ鳳
陽、臨淮關附近の敵陣地に反覆爆撃を敢
行すると共に更に徐州を襲ひ飛行場その
他に多大の打撃を與へた

風陽爆撃

○〇基地【一三】陸軍飛行隊加來、野中、
梁山の各部隊は廿八日午後三時鳳陽附近
に飛び敵陣地に猛爆を加へ之を潰滅更に
漢河附近より鳳陽に向つて北上しつゝあ
る敵の密集兵團に反覆爆撃を加へ大打撃
を與へた
▲又鳳陽爆撃 上海【一三】陸軍飛行隊
偵察部隊○〇機は廿九日吹雪を冒し敵の
津浦線前線據點鳳陽に飛び地上部隊の進
撃と呼應して敵の各陣地に巨彈を投下し
多大の損害を與へ地上部隊の作戦を効果
あらしめた

山東情勢

威海衛で支那軍暴動

▲支那陸戰隊司令銃殺 青島【一三】支
那第三艦隊艦下の威海衛陸戰隊司令張楚
材は舊臘卅日沈鴻烈が青島逃亡に際しそ
の逃亡勸告を拒絶した爲め青島に於て銃
殺せられたと云はれる、因に張司令は日
本留學生出身でその夫人は日本人であつ
た

▲掠奪で市内大混亂 青島【一三】當地
に達した情報に據れば去る十五日の芝罘
の警察隊暴動に引續き威海衛にも昨夜暴
動勃發し市内混亂に陥つてゐる、即ち支
那第三艦隊威海衛陸戰隊はその司令張楚
材の銃殺以來軍規紊亂してゐたが給料の
不拂、糧食雜等から廿一日抗日大暴動を
起し市民家の打壞し掠奪など暴虐の限
りを盡し住民は街を離れて逃亡する者引
も切らず市中は芝罘以上に治安紊れ戦慄
的狀況にある

▲巡警も掠奪に参加 濟南【一三】確報

によれば威海衛に於ては皇軍の膠濟線確
保後芝罘方面と同じく大動搖を來し市長
を初め特別區專員公署、公安局等の首腦
部は殆ど逃走して市内は全く無政府状態
となり巡警は民衆と一緒に掠奪を
始めた、一月十六日威海衛從泊中の英國
軍艦より陸戰隊が上陸特別專員公署に本
部を置き治安維持に當つてゐるが同地の
支那民衆は之を八年前の英國の專管時代
が復活したと稱してゐる、また去る廿日
同地西方の鹽田に掠奪に赴いた民衆と監
視員とが衝突し多數の死傷者を出した、
尙ほ同地の邦人居留民の家屋財産の被害
程度は不明である

☆青島治安回復

醫療施設開く

▲陸戰隊診療所開設 青島【一三】完全
に治安を回復した青島市内は目下敗殘支
那兵の暴行を懼れて醫者が殆んど逃走し
未だに復歸しないため一般市民は極度に
醫療施設の不足に悩んでゐるので、我が
陸戰隊では廿一日から市立病院に診療所
を開始し同隊の軍醫をして診療に當らし
めてゐる

▲同仁病院治療開始 青島【一三】日支
文化提携の第一線に立ち優秀な醫師を派
遣し日本人並に支那民衆の治療に當つて
ゐる同仁會青島病院では去る廿一日安藤
副院長以下が歸青したので今回診療救護
班を組織し廿八日より陸海軍診療班と協
力して一般市民の無料治療を行ふことゝ
なつた

▲治安維持會業績

▲隣接各町村にも治維會成立 青島
【一三】青島市郊外の李村、即墨、城陽
靈山衛の各地に青島同様治安維持會が成
立した旨廿三日青島治安維持會に報告し
て來た、右四地方は近く新設さるべき青
島特別市に編入される豫定區域である

▲山東路さくら公園と改稱 青島【一三】
青島治安維持會では今回國民黨政權の印
象を抹殺する見地から當地のメイソスト
リート中山路を廢し廿四日から復興青島
に相應しい山東路と改稱又支那第一の稱
ある中山公園はさくら公園と改めた

▲日支紙幣同額流通 青島【一三】青島
治安維持會は本日會議の結果通貨流通を
圓滑にするため左の布告をなす旨議決即
時實行した
今次友軍青島に來つて後從來の中國、
交通兩銀行券の外に日本銀行、朝鮮銀
行券及河北省銀行券等の紙幣を使用す
るに至つた、我が市民は賣買に際し日
本銀行券、朝鮮銀行券、河北省銀行券、
中國銀行券、交通銀行券等を同様に通
用せしむべし、決して物價の吊上げ貨
幣に對する値引等を爲すべからず、又
銀行は之等通貨を同様に受入れ並に支
拂をなし以て便利に資すべし
右布告す

▲會長 張 珙
青島【一三】青島治維會の布告により青
島に於ける支那紙幣は日本の圓にリンク
され日本紙幣と同額で流通されることに
なり經濟活動上非常な便利になつた青島
がトップを切つて支那各地市場に模範を
示したものと見るべく之によつて國民政
府の中央銀行券は完全にノックアウトさ
れた

經濟復興委員會業績

▲取引所近く開業 青島【一三】青島經
濟復興に重要な關聯を持つ取引所問題は
目下復興委員會に於て種々考慮されてゐ
るが從來青島の日本側の青島取引所と支
那側の青島物產交易所の合同氣運は最近
著しく濃厚となり近く物產交易所が移轉
して青島取引所に合流し單一取引所とし
て青島主要物產たる棉布、繭糸、棉花、
落花生、小麥粉等の取引が行はれること
となるものと見られる、しかし從來取引
引不振となつてゐた青島取引所の取引は
金銀パリの確立により實質上消滅する筈
である、由來青島取引所は大正十一年日
本軍引揚げと同時に官營取引所の事務を
繼承して來たが、南京政府の排日政策に
より日本の取引所があるに拘らず支那側
の青島交易所が設けられて日本取引所の
業務妨害をなしたが滿洲事變以來我が方
の嚴重な抗議により妥協成立、日本六分
支那四分のプール計算が行はれてゐたも
のである

▲中國、交通兩銀行一設業務開始 青島
【一三】日支委員十四名よりなる青島經
濟復興委員會は一月十七日成立以來青島
經濟界の復興について種々研究を進め殊
に金融機關の復活が緊急を要するに鑑み
支那側各銀行の内容調査を行ひつゝあつ
たが先づ廿九日より中國交通兩銀行をし
て一般銀行業務を再開せしめることゝな
り今朝より兩行の門扉が久し振りに開か
れた、但し當分の間は預金引出しは一人
一週間三百圓以下と限定されてゐる

▲青島入りに許可制
青島【一三】青島の復興目指して居留邦

人の續々復歸しつゝあるに伴ひこの混雑に乗じ不當の利得を得んと企てる不良分子も來青する虞れがあるので當局では青島居留民の居住權益を保護し且つこれら青島明化を妨げる如き者の青島入りを忌避する爲め今回一般居留邦人及び第三國人はその入市、居住、營業の際日本總領事館及陸軍特務機關發行の許可證を必要とするに決し以て青島復興發展に努力しつゝある人々の身分を保障する事になつた

夜間通行禁止解除

青島【一・五】去る十日我海軍が青島に入市しその治安維持に當つて以來不逞分子の潜入活動を防ぐため毎日午後十時より翌朝七時まで夜間一般人の通行を禁止してゐたが邦人も多數歸還し治安も次第に良好となつたので廿五日より夜間通行禁止を解除し必要に應じつゝ歩哨を追加して治安の萬全を期することゝなつた

國民黨的印刷物を追放

青島【一・五】國民黨執政の跡を抹殺し五色旗の下に新しい青島を建設せんと努力しつゝある青島治安維持會は露に中山公園、中山路等國民黨の名稱を街から一掃したが更に今回國民黨、共產黨の出版せる一切の書籍、雜誌、刊行物を沒收し孫文の肖像、遺囑、國民黨旗のついた一切の物品の製作販賣を禁じ各種記念品や建築物に使用されてゐる「中山」の名稱、黨旗等の國民黨的、共產黨的宣傳文、標語等總てを廢棄せしめることになり布告を發し一般の注意を喚起すると共に警察當局として嚴重に取締りに當らせることゝなつた

紡績復興要望

【一・三】青島紡績復興問題に關しては濟南轉移も一部に唱へられ、その騒動が注目されてゐるが内地紡績業者は左の如き理由をもつて兎も角も青島において復舊することを第一義とし、然る後個別に濟南進出を考慮すべきであるとしてゐる

一 在華紡は未だ飽和點に達せず、今後その發展は大いに期待される事情にある

一 従つて一應青島を復歸の後、新たに濟南に進出すべきである

一 殊に青島工場は完全に破壊されたとは云へ敷地は存在し工場建設の基礎があるのだから新設に比し復舊は容易である

一 且つ費用の點においても青島復舊の方が三割方輕減される

而して復興費としては一社當り紡機五萬餘機織一千臺を基礎として約六千萬圓を要するが、内地休鍾を振向けることゝなれば四千萬圓で足りることゝなり、業者は右資金を政府が低利融通することを要望してゐる、若し不可能の場合は社債發行増資等の必要に迫られるのでその成行は頗る注目される

☆ 濟南情勢

居留民復興委員會組織

濟南【一・三】濟南歸還の邦人居留民は世帯主で二百餘名あり中には既に店舗を開いて着々復興の道を辿りつゝあるが同居居留民では廿二日後の復興工作を促進するため居留民復興委員會を組織し集居の問題たる復興資金の調達を受けて罹災

居留民の救済方法に就て目下上京盡力中の高岡理事長に激勵電報を打電、外務を初め關係各官廳に嘆願書を提出することに決定した、尙邦人小學校舎は支那側建國中學又は東魯中學をあて居留民復歸の時期から見て大體新學期から開校の豫定である

省政府及市政府開設籌備處

濟南【一・五】皇軍の山東平定により各地の治安は確立し三千萬省民の間には國民政府歸復の諒下を脱し新中央政府權下に合流せんとする政治的氣運が派々として動くと共に行政各機關の速かなる復活が要望されるに至つたのでいよいよ本廿七日その前提として濟南に山東省政府及び濟南市政府開設籌備處が開設された同處は城内省立女學校に廳舎を設け直ちに暴戾支那軍によつて破壊された行政各機關の整備回復の準備に着手したが同省政府の成立は新政權に強力なる一礎石を與へ合流問題に一層拍車をかけることゝなつた

嶧縣の中興炭田爆破さる

濟南【一・五】確報によれば山東省嶧縣の中興炭田は蔣介石の命により去る十六、七日頃炭田附屬設備中興公司事務所學校その他建造物諸共支那兵によつて徹底的に爆破された、右は南北よりする皇軍の猛壓に臨城、徐州を保ち得ずと見我が有に歸すを恐れ自ら爆破したものと見られる、同炭田は埋藏量と炭質に於て開採炭坑に比肩し中國第一の稱あり年産出量百卅萬噸、炭質は極めて優秀な粘結性でコークス製造殊に化學工業用として重要な價值を持つてを最近連雲港より本邦及び上海方面にも輸出されてゐた

投獄中の邦人廿名拉致さる

濟南【一・五】今次事變で在留邦人は全部引揚げたものとばかり信じられてゐた濟南には不運にも韓復榘のため投獄され刺へ今尙生死不明の邦人が第二福丸勝田船長、光州丸岩田船長以下約廿名程あることがこの程判明し今更の如く支那側の悪行爲に我が方では極度に憤激してゐる

☆ 交通・通信

青島、濟南間バス聯絡

青島【一・三】青島、濟南間の交通に就て我が陸軍部隊では支那軍に破壊された膠濟線の修理復舊を急ぐと共にバスに依る青島濟南間聯絡を計畫し目下着々準備を進めつゝあり、本月末より大型バスが青島濰縣間及濰縣濟南間の折返し運轉を實施し二日間で濟南青島間を聯絡する事となつた

膠濟線開通近し

青島【一・三】膠濟鐵道復舊作業は目下陸軍部隊の手で懸念に行はれてゐるが大體復舊の目鼻もつき近き開通の段取りとなつた、而して現在三百名の鐵路關係従業員が青島に待機し機關車五十臺、客車二百臺が同鐵路の爲準備されてゐる

濟南【一・五】暴戾山東軍のため隨所に破壊された山東の大動脈たる膠濟鐵路は朱瀏店、岫山間は五十キロに亘り軌上枕木全部が持去られてゐる有様で舊臘來木村部隊は匪賊や敗殘兵の障礙を排しあらゆる困苦や材料の缺乏と闘ひつゝ、修理を急ぎ去る十五日濟南、昌樂間が開通、目下濰縣、岫山間の一部軌道敷設を殘すのみ

となつたがこれも津浦線と時を同じうし二月十一日の紀元節までに復舊膠濟全線の開通を見ることゝなつた、尙同日より青島濟南間の列車運行を開始する筈であるがこの動脈復舊によつて山東省の治安及經濟回復が促進されることゝならう

大黃河の假鐵橋近く竣工

濟南【一・五】津浦線黃河の大鐵橋が爆破されたため鐵橋下流百米附近に架橋中であつた假鐵橋は滿鐵社員及木村部隊が大陣の寒風に吹き曝されながらも晝夜を分たぬ不眠不休の決死的作業により順調に進歩、愈々來る二月十一日紀元節の佳日をトして津浦線の天津濟南間は完全に開通の豫定となつた、これと共に濟南以南の津浦線も山東軍に破壊された各所の橋梁、線路等何れも同時頃には復舊を見天津〇〇間は完全なる列車の運行を見る筈である

青島佐世保間電線復舊

青島【一・五】我が海軍管理の下に去る十三日より青島、佐世保間單線通信を行つて居た青島電報局では今回故障の修理完成したので平常通り復舊通信を行ふ事となつた

中・南支情勢

中支の電撫救恤工作進む

上海【一・三】今次事變前まで約三千萬と算せられた皇軍占領地域内の人口は事變の爲め相當の移動があつたにも拘らずその大部分は依爲として占領地域内に止つて居り之等民衆は各地に於ける宣撫班の活動並に軍の救恤作業に促進されて次々

に自治委員會を結成してゐるが、軍の調査によれば廿日現在に於ける自治委員會は上海大道市政府の他に次の廿六地方に結成されるに至つた

南京、揚州、鎮江、丹陽、常州、江陰、蕪湖、蘇州、無錫、高淳、湖州、杭州、海寧、南潯、嘉興、嘉善、平湖、松江、青浦、崑山、太倉、嘉定、寶山、崇明、真茹、南市

右のほか各地に於ても自治委員會設立の氣運は漸次醸成されつゝあるが一方敗殘兵も分散的に跋扈する實情にあるので皇軍は武力を以て之れが掃蕩を行ふと共に良民に對しては支那古來の「保甲制度」を復活せしめて自衛方法を講ぜしめてゐる又上海、南京の兩大都市に雲集せる難民を始め戰鬪區域内にあつて衣食住を失へる一般民衆今後の救濟事業は相當愛慮されてゐるが衣食住に關する應急對策は大體支障なく行はれてゐる、即ち食糧は局地的には多少不足を告げてゐるが本年の收穫期までには補給出来る筈であり鹽は無錫、崇明島及び鎮江對岸の鹽廠所藏鹽を配給する筈で、及び輸送機關の不足等の原因から砂糖、種油、綿布、石油、煙草等の生活必需品が不足である、併し難民中には生糸その他不要品を所持するものも多いため軍に於ては之等と交換に必需品を與へてゐる

日清汽船沿埠航路一部回復

上海【一三】事變勃發以來半歲に亘つて休航してゐた日清汽船會社の支那沿岸航路も事態の回復と共に愈々二月上旬より一部分回復することとなり先づ唐山丸を配船上海、青島、天津、大連線に就航貨客の運輸に當ることとなつた、尙同航路

は必要に應じて増船する計劃である

上海【一三】選信省工務局長楊井剛氏は去る十二日來滬以來連日に亘り上海市を中心にして皇軍占領地域内に於ける電信、電話の破損状態を視察調査し更に將來の支電信電話復興設計畫につき軍並に磯野選信省駐在官等と種々協議を進めてゐるが自主的選信確立の方針に關しては大體現地側とも意見の一致を見たので廿三日出帆の上海丸で歸京の途につく、右復興設計畫の詳細に關しては更に選信省内の對支選信行政處理委員會、通信部會に於て検討される筈であるが從來上海を主點とする電信電話事業は極めて複雑なる國際關係のもとに實施されて來た實狀に鑑み同事業今後の經營は結局日本資本の支配下に支那並に第三國の現物出資の形による參加をも容認する特種會社の設立に待つものと見られる、而して目下のところ中支方面の電話は上海電話會社管理のものを除けば僅かに軍事的のもののみが修復中であり又對外無電道通信の如きも我が管理のもとに漸くマニラ、香港、倫敦の三方面に開始されてゐるに過ぎない現狀であるがこれ等電信電話の復舊は急を要するので新會社設立迄は差當り選信省の非常統制のもとに主として日本電信電話工務會社及び國際電機通信會社、

(日本無線、國際電話合併)が委託を受けてこれに當ることとなり、尙帝國政府が將政權と絶縁した今日新會社の設立は新しき行政主體によつて許可されなければならぬことは言ふ迄もないのでその意味からも中支方面新政權の確立が強く要望されてゐる

占據地區の電力施設調査

上海【一三】去る十九日來滬した中支電業組合調査團に同行した技術者卅名は直ちに上海、開北、南市、浦東及杭州、無錫その他皇軍の占據地域にそれぞれ配置され軍指導下に必要な電力應急施設に着手した、これを併行して關(大同電力工務課長)島崎(東邦電力係長)辻(宇治電課長)津田(日電技師)竹内(東信電力技師)の技術班は上海中心區域に於ける今後の復舊施設、恒久的建設設計畫につき資金、資材、人的技術方法等の基礎條件につき調査を進め廿四日上海方面は一應完了したので廿五日朝更に調査の爲南京に向つた、而して調査團の一行は月末までに調査を終り直ちに歸國する豫定であるが調査團議案としては次ぎの大小二案が提出されるものと見られる

一 上海方面の電力需要は租界を含めて廿萬キロに過ぎない現狀であるが將來の發展性に鑑み且つ電力事業は各種事業に先行すべき基礎産業であるとの建前に基き日滿鮮電力業者の總動員を以つて租界を除く中支一帯に亘りその電力電氣事業の運営に當る事とす、尙電力事業は國策的會社の一環となすも結局は獨立經營に俟たねばならない、以上中支電業組合を事業母體となすといふ積極案

占據地區内の内河航運開始

上海【一三】中支占據地區内に於ける水路交通網再建については豫ねて在滬航運各社に於て計畫を進めてゐるが此の程日清汽船、東方航運公司、上海運輸會社等が母體となつて江、浙、蘇、杭、滬、寧、嘉、湖、嘉、興、紹、興、嘉、善、平湖、松江、青浦、崑山、太倉、嘉定、寶山、崇明、真茹、南市、杭州間外九線に上つてゐるが航路の正式決定は二、三週間後になる模様である、内河航運の開始は日清汽船の上海南京航路及び上海輪渡公司の黃浦江航運と共に占據地區内の航運網を充實し中支復興に一段の拍車をかけるものと期待されてゐる

上海と安徽省の爲替取引停止
上海【一三】上海郵政管理局に於ては蘇、滬、寧、國(宣城)廣德等との爲替取引を廢止しその他の地方は平常通りであつたが徐州、蚌埠を結ぶ津浦線南段一帯は既に戰場と化したため上海と安徽省との郵便爲替取引を廿六日より中止することに決定する旨發表した、これがため舊年末を前に控へ商人は非常な打撃を蒙ることになつた

第一次上海事變記念日

上海【一三】第一次上海事變六周年記念日を迎へた此の日我が虹口警備隊では拂曉を期し虹口、楊樹浦全邦人居住地域に亘つて壯烈なる記念警備演習を行ひ終つて陸戰隊本部及日本人墓地に於て盛大なる慰靈祭が行はれた

上海合同新聞解體還元
上海【一三】昨年十月以來北支方面の時局に鑑み上海の三邦新聞は合併して上海合同新聞を創刊今日に及んだが諸報の事情により卅日第百十六號を以て同新聞を解體し日報、日日、毎日の三社それぞれ傳統の立場に還元して經營することになつた

漢口ソ聯大使館の怪火

上海【一三】漢口來電によれば廿三日午後八時半頃爆音と共に漢口ソ聯大使館地階より發火火勢は忽ち三階建の全館に燃え廣がり外廊を残したのみで全く焼失した、オレルスキー新大使及び館員の大部分は新大使の信任状捧呈のため重慶に赴いてゐる留守中の出來事で發火の原因に就いては放火の疑ひ頗る濃厚である

☆ 上海爆彈テロ
又も市民協會委員を暗殺
上海【一三】上海市市民協會委員楊福源は

廿一日午後五時頃、フランス租界海格路の自宅門前で背後から支那人兇漢のため拳銃狙撃を受け頭部に三彈命中即死した、楊福源は舊臘卅日暗殺された陸伯鴻の親友で上海に於ける若手實業家として知られてゐた、犯人は抗日テロ團の一味であること明白だが未だ逮捕に至らない

大規模の抗日テロ團檢挙

上海【二・三】(廿五日午後一時半)上海軍警表)上海憲兵隊に於ては上海の租界内外に亘り不逞支那人の抗日テロ事件頻發するに鑑み慎重内偵中の所租界を根拠とする有力なる抗日テロ機關あるを探知したる結果租界當局と協力し一月十三日より十五日に亘り共同租界及び佛國租界内に潜伏し居りし國民政府軍事委員會の直系蘇浙行動委員會別働隊々員〇〇名を檢挙せり、取調べの結果之ら隊員は日本側諸機關に手榴彈を投擲せるものある事判明せり、更に右に關し當局は左の談話を發表した

廿七日夜四件

上海【二・三】舊正月接近と共に共同、フランス兩租界警察當局では上海全市に亘つて嚴重警戒の網を張つてゐたが、それにも拘らず昨夜も午後七時から一時間程の間に四件も手榴彈事件が勃發市民を恐怖に陥れたそのうち一は共同租界新開路の某辯護士の自宅屋内に又一つは白克路の一食糧品店の店内に投ぜられたが他の二つは時を同じうして佛租界内の道路上に於て爆發何れも被害は輕微であつた

廿八日五件

▲新聞檢査所に投擲 上海【二・三】南京河南路角のハドソン・ビル三階の新聞檢査所に本日午前七時頃一怪漢が爆彈を投込み轟然たる音響と共に爆發したが幸にして負傷者なし、同新聞檢査所は支那新聞に對する日本側檢閱官の事務所にして上海占領後支那側より接收したもので本日恰も上海事變六周年記念日に當り支那人テロリストが襲つたものと判明

二 午後六時十五分頃滬西内外棉第一工場附近に一個投下爆發

三 午後七時頃上海製造絹糸會社工場附近に一個投下爆發
四 午後七時頃西馬路岡本總領事官邸前にて一個爆發
五 ゼスフィールド郵船支店社長宅附近にて爆發一個夕刻發見

☆アリソン事件

と連發し更に各所に抗日宣傳ビラが到るところに撒布され租界警察當局の取締り不充分を物語つた、我が憲兵隊では右事件を重大視し滬西分隊を中心に租界分隊の應援を得て檢査、身體檢査など警戒を實施したところ夕刻日華紡前にて支那軍隊使用の手榴彈六個を所持せる一怪漢を逮捕し犯罪を未前に防ぐを得た、租界當局に於ても本日の記念日に際して警戒することとなつてゐたがかくの如き不祥事件の頻發に鑑み更に嚴重なる取締りを要求する聲が起つてゐる

米領事毆打事件真相

上海【二・三】廿六日夕刻南京に於て米國領事アリソン氏毆打事件が発生したが、右事件の真相は次ぎの如く判明、事件は全くアリソン領事の我が軍占領區域無視の非法行為に起因せる事が明らかとなつた、即ち廿六日我が南京駐在副領事がアリソン領事を訪問米國居留民の事變に關する被害に就ての米國側の報告が事實と相違する點を指摘した所アリソン領事は反つて日本兵の行動を痛烈に非難したの

米人家屋への侵入事件
ワシントン【二・三】米國國務省は廿二日日本兵の南京に於ける米人家屋不當侵入事件に關しグルー駐日大使を通じ我が外務當局に申入れを爲したる旨左の如く發表した
國務省は南京のアリソン領事の報告に基き南京に於ける日本兵の米人家屋不當侵入事件十五件並びに米人家屋に避難中の支那人十名の引致事件に關しグルー大使をして日本外務當局に對し申入れを行はせた

軍當局談發表

上海【二・三】廿六日南京に於て我が兵士の米國領事アリソン氏毆打事件が発生した事に關し軍當局は廿七日午後六時左の談話を發表した

察高王巡査等を問題の小紛擾胡家案園の農具店に派遣したるに同店では金陵大學の農具場たる事を主張したので一行は被害者の訊問に就て米國大使館の諒解を認めた所アリソン領事が現はれ他一名の外人と共に同行を主張し被害者と稱する者の訊問に立會つた、次いで一行は被害者及び店主等を伴ひ實地檢證に赴いたところその現場は支那人の家屋である事が確認されたので一行はそれ以上外國人立會の必要を認めずアリソン氏に對し懇切なる説明を以て引揚方を求めたがアリソン氏は同所は米國人の家屋なりと主張し侵入せんとした、之に對し高王巡査は「日本軍南京入城後米國人の案内で立入禁止の貼紙をなした際にも同家屋に對しては何等貼紙をなすの要求がなかつた」といふ事實を述べ更に同家屋は既に天野部隊の駐屯地となつてゐたので重ねて立入りの權當ならざることを約州分間に亘つて説得しアリソン氏も諒解した如く見えたので一行は安心して開門したところアリソン氏は同行の一人外と共に突然門内に驚進せんとした、憲兵及び巡査は之を阻止し構内の衛兵も亦「バック」を連呼し手を以て制止したがアリソン氏は聞き入れの様子もないので遂に天野隊長は兵に對し不法侵入者を斷乎追出すべしと命令に對し一回死闘するに至り同領事は門外に押出された

▲警察分駐所に投擲

上海【二・三】第一

▲新聞報社に投擲 上海【二・三】廿九日午後六時十五分共同租界漢口路二七四號新聞報社西門に支那人怪漢が手榴彈を投擲轟然たる音響と共に爆發したが門外の壁を破壊したとだけ死傷者は無かつた新聞報は南京陷落後他の支那新聞の多くが漢口移轉を行つた後も引續き新聞を發行してゐる上海第一の大新聞である

我が憲兵隊の不眠不休の努力に依り租界内に潜伏せる抗日機關を探知し之れを檢挙し居たる事は吾に軍の誇りたるに止らず我が國警察力の世界に冠たる所以を中外に鮮明ならしめたる意味に於て御同慶に堪へない、然し乍ら之れに依つて租界内の不穩行動が終熄するであらうと思ふのはもとより當らない

その檢挙に漏れてゐる者が數限り無く居る事を思へば憲兵警察の今後の苦心努力に待つもの甚だ大なるものあるは勿論軍當局としてはこの機會に於て更に大所高所より拔本蒸源的處置を講ずるの必要を痛感する次第である

▲合計五件 上海【二・三】廿八日の一・二八記念日に際し抗日テロ團の擲彈投下事件は遂に五件に達し租界内治安上由々しき問題として表面化するに至つた、即ち

▲支那人小學校に投擲

上海【二・三】廿九日共同租界漢口路の新聞報社擲彈事件に租界當局は嚴重警戒の網を張つて犯人偵査中のところ同事件後一時間も経たぬ午後七時五十分共同租界カーター路にある支那人小學校に向け亦復手榴彈を投じた

一 午前七時南京路ハドソン・ビル内新聞檢査所に擲彈一個投下爆發

△廿七日午後六時軍當局談

去る廿六日南京駐米國領事アリソン氏は某捜査事件調査のため我が憲兵と同行し一支部人住宅に赴きたる所同所は遇々我が軍一小隊駐屯警備あり、アリソン氏は同中隊長の制止するを聴くことなく無理に家屋内に進入せんとしたため一伍長のためアリソン氏及び同行の米人一名は毆打せられたり(負傷なし)右に關しアリソン氏はこれを日本總領事館に抗議し來り日本軍の陳謝を期待する旨述べたるを以て大隊長は憲兵と共に事實の徹底的調査をなすと共に毆打事件のみに關し取り敢えず參謀を派遣し陳謝の意を表したり、これアリソン氏が日本軍に殆かも檢察官の不遜の態度を以てその領事たるの職分を超越し軍毎に日本軍の非を鳴らすが如き態度に出たのに起因するものにして軍の頗る遺憾とするところなり、軍は將來に亘りこの種事件の未然防止に關して萬全の注意を拂ふと共に事件の性質上地方的問題として解決すべき方針なるも將來外國人にして日本軍の警備區域に立ち入らんとするものは好く日本軍の軍律とその戰勝軍たるの威信を尊重し事前通告を完全にし通譯を帶同し事件の防止に關し最も慎重且つ密接に我が軍に協力せられんことを望む

外務省へ申入れ

ワシントン【一六】ハル國務長官は南京に於ける日本國兵士の米國領事ジョン・アリソン氏毆打事件につき駐日グルー米大使に對し日本外務省へ嚴重な申入れをなすやう訓令した旨廿八日發表した、これと同時に同事件の經過を詳細に記述した國務省の公表をも發表した

▲グルー大使抗議【一六】

グルー大使は二十九日午後六時半、外務省に堀内次官を訪問、南京に於けるアリソン領事毆打事件に關して抗議の申入れをなすところあつたが堀内次官はこれに對し我方は未だ詳細なる公電に接せず公電の到着次第これに基き充分なる研究の上回答をなす

▲米紙論調 ニューヨーク【一六】

「日本の歩哨米國外交官を毆る」と題する社説を掲げ次ぎの如く論じてゐる
最近「日本歩哨米國外交官を毆る」と言ふ様な挑発的な見出しが新聞紙を賑してゐる以上米國民衆が日本軍の行動に憤慨するの無理はないが我々はバネー號擊沈の場合と同様今回も亦冷静な態度を失はぬ様にとすべきである、兎に角日支紛争がますます限り上記のやうな挑発的な見出しが再三紙上に現れることは當然豫期される所だが我々は米國民が日支紛争中を通じ終始沈着な行動を採る様望する最近の報道によれば南京、上海方面における日本兵は勝手な行動をしてゐる様だがこれは何も日本兵に限つたことではなく戦争中にはどの國の兵卒でも「勝手にしろ」といふやうな気分になるのだ

反日空氣を煽る

ワシントン【一六】南京のアリソン事件は米國新聞雜誌の好んで問題とする題目だけに事情の如何に拘らずセンセーションを起し反日空氣を高めるに資してゐる殊に軍備擴張論者に取つては宣傳の好題目で寧ろ汚いとい見える迄で惡宣傳が行は

れ國務省も此種民衆の反感の前には當に無力で引摺られ勝てである、言論思想の極端な自由を持ち群衆心理の支配が強い米國ではバネー號事件以來相當肥料が利いてゐる反日感情の地盤の上に落ちたもう一つの新しい種だけに事件が一般民衆に及ぼす影響は想像以上に大きい、然し廿八日國務省がグルー駐日大使に與へた訓電は日本政府に對する抗議といふ程のものでなく注意を喚起する程度のもので廿九日國務省に於ける記者團會見でも此の事件に付き何等質問無くバネー號事件の時とは全然異なるものがありこの事件に關する限りアリソン領事の出過ぎた行動を批難する聲も米國人間に相當ある事は注目される

事件解決

ワシントン【一七】米國々務省は南京駐在領事ジョン・アリソン氏毆打事件につき駐日グルー大使を通じ日本政府より口頭の回答を受取つた旨廿一日發表した、事件はこれを以て事實上一應解決したと見られるが國務省は右發表と同時にグルー大使に對する訓電内容並びに日本政府の口頭による回答を發表した

△情報部長談

一月廿九日午後六時半駐日グルー米國大使は堀内外務次官を來訪口頭を以て在南京アリソン米國領事に關する米國側の報告に基き實情を詳細説明したる後米國政府は日本政府より適當なる遺憾の意の表明並に關係者處罰に對する

充分の措置を執るべき旨の保證を期待する旨を申入ありたり廿日午後十時堀内次官はグルー米國大使の來訪を求め本件に關する帝國政府の意向として左記の點口頭を以て回答せり
一 事情の如何は別として日本兵が「アリソン領事を毆打した」とは誠に不幸なる出来事に於て現地に於ても既に本郷參謀より軍司令官の名に於て本件發生に對し遺憾と陳謝とを表明せる次第にして「アリソン」氏は之を受入れたる趣なるが帝國政府としても茲に本件に對し衷心遺憾の意を表明す
二 帝國政府としては本件の重大性に鑑み關係者の處罰に付き嚴重調査の上充分の措置を執るべきを保證す
三 此種事件發生の場合關係者の言分は銘々相違することあり勝にして本件に於ても米國側報告と日本側報告との間には相當の不一致あるにも雖も真相の究明は今後の調査に俟つべく調査の實施は之を後日に留保することとしたし

☆ 廣東左右抗爭

反蔣和平運動起る

香港【一七】廣東では當局の民衆自衛運動に反し民衆は漸次反政府的、反戰的色彩濃く數日前の燈火管制の夜廣東市内に廣東人民呼籲團なるもの、成立宣言書が撒布され民衆の反蔣意向を示すものとして頗る注目されてゐる、宣言内容左の如くである
國民黨人は遂に共產黨の煽動に躍らさず獵りに抗日戰爭を起し同種相殺の慘劇を演ずるに至れり國民黨は英米の支離間策に乗せられソ聯の挑発を甘受し同種相殺國家の損出又甚大である、國民黨及軍は己れの敗戦に拘らず焦土抗戰を唱へ人民欺瞞の慣行手段を續けて居る、嗚呼我々人民たる者如何なる罪ありて此の悲惨に遇ふや、吾人愛國者は世界の情勢を洞察し一方的宣傳に附和雷同すべきに非ず、家を愛し國を愛し輕々にして自滅の職に加擔すべからず、我等は茲に廣東人民和平呼籲團を組織して廣東民衆の奮起を叫び又新たに共和政府を組織し平等を原則として日本と媾和し相互提携の上和平の光明を圖り塗炭の民を救はんとなす、若し黨軍飽くまで抗戰を主張するに於ては我等民衆は誓つて之れと合作せざるものなり謹んで之れを宣言す

左右兩翼の軋轉漸く顯著

香港【一七】第四路軍總司令余漢謀は蔣介石の命により廣東省内を數區の軍管區に分ち民衆自衛團の結成に狂奔しつゝあるが省の財源不足は極度に達し一ヶ月經費二百八十萬元が昨年十月末七十三萬元に大削減され軍費も嘗ては百五十萬元ものが約四分の一に減少してゐる爲官吏軍人は五割乃至六割方減俸され勞々國民政府の南京敗退後は蔣介石の實力に對する懷疑の念が漸く擡頭し始め特に學校職員の俸給不拂ひ問題は廣東省内に重大なる社會問題の波紋を生じ上下を通じて國民政府に對する倦怠の色が看取される廣東省軍、政首腦余漢謀、吳鐵城、曾養甫三者の感情的對立も今後の廣東防備準備の進捗と共に財政的悩み深刻化するべ

き形勢にあり、最近前線より歸來せる廣東軍將士の敗戦物語とがかなり眞剣に民衆の頭に響き貧弱なる民衆武装が精銳なる日本軍の前に如何に惨めな結果となり都市焼却の如き共產戦法に對する恐怖心より自己反省の傾向を生じ之が次第に北支政權に對する認識を覺醒しつゝある實状にある、目下廣東市では共產系新聞たる民族日報と國民黨系の中山日報とが連日に亘り理論論争を續け左右兩派の軋轢は漸く公然化しそれに交つて燈火管制の闇をねらつては反蔣反敵のピラ亂れ飛び連日の我が空襲に一種の神經衰弱に陥るもの續發すると共に社會人心混亂の徵候漸く現れんとしつゝある

葉劍英の乘込で抗爭激化

香港【一六】共產軍改編の第八路軍參謀長にして共產軍切つての遊撃戰術指導家たる葉劍英は數日前武昌に於て蔣介石に會見南北戰線の遊撃戰術に關し意見交換を行つた、支那側報道によれば其の際蔣介石は廣東方面の形勢愈々重大化の様相であるから同地軍隊及最近成立せる民衆自衛團に對する遊撃戰術指導を委嘱する處あり其結果葉は飛行機にて廿七日武昌を發し同日夕刻廣東に到着した、最近共產軍首腦者が公然廣東に乘込んだのは之を以て最初とするが蔣介石のお聲がかりでもあり廣東に於ては直ちに左翼指導の中心となり民衆自衛團の強化一般民衆の抗戰思想煽動並に遊撃戰術指示等に當り同地極左系の勢力増大が豫想されてゐる、而して一方廣東には人民和平團の如き反蔣、反國民黨的運動の勃興するあり軍政兩部内に於ても主和派の對立が漸く表面化せんとする傾向もある際として葉

赤化愈々猛烈

劍英の廣東入りは更に左右の對立を激化するものと見られてゐる

▲廣東紅軍組織 香港【一六】廣東に於ける言論の自由恢復運動は最近中山大學生を中心として漸く活潑となり昨年末廣東に於ける政治犯約二百名の釋放はその大半を占める學生がそのまゝ復歸したが上海より逃來つた文化界の巨頭章乃器、鄒韜奮、史良等の活動は更に彼等を刺戟して抗日共產主義宣傳の組織化を圖り中山大學にある李某がこの指導に當り同校の廣東西部編定移轉の方針を俄かに中止し赤化工作を進めてゐる、此の間中央に於て思ふ様な進出が出来ない共產黨は自然その魔手を地方に伸すは必然で廣東、福建省境で前廈門防衛司令黃濬の爲武装解除された共產軍殘黨は平服のまま香港經由廣東に入り秘かに廣東紅軍を組織しそれによつて日本人の財産沒收を計畫しつゝあり、それに漢口にて全國抗敵救亡會を組織した漢口左翼戰線の沈鈞儒、杜重遠、王造時等との連絡は廣東赤化運動に拍車をかけその儘放置する時は一九二三年廣東共產暴動の二の舞を踏むべく余漢謀も之を取締りに對し彼が會て廣西第一軍長として共產軍特を爲した經驗よりして極力對策を講ずるものと思はれる

彼は中央に於ける國共合作の事前或る程度之を取締りに牽制されるかも知れないが蔣介石の共產軍對策は同僚廣東軍首腦にも反映し余漢謀の計畫としては民衆武装團の編成強化によつて對抗せんとしてゐる、從來稍もすれば赤化の傾向多き舊十九路軍將領の割込み阻止も此の間の空氣を反映して居るもので現在余漢謀の躍

下にある廣東軍は彼の舊部下、陳濟棠の舊部下並に中央軍の三者より成り暗闘絶へずと傳へられるので之を何の程度迄抑へ得るか共產勢力伸張阻止のパロメータと見られる

▲抗日民衆團結 香港【一三】廣東に於ける抗日民衆組織問題は共產軍領袖葉劍英が蔣介石の命を受けて廣東入りして以來急激に進捗し一時は反共產派の反對が表面化して民衆組織も足踏みの態だが遂に右派を制壓して官督組織の民衆抗日團の結成を見卅一日の舊正月慶祝提灯行列を兼ねて組織大會が催された、支那側の報道によればこの日參會した廣東の學生、勞働者及一般青年連は二萬人に達したと稱して居るが廣東市長曾養甫が其主宰者となり市政府前より市内主要街路を極端な抗日口號を叫び乍ら行進し抗日宣傳ピラを撒布して民衆煽動に狂奔した、曾市長は右大會結成に當り

我々は茲に舉國抗敵の完全なる統一を完了した、我等には充分應戰の準備があり最後の勝利を目標に飽迄軍民一致して抵抗すべきである

とのアデ演説を試みたが大會首腦者は全く共產黨員を以て占められ恰かも一九二四年當時の第一次容共聯手時代に暴露したるものあり廣東は殆ど赤化状態にあると外人側も驚異の眼を見はつてゐる

銃 後

銃後施設に長き望慮

【一二】聖上陛下の銃後に垂れさせ給ふ深き思召を拜して廿日全國地方長官を招致、午後三時より同十一時半まで八時間

半に及んで銃後後援施設、軍事擁護の地方實情を聴取した木戸厚相は廿一日午後四時半官中に參内、御學問所に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ卅五分間の長きに亘つて具さに政府の銃後後援施設並に地方長官より聴取した地方事情を奏上、陛下には長くもいと御熱心に御聴取あらせられ種々有難き御下問をさへ賜はり殊に出征軍人の家族戰死者遺族の上を思召される大御心を拜して厚相は御仁慈厚き聖慮の程に感泣して御前を退下、文相官邸に於て記者團と會見、左の如く談話した

今日は長くも天皇陛下に拜謁仰付けられ政府の銃後施設と昨日地方長官から聴取した各地方に於ける實情を申し上げました、申し上げべきことは卒直に申し上げた積りで、手の届かないところは届かないと有りのまゝに奏上致しましたが、陛下には一々御熱心に御聴取あらせられ、有難い御下問をさへお話しする譯にはありません、たゞ陛下には出征軍人の家族、遺族の氣持に特に深い御關心を抱かせられる御襟襟を拜し今更のやりに陛下の深き大御心に恐懼感激致しました

戦死者慰靈法要

【一三】去る七月七日より十二月十七日に至る名譽の戦死者の靈を弔つて廿三日午後二時より築地本願寺に於て文部省、東京府、國民精神總動員中央聯盟後援第一師團、近衛師團、在郷軍人會協力の

下に支那事變戦死者追悼法要を盛大に開催した

長期戦對處講演會

【一四】廿四日午後七時廿分から日比谷公會堂に於て國民精神總動員中央聯盟、東京府、市共同主催の下に長期戰對處講演會が開催され末次内相、松岡内閣參謀が壇上に獅子吼して聽衆を感動せしめた

在支本邦人事業復舊對策

【一五】今次事變により在支本邦人經營諸事業の受けた打撃は甚しいものあり之が復舊更新の爲め政府當局が今後如何なる對策を樹立するかは關係方面に重大關心を持たれてゐる、廣田外相は廿七日の衆院本會議に於て青島の事後對策は國民の期待に添ふ方針なる旨を述べ外務省としては青島の如き特に引揚命令を出した地方の被害に對してはその補償に特別考慮を拂ふ意圖を有することを示したが、今回の被害は甚だの上海事變當時と異り額も頗る甚大で又その範圍も廣いところから外務省では在支本邦人事業の被害調査のための費用を新に豫算に計上し一先づ詳細なる被害調査を爲した上今後の具體的復舊對策を樹立する方針である、而して上海事業に當つてはその直後に政府より復舊資金の低利融通が行はれたが今回復舊資金の一層重大なるに鑑み支本邦人事業の復興助成會社たる如き特殊機關を設立し右機關を通じて復舊助成資金の融通をなすことも考慮されて居り何れにしても被害實情調査の完了を俟つて關係各省當局と協議會を開き最後の對策を決定する筈である

戦線慰問

▲新聞協會慰問使朝香宮に拜謁 南京

【一六】皇軍將士並に従軍記者慰問の日本新聞協會慰問使一行は廿一日南京に到着、廿二日午前十時朝香宮殿下の御陣會に伺候、殿下には陣中御多忙にも拘らず

特に一同を御引見遊ばされ一行代表島山同盟理事より御禮と御見舞の言葉を申上けたるに對し

遠路懸々來られて是に御苦勞であつた將士一同極めて元氣だから御安心ありたい、國民にも左様傳へよ

との有難き御言葉を賜り一同感激して退下した、一行はそれより軍艦〇〇に近藤司令官を訪れ海軍將士を慰問し午後職聯を視察した

▲新聞協會慰問使王克敏氏と會見 北京
【二三】日本新聞協會慰問使一行は三日間に亘り軍當局陸海軍武官室、病院、大使館、新聞通信社支局等を歴訪慰問の後、

中華民國臨時政府を訪問し行政委員長王克敏氏と會見、約州分に亘り懇談した

▲水産業者の慰問慰問【二四】水産關係者は廿四日赤坂三會堂に會合して水産關係各團體、業者及關係公署が一團となつて皇軍將士慰問の爲總額卅萬圓の水産品を内容とする慰問袋等を全將士に洩れなく送ることになつた

☆特典・救護

遺家族の職業斡旋好成绩

【二三】支那事變發生以來東京市社會局職業課では出動將兵の遺家族中就職希望者は特別に斡旋してゐるが成績良好で希望者の約半數は就職してゐる、昨年七月十五日から開始し同月に希望者一人就職者一人、八月には六十七名の希望者中廿二名、九月には百六十九名中五十二名、十月には百六十七名中六十八名、十一月には百四十一名中六十五名、十二月には五十八名中四十名が夫々就職して生業を

得てゐる

臨時三法案は事變終了迄存続

【二六】支那事變の勃發に伴ひ昨年の臨時議會に於て協賛を見た臨時船舶管理法輸出入品臨時措置法及び臨時資金調整法の三法案は國家總動員法の制定に伴ひその性質上軍需工業動員法と同様自然に廢止されることになるが前記三法案に就ては前議會に於て支那事變終了後一年間之を存続する旨言明して來てゐるので政府は此の公約を尊重し之等三法案に就ては國家總動員法制定後と雖も支那事變終了後まで存続せしむることに決定した

遺家族に道路専用料免除
【二七】東京市土木局では支那事變に出勤した軍人の遺家族生活維持後生活費の一方として道路専用料の徴收を一切免除することに廿七日決定し應召した日に遡つて適用する、免除資格は支那事變に應召、出勤又は在滿部隊に編入中の下士官遺家族で軍事扶助法の居宅扶助を受ける者これに準ずる者で、免除される道路専用料種別は露店、賣出施設、營業設備、商品賣場で區長の證明で申請すれば免除する

傷痍軍人保護對策答申
【二八】今次事變の擴大に伴ひ傷痍軍人保護對策確立の緊要性に鑑み新設厚生省では内務省社會局の各種保護施設を受け續ぎ去る十七日傷痍軍人保護對策審議會を設置し木戸厚生相よりの諮問案を付議し直に特別委員會を設け四回に亘り特別委員會を開き審議を進めた結果廿七日午後六時より第五回特別委員會を内務省大會議室に開會保護對策の答申案並に帝國

傷兵保護院法要綱を決定し同八時より引き続き同所に於て同審議會總會を開き會長木戸厚生相以下各委員、幹事出席、關屋特別委員長より委員會に於ける審議経過並に答申案に關し説明を爲し各委員より

一 恩給法の廣汎なる改正
一 傷痍軍人對策は農村の實情に即すべきこと
一 傷痍軍人の精神教育の重大性
一 保護方法に關しては迅速確確且つ細心なるを期すること
一 所謂役所主義を排し、徹底的に實情に即すべき様に努力すること

その他傷痍軍人優遇の具體化、種種の擴張、傷痍軍人會館の建設、生業指導等に關し種々希望意見の開陳があり全會一致別項の如き答申案を可決し陸海軍を代表して梅津陸軍次官より傷痍軍人代表として大日本傷痍軍人會副會長浦中將より夫々感謝の辭あり、同九時十分散會した、尙右審議會は今後も繼續され傷痍軍人保護對策に遺憾なきを期する筈であるが本答申中傷痍軍人保護に必要な經費に關しては厚生省に於てこれを統一し追加豫算として出來得る限り速に今期議會に提出しその具體化を期する方針である

△答 申
今次事變に因る多數の傷痍軍人及従前よりの傷痍軍人に對する保護對策は現下の情勢に鑑み眞に重要な問題にして其の樹立に方りては深く我が國體の本義に稽へ指導精神を確立し且は過去に於ける内外の經驗を參酌して採長補短其の萬全を期せざるべからず

惟ふに身を挺して皇國に報じたる傷痍軍人に對しては官民舉つて感謝の至情を効し此等の勇士が郷に在つて更に至誠奉公克く國民たるの本分を盡すに遺憾ならしむるやう優遇保護の方策を講ずべきものとす、此の趣旨の下に傷痍軍人の保護對策は其の動員前の状態を目標として心身の恢復を圖ると共に恩給の支給に加へて傷痍軍人の社會的經濟的復活に資する各般の措置を執らざるべからず

凡そ傷痍軍人各自の傷病の種類程度及其の瘳過等は全く各人各様なるを以て其の心身の状況と希望とに應じ各種の地位職業に復活せしむるには個別的に措置するを旨とすべし、又傷痍軍人の心理に鑑み一般國民の傷痍軍人に對する心情態度が年月を経るに従ひ變化するが如きことなきや指導すると共に傷痍軍人保護對策が恒久的に持續せらるゝやう企畫すべきものとす、而して其の對策たるや一般の慈善救済とは趣を異にし何れも國家として當に爲すべき處を盡すを以て本義とす案より其の成果の完壁を期する爲には民間の適切なる協力と相俟つべきことは緊説を要せず

以上之の觀點に基き實施を要すと認めらるる事項概ね左の如し

一 優遇に關する事項
傷痍軍人優遇の途を講ずるに方りては其の名譽を尊んずると共に尙も將來弊害を慮すが如きことなきや留意すること

1 名譽の表彰
(イ)軍人傷痍記章を改正して名譽と矜持とを表彰するに足るものたらしめが授與を嚴肅に行ふこと尙之に關聯して傷痍軍人證を携帶せしめ本人の身分を明ならしむると共に傷痍軍人帳帳を設けて記載所持者を地方廳に登録し優遇保護の徹底に資すること

(ロ)傷痍軍人の門戸に全國一様の標示を爲すこと
(ハ)死亡の際には國として弔意を表する途を講ずること

2 各種特典の付與
(イ)國及公共團體經營の各種文化施設を無料にて利用せしむること
(ロ)國及公共團體に於て隨時又は定時實施する公式の廉ある祝典、會同等には傷痍軍人參列方を配慮すること

(ハ)國有鐵道其他の鐵道、軌道、船舶等の利用に付適當なる優遇を與ふること
3 生活の保全
(イ)恩給制度を改正し傷痍軍人及家族の生活保全に努むること
(ロ)身上相談所を設け傷痍軍人の生活問題家庭問題、職業問題、配偶者問題等各般に亘り之が指導援助に當ること

(ハ)傷痍軍人の子弟育英は心身不自由なる傷痍軍人の重大關心事なるを以て育英助成上適當なる方途を講ずること
(ニ)家族にして恩給法、軍事扶助法の適用を受けざる内縁の妻等にも扶助を徹底せしむること

傷痍軍人の救養を高むると共に一般國民をして永く傷痍軍人に感謝せしむる

一 優遇に關する事項
傷痍軍人優遇の途を講ずるに方りては其の名譽を尊んずると共に尙も將來弊害を慮すが如きことなきや留意すること

1 名譽の表彰
(イ)軍人傷痍記章を改正して名譽と矜持とを表彰するに足るものたらしめが授與を嚴肅に行ふこと尙之に關聯して傷痍軍人證を携帶せしめ本人の身分を明ならしむると共に傷痍軍人帳帳を設けて記載所持者を地方廳に登録し優遇保護の徹底に資すること

こと

1 傷痍軍人の救養

- (イ) 一般的に養養の向上を圖り傷痍軍人たるの矜持を保持し國家の恩遇に伍れず模範の國民たるの信念を涵養せしむること
- (ロ) 職業に精進することに因り心性を向上せしむる爲職業教育に重きを置くこと

2 一般國民の教化

- (イ) 傷痍軍人に対する慰問感謝の徹底及持續を期する爲左の方途を講ずること
- (イ) 事變中より國民感謝運動を起し爾後毎年定期に感謝を強調して永く之が持續を圖ること
- (ロ) 國定教科書に「傷痍軍人」の事項を挿入し小國民の時より趣旨の徹底を圖ること

3 保護施設に關する事項

- (イ) 一般國民が日常生活の間に於て傷痍軍人に對し常に温き感情を以て良好なる接遇を爲すやう適切な指導に努むること尙一般接客業者に對しては特に強調して其の趣旨を徹底せしむること

1 醫療

- (イ) 醫療科等に伴ふ保養所(温泉療養所)を経営し傷痍軍人の心身の恢復を圖ること右保養所の經營の外事宜に依り一般保養施設、温泉

旅館の借上げ利用等を圖ること

- (ロ) 傷兵院法を改正し特殊なる重症者及頑固者に於て家庭にて醫療介護を爲す能はざる者の醫療介護に當ると共に家庭にて醫療介護を爲し得る重症者に於ては醫療介護手当を支給し其の恢復醫療に努むること
- (ハ) 結核、胸膜炎の患者に於ては其の療養所を經營すること
- (ニ) 精神障病者の治療に於ては一般精神病患者とは取扱を異にする必要あり、精神障病者收容の療養所を特設するか又は一般病院中に委託して特別な取扱を爲し得るやう考慮すること

2 職業教育

- (イ) 職業再教育施設を樞要の地に設け高度の再教育を施すものとする
- (ロ) 傷痍軍人が臨時隨所に於て醫療を受け得るやう方途を講ずること

3 職業保護

- (イ) 職業再訓練施設は大體各府縣に分布し主として輕度の教育を行ひ養養の向上に努むること此の場合施設を特設するよりも寧ろ口既存の學校、試験場、工場、商店等への委託訓練を主とすること
- (ロ) 傷痍軍人の職業教育及就職に於ては専門的なる智識経験を有する職業顧問指導職員を設置し再教育及就職の指導を爲し爾後の保護に當らしむること

(ニ) 傷痍疾患と適業との關係を明にし職業教育及職業選擇に遺憾なきを期すること

- (ホ) 作業義肢及補助具を支給する爲再教育施設に製作所を附設し更に各府縣に之が配給系統を樹立し併せて義肢及補助具一般の修繕に當ること

4 其の他

- (イ) 傷痍軍人の相互修養及福利増進の爲に大日本傷痍軍人會の設立を見たる處此の際一層其の活動を促進すること
- (ロ) 傷痍軍人の保護に關しては國の方策に即應して各種後援團體の活動を促進すること
- (ハ) 一部不良の行爲ある者の爲一般傷痍軍人が迷惑せざるやう其取締に付適切な措置を執ること
- (ニ) 傷痍軍人の保護は特に最も敏速、懇切、的確なるを要するが故に以上事項の具體的實施に當りては中央地方を通じて行政機構の整備擴充を圖るのみならず殊に施設の組織運営等に於ては舊來の觀念に因はるゝことなく最も機宜に適するやう格別の工夫を講ずる要ありと認む其の參考案として別紙帝國傷兵保護院要綱を提示す

業紹介に必要な専門的部門を設くること

- (ホ) 就職に關し必要なときは能力檢定證を發給するを得るの制度を設くること

4 其の他

- (イ) 傷痍軍人の相互修養及福利増進の爲に大日本傷痍軍人會の設立を見たる處此の際一層其の活動を促進すること
- (ロ) 傷痍軍人の保護に關しては國の方策に即應して各種後援團體の活動を促進すること
- (ハ) 一部不良の行爲ある者の爲一般傷痍軍人が迷惑せざるやう其取締に付適切な措置を執ること
- (ニ) 傷痍軍人の保護は特に最も敏速、懇切、的確なるを要するが故に以上事項の具體的實施に當りては中央地方を通じて行政機構の整備擴充を圖るのみならず殊に施設の組織運営等に於ては舊來の觀念に因はるゝことなく最も機宜に適するやう格別の工夫を講ずる要ありと認む其の參考案として別紙帝國傷兵保護院要綱を提示す

四 其の他

- (ハ) 各項に付遺族の保護施設たるに適當なる變更を加へて實施し更に寡婦乳幼児等の保護施設を考究實施するを必要と認む

△附決議

- 一 今次事變に伴ひ傷痍軍人保護對策の實施は我が國現下の緊急要務なるを以て之が豫算並に法制の作成に方りては大局的見地に立ち機を逸せず事態に對應し得るやう政府に於て特別の配慮あらんことを望む
- 二 傷痍軍人の保護に方りては公平なる處遇を爲すと共に全般的恒久的に保護に當る行政官廳の存するを必要と認むるが故に保護對策は努めて之を一行政官廳の主管に取纏むるやう政府に於て配慮あらんことを望む
- 三 傷痍軍人及戦死者遺族に對する恩給扶助料及賜金等の支給は極力之を速かならしむると共に其の支給に至る迄の間に於て生活に支障を來さしめざるやう政府に於て臨時の措置を講ぜられんことを望む

應召商工業者營業援護

- 【一】 商工省では應召商工業者營業援護のため三百萬圓の豫算を以て産業奉仕委員制度を全國的に實施する事となつたが廿八日午前十時半より商相官邸に之が實施促進方に對する第二回協議會を開催各地方別の實情に應じた對策の實施に最善を盡す事を申合はせて正午散會した

三 保護施設に關する事項

- 1 (イ) (ロ) (ハ) (ニ) (イ)
- 2 (イ) (ロ)
- 3 (イ) (ロ) (ハ) (ニ)

二 救養教化に關する事項

- ▲東京商工團體統後々援聯盟【一】東京府下では中小商工業者の應召者家族救援のため府、市、東京商工會議所を中心に各商工團體が一體となり舊臘十一月東京

商工團體統後々援聯盟を組織し以來着々具體案を考究中であつたが、今般準備完了、左の事業計畫の下に實際的活動に入る事になつた、即ち本聯盟によつて統後々援を受けることの出来る者は東京府下に於て現に營業中の商工業者であつてその營業主又は營業の中心となる者が應召したためそれが直接の原因となつて營業の繼續に支障を來した者に限られて居る單に營業の収入が減少したに過ぎぬ者は後援は行はない、後援の内容は營業上の指導助成で普通後援、特別後援に區別されており、普通後援は應召商工業者に營業の繼續が困難になつた場合その被後援者の屬する組合又は團體の全員が擧つて營業上の指導助成をする、特別後援は聯盟の理事會の決定を得て物的援助を爲す

駐屯地地留希望者への便宜

【二二】陸軍では北支支中に駐屯して居る皇軍兵士で除隊後もなほこの新天地で活躍を希望するものに對し廿八日陸軍大臣の名をもつて陸軍第二號「帝國外の地に在る部隊に屬する軍人にしてその地に地留を希望する者の除隊に關する件」を官報で公示し陸軍旅費規定によつて除隊現地から就職地までの旅費日常を支給する等積極的に殘留獎勵策を講じてゐる

國民政府

人事更迭

▲四川省主席に張群 上海【二三】去る廿日病死した劉湘の後任には國防會議秘書長張群が内定近く四川省政府主席に就任の管である、なほ漢口政府は劉湘の位一級を進めて陸軍一級上將となし葬儀料一萬元を贈つた、劉湘夫人は廿一日重慶より飛行機で漢口に到着服喪した

▲行政院副院長に翁文灝 上海【二三】劉湘の死によつて四川省主席に任命された張群の後任として行政院副院長には經濟部長翁文灝が兼任するに内定した模様である

▲安徽省主席に李宗仁 上海【二三】重慶政府は廿五日の行政院會議に於いて安徽省政府主席蔣作賓の本兼各職を免じその後任として李宗仁を任命した、右は蔣介石が長期抵抗陣營の強化を目的としたもので抗日戦の第一戦となつた安徽省の軍事的重要性を李宗仁に擔當せしめたものである

▲軍政部長に張定藩 香港【二三】徐州を中心とする離海線戰事の緊迫と共に國民政府は同方面の第一衝鋒地たる安徽省の地位を重視し文官主席たる蔣作賓を免職し津浦線方面總指揮官たる廣西軍首領李宗仁を其後任に据ゑたことは軍事と省政の責任を李宗仁一身に負はせたもので蔣介石としては雜軍整理と抗戦との一石二鳥の策に出たものとして注目されてゐる、尙重慶に於ける行政院會議は右任免と同時に軍政部長張定藩の本職を免じ張定藩を其後任に任命したが右は陳誠を他の要職に轉せしめるため蔣介石は愈々抗日態勢を整備しつゝあるものと見られる

▲河南省主席に陳誠 上海【二三】國民政府は中政會議の決議を経て廿七日陳誠を河南省主席に任命した、陳誠は離海線

總司令といふ軍事上最重要の地位を占め今又河南省軍政の實權を握るに至つたが右は徐州大會戰の準備と武漢守備の蔣介石作戦の一環をなすもので安徽省の李宗仁湖北の何成濬、湖南の張治中と共に武漢を中心とする各省の軍事準備を蔣介石直系の手に完全に掌握し以て抗日戦線の強化に努めたものである

西南二公路開拓

ニューヨーク【二三】A.P.漢口支局は奧地に迫られた國民政府が新にビルマ佛領印度支那への交通線を開拓したとの支那側當局談を左の如く報道してゐる
彭學沛交通次長の談によると雲南と北ビルマをつなぐ重要な軍用道路が今後三、四ヶ月間に完成する管で目下正規軍と共に學生義勇軍及地方民練出で工事を急いでゐる、又貴陽―重慶公路を利用して雲南に出で更に佛領印度支那に入る新軍用道路も十日前に完成し軍需品や食料は今後どんどんフランスから入ることになつた、交通部長張公權は目下廣西に在り粵漢線から分れて桂林經由印度支那との國境龍州に至る鐵道建設を視察中である

尚ニューヨーク・タイムズ紙は古代の東西交通路だつた天山北路の新疆橫斷道路建設を報じその政治的經濟的重要性を強調してゐる

昨年中の支那關稅收入

香港【二三】漢口來電によれば國民政府財政部は廿二日一九三七年中の關稅收入統計を發表したが、その總收入は三四二九〇〇千金單位で一九三六年の三四二、六三〇千金單位に比し五、六三%の増加となつてゐる、之は昨年一月より七月迄七ヶ月間の收入が海關開設以來の記録で二六二、二六〇千金單位に達した爲である(一九三六年同期より五九%の増加)

總收入譯左の通り(千金單位)

輸入稅	二二六、二九〇
輸出稅	二九、〇七〇
移出稅	二〇、一五〇
噸稅	三、二二〇
餉釐救濟附加稅	一四、五九〇
附加稅	一四、五八〇
計	三四二、九〇〇

巨額の補助紙幣發行

上海【二三】事變發生以來支那は軍費調達のため紙幣の増發を行ひ政府發表によれば法幣のみで既に二億元以上に達してゐるが事變の永續とともに軍費に窮した政府は今更に多量の補助紙幣を製造するに決した、即ち政府は武漢造幣廠に命じてその最高能力たる一日卅萬枚といふ巨額の補助券を印刷せしめることとし更に四川省内に新に完備せる造幣廠を建設してその要求に應ぜしむるに決定した、補助紙幣は一九三五年十一月幣制改革に當つて各省銀行に五百萬元を限度として發行を許されその流通範圍は發行省内のみに限られてゐるが事變發生以來避難民の移動激甚を極めるに至つた爲め政府は十二月よりその流通制限を撤廢し國內各地に自由に流通せしめ得る事にした、これが爲め補助紙幣の金融市場に占める地位は俄かに向上しその正確なる數字は推定するを得なくなつた、元々補助紙幣の發行總額は殆んど推定困難で相當亂脈を極めて居る事は想像されて居た處で今回この全國に流通性を持つた補助紙幣が更

に巨額の増發を行ふ事になつた事は支那通貨の價値に對して一層の脆弱性を加へるもので法幣の増發と共に際る法視される

共産軍々資缺乏

ニューヨーク【二三】山西方面の共産軍を指揮して對日抗戦を續けてゐる第八路軍副總指揮彭德懷が突然漢口に現れたことは時節柄種々の噂を撒いたがニューヨーク・タイムズ紙漢口特派員ライルマ・ダーヴィン氏が廿二日彭德懷にインタビューした結果彭自身の口から第一線部隊が軍資金の缺乏に悩んでゐると云ふ次の如き興味ある事實が暴露された

漢口によつて來た第一の目的は蔣介石に軍資金を増加して貰ふ爲めだつたがうまく行かなかつた、現在支給されてゐるのは月額五十萬圓だが十萬の軍隊を養つてゆくにはこれだけではとても足りぬ、現在我々は武器、食料品及び醫療品の缺乏に非常に苦しんでゐる數ヶ月前に約束した機關銃、高射砲も未だ受取つてゐない有様だ、それにも拘らず蔣介石は財政逼迫を理由に軍費増加の相談には乗れぬときつぱり斷つた、これでは日本軍の南山西進擊を第八路軍が阻止し得るかどうか疑問だ、併し余は尙ほ共産軍に恃む所あり、日本軍が見事山西を突破して離海線に進出することは不可能だと信じて疑はない、但し兩軍對峙の正攻法を全然無視した遊撃戰術だけでは戦に勝つことは難しい、第八路軍について見てもゲリラ戰に従つてゐるのはほんの一部分に過ぎず、主力は正規軍と同様堂々の陣を張つて抗戦を續けてゐる、同時に對

に巨額の増發を行ふ事になつた事は支那通貨の價値に對して一層の脆弱性を加へるもので法幣の増發と共に際る法視される

内作戦としてはこの際農村社會の痛たる地主制度を根絶する爲め農業革命が總對必要だ

四川省不穩

香港【一】元 漢口來電によれば國民政府が對日焦土抗戰の最後の據點と恃む四川省に輕視すべからざる暗雲が發生し各方面の注目を感じて居る。四川省は民國革命以來省內軍閥の相互鬭争により殘されたる封建的勢力地帯として中央の勢力も容易に及ばず前蔣介石が四川の中央化を圖つて賀國光らの參謀團を派遣して軍閥切崩しを企てたがそれも殆ど無効に終つたのであつた。この時突如漢口に呼び寄せられて居た同省主席にして最大の實權者たる劉湘が急死を遂げたので蔣介石は直ちに腹心にして四川人たる張群を主席後任に任命すると共に一方長年互つて劉湘と相反し四川省掌握の野心を抱いて居た劉湘の叔父軍長劉文輝を浙江省主席に任じて四川を逐ひ四川の完全なる中央化を企圖したが劉文輝は此の任命に従はず其部下軍隊及省民も之に反對して茲に頗る複雑な紛糾が起つたものである蔣介石はこの形勢を重視し張群の赴任を延期して先づ中央執行委員賀衷寒以下多數の四川出身將領を特使として重慶より成都に派遣彼等の説得に當らしめて居るが劉湘部下は彼が漢口に於て毒殺されたものと信じ中央に對し非常な反感を抱いて居る處へ劉文輝の浙江轉出か四川追放を意味する事となるので四川全省を通じて相當不穩の状態にある如くである

▲動搖防止に大奮 香港【一】元 四川省民衆の動搖、反中央色彩の濃厚化に對し

漢口大公報は廿九日次の如き「四川民衆に告ぐる」の社説を掲げて四川民衆の動搖防止、四川の中央化の必要を力説してゐる

支那に於ける最も注目すべき最近の進歩は國家の統一であり又中央政府の命令が國民全體に行届くことである。之は近代政府の最小條件として必要不可欠のものである。現在の如き危機に際しては政府の命令にいさゝかでも違ひ又は之れに變更を加へる如き事あらばこは必ずや支那の抵抗力を減削するに至るであらう、吾人は四川省民衆が國家的見地に立ち四川省を獨立の單位と考へる從前の態度を放棄せん事を切望する、我々新聞人には國家の安寧を願ふ以外他の政策は無い、我々は我が國を愛し四川の民衆を愛する故に斯る忠言を敢へて呈する次第である

支那軍の高射砲米艦に命中

ニューヨーク【一】元 廿九日ニューヨークに達したU.P.漢口電報によれば去る廿七日の我が航空部隊の漢口空襲に際し支那軍の發射した高射砲弾が漢口附近に碇泊中の米國砲艦ルソン號に命中、電信兵一名輕傷を負つた、又一弾はルソン號艦載艇舟に命中し乗組の支那人一名死亡し數名負傷した

▲米艦に故障無しと發表 上海【一】元 漢口U.P.電は廿七日我が軍の漢口空襲の際支那軍の高射砲弾が漢口碇泊中の米國砲艦ルソン號に落下命中せる旨を報したが廿九日午後四時半米國極東艦隊司令官ヤネル提督は新聞記者に對して數日間揚子江上にある米國軍艦には何等故障

なしと發表した 國府の赤化陰謀深刻 上海【一】元 最近のソ聯の對支武器援助は緩慢乍ら依然繼續され而も援助と交換的に何等かの條件を獲得して赤化の魔手を延ばしつゝあり、ソ聯は抗日戰の爲め蔣介石の勢力が次第に削がれるを好機とし中國共產黨を對して國民政府部内にリीडァーシップを掌握せしめんとし一方國民政府を誦らせて日本に對し斷末魔的抵抗をなるべく長期に亘つて續けしめ以て日本の國力を消耗せしめんとする長期戰術に出でつゝある、これが爲め確實なる筋

への漢口情報によればソ聯大使オレルスキー氏は最近政府要人と顔を合す毎に口を極めて長期抵抗の必要を力説して國民黨共産黨を打つて一丸とする抗日人民政府を樹立すべきを勸奨しつゝも武器供給の點に就ては確約を避けるを謂はれこの他漢口ソ聯大使館へ中國共產黨員の出入が最近特に著しくなつてゐる、これに對し國民政府部内に於ても共產黨の蠢動に對しては異常なる警戒を拂ひつゝあり特にC.C.團一派は最初から國共提携に反對してゐたが最近の情勢を見て種々對抗策を練りつゝあり過日の漢口ソ聯大使館の放火はC.C.團の仕業なる事略確實と謂はれ國民政府部内左右兩翼の對立愈々激化しつゝある

▲宋美齡のメッセージ 香港【一】元 當地滞在中の蔣介石夫人宋美齡は舊正月を迎へた支那國民に對し元旦の挨拶として香港デیلی・プレスを通じて左の如き荒唐無稽なメッセージを發表國民の抗戰熱を煽つてゐる

中國民衆は陰歷一九三八年の新春を悲觀的環境の内に迎へねばならぬ状態にある、昨三七年我が中國は統一の希望に燃え經濟的恢復は順調に進捗しつゝあつた、國民は新生活運動によつて生々とした生活を送り公路と鐵道は次第に擴張され各省の連絡は自動車道路によつて漸次確立しつゝあつた、その上廣東と上海及び中部支那との間には新しい鐵道が敷設され西南地方を貫通する豫定で更に香港と南支那との聯繫も益々密接となる趨勢にあつた昨年末には商工業共好況への移行を示したよつて悲鬱にも破壊された、彼等は支那の國民的統一及び經濟建設の進歩に對し疑懼の念を以て眺め數十年に亘り支那の國家的基礎を破壊する爲め凡ゆる努力を傾倒し、彼等は世界の對支信用を破壊するのに躍起となつて居り支那に多大の權益を有する諸大國を欺瞞し支那は企業經營として將來性が無く放棄するに然かずと説得せんとした、更に彼等は支那の問題に就て自ら唯一の仲介人となる權利を國際的に默認させ様と努力した、彼等は諸國が支那に確乎たる建設を行ふことは極めて容易だとの考へから自らも亦容易に大陸帝國を建設し得ると過信したのである、彼等の足掛りは非武裝地帯と傀儡政權の創設を通じての北支侵略であつた、この基礎の上に立つて彼等は支那破壊工作を開始したが支那は最後の名譽が傷つけられんとする時迄忍耐を守り沈黙を守つてゐた、然し支那は此處に到つ

て斷乎廻れ右をしたのである、支那は國民的凋落を目指す日本の行動へ抵抗し日本の對支計畫を挫折せしめその當事者を驚愕させ憤激させた、斯くて支那に於ける平和の維持と將來の繁榮とに對する希望は全く崩壊し一九三七年後半支那はその歴史上最悪の艱難に悩むこととなつたのである、かくて支那はその全土に亘つて破壊を蒙りつゝある結果は全世界に甚大の影響を與へつゝある、何者も將來を豫言する事は出來ないがもし私に同胞諸君に與ふべきメッセージがあるとすればそれは次の簡單な一句に盡きる、我々は強制された戰を戦つてゐるのだ、我々は勝手として勇敢に戦ひを續け家郷を守るのみならず偉大にして歴史舊き祖國の名譽を守らねばならぬ、若し我々が責任を自覺し祖先が我々に課した義務を自覺するならば完全なる犠牲を捧げ我等の行動が飽正義に基、事を信じ最後の勝利と名譽ある平和を確保する迄互に頑強に抵抗することは自分自身に對する義務であるばかりでなく死せる同胞に對する義務でもある

▲莫スクワに於ける孫科 莫スクワに於ける孫科は莫スクワ訪問中の國民政府遺囑特使孫科が果してソヴェト政府を動かして對支積極援助に乘出させるに成功したか否かに各方面の注目を惹いてゐるがフランクフルター・ツァイトウング紙モスクワ特電は廿一日孫使節の活動が餘り香しくなかつた旨示唆して左の如く報じてゐる

立法院長孫科は國民黨左派の代表としてモスクワに乘込み、ソヴェト政府を

動かして對支援助に乗出さずべく策動してゐるが、結局日支紛争につきモスクワから積極的援助を期待してはならない旨周囲の連中に納得させることが容易になつた模様だ

▲リトヴィノフと會談 モスクワ【二四】ソヴェト外務人民委員リトヴィノフ氏は来る廿六日開會の第百回聯盟理事會に臨むため廿四日午後五時モスクワ出發ジュネーブに向つたがリトヴィノフ人民委員は出發に先ち支那政府特使孫科と數回に亘つて會見したことが判明した、但し兩者の會見は今迄の所何等具體的結果には到達しなかつた模様である

上海【二四】外人側消息によれば去る十九日モスクワに到着した國民政府特使孫科は直ちに猛烈な活動を開始し同地外交界の注目を惹いてゐるが已に外務人民委員長リトヴィノフと數回に亘つて會見を遂げ殊に去る廿三日午前午後に亘つて長時間の密議を重ねる際リトヴィノフは孫科に對し

一 國民政府はソ聯邦に對し結局如何なる程度の援助を要求するの
 一 右援助に對し國民政府はソ聯邦に如何なる代價を與へんとするの
 の二點について明確なる表示を求めた、之に對し孫科はソ聯に與ふる代價に關しては即答する能はずとなし明示する事を避けたといはれる、然るにリトヴィノフはジュネーブに於ける聯盟理事會に出席する關係上孫科の確答無き限り速急に右取りきめを成立せしめる事は不可能でリトヴィノフのモスクワ歸來後に持越される模様である

▲スターリンと會見か モスクワ【二四】支那政府特別使節孫科は十七日モスクワ到着以來、ソヴェト政府の對支援助積極化に暗躍を續けリトヴィノフ外務人民委員とも數回會見したと傳へられるが、廿四日 A.P. モスクワ支局の報道によれば孫特使はスターリンとも既に會見したか乃至は近く會見することになつてゐることである、孫特使が今日迄にどの程度までソヴェト政府を動かすに成功したかは不明だが、一説によれば孫特使は外蒙軍を動員して對日抗戰に参加せしめる様極力要請してゐると噂されてゐる

▲行動は依然謎 モスクワ【二四】支那政府特別使節孫科のモスクワに於ける行動は到着以來既に十二日を経過した今日尚ほ一切不明で全く謎に包まれてゐるがアプス通信社モスクワ支局はその間の事情につき廿八日左の如く報道してゐる孫科特使のモスクワに於ける行動は全く秘密に附されてをり最高會議開會當時傍聴のため外交官席に姿を見せた際に外國新聞記者は誰一人孫科氏に近づくことを許さなかつた、孫科氏は更にモスクワ市内の博物館や文化機關、社會施設等にも足を運んだらしいがその目的に就ては全然探知し得ない、又ソヴェト要人中果して誰かと會談したかも明かでない、只今回のモスクワ訪問の目的がソヴェト聯邦の對支積極援助を得んとするにあつたことは何人も信じて疑はないがソヴェト政府は單獨で對支援助に乗出す意圖はなくスペイン内亂で手を焼いた苦い經驗から各國政府が侵略國に對して共同動作に出ることには先づないと見て居るので孫科

氏必死の活躍も遂にソヴェト政府の態度をかへさせるには至らなかつた模様だ

▲陳公博歸國 香港【二三】歐洲諸國を廻つて列國の對支援助を得べく奔走してゐた前實業部長陳公博は廿二日午前六時香港入港のポール・ゾーメルゲ號で歸國した

▲汪兆銘外遊か ロンドン【二三】廿三日香港發タイムズ特電は前中央政治委員會主席汪兆銘氏は最近愈々外國旅行の途に上ることとなつた旨を報道してゐる、同氏外遊の理由並にその使命に關しては一切判明してゐないが香港駐在の支那官憲は目下頻りに同氏の海外旅行に對する各種の準備を急いでゐる

▲許世英大使香港着 香港【二三】東京を引揚げた駐日大使許世英は廿七日午後四時半入港のエンプレス・オブ・エシヤ號で香港に到着財政部次長徐滄以下友人知己多數の出迎を受けて宿舎に入つた

▲死刑の判決・執行 上海【二四】漢口來電によれば韓復榘に對する最後の最高軍法會議は本日開廷され審理の結果即刻死刑の言ひ渡しあり午後七時判の執行を終つた、過去數年間山東の王者として權力を揮つた韓復榘も英雄の末路哀れ敢えなく刑場の霧と消えた

上海【二四】廿四日午後開かれた漢口の特設軍法會議法廷に引出された韓復榘は審判長何應欽より

一 上官の命令に従はず擅に退却せること

二 山東省人民を強迫して阿片を購買せしめたこと

三 惡税を強制徴收したこと

四 公金を費消したこと

五 山東省民の武器を沒收したこと

等五項目の罪狀を讀上げられ「死刑に處す」との判決を言渡されるや山東省の王座に在ること八ヶ年の長きに及んだ韓も流石に一瞬サツと顔色を變へ直立のまま深く首を垂れて一言も吐かず悲痛の面持で廷下に促された一旦退廷控所に於て最後の夕食を供されたが僅かに箸を取つたのみで黙然として居り隨て武昌陸軍監獄内死刑執行所に瘦身蒼白の姿を現はし無氣味に轟く銃聲を名残りに午後七時慘めな最後を遂げた、遺骸は直ちに韓の家族によつて引取られた、韓は河北省生れ年少の頃瀋陽軍の一兵卒として加はつてから異數の躍進を見せ一時は反蔣陣營中一方の雄として重きをなしたが山東省主席となつてから骨に日本側と國民政府側の兩天秤をかけて長く其地位を保持して來た、國民黨中央執行委員であり今次事

變後第三路軍總司令として山東防備に當つたが連戰連敗、濟南放棄の責任を問はれて極刑に處せられたものである、年四十九歳

ロンドン【二三】廿四日夜ロンドンに到着したロイテル漢口電は韓の處刑状況を左の如く生々しく報道して居る

韓復榘は軍法會議の判決を右の如く黙々と起立して聴いたが彼自身が今迄幾人とも知れぬ犯人に宣告した死刑といふ言葉が判士長の口から發せられるや流石に韓の顔面はざつと蒼白となつた、次いで韓は漢口對岸の武昌刑場へ連行され冷雨を降る中に起立、午後七時を合圖に兵士の銃口に斃れた

尙蔣介石は韓復榘の責任を死を以て問ふたが山東省主席としての生前の地位に鑑み極めて蒙着な棺を與へたと傳へられる

▲判決理由書 上海【二四】山東省主席韓復榘の統殺は今時事變を通じ支那側のなした最も大きな犠牲者であるが廿四日の最高軍法會議に於ける統殺判決書の要旨には

韓復榘は命令を奉ぜず故なくして濟南及び其の他の陣地を放棄して軍事上大損失に陥らしめたに依り死刑に處し終身公權を褫奪す

とありその事實としては

韓は抗日軍起るや第三集團軍總司令を兼任し次で更に第九戰區副司令長官に任ぜられたが職責を守らず軍事委員會委員長より德州への應援並に滄州への進軍をなし敵軍を牽制せよとの命令を發したるに拘らず命令を守らず又敵軍渡河に依り濰に濟南を放棄し泰安に撤退した、委員長は次いで山東南部の防備

☆ 肅軍テロ

韓復榘死刑執行さる

▲審判長は何應欽 香港【二三】重慶來電によれば國民政府は廿三日韓復榘の本兼各職を免じ山東省政府主席に沈鴻烈を任命し同時に韓復榘は戰時軍規違反の罪で一切の官職を褫奪され軍事委員會の手で軍法に照し處罰する旨發表した、尙軍事委員會は軍法會議の組織を終り審判長は何應欽が鹿鎮麟、何成濬の兩名審判官となり漢口で已に數回の審判開廷を行つ

を命じたが又守らず濟南まで退却して敵軍の侵入に任せ軍事上重大損失に陥らした

はれ一種の恐怖時代をさへ現出して居る抗日聯合戦線内部の矛盾は今や膿吹き出る如く表面化しつゝある、情報に依れば閻錫山及び馮玉祥も北支戦線の責を問はれ既に漢口に於て抑留監視されて居り

死刑 命に返す退却 師長 王守真 譴責 指揮失敗 第四路軍副總司令 香翰屏 飛行士の状況は左の如くである

☆抗日戦備

空軍再建に狂奔

ソ聯軍機機廿漢漢口に着 南京 蔣介石は漢滅に漸した支那空軍再建の爲めソ聯より大量の飛行機を仰いでゐるが、信すべき情報に據れば更にソ聯製重機機廿機が廿日蘭州經由漢口に到着したと謂はれる、尙蔣介石はこれら外國製飛行機その他殘餘の空軍を南昌、蘭州、宜昌、漢口、襄陽、廣東、長沙の各飛行場に分散集結せしめ敗殘空軍最後の足掻を試みんとする

來電に據れば支那軍に参加してゐる外國飛行士の状況は左の如くである 支那空軍の爲個人契約で働いてゐる外國義勇飛行家は日本軍用機を一機射落す毎に賞與が與へられる事になつて居り又日本機との交戦に於て負傷の場合には賠償金を受けてゐる、更に戦死した場合には賠償金が戦死者の遺族に送られてゐるが現在までに判明した戦死者は米人三名、佛人一名、負傷者はオーストリア一名、ニュージーランド一名であると云はれる、ソ聯より來た飛行士を初め外國義勇飛行士は決して自分の乗用機には支那人を近づけず支那將校の指圖を受けようとしな

劉和鼎、香翰屏も取調中

上海【二】劉和鼎の急死、韓復榘の銃殺により四川、山東の軍閥は遂に影を没し目下軍法會議に審議中の者に福州の第五十六師長劉和鼎及び廣東の第四路軍副總司令香翰屏ありかりにも反蔣的色彩を有する巨頭は遂に抹殺される憂目がある、取調の理由により行はれる巧妙且つソ聯の國內清掃に酷似した肅軍テロは今後益々熾烈化の傾向を辿るものと見られる

免職 作戦に努めず 師長 徐啓明 免職 作戦に努めず 師長 周祖晃 免職 作戦に努めず 師長 李松山 免職 作戦に努めず 師長 馮興賢 免職 作戦に努めず 師長 馮萬似 免職 作戦に努めず 師長 陳萬似 免職 作戦に努めず 師長 宋希濂 免職 作戦に努めず 師長 巫劍雄 免職 作戦に努めず 師長 羅 免職 作戦に努めず 師長 劉和鼎

支那軍閥長銃殺さる

滁縣【一】當地に達した確報によれば鳳陽に在る顧祝同軍の團長趙某は抗戦の無爲なるを知り日本軍に投降せんとせる事發覺、部下將校數名と共に一兩日前城壁上に於て衆人環視の裡に銃殺された、右は同地の支那軍が最近戰意を喪失しつゝある證據に外ならず士氣沮喪せる支那軍内部の情勢を物語つてゐる

地方軍將領續々処刑

上海【一】蔣介石は對日抗戦失敗の責を前線出動の將領に轉嫁し地方軍の高級將校を主とする多數の將領に對し假借なき處罰を續けてゐるが現在迄に判明せる主な氏名は次の如き多數に上つてゐる

免職 指揮失敗 師參謀長 甘清池 免職 指揮失敗 師長 王俊武 免職 指揮失敗 師長 陳 免職 指揮失敗 師長 張耀軍 免職 指揮失敗 師長 陳有明 免職 指揮失敗 師長 司徒洛 免職 指揮失敗 師長 羅目新 免職 指揮失敗 師長 孫長坡 免職 指揮失敗 師長 梁 免職 指揮失敗 師長 李景燈 免職 指揮失敗 師長 胡郁文 免職 指揮失敗 師長 陳家瑜

閻錫山も漢口に監禁か

上海【二】敗戦の責任を理由とする地方軍閥への蔣介石の彈壓は益々苛酷を極め高級軍官の死刑及び懲罰は相次いで行

閻錫山も漢口に監禁か

上海【二】敗戦の責任を理由とする地方軍閥への蔣介石の彈壓は益々苛酷を極め高級軍官の死刑及び懲罰は相次いで行

免職 指揮失敗 師長 陳家瑜

▲空の外人部隊内幕

香港【一】漢口

▲新鋭部隊を前線に増派

漢口廿五日發ロイテル電は京漢津浦、隴海各線に於て日本軍の進撃の前に陣容立直しに汲々たる支那軍の状況を左の如く報道してゐる

津浦線方面に於ける支那軍は日本軍の江蘇進撃が一時中絶してゐる間を利用して防衛を固めると共に盛んに新鋭部隊を前線に増派して日本軍の進撃を阻止せんとしてゐる、日本軍はこれに對し暫く鳴をひそめてゐるが増援隊の到着を待つて再び大攻撃を開始することゝならず、第五戰區總指揮李宗仁は最近蚌埠に至り支那軍の防備状態を視察したが更に蔣介石も二名の將使を夫々津浦、隴海線兩方面に派遣して支那軍の士氣を鼓舞してゐる、一方京漢線方面に於ける支那軍も最近非常に強化されたが、これは隴海、津浦線方面の日本軍が鋒先を一轉して鄭州の攻撃に移る場合を豫想したものと見られる

▲徐州死守の嚴命 上海【一六】蔣介石は徐州より隴海線にかけての會戰を以て國民政府の運命を賭けるものとし再三徐州死守の嚴命を發すると共に蕭軍工作を斷行して戰意を喪つた各路將領を威嚇しつゝあるが更に漢口來電によれば廿六日漢口に隴海、京漢兩線の支那軍高級司令官を招致し蔣介石、何應欽らを中心に軍事會議を開催

一 日本軍が徐州を攻撃する場合
一 隴海線に沿つて進撃される場合
の作戰計畫につき協議を重ねた一方津浦線前敵總司令李宗仁も前線各將領を集めて策戰を練つてゐる、尙支那情報によれば徐州を死守するため卅萬の大軍を徐州、蚌埠間に配備し防備陣地の強化に努めてをり彼等の徐州に對する關心は異常なもので外國人も亦同地で激戰展開するものと豫想してゐる

上海【一三】徐州開戰の切迫に伴ひ蔣介石は更に李宗仁及顧祝同等の津浦、隴海兩線の各將領に對し徐州死守の嚴命を發し鼓舞激勵すると共に京漢線南段許州を中心に中央軍大部隊を集結し空軍の根據地を新設して二段、三段の構へを施し日本軍の南北挾撃に備へてゐる

事變と列國動向

▲防備軍主力は廣西軍 香港【二一】鄭州方面戰線視察中だつた蔣介石は數日前漢口に歸り各將領を召集して連日に亘り漢口に軍事會議を開きつゝあつたが蔣介石視察の結果に基き津浦、隴海、京漢各沿線防備作戰は既に決定を見たものゝ如く徐州方面の戰闘を以て第二期抗戰頭戰となし卅萬を同方面に集中せしめて居り之が總指揮に李宗仁を任命専ら廣西軍を主力とするに決定、同軍の補充約廿萬は既に去る廿六日桂林發徐州戰線に參加すべく北上した

香港【二二】第二期抗戰の作戰準備に狂奔してゐる蔣介石は依然として中央直系軍を前線に立たしめず専ら雜軍を第一線に立たしめる方針を持ち徐州會戰に於ては廣西軍を主力として日本軍に當らしめこれにより廣西軍の勢力を弱めんとしてゐる、去る廿六日北上した廣西の新編軍は總數廿一萬廣西軍第三回目的北上で第一回は昨年八月北上第二回目は九月に廿萬を送つて居り廣西軍當局は近く第四回目的訓練を行つた上總數百萬を北上せしめると察語してゐるが第一軍區司令李宗仁もウマ／＼と蔣介石の雜軍整理の奸策に乗りつゝあり、一方江南總司令の名目を與へられ蔣の下に嚴重な監視を受けてゐる白崇禧と共に多年の懸案たる廣西問題解決の犠牲になるのではないかと見られる

新駐英美國大使赴任

▲チャーチル氏米國の驟起要望
ロンドン【二三】保守黨の元老ウィンストン・チャーチル氏は廿五日のイヴニング・スタンダード紙に寄稿し日支紛争に關し次の如き意見を發表した
上海侵入以來日本軍が外國特に英米兩國の權益尊重に付き如何なる氣持を持つてゐるかは種々の事件で既に充分外國人にも知れ渡つた事と思ふ、然し日本が眼の仇にする英米兩國は最近五十年間銳意日本の近代化と發展を援助し親善維持に努めたのである又歐米諸國も日本の安全及び繁榮を阻害する意思は毫も無く終始日本品の好き顧客であつた、又支那に於ても支那人の幸福と自由を希望し且通商企業を替まんとする以外他意なきに拘らず内には未次大將の白人騙逐論を生じ外には不祥なるパネー號事件の發生を見るに至つた、之に對し我々は斷乎たる態度を以て臨まねばならない、今ワシントン條約は失効し日本は既に建艦競争に乗出してゐる、目下の所太平洋に於ける米國海軍力は日本に劣るとは思へぬが必ずしも油断はならぬから米國も更に建艦に努めるだらうし英國も亦パリの原則に依つて増艦するだらう、從て日本は其建艦能力に於て英米兩國何れにも拮抗し得ない事は明瞭だ然し直接の重大問題は米國人が太平洋に於る責任に付き如何なる見解を取るかに懸つてゐる、勿論米國は英國其他歐洲諸國のため支那問題に付き火中の栗を拾ふ愚を爲す事はなからう、然しながら未次大將の抱懷する主義の下に廣大な支那領土と民衆を日本が軍の力に依り制壓する事になれば米國民の安全及び自由は保障され得ないだらう、米國政府及び國民が右の事態を通觀するならば極東の平和及び文明擁護の爲め當然激起すべきである、然も一九三一年當時英米兩國間の誤解は既に一掃されてゐるから若し米國が極東に於て積極的對策を講ずる事になれば英帝國は充分精神的實力的援助を與へるに吝でないだらう

▲英空軍元帥香港着
香港【二四】英國空軍の最高職たる空軍總監空軍元帥サー・エドワード・エリントン氏は近東、極東に於ける英國空軍檢閱の途廿四日午前十一時半イムベリアルエアウエー機で香港に到着した、香港空軍檢閱の上卅日同會社機で歸國する筈

▲香港空軍施設視察 香港【二五】英國空軍總司令エリントン將軍は廿七日錦田軍用飛行場を視察した、廿八日は香港島及九龍半島並英領内各所に設けられてゐる高射砲陣地を視察次いで香港防備軍空

軍機を召集して訓辭をなしたるのち卅日香港發英國に歸還する豫定で香港の防空並空軍根據地としての施設整備に努めてゐる。

香港の對日貿易

香港【二三】香港政廳は本日對日貿易に關し左の如く發表をなした、一九三七年に於ける當地の對日貿易は輸入五八、〇四四(單位千圓)輸出二〇、〇四〇、輸出合計は一九三六年度に比して二、〇九一の増加を示してゐる、右は上半期輸入の増加によるもので上半期の日本からの輸入は三九、〇〇〇下半年輸入一九、八〇〇、十二月中の日本からの輸入は、八〇〇で一九三二年のポイコット以來最低記録である、對日輸出も同様激減し上半期一四、三〇〇、下半年七、六〇〇、十一月、十二月三月月の平均は七〇〇で一九三六年中の月平均二、〇〇〇と比し非常な對照をなしてゐる、尙一九三七年上半期には日本は香港貿易の三位を占めてゐるが下半年三月月には最下位に落ちた日本を除く昨年中の香港貿易は輸入總額一〇〇、五二二、輸出八六二、五四九で一九二九年の不況以來最好況を呈した(銀塊輸出入を含む)

香港英商好況

香港【二三】外人商社側消息によると從來漢口經由揚子江を下つて上海に移出されてゐた輿地特産物は事變以來揚子江航行が全く遮断されたため爾來漢口から粵漢線、廣九線を経て香港に出で同港から海外に輸出されて居るが最近頃に輸送量増加し特に桐油の如きは夥だしき量に達して居るといはれる、今後中部支那より

粵漢線經由香港に集散される特産物は可なり多額に上るものと豫想されて居る、而して香港は國民政府に對する唯一の軍需品供給地であるだけ輿地物資の集散激増と共に同地英商側は非常な戰時好況振りを呈して居る

香港よりの支那現銀積出額

香港【二三】(香港政廳發表)昨年中支那本土から香港に流入した銀貨、銀塊總額は三億八千六百四十四萬八千香港ドルで當地から米國及びロンドンに積出された現銀總額は三億九千五百廿二萬六千ドルである、その内二億六千二百六十一萬七千ドルは支那銀貨で本年に入つてから既に三百五十萬ポンドの銀貨がロンドンに積出され又廿二日出帆のピーオー汽船ホルフ號では百五十萬ポンドが積出された

米國揚子江警備隊司令官更迭

ワシントン【二三】米國海軍省は廿一日米國揚子江警備隊司令官エドワード・J・マクワート少將の後任にアジア艦隊參謀長デイヴィッド・ルブレトン少將を任命した旨發表した、ルブレトン少將は來る三月同司令官に就任する筈だが海軍省では右更迭は定期異動に過ぎぬと言つてゐる

米國上海派遣部隊引揚

ワシントン【二三】米國政府は上海の情勢好轉に鑑み昨年八月同地に派遣した陸戰隊を全部撤收せしむるに決定、卅一日海軍省から次の如く發表した

海軍省は昨年八月サシデイユゴから上海に派遣した陸戰隊千五百名を來月ホルルに移轉させることになつた、上

海の情勢は最早これら部隊の駐屯を必要としないからである、但し同陸戰隊が恒久的にホルルに屯駐し眞珠灣根據地を強化することになるかどうかは未だ判明しない

パネー號事件賠償要求額

ニューヨーク【二三】廿三日のニューヨーク・タイムス紙ワシントン特電によれば米國々務省では目下パネー號事件に關する損害賠償要求額を研究中だが大體總額百萬乃至百五十萬弗となる模様では死傷者に對する弔慰金並にパネー號の船體代價金を含むものといはれ要求額は實際の損害額に止め報復的に過大なる賠償を要求することはないものと解されてゐる、國務當局の漏す所によればパネー號の建造費は海軍省の帳簿では五十萬弗となつて居り結局之に死傷者に對する弔慰金並に慰問金及び各個人所持品に對する賠償金を加算したものととなるやうである最後の要求額は負傷者の負傷程度如何によつて定まる模様だが死者に對する弔慰金は前例によれば一人一萬弗である

支那非戰關員傷病者救援

ワシントン【二五】米國赤十字社總裁キヤリー・グレソン氏は廿五日支那非戰關員傷病者救護に關するルーズヴェルト大統領の書翰を公表した、右書翰に於いてルーズヴェルト大統領は日支紛争の犠牲となつた支那人非戰關員のため米國赤十字協會が率先救援金募集に着手することを要請してゐる、國際赤十字委員會はさきに日支兩國赤十字に對し救援基金の送付方につき問ひ合せたが日本赤十字は「自國だけで十分處置する」旨謝絶し來

つたのに對し支那側は外國の援助を切望する旨回答したと云はれる、米國赤十字社はルーズヴェルトの右提唱に應じ近く百萬弗を目標に一般市民から救援基金を募集する模様である

ソ聯大使型破りの新任の辭

ワシントン【二五】新任駐支ソヴェト大使ルガネツツ・オレルスキー氏は廿二日重慶に於て國民政府主席林森氏に對し信任狀を捧呈したが廿四日ロンドンに達したロイター重慶特派員の報道によれば信任狀捧呈に際しオレルスキー新大使は林森主席に對し左の如き型破りの挨拶を述べ國民政府を激勵したと言はれる

オレルスキー大使語る 香港【二三】

重慶來電によれば新任したソ聯駐支大使オレルスキー氏は廿三日午後二時半新聞記者團に對し次の如く語つた

ソ聯政府は十月革命に於て宣布した民族間の友誼博愛の原則並にレーニン、スターリンの指導精神によつて國民政府との間に絶對平等相互尊重の基礎を確立せんと期してゐる、ソ聯政府は支那の統一、獨立自由のため領土的野心は毫も有せずの存在發展のため協力するの準備あることを力説するものである

駐支ソ聯大使九死一生
ニューヨーク【二五】漢口發A.P.電によれば駐支ソヴェト新大使ルガネツツ・オレルスキー氏は廿四日飛行機で重慶から漢口へ向ふ途中機體に故障を生じ已むなく宜昌に不時着したがその直後日本軍の宜昌爆撃が行はれ飛行場にも多數の爆彈が落下してオレルスキー大使は一時非常な危険に曝されたと言はれる、同日の日本軍宜昌空爆に於ては主として飛行場並に埠頭が爆撃の目標となり多數の郊外家屋が破壊されたが、更に數個の爆撃は揚子江上に碇泊中の米國砲艦ツツイラ號(三七〇噸)附近にも落下したと傳へられる

ソ聯大使重慶より漢口に歸る

上海【二三】ソ聯新大使オレルスキー氏は廿五日隨員を從へて漢口に歸着した、大使不在中に大使館が怪火のため焼失したので目下適當なる家屋を探し大使館事務所を設けるべく準備中である、獨逸大使の和平斡旋が國府側の拒絶により遂に長期戦に入つた今日同大使今後の活躍は

- 一 武器及一般戰時資材並に技術者供給等の積極的援助を命すべき否か
 - 一 中國共產黨の發展に共產黨員の國民政府内重要位置獲得
 - 一 英國の對支援助との矛盾
 - 一 和平斡旋國たる獨逸との對蹠的關係等幾多の重要問題を控へて世界的注視の的となるものと見られる
- ソ支協力の原則確立
ベルリン【二六】フェルキシャー・ペオパハター紙がモスクワよりの情報として傳へる所によれば國民政府特派孫科氏と

ソヴェト政府との數次に亘る會談の結果
ソ支協力に關し左の原則が確立されたと言はれる

一 ソヴェト政府は外蒙に對する支那の主權を認め國民政府がウランバートルに代表を派遣し之を外蒙政府の一員たらしむることに同意する

二 外蒙軍とソヴェトの駐屯軍とを合せ外蒙の兵力は現在廿萬に達するがソヴェト政府は國民政府に更に二百萬ルーブルのクレヂットを與へ武器其他の物資を供給する

三 國民政府に對するソヴェトの軍事數官を増員する

四 以上の代價として國民政府はソヴェトに或種の通商權益を與へる

ソ聯空軍援助益々積極化

天津【二五】ソヴェト聯邦新駐支大使オレルスキー氏が南京政府への信任狀捧呈の際爲した言辭はソヴェト聯邦の對支援助を實踐すると共に極めて抗日的であり、飽くまでソヴェト聯邦が國民政府の後押しをして長期抗日戰を持續させんとするものであることは既に明白であるが更に最近軍事的には左の如き大々的な技術家及び飛行機の供給を行つてゐる、即ち確報によれば本月中旬ソ聯より支那に供給したものは戰闘機、輕爆機何れも時速百五十軒より二百四十軒のもの百五十臺で内七十臺は既に我が陸海軍の空の荒鷲に擊墜又は爆破されてゐる、一方本月十日頃には重爆機卅五臺が漢口に送られ更に購入済みのA一〇九重爆百五十臺と共に合計二百臺の重爆機が待機、技術家もこの飛行機供給と併行して多數招聘され

れ目下漢口だけでも航空士約五十名、技師、機關士百名が直接接續して戰闘に參加し或は指導に當つてゐると

ソ聯日本の小包取扱中止

モスクワ【二五】ソヴェト政府は日滿當局がソヴェト飛行機を不法抑留したと稱し報復手段として一月廿七日以降日本向け及び日本からの小包郵便の取扱を當分一切禁止するに決定、廿七日タス通信社を通じ左の如く發表した

日滿當局は去る十二月十九日方向を誤り滿洲國領に不時着したソ聯郵便機及び飛行士並びに同機に積載して居たソヴェト市民の多量の郵便物を長期間不法に抑留してゐるのでソヴェト政府は之に付き日本政府に度々申入れを行つたが今日に至るも遂に満足なる回答に接しない、以上の情勢に鑑みソヴェト郵電人民委員部は日ソ郵便小包交換協定第五條に基き一月廿七日以降日本向け及び日本からの小包郵便は直接郵送たると通信郵送たるとを問はず、その取扱ひを當分一切中止する旨一月廿六日附日本通信省に對し通告した、但し一月廿八日以前他國からソヴェト經由日本に發送された小包及び日本からソヴェト經由他國に發送された小包、並びに取扱中止發令當時ソヴェト領内に在る小包はそれぞれ發送先に郵送される筈である、郵電人民委員部はソ聯と小包交換協定を有する各國通信省並びにベルンの萬國郵便聯合事務局に對しこの旨通告した

パネー號映畫波瀾而上映禁止

ワルシャワ【二五】米艦パネー號事件のニュース映畫は最近ポーランドに輸入され此の程特に招待された廿五名の外國新聞記者の前で非公開放寫が行はれたがポーランド政府當局は廿三日同映畫の上映は日波兩國の親善關係に悪影響を及ぼすとの見地から一般公開を禁止した

在京印度人獨立決議

【二五】在京國家主義印度人は印度獨立運動記念日の催しを行ふ爲廿六日午後六時印度獨立聯盟主催の下に新宿中村屋に參集先づ印度獨立旗掲揚式を行つた後聯盟會長ボース氏記念日の意義に就き一場の演説をなし

吾人は印度國民が完全なる發展をなし得る爲に自由權及生存權を持つことは何人にも拒否し得ざる處なりと信ず、而して他國政府が此權利を奪ひ印度國民を壓迫するの時國民は斯かる政府を排斥消滅せしむるの權利を有するものと信ず、故に吾人は印度が速かに英國より分離し完全獨立の達成に邁進することは極めて當然なりと確信すとの決議を可決した

新疆に東于族の叛亂

ニューデリー【二五】新疆からニューデリーに達した情報によれば新疆回教徒東干族は過般來新疆省政府に對し叛亂を起し騷擾を續けてゐるが廿七日に至り省政府軍の手により漸く叛亂鎮定した、省政府は和闐に於て東干族暴徒一萬八千名を逮捕したといはれる、因みに東干族は漢回ともいひ漢化した回族の一で近年屢々新疆に騷動を起した馬仲英は漢回の首領である

☆ 日枝丸事件 其他

日枝丸爆破に支那の實手

ヴァンクーヴァー【二五】郵船日枝丸爆破の陰謀事件に就ては米國並びにカナダ警察當局が協力して背後關係の探査に努めてゐるが廿日深更參事人としてヴァンクーヴァー警察當局に喚問された犯人ジョージ・パトリックの兄ウィリアム・パトリックの供述により果然爆破陰謀の背後に支那の魔手が動いてゐることが判明した、ウィリアム・パトリックの供述要旨左の通り

ジョージ・パトリック並びにラルフ・フォーサイトの兩犯人は某支那人から軍需品の輸送に當る日本商船を爆破する模倣され双方の間に密約が成立してゐた、兩犯人は日枝丸爆破計畫に成功した曉莫大謝金を送られることになつてゐたのである

尙問題の時計仕掛け爆薬は廿一日午後に至り漸く發見された、發見の場所は日枝丸から約二百廿呎離れた棧橋の下で鐵道の枕木に結びつけた問題のストークスを發見、取調べの結果ストークスの中にはダイナマイト三百六十九本とヒューズ廿八本、それに例の時計仕掛けが仕組まれてゐたが犯人の決めた廿日午前一時半の爆破時刻が来る前にストークスの中に水がはいつた爲爆發を免れたものと判明した

背後關係はカナダ方面

ヴァンクーヴァー【二五】日枝丸爆破未遂事件に關する米國側官憲の取調べが進行するに伴ひ背後關係がカナダ側にあるとの嫌疑濃厚となり未だ米國からカナダに對し正式の通告は無いがヴァンクーヴァー警察も既に日枝丸事件に對し活動を開始した、共犯パトリックは始め事件の黒幕はサンフランシスコ方面にあると供述したが最近に至り背後關係の存在はヴァンクーヴァー方面が有力となり某方面に有力秘密結社の存在説も行はれ又共產黨系にも嫌疑がかつてゐるのでシアトルから米國の警官二名がヴァンクーヴァーに出張、ヴァンクーヴァー警察署と協力して取調べ中であるが初めの計畫では去る十二日日枝丸がシアトルに向ふ途中ヴァンクーヴァー港入口のライオン

ス・ゲイトに待受けスピード・ボートに多量のダイナマイトを取付け船に向つて突進せしめ爆破しやうとしたのだが快速ボートもダイナマイトも入手出来ず實行出来なかつたことが判明した、又ダイナマイト買入れに奔走したのはフォーサイト、パトリックの兩名以外の人物なることも判明、愈々ヴァンクーヴァー方面に黒幕の存在することが確實視されるに至つた

齋藤大使米政府に感謝

【二五】齋藤駐米大使は廿八日廣田外相の訓令に基き國務省にハル長官を訪問、日枝丸事件に關し米國政府の示した好意ある措置を感謝し更に今後に於ける注意方を希望する旨申入れた

慶洋丸へ脅迫狀

ニューヨーク【二六】日本郵船のニューヨーク航路貨物船慶洋丸(六、四四二噸)は廿六日ニューヨークに入港アルックリ

ン波止場に繋留されたが同船に對し陸名の脅迫狀が數通舞込んだので日枝丸事件の直後ではありニューヨークの特別警備隊は波止場に頭張つて嚴重警戒に當つてゐる

▲慶洋丸船員に挑戦 ポストン 【一三】慶洋丸は廿九日ニューヨークからポストンに向ひ警備隊の嚴重警戒裡にポストンの陸軍用波止場に繋留された、丁度同波止場に並んで繋留中のオランダ汽船サレイン號(六、五六三噸)の支那人水夫達は慶洋丸船員に對し波止場で決闘を申込み一時は殺氣だつたが警官の仲介で漸く事なきを得た

樺名丸荷役人夫罷業

ミドルスブロー 【一三】英國ミドルスブロー港荷揚人夫は廿一日郵船樺名丸に對し鐵網の積込みを拒否し反日氣勢を擧げた、右は「極東に於ける日本軍の横暴」に抗議する爲めと稱してゐるが労働組合側では荷揚人夫の積込み拒否は組合の承認を経たものでなく全くの單獨行動であると言明した

▲積荷なしで出港 ミドルスブロー

【一三】郵船樺名丸は荷揚人夫のボイコットで積荷不能に陥つてゐるが労働組合首腦部の最後の努力も効なく荷揚人夫はあく迄荷役を拒絶した爲同船は止むなく廿三日積荷なしで出港することゝなつた労働組合側では事件を埠頭人夫の合同協議會へ報告することゝなつた

▲積荷を拒絶 ミッドルズブロー(英國)

【一三】ミッドルズブローの埠頭人夫は廿七日樺名丸に對し鐵材四百噸の積込みを拒絶したが更に廿八日右貨物を樺名丸

の代りに英國船ブータン號(積込みむこと)も拒絶した、一方これに呼應して開催された埠頭人夫の會合に於ては運輸労働者組合地方書記長が埠頭人夫の日本船積荷罷業は組合本部が承認した措置でないことを強調したにも拘らず遂に「如何なる事情の下に於ても日本向貨物の取扱ひは拒絶すべし」との決議を滿場一致を以て可決し更に埠頭人夫組合の指導者ベンチレット氏は廿八日人夫組合の幹部連に對し左の如き報告を行ひ日本向貨物積荷ボイコットの氣勢を煽つてゐる

「ミッドルズブローの對支援助運動委員會は廿九日の日曜日を期し會合を催して埠頭人夫の行動を支持する筈であるが樺名丸が豫定通りロンドンに寄航した場合はロンドンの人夫連も同様の行動に出るであらう」

英荷揚人夫反日決議

ロンドン 【一三】ロンドンの荷揚人夫は卅日組合幹部の反對を押し切つて反日大會を開催、政府に對し軍需品、石油の對日輸出禁止、對日クレデット供與禁止を要求する旨の決議を採擇した、一方當のミドルズブロー港に於ても同時に反日大會が開かれ領事館駐佛大使令嬢は樺名丸の積荷をボイコットした結果少くも數百人の支那民衆が日本軍の空爆から救はれて命拾ひをした、日本は銃鐵、鋼鐵等の積荷からどしどし爆彈を製造してゐるのだ

と紅い氣球を擧げ結局ロンドン荷揚人夫大會同様の決議を行つて反日氣勢を擧げた、右に關し對支援助運動委員會は卅一日次の如く言明した

埠頭人夫は樺名丸の積荷拒絶の結果を

れだけ收入が減ることゝなるので、英國労働組合乃至は労働組合會議が正式に樺名丸積荷拒絶を認める迄暫定的措置として埠頭人夫救済資金募集運動の開始を考慮中である

白山丸に積荷を拒絶

マルセイユ 【一三】マルセイユ埠頭人夫は入港中の郵船白山丸に錫、ニッケル等の積込みを拒絶した、拒絶の理由は日本がフラスコ國家の一つであるといふのだが白山丸がこれが爲め已むなく金屬類の積荷を斷念して廿八日橫濱に向け出帆した

米船支那人船員罷業

サンフランシスコ 【一三】米國聯邦海軍局所有船フェデラル號は大阪向けの鋼材及びレール類を積載し日本に向け出航決定のところ同船乗組の支那人船員卅九名は米國政府の同貨物運輸阻止方を要求し廿四日突如罷業を開始した、支那人船員側の言分によれば突如罷業に出たのは自分達は香港から乗船しニューオーレアンズ向けの航海に就いたが本船は歸航にサンフランシスコから上海に向け支那政府用の軍需品を輸送するものと信じてゐた、本船が日本向けの貨物を輸送するとなれば全く話が違ふ

と言ふにある、聯邦海軍局はサンフランシスコ支那總領事館と協議の結果争議中の支那人船員を下船せしめ支那へ送還することに決定し且下同船の周圍を嚴重警戒してゐる、右に關し在サンフランシスコ支那總領事黃朝琴氏は語る

フェデラル號の所有者たる聯邦海軍局は支那人船員を他の船便により支那に

送還し別に新乗組員を傭み入れることに同意を表した

▲フェデラル號出航

サンフランシスコ 【一三】フェデラル號は卅日午後白人船員だけでサンフランシスコを解纜、目的地日本に向つた

濠政府、埠頭人夫に警告

シドニー 【一三】日支事變に伴ひ最近各國の埠頭人夫間にも排日運動の擡頭を見つゝあるがこの運動は遂に濠洲にも波及し濠洲の埠頭人夫組合聯合會は卅一日左の如き意圖を濠洲聯邦政府へ通達した埠頭人夫組合聯合會は羊毛小麦其他一般の日本向け貨物の荷役を行ふにやぶさかなるものではない、然し軍需用材積荷はヒューゲッセン大使事件や中立國船に對する誤射事件等に盡み之を行ふ事を拒絶する

これに對しライオンズ首相より左の如き警告的聲明書を發し労働者の輕舉を戒めて居る

個々の國家が自己の政策を實現せんとして之に熱中する事は外國との關係を却つて困難化するものである、埠頭人夫聯合會の行動は濠洲を紛争の圏外におかないで却つて國際的紛争を發生せしめる傾きのある事をよく注意して貰ひ度い

然し濠洲政府は埠頭人夫がその行動をもつて平和促進に資するものと眞剣に考へて居る事を考慮に入れ埠頭人夫を別に強壓するが如き意圖はない様である、政府としては埠頭人夫側と充分協議してこれ等を納得せしめんものと鋭意努力して居る

☆ 排日貨運動

ロミエ氏日貨排斥の愚を指摘

パリ 【一三】フランス國內の排日貨氣潮は國際平和擁護聯盟並に左翼諸黨、労働組合等の決議に應じ漸次昂まつてゐるが右翼フイガロ紙社主リユシヤン・ロミエ氏は廿一日同紙上にボイコット問題に關する論説を掲げ日貨ボイコットの無益を警告して左の如く述べてゐる

ボイコットは經濟制裁の一種だが制裁は百害あつて一利ないものだ、蓋し制裁の實施に當つては被制裁國以外全部の共同動作を確保することは到底困難であり一方制裁は被制裁國を不必要に刺戟し之に自給自足を餘儀なくさせるからだ、第一の理由に對しては封鎖手段がありと答へる者があるかも知れないがそれは結局「海上の戦争」を意味し凡そ制裁の目的を離れること遠い、且それに伴ふ危険は甚大なることを知らねばならぬ、對伊制裁の經驗により以上は既に證明済みとなつてゐる、然も世人はこれに懲りず再び對日ボイコットの叫んでゐる状態である、然しながら日本は制裁に對しては島國たる點、大海軍國たる點、支那、印度、マレー及び濠洲等の大顧客たる點又は米國自身に對してもその顧客たる上その原料品輸送者たる點に徴するもイタリヤより遙かに有利な地位にあることは明らかだ、對日ボイコットの如き危険中の危険といはねばならない

米下院對日通商停止決議

ワシントン 【一三】ペンシルヴァニア州

選出共和黨下院議員ロバート・リッチ氏は廿六日下院本會議に於てルーズヴェルト大統領に對し日本軍が支那領土を占領する間、對日通商關係の停止を要求せる有志議員連署の決議案を提出した

對日壓迫強調

ワシントン【一六】米國外交政策協會會長レーモンド・ビュエル氏は廿六日全米國防婦人會議主催の晚餐會の席上國際協力による對日壓迫を主張し大要次の如き強硬論を吐露した

列國は宜しく共同して日本に對して經濟ポイコット政策に出づべきである、又米國は強大なる陸海軍を建設すると共に民主主義諸國を糾合して日本が支那に於て創造すべき傀儡政府を承認の協定を作る必要がある

日本生糸不買運動

ワシントン【一六】ネブラスカ州共和黨上院ジョージ・ノリス氏はワシントン婦人購買者聯盟提唱の日本生糸不買運動を支持し廿四日左の如き見當外れの意見を發表した

日本は支那に於て數萬の支那人を殺戮した日本は生糸を賣つて現金を手に入れないければ事實上戦争を繼續し得ないのだから余はこの不買運動に賛成する次で「若し米國の婦人達が絹靴下をはかなくなれば米國の靴下製造業従業員連は失業しはしないか」との質問に答へノリス議員は左の如く語つた

若し生糸以外の材料で靴下製造を行へばその代用原料並に靴下の製造のため現在同様の労働者を要するから失業者を出す心配はない

日本帽子の防禦要請

ワシントン【一六】米國上院財政委員會分科委員會の公聽會に於て製帽業者J・W・フアーレイ及び製帽労働組合書記M・E・グリーンは左の如く述べ日本製帽子の輸入防禦方を要請した

近來低廉なる日本製帽子の輸入が著しく増加し米國製帽業に脅威を與へてゐるのでその輸入を防禦され度い、又最近毛製帽子の輸入を許可されることになつたがこれは不當である

▲製帽工排斥運動 ニューヨーク【一五】米國帽子製造工の有力團體たる合同製帽工國際組合では今回米國労働總同盟執行委員會に書翰を送り

日本品の無軌道のダムピングより米國労働を防禦するため至急適切な處置を執られたい
と要請し又労働者の關係協力によつて日本品の世界的ポイコットを実現すべしと主張してゐる

絹靴下不買反對運動

ワシントン【一三】米國靴下製造工聯盟の代辯者の語るところによると同聯盟では失業女工を動員して絹靴下ポイコット反對の示威行進をする計畫を進め各々協議中である、今日までのところこの計畫は何等具體化してゐないが若しこれが實現されればこの示威行進には「吾等の仕事を救へ」と言ふような標語を掲げ次の意味の聲明を發して大いに氣勢を擧げると噂される

絹製品のパイコットは絹業に何等利害關係もなく又その生活に何の脅威も感じない一部金持のインテリ女性や左翼

分子が先頭に立つてやつてゐるものである、而かも彼等のポイコット運動は日本に何等の打撃を與へないのみならず東洋の情勢にも何等の變化を齎し得ないものである、これは唯失業者を増すだけでアメリカに取つても何等の經濟的影響を與へるものではない、要するに絹製品のポイコット運動は事々に外國の論争に容喙せんとする富有上流婦人の虛榮心に媚び、これがため絹業職工廿五萬の幸福を犠牲にして顧みないものである

尙ほ一説によれば、多數の失業女工が大統領官邸附近にポイコット反對示威行進を行ふべく来る廿八日大舉して特別列車でワシントンに乗り込む豫定だと傳へられたが、この報道はその後否定された、然し何れにせよ絹ポイコット反對の氣運は次第に昂まりつゝあることが感知される

米國國際的友日行動不參加

マイアミ(フロリダ州)【一五】米國労働總同盟(E・F・L)は廿五日マイアミで執行委員會を開催、英、佛、ソ聯、スウェーデン、スイス、オランダ各労働團體提唱の國際日貨排斥並に對日武器禁輸案を審議した結果各國提携して反日行動を行ふ案は参加しないことに態度を決定した、但し日本の侵略的、非文明的戦争を阻止する見地から日貨排斥の手段に訴へる用意ある旨聲明した

比島に「支那友の會」生る

ロンドン【一三】國際平和擁護聯盟はセシル卿を會長に排日貨運動の急先鋒として全世界に呼掛けてゐるが廿一日同聯盟の日貨ポイコット決議に呼應し比島の左

製團體が「支那友の會」を組織し日貨排斥に乗出す旨の通電に接した旨發表した比島左翼團體の通電内容次の通り

比島人並びに在留外人有志は刻下の困難に直面する支那民衆を援助する爲め「支那友の會」を組織した、我々比島人は日本軍部の傳統的侵略政策により自國の獨立が危殆に瀕すべきことを充分自覺し、民主的獨立國家たる比島の運命が支那の運命と固く結びつけられてゐることを認識するものである友の會は支那援助の大衆集會を開く他日貨の排斥、日本の帝國主義的宣傳驅逐に努力しよう

南阿にも排日風

ケープタウン【一五】ロンドンに於ける英國全國労働評議會の日貨排斥運動に呼應し南阿聯邦に於ても労働組合聯合の指導下に排日貨共同戦線結成運動が活潑に行はれてゐるが一方南阿労働評議會も原産地表記のない日本品の販賣阻止のため過般來麗々政府に陳情を行ふなど排日貨の空氣が相當濃厚化してゐる

新據で日本品に重税

ニューデリー【一三】新據からニューデリーに入つた情報によれば新據省政府は廿七日省内に輸入される日本製商品全部に對し一率十二割五分の從價税を賦課する旨公布した

香港で排日團手入

香港【一三】香港政廳は廿一日夜突如香港海員公會本部に手入れを行ひ緊急條例第十六條の規程により同會の解散を命じた、香港政廳側では同會は單に會員の利益の爲に活動してゐるものでなく政治的

性質を有し政廳にとり好ましくならず認めたと稱してゐる事變勃發以來同條例の發動を見たのは之が最初であるが消息通方面では當局は事變以來同會の活動特に同會が濠洲及米國の労働團體と文書で連絡をとり日本船に對するポイコットを使喚し來つた事實及同會の組織を擴大香港に労働總同盟を結成して政治的活動を企圖してゐる點を注目探査を進めた結果今回の發動となつたものと見てゐる、同會の解散により香港を中心に反日ポイコットをアチつてゐた有力な抗日團體の消滅を見た譯である

外紙論調

對日貿易禁止は空論だ(デイリー・テレグラフ紙)

ロンドン【一六】廿六日のロンドン各紙は廿五日午後首相官邸で行はれたチェンバレン首相と労働黨首ブレメント・アドリー氏との會見記事を掲載しアドリー氏はチェンバレン首相に

- 一 日本に對し借款クレジットを與へること
 - 一 日本品の輸入を禁止すること
 - 一 軍需品の對日輸出を禁止すること
- の實行を求めたと報道してゐるがデイリー・テレグラフ紙は社説に於てアドリー氏の主張を反駁して次ぎの如く論じてゐる
- 外交政策に對する國民の容喙は害あつて益なき場合多く今回の労働團體の建言も正にこの適例である、斯る政策を採用すれば極東の事態は益々紛糾するに至るだらう、對日輸出入禁止は産業

中國新政權

北京臨時政府

北京臨時政府の態度に呼應

日本政府的態度に呼應
北京【二三】臨時政府當局は再開された帝國議會に於ける對支論議に多大の關心を拂ひその動向を注視してゐるが近衛首相、廣田外相がその施政演説及び議員の答辯に於て

- 一 帝國政府はその使命達成のため今後共多大の犠牲を拂ふ覚悟であること
- 一 日本政府は將來國民政府を對手として和平交渉をすることが絶対になきこと

一 新政府の確立にあらゆる努力を惜しまず之と提携して更生支那の建設に協力するものであること

を斷乎として闡明して居る事に多大の敬意を表し今後共日本が此の方針の下に新政權の發達強化に援助を與へられん事を希望して居る、而して北京臨時政府は同政權の發達強化こそ時局收拾の重要條件であるとして安定の基礎となすべきに鑑み本年に入つてから建設的歩調を急ぎ各段に亘つて積極的工作を繼續して來たがその結果郵政事務の如き河北省百卅餘縣の全地城殆んど平常化し約一ヶ月を要した郵便物も僅々四、五日で京津方面より到着して居り京綏、京漢、津浦、北寧各線の運行も舊に復し殊に冀東防共自治政府の接收實現は新政府の前途に一段の光彩を加へて居る、又冀東政府に次で新政府

重大聲明發表

北京【二三】臨時政府は日本政府が去る十六日發した「國民政府を對手とせず」との聲明に關し感謝の意を表すべく準備中であつたが廿七日午後二時左の如き重大聲明を發した

△聲明全文

國民黨の國を誤り人民に被害を及ぼせるは一黨一身の利得に専念し國家人民の利益を顧慮せざるに起因す、我等の罪惡は事實に照して既に明白にして今更吾人の評論を俟たずとも萬人の齊しく認むる所唯其顯著にして最も重要な點を指摘せば九・一八事變以來六ヶ年間其經過を回顧するに先づ無抵抗主義を唱へ次で一面抵抗、一面交渉といふ不得要領の政策に終始し更に廿四年の冬に至り中樞の改組に際して愈々抵

界に反對されてゐる事實を善措いても全く實行性の無い議論に基いてゐる、第一に何の國がこの衝に當るのか、其實行には各國協同する趣旨だと言ふものゝ實際は大海軍國たる英國が一手に之を引受けねばなるまい、第二に米國との協力が必要になるが當の發起人にも其の成算が無い、過去の架空の議論は宣傳には有効かも知れないが支那を開放し日本の侵略を阻止することの出來ぬのは判りきつたことだ、アトリー氏も首相の地位にあつて同様の建策を受けたとしてチェンバレン首相と同じ返答をするのが落だらう

日本政府の起債煙幕(ニユース・クロニクル紙)

ロンドン【二三】最近日本商社の海外起債計畫に關し本日ニユース・クロニクル紙は左の如き觀測記事を掲載してゐる

日本では最近外國クレデットを獲得してこれを間接的に事變費に振り向けんとする運動が新に盛頭してゐる、然し日本は英米に於て直接に政府公債を發行することは斷念してゐる如くその代り民間會社をして起債せしめこの煙幕の影に匿れて所用のクレデットを得んとしてゐる、例へば滿鐵はスイスに於てクレヂ・スイス銀行その他の金融業者と多額のクレデット設定を交渉中であり又滿洲國に投資してゐる日本の貿易會社及び滿洲重工業開發會社から夫々歐洲及び米國に代表者を派遣してクレデット獲得に努力してゐるが何れもその目的は他にあると見ねばならぬ

中立法改正賛成(ニユース・クロニクル紙)

ニユース・クロニクル【二三】廿四日のニユース・クロニクル紙は「賞讀すべき平和増進案」と題する社説を掲げ中立法改正運動を支持して左の如く論じてゐる

ワシントンに開催された婦人團體七百萬會員を代表する第十三回戰爭防止會議の決議は最も包括的且合理的であるこれは米國々民の國際問題に對する理解が増大したことを示したものである殊に中立法を改正して侵略國に對しては輸出を禁止するが侵略行動の犠牲國に對しては輸出禁止條項を適用しなくともよいと云ふ權限を大統領に與へようとする決議案は時宜を得てゐる

蔣も赤化せん(ニユース各紙)

ベルン【二三】スイスの各新聞は一概に支那事變は新事態に入り今後相當永引くとも觀測してゐるが、主要新聞の論調は左の通り

△アンド紙(急進共和派)【二三】蔣介石の第二抗日戰略は結局その破滅を招き支那は共產黨の天下となり蔣介石自身も赤化し、日本も困難するであらう

△ノイエ・チユリッヘル・ツァイツング紙(急進共和派)【二三】ソ聯は支那を援助してゐるが英米の海軍の動く迄は赤軍を動かさぬであらう、今のところ中央アジアに軍事的建設をなし或は軍用道路を設け浦鹽より太平洋に出る準備をしてゐる

△バースラ・ナハリヒテン紙(自由共和派)【二三】ドイツは日獨伊防共協定に基き共同の目的のために活動せんとしたゐるが日本が支那に向つて單獨に進出したため防共協定について再考するかも知れぬ

もその目的は他にあると見ねばならぬ

抗の準備必要を高唱するに至れり、又西安事件に際會するや共產黨に強要されて聯ソ共の政策を容認せり、或は抵抗準備に名を藉り民間に多年蓄積せる現金、財寶を搜索して其全部を外國へ輸出せり、又昨夏蘆溝橋事件起るや當時はその實衷心より戰爭を欲せざるもその部下に脅迫され遂に今日の大事を惹起せり、その經過を見るに彼等の所謂準備なるものは僅かに上海だけの一事に就いて見ても百餘萬人の兵民の生命を犠牲に共せしのみならず血肉を以て抵抗すと豪語せるもその事實内容は五六月間に數千億の資材を徒に消耗せし以外に何物もなくその準備とは果して何物なりしや、上海より敗退して焦土政策を提唱し居るも徒に自ら焦土として退却するのみにて抵抗して焦土とするに非ず、其何れにあるや甚だ不可解の次第なり我が國人は何の責めありて斯かる禍ひに遭遇するや其遺憾に堪えざる所なり、彼等黨政府は既に吾人の政府たる資格を喪失せり彼等黨人は専ら民衆を脅かして其權利を保持せんとし國人を欺瞞して排日を煽動し種々の毒計を策す、若し恬然として尙從來の欺瞞計畫を行はば内部の崩壞を招来するは必然の論結にしてこの情勢よりすれば如何なる便宜を與ふるも亦藉す時日を以てするもその反省は到底望むべからず、今に至り彼等と絶縁するは又止むを得ざる所なり、友邦日本も亦東洋平和の素志に甚きその反省を促せども彼等は遂に反省する所とならず自ら墓穴を掘る、茲に於て我等同人は十二月十四日黨人に代りて民を救

の傘下に入るべき山東省の接收に就ても具體的工作が進められてゐるし、治安回復した濟南、青島に結成された治安維持會には特に臨時政府より補助金を公布すると共に政府機關として濟南に統稅公署を開設し署長に陳叔剛氏を任命し青島には同分署を設け特派員を派して開署の準備を急がせてゐる、斯くて臨時政府が山東省全殿の接收を終り省長を任命して新しき山東再建に乗り出すのも二月中と見られるから同省をその傘下に擁した後の臨時政府の基礎は愈々鞏固となり眞に時局收拾の中心勢力たるの體格を整へることになるであらう

はんと念願し臨時政府を組織せしに友邦日本は去る十六日聲明を發して遂に黨國政府を對手とせず、新興政府と國交を調整し更生新中國の建設に協力し以て東洋平和に寄與せんとするの決意を明かにせり、これ我等同人の最も欣快にたえざる所にして吾人又友邦の協力により戰禍を蒙れる民を救ひ共産赤化を絶対に排除し更生國家の建設に努力し相共に携へて東洋平和確立に邁進せんことを期す

寺内大將臨時政府訪問

北京【一六】北京移駐に當り新政府支援の聲明を發し軍務に精勵しつゝあつた北支派遣軍最高指揮官寺内大將は廿八日初めて臨時政府を正式訪問、委員長王克敏氏以下政府委員と挨拶を交換した

▲寺内大將災民救恤費寄贈 北京【一七】

北支派遣軍最高指揮官寺内大將は災民救恤金として金一萬圓を廿九日北京市に寄贈した、余北京市市長は右金額を以て粟を購入し市内居住災民二萬二千七百月に卅日夫々分配附したが災民などは舊正月をあすに控へ思はぬ贈物に大喜びである

北支幣制問題

【一三】廿二日衆議院本會議席上民政黨の川崎克氏は北支幣制問題に言及し北支幣制を我國にリンクせしむる必要あることを述べたが之に對して賀屋藏相は同感の旨答辯し今後その方向に漸次率く方針である意を明かにした

天津南方系銀行邦人に貸出し

天津【二四】當地支那側各銀行は從來邦人に對し貸出を拒否してゐたが中國聯合

準備銀行設立の進歩による客觀情勢の變化に伴ひ最近中國、交通兩銀行共同で天津にある裕豐紡、公大紡、東洋棉花の各社に對し各二百萬元、日本棉花江南に對し各十萬元を棉花買付資金として融通することを承諾した、從來大藏省の爲替制限の拘束のため兎角梗塞されてゐた北支棉花の買付資金も現地調達の途が拓けたものと云ふべく同時に北支經濟界の明朗化を語るものとして各方面より多大の期待がかけられてゐる

北京新聞同業協會結成

北京【一九】北京に於ける漢字新聞及び通信社卅五社（支那人經營卅社、日本人經營五社）は今回公正なる輿論の指導、新聞人相互の親睦、日滿支三國の救恤を目標とし北京新聞同業協會を結成することに決し廿九日午後一時より新民報社屋内に於て發會式を舉行、名譽會長に新民會副會長張燕卿氏、名譽副會長に晨報社長宋介氏を推戴し會長には新民報社長武田南陽、副會長に雷電通信社長歐大慶及び華北日報社長猪上清四郎の諸氏が夫々就任した、而して同協會の結成に當り支那側や漢字通信社が悉く率先之に参加したことが及同協會の成立宣言中に滿洲國の名稱を公然使用してゐることは今後の北支輿論の動向を示すものとして注目される

★關稅改正

關稅改正の趣旨

北京【二三】臨時政府は現行輸出稅率を改正廿二日より之を實施することに決定廿一日北京外交大樓に於て行政委員會

委員長王克敏氏より改正稅率の發表を履行したが之と同時に今回の關稅改正の趣旨に關し臨時政府當局談を發表した

今次の中華民國臨時政府の關稅改正は本政府成立以來一ヶ月に亘り關稅委員會を経て慎重審議せしめた結果發表せられることとなつたものである、輸入稅は荒廢地を復興せしめ尙民衆を救濟せんとする見地から絕對的に必要なる最少限度の品目に對して現行稅率を減免した、輸出稅率は荒廢地の産業を復興するため必要なる若干品目につき適當なる減免を行つた、右稅率の改正は上述の見地に基いて庶民を救濟せんが爲に行はれたもので海外各國に對しては何等の差別的待遇をなしてゐない、尙冀京政府方面で從來行つて來た特別貿易は既に廢止せられ今後一律にこの改正稅率を適用し以て貿易の安定を計らんとするものである

布告公布

北京【二三】臨時政府は廿一日今回の關稅改正に關する布告を公布したがその要旨左の如し

關稅は國家收入の大宗にして財政上重要な地位を占めるのみならず通商及び産業上に密接なる關係あるに鑑み本政府は茲に各海關の整備を行ひたり、全國海關行政を正し併せて各國債權を保證せんことを期す、而して本改正に當つては從來の海關規則に據るを原則とし本政府の施政方針に基き左記の各件に改正を加へこれを各國關係官に通達すると同時に一般商民に告知す

- 一 滿洲國及び關東州を外國と見做して一律に左の如き輸出入稅を徵收す
- 甲 特産物を滿洲國及び關東州に輸出する場合輸出稅を課す
- 乙 滿洲國及び關東州より輸入する場合は輸入稅を課す
- 二 從來輸出入稅率中一般人民の救濟及び生活安定上最も必要と認められるものに對しては適當の改正を加へ且つ中華民國廿七年一月廿二日より實施す
- 三 從來實行したる關稅附加稅は直ちにこれを徵收することを取止む、但し災區救濟のため稅額百分ノ五の振濟附加稅を賦課する

る、この外文戰後及び水災區の惡疫の流行を阻止するため血清ワクチンを無稅輸入とした點等も注目し得るので當局の苦心の跡が窺はれる、その他大衆必需食品食料品が平均五割前後引下げられたものを始め凡て八十品目について大市引下げを斷行し今後北支貿易の振興は素より戰災區の復興、一般大衆の福祉増進上劃期的なものとして新政府の英斷が各方面の好評を博してゐる

改正稅率好評

天津【二三】臨時政府の第一次稅率改正は民衆本位とした極めて思ひ切つた稅率引下げであり、北支は素より各方面から絶大なる好評を博してゐるが天津日本商工會議所では語る

輸出入主品目の稅率が何れも引下げ又は無稅となつてゐることは今後日支貿易の疎連圓滑を來し兩國の貿易に劃期的飛躍を來すものと思はれる、北支よりの輸出について見れば先づ棉實、棉花の暫時無稅、羊毛類の二・五%引下げ、更に礦物の暫時免稅等原料品が安く日本に入り殊に北支は有望なる原料地域で一時的でも北支より低稅率のものが入ることは喜ぶべきである、一方輸入品について見れば舊稅率に比し先づ食糧品中海産物が一律に半減又はそれ以下のものとなり小麥粉に至つては無稅、砂糖は五割方低下、小麥が無稅となり更に織物類も大市の引下げを見て北支民衆には生活必需品が安價に手に入り大いに恩澤を蒙る譯である、又鐵鋼板や亜鉛板その他機械類の稅率引下げは北支の建設に貢獻する事大である

稅率改正の主眼は農村復興

天津【二三】本日發表された改正稅率の内特に注目されるのは農村の復興を緊急第一義として棉花、棉實、亞麻子の輸出及農業機械、小麥粉、米、粳等の輸入を無稅とした點であるがこれにより北支唯一の農産物たる棉花の輸出を促進し農民大衆を潤すに非常に役立つものと見られ

★冀東政府合流

歴史的調印完了

北京【一三〇】冀東防共自治政府は臨時政府成立とともにこれに合流すべき解消宣言を發し合流に關する諸般の準備を進めつゝあつたが愈々右準備の完了を見るに至つたので卅日午前十時半北京寺内部除特務部に於て中華民國臨時政府行政委員長王克敏氏と冀東防共自治政府政務長官池宗墨氏との間に合流に關する兩政府の協定に歴史的な調印を行ひ二月一日より臨時政府に合流することとなつた

合流協定全文

北京【一三一】臨時政府が冀東防共自治政府と合流する協定全文左の如し

中華民國臨時政府と冀東防共自治政府は從來の批政を拂拭し防共に努め更に進んで友邦との親睦強化を圖ることに互にその希望一致し茲に前項の目的を達成し並びにこれを有効ならしめるため双方商議の上冀東防共自治政府を解消して中華民國臨時政府に合流することを決定せり、右協定左の如し

第一條 冀東防共自治政府は民國廿七年二月一日を以て中華民國臨時政府に合流す

第二條 冀東防共自治政府の一切の政權は中華民國臨時政府これを繼承す

第三條 中華民國臨時政府は冀東防共自治政府成立の意義及びその對内外の宣言並に聲明に對して飽迄これを尊重する義務を有す

第四條 冀東防共自治政府がその權限に基き行使したる一部の行政行為に對しては中華民國臨時政府が有効なることを認めこれを尊重すべし、又同政府が個人及び法人との間に締結したる契約及びその他の協定はその性質に應じて中華民國臨時政府及び河北省公署に於てこれを尊重し日滿兩帝國臣民及びその他の外國人に對しても亦同し

第五條 日滿兩帝國が冀東防共自治政府との間に締結したる契約上の義務は中華民國臨時政府に於て繼承し並に誠實にこれを履行す

第六條 冀東防共自治政府の官吏は速かに中華民國臨時政府に編入す、その細目の條項については別にこれを定む

第七條 冀東區域の行政費に關しては冀東の現状を維持し並に民衆の福利を低減せしめざるを以て原則としその細目の條項については別にこれを定む

第八條 一切の政務交替は行政部の特派員が日本帝國特務機關の立合ひのもとにこれを實行す

第九條 本協定は署名調印の日より効力を發生す

署名調印して證據とす
中華民國廿七年 一月卅日
北京寺内部除特務部に於てこれを作製す
中華民國臨時政府行政委員長 王克敏
冀東防共自治政府政務長官 池宗墨
立會人 喜多 誠一

▲二年間の業績 北京【一三二】卅日北京に於て成立した合流協定によつて二月一日より臨時政府に合流することとなつた冀東防共自治政府は民國廿四年（昭和十年）十一月廿五日防共自治の旗幟を掲げ通州に成立してより幾多の輝かしき業績を發し茲に二ヶ年二ヶ月餘にしてその歴史的使命を完了した事である、同政府は五色旗を掲げて獨立を宣言するや國民黨の批政を根本的に艾除すべく先づ二百六十八種目に亘る惡税を廢棄し約百六十萬元の民衆負擔を輕減すると共に民衆の福祉増進に意を注ぎ庶民金融機關として裕民公司（資本百萬元）冀東銀行（資本五百萬元）を設立し又農民政済のために農業合作社の結成を獎勵扶助して好成績を擧げた、貿易關係では特に歴史的に有名となつた冀東貿易を開始し從來の排日的高率關稅を廢止四分の一乃至三分の一程の查驗稅を徵收して冀東黄金時代を現出した、その他孔子の教を遵奉した新教育方針を採用し國民黨教育との根本的總縁を斷行交通通信治安方面にも幾多の功績を残したが特に外交方面に於て日滿兩國と終始善隣としての友好關係を持續し昭和十一年四月十五日池宗墨秘書長が修好專使として滿洲國新京を訪問翌十六日植田關東軍司令官と會見して股肱耕長官よりの感謝狀を呈し更に滿洲國外交部大臣張燕卿氏と會見し親善書翰を提示し兩者の關係を深めたこと及び舊臘廿四日北京帝國大使館に於て池宗墨政務長官代理と森島參事官との間に通州事件解決に關する公文が交換された事實等は歴史的に記録されるべきところであらう

河北省を四道に區劃

北京【一三三】臨時政府は地方行政については現在の省及び縣の中間行政區劃として清朝當時の道制度を復活、道尹を置き中央及び地方の行政を整備する方針でその準備を急ぎつゝあつたが今回愈々冀東政府の解消合流が決定したのでこれを機會に臨時政府に合流後の冀東區域廿二縣一萬五千方哩、人口約七百萬人に道制を布き河北省全體を四道に區劃してそれぞれ新たに道尹を任命し地方自治の確立を圖ることとなつた、尙冀東政府政務長官池宗墨氏は合流後臨時政府に入つて樞要の地位に就任するものと見られる

通州事件賠償は臨時政府繼承

北京【一三四】通州事件損害賠償に關しては舊臘廿四日北京日本大使館に於て森島參事官と冀東政府政務長官池宗墨氏との間に交換された公文によつて損害賠償總額は百廿萬圓としそのうち四十萬圓は即日手交されたが殘餘の八十萬圓に就いては卅日締結された臨時政府と冀東防共自治政府との合流協定中の第四條第五條に於て冀東政府が締結せる契約上の義務は一切これを臨時政府が繼承する事となつたので右の通州事件賠償に就ても臨時政府がこれを繼承し今後日本政府と臨時政府との間の問題に移される事となつた

☆經濟開發

日支經濟協會近く成立

天津【一三五】臨時政府は北支産業開發に關する日支經濟提携の指導機關として日支經濟協會（假稱）を北京に常設すること決定、同協會は會長一名（支那人）及び委員六名（日支人各三名）を以て組織し委員は夫々産業、金融、交通、通信等の部門別に部長を兼任し經濟提携工作の統制指導に當る管で會長には元交通總長曹汝霖氏を起用する方針である

北支鐵道交通の發展

北京【一三六】戰區地帯の治安回復安定化と共に北支一帯に於ける鐵道交通網は着々と平時運轉に復舊し既に北寧、京綏兩線は全線開通し京漢線は北京、順德間、津浦線は天津より德州までの運轉を開始して居るが北支明朗化と並行して交通網も著しく増大各鐵道關係當局も之が對策に忙殺されて居る、此の状態に對應して各鐵路局に於ては之が改良を研究した結果ダイヤ及び列車配備の新計畫成り二月一日を期し今後一段の交通運輸の圓滑化が實現される事となつた、即ち

一 北寧線 北寧鐵路局と鐵道總局の間で協議した結果先年の通車協定に幾分の改訂が行はれ新に特別協定が成立した、此の結果北京奉天間は旅客のみならず貨物の通車も二月一日を期し實施される事となり滿支間の貨物輸送は山海關で積換へる事なく著しきスピードアップが實現する事となつた、又同線では旅客通車の増發をも二月一日より行ふが北京天津間の急行列車を二本に増し現在三時間半を要するのを二時間で突破轉換する旅行者の便利を圖る

一 京綏線は二月一日を期し北京包頭間直行列車を二本に増し之に著しきスピードアップを行ふ結果北京包頭は廿七時間と言ふ空前のダイヤを決定した尙この外北寧鐵路では既に龍烟鐵線の特

別運賃を設定したが最近鐵道運賃の統一が要望されてゐるので(新ダイヤは次頁参照)近く實現を見るものと期待されてゐる。

▲天津滿鐵事務局北京へ移轉 天津

【二六】天津特別第二區に在つた滿鐵事務局は廿六日午前十一時一齊に北京に移轉した。

糖廠、山東製糖工廠を買収

【二三】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【二四】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【二五】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【二六】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【二七】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【二八】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【二九】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【三〇】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【三一】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【三二】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【三三】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【三四】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

【三五】北支新政權の樹立に伴ひ該地方に於ける各種産業開發計畫は着々具體化しつゝあるが日本糖業聯合會では北支隨一の製糖工場にして博益實業公司の所有にかゝる山東製糖工廠(資本金五百萬元、拂込三百八十萬元、社長元北京市長袁良氏、大正十年五月創立、能力年産甜菜糖一萬五千ピクトル)の買収方を申込みました。

に決定、目下同社及び總督府より技師が現地に出張して買収交渉中である。

長城炭礦近く採炭開始

奉天【二三】先に東拓が經營に乗り出した舊冀東地區長城炭礦は諸般の準備完了愈々來る四月頃より一齊に採炭に着手することゝなつた、これに伴ひ從來運轉中止中であつた同炭礦附屬長城鐵道も右採炭開始と同時に復舊運轉することゝなり目下鋭意之が準備を進めてゐる。

天津に取引所設置計畫

【二六】北支産業開發の一機關として天津に有價證券並に特産品の取引所を設置せんとする計畫が大坂長期取引員杉道助氏及び東京、大阪、名古屋、神戸の關係者卅一名により進められてゐるが、この程中華民國臨時政府發起何所に提出された右計畫内容は次の如くで、當局の許可を得次第發起人會を開催する筈である。

一 名稱、株式會社天津株式取引所

一 資本金、二千萬元、内四分の一拂込

一 上場物件

有價證券及び棉花、綿糸、羊毛、大豆、豆粕、豆油、小麥、小麥粉、高粱、とうもろこし、砂糖、落花生

一 取引員

日滿支人に限り、定員五十名とす

山西省内各工場場の委任經營

【二三】天津發卅一日大阪府立貿易館入報、山西省内の治安回復進捗に伴ひ省内經濟界の復興が急務とされるに至つたので最近左の如き省内各工場を内地の資本家に委任經營せしめる事に決定したがこの結果山西省開發も急速に進捗するものと期待されてゐる。

△王子製紙 晋恒製紙廠、晋同製紙廠
△東洋紡績 晋華紡績公司
△鐘ヶ淵紡績 晋一製革工廠、同義長製革工廠、大益盛紡績、雁裕紡績、長生紡染工廠、益紡染工廠、西北實業公司毛織工廠、同製革工廠、同便化廠、△中華マツチ 西北實業公司、火柴公司
△日東製粉 晋裕麵粉廠、晋省電燈公司麵粉廠、大谷麵粉廠、榆次麵粉廠
△大倉組 西北實業公司鍊鋼廠、保晋鐵廠

△淺野セメント 西北實業公司洋灰廠
△興中公司 太原その他の電灯公司
△日本化學 省内の化學工業

△滿鐵及び興中公司 太原附近の炭業

北支の電燈着々復舊

奉天【二三】一月中旬以來約二週間に亘り北支電信電話業務視察中であつた廣瀨滿洲電信電話會社總裁は卅一日午前十一時五十分着列車で奉天に到着左の如く語つた。

臨時政府の手で設立された河北電政總局の業務開始狀況を始め蒙疆方面の電信電話事業をも視察した、電政總局は支那軍の爲破壊された天津電話局の復舊、北京百キロ放送完成、冀東側機關の合併等着々計畫が進捗してゐる。

蒙疆聯盟

外相答辭に就き德王談

綏遠【二三】廿九日の議會に於ける蒙疆政權に關する石坂繁氏の質問に對し廣田外相のなした答辭は蒙疆各政權より非常に好感を以て迎へられてゐるがこれにつ

いて蒙古聯盟自治政府副主席德王は卅一日左の如く語つた。

議會に於ける廣田外相の答辭は我が蒙古民族に對する友邦日本の絶大なる支援と滿蒙及び新しき支那政權の強化擴大を端的に表明せるものとして滿腔の賛意を表するものである、我々蒙古民族は日本を盟主とする大アジア建設の一翼として將又暴戻赤色コミンテルンに對する鐵桶の一大防波堤として益々使命の重且つ大なるを痛感するものである。

逆産處理方法決定

綏遠【二三】去る一月十日蒙疆聯合委員會に於て行はれた逆産處理合同委員會の決定に基き三自治政府は夫々逆産處理、官有財産の整理を急ぎつゝあつたが廿五日全文十五條より成る逆産處理法を發布即日施行した、本法は滿洲國の逆産處理法を基礎とし之れに現地の特殊事情を加味せるもので直接若しくは間接に國民政府又は國民黨部に依據して權勢を濫用し私利を圖り安寧秩序を紊亂して人民に對し多大の損害を蒙らしめたる者その他新政權樹立に有害の行爲ありその罪跡重大なる者の所有し又は直接間接に占有する一切の財産は逆産と見做してこれを沒收する、而して政府は新たに逆産處理委員會を組織し逆産の調査沒收處理に當らしめる事となつた因に、鐵道、鑛山、電信等三自治政府に相關聯する逆産に關しては三政府の代表委員を以て組織せる逆産處理委員會をしてこれに當らしめる。

三代表新京訪問

張家口【二三】蒙疆聯合委員會委員陶克陶、杜運宇、馬永魁の三自治政府代表は廿一日午後零時卅分張家口發列車で滿洲國新京を訪問、關東軍司令官、國務總理等と會見し蒙疆政權最近の情勢、滿洲國蒙疆今後の相互善隣關係等につき隔意なき意見の交換を行ふと共に今後とも絶大なる聲援と協力を與へられるやう懇請することゝなつた。

蒙疆聯合委員會代表杜運宇氏一行は廿三日午後六時廿分新京着列車で入京直ちに國都ホテルに入つた、一行は廿六日迄滯京日滿各機關を正式訪問の筈で廿三日夜談話の形式で左の如きスタートメントを發した。

今回の滿洲國訪問は關東軍及び滿洲國に先般の御禮と今後の指導を要請する爲めである、察南及び蒙古の治安状態は頗る良好であるが晋北は遺憾ならまだ全面的には良くない、蒙滿兩族一致し防共と民族協和に邁進して居るから日ならずして平和嚮を現出するであらう、聯合委員會成立後道路、鐵道の改修、電信電話の架設など各方面に枚擧に連ない程の實績を擧げその他他種鐵礦の開發、郵政の恢復等も着々効果を擧げてゐる、交通方面に比して産業方面は遅れ勝ちだが次第に日滿兩國の援助を仰いで整備して行く覺悟である。

新京【二三】蒙疆聯合委員會委員杜運宇氏一行は關東軍及び滿洲國政府當局との會談を終へ今後の指導要請を了したので廿六日午後二時廿分新京發列車で日滿關係者多數の見送りに歸國の途についた。

☆ 經濟開發

產業振興四ヶ年計畫

張家口【二六】蒙疆產業三ヶ年計畫の樹立に就いて過般來蒙疆聯合委員會に於ては各般の意圖を參酌審議中であつたが其の結果更に規模を擴大して蒙疆振興四ヶ年計畫に改め可及的速やかに立案を終り遅くも三月初め迄には成案を得て日本朝野の協力を求めることとなつた、規模擴大の理由として次の二點が擧げられて居る

一 蒙疆百年の大計を建てる爲めには産業各部門の開發計畫に止らず治安、財政、金融等打つて一丸とする綜合的觀點に立つを必要としそれに民生の向上を目的とする各種施設計畫を加味し就中蒙古民族の覺醒發展を期さなければならぬ

一 日滿蒙支の鞏固なる經濟プロツクを結成するためには日滿産業五ヶ年計畫と歩調を合せ緊密な聯絡を執らねばならぬ、之が爲めには計畫の期間を四ヶ年とし鐵、石炭等の國防産業の外鐵道、電氣、羊毛等各種重要部門に就き日滿、支、蒙疆一體とする生産力の擴充方針を樹立せねばならぬ、計畫内容は目下釐々審議整備されつゝあり郵政、電政計畫の如く既に三ヶ年計畫として略決定を見たものゝ外鐵、石炭、畜産の蒙疆産業の三大大宗を始め金、銀、鉛、亜鉛、食鹽、タンクステン、モリブデン、石棉等の礦物資源の開發之に關聯する鐵道、自動車道路、水運、電力の建設擴充に就いても大體方針の決

定を見た模様である、製鐵、石炭液化等も考慮されてゐるが外國に器材を仰がねばならぬものや豊かでない材料を必要とする高度産業は當分差控へられる模様である、尙ほ此の計畫遂行に必要とする財源に就いて日本財界と一部署地調停に俟ち農、畜産等に要する費用は蒙疆各政府の支出に俟つこととなつてゐる

蒙疆電氣通信設備會社創立

張家口【二六】獲て設立準備中であつた蒙疆電氣通信會社はその後日本側との折衝成り愈々來る二月中旬日蒙合辦で蒙疆特殊法人組織とし資本金一千二百萬圓(四分ノ一拂込)の蒙疆電氣通信設備株式會社として張家口に創立される、出資額は日蒙双方折半とし蒙疆聯合委員會六百萬(中二百萬圓は現物出資)日本電信電話工事會社六百萬圓となる模様で同會社は蒙疆聯合委員會の郵政、電政統制計畫に基きその施設維持を擔當しその運営には委員會の外局として設置される郵電總局之に當り會社に對し使用料を支拂ふもので同會社の配當は六分を維持する見込である、事業計畫は三ヶ年計畫で初年度資金五百五十萬圓で拂込額の外不足額二百萬圓は社債乃至借入金によるものと見られるが日本無線又は簡易保險局に之を仰ぐ事となる模様で同會社の特色とすべきは民有國營の點である、尙蒙疆聯合委員會交通顧問伊藤裕氏は會社設立の最後の接衝の爲東上した

▲郵政計畫
蒙疆郵便制度の設備機能は大體復活を目標とするがこれに要する資金は約五百萬圓と推定される

氣通債株式會社が二月中旬創立されることとなり一方政府側は郵政總局を設置して施設運籌の萬全を期することとなつてゐるが所謂蒙疆郵、電政三ヶ年計畫の内容は次の如くである

▲電政計畫

一 警備通信網は現狀に比し約倍加される豫定である、即ち現在の總延長八千三百キロメートル内七千キロメートルは施設を改善し六千キロを新設する外蒙疆四十九縣のうち廿五個所に無電を設置して補助とする

一 商業通信は包頭、青龍間を新設して鐵道及び一般通信に供する大都市通信として張家口市内通話の自動化の外大同、豐鎮、綏遠、包頭各都市の通話設備を改良擴張する、なほ宣化、懷來、蔚縣に電話を新設する

一 蒙疆畜産開發會社設立計畫が中心議題をなし蒙古聯盟自治政府案及民間團體紡石本博士案等を參考とし蒙疆地區に於ける一般畜産物改良、増産、配給方針その他日滿蒙畜産統制案などが討議される豫定である

製粉對策近く決定

張家口【二六】蒙疆製粉業の有望性に着目した内地當業者は早くも大同の大同麵粉公司(日産四百五十袋)綏遠の綏遠電燈公司麵粉廠(日産一千袋)の經營方に就き當局に願出するが蒙疆聯合委員會では同事業の重大性に鑑み各自治政府の意見を聽取して製粉對策を決することとし七日代表者を張家口に招致することとなつた、尙此の外に張家口に小工場あり何れも逆産又は蒙疆銀行の擔保となつてゐるものである

大阪の巡回見本市

大阪の實業家を以て組織せし東亞輸出組合は大阪府及び市商工會議所の後援の下に二月十二日より張家口と綏遠で巡回見本市を開催する事となり目下準備中であるが事變以來輸送杜絶により著しく日常生活必需品の窮乏を續けてゐる折柄として當地商務會始め各商店は非常な期待を以て迎へてゐる、なほ綏遠包頭兩地を中心とする新蒙、蒙夏交易はソ聯のトルクシブ鐵道開通以來大打撃を蒙りつゝあるも年額三四千萬圓に達するといはれ今度の見本市を契機として低廉な我が商品の流入は事變以來杜絶の状態にある綏遠通商路の再開を齎らすものとして期待されてゐる

北支鐵道新ダイヤ

二月一日から實施

- ▲北察線
 - △四〇三列車 奉天發午前零時十分
 - 天津着午後三時五十四分、北京着午後六時廿五分
 - △四〇二列車 北京發午前五時卅分
 - 天津發午前七時五十五分、奉天着翌日午前十一時五十分
 - △四〇七列車 奉天發午後二時卅分
 - 天津着翌日午前七時五十四分、北京着午前十一時十五分
 - △四〇八列車 北京發午前十時卅五分
 - 天津發午後一時五十一分、奉天着翌日午前七時卅分
 - △四一三列車 奉天發午前〇時卅五分
 - 天津着午後八時卅五分
 - △四一四列車 天津發午前九時五十五分、奉天着翌日午前七時
- ▲京綏線
 - △三〇一列車 北京發午後四時十五分、張家口着午後十一時卅分、包頭着翌日午後八時五十分
 - △三〇二列車 包頭發午前八時五十分、張家口發翌日午前六時四十分
 - 北京着午後二時十分
 - △三〇三列車 北京發午前七時卅分
 - 張家口着午後二時卅分、大同着午後八時廿五分
 - △三〇四列車 大同發午前七時五十分、張家口發午後一時、北京着午後九時
 - △三四一列車 北京發午後十二時廿分、張家口着午後九時四十五分
 - △三四二列車 張家口發午前八時廿分、北京着午後五時五十五分

第三十七回 帝國議會

旬間大觀

事變下最初の通常議會として歴史的使命を有つ第七十三回帝國議會は戦争目的達成のため所要の豫算案と幾多の重要法案を祖上に廿二日愈々再開、本會議、豫算總會、各委員會と急テンポに論議が進められた。

國務大臣演説に對する應酬も徒らな刺戟や揚足取りを排して眞剣な國政審議と内外の誤解一掃に努めた跡が窺はれ北支對策、外交、財政、産業、統後對策、中小商工業、農村對策、思想對策等の各般に亘り、政府の決意が國民の前に漸次明かにされたのを始め、收獲は相當大きかつた。

その間に種々鋭鋒を現した賀屋財政への批判、統制經濟と官僚獨善、革新政策等への不満を始め其他政府の諸施設に對する積極的批判は相當深刻なものがあつた。

應酬の電力管理案は風雲を孕んで審議に入つたが、胎内の國家總動員法案は種々紛糾の種子を蒔いてゐる。

貴族院

政府法律案提出

政府は左記諸法案を貴族院に提出した

- 一 日滿司法事務共助法案
二 輸出入品等に關する法律中改正法律案

一 商法改正に伴ふ同族會社監督に關する件

本會議

と文相の所見を求め

廿二日

國務大臣演説

第七十三議會休會明け第一日は廿二日午前十時十七分開會、傍聽席には貴賓席のクレギー、英國大使をはじめ立錫の餘地なく緊張味をたよはせて近衛首相より一般施政方針

廣田外相より外交方針を述べたる後杉山陸相、米内海相發言を求め支那事變その後の戰況概要を報告、終つて國務大臣の演説に對する質疑に入り

二 荒芳徳伯(研究)登壇

政府は長くも上諭を拜して教育審議會を設置したが文相は如何に現在の教育制度を改革せんとするか、又社會教育の範圍も明白でない

本會議

と文相の所見を求め

本戸文相 社會教育は極めて重要である事變後の社會教育については大いに充實振興を圖つてゆかねばならぬ

首相施政方針演説

▲事變下に新年を迎へ重大時局に直面する第七十三回帝國議會に臨み諸君と共に聖諭の萬歳と 皇室の御繁榮とを壽ぎ奉り茲に政府の所信を開陳致すの機會を得ましたことは私の光榮とするところであり、今期議會開院式に當りましては特に優渥なる、勳語を賜り時局に對する深き御軫念の程を拜しまして寔に恐懼感激に堪へぬ次第であります

▲申すまでもなく日、滿、支の鞏固なる提携を樞軸として東亞永遠の平和を確立し以て平和に貢獻せんとするは帝國不動の國策であります、先般無反省なる支那國民政府に對し斷乎之を對手とせざるの方針を取るに至りましたのも將た又列國との友好關係の増進に不斷の努力を怠らざるも共に此の國策の命する所であり、殊に昨秋防共の思想同じくする盟邦伊太利を加へて日獨伊三國間に防共協定が成立しましたことは、世界平和のため眞に同慶の至りであります

▲顧るに事變勃發以來茲に半歲餘、戰線は北支より中南支に及び、皇軍の勇武果敢なる行動に依り、戰捷相繼ぎ、忽ち首都南京を攻略し、戰局は極めて有利に展開しつゝある所であり、是れ固より御稜政の然らしむる所であります、皇軍將兵諸士の忠勇と統後國民諸君の熱誠は寔に感謝措く能はざるものであります

今や政府は帝國と眞に提携するに足る新興支那政權の成立發展を期待し之と兩國々交を調整して更生支那の建設に協力し依て以て東亞長久平和の基礎を確立せんとするものであります、勿論帝國が支那の領土並主權及び支那に於ける列國の正當なる權益を尊重するの方針には毫もかはる所はありません、惟ふに東亞の安定勢力たる帝國の使命は愈々大にしてその責任は益々重きを加ふるに至れるものといはねばなりません、此の使命を果し此の任務を盡す爲には今後と雖も多大の犠牲を拂ふの決意を要するは固よりであります、然も今日於て此の決意を爲すにあらざれば結局不幸を將來にのこすのであります、從つて現代の吾々が夫の犠牲を忍ぶことは正に吾々が後代同胞に對する崇高なる義務であることを信するものであります、政府は此の如き見解に基づき全力をあげて支那事變に對處しその目的の達成に邁進せんとするものであります

▲之がためには物心兩様に亘り國家總動員態勢の完成を圖り、之に必要な諸般の施策の實現を期するものであります、政府は此の方針により、先づ軍備の充實と國費の調達とに運算ならしむる事が極めて緊要なるを信じ財政經濟何れの方面に於きましても、此の重點を置く事と致しました、昭和十三年度豫算案の編成に付きましては事變の長期に亘るに備へ物資及資金を出來得る限り軍事の需要充足に集中し、軍需に關係ある資材及資金の一般消費はなるべく之を減少せしめる建前の下に之を編成したのであります

▲以上如き考に依りまして政府は茲に必要なる法律案及豫算案を提出するものであります、宜しく政府の意のある所を諒とせられ、協賛を與へられんことを切望する次第であります

廣田外相演説

▲今次事變に對する帝國政府の態度は、屢次に互る政府所信の披瀝に依て明かでありまして帝國政府は支那に對し何等の領土的野心を有せず、又北支を支那より分離せしめんとするが如き意圖をも有して居ないのであります、即ち帝國の求むる所は、唯支那が大局に目覺め、日支提携共存共榮の理想に協力するに至らんことにあるのであります、從て事變勃發の後に於きましても國民政府をして排日抗滿の政策を捨て、右帝國の理想に協力するの誠意を披瀝し來るに於ては帝國は之と手を携へ東亞和平の確立に邁進せんことを期して居たのであります、然るに國民政府は帝國の眞意を解せず、多年自ら鼓吹し來れる排日抗日の主張により自縛自縛に陥り冷靜に大局を顧念して善處す

に力を致して參りたいと存じます、又統後の處理に最善を盡し出征將兵をして後顧の憂なからしむるは固より、戰死傷病者との遺家族に達する扶助援護に付適切、機宜の措置を講ずる心算であります、事變の前途は遠慮でありませ、之が解決は長期に亘ることを覺悟せねばなりません、此の大業を前にしては國民擲つて勇躍進んで行くの精勵を發揮するにあらざれば到底成果を収め難いのであります、政府は堅忍持久不退轉の決意を以て事變の解決に努めんとするものであります

ることを得ず、或は第三國に頼り、或は共產黨と結び今尙長期抵抗を唱へ四億の民衆を塗炭の苦みに投じ敢て顧みないのではありません、今や帝國の忠勇なる軍隊は北に南に勇戦奮闘し爲に國民政府は首府南京を捨て、遠く長江上流に逃竄せざるを得ないことになりましたが、而かも尙自ら覺ることなく自暴自棄的抵抗を續けて居ります、斯くの如きは支那民衆の爲にも、將又東亞の大局の爲にも、痛惜措く能はざる所でありませす

▲帝國政府は獨逸政府より、日支兩國の間に立ち直接交渉の橋渡しをなすべき旨の好意的申出に接しましたので、國民政府に最後の反省を與へんが爲、事變解決の基礎條件として次の四點を提示したのであります

- 一 支那は容共抗日滿政策を放棄し日滿兩國の防共政策に協力すること
- 二 所要地域に非武装地帯を設け且該地方に特殊の機構を設定すること
- 三 日滿支三國間に密接なる經濟協定を締結すること
- 四 支那は帝國に對し所要の賠償をなすこと

右は何れも帝國政府の絶対必要と認める最少限度の要求を概括致したものであります、私は國民政府が速に此の基礎條件により、和を求めらんことを切望したのであります、東亞の大局に目覺めざる同政府は、我方の寛容と獨逸政府の好意とを無視し、虛心坦懐に和を乞ふの態度に出でず、徒らに遷延を事としたる末、遂に何等誠意の認むべき回答をせなかつたのであります、右國民政府の態度は、帝國政府の與へたる最後の好機を自ら抛

擲したるものと言ふべきでありまして、事應此處に至つては、此の上程再、同政府の反省を待つても、到底事變解決の見込なきこと明かかと相成つたのであります、之れ去る十六日帝國政府が今後國民政府を對手とせざる旨の聲明をなすに至れる所以であります、尙該聲明中にも明示してあります通り、今後帝國政府は、帝國と眞に提携するに足る新興支那政權の成立發展を期待しまして是と兩國の國交を調整し、更生新支那の建設に協力する決意でありまして、私は此れが帝國の理想とする日支提携による東亞の安定を得る唯一の途たることを信じて疑はないのであります

▲尙此の機會に一言致したいのは、歐米諸國に於きましては動もすれば帝國が支那の門戸を閉鎖し列國の權益を觸逐せんことを企圖して居るかの如き誤解を有する向があることでありませす、帝國政府は帝國軍隊の占據區域内に在る列國の權益は飽くまで之を尊重すべきことは勿論、廣く支那民衆の福利増進の爲、諸外國にも門戸を開放し其の資本の進出をも歡迎するものなることを茲に明に度いと存じます、私は關係列國が支那に於ける新なる事態を直視し之に即應して帝國が現に爲しつゝあり又は今後爲すことあるべき合理的調整の要求を諒解し、以て東亞の新たな秩序の建設に協力せられんことを切望する次第である

▲次に日滿兩國關係を見ますに、滿洲國をして帝國と緊密不可分の關係を保持し獨逸國として其の健全なる發展を遂げしむることは帝國對滿國策の基調であります、帝國が多年滿洲に於いて享有

せる治外法權及日露戰爭の代價たる南滿洲鐵道附屬地行政權に付きまして、政府は右國策の基調に遵據し可成速に之が撤廢乃至移讓をなすべき方針を決定し、右實現の爲昭和十一年六月の條約、並昨年十一月の條約を締結したのであります、而して右兩條約の實施狀況は極めて順調であります、一方國際政局に於ける滿洲國の地位を見ますに、建國以來帝國の協力の下に庶政の改革に邁進致しました結果、今や列國もその對滿認識を新にするに至り、昨年十一月末、先づ伊國の正式承認を得、次で十二月初西西班牙フランコ將軍の政府との間に相互に正式承認を行ひましたことは同慶の至りでありませす

▲ソヴェト聯邦との關係に付きましては帝國政府としては由來兩國關係を出來得る限り正常なる状態に置くことが、東亞平和の爲喫緊と信じ、此の方針を以て措置し來つたのであります、即ち兩國間年來の懸案たる漁業條約の修正問題を昨年中に解決せんと努力致しましたことも、一に此の方針に基くものであります、ソヴェト政府當局の態度により昨年末遂に一昨年と同様の暫定取極を結ぶの已むを得ざるに至りましたことは私の遺憾とする所でありませす、尤もソヴェト政府に於ても現行條約を修正する協定を締結する爲必要な國內的準備を進めて居ります、故に引續き交渉を行ひ、以て可成速に新協定の實現を見る様折角手配中でありませす尙政府は北極太に於ける利權事業の正常なる進行を極めて重要視するものであります、日ソ基本條約に由來する此種の利權が不當の壓迫により有名無實となるが如きことは帝國政府として默過

し得ない所でありませす、又ソヴェト聯邦と支那との關係に付ては我國一般の特に注意を惹いて居る所でありませす、支那は昨年八月ソ聯邦との間に不平等條約を結び殊に國際共產黨員が支那の各層に喰入つて同國の社會秩序を破壊し、延いて東亞の安定に禍して居りますことは東亞の文明と諸民族の福祉を念とする帝國として多大の關心を持たざるを得ない次第であります

▲帝國は對支軍事行動を進むるに當り在支第三國人及第三國權益に不測の被害の及ばざる様特に留意し來つたのであります、が不幸にして英米との間に昨年末米艦パナイ號及英艦レディバード號事件が起りましたことは甚だ遺憾とする所でありませす、此等事件が我方の故意に出でたるものに非ざるは申す迄もない所でありませす、右兩事件は一時我國と右兩國の感情疎隔の因を成すことなきやを氣遣はしめたのであります、幸にして兩國政府の冷靜且公正なる態度と我が官民一致の誠意とによりまして事件の圓滿なる解決を見ましたことは邦家の欣快に堪へない所でありませす

▲今次事變勃發以來米國政府は常に公正の態度を保持し、よく日米關係の大局を顧念して善處し、前述パナイ號事件の如き不祥事件の突發にも不拘、兩國友好關係に何等累を及ぼすことなかりしことは私の欣幸とする所でありませす、帝國の外交上米國の理解認識の必要に付ては今更茲に言ふを要しない所でありませす此の上共日米親善の爲め出來得る限りの努力を續けて行き度い所存であります

▲英國との關係に付きましては、帝國政府が日英兩國の傳統的友好關係を維持せんとする從來の方針には何等ゆる所がないのであります、私は英國政府及國民に於ても日英關係の重大性に充分の理解を持ち、東亞に於ける帝國の立場を正解し、我方と協力して兩國の親善増進に努力せんとする態度に出で來るべきことを期待すると共に我が國民も亦よく時局の重大なるに鑑み、右政府の方針に協力するの態度に出でんことを希望して已まない次第であります

▲獨逸との關係に付きましては、昨年秋父宮殿下英國より御歸朝の途次、同國を御訪問遊ばされ、又帝國軍艦足柄のキール廻航等のごがであります、兩國の關係益々親善を加へましたことは御同慶に堪へない所でありませす、殊に同國が日獨防共協定の精神を體して我方に對し極めて理解ある態度に出でつゝあることは帝國政府の大いに多とする所でありませす、政府は今後益々兩國の提携強化に努力致したいと考へて居るのであります

▲次に伊國政府は今時事變の當初より帝國の眞意を了解し各方面に亘り協力を各まなかつたのであります、殊に昨年十一月武府に於て九國條約關係國會議の開催に當りまして終始一貫極力我方支持の態度を示されたことは御承知の通りであります、が前述の本時事變解決方に付きましては伊國政府は同情ある關心を示して居たのであります、右伊國側段々の好意は帝國の深く感謝する所でありませす、同國は豫て反共の點に於て帝國と事實上共通の立場に在りましたが昨年十一月日獨防共協定に参加し茲に日獨伊三國が防共の旋轡の下に提携するに至りましたこと

は世界平和確保の見地より慶賀に堪へない所であり、政府は獨伊兩國と協力して今後益々本協定の効果を發揮せんことを期して居る次第であります。

▲西班牙に於きましては、一昨年七月内亂勃發以來、戰況は次第にフランコ將軍の政府側に有利に展開し、最近同政府は西班牙の大半を其の勢力の下に收め、政府の基礎も大いに鞏固を加へたのであります、他方、同政府が防共を以て國策とする點は、帝國政府の方針と相通する所があるものであります、帝國政府は此等諸般の事情に鑑み、同政府を承認するを適當と認め昨年十二月初承認の手續を執つたのであります。

▲次に昨年に於ける通商關係を概観致しまするに、一昨年に比し、輸入金額に於て三割五分餘、又輸出金額に於て一割八分餘の激増を示し、貿易總額實に七十二億七千餘萬圓と云ふ未曾有の巨額に達したのであります、然し乍ら諸外國に於ける經濟的障害は、其の後依然として存続して居りますので、政府と致しましては、諸國の事情並其の措置に應じ各個に外交手段等に依る打開を圖りつゝある一方、貿易促進の爲不斷の努力を致しつゝある次第であります、昨年中英領印度、ビルマ及土耳其との間には通商協定の締結を完了し、又暹羅との間の通商條約及伊領植民地に關する日伊間通商追加協定も舊曆調印を了した次第であります、更に尙新舊市場に亘り諸國と通商に關し必要なる取極の締結を交渉中であり、諸國中には事變に關する支那側の虚傳の宣傳に惑はされ、若は多數在住する華僑の策動の結果、本邦品排斥の舉に出た

るものでありますことは、誠に遺憾に堪へない所であり、我官民一致の努力と諸國民一般の公正なる態度とに依りまして、その擴大を見るに至らなかつたことは誠に幸とする所であります。

▲日滿支三國の生産力を合理的に擴充し其の經濟的連繫を鞏固すると共に之と諸外國との貿易關係の發展を圖ることは日滿支三國、延いては東亞全體の繁榮と世界協和とを齎らすべき必須條件の一要信するものであります、之が實現の爲政府は目下内外に亘り萬全措置を講じつゝあるのであります。

▲最後に附言致したいと思ひますことは文化事業に付てであります、國際間の親善を促進し人類の眞の平和を招かせんとせば各國國民が相互に文化的連繫を緊密にし相互の眞意を充分に理解することが必要であります、今次事變の如き一面於て支那側が此の點に於て缺くる所ありたことに起因する所が尠くないのであります、故に日支間恒久的親善關係を樹立する爲は日支兩國國民が相互に其の國情と國民性とを理解し東洋本然の精神に立脚し文化的提携の實を擧ぐるの必要があるのであります、政府は此の見地より對支文化事業に一層の努力を爲し、之を以て兩國間百年の計の基礎たらしめんことを期して居る次第であります、尙右と同時に我國文化の海外一般に對する紹介を行ふことに依り正義と平和とを愛好する我が國民性と我が固有の文化とを海外に宣揚することは現下の國際情勢に鑑み、特に緊要なるものと考へますので政府は益々國際文化事業に努力せんとするものであります。

▲以上繰述致しました所により今次事變並對外問題の全般に關する政府の所見を大體御諒察願へることと存するのであります、之を要するに、政府の對外政策の根柢をなすものは、一に東亞の禍根を根絶をなすもの、二に東亞の禍根を除きつゝ、大義を宇内に顯揚し、以て世界平和の基を樹てんとするにありまして、此の目的の爲政府は最善を盡して居るのであります、何卒諸君に於かせられても、政府の意のある所を御了解の上、現下非常重大の時局に處する帝國外交の目的達成の爲切に御協力あらんことを希望する次第であります。

▲外相演説及響

▲外相の演説、英國で好評 ロンドン

【一三】廣田外相が休會明け議會に於て其の外交演説中日英兩國の傳統的親善關係を維持せんとする帝國政府從來の方針に何等かはる所ない旨強調したことは英國官邊に好感を以て迎へられてゐる、官邊ではパネー號事件以來日本が不祥事件の再發防止を急いでゐることを認めてをり上海に於ける英國出先官憲の努力と相俟つて日英關係が一頃より改善されたことを強調してゐる、然し官邊では英國の利害に關係ある幾多の重要問題が依然前途に横はつてゐるから支那に於ける日本の出先當局が廣田外相の宣明を裏切らず現在の困難克服と紛争の再發阻止に助力することを希望すると言つてをり之と同時に多年に亘り樹立された重要な英國の既得權益は斷乎たる態度をもつてあく迄之を確保する決意なることを明かにしてゐる

▲外相演説に對する英紙評論 ロンドン

【一四】廣田外相の議會演説は土曜日に日曜日にかゝつたので廿四日に至つて漸く新聞に現れたが多くの新聞は大見出しの下に全文を掲載して注意を惹いてゐる、一般の論調は何れも演説内容に好感を寄せ廣田外相に敬意を表してゐるが或る批評家が言つた如く「日本軍は刻々對支政策を發明する」といふのが動かし難い英國人の感想だ、主なる論調左の如し

△「ニューズクロニクル紙(自由黨系) 外相演説は支那に於ける日本軍の行動の前には殆んど意味が無いと歐米人が考へてもそれは無理からぬことだらう、日本軍の行動はそれ程外相の議會演説よりも強く我々に響いて来る

尙ほ政府の財政政策に對する議會の檢討も非常時局の一面を反映するものとして注目されてゐる

△デイリー・テレグラフ紙 廣田外相の議會演説中對英親善の希望を表明した部分は英國朝野に好感をもつて迎へられてゐる、然し日本政府が斯く對英態度を緩和するに至つたのは英米兩國政府が在支權益の侵害に對抗し最も緊密に提携する用意があることを日本が漸く認識したからに他ならない、英國政府は以上の様に日本の對英接近の要因を觀てゐるが果して實際に反英運動の鋭鋒が鈍つて来る徴候が現はれて来るかどうか多大の關心を以つて注目してゐる

△タイムズ紙 廣田外相が議會で第三國の在支權益を尊重する旨聲明したことは英國官邊でも多としてゐる但し英國政府としては長い年月をかけて支那に樹立した英國の重要權益を保護する建

前から今更警戒を緩める様なことはいとの態度を持してゐる

▲廣田外相の答辯に英國満足 ロンドン

【一五】廿五日の貴族院本會議に於て英國の憤激を鳴らして政府の所見を質した團田武彦男と廣田外相との質問應答は英國各紙に掲載されたが廣田外相が英國の對支武器輸出量は比較的少量のものであると指摘し團田男の高調した反英空氣を挫いたことに満足の間意を表してゐる、一般に廣田外相は自分の政治的經歷に傷が付かぬ限り出来るだけ過激な排外論者の態度緩和に努めてゐるものと見て居り外相の手腕を期待してゐる

▲首相外相の演説に米國餘り關心を拂はず ワシントン 【一六】廿二日の休會明け議會に於ける近衛首相及び廣田外相の演説の大略は各新聞に掲載され官邊では廣田外相が日米親善の増進を希望したことに大體好感を示してゐるが一般には餘り多くの注意を惹いて居らずハル國務長官も一切批評を避けた、米國は目下の對内政策に最も關心を集めて居り對外問題に關しては日本の超勢級艦建造説が米國の建艦計畫を促進させる宣傳の爲めか異常の注意を惹いてゐる他支那の戰爭記事そのものは最近掲載量が著しく減じてゐる、戰局が著しく展開を示さない限り日本の聲明其他各種の發言は今後共多くの注意を惹かぬだらう、尙ハル通信社ワシントン支局の報道によれば政府當局は廣田外相が發表した對支和平條件四ヶ條について「非常に廣範な原則で例へば第三條の日滿支の經濟協定案の如き支那を屈服して後始めて其の嚴格な實施が可能なるものである、従つて支那が之を拒絶

して居たとしても驚くには當らない」との見解を洩してゐる

▲米國財界はかく見る ニューヨーク

【二三】廿二日の休會明け議會に於ける廣田外相の演説は支那に對する最近の態度を闡明した點でニュース・ヴァリニを認められ持久職を辭せぬ日本政府の覺悟を米國人に強く印象付けたが財界方面は右決意により米支通商は益々阻害されるのではないかと懸念すると同時に日本の主張する支那の門戶開放を額面通りに信じ得べきや否やに付き疑念を棄てず北支が第二の滿洲國たる形式を探らずとも實質上親日政權の運用に依て同じ効果を擧げるだらうと見てゐる

▲米紙支那の門戶閉鎖を懸念 ニューヨーク 【二三】ポストン・イトウニング・トランスクリプト紙廿五日の社説「門戶開放といふがどれだけ開いてゐるか」及びニューヨークのブルックリンデイリーイーグル紙廿五日の社説「日本からの奇麗な言葉」は同様の趣旨で次ぎの如く述べてゐる

去る土曜日の議會に於ける廣田外相の演説は諸外國特に支那に對する親切らしい言葉で満ちてゐるが要するに之は外國人に善い印象を與へるためらしく上海その他の地方に於ける日本軍の實際行動とは大違ふ様だ、更に日本は支那に於ける門戶開放を維持し外國の利權に差別待遇をする様な事は無いと強調してゐるが之も單に表面上の事で最近北京のロポット政府が作つた改正關稅率に依れば外國品はとも日本品殊に綿製品とは競争出來ぬ様になる

廿四日

質問戦第二日 廿四日午前十時七分振鈴、佐々木副議長議長席につき補缺當選議員水谷川忠房男を議長に紹介し同十七分開會、前日に引續き國務大臣の演説の質疑に入る、通告順により紀俊秀男(公正) 二荒伯の質問に對する文相の答辭に關し重ねて教育問題のみにつき首相、文相等に質したい、近衛内閣に一貫したる教育改革の方針なきを遺憾とする

と會つて期員として義務教育年限延長案に賛成した廣田外相、杉山陸相に就し近衛首相 教育の重點は國體の本義徹底にある教育審議會は現行學制が果して時勢に伴ふべきや否やを考へ制度並に内容について審議するものである

木戸文相 全般的學制と關連する義務教育年限延長は同審議會に於いて調査審議する事とし青年學校義務制は兵役法の改正と不可分の關係あるを以て急速に之を決定した青年學校の内容に付いては教育審議會の調査審議を俟つて之が刷新改善を行ふ積りである

廣田外相 當時の社會狀況に鑑み義務教育の年限延長の必要を認め更に學制各般の改革を行ふべきであると考へてゐた、現内閣に於いては更に慎重に研究する事になつたからこれに賛成した

するものは己を空うして無聲の聲に靡き無形に見るの心がけが肝要である、この秋に當り各省事務官の人事行政に關し兎角の噂を聞くことは遺憾である

末次内相は本年一月對外關係について所見を發表されてゐるが如何なる所見を有せらるゝや、更に去る十二月廿三日に行はれた人民戰線派檢舉について特に民主主義、自由主義は共產主義の温床なりと發表されたが民主主義と自由主義の意義如何

と質し、珍しく拍手に迎へられて降壇近衛首相 人事行政については今後とも慎重にしたいと考へてゐる

末次内相 雜誌「改造」の問答及び外國の誤解を招きましたことは誠に遺憾であります

實例に徴しましても、此の指令に盲従し、之等の團體が共產主義運動に利用せらるゝこととなつた事例が非常に多いのであります

小坂氏首相、内相の答辭に満足する旨を述べて午後零時十八分散會

廿五日

質問戦第三日 廿五日午前十時廿一分開會日程を變更して左記政府提出七件を上程何れも主管大臣並に政府委員より説明あり質疑を省略して各特別委員に付託

△商法中改正法律案 △商法中改正法律施行法案 △特許法中改正法律案 △商標法中改正法律案 △不正競争防止法中改正法律案 △辦理士法中改正法律案 △日滿司法事務共助法案

第二にこの重大な秋に際し共產主義の運動を見るは眞に恐懼に堪へない政府の対策如何、第三は重要都市における防備強化策如何第四に全生産力擴充を必要とするこの秋メートル法採用の必要を認めらるゝや否や第五に英國は日英同盟の舊誼あるに拘らず利己的立場より支那に武器を供給しこれを援助してゐるのは甚だ遺憾である、次に今回の事件は戰爭とは言へぬか、又日支間に第三國の介入を認めるや否や、更に第三國による支那に對する武器供給は正當なる商取引と言ひ得るか、戰爭援助行為ではないか、尙事變下の我が國財政において外國爲替維持のために正貨準備強化、産金政策を如何にするか

近衛首相 第一は屢々聲明した通り舉國一致の體制をとつて難局打開に當る決意である、第二に共產主義については嚴重に取締る、第三に重要都市の防備強化は内務省に計畫局を設置し萬全を期してゐる、第四にメートル法については種々調査研究を重ねてゐる

廣田外相 今日まで日支兩國間に於ける事態を見ますれば之は明かに大戰爭であります、然しながら御承知の通り東洋の事態といふものはこれまでヨーロッパ諸國の間に於ける國際法の觀念に基くが如き事態ではなくこの兩國の關係といふものは人種的にもその他の點から申しましてもハッキリ國家として別個にこの關係を國際法上の所謂戰爭といふもので律し得ない事態に在るのであります、かゝる事態から申しますれば支那と日本の關係は支那全體を政

紀男自席より不満を述べ、次で小坂順造氏(同成) この重大時局を擔當

日程第一に戻つて國務大臣の演説に關する件に移り通告順により 國田武彦男(公正) 第一は政府は屢々重大決意を聲明してゐるが長期抗戰に對處するには内閣の統一を圖り一貫したる指導線をもつて舉國一致難局打開に當らねばならぬ首相にこの決意ありや

府及國民と共に敵と見るやうな戦争では無いことは事實の證明致してゐるところであります。尙普通國際法では戦争の場合とは最初或は後に宣戦布告をするといふことが普通であるのであります。宣戦布告の結果といふものは第三國に中立國たる義務を負はせることが常例になつてゐるのであります。今日の東洋のこの事態に於て直ちにそれだけの國際法上の規定を適用することの利害得失については相當考慮を要する點があります。これが時局の進展に伴ひまして或は宣戦布告の必要を生ずることもあつて存じてゐるのであります。従つてその終結の場合に於ける處置につきましても矢張り普通の戦争の場合と同じ手段に出るべき關係にあるのであります。若しこの際第三國に於てこれに干渉がましいことを致して參りましても到底これは日本の耳を傾くべきものではないと思ふのであります。それにつきましては從來色々支那と第三國との關係において武器の供給の如き事實が行はれて居つたのであります。これらは多くの場合に於て第三國と支那は何等中立法規に依る制限を受けてゐないので武器の取引の如きも只單純なる商行爲として行ひ得るものだといふ見解をもつてゐる國もある様であります。然しながら第三國と支那との從來の關係に於て或は思想的に或は實利的に種々の關係を持つて居りました國が多數あるのであります。これらの國々が支那に對して如何に現在までの關係を維持してゐるかといふ點も相當考慮を要しなければならぬ。

最近イギリスからの通知に接してゐるところによりますと今日支那に武器の入りする最も重要な地點と推察されてゐる香港におきましてイギリス製の武器といふものは全體の極く少部分に過ぎないといふことをハッキリ説明致して參つてゐるものであります。さう致しますと殆んど大部分は他の國から入つてゐることを認めなければならぬ。私はこの事態を單に商行爲と見て全然傍觀してゐるといふことは日支兩國のこの事件を益々延長せしむる結果と相成りますので、常に諸外國の注意を喚起してをるのであります。

賀屋藏相 爲替相場維持は現下の我が國の經濟狀態より見て絶対に必要な條件であり従つてこのため必要あれば引續き金の現送を行ふ意である、これには新産金を充當するがこの新産金の増産のためには産金振興、特殊會社を設立する豫定であり此の外新産金には特に礦産税を免除して増産を奨励し又民間金の使用を節約する等極力産金獎勵策を講ずる方針である、日銀の正貨準備に對しては今後とも絶対に手をつけない覺悟であり又之れに反して現在では八億以上増加する必要があるとも考へてゐない。

園田男爵より簡單に再質問して打切り大河内輝耕子(研) 個人主義、自由主義を是正すると共に一面國際主義の如何なるものであるかを現内閣の諸公にはよく知悉されたい、政治の中心は軍部でなく議會、内閣に置かねばならぬと思ふが首相の所信如何、議會中心の内閣を組織する必要を認めないか、無聲

の聲を聞く用意があるか
近衛首相 第一の政治の中心は嚴として内閣にある、内外とも飛耳張目の秋に當り日本の政治の中心がどこにあるかなどいはれるのは甚だ遺憾千萬であつて私は嚴として内閣にある事を言明する、第二に相關當時廢除を回避するといふたが新しい政治を遂行するには多少の廢除が起つても已むを得ない、電力案については十分各方面の意見を聞いてゐるのである、第三の自由主義に對しては國家全體の利害に惡影響あるものは嚴じて取締らねばならぬ
大河内子第一の點につき首相の言明の實現を希望して午後零時十三分散會

大藏公望男(公正) 過日大河内子の政治の中心に關する質問に對する首相の答辯は本院にも關係深きをもつて重ねて所見を問ふ、次ぎに官吏制度の改革について質したい
近衛首相 大河内子の質問に對する答辯は言葉が足らず誤解を招いたことは甚だ遺憾に思ふ、政治の中心は内閣にありと述べたのは國務大臣は天皇輔弼の重責に在りその詔命を宣奉し職務奉行の任に當りその職務奉行の中心は内閣にあるといふことである、官吏制度の改革について目下政府においては革新を人的の方面から行ふ意味で官吏制度につき法制局において考究してゐる、改正の要點は第一に任用令を改めて出来るだけ門戸を開放して民間の有能な

日七廿

質問戰第四日
廿七日は午前十時廿一分開會國務大臣の演説に關する質疑に入り

る士を官界に入れ第二に官吏採用の方法を改め法律力能主義を是正し第三には身分保障令に改正を加へ最近漸く身分保障の特權に憤れとかく事勿れ主義に陥つた嫌ある官界に清新な空氣を注入することになつてゐるが官吏身分保障は政黨内閣時代において必要とされたものであつて今日は最早その必要性が甚だ少くなつたからこれに改正を加へんとするわけである
淺田良逸男(公正) 革新政策の第一歩として人口増殖問題を採り上げねばならぬと考へる、首相の所見如何、次に蒙臘は民族的に見ても北支と一體となり得るかどうか防共線の確立に重大關係を持つ蒙臘の獨立に對し政府は如何なる方針を有するや、民間航空の充實に對する政府の方策如何、北支政權は現在一兵も持たず治安の維持も容易でなくては國民政府と對抗は出来ない、依つて東洋平和の目的達成の爲めには軍の内容の大變革、大擴張を行ひ、支那事變作戰を繼續するならば大兵團を相當長期に亘り駐屯せしめる必要なきや、右の結果に伴ふ軍事實の財政上に及ぼす影響に對する用意如何

質問戰第五日
廿八日は午前十時廿一分開會前日の淺田良逸男(公正)の質問に對し
近衛首相 人口増殖問題は國力發展上同感である、蒙臘自治政府については、防共の趣旨よりこれを援助しようと思つてゐる
廣田外相 首相と同趣旨の答辯をなし

日八廿

質問戰第五日
廿八日は午前十時廿一分開會前日の淺田良逸男(公正)の質問に對し

永井連相 目下考究中の振興策は
一 航空機工業製造能力を擴充し又新に航空工業の中央研究所を設置し更に航空機製造事業法案を今議會に提案するつもりである
二 航空機乗員の養成であつて平時は勿論、戰時事變に備へるため中央、地方に航空機乗員養成所を設置するつもりである
三 内外航空路の擴張であつて國內においては三ヶ年の繼續事業をもつて廿八ヶ所の飛行場を新設し又國際航空路の擴張についても關係各國と折衝につとめるつもりである
木戸厚生相 人口増殖獎勵の趣意は眞に當然である、貧困者の經濟的救済はもとより醫療救済についても出来るだけ施設を講じ度い
杉山陸相 陸軍に致しましては今度の事變の經驗に鑑みまして且は此の事變に依つて現はれました新しき事態に對處致しなればならぬと言ふ事を考へて居るのであります、又本事業が長期持久に入りまして以上は相當大兵團を作戰行動に使用しなければならぬと云ふ事も考へて居るのであります、尙作戰行動終結後の問題に就きましては大體に於てまして長期に亘つて相當の兵團を派遣しなければならぬと云ふ事が考へられるのであります以上如き状態でありまして今今次事變の目的を達成し將來再び斯の如き事態を繰返さない様に致しなればならぬは國防は因より物心兩方面に於きまして國民の奮闘覺悟を願はなければならぬ

廣田外相 首相と同趣旨の答辯をなし

これにて答辯を一巡し、淺田男再登壇して航空充實について選相、文相に質し、選相文相より現在の航空會社以外に官設又は半官半民の會社を新設するの考へなく又航空思想普及の必要については同感の旨を答へる。

▲軍事扶助追加豫算可決、このとき松平議長講場の同意を求めて日程を追加し午前中豫算總會に於て可決した。

一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)を緊急上程、林豫算委員長より委員會の経過を報告しこれを可決、再び日程に戻り。

坂本俊篤男(公正) 十三年度の商工省燃料局關係の豫算は燃料國策遂行上甚だ貧弱である。

吉野商相 政府は人造石油に關しては、適敷創立された帝國燃料會社を中心に今後七ヶ年間に増産計畫を實施する方針である、また國內の石油資源の開發については地質調査により明にされた八ヶ所、十ヶ所の有望なる油田につき今後五年間に二百四十の油井の開發を行ふ方針である。

賀屋藏相 財政當局としても燃料國策遂行に努めてゐる。

坂本男自席より他の機會に質問する旨を述べ十一時五十四分散會。

質問第六日

卅一日は午前十時卅分開會日程を變更して

一 有限會社法案(政府提出)を上程久山司法政務次官提案理由を説明土方寧氏(無)の質疑あつて商法改正法案委員會に併託

一 昭和十二年法律第九十二號中改正法

律案(政府提出)

吉野商相提案理由を説明特別委員に付託次で國務大臣の演説に對する質疑に入り過日の淺田良逸男(公正)の質問に答辯のため

中島鐵相 今日未だ飛行機を鐵道と同じやうに運輸機關として採用する運びとなつてゐない

と答へ次で通告順により

水野甚次郎氏(交友) 航空省の設置、空軍の獨立に對する政府の所見如何、新興支那指導のため青年移民を行ふ意思なきや、女子青年教育の充實、これが義務制に對する文相並に内相の所見を問ふ。

杉山陸相 我が帝國の航空の現在の狀況は器材の整備の關係等に鑑み今直ちに空軍獨立に進み難い狀況にあるのであります、元來航空の國防上に於ける任務を考へて見ますと陸上の作戰に共同致しまする所の航空兵力、海上の作戰に共同致しまする所の航空兵力並に純空軍的に必要であります所の所謂空軍の任務に服しますもの此の三者に分

つ事が出来るのであります。現在の技術方面から考へましても此の三つの任務を同時に遂行する事の出來まする萬能の飛行機を整備すると云ふ事は未だそこ迄技術が進んで居らぬのであります、他方我が帝國の航空兵力を見ますと只今述べました三つの任務の中陸軍及海軍に共同致しまする兵力と致しましては尙其の兵力に於て十分なる點がありまして之を措いて直ちに獨立の空軍を造りますと言ふ所には未だ達し得難い狀況にあるのであ

ります、航空省の問題に付きましては既に前議會に於て述べる通りであります。

木戸文相 女子青年教育義務制については教育審議會において他の全般的學制改革と共に研究することになつてゐる末次内相も同様同感の意を表し、水野氏各閣僚の答辯に満足な進歩を首相の答辯は後廻しとし代つて

田中館愛橘氏(無)新ローマ字綴り統一使用、國語教育の徹底せざるうちに英語教育をなすの弊害等について質問、木戸文相 新綴りを民間に對して直ちに使用せしめ學界に採用を要求する考へはない、英語教育が國語教育に及ぼす影響については充分考慮すると答へ午後零時十三分散會

豫算總會

實院豫算委員長決定

【二三】貴族院豫算總會は廿七日午前九時五十分開會正副委員長を左の如く互選して直に散會した

委員長 林 博太郎伯(研究) 副委員長 千秋隆男(公正)

軍事扶助追加豫算可決

【二三】貴族院豫算總會は廿八日午前十時八分開會賀屋、木戸兩相より

一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案の提案理由の說明あり次いで林委員長より追加案は各省に關係なきを以て緊急議決の要求あり、質疑を省略し前田利定子より賛成意見ありたる後直に採決に入り全會一致を以て可決同十四分散會した

委員會

貴院各正副委員長決定

【二三】貴族院の資格審査、決算、請願の各正副委員長は廿二日本會議散會後夫々互選の結果左の如く決定した、尙ほ懲罰委員會は定足数を缺き流會となつた

▲資格審査委員會

委員長 柳原義光伯(研) 副委員長 高木喜實男(公)

▲決算委員會

委員長 周布兼道男(公) 副委員長 高倉篤磨子(研)

▲請願委員會

委員長 酒井忠克伯(研) 副委員長 井上清純男(公)

懲罰委員會

▲委員長決定【二三】貴族院の懲罰委員會正副委員長は廿四日互選の結果左の如く決定した

委員長 大久保利武侯(研究) 副委員長 松岡 均平男(公正)

商法委員會

▲正副委員長決定【二三】廿五日十八名の委員付託となつた政府提出商法中改正法律案特別委員正副委員長左の如し

委員長 大隈 信常侯(火) 副委員長 山岡萬之助(研)

特許法委員會

▲正副委員長決定【二三】廿五日十五名の委員付託となつた政府提出特許法中改正法律案特別委員會正副委員長左の如し

委員長 西郷 從德侯(火) 副委員長 秋月 種英子(研)

日滿司法事務共助法委員會

▲正副委員長決定【二三】廿五日九名の委員付託となつた政府提出日滿司法事務共助法特別委員正副委員長左の如し

委員長 岩倉 具榮公(火) 副委員長 富小路隆直子(研)

審判開始

【二三】卅一日は午前十時十七分開會、藤田司法參事官より提案理由の説明あり林頼三郎氏(研究)より外地と滿洲國の司法事務の共助關係その他に關し富小路隆直子(研究)等より逐條的質問あり、同十一時卅七分散會

▲質問打ち切り【二三】廿八日は午後十一時五分開會、木暮商工政務次官より提案理由の説明あり次いで肝付兼義男(公正)後藤一藏伯(研究)三須精一男(公正)有賀實男(研究)米津政賢子(研究)の諸氏と石井特許局長官との間に辨理士と辯護士の兼業、同兼業禁止の意思なきや、一年間の特許審判件數、辨理士會入會、辨理士と試験制度、ロンドン條約決定後に於ける各國の特許に關する立法例等につき質疑應答を重ね質問を打ち切り同二十四十六分散會した

▲特許案可決【二三】卅一日は午前十時十一分開會、三須精一男(公正)秋月種英子(研究)塚本清治(同成)肝付兼義男(公正)等と政府委員との間に質疑應答あり討論に入り高橋是賢子(研究)賛成意見を述べ同委員付託の

▲特許法中改正法律案△商標中改正法律案△不正競争防止法中改正法律案△辨理士法中改正法律案 四件とも全會一致可決同十一時卅三分散會

▲日滿司法事務共助法委員會

▲正副委員長決定【二三】廿五日九名の委員付託となつた政府提出日滿司法事務共助法特別委員正副委員長左の如し

委員長 岩倉 具榮公(火) 副委員長 富小路隆直子(研)

輸出入品臨時措置法改正委員會

▲委員決定 【二三】 貴族院の昭和十二年法律第九十二號中改正法律案（輸出入品臨時措置に關する件）委員（十八名）左の如し

- 侯四條隆愛△侯小村捷治△伯樺山愛輔
- △子曾我祐邦△子岡部長景△子松平康春△出淵勝次△山川端夫△男東郷安△男伊藤一郎△男安場保健△稻畑勝△太郎△小倉正恒△久出民義△久恒貞雄△大澤徳太郎△金成通△金岡又左衛門

衆議院

總預算案衆議院提出

【二三】 政府は廿二日左の如く明年度豫算案を衆議院に提出した
一 昭和十三年度歳入歳出總豫算案並に昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算案

政府法律案提出

政府は左記諸法案を衆議院に提出した

- △廿一日
- 一 對支文化事業特別會計法の特例に關する法律案
- 一 朝鮮事業公債法中改正法律案
- 一 支那事變に關する臨時軍事費の財源に充つる爲特別會計より爲す繰入金に關する法律案
- △廿二日
- 一 軍の需要充足の爲の會計法の特例に關する法律案
- △廿三日
- 一 農地調整法案

△廿六日

- 一 裁判所設立に關する法律案（樺太真岡に裁判所新設）
- 一 大正二年法律第九號中改正法律案（裁判所管轄區域に關する件）

靖國神社例祭を祭日に建議

【二三】 廿二日の衆議院本會議に於て民政黨の堤康次郎氏の質問演說中「靖國神社の春秋二回の例祭日を國家の大祭日として如何」との提議がなされたが廿三日の社大院内代議士會も異議なく之を承認し直に政、民、東方、第一、第二等各派と連絡を取りこれが實現に努力することとなつた

▲民政黨の賛成 【二三】 民政黨は廿四日午前十時院内に院内外總務會を開き協議の結果に基き靖國神社大祭日を國祭日となすの件につき同日の各派交渉會に武知院内總務より左の如く提案あり結局政友會、社大その他各派の賛成の下に各派連絡委員を擧げ案文を作成の上決議案或は建議案として近く衆議院に提出することとなつた

- 一 當日は首相、各閣僚、貴衆兩院議長並に議員は共に靖國神社祭典に參列し範を國民に示すこと
- 一 靖國神社に勅使參向、御祭文捧讀の時間を期して國民一齊に一分間の黙禱を爲し汽車その他一切の乗物運行を停止すること
- 一 當日は祝祭日として全國各戸に國旗を掲げしむること
- 一 全國各學校に於て遙拜式を行ひ兒童並に學生をして盡忠報國の念を涵養せしむること
- 一 市町村に於ては市町村長、在郷軍人

會長主催となり氏神社或は所在招魂社にて該町村出身の戦死者慰靈祭を行ひ殉國者を遇するの途を示し遺族を慰安すること、各地方に於て行はるる招魂祭をこの日に行はしむること

社大電力法案促進聯盟提唱

【二三】 今期議會に於ける重要法案たる電力關係諸法案に對し社大黨では本案は生産力擴充國民生活安定、軍備充實の三方面より見て、現下の國情に照し必須的なものであるとし、廿五日の院内代議士會に於て「電力關係諸法案通過促進聯盟」を組織すべく政、民兩黨をはじめ各派に對し黨所屬の全代議士を促進委員とし右の計畫を提唱することに決定した

本會議

國務大臣演說

戰時議會の本格的蓋開け日であり近衛内閣が最初を迎へる通常議會休會開けの當日たる廿二日は午後一時十八分開會新に議席についた線上當選議員金澤正雄(政)由谷義治(東方)松尾孝之(政)の三氏を講壇に紹介次で南京攻略賀賀表捧呈の顛末報告に引續き舊臘の將兵の感謝決議に對する寺内、松井兩司令官、聯合艦隊司令長官、支那方面艦隊司令長官よりの懇篤なる謝電を披露すれば滿場の拍手鳴りもやまず次いで近衛首相より一般施政方針、廣田外相より外交方針、賀屋藏相より財政演説を述べて杉山陸相、米内海相の戦況報告と代る、かくて午後二時四十五分政府側の施

政演説並に發言を終了、質問戦に入り、先づ 賀屋藏相 北支幣制を「圓」にリンクせしむる考へに大體賛成である、又我國々力が長期戦に對處してビクともするもので無い事は全然同感である、輸入計畫を無暗に押へる考はないから心配無用である

木戸文相 中等學校で支那語を教へる事は直に實現し難いが漢文の代りに時文を教へるなどの方法をつなぎとして日支兩國の友好を進める事としたい
吉野商相 羊毛、棉花の輸入配給に若干の摩擦を生じた事は遺憾であつた
高田俊雄氏(政)登壇 第一に何ひたいのは北支より中支に及ぶ全支那の半ばに垂んとする大地域をどう處置せんとするかといふ點である、徒らに國際法規の研究解釋等のみ没頭して軍事占領の一大事實を基礎とする適切有效なる措置を遅延せしむるが如きことあらば皇軍出動の本議に悖る結果となりはせぬか、占領地域に對する帝國の確固たる肚を明示することは或る意味において新政權確立の唯一絶対の條件であると信ずる

次に財政經濟政策に論及し當局の態度を痛烈に指摘し最後に復員計畫の重要廣汎性につき論及し時局收拾方針に關し首相の所信を問ふ

近衛首相 政府は將政權を對手にしないのみならず將政權の壊滅を計るため軍事上その他凡ゆるの方策を遂行しつゝある、又新政權の基礎が確定するまでその介役を行ふ必要と責任を感じてゐる、この事は支那領土及び主權の保存と何等背馳するものではない、従つて政府は新政權確立のためあくまで努力

廣田外相 將來第三國が國民政府と帝國との仲介に立つ様な事は絶対に無い、文化工作の進展は東洋平和の根柢として必要であると思ふ、北支開發會社は投資の氾濫を防ぐため設立される事となつてゐるが需要の種類により統制に緩急の度を加へ資本の自由な活動を阻害しない様に留意してゐる

近衛首相 我國は列國の在支權益を尊重する事は屢々申上げた通りである、次に聲明中に於いて「對手をせず」といふのは國民政府を對手として國交調整を議さないといふ意味であつてこの際帝國は將來に於いて國民政府を對手に和平を交渉する事は絶対にない事を言明する、更に北支、中支政權の確立發展を希望、政黨を尊重し舉國一致國難に赴かんとする意見に同感の意を述べ

廣田外相 將來第三國が國民政府と帝國との仲介に立つ様な事は絶対に無い、文化工作の進展は東洋平和の根柢として必要であると思ふ、北支開發會社は投資の氾濫を防ぐため設立される事となつてゐるが需要の種類により統制に緩急の度を加へ資本の自由な活動を阻害しない様に留意してゐる

する事を言明する

續いて堤康次郎(民政)將政權が反省して北支政權に合流を求めた場合、宣戰布告の斷行、物價騰貴對策、外資借入促進内地師團の支那大陸移駐、靖國神社例祭日を國家の大祭とする件、土木事業の振興、外交官の自由任用による外交陣刷新につきたゞし降壇

近衛首相 北支新政權に將政權の合流した場合と言つたのは平等に合體する意味でなく將が新政權の傘下に吸収された場合について云つたのである、將を對手にせずと云つても必要があれば將來宣戰を布告する事もあり得やう

賀屋藏相 外資輸入はビヂネスの線に沿つて行はるべきもので、國策として之を輸入する事をとらぬ

杉山陸相 内地師團の支那移駐問題には答へ兼ねるが具體的に研究し度い

廣田外相、有馬農相夫々所管の質問事項に答へ最後に末次内相處女登壇、靖國神社に對する意見に同感と述べ堤氏再び外交陣一新について質問、廣田外相答へて爾餘の質問を廿三日に持越しとし續いて休會中物故した故飯塚春太郎、故八田宗吉兩氏に對し頌徳の弔辭を贈つて休會明け第一日を終り六時十五分散會

藏相演説内容

▲支那事變の經過は諸君御承知の通りでありまして國民政府の無反省なる態度に鑑み帝國政府は爾後國民政府を相手とせず新興支那政權の成立發展を期待して更生新支那の建設に協力するの根本方針を確立いたしましたので今後に於いては愈々事變の長期に亘る建前を持し諸般の對策に遺憾無きを期する必要があります

殊に財政經濟の運営につきましては官民一致して其の成果を收むる爲一層の努力を要するものと考へます、而して今後事變の關係に於て必要とする多量の物資と資金の需要に備へ其の供給を確保致し、すると共に國民經濟の維持に萬全を期することは持久戰に處する我財政經濟政策の基礎的方針と信ずるのであります、政府は昨年事變擴大と共に我財政經濟の態勢をして非常事態に即應せしむるやう諸般の方策を講じて参つたのであります、今後に於ても此の基礎的方針に従ひ益々此等方策の徹底に努力致す心算であります

▲昭和十三年度豫算の編成に當りましても事變の長期に亘ることを建前とし、物資と資金は之を軍の需要充足に集中致し軍需に關係ある資材の他の方面に於ける消費は成る可く之を減少する方針の下に事變關係施設の充實を期し其の他の諸經費は眞に緊急差措き難きものゝ外之が計上を見合はすことと致したのであります、斯くして編成致しました昭和十三年年度歳入歳出總豫算の金額は歳入歳出共に廿八億六千七百餘萬圓であります、之を前年度豫算額と比較致しまするに前年度歳入歳出總豫算の金額は歳入歳出共に廿八億六千七百餘萬圓であります、歳入歳出を含んで居りますので之を控除して改算したるものと比較致しますると歳入に於て四千餘萬圓、歳出に於て七千六百餘萬圓を夫れ々減少することとなり、而して歳入豫算中普通歳入は經常部廿億二千三百餘萬圓、臨時部一億五千餘萬圓、合計廿一億七千三百餘萬圓であります、之を前年度改算豫算額と比較

致しまするに經常部に於て一億九千五百餘萬圓を増加し臨時部に於て八千二百餘萬圓を減少し差引一億二千三百餘萬圓の増となり、此の歳入經常部の増加は大體に於て租稅收入、印紙收入、官業及び官有財産收入の増加に基くものであります、此の中租稅收入の増加は一億七千二百餘萬圓であります、此等の増加は主として經濟界の好況に伴ふ自然増収に依るものであります、又臨時部普通歳入の減少致しまするは主として特別會計の減少致しまするは主として特別會計より一般財源受入の減少六千六百餘萬圓に依るものであります、之は本年度に於ては、南洋廳を除く外地各特別會計並に帝國鐵道、通信事業の兩特別會計より、臨時軍事費特別會計へ財源を繰入ることと致しました結果、此等特別會計より一般會計への一般財源繰入は、之を行はざることと致した爲であります、次に歳出豫算の内譯は經常部十六億四千餘萬圓臨時部十二億二千七百餘萬圓であります、之を前年度改算豫算額と比較致しまするに經常部に於て一億三千七百餘萬圓を増加し臨時部に於て二億千四百餘萬圓を減少致して居ります

▲右歳出豫算の大體に付概略の説明を致しまするに軍備の充實に付きましては既定計畫の遂行を期し、と共に緊急已むを得ざる新規計畫に要する經費に付き、而して之を計上致したのであります、次に事變に伴ふ陸海軍兩省以外に於ける施設に關する經費として軍事扶助費の増加、軍事援護事業の充實に要する經費等、五千六百餘萬圓を新規に計上し、此の外にも防空に關する經費、農産資源開發に關する經費、輸出増進に關する經費、液體燃料に關する經費、技術員養成に關する經費、民間航空に關する經費等現下の時局に顧み要する經費を計上致したのであります、尙地方財政補助金は前年度と同様一億圓を計上し、又事變に伴ふ豫算超過及び豫算外支出の必要に應ずる等の爲、國庫豫備金を三千七百餘萬圓を増加致しました、而して右以外一般の新規經費は、極力之が計上を見合はせまると共に既定經費に付一億四千四百餘萬圓の節減繰延を行ふ事と致したのであります、昭和十三年度豫算に於ける歳入の不足は公債財源に依ることと致しました、其の公債發行豫定額は總額六億九千四百餘萬圓であります、之に朝鮮總督府、帝國鐵道、通信事業の各特別會計に於て其の歳出の財源に充つる爲發行する豫定の公債合計一億六千六百餘萬圓を加へますれば其の總額は八億六千餘萬圓となり、之を前年度改算豫算上の公債發行豫定額と比較致しまするに一億九百餘萬圓を減少することとなり、

▲先づ金融界の状況に付申述べまするに事變の當初に於きましては、一時金融は相當引締りの状態を呈したのであります、が、政府資金の支拂の進捗と各種方策の實施とに依り、金融の基調は次第に緩和せられて参つたのであります、殊に昨年末に於ける資金の移動は近年稀に見る繁忙を呈したのであります、極めて平穩裡に經過し越年後の状況も至極順調でありまして、今後に於きましても金融は引續き圓滑に推移するものと考へるのであります、尙債市場に於きましても最近金融情勢の緩和に伴ひ、其の再開の機運が熟しまして、既に一部社債に付ては其の發行の決定を見るに至りましたが、政

案を提出致した次第であります、尙臨時軍事費の財源は大部分之を公債に俟つ方針であります、其の一部は統後の奉公として、國民に於て租稅を以て之を負担することが適當と認められますので、現下の事態に應ずる臨時的増稅案に付、之本議會に提出する爲目下準備中であり、次に此の機會に事變下に於ける我國經濟界の現状に付一言致し度いと思ひます、今回の事變に處する經濟政策に付きましては、政府は既に第七十一回及び第七十二回帝國議會に於て必要なる法律の協贊を得て之を施行致すと共に、其の他各般の措置を講じて参つたのであります、幸にして此等の施設は、國民の理解ある協力の下に所期の効果を收め、我經濟界は事變の擴大せるに拘らず、貿易、産業、金融、爲替、物價等各方面共、大體に於て順調なる経過を辿つて居るのであります、邦家の爲海に喜ばしく存す次第であります

▲先づ金融界の状況に付申述べまするに事變の當初に於きましては、一時金融は相當引締りの状態を呈したのであります、が、政府資金の支拂の進捗と各種方策の實施とに依り、金融の基調は次第に緩和せられて参つたのであります、殊に昨年末に於ける資金の移動は近年稀に見る繁忙を呈したのであります、極めて平穩裡に經過し越年後の状況も至極順調でありまして、今後に於きましても金融は引續き圓滑に推移するものと考へるのであります、尙債市場に於きましても最近金融情勢の緩和に伴ひ、其の再開の機運が熟しまして、既に一部社債に付ては其の發行の決定を見るに至りましたが、政

府と致しましては今後に於ける起債界の堅實なる伸暢を期待致して居るのであります。國防産業其の他時局に頗る緊要なる産業の生産力擴充に付きましては、臨時資金調整法の運用上特に留意致しますると共に此等事業資金の供給に付きましても、政府資金を以てする興業債券の引受其の他の方策に依り其の潤澤なるを期したのであります。今後に於きましても政府は貯蓄を奨励して資本の蓄積を圖り、又臨時資金調整法の適切な運用に依りまして、此等事業資金の供給關係を一層圓滑ならしむる方針であります。尙政府は庶民金融の整備改善を圖る爲、本議會に庶民金庫法案、恩給金庫法案及び無盡業法中改正法律案を提出することと致しました。公債の圓滑なる消化を圖ることとは之が多額の發行を必要とする此の際財政上よりするも國民經濟上よりするも極めて重要なことと考へます。政府は之が爲預金部資金其の他政府關係資金の運用に付特に考慮を廻らすと共に廣く民間各種金融機關其の他一般國民の國家的見地に立つ協力支援を要望致して居る次第であります。而して公債は今後共引續き大體日本銀行引受の方法に依り之を發行致し金融の調節に資し度き心算であります。尙昨年實施致しました公債の郵便局賣出及び割増金附貯蓄債券の賣出は頗る好成績を収めたのであります。今後に於ても時々之を行ひますと共に又銀行預金其の他に依る貯蓄を奨励して一面國民の公債保有の慣習を涵養し、他面金融機關の公債消化力の増進に努め以て今後に於ける公債の發行に遺憾なきを期して居るのであります。國際收支の適合を圖り爲

慈相場を維持安定せしむることは、申す迄もなく我財政經濟政策の根幹を爲すものであります。事變以來の爲替相場は状況を見ますに、事變に依り何等の影響を受くることなく、對英一志二片の水準は微動も致さなかつたのであります。而して政府は今後共引續き此の水準を堅持する方針であります。之が爲國際收支の全體に付調整計畫を樹立し、一層輸出の振興産金の奨励を圖り、尙一般物資の輸入の調整、貿易外支拂勘定の減少金の使用節約等の方策の徹底に努め、以て國際收支の適合を圖るに萬全を期して居る次第であります。

▲次に事變後に於ける我國物價の状況を見ますに一般には著しき騰貴を致して居らないのであります。之は主として海外に於ける物價が低落の傾向にありましたと國民の間に消費節約が行はれたこと等に基くものと認められるのであります。併し乍ら今後事變費關係政府資金の撤布が多きを加へ又輸入貿易調整の進行に伴ひまして物價問題は重要性を加ふるに至るものと考へられますので之が對策に付ては特に慎重を期し以て適正なる物價の保持に努むる必要があるものと考へるのであります。物價對策の基本は申す迄もなく物資供給の調整を圖るにありませぬから政府は軍需關係物資その他重要物資に付その供給の状況を考へ生産の増加を圖り又消費の制限、代用品の使用等の徹底を期すると共に此等物資の配給に付ても諸般の方策を講ずる心算であります。尙政府は之と共に賣借心算占めを戒め投機を抑制し又暴利の取締を厳に致す方針であります。現在一部

物品に付實行して居ります最高價格制の範圍を必要に應じ擴張する等直接物價を調整する方面に於ても對策に遺憾なきを期する方針であります。而して此等物價對策は根本に於て國民の自制に俟つて非ずんば、到底所期の成果を收むることが出來ないのであります。此の點に於て國民の眞摯なる協力を特に切望致す次第であります。

▲最近我國の經濟力は著しき發展を致して居るのであります。今後の持久戰に備ふる爲には益々其の擴充を圖り、之を軍事目的遂行に集中する必要があるものであります。而して此の經濟力の擴充及び集中を最も効果的ならしめ而も國民經濟の維持に支障ならしむる爲には、生産力の擴充、國際收支の適合及び物資供給の調整の觀點より、政府及び民間を通ずる國家全體の經濟活動に付、計畫性を興ふる必要が愈々緊切となつたのであります。政府は之が爲各種具體策の考究を進め之が實行を期して居るのであります。其の過程に於て各方面に種々の摩擦が生じます。此の點に於ては政府に於ても出來得る限り善處致す心算であります。事變の目的達成の爲一般國民に於ても右は國家の發展途上に於ける一試練として進んで此の困難を克服する固き心構を必要と致すのであります。我國の經濟事情を詳にせざる語外國の中には支那事變勃發後我國經濟の持久力に付懸念する向もあつたのであります。其の豫想に反し我國の經濟界は諸君御承知の通り事變以來些かも動搖することなく極めて平靜堅實に運行せられつゝあるものであります。私は

國民が愛國の至情より堅忍不拔、以て事變終局の目的貫徹に努力することを信じて疑はないのであります。我が充實せる經濟力に加ふるに此の國民の一致協力を以てしますれば事變が如何に長期に亘る場合に於ても毫も憂慮の要なきものと確信致す次第であります。

廿三日

廿三日は午後一時廿分開會、尙日の島田氏に引續いて小笠原氏(政)登壇。我國の經濟力は往時に比し飛躍的發展を遂げてゐる我が國力は如何なる長期戦にも堪へ得ると確信する蔵相は帝國の經濟國力を何と觀じてゐるか

質問第二日

有馬農相 農村勢力不足問題に關しては益々隣保互助の方法を充實、強化して之を補つてゆく積りである、農村人口過剩に對しては滿洲移民等により之を調節したい、疏安不足については増産計畫を遂行して供給確保を實現したい、末次内相國民總動員運動問題につき答壇宮澤氏再登壇、輸入統制計畫(品目別價格)の公表拒絕に關し爲管理施行當時政府の秘密主義が國家に莫大の損害を齎した事實を擧げ蔵相を難詰するが

賀屋蔵相 軍需關係品の輸入計畫が含まれてゐるので残念なら公表は出來ぬと突張り通す

三善信房氏(政友) 事變勃發後農村は物價騰貴の爲一轉して非常な窮況に陥つてゐるこの際農家収入増加を圖り農村生産擴充に力を致す事が喫緊であるとして政府の反省を促す、この時緊急四相會議を終へて首相以下着席したが面上頗る緊張の色を呈してゐる、三善氏計畫的移民の必要、疏安増産計畫の具體的内容林野行政の統一確立、種馬國有を中心とする馬事の改良最後に稅制改革促進の要を述べ降壇

有馬農相 農産物價を一般物價の變動に伴つて上下する事は出來ない、出來るだけ低廉の生産費で以て農産物を收獲

する方法を考慮するほかはない、移民に對しては農村の中堅分子ばかりが引放される様では將來の影響が憂慮されるので目下研究中である

として順次管轄を行ひ、續いて杉山陸相末次内相、賀屋藏相八角務政務次官夫々替へるところあり代つて

小池四郎氏(第二)登壇、政府は對支根本方策を遂行する爲の備へとして如何なる具體的手段が考慮されてゐるか長期に亘り我が國力を發揮する爲には國內の産業經濟政策の主眼は國家の必要とする線に添つて生産力を擴充する必要がある

と確安工業統制、株式取引所改革の意旨資本の海外進出に對する中樞的強力監督機關設置、國際勞働機關を脱退する考へは無いかと同機關が形式的に聯盟に従屬し實質的に第二インターナショナルを内容とするものであることを指摘するが社會大衆黨府からはウンともスンとも發言がないのは政黨異變一風景たるを失はぬ、小池氏最後に内閣改造強化問題を論じ郷男の電力管理反對につき

内閣の參議が政府の重要政策を閣外に於いて反對してもよいかどうかと質して降壇

近衛首相 今日(は)戦争の目的達成のため全力を懸けるべき秋で戦争の目的達成といふ國家の重大事の前に(は)營利心の如き或る程度の抑制を加へることが必要である、自分は組閣當初朝野懸絶を避けたといふ云つたがこれとても今日の時局において國家の必要を遂行する上に當然起るべき懸絶は避けるものではない、參議と電力問題について意見を

異にすることがあつてもよいと考へる參議は支那問題に關して内閣譯語に參する組織だからである、厚生大臣は適任者があれば置くつもりであり、電力案は國力充實の要件として必要な案だと思つて提出した、必ず諸君の協賛を得るものと確信する

と重大發言をやつての降壇、次に吉野商相、取引所の現況は完全と思はぬ種々對策を考へてゐる

木戸厚生相、國際勞働機關脱退問題は研究中である

と答へかくて五時四十二分散會

廿四日 質問第三日

質問第三日

廿四日は午後一時十五分開會、勢頭前日の宮澤胤男氏(民政)の質問に對し

近衛首相 今日(は)重大時局を突破するためには單に物質的總動員のみならず精神的にも總動員が必要である、國民に盲従を強ゆる事がないやう注意したいと考へてゐる、軍事外交上の機密に亘ることは別だが官價的秘主義を避けるが一九二〇年となつて戦争目的遂行に邁進したいと考へてゐる、從つて言論報道の自由は今後も出来るだけ尊重したい

機構官吏制度の革新、改正につき政府は如何なる具體案を考究しつゝあるか司法權の獨立神聖の保持のため大乗的見地から司法制度改革の意思ありや

帝人事件は公訴事實全然無根なりとすれば當年の起訴責任者、その指揮者の責任を明らかにせよ、鹽野法相は犯罪の事實があるも證據不十分であるから大乗的に控訴權を拋棄すると言ふてゐるが、この「大乗的」とは何を意味するか

とて缺席中の法相に對し答辯を求めて質問を終る

近衛首相 官吏制度改革案は金畫院において調査立案中である、高級官吏の民間會社入りは弊害があるからなるべくかゝる事が起らぬやうにしたい

木戸文相 漢文、時文教育について昨日の答辯を敷衍補足して答辯を終り次に麻生久氏(社大) 蔣政權の長期抗戰方策を顧慮せしめる鍵は北支占領地における政治工作を奏功せしめることである

政府は如何なる對策を持つてゐるか次に内政問題に移り出征兵士遺家族の統轄對策、中小商工業救済、軍需工業の國營斷行、行政機構議會制度の改革、文官任用令改正、樞密院改正の必要をとき、最後に「無自覺な資本主義の振舞ひこそ共產主義の温床ではないか」と述べて降壇

次に木戸文相軍事豫護、賀屋藏相中小商工業對策、杉山陸相戰時體制研究に就てそれ等答へて後政友會の第四陣として安藤正相氏(政友)登壇(事實に對處すべき國民精神總動員の問題に就て首相、文相に主としてお訊きたい)

とて現行教育制度の缺陷を指摘した後教育制度全般の改革、國民思想の問題に就て質し次に議院制度調査會の運用を督促更に檢察當局の人權蹂躪に及び政府の答辯を求める

近衛首相 戰爭遂行のために必要な事項並に事變處理の問題が先決であるから不急の問題は革進的のもの、雖も後廻しとなるは已むを得ないと考へる

木戸文相より教育制度改革につき答へ、次いで推尾辨臣氏(第二)登壇、北支に於ける恒常的政治指導機關設置、支那各地に軍隊を常駐せしめ屯團兵とする必要、外交演說中の對支四ヶ條は新興政權に對してもこの原則で進むか等を質せば

近衛首相 新興政權を包括指導する機關は適當の時期に考慮したい

杉山陸相 作戰が一段落の上で支那のみならず滿洲の駐兵其の他に付充分注意し考究したい

推尾氏自薦からユダヤ人問題、支那法幣問題につき重ねて訊し外相、藏相之に答へ、代つて三浦虎雄氏(東方)對英、露外交を斷じて一掃すべきである、又獨逸政府の聲明の如く上海の戰闘は未だ完結せざる時に政府が勸誘に反しその聲明に逆き條三國を通じて和平希望をなしたといふのは事實であるか、と鋭い舌鋒を向け一轉して内政問題に對する政府の勇斷を希望し代つて

近衛首相 昨年事變勃發以來終始支那の反省を求めたのであつて我國から進んで媾和を求めたことは絶対に無い、改革は事變に直接關係のあるものから始めねばならぬと考へてゐる

廣田外相 英吉利との間に於きましても幾多の問題の發生しつゝあつたことは事實でありませ、併ながら此亞細亞の形勢は殆んど亞細亞の運命に基いたものでありまじて英吉利と致しまして今日の發生する日々の事件そのものに依つて英吉利が支那に對する關係又は日本に對する關係を律して行くものではないと存じます、斯る近視眼的政策は英吉利はとらぬであらうと思ひます、獨逸則は色々日本の直接談判に對する考へ方を聞いて參りましたので今回議會に於て發表致した四條件を以て支那が和を求めて來るに於ては日本は之に應じてやる、併しながら唯口頭だけではいけぬ、眞に防共の精神を事實上に表明して來るといふ事になりまして而も日本の指定する場所に懽和使節を出せば之に應じて話をするといふ話を致しておいたのであります、斯る事情は今回議會に於て初めて發表す

る事であつて其獨逸の橋渡しに依る支那側の話の内容が任々支那側の方面から勝手に色々と誤報を交へて世界に流布された事は事實であります、併しこの獨逸側の仲介は日獨兩國の間には内密に獨逸が盡力すると云ふ建前になつて居たので結局に於て此不成立に終つた事が明かになつた最後の日に於て日獨兩國に於て之を發表致す事に致したのでありましてそれ迄色々誤つた情報で日本の國內にも參つて居つた様に思ふのであります、是等の誤つた情報を日本國民に傳へる事は是は又一般支那に對する交渉其他の點から申しても決して利益でないといふ事さう云ふ事の發表を暫く差控へ、今日の議會の開會を待つて其の事實を説明する方針で居つたのであります

末次内相 政府は法規に反するならばその身分、經濟力に拘らず彈壓する方針である、然し政府案に反對だからといつて彈壓する考へもない、と巧みに答へ次いで賀屋藏相、有馬農相も夫々答へ、これにて國務大臣の施政演説に對する質疑を全部終了し午後五時廿三分散會した

堀内良平氏(民政)登壇 官督特殊會社連營の効果は疑問である、更に一年四十萬キロを増發電するには三億圓の資金を要する十五億の資金をいかにして調達するか

永井逸相 水力でも火力でも現在は綜合性計畫性を排除してゐるため莫大な損失をしてゐる、特殊會社の基礎は盤固であり政府の配當保障があるから資金は寛鬆出来ると思ふ、賀屋藏相 電力開發資金は特殊會社が出來なくても必要である

清瀬規矩雄氏(政友) 近衛首相はこの非常時局に於いて尙ほ電力案のために相剋擦を誘致するも辭せずと考へてゐるか、本法案の競争進行のため必要な理由如何、本案は電氣事業の本旨とする發電、送電、配電の一貫作業を横斷的に寸斷する、政府は電氣事業を一貫して國營に移す意志があるか

永井逸相 電力の供給を豊富低廉正確ならしむる事は戦時に於いて絶対必要事である、電氣事業法では到底時局の必要とする業界統制は出來ぬ、政府は一貫作業でなければ電氣事業の目的を達しないとは考へぬ本法による強制出資は公益のためにする所有權の制限であつて「土地收用法」と同斷である

清瀬氏重ねて強行の必要ありやを訊し、永井逸相答へ、小柳牧衛氏(民政)大體前二者と同趣旨の質問を繰り返し、永井逸相前と同様の答辯を行ふ、高見之通(政友) 本法案は個人の事業を官製特殊會社に統合管理するものであつて國民思想上甚だ憂慮すべきものである、政府は本案の取扱につき慎重に

考慮する意思無きや

永井逸相簡單に答へ、高岡大輔氏(第一) 有能技術家を擁護して名實共に國策會社たるの形態を備へしめねばならぬ、又本案實現の曉電力料金を引上げて國幣の大財源を求め考へはないかと問へば

永井逸相 特殊會社たるに鑑みその經營の衝に當る人物の選擇については人材を天下に求むるの立場から考慮したい、数字的説明は委員會に譲りたい、電力管理によつて財源を得んといふが如き意思は毛頭無い

次で電力案を眞正面から支持する社大黨の代表

富吉榮二氏登壇 この管理案は頼母木案に比し後退を示し既設水力發電施設の統制範圍から逸脱しめる將來之を包含する意志があるか、農相、陸相、鐵相は本案に對し如何なる信念を有するかと訊して質問を終り

永井逸相 既存水力發電統制は財産調べその他のみでも數年を要するので刻下の要求に副はないから除外した、本案より後退する考は全然無いことを言明する

山田陸相 軍として電力管理によるのでなければ軍需工業の擴充が充分に出來ぬといふ點で特に本案の必要を痛感してゐるものである

と電力案支持を明言、續いて有馬農相、中島鐵相も本案支持の旨を答へる、小山亮氏(第二) 本案が擧り去られた場合の政府の責任、議會解散案の意志この案が通過せねば廣義國防計畫に障害があるかと質し

永井逸相 本案の實現に對してはあらゆる努力を吝みぬ決心である、私は本案の提出に對し重大なる責任を感じてゐる

山田陸相 電力が現在の儘であるならば支障ありと考へる、陸軍としては對支作戰上軍需産業を助長し軍需生産力を確保するため内地石炭資源の愛護に深甚なる考慮を拂つてゐるものであつてこの問題と密接な關係ある電力管理案が成立することを熱心に希望すると共にその成立を確信してゐる

と重ねて重大發言を行へば賛成諸君の拍手を送り反對派はタヂ／＼の態である、次いで

青木作雄氏(東方) 本案實施上の用意について當局の確信を問ひ質問を完了特別委員に附託し午後六時卅一分散會

軍事扶助費追加豫算可決

廿七日の本會議は午後一時十五分開會昨廿六日の豫算總會席上即決可決を見た、昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)を上程田子豫算委員長より報告あつて直ちに採決の結果満場一致可決、次いで日程を變更して左記政府提出七件を一括上程

一 昭和十三年度一般會計繰出の財源に充つる爲公債發行に關する法律案

一 昭和七年法律第二號中改正法律案(滿洲事件に關する經費支辨の爲公債發行に關する件)

一 造幣局東京出張所廳舎其他の新營費に關する法律案

一 對支文化事業特別會計法の特別に關する法律案

一 支那事變に關する臨時軍事費の財源に充つる爲特別會計より爲す繰入金に關する法律案

關する法律案

一 朝鮮事業公債法中改正法律案

一 軍の需要充足の爲の會計法の特例に關する法律案

の七件を一括上程、賀屋藏相より提案理由の説明ありたるのち質疑に入る、先づ對支文化事業に對して

池田秀雄氏(民) 日支兩國が眞に提携するために現在の對支文化事業はあまりに小規模ではないか

廣田外相 今後從來の様な姑息な方法で文化事業を進めていくわけにはいかぬと信じて居る、今回の増額は從來の事業を幾分擴大する程度のもので外務省として文化事業の爲やうと思ふ仕事事の極く一部分である

小谷節夫氏(政) 膠濟鐵道は少くとも遼附前の形にかへすことが必要である、青島引揚民の窺兵の責任の一半は政府にある

と詰り寄れば滿場拍手を送る

廣田外相 膠濟鐵道の問題については貴見の如く國民の期待に副ひ得る様解決し得るものと信じてゐる

松尾三藏氏(民) 内鮮融和の徹底及び朝鮮志願兵制度の成績に鑑し將來徵兵制度を施行する考へはないか

大野朝鮮政務總監、八角拓務政務次官の答辯のち

町尻軍務局長 朝鮮における兵役制度の關係は各種軍事施設並に各方面の狀況等より考へ今回の志願兵制度は確實に徵兵制度を布く前提であると確言するまでには至つて居ない、然し將來よく研究して徵兵制度施行にまで進み度いでつて村春琴氏(第一)登壇、志願兵制度

關する法律案

廿五日

電力管理案提出

國務大臣の施政演説に對する質問を終了した衆議院本會議は午後一時廿分開會日程を變更して電力管理案關係の政府提出

△電力管理法案△日本發送電株式會社法案△電力管理に伴ふ社債處理に關する法律案△電氣事業法中改正法律案の四案を一括上程永井逸相より提案理由説明あつて質問に移り

廿七日

軍事扶助費追加豫算可決

廿七日の本會議は午後一時十五分開會昨廿六日の豫算總會席上即決可決を見た、昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)を上程田子豫算委員長より報告あつて直ちに採決の結果満場一致可決、次いで日程を變更して左記政府提出七件を一括上程

一 昭和十三年度一般會計繰出の財源に充つる爲公債發行に關する法律案

一 昭和七年法律第二號中改正法律案(滿洲事件に關する經費支辨の爲公債發行に關する件)

一 造幣局東京出張所廳舎其他の新營費に關する法律案

一 對支文化事業特別會計法の特別に關する法律案

一 支那事變に關する臨時軍事費の財源に充つる爲特別會計より爲す繰入金に關する法律案

關する法律案

一 朝鮮事業公債法中改正法律案

一 軍の需要充足の爲の會計法の特例に關する法律案

の七件を一括上程、賀屋藏相より提案理由の説明ありたるのち質疑に入る、先づ對支文化事業に對して

池田秀雄氏(民) 日支兩國が眞に提携するために現在の對支文化事業はあまりに小規模ではないか

廣田外相 今後從來の様な姑息な方法で文化事業を進めていくわけにはいかぬと信じて居る、今回の増額は從來の事業を幾分擴大する程度のもので外務省として文化事業の爲やうと思ふ仕事事の極く一部分である

小谷節夫氏(政) 膠濟鐵道は少くとも遼附前の形にかへすことが必要である、青島引揚民の窺兵の責任の一半は政府にある

と詰り寄れば滿場拍手を送る

廣田外相 膠濟鐵道の問題については貴見の如く國民の期待に副ひ得る様解決し得るものと信じてゐる

松尾三藏氏(民) 内鮮融和の徹底及び朝鮮志願兵制度の成績に鑑し將來徵兵制度を施行する考へはないか

大野朝鮮政務總監、八角拓務政務次官の答辯のち

町尻軍務局長 朝鮮における兵役制度の關係は各種軍事施設並に各方面の狀況等より考へ今回の志願兵制度は確實に徵兵制度を布く前提であると確言するまでには至つて居ない、然し將來よく研究して徵兵制度施行にまで進み度いでつて村春琴氏(第一)登壇、志願兵制度

實施につき全半島人を代表して感謝の辭を述べたもの幣制、關稅を統一する事は出來ぬかと質し

大野政務總監 輸入稅については昭和十二年度より昭和十五年度迄に撤廢する事になつてゐる

▲兵役法改正案(政府提出) 一 兵役法中改正法律案(政府提出) を上程杉山陸相提案理由を説明之に對し

長野綱良氏(民政) 現行適齡期滿廿歳を滿十八歳に低下せしむる考はないか 杉山陸相 只今變更の意思は無い

田原春次氏(社大) 應召地方議員の失格は復員後直に復活出來るよう改正する考は無いか、戰傷兵士を國營工場等に採用する制度を兵役法に明記する考はないか

杉山陸相 戰傷兵の就職については工廠では優先的に採用する事となつてゐる 一般國營工場其の他も同精神で進むものと思ふ

米内海相、中島鐵相も同趣旨を答へ 木戸文相 一般會社の傷痍軍人採用については熱心に努力したい

末次内相 應召地方議員の失格問題に關しては目下研究中である これにて質問を終り委員付託に決定 ▲國民健康保險法案(政府提出) 一 國民健康保險法案(政府提出) を上程木戸厚相提案理由を説明中村梅吉(民政)西川貞一(政友)北勝太郎(第一)佐竹晴記(社大)諸氏と木戸厚相との間に簡單な質疑あつて委員附託散會

廿九日

農地調整法案提出 廿九日は午後一時十二分開會、先づ福島縣二區選出議員藤季松氏(民政)を議場に紹介したる後議事に入り

一 農地調整法案(政府提出) を上程有馬農相より別項の如き提案理由の説明あつて質疑に入る 岡本實太郎氏(民政) 本案において農地法案に對する衆議院の修正意見を全然無視してゐるのは如何なる理由に基くか、政府は前回同様の修正に應ずる意思ありや、本法は土地公有を認めてゐるが進んで國有にまで進む意向であるか、農地委員會における和解に強制力を持たせる考へはないか、裁判の形式が豫當を缺くではないか、非訟事件、非公開裁判による理由如何

有馬農相 前回の修正が困るといふわけではないがなるべく法を簡單にして實際の運用に便ならしめたものである、修正に關しては何とも申上げられぬ、土地國有に進む考へはない、農地委員會の構成については充分注意したい、農地委員會と小作調停委員會との間に對立の起らぬやう實際の運用に當つて篤と注意したい

久山司法政務次官より裁判形式について答へ代つて 加藤知正氏(政友) 本案を取急いで提案した理由如何、我が國農地問題の根本は如何にして農地の過少を是正するかの一點にある、政府の所信と對策如何

有馬農相 本案は急を要する國家の事情に對應すると云ふ事を目的としたものである、農家の一戸當り耕地面積増加

の要は勿論であるが内地の收用人口とも關係があり研究を進めて行き度い 村松久義氏(民政) 戦時に於ける農村の中心課題が生産力の維持増進にある、本法は果して此の戦時農村の緊急課題に答へ得るか として眞向微塵の反對論を述べ降壇代つて有馬農相 我國の政治、經濟、國防上の必要から相當金を使つても自作農を維持創設する必要ありと信じてゐる、又土地私有を許してゐる我國の現状に於て土地の引揚げを原則として禁止することとは出來ない、第十二條の裁判の問題は重大であるから委員會に於いて詳細に御答へし度い

伊東岩男氏(政友) 政府は土地私有制に制限を加へ土地私有最高限度の設定、土地相續發の改正等に迄進む考へはないか、政府は自作中心主義小作中心主義又は併用主義の孰れで進むか

有馬農相 政府の土地政策の根本を個人所有から團體所有へ移行するものであると規定する事は出來ない、自作、小作共に我國農村に現存する要素であるから小作を輕視するが如きは絕對にない

長野長廣氏(民政) 政府は統後の波に乗つて臨時應急の法案を提出し耕作權を確立し小作を永小作化せんとしてゐる、農相は土地尊嚴性を認知してゐるか、土地團體所有制度をつくることは果して我國情に適するか、永小作問題に全然觸れなかつた理由如何

有馬農相 本案立案に當つて土地農民との關係、土地の尊嚴性を充分認識してゐたつもりである、土地の團體所有性を認めたいのは應急の場合に土地の兼併を避ける方法として外に適當なものになつたからである、永小作は未だ期限もあるので今日ば觸れなかつた

吉植庄亮氏(政友) 過小農の窮狀を救ふには耕地を倍にすることは出來ないから出來る一途は全小作農を一舉に自作農たらしめる外はない、本案の目的を達したとしても此の根本問題にどれ程の貢獻をなし得るか

有馬農相 政府としても現在の農村對策に満足してゐるものではない、全小作農を自作農たらしめることはその趣旨は極めて結構であるが實現は却々困難である 赤城宗徳氏(第一) 本法案は臨時立法か恒久的立法か 有馬農相 本法案は恒久的立法として提案した 前川正一氏(社大) 土地問題の解決を自作農創設維持に置くのか、耕作者に耕作權を確保せしめんとするのか 有馬農相 本法で満足しない耕作者の生存權確立の爲め努力する 中原謹司(第二) 大石大(東方)兩氏本法案の不徹底を詰めより土地問題解決の根本立法を提案せよと迫り有馬農相本案撤回の意思はないと簡單に答へ特別委員に付託して六時四十九分散會した

め委員長辭任に付き後任委員長として田子一氏(政友)を全會一致推薦して後小笠原三九郎氏(政友)矢野庄太郎氏(民政)平野力三氏(第一)より參考資料提出の要求あり同州五分散會

軍需扶助費追加豫算可決 廿六日は午前十時卅分開會 △昭和十三年度一般會計歳入歳出總豫算案△昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算案△豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件△(追第)號昭和十二年度一般會計歳入歳出豫算追加案

を一括議題に供し賀屋藏相並に木戸厚生相より軍事扶助費の増加に伴ふ十二年度追加豫算第一號に對する説明あつたる後右追加豫算第一號に對しては質問を省略し直ちに採決の結果全會一致之を可決次いで質疑に入り勝正憲氏(民政)臨時軍事費追加豫算の公債發行額及公債消化について具體策につき賀屋藏相に質し 勝氏 公債の郵便局賣出しは如何なる理由より行つたか、又將來之を繼續する意思

賀屋藏相 戦時に於いて國民が公債を持つ事は國家に奉仕する一方法であり今後も益々これを涵養する必要があると考へる、公債消化政策の上から見れば勿論補助的手段にすぎない

勝氏日滿兩國一體とする昨年の國際收支について質し 賀屋藏相 日滿を通じて見れば昨年の我が國貿易入超過六億三千萬圓よりも更に大きいと見なければならぬ

勝氏次で輸出振興策強制化による弊害對策について吉野商相の所見を問ひ

豫算總會

豫算委員會長異動 廿五日の衆議院豫算總會は午前十時卅分開會若宮貞夫氏(政友)病氣のため委員長辭任に付き後任委員長として田子一氏(政友)を全會一致推薦して後小笠原三九郎氏(政友)矢野庄太郎氏(民政)平野力三氏(第一)より參考資料提出の要求あり同州五分散會

吉野商相 世界的に高關稅政策が採用されて自由通商が行はれなくなつた現在輸出貿易を促進するためには爲替清算協定による以外に途はない、未だ具體的交渉は行つてゐないが、今後その實現に努力するつもりである

勝氏 日支兩國經濟事件につき今後如何な方針を以て臨むか

廣田外相 將來北支に於いても揚子江方面に於いても夫々國策會社を興し其の經營の中心に當らしめたい、北支の重なる交通通信發送電嶺山其他主要事業につき直接國策會社が當るか或ひは別個に會社を興すか何れにするも日支双方の公衆の利益に關係する事業は統制して之に當る考へである、外國資本との調和を計る建前からも有力な資本の必要があると思ふ

賀屋藏相 北支の有力な銀行を網羅し新政權も出資して發券銀行を作り現在發行されてゐる紙幣は漸次之に吸收せしめる

勝氏 政府は中央地方の負擔均衡を圖るため地方財政補助金を増額せずや

末次内相 一億圓の交付金で十分なりとは考へてゐないが増額の意はない

勝氏次で前日の貴族院に於ける「日本の政治の中心」に關する答辯につき近衛首相の見解を質して打切り

砂田重政氏(政友) 陸海軍においては事變が長期に亘るも世界の軍擴の情勢に對處して國防計畫に安固たることを期し得るか

杉山陸相 これに對抗し得るやう豫算その他の上で全力を盡してゐる

米内海相 海軍としては將來第三國の情

勢をよく考へて遺憾なきを期するが今日においては國防上何等の心配はない

砂田氏 滿洲重工業株式會社はどういふ考へで出來たか將來の滿洲經濟指導方針とどういふ關係があるか

杉山陸相 從來の在滿經濟指導の方針と何等變更はなくたゞ統制聯携を保たしめるやう按配したものである

砂田氏更に消費統制の方針について商相に農漁村対策につき農相等に質した後四時四十五分散會

滿洲重工業問題論議

廿七日は午前十時四十分開會

宮脇長吉氏(政友)議事進行に關連して法相の出資を要望して後

小山谷藏氏(政友)滿洲重工業を結川氏に獨占せしめねばならぬ理由如何と問ひ

杉山陸相 今日この非常時局に於いて滿洲に於ける國防資源を開發し國防産業を確立する事を急務なりと考へこの目的にそはしむる爲め重工業の統制を計り重工業生産力の低廉豊富確實迅速を期した諺であり、日産の進出を認めたのは速かにこの目的を達し多くの民衆をこの國家的事業に接觸せしむるために取敢へず日産を選んだのであつて之により他の資本の進出を妨げるものには無い、今度の組織變更になつても産業の利益を一部階級に壟斷せしむる弊害を除き得ると信じてゐる、日産は大眾的株主を綜合した親會社だからである

小山氏 新會社經營に外資を輸入すると

言ふが滿洲に外資を導入し、滿洲をその蹂躪下に置く事は絶対に反對である

杉山陸相 ハリマン氏の經驗は良く研究

してそれと同じ様な危険の起らぬ様注

意してゐる

小山氏 帝國政府は屬々領土的野心なきことを聲明してゐるがその理由をもつとハツクリ言明されたい

近衛首相 かくの如き野心を持つ必要がないのである、新政權が北支或は中支に成立する機運を助長しその發展を期待すること、支那の主權領土を尊重する精神とは矛盾しない

小山氏 媾和條項中の賠償金とはどういふ性質のものであるか

廣田外相 賠償の意味は普通に戰爭後において戰勝國が要求する賠償のあらゆるものを含み我が在支邦人がうけた損失の賠償は勿論含んでゐる

津雲氏 陸海軍兩方面に於いて考慮してゐる對策案中豫算を伴ふもの、實施に對して資料整備費、航空隊充實費など航空計畫に對し再検討を加へる必要ありと思ふが如何

杉山陸相 既に長期作戰に入る今日、支那以外にも備へなければならぬものは一層重きを加へてゐる、航空にしても今回の事變の經驗に鑑み速かに之を充實せねばならぬ

米内海相亦同様に答へ、津雲氏内地朝鮮臺灣に於ける交通機關充實につき關係當事者の答辯を求めた後質疑を翌日に持越し田子委員長より

鹽野法相は醫師の診斷の結果尙二三日靜養を要するから御諒解ありたいと諒解を求め午後五時四十五分散會

十分再開、米内海相末次内相の出席あるのみなので議事進行に關連して砂田重政氏(政友)大臣の出席を委員長に督促し更に休憩、午後一時廿二分三度開會近衛首相以下十閣僚出席開會と同時に近衛首相發言を求め

法相はこの總會の會期中に出席出来るものと考へてゐます、若し出來ぬ時はその時に適當の方法を講じたいと思ふ

津雲氏質疑を續行

政府は五分利債借替へを何故續行せぬか

賀屋藏相 一昨年來の金融情勢は種々注意せねばならぬ様相を呈して居りその後の事變の發生もあつて一面借替への起す摩擦について充分考慮を拂ふ必要があるので金融情勢を見定めた上將來善慮したい

津雲氏 新産金額について承知したい

賀屋藏相 新産金額は昨年相當増加して二億四五千萬圓程度に達するものと思ふ

津雲氏昨年度(豫算廿五億)の軍事資材輸入數量と本年度豫算四十數億)の同輸入數量の大小について政府の答辯を要求したが、答辯なく

津雲氏 この程度の質問に對する答辯は國防に障害ありと思はぬ軍部大臣とも良く相談されて明答されたい

賀屋藏相 軍部大臣とも相談の上で返答しない事となつてゐる

と押問答を繰返し、最後に首相に對し權力、財力の壓迫干渉を排撃すべしと希望して滿洲事變以來の具體的例證を擧げてこれに對する確固不拔の決意を促し首相の所信を問ふ

近衛首相 財政經濟の問題について廣く意見を聴くことは眞にもつともであり今後敢て金融資本家とはいはず各方面の意見を聴くやうに努める國內改革の機運は熟してゐると思ふ、然しこれがため當然起るべき摩擦に對しては政府はこれを突破するだけの覺悟を懷いてゐる

と明答を與へたいで原次郎氏(民政)生産擴充、新産金額、統制經濟、低金利政策に關して質した後近衛首相に對し

原氏 十六日の聲明に於いて政府は國民政府を對手とせずと言明して置き乍ら其の後之を相手に宣戰布告をするやも計られぬと述べたが矛盾ではないか

近衛首相 蔣介石が今日軍事的に財政的に相當の窮境に立つてゐる事は事實であるが今後その權力を失墜せず狀況次第で或は勢力を回復する事があるかも知れぬ、事實上に於いて相當の地域に亘り相當の兵力を要して交戰する事でもあれば其の時は事實上宣戰布告をせねばならぬ場合が起るかも知れぬ

原氏尙詳々と新興政權援助その他につき質し殘餘の質問を留保したまふ午後六時十分散會

對北支新政權問題答辯

廿九日午前十時五十二分開會原次郎氏(民政)前日に引續き國際收支に關する秘密會、言論取締方針緩和神祕官設置その他について努力を求め

末次内相 出來得る限り努力するが戰爭遂行に不利な事項については言論の自由も致し方ないと思へる

杉山陸相、賀屋藏相、吉野商相より夫々

日八廿

大臣缺席問題

廿八日は午前十時四十分開會、米内海相を除く他の閣僚の出席なきため直ちに休憩同十一時四

日七廿

宮脇長吉氏(政友)議事進行に關連して法相の出資を要望して後

小山谷藏氏(政友)滿洲重工業を結川氏に獨占せしめねばならぬ理由如何と問ひ

杉山陸相 今日この非常時局に於いて滿洲に於ける國防資源を開發し國防産業を確立する事を急務なりと考へこの目的にそはしむる爲め重工業の統制を計り重工業生産力の低廉豊富確實迅速を期した諺であり、日産の進出を認めたのは速かにこの目的を達し多くの民衆をこの國家的事業に接觸せしむるために取敢へず日産を選んだのであつて之により他の資本の進出を妨げるものには無い、今度の組織變更になつても産業の利益を一部階級に壟斷せしむる弊害を除き得ると信じてゐる、日産は大眾的株主を綜合した親會社だからである

小山氏 新會社經營に外資を輸入すると

言ふが滿洲に外資を導入し、滿洲をその蹂躪下に置く事は絶対に反對である

杉山陸相 ハリマン氏の經驗は良く研究

してそれと同じ様な危険の起らぬ様注

意してゐる

小山氏 帝國政府は屬々領土的野心なきことを聲明してゐるがその理由をもつとハツクリ言明されたい

近衛首相 かくの如き野心を持つ必要がないのである、新政權が北支或は中支に成立する機運を助長しその發展を期待すること、支那の主權領土を尊重する精神とは矛盾しない

小山氏 媾和條項中の賠償金とはどういふ性質のものであるか

廣田外相 賠償の意味は普通に戰爭後において戰勝國が要求する賠償のあらゆるものを含み我が在支邦人がうけた損失の賠償は勿論含んでゐる

津雲氏 陸海軍兩方面に於いて考慮してゐる對策案中豫算を伴ふもの、實施に對して資料整備費、航空隊充實費など航空計畫に對し再検討を加へる必要ありと思ふが如何

杉山陸相 既に長期作戰に入る今日、支那以外にも備へなければならぬものは一層重きを加へてゐる、航空にしても今回の事變の經驗に鑑み速かに之を充實せねばならぬ

米内海相亦同様に答へ、津雲氏内地朝鮮臺灣に於ける交通機關充實につき關係當事者の答辯を求めた後質疑を翌日に持越し田子委員長より

鹽野法相は醫師の診斷の結果尙二三日靜養を要するから御諒解ありたいと諒解を求め午後五時四十五分散會

十分再開、米内海相末次内相の出席あるのみなので議事進行に關連して砂田重政氏(政友)大臣の出席を委員長に督促し更に休憩、午後一時廿二分三度開會近衛首相以下十閣僚出席開會と同時に近衛首相發言を求め

法相はこの總會の會期中に出席出来るものと考へてゐます、若し出來ぬ時はその時に適當の方法を講じたいと思ふ

津雲氏質疑を續行

政府は五分利債借替へを何故續行せぬか

賀屋藏相 一昨年來の金融情勢は種々注意せねばならぬ様相を呈して居りその後の事變の發生もあつて一面借替への起す摩擦について充分考慮を拂ふ必要があるので金融情勢を見定めた上將來善慮したい

津雲氏 新産金額について承知したい

賀屋藏相 新産金額は昨年相當増加して二億四五千萬圓程度に達するものと思ふ

津雲氏昨年度(豫算廿五億)の軍事資材輸入數量と本年度豫算四十數億)の同輸入數量の大小について政府の答辯を要求したが、答辯なく

津雲氏 この程度の質問に對する答辯は國防に障害ありと思はぬ軍部大臣とも良く相談されて明答されたい

賀屋藏相 軍部大臣とも相談の上で返答しない事となつてゐる

と押問答を繰返し、最後に首相に對し權力、財力の壓迫干渉を排撃すべしと希望して滿洲事變以來の具體的例證を擧げてこれに對する確固不拔の決意を促し首相の所信を問ふ

對北支新政權問題答辯

廿九日午前十時五十二分開會原次郎氏(民政)前日に引續き國際收支に關する秘密會、言論取締方針緩和神祕官設置その他について努力を求め

末次内相 出來得る限り努力するが戰爭遂行に不利な事項については言論の自由も致し方ないと思へる

杉山陸相、賀屋藏相、吉野商相より夫々

所管事項につき言論取締の止むなき事情を述べた。次いで松村氏(政)官吏制度、内閣制度につき近衛首相就後對策につき木戸厚生相、吉野商相、有馬農相財政經濟政策につき賀屋藏相と一問一答

賀屋藏相 今回の増税に於いては時局によるデフボロ景氣の是正にも努めたものである、又公債利拂ひ程度の収入を計る事は結構であるが事件費はいくら要するから分らないのであるからそのための理由で増税するのではない
石坂繁氏(第一) 新政權に對する方針如何

廣田外相 支那の將來に付きましては日本は我國と親密なる關係を保ちつゝ、防共政策を實行致す政權の樹立を期待致して居りまして、それに依つて支那全體の更生に助力致して參りたいと考へて居るのであります、随つて日本としては唯北支のみに依る政權を樹立して之を支那から分離せんと云ふやうな考は毫も持たないのであります、支那全體の統一が矢張り支那保全の爲めにも總ての點から必要であると思つて居るのであります、然し乍ら支那の今日の狀態で果して直ちにさう云ふ事態が實現し得るや否やと云ふ事は時日の経過に徴するの外ないと思ふのであります、従つて必ずしも北支だけに政權が出來、他の地方に政權の出來るのを防ぐと云ふ意志は毫も持たないのであります、斯る支那政權と云ふものは國際的又は日滿支との間の共存共榮の實を圖り外に對しては防共政策で進むべきものである事を期待して居りまして其の趣旨に於て出來るだけ助力を致して參

り度いと思ふのであります

石坂氏 蒙古民族は今日成吉思汗の昔に還つて理想に邁進して居り新政權とは別個に發達すべきものと考へるが如何
廣田外相 蒙疆方面の住民は豫て支那の編件を脱する事を希望してゐたので今回獨立を見るに至つた事は結構な事であり將來もその線に沿ふて發展すると思ふ、日本は之を援助する考へである
石坂氏 内閣制度改革に關する所見如何
又航空省、貿易省設置の考へなきや
近衛首相 内閣制度を國務院とする考へは同感の點もあるが研究の必要がある
航空省、貿易省設置の考へはなきや
代つて作田高太郎氏(民政)國民精神總動員に關する根本方針について首相、内相に質し内閣情報部發行の週報に掲載された「人民戰線の檢舉について」の文中の言葉をとらへて
今日の如き重大時局にわざ／＼國內相剋磨擦があるかの如き言葉を用ふる必要が何處にあるか
とて「豫て官僚の獨斷である」と斷じて明答を求め
末次内相 内務省が勝手なイデオロギイを建て、國民に臨んでゐる事實は絶對に無い
作田氏 同教徒と防共協定を結ぶ事について考へてゐるか
廣田外相 回教徒の問題については充分考へてゐる、イラン國と公使交換を行つたのもその現れである、内地の回教研究家とも密接な連絡を計つてゐる
作田氏尙貴族院改革について首相に質し殘餘の質問を留保して午後六後三分散會

日一卅

人権蹂躪問題

卅一日は午前十時五十六分開會
缺席問題に絡んで話題を投げてゐた鹽野法相出席開議頭頭司法大臣に對する留保中の質問を掲げて砂田重政氏起ち神奈川縣の放火事件の不當拷問を論じ冤罪に陥つてゐた事が明白となつた人々に對しては如何なる處置をとつてゐるかと問ひ
鹽野法相 被告人に對する判決を覆す必要あるものは適當な方策を講じて雪冤させる積りである
砂田氏次に帝人事件控訴權放棄に際し法相發表の談を讀み上げ
法相その人が判決を認めてゐながら裁判に疑義を執むが如き態度をとることには信ぜられぬ眞相如何
鹽野法相 新聞に掲載されたものは私の聲明ではない私の談話を新聞記者が綴つたものであるが私の言葉に足りない所があつたかも知れぬ、私としては判決を尊重して居り事實は判決の通りであると思ふ

論じ首相内相の答辯を求め

近衛首相 官吏がその本分を逸脱するやうな場合は嚴重にこれを戒飭する考へである
末次内相 私が内務大臣たる限り法を超へる如きことは斷じてないやうにする
次いで田萬清氏(社大)賀屋藏相との關係に資本蓄積と生産力擴充、公債消化の關係に國際收支について一問一答を試み
田萬氏 今日從來の營利生産機構を公營生産機構に變換すべき重大な時期でありこれを措いて他に革新政策は無いと思ふ
杉山陸相 營利本位の經濟を是正し公益を尊重する經濟を打樹することに、てはお説の通りである、今日國防の擴充のためにはその考へ方の下に進まなければならぬ、この考へ方の實現出來るやう努力してゐるし將來も努力する
田萬氏更に労働力賃銀問題、臨時工問題につき厚生相に警告した後、最後に統後對策について厚生相に質して質問を終り代つて原夫次郎氏(民)より首相、法相に對し留保中の質問

院本會議に於て廿七名の委員付託なつた

昭和十三年一般會計歳出の財源に充つる爲公債發行に關する法律案外六件の委員會は廿八日午前十時四十三分開會、左の通り委員長、理事の互選を行ひ散會
△委員長一松定吉△理事池本甚四郎、森下國雄、川崎巳之太郎、松木弘、藏原敏捷
▲審議開始【一】元廿九日午前十時五十分開會太田大藏政務次官より提案理由説明の後質疑に入り今成留之助氏(民政)軍需品支拂代金の遅れる理由につき簡單に質問、之に對し太田政務次官より適宜事情調査の上善處する旨の答辯あつた後十一時廿五分散會
▲委員長長決定【二】元廿七日の衆議院本會議に於て卅六名の委員附託となつた國民健康保險法案(政府提出)委員會は廿八日午前十時四十分開會、左の通り委員長理事の互選を行つて後參考資料の提出を求め審議に入らざ散會
▲委員長長添田敬一郎△理事武知勇記、青木亮貞、小笠原八十美、盛島明長、鈴木正吾、佐晴記
▲審議開始【三】元廿九日午前十時半開會、工藤厚生政務次官より提案理由を説明したるの質疑に入り
清水留三郎氏(民) 國民健康保險の專斷を任命する方針ありや
進藤長官 地方の實情に即し開業醫と專屬醫と兩方に診斷させる唯地方の組合で專屬醫を任命し開業醫を排除することには受療の自由を制限することになるから許さない方針である
松田氏 組合普及の方法順序如何

委員會

▲赤字公債法案委員會
▲委員長理事決定【二】元廿七日の衆議院

▲赤字公債法案委員會
▲委員長理事決定【二】元廿七日の衆議院

進藤長官 初年度は一縣當り二乃至三組
合とする方針である
松田氏更らに組合加入醫療費負擔、保
料等の具體問題につき質し

清水社會保險局長 加入は全村加入の方
針である、醫療費負擔の限度は大體二
割とする、保険料は等級別として資力
の大小に應じ原簿の差別を附ける
かくて午後零時十分散會した

▲質疑續行【三】卅一日は午前十一時
開會、松田喜三郎氏(民政)醫療費の一部
負擔に對しては寧ろ國家が補償すべきを
要求し組合の施設費、事務費、積立金等
が農村漁村の現状に即し過重なる旨を述
べ最後に藥治行政劃一の必要を強調した
に對し工藤厚生政務次官、進藤保險院長
官等の答辨あつて西川貞一(政)氏より卅
一の體位に就き種々述べ、醫療費の軽減
問題に關し政府委員との間に問答あり、
國民健康保險組合を別個に成立させず、
産業組合に就て代行せしむ可しと強調し
次で山田順策氏(民)より強制加入健保委
員會の構成、補助金の割當等の問題に就
き質問し、代つて北勝太郎氏(第一)より
健保提案案以來の中心問題たる代行問題
に關し第五十四條の不徹底なる點を痛撃
し同委員の質疑を終り、同五時十分散會

▲請願委員會
▲請願分科主査決定【二】(六)衆議院の請
願委員會は廿八日午前十時半開會左の如
く分科並に主査を決定同十一時散會した
△第一分科(内閣、大藏所管)小高長
三郎(政)
△第二分科(外務、内務、厚生、農林
商工所管)沖島謙三(政)△第三分科(陸
軍、海軍、逓信、拓務所管)清廣(民)

▲委員長決定【二】廿九日衆議院で卅
六名の委員附託となつた、農地調整法案
(政府提出)委員會は卅一日午前十時四十
分開會、委員長理事の互選の結果、委員
長宮澤裕、理事服部岩吉、河野一郎、土
屋寛、村松久義、赤城宗徳、川俣清吉を
互選、資料の提出を求め同五十分散會

▲委員長決定【二】廿七日の衆議院本
會議に於て十八名の委員附託となつた兵
役法中改正法律案(政府提出)委員會は廿
八日午前十時五十分開會、左の通り委員
長、理事の互選を行ひ直ちに散會
▲委員長永田長吉△理事愛野時一郎、
伊藤東一郎、木村作次郎

▲審議開始【三】委員會は卅一日午前
十時四十分開會、杉山陸相より提案理由
を説明して質疑に入り伊藤東一郎氏より
在郷軍人並に軍友會の指導方針を質した
後傷痍軍人並びに遺家族の優遇を希望し
次いで山田順策氏木村武雄氏は今次事變
で現地における軍衛生の實狀を細々と述
べて衛生當局の一層の努力と研究とを希
望し神林衛生課長より充分努力する旨を
答へ

▲委員長決定【二】廿五日卅六名の委員
附託となつた電力案委員の氏名左の如し
(民政) 俵孫一、三好榮次郎、小柳牧
簡、平川松太郎、加藤備一、松村謙三
繁安新九郎、松尾四郎、小山倉之助、
堀内良平、岡田喜久治、大島貞吉、齋
藤直樹、岡野龍一、(政友) 清瀬規矩
雄、田邊七六、武田德三郎、川島正次
郎、牧野賤男、綾部健太郎、増永元也
土倉宗明、大野伴隆、大本貞太郎、田
中好、南條徳男、中田徳直、(社大) 藤
生久、三宅正一、富吉榮二、(第一) 窪
井義道、青木精一、佐藤啓、長谷長次
(第二) 小山亮、(東方) 青木作雄

▲委員長理事決定【二】廿六日午後二
時七分第一回を開會委員長及び理事を互
選により左の如く決定
▲委員長俵孫一△理事三好榮次郎、小
柳牧簡、牧野賤男、田中好、窪井義道
富吉榮二
議事進歩方針につき協議の後永井邊相よ
り衆議院本會議で爲したと同様の提案
理由説明をなし同二時五十分散會
▲審議開始【三】委員會は卅一日午前
十時廿五分開會、質疑に入るに先立ち議
事進行に關し
川島正次郎氏(政) 本案は純法律的經濟

校、下士官は現役の將校下士官が不足
してゐる今日希望に副ひ兼ねる
池崎文部參事官 文部省は國體の本義に
基き青年教育の徹底を期さんとするも
のである、國庫補助の増額指導員の手
當増額、專任醫師の増加等はよく財政
との兼ね合ひを見て研究して行きたい
斯くて質疑を打ち切午後二時五十分散會

▲委員長決定【二】廿五日卅六名の委員
附託となつた電力案委員の氏名左の如し
(民政) 俵孫一、三好榮次郎、小柳牧
簡、平川松太郎、加藤備一、松村謙三
繁安新九郎、松尾四郎、小山倉之助、
堀内良平、岡田喜久治、大島貞吉、齋
藤直樹、岡野龍一、(政友) 清瀬規矩
雄、田邊七六、武田德三郎、川島正次
郎、牧野賤男、綾部健太郎、増永元也
土倉宗明、大野伴隆、大本貞太郎、田
中好、南條徳男、中田徳直、(社大) 藤
生久、三宅正一、富吉榮二、(第一) 窪
井義道、青木精一、佐藤啓、長谷長次
(第二) 小山亮、(東方) 青木作雄

▲委員長理事決定【二】廿六日午後二
時七分第一回を開會委員長及び理事を互
選により左の如く決定
▲委員長俵孫一△理事三好榮次郎、小
柳牧簡、牧野賤男、田中好、窪井義道
富吉榮二
議事進歩方針につき協議の後永井邊相よ
り衆議院本會議で爲したと同様の提案
理由説明をなし同二時五十分散會
▲審議開始【三】委員會は卅一日午前
十時廿五分開會、質疑に入るに先立ち議
事進行に關し
川島正次郎氏(政) 本案は純法律的經濟

▲委員長決定【二】廿五日卅六名の委員
附託となつた電力案委員の氏名左の如し
(民政) 俵孫一、三好榮次郎、小柳牧
簡、平川松太郎、加藤備一、松村謙三
繁安新九郎、松尾四郎、小山倉之助、
堀内良平、岡田喜久治、大島貞吉、齋
藤直樹、岡野龍一、(政友) 清瀬規矩
雄、田邊七六、武田德三郎、川島正次
郎、牧野賤男、綾部健太郎、増永元也
土倉宗明、大野伴隆、大本貞太郎、田
中好、南條徳男、中田徳直、(社大) 藤
生久、三宅正一、富吉榮二、(第一) 窪
井義道、青木精一、佐藤啓、長谷長次
(第二) 小山亮、(東方) 青木作雄

▲委員長理事決定【二】廿六日午後二
時七分第一回を開會委員長及び理事を互
選により左の如く決定
▲委員長俵孫一△理事三好榮次郎、小
柳牧簡、牧野賤男、田中好、窪井義道
富吉榮二
議事進歩方針につき協議の後永井邊相よ
り衆議院本會議で爲したと同様の提案
理由説明をなし同二時五十分散會
▲審議開始【三】委員會は卅一日午前
十時廿五分開會、質疑に入るに先立ち議
事進行に關し
川島正次郎氏(政) 本案は純法律的經濟

▲委員長決定【二】廿五日卅六名の委員
附託となつた電力案委員の氏名左の如し
(民政) 俵孫一、三好榮次郎、小柳牧
簡、平川松太郎、加藤備一、松村謙三
繁安新九郎、松尾四郎、小山倉之助、
堀内良平、岡田喜久治、大島貞吉、齋
藤直樹、岡野龍一、(政友) 清瀬規矩
雄、田邊七六、武田德三郎、川島正次
郎、牧野賤男、綾部健太郎、増永元也
土倉宗明、大野伴隆、大本貞太郎、田
中好、南條徳男、中田徳直、(社大) 藤
生久、三宅正一、富吉榮二、(第一) 窪
井義道、青木精一、佐藤啓、長谷長次
(第二) 小山亮、(東方) 青木作雄

▲委員長理事決定【二】廿六日午後二
時七分第一回を開會委員長及び理事を互
選により左の如く決定
▲委員長俵孫一△理事三好榮次郎、小
柳牧簡、牧野賤男、田中好、窪井義道
富吉榮二
議事進歩方針につき協議の後永井邊相よ
り衆議院本會議で爲したと同様の提案
理由説明をなし同二時五十分散會
▲審議開始【三】委員會は卅一日午前
十時廿五分開會、質疑に入るに先立ち議
事進行に關し
川島正次郎氏(政) 本案は純法律的經濟

▲委員長決定【二】廿五日卅六名の委員
附託となつた電力案委員の氏名左の如し
(民政) 俵孫一、三好榮次郎、小柳牧
簡、平川松太郎、加藤備一、松村謙三
繁安新九郎、松尾四郎、小山倉之助、
堀内良平、岡田喜久治、大島貞吉、齋
藤直樹、岡野龍一、(政友) 清瀬規矩
雄、田邊七六、武田德三郎、川島正次
郎、牧野賤男、綾部健太郎、増永元也
土倉宗明、大野伴隆、大本貞太郎、田
中好、南條徳男、中田徳直、(社大) 藤
生久、三宅正一、富吉榮二、(第一) 窪
井義道、青木精一、佐藤啓、長谷長次
(第二) 小山亮、(東方) 青木作雄

▲委員長理事決定【二】廿六日午後二
時七分第一回を開會委員長及び理事を互
選により左の如く決定
▲委員長俵孫一△理事三好榮次郎、小
柳牧簡、牧野賤男、田中好、窪井義道
富吉榮二
議事進歩方針につき協議の後永井邊相よ
り衆議院本會議で爲したと同様の提案
理由説明をなし同二時五十分散會
▲審議開始【三】委員會は卅一日午前
十時廿五分開會、質疑に入るに先立ち議
事進行に關し
川島正次郎氏(政) 本案は純法律的經濟

的見地より審議すべきであつて過敏の
近衛首相、杉山陸相の答辯に見たる如
き政治的に取扱ふことは本質を逸する
ものと考へる、政略的取扱は政府とし
て蔽に慎まれたい
永井邊相 本案は國防上、産業上重大關
係があるが、政略的に本案を利用する
ことなく眞面目に審議をしていただき
度いと考へる故御諒承ありたい
次いで質疑に入り
松尾四郎氏(民) 電氣事業は其の本質上
發送配電の一貫作業を必要とすると思
ふが當局の見解如何
永井邊相 一貫作業と云ふ形式よりも發
電から配電までの中間搾取を排除する
ことが肝要なのである、又従の一貫作
業よりも各發送配電相互間の横の聯絡
を大規模にすることも併せ考へなければ
ならぬ、電力料金を低廉にするため
には發送配電の形式よりもその各社に
於ける暴利を制限する事が必要である
松尾氏 新送電線建設の方針ありや
森技術課長 差當つては送電線建設の方
針はないが漸次本州中央部には廿五萬
ボルトの送電線を建設する考へである
森技術課長はこれに關聯して現物出資
の範圍計畫を左の如く説明した
一 日本發送電會社に出資せしめて國家
管理に移すべき既設事業者の電氣工業
物は昭和十一年末現在に基き帳簿價格
は約六億七千萬圓である
二 右の出資工作物に依り運營し得る電
力としては前記火力約百八十萬キロボ
ットの外買入れる水力凡そ二百萬キロボ
ットある
次いで川島正次郎氏(政) 電力供給不十分

なるため軍需工業に支障を來した具體例
を土倉宗明氏(政)よりも送電線建設計
につき質問あり一旦休議引續いて松尾氏
電氣事業の一貫性電力托送の具體例並に
範圍につき田島政務次官、大和田電氣局
長に質したるのち
松尾氏 國有の發電設備も出資するか
田島政務次官 出資せしめる
鐵道省の發電設備、鐵道電化等につきな
は松尾氏と當局との間に質疑應答あり不
得要領のため小山亮氏(第二)大本貞太郎
氏(政)より議事進行に關し、鐵道電力の
自給狀態の数字的説明を乞ふ旨發言あり
大和田電氣局長 現在では不足してゐる
鐵道省は關東で五百萬キロボ、關西で五
六千キロボの電力を購入してゐると思ふ
松尾氏 強制的現物出資は法律上違法で
はないか
田島政務次官 公益上必要なる所有權の
處分は憲法第七條但書に規定してある
る、手續としては第一次に協議、第二
次に評價委員會、第三次に主務大臣の
裁定に俟ち、これが代價としては株券
を交付し不服の者には社債を交付し更
に不服の者には右債券を時價で買取る
方法を購じてゐる
大本貞太郎氏(政)株式買入には現金交付
を原則とするや
田島政務次官 強制出資に對しては株券
交付を原則とし株券買入に對しては現
金交付を原則とするのである
更に永井邊相は窪井氏(政)松尾氏の質問
に答へ、初年度六分配當、二年度六分五
厘配當、數年後には七分配當に固定し初
年度約一割、十箇年後には三割弱の料金
低下を爲し得ると答へ、同四時半散會

▲委員長決定【二】廿五日卅六名の委員
附託となつた電力案委員の氏名左の如し
(民政) 俵孫一、三好榮次郎、小柳牧
簡、平川松太郎、加藤備一、松村謙三
繁安新九郎、松尾四郎、小山倉之助、
堀内良平、岡田喜久治、大島貞吉、齋
藤直樹、岡野龍一、(政友) 清瀬規矩
雄、田邊七六、武田德三郎、川島正次
郎、牧野賤男、綾部健太郎、増永元也
土倉宗明、大野伴隆、大本貞太郎、田
中好、南條徳男、中田徳直、(社大) 藤
生久、三宅正一、富吉榮二、(第一) 窪
井義道、青木精一、佐藤啓、長谷長次
(第二) 小山亮、(東方) 青木作雄

▲委員長理事決定【二】廿六日午後二
時七分第一回を開會委員長及び理事を互
選により左の如く決定
▲委員長俵孫一△理事三好榮次郎、小
柳牧簡、牧野賤男、田中好、窪井義道
富吉榮二
議事進歩方針につき協議の後永井邊相よ
り衆議院本會議で爲したと同様の提案
理由説明をなし同二時五十分散會
▲審議開始【三】委員會は卅一日午前
十時廿五分開會、質疑に入るに先立ち議
事進行に關し
川島正次郎氏(政) 本案は純法律的經濟

▲委員長決定【二】廿五日卅六名の委員
附託となつた電力案委員の氏名左の如し
(民政) 俵孫一、三好榮次郎、小柳牧
簡、平川松太郎、加藤備一、松村謙三
繁安新九郎、松尾四郎、小山倉之助、
堀内良平、岡田喜久治、大島貞吉、齋
藤直樹、岡野龍一、(政友) 清瀬規矩
雄、田邊七六、武田德三郎、川島正次
郎、牧野賤男、綾部健太郎、増永元也
土倉宗明、大野伴隆、大本貞太郎、田
中好、南條徳男、中田徳直、(社大) 藤
生久、三宅正一、富吉榮二、(第一) 窪
井義道、青木精一、佐藤啓、長谷長次
(第二) 小山亮、(東方) 青木作雄

政 治 外 交

一 般 政 治

旬 間 大 観

支那事件特別増稅案がいよいよ登場、その大衆課税と愛煙家を晒然たらしめた煙草再値上とは國民の「時局に對する認識」を更に認識せしめた。

特許收用令の公布、文部省から制服學用品の代用品使用通牒が發せられ、電力管理、國家總動員の兩案を纏つて統制萬能に深刻な握みを味つてゐる時、所謂官僚獨善の弊でも矯めておきたいと云ふ近衛首相の官吏制度改革案も立案成つた、併しその前途も容易ではないやうだ。

厚生省は傷痍軍人救済の具體的對策に着手することゝなつたが、働く社會人としての配慮を加へ、その人に依存する家族の生活を考慮に入れたことは一進歩である。厚生省首途の引出物たらん。

尙防共協定成立以來殊更無用の摩擦を起さうとしてゐるソ聯邦は又々日ソ小包郵便物交換停止を通告して來た。

☆ 閣 議

施政、外交兩演說案決定

【二三】廿一日の定例閣議は午前十時五十分より首相官邸に開會、近衛首相以下全閣僚出席、先づ近衛首相の廿二日休會明け議會に於て行ふ一般施政方針演說草案並に廣田外相の演說草案を議題として各項に關し周密なる討議を行ひたる後これを決定し次いで瀧電院總裁よりバルブ増産計畫に關し説明あり閣議の諒解を求め午後零時十五分散會した

院內閣議

【二二】廿九日の緊急院內閣議は午前九時廿分大臣室において開會、近衛首相以下齋野法相を除く各閣僚出席、先づ廣田外相、杉山陸相、米内海相より去る廿一日の閣議以後における諸般の情勢に關し詳細なる報告あり、これに對し末次内相大谷拓相、永井逸相、中島鐵相、賀屋藏相等よりそれ／＼質問並に意見の開陳あり十時四十分散會した

臨時増稅案決定

【二三】政府は卅一日午前九時五十分より院內に臨時閣議を開き卅日の税制調査會の議を経たる臨時増稅案を附議、これを正式に決定、議會提出の手續を執るとに決して同十時散會した

院內て四相會議

【二三】近衛首相、廣田外相及び杉山、米内兩軍部大臣は廿三日午後二時半衆議院本會議の途中退席し院內大臣室に於て四相會議を開き重要協議を遂げた

☆ 一 般 事 項

官吏制度改正要旨

【二二】政府は貴衆兩院に於て近衛首相が屢々言明した如く國政運用の刷新を目標として官吏制度の改正を企圖し、目下法制局に於て具體的立案を急いで居るがその要點は

- 一 文官任用令の改正
- 一 文官高等試験令の改正
- 一 文官身分保障令の緩和

の三點に置き時勢に對應して廣く人材を行政の中樞に集め、官僚獨善の弊を矯めることを趣旨とするもので、その要項は左の如くであるが、一般民間より知識經驗ある所謂エキスパートを行政に參畫せしめる意味に於て内閣及び各省に「政務參與」の制度を設けんとして居る點等が注目される

△官吏制度改正要旨

- 一 高等試験は各課必須課に國史課を入れること
- 二 高等試験は人物試験に重きを置くこと
- 三 總ての勅任文官に於て技術經驗を要するものについては特別任用の途を開くこと
- 四 奏任官についても同様とす
- 五 待遇官吏の制を廢し全部本官とすること
- 六 技術官優遇の途を開くこと

七 人物拔擢の方法を考慮し内閣及び各省に若干名の政務參與(勅任)を置き特別任用とすること

八 廿年以上の在官者については文限委員會に附せずして休職とすることを得

院內政務官會議

【二三】政府は議會に於ける質疑應答の實情に鑑み廿三日の衆議院本會議散會後午後六時より政務官會議を開き各省政務官及び風見書記官長出席、それ／＼政務官を通じ黨との連絡の緊密化を圖ることにつき種々協議を行つた

☆ 内 閣 參 議

定例參議會

【二二】廿六日の定例參議會は正午から首相官邸に於て開催、松岡參議を除く他各參議、政府側より近衛首相、末次内相、吉野商相出席最近支那より歸京した伊藤史公使から現地の事情並にこれが將來の見透しに關し種々報告を聴取し午餐を共にして一時過ぎ散會した

池田參議首相と會見

【二二】池田内閣參議は廿六日午後三時半院內大臣室に於て近衛首相と會見約卅分間に亘り重要懇談を遂げた

三委協議協定

【二三】廿六日の定例參議會散會後、池田、前田三參議は首相官邸に居残り午後一時半より約一時間に亘り電力問題、外交問題其他當面の諸問題につき重要意見の交換を遂げた

臨時參議會會議

【二三】政府は大本營との連絡會議開催

の下準備として内閣參議の意見を優するため卅一日午後一時半より首相官邸に臨時參議會を招集し宇垣參議外各參議並に政府側より近衛首相をはじめ廣田外相、杉山陸相、米内海相その他出席首相より對支方策の具體的實行案について説明をなし、外相より事變を中心とする列國の動向に關し報告、これに對し宇垣、安保町田、松岡、前田各參議より夫々質問ありこれに對し米内海相より答辯あつて同二時過ぎ散會した

☆ 閣 員 參 内

▲首相奏上【二二】近衛首相は廿六日衆府本會議散會後午前十時四十分より御座所において天皇陛下に拜謁仰付けられ休會明け議會の経過をはじめ一般政務に關して委曲奏上種々御下間に奏答の後御前を退下した

▲海相參内【二三】米内海相は廿五日午前十時四十分宮中に參内天皇陛下に拜謁仰付けられ、所管事項に關し委曲奏上種々御下間に奏答の後御前を退下した

▲首相、外相、藏相奏上【二三】近衛首相は廿一日午後三時廣田外相、賀屋藏相と相前後して宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ同日の閣議で決定した議會休會明け劈頭行ふべき一般施政方針演說の内容につき委曲奏上種々御下間に奏答して退下引續き外相、藏相も拜謁仰付けられ同

▲木戸厚生相軍事扶助狀況奏上【二三】畏き邊りでは今次事變に際し傷痍軍人並に出征軍人遺家族の保護狀況に關し深く御軫念あらせらるゝ御由を拜承し木戸厚

御軫念あらせらるゝ御由を拜承し木戸厚

生相はこれが状況奏上のため廿日地方長官會議に會同の北海道長官以下各府縣知事より各地方に於ける軍事扶助その他軍事援護事業の實狀につき詳細説明を聽取しこれを取纏め廿一日午後四時宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ委曲奏上、種々御下間に奉答の後御前を退下した

☆ 法令公布

△廿四日

- 一人造石油製造事業法施行期日の件 (一月廿五日)
- 一人造石油製造事業法施行令
- 一液體燃料委員會官制
- 一石油業法施行令中改正の件
- 一人造石油製造事業法の一部を朝鮮に施行するの件
- 一人造石油製造事業法の一部を臺灣に施行するの件
- 一人造石油製造事業法の一部を樺太に施行するの件

☆ 往來

▲越前町田總裁訪問【二・毛】永井總相は廿七日午前九時半込の自邸に町田總裁を訪問し電力管理案の議會に於ける審議促進方につき種々打合せ殊に本案に對する黨議の取纏め方につき協議し同四十五分辭去した

▲近衛首相官相要談【二・毛】近衛首相は廿七日午後六時議會を退出して官邸に松平官相を訪問要談の後同四十分辭去した
▲首相、内府要談【二・毛】近衛首相は廿六日一殿政務奏上後湯淺内府と會見種々要談の後午後零時四十分官中を退出した
▲原田男堀内次官訪問【二・毛】西園寺公秘書原田男は廿五日午前十一時外務省に堀内次官を訪問要談十五分にして辭去した

談して同三時辭去した

- ▲村上樞府書記官長風見局長訪問【二・三】村上樞府書記官長は廿一日午後二時首相官邸に風見書記官長を訪ね要談の後辭去した



☆ 消息

▲英大使堀内次官訪問【二・毛】駐日英國

大使クレイギー氏は廿七日午前十一時半外務省に堀内次官を訪問要談した

▲天羽公使歸府へ、ジュネーブ【二・三】スイス駐劄帝國公使天羽英二氏は廿五日午後ベルンからジュネーブに到着した、廿六日開會の第百回聯盟理事會では日支紛争に關する支那政府の提訴が審議されることと見られるので、天羽公使は理事會の動向を外務部から嚴重監視する筈である
▲アンリ・佛大使堀内次官訪問【二・三】駐日佛國大使アンリ氏は廿四日午前十一時外務省に堀内次官を訪問、要談同十一時卅分辭去した
▲駐日佛國大使外務次官訪問【二・三】アンリ駐日佛國大使は廿五日午後三時半外務省に堀内次官を訪問要談十分にして辭去した

▲英大使外相訪問【二・三】クレイギー駐日英國大使は廿一日午前十一時外務省に廣田外相を訪問一時間に亘り要談を遂げられた
▲伊大使外相訪問【二・三】アウリツチ駐日伊太利大使は廿一日午後三時十分廣田外相を訪問、要談の後同卅分辭去した

▲日獨協會の東郷大使歡迎會【二・三】ベルリン日獨協會主催の新任駐獨大使東郷茂徳氏歡迎午餐會は廿六日ベルリンのドイツ新聞會館に於て開催され日獨協會會長フエルスター提督、外務省新聞部長アツシユマン氏等が出席祝會であつた、席上フエルスター提督は主催者側を代表して左の如き歡迎の挨拶を述べた

爲今後愈々發展せんことを希望して已まない

☆ 外交

▲サンダカン領事館開設【二・三】英領北ボルネオ、サンダカン帝國領事館はかねて開設準備中であつたが廿一日桑折鐵次郎新任領事より廣田外務大臣に宛て廿日より開館せる旨の公電があつた
▲ウエリントン總領事館開設【二・三】外務省ではニュージーランド、ウエリントンに總領事館を設置、廿四日より開館の旨同日發表した、尙初代總領事は郡司喜一氏に決定してゐる

☆ 一般交渉

▲ソ聯小包郵便物交換停止【二・三】去る一月廿七日ソヴェト政府は突如として日ソ間小包郵便物交換停止を我方に通報し來つたに關し、外務當局では廿九日午後八時半左の當局談を發表、我方の公正なる態度を闡明した
▲ソ聯政府は舊曆十九日滿洲國領域内に不時着したソ聯飛行機の搭載物及操縱士と共に今尙は抑留せられ居ることを理由として一月廿七日以後日ソ兩方面に於ける小包郵便物の直接交換及機密を全部一時停止する旨通信人民委員部をして帝國通信當局及關係諸國の郵政廳に對し電報せしめたのである、然るに問題のソ聯飛行機は不法に滿洲國領域内に着陸し而も其の不法越境は約二百キロメートルの深きに及んで居るばかりでなく該機は明かに軍用機であり其の行動に多大の疑念があつたと

日米漁業交渉好轉

ワシントン【二・三】目下日米兩國政府間に交渉中の日本人アラスカ出漁問題は米國當業者側の非妥協的な日本人追出政策のため行惱んでゐるが廿一日 A P 通信社が信すべき筋の消息として傳へる所に、よれば、國務省は問題の最終的解決を期して最近新通牒を日本政府に送附した、過般の日本政府の回答に對しては國務省當局は大體満足の意味を表して居り對日通牒も恐らくこの點に基礎を置いたものと解される、尤も西部沿岸の鮭業者は仲々頑強で政府案を全部呑み込むかどうかは疑問だが何れにしてもこの問題の解決は近いと期待される

錫倫日本の輸入制限に抗議

コロンボ【二】セイロン政廳は廿八日閣議を開き、日本政府のセイロン品輸入制限に關しイギリス本國植民省を通じて日本に強硬なる申し入れを行ふ事となつた、セイロン政廳の言ひ分は左の通り

日本政府はセイロン島の輸入制限を行ひ、就中茶及びフアイバーは事實上禁止の形となつたが更に他の商品も打撃を受ける恐れがある、然るに一九三七年最初の九ヶ月の貿易統計を見るもセイロンの日本からの輸入額は對日輸出の七倍に上つて居り、右は明かに不當である

★國民使節

大倉使節

▲大倉男ニユーヨーク着 ニューヨーク

【一】歐洲で活躍した國民使節大倉喜七郎男は伊藤正徳氏其他隨員を隨へ廿六日午後三時英國船アキタニア號でニユーヨークに到着、ウォルドーフ・アストリア・ホテルに投宿した

高石使節

▲高石使節歸國の途に ニューヨーク

【一】國民使節高石眞五郎氏は去る十月渡米して以來各方面と接觸、新聞人としての立場から支那事變に對する帝國政府の公正なる立場を米國民に説明して來たが、大體豫定を果したので廿四日午前十一時卅五分ニユーヨークを出發シアトル、ポートランド經由歸國の途に就いた

松方使節

▲ハル長官と懇談 ワシントン【一】

國民使節として米國に活躍中の松方幸次

郎氏は數日前三度ワシントンに來り國務省最高幹部達と意見の交換を遂げたが廿五日午前十時半更めてハル國務長官と會見、大局的の見地より日米關係の將來につき懇談した、會談終へて松方使節は午後一時ワシントン出發ニユーヨークに向つた

笠井使節

▲ニユーヨークで放送 ニューヨーク

【一】ニユーヨーク滞在中の國民使節笠井重治代議士は廿一日午後六時四十分よりN.B.C.放送局を通じ約十二分間に亘り全米國民に宛て放送演説を行つた、笠井使節は米國オリンピック協會長ブランドー氏の紹介に續き日支紛争並に東京オリンピック大會に關する日本の眞意を闡明して曰く

最近日米兩國間に起つた最も困難な事件に於て米國政府及び國民諸君が日本に對しよく協調的態度を示された事は余の感謝に堪へない所である、パネー號事件に付いて日本國民が如何に痛惜の念に驅られたかは事實が最も雄辯に物語つてゐる、日本は戦時中でも平和を準備することを決して忘れはしない

現に帝國議會はニユーヨーク並にサンフランシスコの世界博覽會に参加し又東京オリンピック大會を盛大に開催する爲に豫算を支出しやうとしてゐる、米國のI.O.C.委員ブランドー氏並にガーランド氏はオリンピック大會東京招致の爲種々斡旋されたが日本は兩氏の努力に報るる爲にも目下眞剣にオリンピック精神發揚の準備を爲しつゝある現狀である

山本使節

▲羅馬教皇に謁見 ヴァチカン市

【一】ローマ滞在中の國民使節山本信次郎少將は廿一日ローマ教皇廳で教皇ピオ十一世に謁見、長時間に亘り會談を遂げた、山本使節は日本カトリック教徒を代表し日本に於けるカトリック教の現状並に一般國內情勢につき種々説明したのに對し教皇も深甚な關心を示した模様で謁見後山本使節は語る

カトリック教會に對する余の信仰を更に新たにしたり、教皇は現在健康狀態も頗る宜しい様に思はれた

★國民外交

神戶日伊協會議會式

【一】日獨伊防共協定成立を機會に新たに設立される神戶日伊協會議會式は廿六日午後六時から神戶商工會議所にイタリア側東京駐劄アウリツチ大使代理ミナリ横濱領事以下十五名を初め日本側岡田兵庫縣知事以下五十名出席の下に盛大に舉行、會則並に豫算案を審議可決し會長銜は委員附託とし、五百旗神戶商大教授のイタリヤ事情に關する講演を最後に午後八時過ぎ散會した

廣田外相から濠洲へ日章旗

【一】濠洲のニユーサウスウェルズで同國の建国百五十年記念祭が廿六日舉行されるのでこれに好意を表するため廣田外相より祝賀メッセーヂに日本精神の象徴である縦四呎、横六呎の日章旗を添へて廿五日D.P.スチーヴンス首相宛て發送した

内政

國民健保被保險者豫定數

【一】厚生省では國民健康保險法案の昭和十三年度に於ける組合設立並に被保險者の豫定數を大體左の通り算定しこの國庫補助金を十六萬六千六百六十六圓計上してゐる

昭和十三年度に於ける組合設立豫定數は百二十組合で一組合當平均被保險者數を四千二百人として被保險者總數五十萬人に對する四月分を計上した

帝國傷兵保護院創設

【一】厚生省では廿七日の傷兵軍人保護對策審議會總會の答申に基き今議會に帝國傷兵保護院法案を提出するに決し直ちに立法化に着手することとなつたが、本法案要綱左の如し

- 一 傷兵軍人保護の施設を整備し之を運営する爲帝國傷兵保護院を置く法律を公布すること
- 二 帝國傷兵保護院には法人格を與へ政府之を監督すること
- 三 帝國傷兵保護院の經營とを助成する事業の概目は左の如くすること
- (イ)傷兵軍人の療養事業(ロ)傷兵軍人の職業保護事業(ハ)其他他傷兵軍人保護に必要な事業
- 四 政府に必要な經費を帝國傷兵保護院に交付すること
- 五 傷兵軍人對策一段落と爲りたる時は政府は帝國傷兵保護院の解散を命じ其の指揮下に清算せしめ國に引續ぐべき

事業及財産と民間に委託すべき事業及財産とに整理すること
六 帝國傷兵保護院の幹部役員は政府之を命ずること
七 帝國傷兵保護院の事業に參畫せしむる爲法人の機關として關係官廳代表者、貴族兩院代表者及學識經驗有る者を以て構成する委員を置くこと

國民精神總動員中央聯盟聲明

【一】國民精神總動員中央聯盟では廿一日午後三時より赤坂三會堂に緊急評議委員會を開き政府聲明に對處して今後の新時局に處し舉國一致我が民族の歴史的大使命遂行に邁進すべき左の聲明を發表した

聲明 茲に本聯盟は其の結成に當り、今次支那事變に對する國民の態度を明かにし、時艱克服の爲、萬難を排して斷乎邁進の決意を披瀝せり、爾來戰線の將兵、至誠を効し遂に首都南京の落城を見たり、然るに蔣政權は依然として我が日滿支の提携による東亞安定の眞意を解せず、國共合作の下に妄動を事とし又竊に外力を通じ長期抗戰の態勢に出づ、時局は益々重大且深刻化せりと云ふべし、此の秋に當り政府は國民政府を對手とせず、新興支那政權を育成し相携へ東洋平和を確立するの聲明を發して帝國の態度を世界に表明し國民に一層の發奮を促したり、我等國民は帝國未曾有の危局に直面し政府今回の聲明に對應し茲に一大轉回を見たる時局の新情勢に鑑み更に一段の覺悟を固めざるべからず、即ち我が尊嚴なる國體に基き愈々日本精神の昂揚に力め舉國一致、堅忍持久、如何なる艱苦にも耐へ

如何なる缺乏をも忍び各々其の持揚を固め其の分に應じて獻身奉公の赤誠を揮け國力の充實、統後の強化に萬全を期し八紘一宇の大精神に燃ゆる我が民族の歴史的大使命の遂行に邁往し明朗東亞建設の大業を成就し以上 聖明に應へ奉らんことを期す

職業紹介特別委員会

【一六】厚生省の職業紹介國營案を諮問された職業紹介委員会特別委員会は廿九日午前十時廿分より文相官邸に開會、鍋島委員長以下各特別委員出席、厚生省原案要綱につき末弘、山根、松田、晴、松岡、豊原の諸氏より質問並に意見の開陳があり、午後零時廿分散會した

職業紹介所國營案諮問

【一五】厚生省社會局では職業紹介法案（職業紹介所國營案）の立案を進めて居たが、右を諮問すべき職業紹介委員会第一回總會を廿一日午前九時半より文相官邸に開會、會長木戸厚生相以下厚生、陸軍、文部、東京府、貴衆兩院、學者並に民間各委員近藤厚生省職業課長以下各幹事出席、木戸會長より時局と職業紹介制度整備に關する挨拶の後、山崎社會局長より職業紹介法案の大綱に關し詳細なる説明を爲し、次いで諮問事項に就き各委員より種々質疑あり鍋島直繩子を特別委員長とする十三名の特別委員に付託、更に検討をなすこととして同十一時卅分散會した、諮問並に社會局立案の職業紹介制度改正要綱左の如し

説 明

我國現下の情勢は國防、産業及社會上の諸政策に適應せしむる様勞務の適正なる配置を圖ること緊要なり、殊に今次事變に伴ふ軍需勞務を圓滑に充足し事變に因りて生ずべき失業者の職業轉換を容易ならしめ復員に伴ふ歸郷軍人の就職斡旋に遺憾なきを期し更に生産力擴充に必要な勞働力の需給を適切ならしむることは目下喫緊の要務たり、而して之が實現の爲には現行職業紹介制度を根本的に改正し其の機能を擴充強化すること緊要なりと認む

△職業紹介制度改正要綱

第一 勞務の適正なる配置を圖る爲職業紹介事業は原則として政府之を管掌すること

第二 政府の管掌する職業紹介事業に於ては職業紹介の外職業指導、職業輔導其他の職業紹介上必要な事項を行ふことを得ること

第三 職業紹介事業を行ふ爲道府縣構要の地に職業紹介所を設くること

第四 職業紹介事業の執行を便ならしむる爲市（六大都市に在りては區）町村長をして職業紹介所の業務の一部を掌らしめ且職業紹介所聯絡委員を置くことを得ること

第五 職業紹介所は主務大臣及地方長官之を統轄すること

第六 職業紹介事業の經營に關し主務大臣の監督の下に職業紹介委員会を置き又地方長官の監督の下に職業紹介地方

委員を置くことを得ること

第七 職業紹介所の行ふ職業紹介は之を無料とすること

第八 職業紹介所に關する費用に付ては其の一部を地方公共團體をして分擔せしむること

第九 道府縣市町村私人の經營する職業輔導又は就職後の輔導に關する施設に付ては之が監督並助成を爲すことを得ること

第十 當分の内法人又は私人は地方長官の許可を受けて職業紹介事業を營むことを得ること

第十一 職業紹介類似事業に付ては許可を受けしむること

全國町村長會

【一四】全國町村長大會は廿四日午前十一時より芝の全國町村長會館に於て開催、岡崎會長外全國代表約二百五十名出席自治功勞者四十一名の表彰式を行つた後地方制度全般に一大刷新の宣言と左記決議をなし、更に各府縣町村長會より提出の地方制度、町村吏員待遇改善、税制地方財政産業等に關する諸事項につき協議したが、會議は廿五日も續行した

△決 議

- 一 國民精神總動員の趣旨徹底を期す
- 二 出征將兵遺家族の扶助並統後施設の萬全を期す
- 三 地方制度並税制の根本的改革及明年度臨時地方財政補助金の増額を期す
- 四 青年學校義務制の急進實施を期す
- 五 町村有建物火災保險相互組合法確立の實現を期す

★ 東京府 市

篠原助役職意せず

【一五】小橋市長は廿八日午後三時半總て辭表提出中の篠原第二助役を私邸に訪問し極力慰留に努めたが結局職意を得るに至らず、この結果篠原氏の辭表は廿九日を以つて効力を發生し第二助役は缺員となるので市長は二月初旬開會の豫算市會の關係を考慮し速かに後任を銓衡することになつた

市に防空統制委員會設置

【一六】帝都の防空事務の刷新充實を期するため東京市では廿八日防空事務統制委員會を設置することに決し規程を制定した

東京市債八億六千萬圓

【一七】東京市經理局發表による昭和十二年末現在に於ける東京市債は八六〇、三三三、五二五圓にして中内債七一三、一三九、九一四圓、外債一四七、一九五、六〇一圓で之を前月並に前年同期に比較すると前月に於ては外債は増減なく内債は六、四二〇、三八四圓増加し前年同期との比較に於ては内債三七、三六七、四六〇圓、外債五、三一七、二六三圓、合計四二、六八四、七三三圓の増加を示してゐるが更に之を本市世帯數一、四九四、五二二世帯、人口六、〇九〇、八四〇人に對する各負擔割合を見ると一世帯當り五七五圓、一人當り一四一圓となつてゐる

東京市電十三年度計畫

【一八】東京市電十三年度の事業計畫は廿四日開會の電氣事業常設委員會におい

- て提示説明あつたがその内容次の如し
 - 一 電氣軌道事業費 三千五百五十萬圓
 - 一 電氣供給事業費 千五百五十九萬圓
 - 一 自動車事業費 七百九十二萬圓
- 尙ほ右豫算による新規計畫の主な事項は次の如くである
- △電車収入増收を目標とする三分増車
 - △電燈十五萬燈、電力二萬一千キロワツトの増加△電車々輛四十臺の新造△自動車百十臺新造△軌道の維持補修

東京市起債許可

【一九】かねて東京市より申請中であつた第四次小學校建設費補助費起債八百五十四萬五千圓は八百卅三萬三千圓に是正の上許可する旨廿一日内務、大藏、文部三相の名を以て指令が發せられた

煙草値上實施

【二〇】大藏省では臨時軍事費特別會計追加豫算の財源として戰時増税を立案すると共に高級、中級の煙草に對しても之が値上を斷行卅一日より實施することに決定卅日午後九時半之が内容を左の如く發表

△内地製造煙草新舊定價比較表

品名	包裝區分	新定價	舊定價	差額
華 本	一	100	100	0
	二	100	100	0
國 本	一	100	100	0
	二	100	100	0
日 本	一	100	100	0
	二	100	100	0

カメラヤ	二〇	三	口付	二百四十萬圓△兩切	七百五十萬圓△刻	百萬圓
コハク	二〇	三	の見込である、なほ今回の値上は時局に			
ホープ	二〇	三	鑑み主として外國製品及外國原料を主と			
シェア	二〇	三	する内地製品に對して行はれ値上率は賣			
翼	二〇	三	上代金の平均一割で曉が最低の五分九厘			
チェリー	二〇	三	チェリーが最高の二割五分となつてゐる			
光	二〇	三	軍事扶助費追加豫算公布			
ゴルド	二〇	三	【一・三】今議會で初成立を見た昭和十二			
ゴッパ	二〇	三	度歳入歳出總豫算追加(軍事扶助費千五			
白	二〇	三	百廿萬圓)は御裁可を経て卅一日公布さ			
薩摩	二〇	三	れた右は今次事變のため軍事扶助法に依			
水	二〇	三	り扶助を要する下士官兵の家族、遺族並			
梅	二〇	三	に傷病兵及び其の家族遺族の数が著しく			
さつき	二〇	三	増加したる等のため計上されたものであ			
あやめ	二〇	三	る			
はぎ	二〇	三	十二年度配當金と利子収入			
なでしこ	二〇	三	【一・二】大藏省發表による十二年度歳入			
富貴煙	二〇	三	豫算中の配當金収入は二千八百九十五萬			
桃山	二〇	三	八千圓、利子収入は十七萬三千圓であつ			
グロリア	二〇	三	て、之が内譯左の如し(單位千圓)			
ベルフェ	二〇	三	會社名			
クトス	二〇	三	株數又は			
オリエン	二〇	三	出資額			
タレス	二〇	三	配當金			
ロンレ	二〇	三	收入			
パロマ	二〇	三	日本製鐵株			
			式會社			
			五、六三、六〇〇			
			七、一五			
			南滿洲鐵道			
			舊株			
			五、〇〇〇、〇〇〇			
			株式會社			
			新株			
			三、〇〇〇、〇〇〇			
			日本無線電			
			信株式會社			
			五、〇〇〇			
			國幣圓			
			六、五			
			鶴縁江探木			
			株式會社			
			一、〇〇〇、〇〇〇			
			株式會社			
			北			
			株式會社			
			海道拓殖銀			
			株式會社			
			舊株			
			三〇、〇〇〇			
			株式會社			
			舊株			
			七			
			株式會社			
			舊株			
			三〇、〇〇〇			
			株式會社			
			舊株			
			三〇、〇〇〇			

計 十三年度繼續費六億八千萬圓
 【一・二】大藏省發表による十三年度豫算の各省繼續費總額は六億八千四百卅七萬九千圓であつて各省別内譯は左の如くである(單位千圓)

所管別	十三年度	十二年度
内務省	六、三三三	五、八〇〇
大藏省	六、一〇〇	三、三六八
陸軍省	三、〇四三	三、〇〇〇
海軍省	三、〇三三	三、〇〇〇
司法省	一、七〇〇	一、七〇〇
文部省	一、八〇〇	一、八〇〇
農林省	五、〇〇〇	五、〇〇〇
商工省	四、〇〇〇	四、〇〇〇
逓信省	三、七〇〇	三、七〇〇
厚生省	三、〇〇〇	三、〇〇〇
計	六、〇〇〇	六、〇〇〇

十二年度自然増収見込額
 【一・三】大藏省發表による十二年度自然増収見込總額は六千四百廿六萬五千圓であつて之が内譯は左の如くである

(單位千圓)	自然増	△減額
租 稅	五九、〇九九	五、〇一三
印紙收入	四、〇八九	四、〇八九
官業及官有財産收入	七、六七二	七、六七二
日本銀行納付金	二、二九九	二、二九九
雑收入(經常部)	一、二九五	一、二九五
臨時利得稅	三、〇〇〇	三、〇〇〇
計	六四、三六五	六四、三六五

備考 上記金額は十二年度豫算の十一年度實行豫算に比較したる自然増減額なり

事件公債三億圓發行
 【一・四】(大藏省發表) 政府は本月廿六日の實行を以て本年度新規公債發行豫定殘額の内地支那事件公債三億圓を左記要項の通り發行した

△國債名稱 三分半利國庫債券(た號)
 △發行額 額面三億圓△發行價格 額面百圓に付九十八圓五十錢△發行日 昭和十三年一月廿六日△償還期限昭和十四年三月十五日迄(十一年二ヶ月)
 △利率年三分五厘△利子支拂期 三月十五日及九月十五日の二回△初期利子(昭和十三年三月十五日) 額面百圓に付四十六錢△發行方法 預金部引受額面五千萬圓、日本銀行引受 額面二億五千萬圓△利廻歩合 複利三分六厘六毛、單利三分六厘八毛

十二年度新規公債發行豫定殘額
 【一・五】(大藏省發表) 一月廿七日現在昭和十二年度新規公債發行豫定殘額左の如し(單位千圓)

一般會計分	一、二二八、八〇〇
支那事件公債	四、二二、四五一
其他	一、六五一、二五一
計	一、四三、〇〇〇
特別會計分	一、七九四、二五一
合 計	三、二二七、二五一

米穀證券借換發行
 【一・六】(大藏省發表) 一月廿五日支拂期日の米穀證券(第七十一回)五千八百萬圓は内六百萬圓を現金償還し殘額二千二百萬圓は左記要項の通り之を借換發行した

△證券の名稱 米穀證券(第七十四回)
 △發行額 額面五千二百萬圓△割引歩

合 日歩六厘四分の三△發行日 昭和十三年一月廿五日△支拂期日 昭和十三年四月廿五日△發行方法 日本銀行引受

英國貨物船に罰金
 【一・七】既報東京灣内金田灣の東京灣要路地帯に不法侵入した英國貨物船マリオン・モラー(三八二七噸)事件については横濱地方検事局渡邊思想檢察係りで船長ウィリアム・ホラー氏を慎重取調の結果軍機保護法違反船舶法違反兩罪で起訴する事に決定廿六日午前正式に起訴命令が發せられた

▲越境英船裁判取下げ【一・八】廿六日午後罰金一千五百圓の判決に不服で横濱區裁判所に正式裁判を申請した越境英國貨物船マリオン・モラー(三八二七噸)の碇泊による經費の都合から正式裁判を取り下げ罰金一千五百圓を即納、廿七日正午横濱を出帆上海に赴いた

陸軍

陸軍省部會議事
 【一・九】陸軍では卅日午後一時より陸相官邸に省部首腦部會議を開き陸軍省より杉山陸相、梅津次官、町尻軍務局長、田中軍事、柴山軍務兩課長、參謀本部より第一部長等出席、今後の支那事變に對應すべき平戰兩略に對する陸軍としての一敵方針に就き現地よりの情報並に意見等

に基き重要協議を重ね更に引續き近日開催される大本營と政府の連絡會議に關する對策最近に於ける國際情勢、今後の軍備計畫、北支新政權に對する陸軍としての援助方針其他諸般の事項に就き慎重なる検討をなして同三時散會した

【一三】陸軍では廿六日午前十一時より陸相官邸に豫算會議を開き杉山陸相、梅津次官、町尻軍務、石川經理兩局長、田中軍事、栗橋主計兩課長出席昭和十三年度支那事件費につき協議した結果その大綱を決定、計數整理の上一兩日中大藏省に廻附することとなつて午後一時散會した

【一四】陸軍では廿六日午前十一時より陸相官邸に豫算會議を開き杉山陸相、梅津次官、町尻軍務、石川經理兩局長、田中軍事、栗橋主計兩課長出席昭和十三年度支那事件費につき協議した結果その大綱を決定、計數整理の上一兩日中大藏省に廻附することとなつて午後一時散會した

【一五】陸軍では廿六日午前十一時より陸相官邸に豫算會議を開き杉山陸相、梅津次官、町尻軍務、石川經理兩局長、田中軍事、栗橋主計兩課長出席昭和十三年度支那事件費につき協議した結果その大綱を決定、計數整理の上一兩日中大藏省に廻附することとなつて午後一時散會した

軍事航空

所澤航空技術學校卒業式

【一六】所澤航空技術學校の第六回整備學生は廿九日午前十時より陸相代理小笠原中將列席の下に晴れの卒業證書授與式を舉行し優等學生飛行第一聯隊附航空兵伍長川口秀忠君(愛知縣)に對し陸軍大臣賞が授與された

霞ヶ浦航空隊移動訓練飛行

【一七】霞ヶ浦海軍航空隊操縦練習生の霞ヶ浦、三方ヶ原間往復移動訓練飛行は南京大空襲の雄、和田少佐指揮の下に快晴の廿五日決行された、練習生は九三式中間練習機十三機に便乗午前七時霞ヶ浦出發春陽に銀翼を輝かせながら編隊を保ち羽田から舞鶴上空を経て目的地三方ヶ原に向ひ同十時卅分到着、搭乗者交代して正午三方ヶ原出發原隊へ歸還向廿六日も同様コースで續行

國策制服まきる

【一八】資源擁護の國策に基いてかねて



【一九】資源擁護の國策に基いてかねて

文部省で研究申だつた國策制服が愈々制定され廿四日制服、學用品等に關して專門、普通、實業、社會各局長の名を以つて廿四日地方長官、直轄學校、公私立大學專門學校長に左の如くステープル・フアイバー制服使用、學用品節約獎勵の通牒を發した

△通牒内容

- 一 兒童、生徒、學生の制服を新調する場合は羊毛を原料とするものを制服とする學校にあつては可成全ス・フのもの(外套帽子はス・フ二割以上可成多量に混用)を綿を原料とするものはス・フ三割以上使用せしむる様職員も右に做ふ
- 一 裁縫、手藝材料用の毛織物、毛糸類は羊毛含有最少きもの使用
- 一 習字その他の用紙又は筆記帳類は努めて節約
- 一 牛皮製のランドセル・シースその他の學用品には適當な代用品を使用させ牛皮製品使用を差控へさせる

算盤の教授を尋常四年から

【二〇】日本人の計算になくはならぬ「算盤」が来る四月の新學期から従来より一學年繰上げて四學年より教授される事になり廿九日文部省から小學校令施行規則改正の省令が公布された、即ち教育技術的に見ると兒童が暗算、筆算を習得し特に暗算に熟達した直後に習得せしめるのがより効果的であるので今回珠算教科書を廢止してこれを算術教科書の中に包含し従来より一學年早く四學年の後期算術から珠算を教授することとなつたのである

産業行政

農林

農産物の生産確保を決議

【二一】農林省は去る十七日より四日間全國道府縣農事主任技師及農事試驗場長を本省に招集明年度施設すべき大麦、燕麥、酒精原料、飼料、麻類、製油原料、茶等の増産計畫に付各道府縣別に打合を行ふと共に食糧農産物の生産確保に關する協議を遂げたが、其の内農産物の生産確保に關する決議は左の如くである

△農産物の生産確保に關する決議

國民糧食の確保に關し吾人は不斷の努力を傾倒し來れる處なるも今次の事變に際し農家の應召、軍需工業への轉出並に農馬の徴發等に依る努力の不足、肥料其の他生産資材供給の不圓滑、價格の騰貴等は動もすれば農業生産の減退を來すの虞あり皇軍並に國民の食糧を確保し以て銃後の守りを全うするは農業生産に關する研究と其の指導獎勵とを擔當せる吾人の責務にして既に事變勃發以來各般に亘り對策を講じ幸に現在迄其の使命を果し來りたるも時局前途は尙遠達にして農業生産の確保も亦一段の困難を加へんとす世上往々にして日清、日露兩役の第二年目が不なりし事實に鑑み本年の稻作を悲觀視するものありと雖も現在の進歩せる農業技術と特異の經營とを以てし吾人の盡力指導宜しきを得農家の一段の發奮を促すに於ては食糧並に軍需農産物の増

産を期するは決して不可能事にあらずるべし、仍て吾人は此の際一段の覺悟と努力とを以て之が使命達成に邁進せんことを期す、而して之が達成上留意すべき事項は多々ありと雖も就中努力蓄力並に肥料其の他の生産資材の補給調整を圖ると共に諸種の災害對策を講じ生産の安全を期し且つ努力及生産資材の缺乏等に即應せる栽培法の指導を行ふは差し當り最も緊要なる事項なりとす

- △附帶決議 生産資材の不足は直接農業生産の確保に不安與ふるものなるを以て之が供給は能ふ限り潤澤ならしめざるべからず、仍て政府は左の事項に關し特に注意せられんことを望む
- 一 金肥の供給は爲營、運輸等の關係より幾分の制限を加へらるゝは時節柄止むを得ざるも農村の必要とする量の輸入に對しては優先的の便宜を與へられし
- 二 肥料供給量の充足と共に之が配給に當る機關をして配給方法を一層合理化せしめ最低の配給費を以て農家の希望に即したる肥料を供給する標榜せられたし
- 三 應召農家に對しては肥料購入資金の融通の途を講ずると共に利子補給を計られたし
- 四 根腐菌は綠肥作物の生産増殖上極めて重要なものなるを以て之が配付に關しては急速に其の規模を擴張せられたし
- 五 堆肥の給源たるべき藪、刈草等の確保に努むるは限る肝要なるを以て國有林及御料林等の下草採集に關しては之

が當局に於て充分なる便宜を與へられ
たし

六 輸入農薬劑は其の價格比較的大
らざるに比し輸入制限の農村に及ぼす
影響は甚大なるものあるを以て之に對
しては特別の考慮の下に苟くも供給不
足等の憂なからしめらるゝと共に國產
代用品に關し速に研究を進められたし
七 農業生産確保の趣旨を普及徹底せし
むる爲農産總動員に關し適當の施設を
考慮せられたし

獸疫調査所員増員

【一五】農林省では獸疫調査所に於ける
畜牛結核に關する職員中技師一名、技手
一名を増員することとなり廿五日の院內
閣議に附議正式決定した

産業獎勵金

【一三】農林省では三重外三縣に對し十
二年度において左記獎勵金を交付する旨
廿七日官報を以て發表した(單位圓)

- △三重畑作改善獎勵費四、二二五△鳥
取小麦増殖獎勵費五、一三七△高知紅
茶研究設備獎勵費一、七六〇、畑作改
善獎勵費二、四〇五△佐賀畑作改善獎
勵費七、八〇〇

産業助成金

【一七】農林省では種籾購入補助のため
茨城縣に對し三九、五九一圓、群馬縣に
對し六、一八七圓を交付する旨廿七日官
報を以て發表した

商工

特許權制限收用勅令公布

【一六】政府は時局に鑑みて軍事上及び
は公益上必要ある場合特許權の收用又は
制限を行ふことになり廿九日關係勅令を
公布した勅令要綱左の如し

△特許收用令要綱

- 一 主務大臣特許法第十五條第一項又は
第四十條第一項に規定する處分を必要
とするときは商工大臣に之を請求する
こと但し公益上必要なりとの理由に依
る場合は朝鮮、臺灣又は樺太に在りて
は各朝鮮總督、臺灣總督又は樺太廳長
官之を請求すること
- 二 主務大臣處分を必要とする理由が軍
事上秘密を要するものとして前項の請
求を爲したるときは商工大臣は其の請
求に係る處分を爲すことを決定するこ
と

(一) 特許補償審査會は會長一人及委
員十五人以内を以て之を組織すること
と

右定員の外必要ある場合に於ては臨時
委員を置くことを得ること、會長は特
許局長官を以て之に充つること、委員
及臨時委員は商工大臣の奏請に依り關
係各廳高等官及學識經驗ある者の中よ
り内閣に於て之を命ずること

三 特許補償審査會の議事は之を秘密と
すること

四 特許補償審査會は必要と認むるとき
は鑑定人を選び又は出願者、特許權者
及實施權者の出席を求め其の意見を聽
くことを得ること

特許補償審査會は事實參考の爲必要と
認むるときは右に掲ぐる者以外の者の
出席を求め其の供述を聽くことを得る
こと

人石法施行令及關係勅令公布

【一四】商工省では人造石油事業法の實
施に伴ふ施行令並びに液體燃料委員會官
制を廿四日公布廿五日より施行した、

- △人造石油製造事業法施行令要綱
- 一 人造石油製造事業は左に掲ぐる事業
とすること

- (一) 石炭、亜炭又はタールを原料と
する水素添加事業にして人造石油の
製造能力一の工場に付一年一萬キロ
リットル以上のもの
- (二) ガスを原料とする石油合成事業
にして人造石油の製造能力一の工場
に付一年天然ガスのみを原料とする
ものに在りては千キロリットル以上
其他のものに在りては一萬キロリ

ツトル以上のもの
(三) 石炭又は亜炭の低温乾留事業に
して原料炭處理能力一の工場に付一
年十萬噸以上のもの

二 前項各號の一に該當する事業を営む
會社が其の事業に關聯し同一工場に於
て他の前項各號に掲ぐる種類の事業に
して其の能力が前項各號に規定する能
力に達せざるものを営むときは之を當
該事業の一部と看做すこと

三 人造石油製造事業の許可は工場毎に
且事業の種類別に之を爲すものとする
こと

四 商工大臣は石油の需要供給を參酌し
人造石油製造事業の健全なる發達に支
障ありと認むるときは人造石油製造事
業の許可を爲さざることを得ること

五 人造石油製造會社の所得税、營業收
益税及輸入税の免除手續

六 人造石油製造事業法第九條の獎勵金
は人造石油會社に對し命令を以て定む
る人造石油に付之を交付すること

獎勵金の額は人造石油の市價及生産費
を標準とし相當利益を參酌して商工大
臣毎年之を定むること

七 政府は軍事上其他公益上緊急の必
要あるときは人造石油製造事業法第十
八條の規定に依り人造石油製造會社の
所有する人造石油を購入し得べきこと
尙本令は一部の規定を除き朝鮮、臺灣及
樺太にも施行せられる

△液體燃料委員會官制要綱

一 液體燃料委員會は商工大臣の監督に
關し(一)石油業法第八條及人造石油製
造事業法第十九條の規定に依り其の權

限に屬せしめたる事項を調査審議し
(二)關係各大臣の諮問に應じ液體燃料
に關する重要事項を調査審議し(三)液
體燃料に關する事項に付關係各大臣に
建議する權限を有すること

二 委員會は會長一人(商工大臣)並に關
係各廳高等官及學識經驗者中より命ぜ
られたる委員四十人以内を以て組織す
ること

三 其他の規定は概ね石油業委員會官
制に同じ

尙本官制施行と同時に石油業委員會官制
は廢止された

銃後中小商工救済追加豫算計上

【一三】商工省では先般銃後に於ける中
小商工業の救済策として全國各道府縣廳
に對して産業奉仕委員制度による救済活
動を強化すべき旨の通牒を發し應召商工
業者の銃後援に萬全を期する事となつ
たが今後更に厚生省その他の關係各省と
の緊密なる協力の下に救済活動を積極化
する方針で右に要する經費として補助金
約六百萬圓を本年度豫算中に追加要求す
る事に決定したがその内容は左の如くで
ある

- 一 産業奉仕委員制度普及に要する經費
約三百萬圓
- 二 中小工業の軍需工業への轉換助成に
要する經費約三百萬圓

交通運輸

金銀鑛、屑物、スフの運賃値下

【一二】鐵道省では時局に鑑み二月一日
より貸切投貨物に對し左記運賃割引を實
施することに決定した

一 金銀、金銀、金銀、金銀に對しては現に一般的に四割引を實施しつゝあるも、産金獎勵の目的より金の含有品位百萬分の五以下のもの及金銀に對して金の含有品位百萬分の五以下銀の含有品位百萬分の三百以下のものに對し五割引の割引を實施することゝせり

二 層物(金屬層、漆、紙層、ゴム層、藥層、漆類の層) 資源回收獎勵のため之等のものにして百斤以上輸送のものに對し二割引二百斤以上輸送のものに對し二割引をなすことゝせり

三 ステープルファイバー ステープルファイバーに對し一割五分の割引をなすことゝせり

河原田氏研究會入り
 【二三】 過般貴族院議員に勸選された河原田藤吉氏は廿二日兒玉秀雄伯、岡部長惠子、潮惠之輔三氏の紹介で研究會に入つた、右の結果研究會は百六十四名となつた

水谷川男當選
 【二三】 鍋島直明男逝去に伴ふ男爵議員の補缺選挙は廿二日執行の結果は水谷川忠廣男(近衛首相令弟)が三百十二票の多數で當選したこれで公正會は六十八名となつた

民政黨
 ▲民政黨院内總務異動【二三】 民政黨では院内總務工藤鐵男氏の厚生政務次官就任に伴ひこれが補充として廿二日の院内代議士會席上町田總裁より菊池良一氏を指名した

政友會
 ▲政友會は廿二日午前十一時半より院内に代議士會を開き松野幹事長より院内總務の補充並に政務調査會役員を左の如く發表した

政友會代議士會
 ▲政務調査役員 理事小高長三郎、吉植庄亮、佐藤洋之助、松川昌哉、南條徳男、松木弘、森幸太郎、行吉角治、増永元也、坂田道男、宮崎一、小山田義孝、立川平中田義直、世耕弘一、瀧澤七郎、大内竹之助△第一部(内閣拓務外務)長 猪野毛利榮△第二部(内務厚生)長 宮澤裕△第三部(大藏)長 丹下茂十郎△第四部(陸海軍)長 永田良吉△第五部(文部司法)長 牧野賤男△第六部(逓信鐵道)長 上田孝吉△第七部(農林商工)長 高橋熊次郎

社會大衆黨
 ▲全國農民組合關東、東北地方聯合會では廿六日午後一時より社會大衆黨本部に合同協議會を開き社大側より杉山田原、前川、三宅、富吉の代議士、全農側より各縣代表者出席、昨年十二月廿九日の全農常任委員會決定の方針を従ひ社會大衆黨支持並に社大黨支持下の全農民間體の合同促進を決議、左の聲明書を發表した

陸軍辭令
 △廿七日 陸軍少將 今村 均 補陸軍省兵務局長

文部辭令
 △廿一日 京都帝國大學教授 鈴木 虎雄 神戸商業大學教授 原口 亮平 東北帝國大學助教 菊地 喜充 依願免本官(各通)

大藏省辭令
 △廿七日 從四位勳三等 土方 成美 正三位勳三等子爵 大河内正敏 勳三等 安宅 彌吉 從四位男爵 森村市左衛門 勳三等 門野重九郎 山内 靜吾 大藏省爲管局參與被仰付 柏木 秀茂

叙位叙勳
 大藏省爲管局參與被仰付 雙光旭日章 大藏省銀行検査官 相田 岩夫 賜金 大藏省銀行検査官 大野 龍太

今井中將叙勳
 【二三】 畏き邊りでは陸軍中將今井清氏が去る廿二日逝去したる趣きを聽召され中將が軍事上盡したる功績顯著なるを思召されて廿四日左の如く叙勳の御沙汰があつた

故陸軍中將從四位 勳二等功五級 今井 清 叙勳一等授旭日大綬章

荒井氏餘榮
 【二三】 畏き邊りでは廿九日逝去した荒井樞府副議長生前の功勞を思召され卅一日左記の如く特旨叙位並に勳章加授の御沙汰あらせられた

從二位院副議長 荒井賢太郎 從二位勳一等 授旭日桐花大綬章

叙正二位(特旨を以て位一級追陞せらる) 授旭日桐花大綬章

滿洲事變行賞
 【二三】 滿洲事變の功勞者中帝人事件の被告となつた爲め論功行賞を留保されて居た左の六氏に對して昭和九年四月廿九日附を以て廿九日左の如く行賞發表された

鐵道大臣正三位勳一等 三土 忠造 旭日大綬章並に賜金 貴族院議員 從三位勳二等男爵 中島久萬吉 旭日重光章並に賜金 大藏次官貴族院議員 正四位勳一等 黒田 英雄 旭日大綬章並に賜金 大藏省銀行局長 從四位勳三等 大久保偵次 旭日中綬章並に賜金 大藏省銀行検査官 正五位勳五等 大野 龍太 雙光旭日章 大藏省銀行検査官 相田 岩夫 賜金

經

濟

旬間大觀

七十三議會の論議を通じて政府の方針が明確にされるにつれて財界は一喜一憂浮動をうけてゐる。年初來とかく不牙へだつた株式市場は鐘紡の多角經營、對支積極進出を目ざす三倍増資案を傳へて紡績株中心に暴騰、續いて軍需株の物色買へと移り、力強いインフレは否應なしに盛り上つて來る。兌換券發行高は月末またも廿億を突破した。

政府は資金調整標準改正、パルプ五ヶ年計畫樹立、綿糸配給統制協議會設置、ス・フ、國用綿糸の最高標準價格決定、軍需工業の下請斡旋等に乘出し、民間でも東商の時局經濟審議會設置、産組の時局經濟對策決議等これに呼應し、戰時體制は官民一致その歩を進めてゐる。

農林省が發表した農村租稅負擔の過重、自作農創設の不成績等の諸統計は暗い方の一面を物語る資料である。

金

融

必要あらば海外資金も動員

【一・五】廿四日の衆議院本會議に於て賀屋融相は、必要なる状態となれば在外邦人所有の資産を動員する方針である、但し現在はその必要性はないと言明した。尚ほ海外資産總額は三浦氏の指摘する如き數十億の巨額に達するものではない旨附言した

資金調整好調に産業界満足

【一・五】廿七日の日銀主催産業家懇談會終了後結城日銀總裁は左の如く語つた
資金調整法の實績を報告したが之に對し産業家諸氏からは響つて「最初資金

調整法の實施は資金運轉回數を減じ爲めに支障が起ること、懸念してゐるところ意外に好調な生産力の進展を見せてゐる」と云ふ話があつた

資金調整標準改正

【一・五】十八日開かれた臨時資金調整委員會に於て左の如く事業資金調整標準改正の件が可決された(括弧内は舊標準)
一 織維工業(一)人造織維製造業(一)大豆カゼイン又は牛乳カゼインを原料とする人造織維乙のロ(二)其他乙のハ(乙)のイ、(四)の二再生羊毛製造業乙のロ(五)紡績業(五)人造織維丙(六)其他丙、(七)織物業(六)人造織維織物(交織物を含む)丙(乙)のロ(四)毛織物(交織物を含む)イ(イ)紙用フェルト乙

- のロ(ロ)其他丙
- 一 金屬工業(七)シャリング業乙のロ
- 一 機械器具工業(四)電氣機械器具製造業(一)家庭用電氣器具丙(二)其他乙のイ、(廿二)時計製造業乙のロ(丙)、(卅四)車輛部分品及び附屬品を含む製造業(二)自動車(イ)小型自動車丙(ロ)其他甲のイ
- 一 窯業(六)セメント製品製造業(一)セメント柱及び管乙のイ(二)其他丙
- 一 化學工業(一)工業藥品製造業(三)ソーダ灰乙のロ(乙)のイ(四)苛性ソーダ乙のロ(乙)のイ(四)カーバイド乙のロ(乙)のハ、(四)人造ゴム及び再生ゴム製造業乙のイ、(廿八)寫眞用フィルム乾板及び感光紙製造業(一)醫療寫眞用及び航空寫眞用フィルム乙のイ(二)其他乙のハ(乙)のイ、(卅一)の二撮革製造業乙のイ
- 一 食料品工業(十四)製氷及び冷凍業乙のロ(丙)但漁業組合經營のもの、漁港に於ける小規模のもの及び外地に於けるもの(付ては特別の取扱をなす事
- 一 農林業(一)雜農業(一)芋麻、亞麻及び大麻乙のイ
- 日本銀行週報
- 【一・五】廿二日現在日銀週報は前旬に引續き極めて順調な推移を見せてゐる、主要勘定變化左の如し

月央關係を移して前週比減少となつた	其	二六,七〇〇
△資産勘定	合 計	二,五四〇,三三三
一 割引手形は下旬に入つて弗々増加し始めた爲め前週に比し増加し、又外國爲替貸金も増加した	其	二,五三〇,〇〇〇
一 公債は市中並に地方銀行方面へ三分半國債及び米券の賣行引續き良好で前週に比し減少した	合 計	二,五三〇,〇〇〇
▲廿二日現在日銀營業報告左の如し(單位千圓)	其	二,五三〇,〇〇〇
△負債の部	前週	二,五三〇,〇〇〇
資本金	前週	一〇,〇〇〇
積立及損益	前週	一三六,〇〇〇
兌換銀行券	前週	一,七〇〇,〇〇〇
政府預金	前週	三三,〇〇〇
政府當預	前週	三三,〇〇〇
其他	前週	一〇,〇〇〇
一般預金	前週	一〇,〇〇〇
小額紙幣準備寄託金	前週	一〇,〇〇〇
△資産の部	前週	一,七〇〇,〇〇〇
未拂込資本	前週	一,七〇〇,〇〇〇
現金及地金	前週	八八,〇〇〇
金貨地金	前週	〇,〇〇〇
其他	前週	三三,〇〇〇
割引手形	前週	一〇,〇〇〇
政府一時貸金	前週	二,五三〇,〇〇〇
貸付金	前週	三〇,〇〇〇
外國爲替貸金	前週	三,〇〇〇
公債	前週	一〇,〇〇〇
代理店勘定	前週	一〇,〇〇〇
政府勘定特殊現金	前週	三,三三〇
小額紙幣準備保管金	前週	一〇,〇〇〇

【一・五】買戻融相は廿三日の衆議院本會議に於て小等原氏の公債消化策に關する質問に對し今後は狀勢に應じ長期債のみならず短期債をも發行し公債政策の圓滑なる運行に資する旨言明したが、右は一は公債の消化を圖るためと他は今後戰時經濟の進展に伴ひ長期資金よりも短期資金の緩慢化から物價高を招來する惧なしとしないので之が調整のため期限二三年

【一・五】昨年十二月に於ける簡易保險及び郵便年金事業成績左の如し

△簡易保險
契約件數二千七百九十三萬八千五百卅五件、保險金額四十一億二千六百廿六萬九千五百七十七圓五十錢にして前年同月に比し何れも増加した

△郵便年金
契約件數卅九萬二千二百五十五件、年金額三千九百九十二萬九千九百卅四圓にして前年同比例も増加を示した

【一・五】三年期限短期公債も發行

程度の短公債が発行されるものと見られてゐる。

四分利以上國債低利借換方針

【一六】廿八日衆議院豫算總會に於て四分利以上の國債を低利借換の意向なきやとの質問に對し賀屋藏相は左の如く言明した。

昨年來金融狀勢に稍々變動的傾向現はれ金利狀態も従来の低下趨勢が停つて居たので國債の低利借換も差控へて来たのであるがこのことは決して低利借換の必要を認めなかつた爲ではない結局は四分以上の高利債を低利借換へなければならぬと考へて居りその方針の下に進んでゐる。

國債所有者別調(十一年末)

【一七】(大藏省發表) 昭和十一年十二月末國債所有者別調左の如し(單位千圓)

內國債 外國債 計

政府 二,三三〇,七〇〇 一,七〇〇,〇〇〇 四,〇三〇,七〇〇

政府共濟組合 三,四〇〇,〇〇〇 三,三〇〇,〇〇〇 六,七〇〇,〇〇〇

地方公共團體 四,〇〇〇,〇〇〇 一,〇〇〇,〇〇〇 五,〇〇〇,〇〇〇

特種(中金會社) 一,〇〇〇,〇〇〇 一,〇〇〇,〇〇〇 二,〇〇〇,〇〇〇

農工銀行 五,〇〇〇,〇〇〇 一,〇〇〇,〇〇〇 六,〇〇〇,〇〇〇

普通銀行 三,〇〇〇,〇〇〇 二,〇〇〇,〇〇〇 五,〇〇〇,〇〇〇

貯蓄銀行 一,〇〇〇,〇〇〇 一,〇〇〇,〇〇〇 二,〇〇〇,〇〇〇

保險會社 一,〇〇〇,〇〇〇 一,〇〇〇,〇〇〇 二,〇〇〇,〇〇〇

信託(信託勸定會) 一,〇〇〇,〇〇〇 一,〇〇〇,〇〇〇 二,〇〇〇,〇〇〇

其他 一,五〇〇,〇〇〇 八〇〇,〇〇〇 二,三〇〇,〇〇〇
合計 九,〇〇〇,〇〇〇 一,三〇〇,〇〇〇 一〇,三〇〇,〇〇〇

☆ 金

本年産金買入二億四千萬元

【一八】日銀重役總會は廿六日開催、最近の金融情勢を中心に種々懇談を重ねたが席上津島副總裁は本年度の産金買入總量は約二億四千萬元を豫想される旨を報告して注目を惹いた。

第一回産金拂下四十萬元實行

【一九】産金管理法實施により新産金は全部日銀を通じて政府に集中される結果市中の裝飾工藝醫藥用金は日銀より日本金地會社を通じて拂下げることとなつてゐたが、廿六日第一回拂下げ四十萬元を實行した、拂下価格は買入価格と同じ一瓦三圓七十七錢である、因に日本金地會社は市中金地商の共同出資による金の配給會社で同會社の市中賣却価格は日銀に届出ることとなつてゐる。

過去三年金幣輸三千九百萬圓

【二〇】廿八日衆議院豫算委員會に於て大藏省より發表された過去三ヶ年間に於ける内外地金密輸出高並に犯罪件數累計は左の如し(單位數量、價格圓)

Table with 3 columns: 件數, 數量, 價格. Rows include 内地, 朝鮮, 臺灣, 計.

會社・倉庫

☆ 會社

鐘紡の劃期的大擴充案發表

【二一】鐘ヶ淵紡績(資本金六千萬圓全額拂込済)は明治廿年創立以來次第に綿紡績經營から織布、加工の一貫作業を始めメリヤス、絹紡、毛織、麻糸、更生絹糸、人絹、人織、羊毛、バルブ、養蠶等織維工業の多角的經營に乘出し、現在その經營地域は内、鮮、滿、支に亘り、又その投資會社も上海製造絹糸、康徳染色公司、東邦バルブ、昭和産業、鐘紡サービス、毛織工業(委託經營)の外、南米拓殖、全南鑛業、神島人造肥料、神島化學工業等の多數子會社を抱擁し、織維王國として内外に君臨してゐるが偶々日支事變を契機として津田社長は近く鐘紡關係事業會社を統轄する持株會社「鐘ヶ淵産業會社」を新に設立することに根本方針を決定した、即ち織維工業會社としては既に飽和狀態にある同社では支那事變を轉機として北支を中心とする織維工業の大陸進出に伴ふ大擴張を始め時局産業たる重工業化學工業方面への全面的進出を行ひ從來の輕工業のほかに重工業をも兼營するために從來の事業母胎たる鐘紡の組織機構を以てしては不可能であるので新に最高經營會社として持株會社鐘ヶ淵産業會社を設立、之に鐘紡外前記各子會社を吸収し、一大發展を期せんとするものであるその第一着手として別項の如く懸案の鐘紡三倍増資を斷行鐘紡的的資産を充實した上當局の意向を打診、近く持株會社の具體的設立に邁進することとなつた、同社の企圖せる鐘ヶ淵産業會社の設立要綱は左の如くである

一 重工業

現在朝鮮の全南鑛業により炭鑛經營に相當の成績を納めたので愈々北支の東邦炭鑛、康徳鑛業の經營を始めとして伊大和と技術的提携をなし航空工業にも進出する

一 化學工業

神島化學工業、同人造肥料の兩會社を擴充して硫酸、苛性曹達、二硫化炭素、晒粉、過燐酸石灰、硫安及び人造肥料の大大的増産を圖る

一 織維工業

營口、新義州の蘆バルブ工場の擴張、康徳蘆バルブ公司設立の外、北支重要地に蘆バルブ工場の建設、天津、青島上海紡績復興其他北支棉花、綿羊の増産等

▲二億圓に増資【一六】現在同社の社債未拂金、支拂手形、借入金等の債務合計は一億六千萬圓に上り資本體系の整備の要に迫られて來たので津田社長も遂に意を決し資金調整局に増資申請を爲し此程大體諒解を得るに至つた、増資の要綱は現在の資本金六千萬圓(拂込済)を三倍とする、但し資金調整局との諒解がつけば更に二千萬圓増の二億圓とする、新株割當方法は舊一株に付新二株、増資後の配當は現在の二割五分より七分減の一割八分とする方針である

資金審査會十數件認可

【一七】卅一日の資金審査委員會に於ける認可十數件中主なるもの左の如し
日清レーヨン拂込徴収二百萬元(借入金返済) △栗村鑛業所資本金を二百萬元に倍額増資運轉資金 △東京鉛鉛銀金九萬圓増資して五十萬圓とす(運轉資金)

尚先週中甲のイに屬する事業で審査委員會の議を経ず認可した主なるもの次の如し
△石川島造船所拂込二百萬元(工場擴張) △住友本社鴻の舞及び國富鑛山擴張資金二百十萬圓 △雄別炭鑛鐵道、炭鑛擴張、資金三百十萬圓

會社設立
東北振興バルブ【一五】廿五日創立總會開催、總資本金五千萬圓(東北興業、王子製紙共同出資) 年産能力二萬五千噸の工場二ヶ所建設、操業開始は十四年末の豫定、取締役會長藤原銀次郎、副社長金森太郎、田中治朗
江界水力【一五】廿五日創立總會、資本金五千萬元(四分一拂込、東拓並に森コソツェルン共同出資) 社長安川雄之助、專務吉田英三郎
日本油化【一五】廿五日創立總會開催、資本金五百十萬圓、第一期計畫は日本銅管よりタール年二萬四千噸の供給をうける原料としてピッチ、クレオソート、ナフタリン等の製造に着手の方針

拂込徴収

ラサ工業【一三】現在資本金二千五百萬元内拂込一千五百廿五萬元のところ擴張資金の爲新株第二回拂込徴収の認可を得て次の如く徴収を發表した、新株一株に付廿五圓、總額六百五十萬圓、拂込期日は四月一日
日本電工【一五】四月一日新株一株に付未拂込十七圓五十錢總額八百七十五萬圓

の徴収を重役會に於て決定した、右によ
り同社の拂込資本は四千萬圓となる
南洋拓殖【一五】現在資本金二千萬圓、
拂込済一千三百萬圓のところ近く總額二
百卅七萬五千圓の拂込徴収を爲す管
日立製作【一六】四月一日新株最終拂込
十二圓五十錢を徴収することに決定、こ
れで同社は一億一千七百九十萬圓の金額
拂込済となる。

當期利益金並配當率

一月下旬發表を見た會社當期(十二年
下期)利益金並配當率左の如し(△印減)

社名	當期利益金	當期配當率	前期配當率
鶴見鐵船	五、七九二	一・二	一・二
第百銀行	二、三六六	〇・六	〇・六
大阪機械	八〇一△	普一・五	特〇・五
十五銀行	七五〇	無配	無配
武州銀行	三〇三	〇・五	〇・五
昭和銀行	一八六	〇・五	〇・五
麒麟麥酒	一、七二〇	一・〇	一・〇

大日本鹽業朝鮮に進出

【一六】大日本鹽業會社では愈々朝鮮で
工業鹽產出に乗出し五ヶ年計畫を以て西
鮮清川江下流に一千二百町歩の鹽田を築
造することに決定、既に設計を終り解氷
期を待つて着工することになった

會社人事

廣島電氣社長【一七】守屋前社長死去に
伴ひ新社社長鈴木一、副社長稻葉實、常
務取締役牧田孫太郎の諸氏が夫々決定
江界水力常務【一八】昭和肥料専務高橋
保氏は森コンツェルンを代表して江界水
力電氣の常務取締役に就任

日本晝夜副頭取制廢止【二三】卅一日の
定時株主總會に於て副頭取川崎清男氏の
日本建物社長轉出を機に従来の副頭取制
を廢止し新に専務取締役に布き初代専
務に土屋長衛氏が就任した

滿支向積荷の戰時保險不變

【二五】我國海上保險各社の積荷に對す
る戰時保險は従來海上のみならず陸揚げ
後倉庫中の危險に對しても一定の戰時保
險料を徴収して保險契約をも引受ける場
合を含む二本建の制度を採用して來たが
此程倫敦、紐育の世界保險市場よりの勸
奨を機會に來る二月一日以後は原則とし
て水上のみに限定することとなつた、然
し我國保險會社としては北支、滿洲各地
の貨物は已に妥當なる戰時保險料も決定
されまた實需に基く此方面への保險引受
は國策的見地からも當然援助すべき性質
のものなので除外することとなつた、な
ほ協定期間に契約成立のものは三月末日迄
の猶豫期間を置き右期日前に出航の船舶
のものに對しては積荷主の便宜上特別的
に保險金支拂に應ずることとなつてゐる

☆倉庫

全國倉庫總高(十二年末)

【二三】(日本倉庫協會調査)昨年十二月
末全國倉庫貨物總高は左表の如くである
(單位千個、千圓、△印減)

種類	單位千個	金額
△總殘高	箇數	金額
十二年前月比	三三、三〇	三三、三〇
同年前月比	一、三〇	△一五、五九
前年十二月末比	七、五〇	△一七、七〇
△品目別	十二年末	前年末比

内地米	六、四〇〇	△三、八三三
朝鮮米	三、〇〇〇	三、〇〇〇
毛織物	三、〇〇〇	六、〇〇〇
雜織物	三、〇〇〇	三、〇〇〇
雜糸	六、二七〇	△三、八三三
人絹パルプ	三、〇〇〇	三、〇〇〇
機械類	三、〇〇〇	三、〇〇〇
分蜜糖	三、〇〇〇	三、〇〇〇
雜食料品	三、〇〇〇	三、〇〇〇
綿織物	三、〇〇〇	三、〇〇〇
米	三、〇〇〇	三、〇〇〇
印棉	三、〇〇〇	三、〇〇〇
羊毛	三、〇〇〇	三、〇〇〇
毛糸	三、〇〇〇	三、〇〇〇
洋紙	三、〇〇〇	三、〇〇〇
金屬類	三、〇〇〇	三、〇〇〇

穀倉敷料一舉三割五分値上

【二六】全國倉庫業者は昨年九月倉庫業
法の實地に伴ひ商工當局の認可を受け取
扱貨物全部に對し倉敷料平均二割方(最
低五分、最高三割五分程度)値上げをな
すことに決し爾來商品別各荷主側との間
に折衝を續け料金更改を行つて來たが、
最近全國在庫貨物總金額の約一割乃至二
割方を占むる米穀(現在内地、朝鮮、臺
灣各地產米合計在庫總高約八千三百萬圓
即ち在庫貨物總額約七億二千萬圓に對す
る一割強)の關係荷主が倉庫業同盟會よ
りの値上げ要求に對し撤回の交渉を開始
したがその成行如何は他商品關係荷主へ
も影響するので注目されてゐる、即ち倉
庫業者は東京廻米問屋組合に對しては従
來米穀が大量取扱重要貨物である點を對
酌して他商品倉敷料に比し可なりの低率
を以て契約を結び來つたのであるが今回

☆其他

國際商業會議東京開催辭退

【二四】國際商業會議所第十回總會は昨
夏の伯林總會の決議に基き明年東京に於
て開催の筈のところ日本國內委員會では
現下の時局に鑑み之を辭退しそれに代つ
て昭和十六年度に於ける第十一回總會を
東京に招致すべき件を巴里國際商業會議
所理事會に提案することに決定した

東商、時局經濟審議會設置

【二五】支那事變の擴大につれて時局關
係諸問題は今後益々複雑化するが東京商
工會議所では經濟界の戰時編成を更に強
化し長期戰の實を發揮するため廿七日の
役員會席上既設の「時局對策委員會」を
解消し國策的諸問題審議機關として新た
に「時局經濟審議會」(假稱)を設置するこ
とに決定した、右は會議所議員を總動員
すると共に財界各方面の權威者、官界、
軍部方面の代表的人物をメンバーに羅し
所謂知的資源の總動員を以て時局經濟諸
問題につき徹底的検討を加へ政府に協力
以てその進むべき指導方針の確立に寄與

商 況

一月初全國有價證券時價總額

【二三】(東株取引所調査)一月初現在同
所全國有價證券時價總額左の如し(單位
百萬圓)

株式	二七、一四〇
債券	二一、四六四
國債	一〇、六六九
地方債	二、三二二
社債	五、四〇六
外債	三、〇七七
合計	四八、六〇四

株式市場久し振りに大活況

【二七】電力管理案等戰時下の財經計畫
に一抹の不安を懷かれ議會開會中は買目
乏しいとの見地から最近株式市場は兎角
賣幕はれ勝であつたが廿七日後場に至り
俄然鐘紡に三倍乃至五倍の増資説が傳へ
られ強氣一派の買進みと共に軟派の狼狽
的踏上げとなり二百七十二、三圓處から
八十圓關門を筒抜けに忽ち九十圓臺に大
沸騰九十四圓丁度まであつて再び三百圓
相場に至るの勢となつた、同社の増資問題
を展開した、同社の増資問題は豫ての懸
案であり殊に今次の事變に依る在支工場
の被害復舊と北支方面への積極的進出計
畫が傳へられる一方在支權益の損害に對
して十分考慮すると外相の言明等が買
氣爆發の原因と見られる、此の鐘紡の狂

せんとするもので、從來の浪瀾的態度を
一擲しかる積極的熱意を見るは會議所
自體の新動向を卜するものとして注目さ
れる

騰に刺戟されて市場人氣は全面的に活氣付き短期新果は百六十八圓臺に急反撥して前日の大引値から四圓餘高となり大新も九十四圓臺、新日鏡百三圓、滿葉八十八圓臺、新帝人百廿七圓と夫々一、三圓方の昂騰を告げ賣安心の咎めが一度に現はれて来たやうである、長期市場は明日前場が當限納會となつて居る關係から短期に比し人氣は割合に冷靜であるが物色循環買ひが一段と助長されて来た振合であり一、二圓高のものが多かつた

東株一月限受渡高

【一・元】東株取引所長期清算一月限受渡高は銘柄百六十六種、株數五十萬七千二百廿株比代金四千卅一萬九千九百九十圓にして之を前月に比すると銘柄五種、株數八萬一千八百六十株、代金八百萬二千六百十圓と夫々増加し一株平均は七十九圓四十九錢で三圓五十二錢高である

錫未曾有の高値

【一・画】錫は爲替管理下の輸入困難と事變に影響され市中品拂底からない物高の現状で、取引もノミナル化してゐるが、この状態は到底緩和されそうもない爲め廿四日はペナン、B H H、百キロにつき廿圓方高値となり遂に一千圓丁度と未曾有の高値を示現した

金、銀相場低落

【一・六】市中金相場は日銀金集中政策に依る品拂底から一時新高値を示現したが賣行きは相續らず芳しからざる一方、日銀より金地金會社への拂下げが愈々實現することになつたので市場は樂觀人氣を深めて廿五日には賣値十四圓卅錢と十圓方、買値(上)十四圓十五錢、同(並)十四圓

五錢と五錢方何れも低落した、尙ほ銀相場もロンドン安を入れ三厘方何れも低落し、賣値十八錢九厘、買値十七錢七厘、同(並)十六錢七厘となつた

東京期米當限受渡高

【一・元】實收高増加から連日投物多く東京期米當限の受渡高は三萬石程度に減少すると見られたが相場低落の結果却つて新規買物を誘致し結局受渡高も案外減少せず五萬二千三百石となり値段は卅四圓四十錢であつた、渡方は山種、田邊、三橋、深川筋、木徳、室、小口正米筋等を受けたのは神田川筋、小口潰屋口であつた

市場旬報(一月下旬)

△株式 議會案の一面生産力擴充によるインフレ期待の爲積極的手筋もなく小高下を示してゐたが、廿七日在支糧益賠償に關する外相の答辯と増資説が利いて鐘紡は廿圓方の暴騰を演じたが一般に大巾の動きはなかつた

△期米 豫想を裏切つて實收高が増加を示したので失望人氣となり廿四日大發會以來の新安値を示し小戻したが先行實彈免れを懸念され小動きに保合つた

△綿糸 標準價格引下、米棉低落、株式悪化等で廿四日は一氣に卅四圓を割込んだが忽ち恢復と見るや廿七日又復關門を割込んで閉散保合に暮れた

△人絹 先行樂觀人氣で押目は買慕はれ風情であつたが好材料もないので前半は一服保合のところ後半は環境並外電不良を入れて頭重く引締り商狀

△砂糖 新規材料もなく終始閉散裡に保合つた

△生糸 刺戟材料もなく軟弱商狀裡に小

動きを繰返した

物價・生計費

都市卸賣物價(十二月)

【一・三】(商工省調査)昭和十二年十二月東京以下十三都市卸賣物價指數(昭和四年十二月基準、單純算術平均算出)は次の如し(△印落)

分類別	本月	前月比	前年同月比
食料品	133.4	1.1%	14.8%
纖維品	102.3	0.2	0.2
金屬品	133.2	0.8	0.0
建築材料	102.4	1.9	3.3
工業藥品	128.3	0.7	0.0
肥料	130.0	1.3	0.3
燃料	103.3	0.3	3.0
雜品	105.4	0.4	1.0
總平均	128.8	1.5	1.3
△商品別	本月	前月比	前年同月比
内地支米(中)	133	1.7%	14.1%
精製糖	125	0.0	0.0
羊毛	103	0.9	0.0
生糸	105	0.3	0.3
人造絹糸	105	0.3	0.3
綿織糸	102	0.3	0.5
洗鐵	107	保合	10.5
電氣銅	128	保合	10.2
セメント	104	保合	10.3
杉角材	122	1.6	10.8
晒粉	105	1.5	10.8
硫安	104	1.1	10.0
燈油	102	△1.7	10.8
石炭	120	△1.6	10.2
印刷料紙	120	保合	10.0

十五品平均 127.1 10.0

東京、大阪生計費(一月分)

【一・三】(内閣統計局發表) 本年一月分東京市及び大阪生計費指數左の如し(昭和十二年七月基準)

類別	勞働者	給料生活者
生計費指數	107.7	106.4
飲食料費	102.4	102.6
住居費	100.5	100.5
光熱費	133.4	133.2
被服費	101.5	100.6
其他諸費	104.9	100.4
前月比増(%)	1.4	1.4
△大阪市		
生計費指數	106.2	101.4
飲食料費	107.7	102.0
住居費	100.5	100.5
光熱費	107.0	108.0
被服費	100.1	100.4
其他諸費	100.1	100.1
前月比増(%)	1.5	1.3

貿易

北支排日關稅撤回に好感

【一・三】廿一日發表された北支關稅改正に關し我が貿易業者は多年宿望の排日關稅の撤回に好感じ左の如く觀測して居る

即ち今回の五十餘品目に亘る關稅改正は輸出税については我國が必要とする原料即ち棉花、羊毛、麻類、鐵鐵等の稅率を半減乃至は無稅としてこれが輸出増進を期したのと、又輸入税については北支

住民の生活必需品たる綿製品、砂糖、小麥粉等に亘り之れが引下げを行ひ更に一方諸建設復興材料の輸入の必要を考慮し之等の關稅率を輕減したものであつて、之れによつて我方が多年要望して來つた北支の高率排日關稅が是正され日滿支經濟プロック強化の前途に朗明さを加へた

在阪經濟團體の輸出振興策

【一・三】戰時下の輸出振興策に關し政治經濟研究會、大阪商工會議所等在阪各經濟團體では企業院よりの要望に基き夫々研究を進めてゐるが各方面の意見を綜合するに次の如き積極的輸出増進策の樹立を要望してゐる

- 一 輸出の基礎をなす原料の輸入は輸出用、軍需及び内需の三者に分けて一ヶ年分を豫定し輸出に於て過去一ヶ年間の実績以上の輸出をしたものに對しては次年度に於て超過額の八割程度の輸入増を許可す
- 一 國內に於けるストックを強制的に輸出させ輸入資金に充てる
- 一 國內物價が世界水準に比し高い商品に關しては國家の補償により輸出せしめる

對外貿易額(一月下旬)

【一・三】(大藏省發表) 一月下旬本邦對外貿易は上半期は入超を例とするに反し珍しく六百八十八萬圓の出超を示したが原因は輸入の激甚に基くものであつた(單位千圓)

	一月下旬	前旬
輸出	6,500	6,500
輸入	6,000	7,100
合計	1,500	3,400
出超	6,800	入超7,100

尙一月上旬以降累計左の如し

輸出	一七、七〇〇	前年
輸入	二六、六〇〇	二六、〇〇〇
合計	四三、三〇〇	五二、〇〇〇
入超	一、九〇〇	一、三〇〇

日本フアスナー輸出組合設立

【一三】商工省廿二日附認可

名稱 日本スライド・フアスナー輸出組合△目的 スライド・フアスナー輸出貿易振興△地區 内地一圓△事務所 神戸△事業 イ、輸出統制口、商品包装及び荷造検査ハ、市場調査開拓ニ、紛議解決

日本ゴム輸入組合創立

【一三】廿七日日本ゴム輸入組合の創立總會が開催されたが本組合は生ゴムの戰時輸入統制の圓滑を期し商工省の指揮に基いて成立を見たもので輸入組合としては我國最初のもので今後の活躍を注目されてゐる、組合要綱左の如し

理事長 田島由松△地區 内地一圓△資格 地區内の生ゴム直輸入業者△事業 輸入數量統制、販賣價格協定、取引先指定、共同輸入販賣・品質量目標査・海外市場調査等

對南米輸入會結成

【一三】東西兩部の日本南米輸出組合では本邦對アルゼンチン及びウルグワイ國貿易調整の目的を以て將來設立さるべき輸入組合設立迄の暫定的措置として同組合員の輸入實績を基準としアルゼンチン・ウルグワイ輸入會を結成の旨昨一日可決した

為替清算協定實現は困難

【一三】廿六日の豫算總會に於て吉野商相が我國入超尻決濟並に輸出促進の一方策として爲替清算協定締結に對し積極的意圖を有する旨表明したに對し我が爲替銀行筋では協定成立に就いては絶大なる希望を抱きつゝもその實現性に關しては現在の世界情勢では到底不可能事であるとして悲觀的見解を有してゐる、即ち入超國たる日本に對し出超國たる相手國にとつては日本に對する貸越の内、金現送或ひは其他の在外資金で決済された殘餘分は事實上クレジット設定と同様の意味を持つこととなり、之を避けんとすれば日本から物資を購入することを強要される結果となる現在でさへ各國とも輸出額増進に躍起となつてゐる情勢に於てかゝる寛容な態度は米獨兩國に於ても恐らく期待出來まい、假令協定成立したとしても日本の入超數字を知りつゝほどの程度まで日本に對する輸出を許容するかは甚だ疑問であると解する向が多い

産 業

☆農・漁業

昨年度米實收高六千六百萬石

【一三】(農林省最終發表)昭和十二年に於ける米收穫高は六千六百卅一萬九千七百卅石にして之を前年收穫高に比すれば百一萬九千九百六十九石(一分五厘)を減少し前五箇年平均高に較べれば四百七十四萬八千五百六十六石(七分七厘)の増加を示してゐる、尙最近五箇年間に於ける作付段別及び收穫高左の如し(單位作付町

段、收穫石)	年次	作付段別	收穫高
	昭和七年	三、七〇、〇〇〇	三、七〇、〇〇〇
	昭和八年	三、七三、二五〇	三、七三、二五〇
	昭和九年	三、七三、八〇六	三、七三、八〇六
	昭和十年	三、七三、二九九	三、七三、二九九
	昭和十一年	三、七三、二九九	三、七三、二九九
	五箇年平均(昭和七—一〇)	三、七三、二九九	三、七三、二九九
	昭和十一年	三、七三、二九九	三、七三、二九九
	昭和十二年	三、七三、二九九	三、七三、二九九

農村の租稅負擔依然過重

【一三】(農林省發表)昭和十一年度農村及都市租稅負擔狀況は左の如くである即ち擔稅割合は農村六分二厘、都市五分五厘四毛を示し而も右は粗生産額を對する割合であつて都市に於ては更にその上商業所得を加へることになるから兩者の所得對擔稅割合の差は更に擴大される譯で工業に比し農業經營の依然たる重賤を如實に物語つてゐる

△農村負擔

全國調査農村百七十八における昭和十一年度租稅負擔總額は一農村平均四萬二千五百八十八圓で昭和七年の三萬七千三百圓以來逐年増加の傾向に在る、而して調査農村一戸當並に一人當租稅負擔額次の如し(單位圓)

稅目別	一戸當	一人當
國稅	一〇・一一	一・七八
道府縣稅	一九・四五	三・四三
村稅	二六・五二	四・六七
計	五六・〇九	九・八八

おける租稅總額は百七十四萬二千四百十六圓で之を一戸當及び一人當租稅負擔額左の如し(單位圓)

稅目別	一戸當	一人當
國稅	一九・八五	四・〇一
道府縣稅	二七・三九	五・五二
市町村稅	三三・三二	六・七〇
計	八〇・五六	一六・二三

【一三】(農林省發表) 大正十五年より昭和十一年に至る十一年間の自作農創設維持の實績は貸付金額一億六千三百廿七萬圓、創設維持したる自作農地の面積十一萬三千五百五十四町歩、その農家戸數十九萬八千卅一戸に達してゐる、然し乍らかゝる自作農創設維持施設にも拘らずこの間自作農は總戸數に於て千四十一戸耕地面積に於て四萬二千二百五十戸の減少を示してゐる、尤も自作農の耕地面積は昭和五年以來増勢に轉じたとはいへ、他面總戸數は反對に昭和七年來減少の一途を辿り小規模經營自作農の没落顯著なるものがある、最近五ヶ年間の年次別實績左の如し

赤坂三會堂に開會、左の如き決議を可決關係各當局へ夫々陳情した

一 産業組合戰時經濟對策決議

中小産業者に對する各般の國策を徹底せしむるの要緊切なりと信じ茲に政府に實行を要認すべき左記事項を決議し其の實現を期す

イ 農林漁業生産力の維持擴大

努力補給方策の徹底、肥料の供給確保と價格の公正化、農林漁業金融の擴充、農業保險及び農地制度の確立等の速なる實現を期す

ロ 國民厚生之徹底

軍事扶助制度の強化、復員對策の確立、國民保健制度及び消費組合の擴充等國民厚生政策の徹底を期す

ハ 都市庶民金融制度の擴充

市街地信用組合の擴充を圖ると共に之に對する庶民金庫及び恩給金庫業務代行の實現を期す

ニ 農林行政及農林團體連絡強化

戰時體制の圓滑なる運行上指導方針の統一、農林政策の徹底、自治的統制の強化を圖ると爲農林行政機構及農林團體の革新及連絡強化を期す

ホ 農産物輸出の促進

農民生活の安定と國際收支の適合とを圖ると爲農産物輸出獎勵を徹底すると共に産業組合の輸出權を確保せんことを期す

二 産業組合中央金庫特別融通及び損失補償法に依る特別融通期限の延長並に利率低下要望に関する件

右特別期限は本年九月末日を以て期限満了となるも、目下地方農村漁村並に都市中小産業者の狀態は本法施

行當時に比すれば稍々良好なるが如くなるも、昨年以來の支那事變に依る軍需工業の殷盛は跋行的好影響を一部に齎したるに過ぎず依然として金融の圓滑を缺き居るの實狀にあり而も今後統後の對策として益々地方金融の圓滑を期するの必要緊切なるものと共に其の利率に付ても甚しく高率なりと認めらるるを以て之れが低下を希望する所以なり

邦人漁業コストリカ力進出計畫

【一】 パナマ共和国政府では來る二月一日外人漁業禁止令を公布することとなつた爲同地方の邦人漁業者は大恐慌を來し早くも所有漁船を續々パナマ國人に賣却してゐるが他方之が對策協議の結果數名の邦人代表は廿二日コスト・リカ大統領レオン・コルテス・カストロ氏に陳情を行ひコスト・リカ領内に漁業基地設置の特權を與へられたき旨要請すると同時に同國鐵道當局に對しても漁獲物輸送用の冷凍車の運轉につき折衝を開始した而してコスト・リカの消費階級では從來非常に高價だつた魚價が安くなるといふので邦人漁業のコスト・リカ進出を歓迎してゐるといはれる

☆ 燃 料

日鑛、海軍天然ガス實驗所引繼

【一】 新竹海軍天然ガス實驗所は創設以來所長藤尾博士以下の獻身的研究實驗の結果ベンゾール無水アルコールの合成に成功し海軍としては豫想以上の好成绩をおさめ目的を十二分に果したので實驗の設備及パテントなど一切を日本鑛業會社に譲渡し海軍は同實驗所より手を引くこととし廿一日一切の引繼を完了した、努める模様である

【二】 支那事變の擴大に伴ひ石炭の需要は急膨脹し十三年度内地石炭需要推定高は前年のそれに比し約五百萬噸増の五千萬噸に達する見込であり之が供給の圓滑を期するため石炭聯合會では目下種々對策を考究中であるが本年度は大體軍需下請に關係なき浴場その他雜業の石炭消費を節約せしめ尙且不足する場合には軍需産業以外の輕工業に對し前年度供給實績の何パーセントかを削減して供給する等の最後の手段に出づる模様である、尙之と併行して考慮さるべきは輸入炭契約數量の確保といふ問題で、この點については過日石炭聯合會は商工省を通じて樺太廳、滿洲炭礦當局に對し輸入協定嚴守方を申入れてゐる、即ち聯合會の送炭高は輸入炭を含めて計畫立案されるものであるが從來の實績に徴すれば協定數量と著しき懸隔があり之が過不足は聯合會加盟社によつて辛じて處理してゐたもので、本年度は事前にかゝる缺陷を是正しようとするのである、而して之が具體的方策としては本年度輸入契約數量

【三】 石炭聯合會では生産力擴充政策遂行に伴ひ石炭需要の急増に備へるべく昨年十月加盟社に對する増送賦課金並に増送數量の次期除除を夫々撤廢するとともに實績主義に基く次年度割當比率を設定するなど從來の出炭制限主義を増産主義に改變して積極的な増産計畫を樹立したが、その後事變の進展に伴つて右計畫の遂行を一層促進せしめる必要を認めるに至つたので廿八日理事會を開催、左の如く送炭規定の改正を行ふとも、在來の統制委員會に代るに増産委員會の新設を以てし、同委員會をして増産計畫遂行上の最高機關となす方針を決定した、送炭規定改正要旨及び増産委員會の機構概要左の如し

【四】 於て自由送炭を認めるに準じて増産委員會で送炭割當高を決定する（限産については德義上の拘束あるも罰則現定は適用せず）

印協定であつて、我國が對外交渉に當り常に協調主義讓與主義を探り眼前の塵埃を避けるに汲々たる卑屈心に起因せざるを得ないのである、我國綿布はその輸出量において昭和八年以來英國を凌駕して世界の覇權を掌握したのであるが昭和十年の廿七億二千五百萬碼を頂點とし十一年は廿七億一千萬碼十二年は廿六億四千二百萬碼と次第に低下してゐる、これに反し英國綿布の輸出は十年が十九億四千八百萬碼、十一年が十九億一千七百萬碼十二年が十九億二千二百萬碼となり次第に攻勢を探りつつあり英國綿布は最近南米、濠洲新西蘭、關印、海峽植民地へ進展したるのみならず、支那市場を獨占するためには深く國民政府と握手して支那内地の棉作地帯に英國資本による多數の工場網を敷設して海岸地帯に蟠居してゐる日本人紡績の生命線を内地において遮斷すべき一切の計畫を建て既に起工して居つたのである、この事實は此度の事變により發見せられたのであり此度の事變なかりせばそれ等の陰謀に氣付かず兩三年後において日本は不意打を喰つたであらうと考へられると同時に何故に青島の邦人工場が無残にも爆破せられたかの意義を解し得ると思ふ、近時我國には統制の流行を奇貨とし紡績事業の外的發展を公然非難するものがある我國爲政家が此種の島國的謬見に捉はれたならば英國の資本家は比較にならぬ低價銀の支那と印度を動員して我國の陣營を粉砕するであらうことを此の機會に警告したいと思ふ日支事變の前途は遠慮であり長期戦に

石炭聯合會、送炭規定改正

石炭需要激増と其對策

送炭規定改正

☆ 綿 糸

津田鐘紡社長の警世的演説

【一】 廿四日鐘紡株主總會席上津田社長の行つた演説要旨左の如し

日支事變以來印度綿布の對外輸出は目覺しき躍進を示し暹羅、蘇丹及東阿の一部を除く海外市場全般に亘つて進出しその増加率は少なきは五割多きは四十割の増加を示し就中錫蘭、海峽植民地及埃及、ナイゼリヤに於て優勢を示し綿糸に於ても同様であつて遠く白耳義に進出すると云ふ進展振りであつてその勢の赴くところ深く察知せざるを得ないのである、印度紡績が最近活躍を逞ふるの固より昨年一月以來の爲替統制を契機として起つた日本綿布の原棉高によるのではあるが、それにも増して印度紡績が一九三三年以來目覺しき輸出職線に乗出し來つたのは日

【二】 聯合會の送炭規定の有効期限は從來毎年更改されてゐるが、今後は之れを撤廢して永續的のものとする

【三】 聯合會會員の届出たる送炭協定高が昭和石炭の需要見積に達しない場合にもその總會員の申出を認め之を以て當該會員の聯合會に對する送炭責任高とする

【四】 組織は從來の統制委員會と同様とする

【五】 増産委員會は總會權限を代行する

【六】 在來の統制委員會を増産委員會に改組し各會員申出數量の査定に際し當該會員の實力に應じて出来るだけ多く増送せしめる

【七】 新坑の取扱に關しては出炭開始後二ヶ年間は自由に送炭せしめるが三年目以後は新加入の取扱（豫定計畫の範圍

【八】 一 管掌事項一、年間送炭豫定高及び送炭所要高の査定、二、送炭所要高に比し送炭豫定高不足する場合は之が補填對策に關する事項を審議する

【九】 一 組織は從來の統制委員會と同様とする

【十】 一 聯合會の送炭規定の有効期限は從來毎年更改されてゐるが、今後は之れを撤廢して永續的のものとする

【十一】 聯合會會員の届出たる送炭協定高が昭和石炭の需要見積に達しない場合にもその總會員の申出を認め之を以て當該會員の聯合會に對する送炭責任高とする

【十二】 組織は從來の統制委員會と同様とする

【十三】 増産委員會は總會權限を代行する

【十四】 在來の統制委員會を増産委員會に改組し各會員申出數量の査定に際し當該會員の實力に應じて出来るだけ多く増送せしめる

【十五】 新坑の取扱に關しては出炭開始後二ヶ年間は自由に送炭せしめるが三年目以後は新加入の取扱（豫定計畫の範圍

【十六】 一 管掌事項一、年間送炭豫定高及び送炭所要高の査定、二、送炭所要高に比し送炭豫定高不足する場合は之が補填對策に關する事項を審議する

【十七】 組織は從來の統制委員會と同様とする

入つた今日前途を無條件に樂觀し得ないものである、殊に原料輸入に對する強力なる制限生産資材の統制等容易ならざる苦痛が加はるのであつて當社事業に於ても生産制限率は綿糸に於て四割二分、人絹五割九分、絹糸紡績三割七分、毛糸工業六割、ラミー三割に達してゐる、國本培養のためには全力を擧げて生産を増加し輸出の増加を期すべき秋に當りその生産力を極度に手控へざるを得ない上に巨額に上る生産機關を死蔵することは眞に遺憾である、尙綿業に關しては二月一日以降内地用の綿糸布は強制的に三分の一ステープルファイバーを混紡することになり毛糸類も亦同様の制限を受けるのみならず極度の生産制限を受ける次第であるから纖維工業の一大革命であり獨りステープル・ファイバー等その原料となる資材のみが好影響を受けることが出来る、當社に於ても夫々用意を怠らず先年御報告済の如く苧を原料とする人絹パルプ工場は既に本月竣工を告げ運輸を開始する運びとなつてゐる、又ステープル・ファイバーの工場も防府の甘嶺高砂の十噸工場何れも竣工操業を開始致し更に一層の發展を期してゐる次第である

北支新關稅率に棉業者好感
【一】棉業關係者は天津稅關接收に際し北支新關稅率によれば輸出に於て棉花無稅、輸入に於て綿製品は殆んど半減を見たことは北支市場開發の將來に非常な成果を齎すものとして好感をもつて迎へてゐる、北支棉花は現在米棉印棉に對し三百圓方の高値にあるがその主因と目さ

れる爲管不安は新關稅の決定によつて是正されるので輸出稅の撤廢と相俟つて北支棉買付は圓滑を期待される綿製品の稅率引下は一應復興後の在華紡の販路を脅すとも考へられるが、同一資本關係に屬することではあり奧地市場の開拓も期待されるので將來の販路は在華紡の進出と何ら相俟するものではない

綿絲配給統制二協議會設置

【一】商工省では今般綿業調整協議會及び綿糸消費統制協議會の兩機關を設けて綿糸の配給統制に關する基本事項を協議せしめる事となり左の如く夫々組織及び協議事項の正式決定を見つに至つた
△綿業調整協議會
イ 委員―村瀬直養(委員長)、小島新一、新倉利廣、鹽谷野野吉、黒田鴻五(以上官廳側)、塚田公太、三村和義、不破小一郎、舞田壽三郎、古畑銀次郎、池田谷楠太郎、阿部藤造(以上民間側)
ロ 協議事項
1 毎月輸出向及び國內向別並番手別綿糸生産數量を決定する、三、四月分は一月の協議會で決定
2 國內向用綿糸消費統制は三月一日より實施
3 輸出向用綿糸については紡績使用分と一般市場販賣分とに分ち三ヶ月前に發表す
4 差當り一月中に三、四月分につき發表す
△綿糸消費統制協議會
イ 委員(略)
ロ 協議事項―毎月各聯合會への綿糸消費割當量決定
ハ 事務―商工省工務局に於て取扱ふ

第一回綿業調整協議會

【一】綿糸配給統制實施の爲め設置された綿業調整協議會第一回會議は廿六日商工省に開催三月及び四月の綿糸の生産總數量に關して紡聯の決定せる各月綿糸廿萬五千捆、混紡糸七萬八千捆を承認した
三、四月綿絲生産高決定
【二】紡績聯合會では廿四日統制委員會を開き三、四月度の生産高を二月度同様廿五萬七千五百捆(純綿換算)と決定
紡聯、輸出振興策協議
【三】紡績聯合會では廿八日委員會を開催、綿製品輸出振興策につき協議した

△綿三綾 二、三、四月 四圓廿二錢五厘 五月 四圓十錢

☆ 人 絹

ス・フ、國用綿絲最高價格決定
【一】内地向綿糸に對するス・フアイバーの強制混用實施に伴ひ、商工省ではス・フアイバー並に混紡糸に就ても最高標準價格を設定せしむることとなり廿九日綿業委員會に於て左の如く決定した
テール・フアイバー最高價格
普通品(フライト物)百分度
受渡月 昭和十三年二、三、四、五月 六十圓
△ス・フアイバー最高價格決定の件
一 最高價格は普通品(フライト物)に付決定するものとす、特殊品及輸出品たること明瞭なるものに付ては差當り最高價格を決定せず
二 最高價格とは生産者が市場に供給する價格の最高限度を謂ふ
三 最高價格は受渡月に決定する
四 最高價格は差當り二、三、四、五月につき之を決定す
五 最高價格制度實施前に爲したる契約品の受渡に付ては最高價格を適用せず
六 最後の消費者に供給するス・フアイバーの價格は經由する人數の一人なると數人なるを問はず最高價格に其百分の一を加へたるものを超ゆるを得ず
七 形式の如何を問はず實質上最高價格を超過する代金を授受する如き方法を以て取引を爲すことを得ず
八 最高價格の發表は商工省よりステープル・フアイバー同業者に通過し同會

△市價より廿圓安【一】混紡糸の最高標準價格は純綿糸のそれに比較すると廿番手に於て廿三圓五十錢高であるが之を現在の混紡糸市價に比較すると約廿圓安となつて居り相當大幅の引下げである

▲業省領頭満足【一】今回新たにス・フ混紡糸及び擦糸の最高標準價格決定に關し業者側の意見左の如し

【一】即日之を發表す
▲混紡糸(國用綿糸)最高價格
國用綿糸(重量三割以上の人絹を混紡したるもの、單位圓)
標準品 手 二月渡 三月渡 四月渡
雙鹿(混) 10 三三・〇〇 三三・〇〇 三三・〇〇
同 16 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 20 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 24 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 28 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 32 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 36 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 40 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 44 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 48 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 52 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 56 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 60 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 64 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 68 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 72 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 76 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 80 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 84 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 88 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 92 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 96 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 100 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 104 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 108 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 112 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 116 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 120 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 124 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 128 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 132 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 136 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 140 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 144 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 148 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 152 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 156 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 160 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 164 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 168 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 172 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 176 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 180 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 184 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 188 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 192 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 196 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 200 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 204 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 208 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 212 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 216 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 220 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 224 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 228 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 232 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 236 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 240 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 244 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 248 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 252 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 256 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 260 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 264 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 268 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 272 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 276 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 280 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 284 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 288 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 292 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 296 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 300 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 304 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 308 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 312 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 316 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 320 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 324 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 328 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 332 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 336 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 340 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 344 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 348 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 352 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 356 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 360 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 364 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 368 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 372 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 376 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 380 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 384 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 388 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 392 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 396 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 400 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 404 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 408 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 412 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 416 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 420 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 424 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 428 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 432 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 436 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 440 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 444 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 448 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 452 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 456 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 460 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 464 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 468 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 472 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 476 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 480 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 484 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 488 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 492 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 496 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 500 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 504 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 508 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 512 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 516 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 520 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 524 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 528 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 532 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 536 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 540 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 544 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 548 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 552 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 556 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 560 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 564 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 568 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 572 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 576 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 580 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 584 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 588 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 592 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 596 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 600 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 604 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 608 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 612 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 616 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 620 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 624 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 628 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 632 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 636 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 640 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 644 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 648 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 652 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 656 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 660 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 664 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 668 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 672 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 676 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 680 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 684 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 688 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 692 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 696 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 700 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 704 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 708 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 712 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 716 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 720 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 724 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 728 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 732 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 736 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 740 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 744 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 748 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 752 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 756 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 760 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 764 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 768 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 772 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 776 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 780 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 784 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 788 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 792 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 796 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 800 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 804 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 808 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 812 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 816 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 820 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 824 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 828 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 832 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 836 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 840 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 844 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 848 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 852 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 856 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 860 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 864 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 868 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 872 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 876 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 880 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 884 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 888 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 892 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 896 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 900 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 904 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 908 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 912 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 916 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 920 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 924 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 928 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 932 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 936 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 940 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 944 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 948 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 952 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 956 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 960 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 964 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 968 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 972 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 976 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 980 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 984 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 988 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 992 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 996 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 1000 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇

より即日之を發表す
▲混紡糸(國用綿糸)最高價格
國用綿糸(重量三割以上の人絹を混紡したるもの、單位圓)
標準品 手 二月渡 三月渡 四月渡
雙鹿(混) 10 三三・〇〇 三三・〇〇 三三・〇〇
同 16 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 20 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 24 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 28 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 32 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 36 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 40 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 44 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 48 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 52 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 56 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 60 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 64 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 68 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 72 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 76 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 80 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 84 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 88 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 92 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 96 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 100 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 104 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 108 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 112 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 116 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 120 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 124 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 128 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 132 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 136 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 140 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 144 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 148 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 152 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 156 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 160 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 164 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 168 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 172 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 176 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 180 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 184 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 188 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 192 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 196 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 200 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 204 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 208 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 212 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 216 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 220 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 224 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 228 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 232 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 236 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 240 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 244 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 248 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 252 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 256 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 260 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 264 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 268 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 272 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 276 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 280 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 284 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 288 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 292 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 296 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 300 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 304 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 308 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 312 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 316 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 320 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 324 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 328 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 332 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 336 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 340 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇
同 344

外の取引が進捗する虞れがある
△混紡糸 従来甘番手は純綿糸に比し卅三圓六十銭方高いのを普通としたが今回の決定で兩者の開きは廿三圓五十銭に、四十番手は廿圓から十二圓五十銭に縮小されたので混紡糸生産會社は相當の苦痛を免れまい

△擦糸 廿番手の單糸の開きは従来廿五圓位であつたのが十二圓に縮小され商習慣無視と不満が多いが、右は單糸と擦糸の純工賃を比較して決定したものと見られる
人絹糸の北支進出期待
【一三】中國臨時政府は人絹糸の輸入税率を百圓に付從來の百廿元から卅一元と約七五%の引下を斷行したがこれにより今後北支向け人絹糸の輸出は激増するものと見られる、即ちさきに滿洲國でも人絹糸の輸入税率を百圓に付卅圓と大市引下を見た折柄今又北支關稅が右と同程度に引下げられたので今後同方面への需要増加は北支治安恢復の進捗と共に多大の期待をかけられるわけで、既に昨年十一月頃より其増加傾向は著しいものあり、十二月は十三萬磅を記録し事變前七月に比し却て三倍以上に達する盛況振りを示した

計書案を纏つてゐたが、この成案を得廿一日閣議に附議正式決定した、増産計書案の内容は昭和十七年内地及滿洲を併せて百六十五萬噸(現在の設備能力八十七萬噸)を供給せんとするもので、昭和十七年の需要見積たる製紙用バルブ百廿萬噸人織用バルブ五十萬噸合計百七十萬噸に對し殆ど自給自足の域に達する譯である増産計書案詳細左の如し
一 王子製紙以外の製紙會社及び人絹、ス・フアイバー製造會社の投資により新會社を設立し、昭和十七年に於て製紙及人織用バルブ合計十六萬二千噸を生産する、之に要する木材は二百七十萬石であるが、これは北海道及び内地の國有林を拂下げる豫定
二 王子製紙をして設備の改善を行はしめ昭和十七年三萬噸の増産を實現せしむ、其所要木材五十萬石
三 外に製紙用バルブ生産設備六萬噸を人織用バルブ生産に轉換せしめる、これに要する木材は八十二萬石(人絹バルブ製造には製紙用バルブより一噸當り一石乃至二石多く木材を要する)
四 東北バルブ會社をして昭和十七年に紙、人絹バルブ合計五萬噸を生産せしむ、所要木材八十萬石は國有林の拂下と民間山林買上分を以て折半充當する以上により十七年には約廿五萬噸の増産が可能である
五 右増産計書の外民間自然増産は昭和十七年迄に八萬噸に達する見込(内譯日曹人絹バルブ、山陽バルブ、北越人絹バルブ、日本工業各二萬噸増産)
六 其他新原料によるバルブの増産は臺灣に於けるバガスバルブが昭和十七年

に十萬噸、内地大豆粕よりの製造分が五萬五、六千噸で合計十五萬五、六千噸に達する見込
七 次は昭和十七年に於て滿洲より卅萬噸輸入し得る見込
右の増産計書實現の曉はス・フアイバー代用による棉花、羊毛の節約及びバルブの輸入抑制による海外拂の節約額は三億圓に達する見込みである
燒損木からバルブ製出成功
京城【一五】威鏡北道茂山群三社面(豆滿江上流域)で大正十二年頃燒損した朝鮮唐松を林業試驗場で試験の結果バルブの採取に成功した、色は多少劣る所あるが品質に於ては生木よりのそれと殆ど變化なく同地の燒損木材が面積三萬七千陌、立木材積二百四十五萬立方米、概算五、六萬噸、從つて約一千萬圓のバルブを生産し得る見込なのでその開發は頗る期待されてゐる

☆ パルプ

バルブ増産五ヶ年計畫大綱

【一三】綿製品及羊毛製品に對するス・フアイバーの強制混用の實施に伴ひバルブ需要の激増を齎せるも十二年は需要高卅卅二萬噸生産高八十七萬噸差引四十五萬噸の供給不足といふ状態なので過般來企業院及商工省に於てバルブ増産五ヶ年

☆ 其他

我が糖界は支那市場に期待

【一六】(日本糖業聯合會調査)同會調査に據れば將來支那は我國糖業にとつて最大の輸出市場たるべく刮目して多大の期待をかけ得ることが判明した、數字的根據左の如し(單位千擔)
△全支砂糖輸入高
年次 北支 中南支 計
昭和七年 一、三〇五 三、七五五 四、〇六〇
八年 一、〇二五 三、三三〇 四、三五五
九年 九、五五 三、八六〇 四、四一五
十年 一、一〇五 三、九六〇 四、〇六五
十一年 一、一〇五 三、九六〇 四、〇六五

△産地別輸入高 (關印)
昭和七年 日本(ジャワ) 香港
八年 〇 〇
九年 〇 〇
十年 〇 〇
十一年 〇 〇
昭和八年 〇 〇
九年 〇 〇
十年 〇 〇
十一年 〇 〇
昭和八年 〇 〇
九年 〇 〇
十年 〇 〇
十一年 〇 〇

昨年中洋紙製造販賣高新記録

【一三】(日本製紙聯合會發表)十二年度累計製造高廿一億二千九百二萬五千封度、販賣高廿億三千二百八十七萬二千封度、(販賣率九割五分四厘)と廿億を突破し何れも新記録を示現した、之を前年に比較すれば前者は三億三千七百七十封度(一割六分六厘)、後者は一億六千廿三萬二千封度(八分五厘)の増加振りである

濠洲の邦船ボイコット惡質

【一三】濠洲シドニーに於ける邦船ボイコット問題に關し廿八日大阪商船入電によれば今回の荷役拒否は從來の如き日本向軍需品原料のみに對する積出拒絶ではなく人夫側は全然埠頭に姿を見せぬと云ふ極めて惡質のものであつて邦船側も成行を重大視してゐる尙目下シドニー港で立往生中の邦船は郵船熱田丸及び商船かんべら丸の二隻であるが人夫側に對する聯邦政府の態度不明のため目下解決の見込みが立たない

海 運

日濠海運會商やり直し

【一六】日濠海運會商は濠洲B・A本社側よりの回答を待つ爲休會されてゐたが濠洲側代表の要請に基き廿六日郵船本社に兩國代表が會合し種々意見の交換を行ひ濠洲側代表は先般の會商に於て協議決定せる復航羊毛積取率に關して明確な諾否の回答をなさずB・A本社よりの訓令に基き之として専ら會商のやり直しを主張した、これに對し本邦側各代表も終局的な圓滿妥協成立を希望する立場から遂に之を承認する旨表明、廿七日より正式に再會議が行はれることとなつた
軍需工業下請幹旋中央會設立
【一六】現下中小企業の窮狀打開策として軍需工業の下請幹旋を組織的ならしむるため廿八日東京商工會議所に府、市會議所三團體の關係者參集、最後の打合せの結果下請幹旋の中央機關として「東京軍需工業下請幹旋中央會」を新設し一般中小企業と軍部方面との聯繫を圖り軍部からの注文幹旋を行はしむることに正式決定した

社 會 文 化

旬間大觀

僑領軍人の救護や應召商工業者の遺家族保護に政府が本腰で乗り出したことは(政治・外交(關參照))極めて當然のことながら、當の關係者はもとより一般僑後の國民を物と安心させたやうである。

第八回目の煙草の値上げが實施された。しかし國民は來るべきものが來たに過ぎぬとなして誰一人不平を言ふ者もない。かういふ些細な、そして最も普通の施政の變革が、僑後國民の協力の程度を極めて自然に測り得るバロメーターであるといふ見方から言へば、我が同胞の長期戦財政への支援戮力は相當根強いものと評してよからう。

植村中將事件の民間側公判が始まつたが、平時のやうに向人々の話題に上らぬ。國民は今そんな事を話し合ふ閑がないのだ。

文 化

萬博入場券前賣決定

【二六】皇紀二千六百年記念日本萬國博覽會の準備はすでに完了したので主催者側では廿八日館府知事、小橋東京市長、半井神奈川縣知事、青木横濱市長、門野東商會頭、有吉横商會頭等の連名で近衛首相、賀屋藏相、吉野商相の三大臣に宛て、入場券前賣の許可陳情書を提出し、政府の許可があつたので第一回分として一十萬圓を來る三月十日から廿四日の十五日間に賣出す事となつた

赤堀博士最古人骨研究へ

【二七】東大理學部人類學教室の赤堀英

檢 察

全國博徒の大檢舉

【二八】大阪地方檢事局では非常時下に

裁 判

植村事件民間側公判

【二九】昨年春肅軍途上端しくも暴露された元陸軍造兵廠長官元陸軍中將植村東彦氏等の所謂造兵廠疑獄事件に連座した民間關係の植村元中將夫人キヨシ(名)(敬語の共同正犯)及び敬語の元佛國通商株式會社支配人渡邊吉氏(名)外六氏、都合八氏にかゝる續職事件の第一回公判は廿八日午前九時十分東京刑事地方裁判所新館四號法廷に於いて藤山裁判長(三宅、妹尾兩陪席判事)深川檢事係り有馬、堀江兩博士、今村、平松、竹内等八名の辯護士立會で開廷(本件の主犯植村元中將は昨春陸軍高等軍法會議で懲役二年六月を言渡され目下豊多摩刑務所で服役中)先づ深川檢事が約十五分間に亘つて公訴事實を簡單に述べたのちキヨシ夫

社 會 雜

興行時間短縮方針決る

【三〇】演劇、映畫の興行時間短縮問題に就いては内務省並に警視廳保安部で鋭意對策を練つてゐたが、この程成案を得たので二十五日午前十時半から都下の興行會社代表七氏が警視廳保安部に招致、野村保安部長から左の如く興行時間の短縮を申し渡した

一 活動寫眞興行は從來の一興行四時間三時間以内に短縮し二月一日から全國的に實施すること
一 演劇、演藝は料金低下と興行の大衆化を目指す意味で映畫と步調を合して一興行五時間半以内とする、但し特別興行の場合は六時間半迄の延長を許可する、而して右は三月一日より實施のこと

☆ 人事往來

鳥居博士父子歸る

【三一】我が考古學の權威鳥居龍藏博士は外務省文化事業部から派遣され令息龍次郎君令嬢みどり子さんと共に昨年三月十一日出發、アメリカ及び南米各地に研究脚を續けてゐたが寫眞三千枚、ミイラ十六體其他多數の貴重な參考品を御土産に廿六日午前六時ロサンゼルスから横濱に入港した大阪商船もんでびねを丸で十一ヶ月振りで令息同伴歸朝した、令嬢は尙米國に止まつて美術方面の研究を續けてゐる

フアーレル翁來朝

【三二】名篇「ラ・パティエ」の著者フランスの文豪クロード・フアーレル翁(名)は廿日午前九時半神戸入港のフランス汽船「フエリックス・ルーゼル」號で四十年振りに來朝、ドパール神戸駐在フランス領事、外務省屬阿南正生氏等の出迎を受け帝國ホテルに入つた翁は二月七日まで滯

人の事實審理に移り、同二時十五分明確した

「勸導組合」の六組合がこの程然として從來の偏狹であつた民族的對立感情を放擲、過去十數年間の誤れる行動を批判して同時に六團體の解散を決議し、今後は眞によき日本の同胞として睦生することを申し合せた

前田山の大關決定

【三三】廿五日連日超満員のうちに春場所十三日をうちあげた相撲協會では、廿六日午前九時から協會で新番附編成會議を開いた結果、東方小結の地位にあつて十一勝二敗の好成績をあげた前田山を満場一致大關に推薦した

一 活動寫眞興行は從來の一興行四時間を三時間以内に短縮し二月一日から全國的に實施すること
一 演劇、演藝は料金低下と興行の大衆化を目指す意味で映畫と步調を合して一興行五時間半以内とする、但し特別興行の場合は六時間半迄の延長を許可する、而して右は三月一日より實施のこと

在京朝鮮六組合解散

【三四】事實以來澎湃として湧き起つた愛國の熱情の高揚に動かされてその主義主張とも文字通り矯激そのものであつた在京半島出身無政府主義者を以て指導者とする「自由青年聯盟」「東京勞動者組合」「朝鮮自由勞動者組合」「朝鮮極東勞動組合」「朝鮮勞動者合同組合」「朝鮮一般勞

京、同七、八兩日は日光を見物、十日退京、十六日まで京阪神地方を視察、朝鮮經由滿洲國に赴き更に廿二日新京發、世界の注目の北支を視察する筈である

☆事故・遭難

關釜連絡船衝突

【一三】廿三日午後七時十五分頃下關入港の關釜連絡船景福丸(三六二〇噸)が乗客三百七十名を乗せて下關港入口巖柳島沖に差支つた際修理のため同所鐵道ブイに繋留中の姉妹船德壽丸(三三二〇噸)の左舷中央部に衝突、德壽丸は、直に浸水、午後八時廿分頃マスト、煙突、ブリツヂの一部を海面に残し遂に沈没した、廣鐵下關運輸事務所より救助艇が出動、德壽丸乗組員四十餘名を直に移乗救助上陸せしめた、一方景福丸は船首の一部を破損一時間遅れて八時四十分入港したが船客には幸にして異常なかつた、衝突の原因は操舵の故障と見られてゐる

昭廣丸遭難

【一三】廿六日午後零時半頃小樽市外高島沖を航行中の濱口汽船昭廣丸(二二二四トン)より猛吹雪のため航行不能船體危険に陥つた旨の SOS を接受した小樽水上署では被店小樽市久野廻漕店と協力救助手配中であつたが午後三時に至り小樽市外朝里村字張碓沖、恵比須島岩より三百間沖に沈没船ありとの報に接したので直ちに救助船を出し調査した結果、附近に漂流中のブイにより昭廣丸なることが判明した、昭廣丸は石炭千餘噸積載廿五日午後小樽港を發し敦賀に向ひ航行中遭難したものである

▲卅一名海底の藻屑に【一三】昭廣丸遭難現場は朝來の猛吹雪のため濁浪物凄く必死の救助作業を阻んでゐるが、夕刻同船乗組員三名の死體が漂着したのを發見これによつて猪口船長以下全乗組員卅一名が船とも運命をともにしたこと確實となつた

訃

▲今井清中將【一三】參謀本部附陸軍中將四位勳二等功五級今井清氏はかねて陸軍醫學校病院に入院中の處廿二日午前十一時四十分逝去した、享年五十七、中將は名古屋市の生れ、歩兵第八十聯隊中將となり參謀本部第一部長、陸軍省人事局長、軍務局長、第四師團長等を歴任、十二年三月參謀次長に補せられ同年八月陸大校長兼任となつたが八月十四日肋間神經痛のため職を多田中將に譲り參謀本部附の閑地につき靜養中であつた
▲大の里關 大連【一三】大連赤十字病院に於て療養中であつた元大日本相撲協會大關大の里は廿二日午後六時半病勢あらたまり遂に逝去した、享年四十七
▲竹屋春光子【一三】元貴族院議員竹屋春光子は舊臘中耳炎を病み東京帝大病院に入院加療中であつたが廿四日午前七時逝去した、享年五十六、子は故松平康莊侯の弟、首相秘書官、臺灣總督秘書官を歴任、拓務省囑託であつた
▲遠藤平塚市會議長【一三】神奈川縣水産會副會長、平塚市會議長、平塚市須賀一〇五遠藤氏はかねて肺炎疾で横濱市横濱病院に入院加療中のところ廿七日午

後十時同病院で逝去した、享年六十六
▲貴志彌次郎中將【一三】豫備陸軍中將貴志彌次郎氏は豫てから肺腫瘍の爲め牛込區市ヶ谷仲之町四九の自邸で療養中であつたが廿七日午前十一時半逝去した、享年六十六、同中將はかつて歩兵第六十六聯隊長、支那駐屯軍司令部附歩兵第六旅團長、關東軍司令部附下關要港司令官等を歴任した
▲黒澤貞子夫人【一三】ソプラノ歌手黒澤貞子夫人は急性腹膜炎のため飯田町日本醫大附屬病院に入院加療中であつたが廿九日午後九時死去した、享年卅四
▲荒井樞府副議長【一三】樞密院副議長荒井賢太郎氏は廿八日午後東京小石川區大塚仲町四一の本邸から相州鎌倉小町四〇六の別荘に移り遊蕩してゐたが廿九日午前十一時頃訪れた知友相良退役陸軍少將と碁を圍んでゐるうちに突如腦溢血を起して卒倒、正午逝去した、享年七十六氏は新潟縣高田の士族荒井直靜の長男で文久三年十月生れ明治廿五年帝大法科佛法科を卒業、奈良縣收稅長、大藏主計官參事官、同書記官、同主計局長、統監府參事官、朝鮮總督府度支部長官を歴任し大正十一年加藤内閣に農商務大臣として列し、後貴族院議員に勅選せられ後樞府顧問官に、昭和十一年三月樞密院副議長に任じ、同年四月議定官に補せられた

カイト總會派遣代表團決定

【一三】カイト I.O.C 總會は来る三月十日から一週間開催されるが、これが重大任務を帯びて出席する我が組織委員會代表の陣容は先に嘉納首席代表、永井事務總長、クリンゲベルグ技術顧問の三首腦部と決定したが隨員に就ては過日來永井事務總長の手で監衡中の處漸く廿二日在歐者二名を含む七名の全隨員が確定同日三首腦部と共に代表團十名として左の如く發表された
I.O.C 委員組織委員 嘉納治五郎
△組織委員會事務總長 永井松三△組織委員會技術顧問 クリンゲベルグ△組織委員會中塚榮次郎△競技部主事 宮木昌常△競技部書記 鈴木良徳△競技部委員 三藤正△宣傳部囑託 清水照男△冬季札幌大會實行委員會副會長△大野精七(在歐)△競技部囑託 津田正夫(在歐)
カイト總會日程
【一三】カイト I.O.C 總會日程に就き I.O.C 本部から廿六日組委會氣付我が I.O.C 委員宛左の如く報告があつた、それによると總會は三月十日カイトで開會式を行つた後十一日午後パリポートに乗船しナイル河を遊江、十八日まで途中見物のため諸所に寄りながら八回の會議を開き、十九日午前水路カイロに歸着する豫定である
國際陸聯總會日期場所變更
【一三】國際陸聯總會は来る二月廿四日からロンドンで開催豫定の所廿二日朝國際陸聯會長エドストロム氏から日本陸聯宛總會は来る廿六日からパリに於て開催される旨電報で通知あつた
木下陸聯代表出發
【一三】来る二月廿六日からパリで開かれる國際陸聯總會に出席する我が陸聯代表木下東作博士は聯照常務委員三藤正君を伴ひ廿五日午後四時横濱出帆の郵船平

安丸で出發した
野球も正式種目に
【一三】東京大學野球聯盟では廿八日午後五時から九日九日糧養軒で本年度初の理事會を開催、東京大會問題に就いては球界の現状から見て正式種目として舉行す可く一踏邁進する事に意見の一致を見た
△組委會も實現努力を約す【一三】東京大學野球聯盟は卅一日午後二時半から久保田理事長等が代表して組織委員會事務所を訪問下村副會長、永井事務總長等と會見、来る可き東京大會に際して野球を正式種目として参加させる様野球側に積極的意志のある事を表示した、これに對して組織委員會側も大いに好意を以てこの申出を迎へ欣然實現に努力する事を約し、組織委員會としては取あはずカイト會議出席の永井事務總長が往路米國で米國 I.O.C 委員フランデージ氏と懇談實現への手續を探る事となつた
比島も東京大會絕對支持
【一三】比島體協ウアルガス會長から組委會徳川會長宛東京大會に比島は多數の選手を送る旨の書翰が卅一日組委會に到着した
フイギニア候補選手決定
【一三】大日本スケート競技聯盟は廿三日全日本フイギニア選手權大會終了後次回オリンピック冬季大會第一次代表候補選手総務委員會を開催、左の如く決定發表した
△男子 片山敏一(關學)、神田博(神戸スケート會)、有坂隆祐(明大)
△女子 稲田悦子(大阪スケート會)、月岡芳子(同)、中村衣子(同)

世界情勢

旬間大觀

遅延に遅延を重ねたルーズヴェルト大統領の海軍特別敎書は、海軍のみならず陸軍をも含む全般的軍備充實を要求せる國防特別敎書となつて、廿八日遂に發表され、ヴァインソン下院海軍委員長はこれに呼應して總額八億磅に上る海軍擴張案を下院に提出した、他方英國は、英佛空軍協定交渉に着手し、シンガポール要塞の大擴張完成を機會に卅一日から海陸空の精銳を動員して大攻防演習を開始した。日本の四萬三千噸級巨艦の建造説が、我が當局の否定にも拘はらず、夢魔の如く英米佛を脅かしてゐる。

この時、デユネーグでは、廿七日から第百回聯盟理事會が開かれ、日支紛争問題、規約改正就中制裁條項廢棄問題を繞つて、相變らずの猿芝居が演ぜられてゐる。

尙ほ一月廿七日には、英佛白三國外務省から、ベルギー前首相ヴァン・ゼーランド博士の世界經濟再建報告書が發表された。

國際建艦競争

主力艦噸數制限撤廢下交渉説

ロンドン【一三】英國外務省當局は日本の大主力艦建造説に關聯して米佛兩國との下打合せを否定してゐるが廿一日のマンチエスター・ガーディアン紙ワシントン特電は既に英米の外交機關は話し合ひを始めて居り主力艦の質的制限條項が正式に破棄されんとして居ると傳へてゐる

兩運河改造に英米協議説

ロンドン【一三】U.P.通信社ロンドン支局の報道によればクレイギー大使の報告により日本の超弩級艦建造説が眞實なることが判明すれば米佛兩國政府と將來

ンガール大佐をロンドンに派遣し英國海軍當局と主力艦建造問題に關し重要打合せを行つたことが判明した、同大佐は約三週間ロンドンに滞在の後最近ワシントンに歸還しルーズヴェルト大統領に英米協議の内容を復命、ルーズヴェルト大統領は同報告を充分検討した上で國防特別敎書の起草を行つたと傳へられる、英國外務省スポークスマンは廿八日の記者團との會見に於て英米協議の事實を確認し左の如く語つた

過般米國海軍の代表が主力艦問題につき打合せの爲ロンドンに來り英國海軍當局と協議を遂げた

英米間に超弩級艦建造諒解

ロンドン【一三】米國海軍々令部作戦課長インガール大佐の英國訪問を機に主力艦問題に關し英米兩國海軍當局間に如何なる諒解が成立したかは興味を以て見られてゐるが、U.P.ロンドン支局の聞知するところによればインガール大佐は同會談の席上米國は四萬噸以上の超弩級艦を少くも一隻建造することにならうと通告したのに対し、英國側も

決定を急ぐ必要は認められないが米國同僚技術的研究を進めてゐる

英米海軍再協議説

ロンドン【一三】保守系デイリー・テレグラフ紙外交記者は卅一日の紙上英米兩國間の提携工作が極めて緊密に進められてゐる旨左の如く報じてゐる

英米兩國政府が海軍、外交の兩問題に付き現在程緊密な提携を確保してゐる

ことはかつてなかつたであらう、最近三日間に英米兩國海軍省は再び緊密な接觸を遂げたが問題は極東情勢に集中され殊に日本政府の超弩級主力艦建造に對處する英米兩國海軍の建艦計畫に付き意見を交換した

更に最近三日間の英米海軍會談にはフランス海軍武官も出席傍聴した事實がある以上英米兩國海軍の提携が緊密化すると共にロンドン外交界は之に深甚の關心を寄せ種々の批評を下してゐる、ダフ・クーパー海相が卅日バーミンガムに於て米國海軍が強化さればされる程世界平和に貢獻する所が多い

と演説したことは英米兩國海軍協力の將來を示唆するものでありその前途に光明を投じたものと言へよう

主力艦問題で日本へ照會か

ロンドン【一三】日本がロンドン海軍條約の制限を超へた大主力艦を建造中との報道に關し英米佛三國政府は兩三日來外交機關を通じ非公式會談の結果更に今一度日本政府に照會することになつた模様である、卅一日ロイテル通信社の報道によればこの問題に關する英國政府の態度は大體次の如く觀測される

日本の大艦建造説は現在迄の所具體的な證據がないので今直ちに海軍條約の 에스カレーター條項の發動は實現しないであらう、然し日本政府の大艦建造説に對する公式否定は未だ不充分でロンドン條約締約國の疑念を一掃するに至つてゐない、日本はロンドン條約の調印國でないから英國政府としては日本政府から情報を求める法律的權利はないが各國の建艦競争を避ける爲日本

政府がこの際更に一層詳細な報告を供與して呉れることを望んでゐる、目下英米兩國共にロンドン條約の制限以上の大主力艦を建造する意圖は持つてゐないが日本の態度が明瞭ならぬ限り建艦方針の變更は依然考慮してゐるだけならぬ

英、米、ソ聯海軍勢力

【一三】帝國海軍は最近歐米列強において膨大な建艦計畫を進めつつある事態を重視し從來の不脅威不侵略の原則を確保するため自主經濟的軍備の整備を進めてゐるが、米國が目下企圖しつつある明年建艦案並に米、英、ソ聯三國の現有海軍勢力を示せば左の如くである

米國

△建艦計畫(一九三八—一九三九年度)
一 一月五日附ル大統領の豫算敎書に依る一九三八—一九三九年度米海軍建艦内容左記の如し
主力艦二隻、輕巡二隻、驅逐艦八隻、潜水艦六隻、その他の艦艇四隻(潜水母艦一隻、給油艦一隻、掃海艇一隻、航洋曳船一隻)

二 米國政府は右建艦案以外に新規擴張に關し計畫中にしてこれに關し大統領は近く議會に特別敎書を送るもの、如し

△現有勢力(一月現在)

一 戰艦	五隻
艦隊內	一五隻
建造中	一隻
(ノースカロライナ)	五、〇〇〇噸
豫算通過未	一隻
起工のもの	五、〇〇〇噸
(ワシントン)	五、〇〇〇噸
計	一七隻

【註】(1)外に練習艦艦ワイオミング(二六、〇〇〇噸)及び標的艦ユタ(二二、〇〇〇噸)あり(2)別に一九三八—三九年度建艦案中に主力艦二隻計上せられあり(3)艦隊内二五隻中の一隻(ア—カンス(二六、一〇〇噸)は本年九—一七艦隊に連す

二 甲級巡洋艦
艦隊内 一七隻 三六、〇〇〇噸
建造中 一隻(ワイチタ)三〇、〇〇〇噸
計 一八隻 六六、〇〇〇噸

三 乙級巡洋艦
艦隊内 二隻 二五、〇〇〇噸
建造中 七隻
計 九隻 五〇、〇〇〇噸
(オマハ級一〇隻及アルック(リン、フライデルフリア)

建造中 七隻
計 一九隻 二〇、〇〇〇噸
【註】(1)外に一九三八—三九年度建艦案中に七、五〇〇噸級輕巡二隻計上せられあり(2)建造中の七隻はサバナ、ナアツシユヴル、フェニックス、ボイス、ホルル、セントルイス及びヘンナナリ

四 航空母艦
艦隊内 四隻 一〇七、〇〇〇噸
建造中 二隻
計 六隻 一三三、〇〇〇噸
(サトガ、レキシントン) (ランドチャー、ヨークトン) (エンタープラ) (イズ、ワスプ)

五 驅逐艦
艦隊内 四四隻 七、七〇〇噸
建造中 三七隻
計 八一隻 一、五〇〇噸
(新艦三六、舊艦八) (天六、雷噸) (霧五、新艦三三) (一五、八雷噸)

九八、五〇〇噸あり(2)別に一九三八—三九年度建艦案中に一、六〇〇噸級驅八隻計上せられあり(3)建造中の擧艦五はソマース、ウオリントン、サムプソン、デウイス、ジュエツト、新驅三二はペンハム級二二、シムス級二二及びベンソン級八なり

六 潜水艦
艦隊内 二二隻 三、七〇〇噸
建造中 一六隻 三、一〇〇噸
計 三八隻 六、八〇〇噸

【註】(1)外に艦齡超過艦六四隻四四、三五五噸あり(2)別に一九三八—三九年度建艦案中に潜水艦六隻計上せられあり(3)艦隊内潜水艦中五隻(五、四〇〇噸)は本年九月迄に艦隊に連す(4)建造中の潜水艦一六隻はサーモン級六、サルガ級六及びビンドラゴン級四なり

七 其の他の艦艇
既成 約三三〇隻、約六〇、〇〇〇噸
【註】(1)外に水上機母艦(八、三〇〇噸級)一隻、驅逐母艦(九、〇〇〇噸級)一隻の建造豫算成立し既に契約済なり(2)其の外に一九三八—三九年度建艦案中に潜水母艦(九、〇〇〇噸級)一給油艦(八、〇〇〇噸級)一、掃海艇(六、〇〇〇噸級)一及び航洋曳船(一、一五〇噸)一計上せられあり

▲英 國
△建艦計畫(一九三三—三七年)
一 一九三三—三四年
巡洋艦三隻(九、〇〇〇噸級)アルス
ザ級一隻(五、二〇〇噸) 航空母艦一
隻(アークローヤル三二、〇〇〇噸)驅
逐艦九隻(擧導驅逐艦一、ヒイロー級

八)潜水艦二隻(沿岸用)他に制限外艦艇一・四隻
二 一九三三—三五年
巡洋艦三隻(ササムプトン級)擧導驅逐艦一隻、驅逐艦八隻(イントレド級)
潜水艦三隻他に制限外艦艇十三隻【追加豫算により更に驅逐艦七隻を加ふ】
三 一九三三—三六年
主力艦二隻(キングジョージ級) 巡洋艦五隻(ササムプトン級)二隻五、〇〇〇噸級三驅逐艦九隻(トライバル級) 航空母艦一隻、潜水艦四隻、他に制限外艦艇一七隻【追加豫算により更に巡洋艦二隻、航空母艦一隻、驅逐艦九隻、潜水艦四隻を加ふ】
四 一九三三—三七年
主力艦三隻(キングジョージ級) 航空母艦二隻、巡洋艦五隻(八、〇〇〇噸級) 同二隻(五、三〇〇噸級) 驅逐艦一六隻(ジェー級) 潜水艦七隻、他に制限外艦艇四五隻

【註】一九三三—三九年度建艦計畫は未定なるも該年度に於て新戰艦五隻の建造計畫を有する旨傳へたる

五 建艦計畫進捗状況
(一)一九三三—三四年計畫中航空母艦アークローヤル(二二、〇〇〇噸)は一九三八年夏完成豫定
(二)一九三三—三五年計畫中未完成のもの巡洋艦三隻(シナイ級九、三〇〇噸) 一九三八年夏完成豫定、驅逐艦七隻、(トライバル級一、八五〇噸) 一九三八年春完成豫定、潜水艦三隻 一九三八年完成豫定、外に制限外艦艇六隻
(三)一九三三—三六年計畫中未起工のもの巡洋艦三隻(五、三〇〇噸級) 驅逐艦

七隻(ジェー級一、六五〇噸級) 外に制限外艦艇二隻
(四)一九三三—三五年計畫中起工済のもの驅逐艦三隻(キングジョージ五世級) 航空母艦一隻、驅逐艦五隻(ケリー級)
△現有勢力(一月現在)
一 主力艦 一五隻(四七四、七五〇噸) 艦隊外なし
二 航空母艦 六隻(一一五、三五〇噸) 内艦隊外三隻(六七、四五〇噸)
三 水上機母艦 二隻(一一、七〇〇噸)
四 甲級巡洋艦 一五隻(一四四、二二〇噸) 艦隊外なし
五 乙級巡洋艦 四五隻(二七五、三二〇噸) 内艦隊外六隻(二九、七〇〇噸)
六 驅逐艦 一六四隻(二〇四、一〇四噸)
七 潜水艦 五四隻(五五、九〇九噸) 外に制限外艦艇あるも記載せず

▲ソ 聯
△建艦計畫
一 戰艦 二隻(各三五、〇〇〇噸) 一六吋砲九門
二 巡洋艦 八隻(内一隻完成) 各七、〇〇〇噸 一八センチ砲九門
三 碎水艦 六隻(内二隻戰艦中) 一、〇〇〇噸 四隻八、三三〇噸 二隻
四 其の他輕巡以下補助艦多數
△現有勢力(一月現在)
一 戰艦艦隊外三隻(何れも改装済) 七、〇二三噸
二 巡洋艦 艦隊内四隻(内甲巡二隻) 二八、五六四噸、艦隊外二隻(練習艦として就役)一、三一六噸、計六隻、四一、七三二噸
三 驅逐艦 艦隊内九隻(二、七九二噸

艦隊外一三隻三八、五三七噸、計二五隻 二八、七二〇噸
七 高速艇 艦隊内約二〇〇隻各一、二五噸
八 敷設艦 艦隊内二隻六、〇〇〇噸、艦隊外一三隻三八、五三七噸
九 航空母艦 不明
十 潜水母艦 艦隊内一隻四、五〇〇噸
十一 碎水艦 艦隊外七隻二、四九二噸
十二 掃海艇 艦隊内二隻八〇二噸、艦隊外三二隻七、〇九五噸計二四隻七、八九七噸
十三 その他に多數の砲艇黒龍江に配備されあり

日本當局の否定聲明を注目
ロンドン【三】我が海軍當局が四萬三千噸級主力艦建造説を否定したとの報道は廿日ロイテル通信及びタイムス、デイリー、テレグラフ兩紙の東京特電によりロンドンに傳へられたが最初はその否定内容が明確でなかつたので却つて疑惑を深めた觀があり英國朝野を充分納得させるまでに至らなかつた、又廿一日のタイムス東京電報は更に
日本海軍當局は日本がワシントン條約に規定せられる制限を非常に超過した大艦を現に建造中、或は建造計畫中と

英 國
日本當局の否定聲明を注目
ロンドン【三】我が海軍當局が四萬三千噸級主力艦建造説を否定したとの報道は廿日ロイテル通信及びタイムス、デイリー、テレグラフ兩紙の東京特電によりロンドンに傳へられたが最初はその否定内容が明確でなかつたので却つて疑惑を深めた觀があり英國朝野を充分納得させるまでに至らなかつた、又廿一日のタイムス東京電報は更に
日本海軍當局は日本がワシントン條約に規定せられる制限を非常に超過した大艦を現に建造中、或は建造計畫中と

の風説を完全に否定したと報するなどその内容區々としてあるの

日本海軍當局が四萬三千噸級の戦艦艦建造説を否定したとの報道は新聞電報によつて承知してあるのみでクレイ

六萬噸級も出現せん

編成前で日本の主力艦建造に關する確報入手に躍起となつて居り既にクレイギー駐日大使にも訓電を發したが次第に依ては條約の條項に従つて正式に交渉し新年

(四二、一〇〇噸)が太平洋側から通過した時には同艦の幅が百四呎半あるだけに船體と關門壁との間が兩側とも僅か卅吋

四萬噸級主力艦建造説 ニューヨーク【二二】廿九日のニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙のロンドン

米 國

海軍教書的全貌 ワシントン【二三】新補充計畫に關する

ルーズヴェルト大統領の海軍特別教書は今や米國朝野の關心の的となつてゐるが

下院に於ける明年海軍預算の審議がはかばかしく進捗しないのは大海軍派

之に現存艦隊及び特務艦編成にあたり最も不足してゐる補助艦約五十隻の建造が豫定されてゐる、尙新補充計畫

海軍預算下院通過 ワシントン【二三】米國下院は廿一日總額五億五千三百廿六萬六千弗に達する

一 右削減金額を以て海軍機噐機四十一臺、哨戒機噐機五十二臺、戰鬥機七十

之に現存艦隊及び特務艦編成にあたり最も不足してゐる補助艦約五十隻の建造が豫定されてゐる、尙新補充計畫

アロー議員の修正案は否決された、更にニューヨーク州選出共和黨議員ハミルトン・フィツシユ氏は

海軍教書發表又復運る ワシントン【二四】ルーズヴェルト大統領の海軍擴充計畫に關する特別教書は廿四日乃至廿五日に發表の豫定と見られて

之に現存艦隊及び特務艦編成にあたり最も不足してゐる補助艦約五十隻の建造が豫定されてゐる、尙新補充計畫

領は廿五日ホワイトハウスに下院の陸軍海軍及び歳出各委員を招致して特別教書の内容に付き夫々意見を聴取して協議を遂げた、右會談に於てルーズヴェルト大統領が海軍委員の他に更に陸軍各部門に亘る廣汎な擴張を考慮してゐることを物語るものと見られ注目されてゐる

大統領の特別教書が單に海軍擴充に限定されることなく廣汎な國防計畫を提示する様最近關係各方面から要望されてゐる事實に鑑み特別教書が陸軍擴充にも言及することは略々確實視されるに至つた、更にルーズヴェルト大統領は廿四日ワッ

ドリング陸軍長官クレグ參謀總長と會見、陸軍最高官廳の意向を質した模様で、メー下院陸軍委員長も廿五日大統領との會見の前に「今日の會見では國防計畫全般に亘り討議される筈だ」と語り同じく

ワインソン海軍委員長も「大統領の特別教書には國防計畫の全部が含まれよう」と述べた、特別教書の内容に付ては未だ明かでないが、U、P、通信社は廿五日政府高官から確聞する所として左の如き廣汎な擴充内容を傳へてゐる

ルーズヴェルト大統領の特別教書は米國をして如何なる外敵の侵入に對しても無敵ならしめる目的の下に陸海兩軍に亘り膨大な計畫を實行しようとするものだがその内容は先づ一、主力艦二隻の追加建造、一、快速巡洋艦二隻の建造、一、其他多數水上艦の建造を含むものと解される、更に陸海兩軍共彈藥、彈藥製造機械、高射砲、探照燈、燈火管制機等の軍需品が著しく不足して

る現状に鑑みこれ等の不足を是正する爲め豫算を要求することゝなり、要するに米國軍が外敵の侵入に對し充分國防の任に當り得る様各裝備の擴充を要求する譯で大海軍擴充によつて一度戰爭が勃發した場合にも敵の領土内に於て戦ひ得る標準を準備することゝなり

▲ル大統領談 ワシントン【一五】ルーズヴェルト大統領は廿五日下午院陸軍及び歳出各委員會との協議終了後記者團と會見し左の如く語つた

下院各委員連と種々の角度から國防問題に關し討議を重ねた、余は廿七日乃至廿八日議會に教書を送り國防豫算の増額を勧告する豫定であるが同教書に關してはこれ以上申し上げるわけには行かない

一方テラー下院歳出委員長はニカラグワ新運河開鑿計畫も討議の題目となつたことを示唆し左の如く語つた

會談中にニカラグワ運河建設計畫に就いても言及されたが何等決定には至らなかつた

海軍豫算を修正 ワシントン【一六】米國上院歳出委員會は去る廿一日下院を通過した總額五億五千三百廿六萬六千弗に達する一九三八年、九年度海軍通常豫算案を審議中だつたが廿六日軍用資材購入費其他で合計約四百萬弗を削減し總額約五億四千九百萬弗と修正した上之を可決した

▲タイムズ社説 ニューヨーク【一七】廿七日のニューヨーク・タイムズ紙は「大砲と仕事」と題する社説を掲げ米國の軍擴豫算に關し次の如く論じてゐる

ルルーズヴェルト大統領が近く議會に提出する事になつてゐる軍擴豫算は一九三四年度の二倍にもなるが之も世界の現状及び米國の軍備の他國に劣つてゐる事實に鑑みると曰むを得ぬ事だ、但し軍器を製造する仕事は永久的ではなく、又民衆の商品を製造するものでもないから軍事費の多少は工業界の不景氣回復を目的として決定すべきではない、專ら國防及び外交方針の二點から決定すべきである

米國民も宣傳に乗るな ニューヨーク【一八】ニューヨーク州のカトリック教大學たるフオードム大學倫理學教授イグナチウス・コックス氏は廿六日夜ニューヨークで開かれたカトリック教會の席上、米國民を煽動して對外戰爭に参加せしめんとする惡辣な宣傳の跳梁を指摘、米國民の反省を促して左の如く述べた

米國を誘つて英佛ソ聯諸國の所謂侵略國に對する經濟ボイコットに参加せしめようとの油斷のならぬ宣傳がしきりに跳梁して居るが、かゝる宣傳は結局戰爭を招來し、米國をしてファシスト乃至共產主義的全體主義國家の網にかゝらせるものだ、余は特に米國労働者に對し「軍神の戰車に縛りつけられるな」と訴へ度い、米國はその財寶と若人の生命を犠牲にしても國際道義護衛の警官となり以て眞の姿を現はすべしとの宣傳が米國新聞によつて頻りに行はれてゐる有様だ、かくの如き巧妙な宣傳はファシスト侵略者に對しデモクラシー國家は統一戰線を結束せよとの共產黨の宣言が現はれてから始つた、

然しデモクラシー國家自身も素性を洗へば經濟的金融帝國主義政權の上に打ち立てられた資本主義國家ではないか一切の兒孺な動物、人間、憎惡、不統一をそのまゝに放置しておいては世界は決して平和とはならない

國防教書送附 ワシントン【一九】選延に選延を重ねて居たルーズヴェルト大統領の國防擴充に關する特別教書は愈々廿八日議會に送付されることゝなり廿七日ホワイトハウス當局は次の如く言明した

大統領の國防擴充計畫に關する特別教書は明廿八日議會に送付されることゝなつた、教書の語数は約千五百語、從來の各教書に比較すれば寧ろ簡單なものである

尙本教書は海軍補充計畫のみならず陸軍の擴張をも籠括して居り「國防教書」と呼ばれてゐる

大統領國防教書全文 ワシントン【二〇】ルーズヴェルト大統領の國防特別教書は全世界注視の裡に廿八日正午米國議會に送附された、國防教書の全文は左の通り

米國政府が各國の首都に於て各國政府の首腦と共に軍備縮少の用途を發見し少く共世界平和の可能性を確立せんと努力したことは議員諸君の熟知せられる所である、又政府のこの努力が、米國民の希望に支援されて現在も依然繼續され且つ將來も引續き繼續されるであらうがそれにも拘らず現在の所この努力が失敗に歸したことも御承知のことである、我々は平和愛好國民として

各國間に軍備を制限し侵略を終滅すべき協定を達成せんとする積極的な努力を抛棄し得ないし又之を抛棄しないであらう、併し乍らかゝる協定達成の希望を未だ捨て得ないとは言へ未だ協定の成立に至らぬ以上我々は自國の國家的安全を考へざるを得ないのである、余は今日軍備が全く前例のない驚くべき率で増加しつゝあることを諸君に報告するのを最も遺憾とするものである現在交戰中の國々を含めて今日大多數國家の大部分の國民が平和に暮さんことを認んでゐる事實にも拘らず世界人口の少く四分の一が殘酷な破壊的戰爭に捲き込まれてゐることは寔に不吉な事實といはねばならぬ、現に極東に於ても歐洲に於ても戰爭が起つて居り無數の無辜の民は空襲のため家を追はれ緊迫した空氣は全世界に漲つてゐる各國が軍備を増大しつゝある現状に照し米國現在の國防が國家の安全を保持するに不充分であり、従つて又斯る理由に基き軍備の増強を必要とすることを議會に報告することは米國陸海軍の總帥として余の憲法上の義務である、米國人の生活標準が高いため米國の軍艦、大砲、飛行機の建造費維持費並びに人員費が他國より高いことはよく知られた事實だが、他面又米國市民の總收入或は政府の總歳出に比し米國の陸海軍費の占める割合が他の列強より遙かに低いことも亦事實である、各國が世界の平和と安全を脅かす程度に陸海軍備の増大を圖りつゝある現状に鑑み余は議會に對し次の諸點を勧告するものである

一 陸軍追加豫算として防空機材整備費八百八十萬弗を計上し、内六百八十萬弗を一九三九年度豫算に組入れることを承認する

二 陸軍の豫備後備制度改善確立の經費として十五萬弗の支出を承認しこれを新年度豫算に計上する

三 計器器、鑄型其他軍需品製造の補助工業助成のため六百八十八萬弗の經費を承認する、但しその中五百萬弗は一九三九年度に於て支出する

四 陸軍の彈藥類不足を補充するため二百萬弗の支出を承認し豫算に計上する

五 既に議會の承認を経たる新造、代換に關する海軍建艦計畫を二割方増加す

六 本會期に於て議會は一九三八年(歴年)内に主力艦二隻、巡洋艦二隻の追加起工を承認し、その豫算を計上する而して本計畫につき一九三九財政年度中にも政府積立金の若干額の支出を必要とすべし

七 議會は新型小艦艇數隻を建造するに於て、右の建艦は各國海軍最近の進歩に鑑み實際的なものと認めらるべきであり且つ又將來必要により新型艦艇の建造に備へるためである

余は又議會が戰時に於ける暴利取締りと將來起ることあるべき戰爭の負擔均衡を目的とする法律を制定すべき時期が來たと信ずる、かゝる法律は既に此迄の議會に於て多年に亘り充分な検討を経て來たものである

現下世界の不幸なる事態により國際法並びに秩序の基礎をなす諸原則、諸條約が種々廢棄され、現實の戰爭行為に新なる

諸要素が導入されるに至つたことを吾人はよく承知する必要がある、適切な軍備とは我國の海岸を防御するばかりでなく海岸から遠く距つた地點にある我が國民を防御するに足る軍備を言ふのである

我々は我が大陸の境界線から遠く數百哩離れた地點に潜在的敵を喰止めねばならぬ我々の國防は一つの大洋並に海岸の一方のみに局限され他方の大洋及び海岸は安全であると考へる譯には行かない、我々は兩大洋の連絡帶たるパナマ運河が必ず安全であると考へることは出来ない、從つて適切な國防は又米國の凡ゆる地方を同時に防御するに足るものでなければならぬ、我々が平和促進の爲め凡ゆる努力を續けることは明かに我々の義務であると同時に又我國民を防御することもその義務でなければならぬ、余が以上勸説した所も亦此處にある、而して斯る防備は侵略の爲めにするものではなく純然自己防衛の爲めにするものである

心理的軍擴意圖か
ワシントン【二六】廿八日議會に送附されたルーズヴェルト大統領の國防特別敎書に依り米國海軍補充計畫第一年度の建艦計畫は主力艦二隻、巡洋艦二隻、其他小艦艇若干隻と判明したが主力艦の隻數に付いては何等の明示なく廿八日午後記者團會見に於ける大統領の説明に依れば議會が特に噸數を指定するか若くは海軍當局に任せるかの方法を取る意圖の様である、主力艦二隻の建造についてはヴァインソン、トランメル法を修正する必要は無いが敎書中第五の勸告即ち既存建艦計畫の二割方擴張並びに巡洋艦の建造に付いては之を必要とする、然し敎書は

此點に觸れず議員よりの修正提案を待つものと見られる、巡洋艦の噸數に付いては輕巡と大巡との中間を取るとの説が多い、然し全般的に見て新建艦案は條約量を超すものでなく目下の所實質的技術的軍擴といふよりは寧ろ心理的軍擴を意圖してゐると觀測される、又ルーズヴェルト大統領が軍縮の希望を棄てずと言つてゐる點も注目される

海軍大擴張案
ワシントン【二六】彼のヴァインソン・トランメル建艦法の提案者で現下院海軍委員長カール・ヴァインソン氏は廿八日ルーズヴェルト大統領の國防特別敎書の勸告に呼應して下院に對し總額八億弗に上る膨大な海軍擴張案を提出した、法案要旨左の通り

一 主力艦、航空母艦、巡洋艦、驅逐艦潜水艦を夫々左の如く追加建造する、括弧内は總噸數
△主力艦(一〇五、〇〇〇噸) △航空母艦(三〇、〇〇〇噸) △巡洋艦(六八、五〇〇噸) △驅逐艦(三八、〇〇〇噸) △潜水艦(一三、六五八噸)

一 補助艦艇廿二隻を夫々左の如く建造する
△驅逐艦母艦(五隻) △潜水艦母艦(三隻) △大型水上機母艦(四隻) △小型水上機母艦(七隻) △修理艦(三隻)

一 其他三千噸以下の實驗艦若干隻を建造する
一 海軍機一千臺を建造する
一 以上新艦建造に要する總費用は三千噸以下の實驗艦建造費一千五百萬弗を含み總額八億弗とする

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

一 但し海軍縮小に關する國際協定が締結された場合大統領は右計畫を中止することが出来る

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

▲議會方面で好評 ワシントン【二六】

▲平和團體は反對 ワシントン【二六】

ルーズヴェルト大統領の國防特別教書に對し、ライオン農民労働黨、ウイスロー民黨、バーディック共和黨、ボアロー民黨、サウストフ民主黨等平和主義下院議員連は、何れも反對を表明、「今回の海軍擴張案は全然理由がない、教書中に勸告された條項は何れも侵略の手段に外ならぬ」との意見を述べた、一方全國の主要四平和團體は廿八日共同聲明を發表

ルーズヴェルト大統領の大海軍案は、徒らに世界各國の軍備熱を煽り、その結果愈々經濟的混亂を醸成して遂には世界戰爭の勃發を招來するに至ることは從來の歴史並に經驗に徴し全く明である

▲國防教書に反對 ワシントン【一三】共和黨下院議員ジョージ・ティンカム氏は卅日ルーズヴェルト大統領の國防特別教書を論難し次の如き意見を發表した

ルーズヴェルト大統領の大膽な戰爭教書は昨年十月のシカゴ演説と共に大統領が外國と戰爭しやうと企圖してゐることを示すに他ならない、最近の諸事件は一九一七年米國が世界大戰に參戰する直前の事態とよく似てゐる、此儘だと我々は再び英國の傀儡國家たる役割を務める悲劇を演じなければならなくなるだらう、最近一部の米國新聞はニュースを煽動的に取扱ひ民衆を戰爭へ驅り立てんとして恰も英國の新聞であるかの觀を呈してゐる、そして英國の當局者及び宣傳員が絶えず米國內へ流込み外國との紛争に於て米國が英國側に立つやう清々と計畫を進めてゐる

▲ル大統領を非難 ニューヨーク【一三】

共和黨の隨將ハミルトン・フィツジュー下院議員は卅日ニューヨークに於てラヂオ演説を行ひルーズヴェルト大統領の外交政策を痛烈に非難して左の如く述べた

ルーズヴェルト大統領は昨年十月のシカゴ演説を愈々現實に立法化せんとして戰爭心理を煽つて居る、今回の海軍擴張案は單に國防の爲め許りではなく世界の檢校と警察を引受けんとする侵略的の計畫と言ふべきである、余はルーズヴェルト大統領が平和政策を持たず中立法の如き平和の方策を封じ込み更にシンガポールに於ける英國の海軍示威に軍艦三隻を派遣して日本人の非難感を挑發せんとしてゐることをあ

▲米紙論調 ニューヨーク【一三】米國朝刊各紙は廿九日の紙上にルーズヴェルト大統領の教書を大々的に報道し何れも社説を掲げてこれを論評してゐるがその主なものの左の通り

△ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙 ルーズヴェルト大統領の國防補充計畫はその形大さより寧ろその内容が穩當なのに驚かされる、新しい再軍備計畫が際限ない軍備競争に迄發展するのではない限り、米國の官民は米國國防の現状を更に一層正確に再考しなければならぬ

△ニューヨーク・タイムズ紙 軍備に關するルーズヴェルト大統領の教書が議會に提出される廿四時間前に支那に於

る日本軍の新しい不法行爲に對する米國の抗議が新聞に發表されたがこの兩者は關聯して考へるべきである、即ち軍備と外交方針とは切離しては考へられず又今回の米國の抗議は米國の外交方針を強調するものだからルーズヴェルト大統領の外交方針は戰爭ではなく平和を目指し戰爭を惹起する様な事件の豫防に努め、更に米國軍備の強化によつて世界平和の唯一の原動力たる國際信義の尊重を促進することを目的としてゐる

△クリスチャン・サイエンス・モニター紙【一三】「安全保障とは何か」アラスカからハワイとパナマに至る迄の米國の防備線を破るには日英の聯合艦隊を以てしても不可能であるからこれ等の線を防禦する限りに於ては米國は海軍を擴張する必要がない、然し支那に於ける米國の權益を保護しようとする積りなら米國の現有海軍力を二倍にしても足りないだらう、米國人はそれ故世界に於ける米國の權益及び地位を保持するには軍備擴張よりも經濟的な手段をとることを望んでゐる、即ち積極的には關稅引下げにより消極的には經濟的封鎖によつてこれを實行することである

△ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙【一三】(ドロシー・トムソン女史署名) 國際問題を處理するにあつて一國の勢力を示す第一條件は軍備が對象ではなくその國の外交政策の明確さ如何にある、現在侵略的國家が世界からではなく各國が確乎たる政策を採

らなかつたからだ、米國は外敵侵入を防ぐには現在既に必要以上の軍備を有してゐるから今度の軍備は外國に於ける米國權益を擁護するためだらうと考へるものがあるかも知れぬが軍備までして保護する程の權益を米國が持つてゐるとは考へられない

▲英紙禮讚 ロンドン【一三】ルーズヴェルト大統領の國防特別教書は英國各紙の廿九日朝刊に大々的に掲載されたが保守系デイリー・テレグラフ紙は米國の大建艦計畫を支持する旨のトップ社説を掲げ左の如く論じてゐる

ルーズヴェルト大統領の國防特別教書は單に米國議會に送られたものではなく全世界に呼びかけたものである、右教書により米國政府は世界の如何なる強國に對してもその建艦に立運れる意圖がないことが明かになつたがこれは平和を希求する各國にとり不安の念を醸成させる所か反つてこれに安心を與へるだらう、蓋し何人も米國が侵略的意圖を藏してゐると疑ふ者はないからだ

△デイリー・テレグラフ紙 ルーズヴェルト大統領の教書は直接議會に宛たものであるが同時に全世界に向つて爲されたとも觀察出来る

タイムズ紙も廿九日の社説に於て左の如く米國政府の大海軍計畫を禮讚してゐる

ルーズヴェルト大統領の大海軍案は英國に於ても大に歡迎される所である、平和を愛好する世界の二大民主主義國家が相互に相手國の海軍を嫉視し均勢維持の問題に付いて頭を悩ましてゐたのは既に遠い過去のことにして、現下の困難な事態に處して終始警戒を怠らず強大な勢力を有する米國は世界平和維持の重要な保障である、とは英國國民一般の意見である

ロンドン【一三】卅一日の主なる新聞の論調左の如し

△タイムズ紙 ルーズヴェルト大統領の軍備の動機が眞摯なる點に於ては毫も疑ひを入れる餘地なく英國自身の軍備とまさにその軌を一にする、パリテイ問題で英米が反目したのも今では遠い過去となつた、現在の混亂した世界に於て強力なる米國の存在は平和維持のための安全弁である

△クロニクル紙 軍備がデモクラシー擁護のためだと云ふルーズヴェルト大統領の演説には苦笑せざるを得ないが、米國の軍備が侵略的なのではないことは確かで亂暴者の國々が跳梁するのを無爲に黙過してゐるは自由もデモクラシーも吹き飛んでしまふであらう、其意味から今次米國の軍備は結構なことである

△デイリー・テレグラフ紙 ルーズヴェルト大統領の教書は直接議會に宛たものであるが同時に全世界に向つて爲されたとも觀察出来る

▲佛も歡迎 パリ【一三】フランス官憲はルーズヴェルト大統領の國防教書に基く米國大軍擴計畫を歡迎、廿九日左の意向を表明した

米國の建艦計畫は世界の民主主義を利するところ大なるものがある、かかる措置は各國の獨裁者達をして米國が平和を求めてゐることを痛感せしめずには措かない、又民主主義諸國の防備力増強の結果獨裁主義及び侵略に對する民主主義諸國の立場は一層強固となる

▲獨逸は驚かず ベルリン【一三】廿八

日のルーズヴェルト大統領の國防特別教書は逸早くベルリンに報道されたがドイツ政府スポークスマンは廿八日夜左の如く語つた

米國軍艦の隻數乃至その艦型の如何はドイツ人に對し何等直接の影響は齎さない、軍備擴張は國家の安全増進の爲の方法であるが、これはルーズヴェルト大統領も世界的傾向として示唆してゐる、世界が斯る愛ふべき傾向にあるからこそ我々は國際間の諒解増進を衷心希望してゐるのであり、この諒解こそ軍備縮少への唯一の途である

▲伊は痛撃 ローマ【二】ルーズヴェルト大統領の國防特別教書に關しイタリア政府筋ではその國際關係に及ぼす悪影響を痛撃し廿九日左の如く語つた

米國の新艦計畫は昨年の英國の艦艇計畫と同様世界平和に何等寄與するものでなく却て世界の艦艇競争を誘致するもの、ルーズヴェルト大統領は歐洲と極東の情勢が米國の國防に不安を與へ建艦の必要を生じた云つてゐるが之は詭辯である、英米佛等所謂持てる國は彼等の慾望達成の爲め他國を壓迫して横軍を押しやうとしてゐるが世界平和脅威の責任を日伊獨等持たざる國に轉換せんとするのは狡猾も甚しい、米國の大艦艦が世界に與へるものは各國特に日本との海軍勢力不均衡で必然的に日本の建艦を刺激すると共に極東の不安な空氣を増大せしめる以外の何物でもない、由來米國は大統領の改選期が接近すれば常に對日問題から國內軍需工業者其他の牽制を受ける習はしがあり今回もその傾向がある、政權維

持の爲めの建艦計畫を行ふ等他國の迷惑之より甚しきはない

海軍案の質問開始
ワシントン【三】米國下院海軍委員長カール・ザインソン氏は廿八日ルーズヴェルト大統領の國防特別教書に基き總額八億弗に上る海軍擴張案を提出したが下院海軍委員會は愈々廿一日より海軍關係者を招いて意見を聴取することとなつた委員會は先づ「新型小艦艇隻數を建造する爲め一千五百萬弗を支出する」との項目に付き海軍側の具體的計畫では右五百萬弗の實驗艦建造費の一部を割いて、「救艇隊」を組織する意向といはれるが「救艇隊」とは快速小型艦艇一隻の乗組員は僅かに數名に過ぎず然も高度の裝備を施した最新式艦艇である

の如何なる時期よりも遙かに脅威的である之が改善の見込は目下の所全然ない、日獨伊三國間に締結された防共協定により海軍々備縮小に對する國際的努力が完全に潰滅したことは争ふ餘地のない事實である、この事實並に世界の混亂した政治情勢こそ米國の海軍擴張計畫を充分正当化するものと余は確信する、今回海軍擴張計畫を議會に提出すに當り、米國海軍としては二つの目的を抱いてゐることを指摘したい、第一の目的は戦争を未前に防止することであり、第二の目的は不幸戰爭勃發の際には出来るだけ速に戰爭を終結せしめ生命財産の損失を最少限度に止めんとするに在る、我が艦隊は米國に對する國際的尊敬を確保すると同時に如何なる國家と雖も米國を攻撃するには餘りにも大きな危険を伴ふ如き威力を有たねばならぬ、但し今回の擴張計畫は太平洋並に大西洋の兩洋より同時攻撃を防衛するには充分とは云ひ難い、又今次の計畫は侵略的行爲乃至世界警察の如き考へから出發したもので決してない、蓋し成功の確信をもつて海外に侵略行動をとる爲めには現在の三倍の海軍擴張を必要とするからである、海軍擴張を必要とする一つの理由はモンロー主義の原則が崩壊した時、中南米各共和國の奪取を阻止するものは米國海軍を措いて他にないことである

潜水艦の問題は特に重大である、何となればドイツを除いては米國はその艦齡未滿の潜水艦保有量に於て列強の何れよりも劣つてゐるからである、主力艦即ち戰艦及巡洋艦は戰艦の力の大きな單一集結體たる點に於て海軍力の根幹であるが各國が既に起工済乃至は目下計畫中の海軍建造案を完成した時には米國は主力艦廿一隻、英國は同じく廿二隻、日本は十四隻、フランスは十一隻、ドイツは八隻、イタリアも八隻を保有することになる筈である

リール作戦部長海軍大擴張力説
ワシントン【三】米國海軍の大軍作戦に劃期的轉換を齎すべき總額八億弗の膨大な海軍擴張法案は愈々廿一日より下院海軍委員會に於ける質問を以て審議を開始した、眞先に海軍作戦部長リール提督は全海軍の輿望を負つて委員會に出席、大海軍建設の必要を力説し新補充計畫完成が米國々防の安全確保のため不可欠なる所以を述べた

最近英國及び日本が膨大な海軍力増加を企圖するに至つたので米國海軍としても即時之に對應して艦隊勢力を強化するの必要に迫られるに至つた、一九三〇年のロンドン海軍條約が期限満了となつて以來國家の安全は列強の海軍擴充計畫により今や危殆に瀕してゐる現在世界の政治情勢は一九一八年以來

の如何なる時期よりも遙かに脅威的である之が改善の見込は目下の所全然ない、日獨伊三國間に締結された防共協定により海軍々備縮小に對する國際的努力が完全に潰滅したことは争ふ餘地のない事實である、この事實並に世界の混亂した政治情勢こそ米國の海軍擴張計畫を充分正当化するものと余は確信する、今回海軍擴張計畫を議會に提出すに當り、米國海軍としては二つの目的を抱いてゐることを指摘したい、第一の目的は戦争を未前に防止することであり、第二の目的は不幸戰爭勃發の際には出来るだけ速に戰爭を終結せしめ生命財産の損失を最少限度に止めんとするに在る、我が艦隊は米國に對する國際的尊敬を確保すると同時に如何なる國家と雖も米國を攻撃するには餘りにも大きな危険を伴ふ如き威力を有たねばならぬ、但し今回の擴張計畫は太平洋並に大西洋の兩洋より同時攻撃を防衛するには充分とは云ひ難い、又今次の計畫は侵略的行爲乃至世界警察の如き考へから出發したもので決してない、蓋し成功の確信をもつて海外に侵略行動をとる爲めには現在の三倍の海軍擴張を必要とするからである、海軍擴張を必要とする一つの理由はモンロー主義の原則が崩壊した時、中南米各共和國の奪取を阻止するものは米國海軍を措いて他にないことである

リール提督は各種の圖表を提示して米國と各國との艦隊勢力の比較を試みながら補充計畫の具體的内容に論及して次の如く説明した

リール提督は更に各艦型に亘つてその將來の勢力を各國と比較しつゝ論じたがその際日獨伊三國を一括して論じたことは注目を惹いた、次いで日本の均等要求から新艦艇計畫に論及して曰く

若しワシントン及びロンドン條約が廢棄されなかつたならば各國が競つて海軍擴張に努力する必要は起らなかつたであらう、各國が何れも艦艇建造を實行しつゝあつた一九三六年に英佛兩國が量的制限に反對したことも亦敢て異とするに足らぬ、海軍條約の規定した所は各國に他國の好勢に對し守るに充分にして且つ他國攻撃には不十分な海軍艦であつた、日本の均等要求については正確な情報を提示し得ないのを遺憾とするが日本は既に米國よりも多數の巡洋艦を建造し、驅逐艦の勢力も増加したのみならず目下新に主力艦を建造中と想像される

リール提督の陳述が終るや共和黨のマース委員より「將來太平洋に於て戰爭が勃發した場合米國は第三國海軍の援助を期待し得るや」との質問が出たのに對しリール

提督は左の如く答へた
米國は自身自身の問題を自ら處理するため自主的計畫を樹立せねばならぬ、唯米國より侵略戦を仕かける場合には前述の如く現在勢力の約三倍の海軍力が必要とし、且つ米國現在の建造能力を以てすれば之を實現するために約廿年かゝることを附加して置きたい、米國海軍が大戦後の實力を保持してゐたならば恐らく今回の擴張案は上程を見ずに済んだであらう

更に一委員から「米國海軍ほどの區域を國防線と考へてゐるのか」との質問に對しリール提督は左の如く答へた

米國の國防線は太平洋の兩洋に於ける一切の米國領海を包含し、比島も亦その中に含まれる

佛國
下院四萬二千噸級建造要望
パリ【三】地中海の制權を目指すイタリアの海軍擴張計畫に刺激されてフランスの對抗的建艦熱は最近急角度に昂まり當局の否定にも拘らず制限外の超弩級艦の建造計畫が旺んに取沙汰されてゐるがフランス下院は廿六日海軍々備の擴張に關し全面的討論を行つた結果、主力艦の單艦噸數を三萬五千噸に制限せるロンドン條約の規定を廢棄しイタリアの三萬五千噸級主力艦二隻建造に對抗して新に四萬二千噸の主力艦二隻の建造を要望する旨決議した

暹羅の海軍計畫に重大關心
パリ【二】最近フランスの議會方面ではシャムが次第に日本の勢力下に置かれ

佛領印度支那を脅威するに至りほしないかを懸念し支那事變の進展に伴ひ極東の情勢に重大關心を拂つてゐるが廿六日フランス下院に於ける海軍問題の討論に際し下院海軍委員長ジャン・ミツシエル・ルネツール氏はシヤムの海軍建造計畫の結果佛領印度支那が國防上直面するに至つた新たな脅威を指摘し左の如く極東水面の危機を強調した

フランス政府はシヤムの海軍擴張計畫の報に最大の關心を拂つてゐる、シヤムの海軍擴張は佛領印度支那の海面防備を不安ならしめんとしてゐる

尙ほシヤム外相マヌドラム氏は最近フランス政府に對しシヤム政府は一九二七年フランス政府との間に締結されたメーコン河岸の要器構築禁止に關する條約を廢棄する旨通達した結果佛領印度支那軍司令官ジュール・ブレ將軍は本國政府と新情勢に伴ふフランスの國防政策を協同確立のため近く歸國することになつたと言はれる

海軍擴充計畫示唆

パリ【一三】フランス海相ウイリアム・ペルトラン氏は卅一日新聞記者團との會見に於て果然フランスの海軍擴充計畫を示唆して左の如く述べた

國際情勢の急激な變轉に直面し我々も一九三七年に丹念に立案した建艦計畫を今や全面的に修正せねばならなくなつた不幸にして世界が迫つて來た道は一九三八年度フランス海軍豫算の精神たる賢明と穩健の道ではなかつたのだ

次の最近頻りに傳へられる四萬二千トン主力艦建造説を恰かも裏書する如く次の如く言明した

海軍省は既に新建艦計畫を立案し閣議の正式決定を俟つのみとなつてゐる、閣議の決定を経て直ちに實施に取掛るがこれが實現すればフランス海軍は現在脆弱な狀態を脱して威力を誇ることが出來よう

ソ 聯

侵略海軍建設を高唱

【一三】英ソ海軍協定の成立によつて極東海面に對する建艦の自由を獲得したソ聯政府は本年初頭海軍人民委員部を創設し愈々赤色艦隊の強化擴大に對する決意を明示したが十八日機關紙ブラウダは其の社説に於て赤色海軍の新使命を謳歌し「ソ聯海軍は自國の防衛のみ甘んずべきで無く敵の領海に侵入し之を粉碎する事が必要なのだ」との露骨なる侵略海軍建設の首途を祝し例によつて赤色海軍の擴大は日獨伊三國海軍の建艦計畫に引ずられたものだとの暴論を並べ英米世界第一海軍國の大軍擴行進には目を伏せると云ふ態度を明示してゐる、ソ聯が浦鹽に六十隻の新鋭潜水艦を集結し更に今春には八千噸級の巡洋艦をも極東に回航し標と構へてゐる時赤色海軍政策の動向といふものは如何にしても我々の注目を惹くものであり一九三八年初頭に於ける西太平洋の波瀾は決して靜穏とは言ひ難い、問題のブラウダ紙の社説の要旨は左の如くである

ソ聯邦は國土廣大にして數個の海に面するを以て國防上強大なる海軍力を有せざるべからず之が爲兩次五ヶ年計畫に於て陸空軍並に海軍を著しく強化せり、然れ共錯綜せる國際情勢は更に一層強大なる海軍の必要を痛感せしむ、過日最高會議に於て憲法の一部を修正して海軍省を設置せしが之れ即ちソ海軍今後の擴張を意味する重大措置なると共に必ず之が實現せられ卓越せる海軍の建設せらるべきは一點疑ひを入れざる所なり、ソ聯の造船設備は完備し有らゆる艦種の建造可能なり、一方勇敢と光輝ある傳統とに依り強き我海軍將兵は他に比類なき我軍人たるべき素質を備ふ、我海軍は其の創設時代たるピーター大帝以來幾多海戰に於て敵を破れり、僅に日本海海戰に於てロゼストウエンスキー提督の無能により敗戦せりとも雖も一般將兵は困難なる戰闘に於て尙克く戰へり、ソ聯邦當局は國內戰後海軍の再建に着手し爾來現有艦艇の復活と新艦の大量建造を計り、今日既に沿岸防備に不安なきに至れり、然れ共現下の情勢は極めて險惡にして世界は舉つて海軍々備擴張に餘念なく就中獨日伊三國は年々海軍々備計畫を擴張しつゝあり、又露に日伊は海軍々備制限を拒否し、獨は海軍協定に調印せりと雖も過去の經驗に鑑みフアンストの平和保證は一考の價値なし以上の情勢に對處しソ聯邦の重大利權擁護の爲には唯に自國の防衛のみならず敵の領海に進みて之を擊破するに足るべき海軍力を建設せざるべからず

大海軍根據地建設か

ロンドン【一五】ロンドン外交界から聞するにソヴエト政府はレニングラードに一大海軍造船所並びに兵器廠を建設するに決し同地一帯から外人を驅逐する爲

先づ領事館閉鎖を要求したもので既にスカンディナヴィヤ諸國政府に對しても同様レニングラード領事館の即時閉鎖を要求したと傳へられる、スターリン黨書記長はスミルノフ海軍人民委員に對し海軍擴充計劃の促進を命じたといはれるがレニングラードの新海軍造船所は既に工事に着手し完成の頃は超弩級主力艦の建造修理に當てられる豫定で目下補強工事中のクロシニヤツト要點と相俟ちソヴエト海軍の作戦行動に一大偉力を加へるものと豫想されてゐる

浦鹽に大造船所建設

哈爾濱【一三】當地某方面に達した情報によれば新設されたソ聯海軍人民委員部では近く浦鹽軍港に大造船所を建設し主として戰艦並に大型巡洋艦等の主力艦の建造に着手するに決し尙潜水艦その他補助艦艇に就ては主として英國より供給を仰ぎ尙大なる軍擴に努めつゝあると云はれる

極東軍備狀況

香港【一五】當地夕刊紙チヤイナ・メーブルは本日ソ聯極東地方を長時日に亘つて旅行して來た一外人談として日本の諸新聞により報道されてゐるソ聯の極東軍備は決して誇大でないと言つて居るが、即ち浦鹽だけでも潜水艦百隻が就航しこの外毎週多數の潜水艦が鐵道で輸送され同地で組立ての上續々進水してゐる、附近海岸線一帯全部は要隘が架かれ數ヶ所に飛行基地を建造中これ等基地は殆んど特別軍用都市の觀を呈し着々建設を急いでゐる、自分の訪問した一つの基地だけでも飛行機五百隻が待機し

て居り潜水艦廿隻其他驅逐艦乃至モーターボート等水上艇が多數碇泊してゐる海空軍とも事實上戰時編成をなし一日として潜水艦乃至小艇が海上演習を行はない日はない、飛行機の操縦は殆んど絶間なく聞えてゐる、ソ聯は國全體が大戦前の英國同様スパイ恐怖病に罹つてゐるが一般人民が日本から金を貰つてゐるとの嫌疑で處刑されたといふ有様だ、赤軍空海軍の訓練は帝制時代に比し極めて嚴格で一兵に至る迄極東に於ける防備兵員増加の目的につき教へられる軍隊の政治的訓練が頻りに行はれてゐる、彼等は英國人に對して好意を持ち同盟國人のやうに見てゐるが一般外人に對しては概して疑の眼を向けてゐる様だ露領極東諸港に入港する外國船は陸海軍の手により限なく搜查を受けるのでなければ封印をされ殊に外國船員に對する監視は嚴密を極め船員は海軍根據地で波止場によつても僅かに體を伸ばす程の自由しか與へられず海岸の散歩は禁ぜられてゐる、露領樺太でもこの警戒ぶりは同様である



中銀發行高
 新京【一三】(中央銀行發表)康德五年一月九日以降十五日迄の中銀貨幣發行高平均左の如し

貨幣發行額 三一四、二二六、一六九圓
△紙幣 二九一、六一二、四五四圓
發行準備高 一九八、九五三、八二九圓
保證 九二、六五八、六二五圓
△總幣 二二、六一三、七一五圓

萬國郵便聯盟加入問題進行

新京【一三】滿洲國の萬國郵便聯盟加入問題は滿洲國郵政制度の整備充實に伴ひ漸次政府内部に於て論議研究され主管部たる交通部は勿論關係部に於て眞剣に考究されてゐたが過般歐米視察の途より歸任した大橋參議、森田郵政司長の右問題に對する各國政府就中スエスの聯盟事務局の意向打診の結果兩氏の歸任報告として同問題の解決は滿洲國の郵政制度の完備殊に滿洲國の國際的地位の向上等より見て目下の情勢が最も良好であるとの結論を得たので同部では此の客觀情勢の適應性をキヤッチし一氣に同問題の解決を圖らんとする模様であるが何分手續上日本政府への斡旋を必要とするので此の點政府及び日本側と打合せの遺漏なきを期せんとしてゐる

請安電凱旋

奉天【二三】事變勃發するや直ちに北支に出動皇軍の作戰に共同し赫々たる武功を輝かした滿洲國靖安軍美崎司令官以下〇〇〇名は宮内府差遣の郭侍從武官、治安部大臣、金奉天市長以下官民多數の盛大な歡迎裡に廿七日午前六時奉天驛站着臨時列車で登々凱旋した、なほ同隊は出動後八月下旬前司令官藤井中將を黑連營子の激戦に失つたが全軍奮戰又奮戰新興滿洲國軍の威武を輝かせたものである

國內古蹟保存法改正

新京【二三】滿洲國政府は國內より發見される古蹟を保存する目的から康徳元年三月勅令を以て古蹟保存法を公布し、以來今日まで同法に基き百五十件に亘る保存額指定を行つて來たが民政部では從來

傷痍軍醫の職業補導

新京【二五】滿洲國政府は廿九日の臨時國務院會議に上程可決された傷痍軍醫職業補導事業實施要綱につき廿九日午後一時十五分左の如く發表した

第十八回日滿經濟共同委員會

日滿經濟共同委員會第十八回會議は廿九日新京日滿軍人會館に於て開催され日滿兩國九委員及隨員出席滿洲國政府から諮問ありたる

關於の件外一件

附議審議の結果原案施行然る可き旨を申すことを決議した

昨年度獨逸の滿洲大豆購入額

新京【二三】(駐滿獨逸通商代表部發表)

の法令が古蹟のみ取扱ひ古物、名勝、天然記念物等の保存に關しては何等の考慮もされてゐない結果國家的に貴重な遺蹟遺品等が自然損はれがちであるため速急に同法を改正し新法を以て取締りの完備を期すべく目下立案研究中である

の公務より傷痍を受けた勇士の職業補導につき考究中であつたがこの程成案を得て政府方面及び特殊會社方面との打合せを了へ本日國務院會議に於て傷痍軍醫職業補導事業の實施を議決した政府は本事業の性質上右要綱に基き直ちに委員及び幹事を任命し本事業の實行に着手する方針である、各民間會社に於ても本事業の趣旨に賛同しその遂行に充分なる協力を致されん事を希望して止まらぬ

昨年十二月に獨逸が滿洲國より輸入せる大豆は四萬六千八百八十二噸、價格四百六十五萬五千元イヒス・マルクにして昨年一月以降十二月間の累計は五十四萬五千百九十九噸價格五千六百六十六萬八千八百イヒス・マルクに達した

移民具體方策決定

新京【二六】本年度集團移民の入植青少年移民、訓練に關する計畫に關しては昨年來日滿兩國の決定方針に基き産業部拓政司と滿拓との間に協議が進められてゐたがこの程具體方策を左の如く決定した

匪賊討伐

▲大平芳夫中尉戰死 奉天【二三】(岩松部隊廿六日發表) 四平街駐屯〇〇隊大平中尉の指揮する〇〇名は去る廿三日午前十一時分頃奉天省李樹縣、榆樹臺西方六里の地點に於て匪首大有子の率ゆる有力な匪團を發見折柄の吹雪を衝いて直ちに之を攻撃激戦數刻の後敵に殲滅的打撃を與へて潰走せしめた、右戰鬥に於て部隊長大平芳夫中尉(大分縣北海部郡坂ノ町出身)は壯烈な戦死を遂げ續く岩崎上等兵、花田一等兵、成田一等兵、中川二等兵(以上青森縣)は名譽の負傷した

經濟・産業

滿洲油化工業増資改組

▲本年度入植青少年移民十三萬人 奉天【二六】拓務省が立案した青少年移民四ヶ年計畫はその後着々進捗しつゝあるが滿洲拓殖委員會では右に關聯し現地の諸事情に基いて種々協議の結果本年度に於ける青少年移民の入植人員十三萬人と決定昨年設立された龍江省嫩江縣伊拉哈訓練所の外四ヶ所に訓練所を新設し來る四月頃入植せしめるに決定した

滿洲油化工業増資改組

新京【二三】滿洲油化工業株式會社は今般資本金二千萬圓の滿洲國特殊會社として増資改組されることとなり新會社の設立準備委員會が廿一日午後一時より日滿軍人會館で開催工場擴張その他を決定した

電氣化學工業の綜合開發

新京【二三】滿洲國政府では産業部門の全面に亘り五ヶ年計畫の機構を擴大強化すると共に急アンボの生産力擴充に邁進する爲從來五ヶ年計畫の範圍外に置かれた電氣化學工業を振興し人造纖維工業、パルプ工業、肥料工業、人造ゴム工業確

立を目標に本年度に於て全産業部門の體勢を整備する事となつた、即ち化學工業は國內水力電氣事業の勃興に伴ひ一應本年度に於て計畫に對する一定の原則的方針を確立して置く必要があり、個々の問題に對する具體的な方針は未だ確定してゐないが根本方針としては化學工業全體を重工業部門に於ける滿洲重工業會社の如く一應綜合經營の形を採る事も考へられる、殊に各化學工業が電力、水質等の根本的な要素を共通にしてゐる事はその有力なる一條件を爲すものであるが企業經營其他の見地からも一職の化學工業を綜合的に開發する事は重工業部門と別に事情を異にするものではない、殊に之等の諸工業を工業國策事業として強行する必要がある今日に於ては原則を其處に置いて進む事は當然と見られる

▲本年度入植青少年移民十三萬人 奉天【二六】拓務省が立案した青少年移民四ヶ年計畫はその後着々進捗しつゝあるが滿洲拓殖委員會では右に關聯し現地の諸事情に基いて種々協議の結果本年度に於ける青少年移民の入植人員十三萬人と決定昨年設立された龍江省嫩江縣伊拉哈訓練所の外四ヶ所に訓練所を新設し來る四月頃入植せしめるに決定した

滿洲棉花公司機能擴充

新京【二六】滿洲棉花公司(資本金二百萬圓、四分の一拂込、全額政府出資)は昨年改組以來棉花統制法に基き著しくその機能を擴充し生産棉花の收買、販賣を一手に行ひつゝあるも政府は實統制收買の完備を期する爲め本年三月限り民間業者の所有操縱機を同公司にて買上げる事となり、且つ本年度生産棉花は増産計畫による實額一億八千萬斤の收穫が豫想されて居る爲め現在の工場設備には消化その他操縱處理作業は不可能となり近く工場増設、設備擴張操縱機の購入の必要に迫られ目下これが對策につき政府と協議中であるが政府では近く同社重役陣の異動を行ふと同時に増資或ひは未拂込み金額徴收の何れかを決定する筈である

滿洲重工業會社

第一期事業計畫具體案成る

【一】滿洲重工業開發會社は目下對滿事務局で開催中の昭和製鋼所の他會社資産の評価委員會に於て滿鐵傍系會社の滿洲國政府に對する讓渡價格の決定に依て愈々同社に對する滿洲國政府の拂込が完了し茲に滿洲國五ヶ年計畫の樞軸たる重工業資源の開發に本格的に乗出すことになるが、同社はその第一期計畫として鐵、石炭以外の金屬資源開發に當る鑛山會社並に航空機製作會社を新設すべく既に滿洲國政府より内認可を得てゐる、而して前者は既に滿洲鑛山株式會社(資本金五千萬圓)と銘打つて事業大綱及び重役陣を決定、來月中旬創立總會を開催すべく諸般の準備を進めてゐる、又航空機製作會社(社名未定)は滿洲航空會社の製作部門を帳簿價格(約七百萬圓乃至八百萬圓)で買收分離した後資本金二千萬圓に増資する豫定であり、右は目下計畫中の自動車會社と同様に重工業社が將來外資導入によつて着手せんとする大規模生産計畫とは全く別個のものである(創立總會は二月中開催の豫定)なほ滿洲鑛山會社の陣容その他は左の如く内定してゐる

- 一 資本金五千萬圓(第一回四分の一拂込、但し滿洲重工業開發會社に於て金額引受)
- 一 事業範圍 金、銀、銅、亜鉛、其の他鐵、石炭を除く金屬全部を含む
- 一 役員
 - 取締役會長 鮎川義介(滿洲重工)社
 - 長 島田利吉(日本鑛業)、常務取締役 木村繁孝(同)、(同)加藤徳夫(同)、(同)

大岩銀象(滿鐵)、取締役山田敬亮(滿洲重工)、(同)與村慎次(同)、(同)田中恭(同)、監査役齋藤晴彦(同) (一名未定)

又航空機會社の重役陣は滿洲重工業事務理事の山田敬亮氏を初め舊日産關係會社から選ばれる他滿洲航空會社の製作部門擔當重役も大體新會社に引繼がれるはづである

十二行に大體均分に割當てられることに決定した、而して滿洲國政府は滿鐵子會社買收代金として右公債發行による一億圓に現地調達分を加へて滿鐵に支拂ふこととなるが、滿鐵は此の内六千五百萬圓を五分利社債の償還に充て餘餘分をシ團からの前借金返済に充當する筈

鐵道

梅輯線近く開通

奉天【一】梅輯線の通化鐵廠間(廿七キロ)は來る二月一日より假營業を開始する事となり廿一日滿鐵よりその旨發表された、右により梅河口から滿洲國の遼東邊道を縦貫して鮮滿國境の輯安を結ぶ梅輯線即ち總延長百六十キロの滿鐵を結ぶ重要幹線は遠からず完成される事となつた

滿鐵の機構改革

奉天【二】北支に於ける新事態に對處すべく滿鐵機構の改革に就いては種々論議され近く實現を見るものと見られて居るが現下非常時局に對し滿鐵の全機構を巨つての大改革を行ふ事は人心の動搖を招く故之は極力回避し改革の範圍は可及的縮小し只管大陸鐵道の一元的運行を明する見地から人事の重複を廢し滿支を通ずる鐵道經營の主體たる確乎たる陣容の整備充實を圖る方針で當初一部に傳へられた滿鐵本社の大々的機構縮小乃至一部機構の鐵道總局移管等は當分行はない模様である、尙現地及び東京との密接な連絡を圖る爲め滿鐵東京支社と現地機關との人事の交流を爲す外同支社の陣容を根本的に擴充する事になつた

東滿洲鐵道會社創設許可

滿洲國外務局より左の如く發表した先般モスクワで開催の第一回ソ聯邦最高會議中一月十七日の會議に於てジュダノフ(その後同會議常設外交委員長に選ばれた)は「極東方面に於ける日本及び其の傀儡たる滿洲國の挑發的行爲は絶へる間がない、最近滿洲國內に不時着したソ聯飛行機が不法抑留せられソ聯側再三の要求にも拘らず滿洲國側は積載物も返還しない事例があるが外務人民委員部は東部國境に於けるかかる挑發的行爲を一舉永遠に葬る措置を採るべきである」

彌生會、車輛工場設立

新京【一】彌生より滿洲、北支に進出計畫中の日本車輛、川崎車輛、汽車製作日立製作、田中機械等の六社を以て結成せる彌生會は最近住友金屬工業、神戸製鋼等より一千萬圓の出資を得たので近く工場を設立すべく目下奉天に於て敷地を物色中である、同社の年生産能力は機關車輛、客車百輛、貨車六百輛で製品は當分の間専ら北支方面に振向けられ模範である

☆對ソ關係

ソ聯兵越境

京城【二】さる廿一日午後零時半開島潭春縣草木頂子(東興鎮北方二里)の國境線三日山にソ聯兵六名(舟梭四、步兵二)現はれ滿洲國領内に約三百米侵入偵察中なるを發見したので○守備隊は之れに對し射撃を加へたところ何等の抵抗もなせず逃走した旨本日總督府に報告があつた

ソ聯不時着事件

新京【三】十二月十九日賓城線橫道河子附近に不時着せるソ聯郵便機事件に關してはその後當局に於て取調中のところ大體全貌が判明したので廿七日午後二時

滿洲國外務局より左の如く發表した先般モスクワで開催の第一回ソ聯邦最高會議中一月十七日の會議に於てジュダノフ(その後同會議常設外交委員長に選ばれた)は「極東方面に於ける日本及び其の傀儡たる滿洲國の挑發的行爲は絶へる間がない、最近滿洲國內に不時着したソ聯飛行機が不法抑留せられソ聯側再三の要求にも拘らず滿洲國側は積載物も返還しない事例があるが外務人民委員部は東部國境に於けるかかる挑發的行爲を一舉永遠に葬る措置を採るべきである」

との主旨を述べモロトフ首相これに對し十九日の會議に於て「ソ聯政府は從來より強硬な態度で日滿側に對しソ聯の權利確保に務める」と答へて滿場の喝采を博した由であるが吾人は相變らずソ聯の無智と虚勢と事實を歪曲せる牽強附會の言分に失笑を禁じ得ない

△滿洲國が日本の傀儡でない事は事實が十二分に證明するところである今更説明反駁の要はないが此の機會に吾人は滿洲國境方面に於けるソ聯側の挑發的行爲が積極的極めて悪性であることを指摘したい、即ち匪賊の支援、不法越境、拉致、射撃等の外昨秋以來の在極東鮮人の中央亞細亞強制移住に於て鮮人を又國境附近に於て不法拉致せる住民は何れも歸國を裝はせて滿洲國內スパイ或は宣傳員として潜入せしめ或は飛行機に依る不法越境に至つては昨年度以來十有八件を數へる有様である

△ジュダノフ及モロトフの演説に引用せられた飛行機は昨年十二月十九日浦鹽方面から飛來して賓城線高嶺子(橫道

河子)に着陸したものであるが右は表面郵便機を装へるも機関銃及び機彈懸釣の装置を有する明瞭なる軍用機にして我が方軍事機密特別地域を極めて低空を以て通過し自國領を距る二百キロ米の奥地に着陸した

△而も一度は更に深く滿洲國內に侵入し飛行したる後ソ聯領内に向ひ歸還の途次過々故障に依り已むなく滿洲國內に不時着したものと如く主張しあるも操縦士熟練の度から見ても又當日の天候並に一般の地形から見ても斯の如き過失が行はれることは常識を以てしては首肯し難いところであつて殊に該飛行機は着陸し羅針盤の指標を東方に合せソ聯に向ひ歸航中なりし點又燃料は充分ソ聯領まで飛行し得る餘裕を有したる點並に從來のソ聯側のやり口等より見て彼等は何等かの目的を以て我が重要地帯を故意に越境したる所偶々機關の故障になり已むなく不時着したのではないかとの疑ひ濃厚であるので滿洲國側では目下出張取調中にして斯くの如き容疑者を嚴重取調べる事は勿論その終りまで機體塔載物を抑留することは滿洲國の當然の權利であり、而して前述の如くソ聯側がその返還を威嚇的官辭を以て早急に要請したる事は反つて愈々我が方の疑惑を深からしめることである

英國・英帝國

☆ 經濟

マツケナ氏の經濟觀

ロンドン【二二】英國五大銀行の一つたるミッドランド銀行の年次總會に於て頭取レザナルド・マツケナ氏は英國並に世界の經濟情勢に關し一般的分析を試み左の如き見解を披瀝した、その要旨左の如し

一 一言にしていへば世界經濟の將來に對し悲觀的見解を抱く根據は見出し得ない、然しながら米國景氣の推移並にこれが他國に及ぼす影響を過少評價してはならない、若し米國の最近の景氣沈滞が何等かの理由で今後も續くならば昨年中頃まで漸進的ながら盛返してゐた世界貿易の回復歩調はこゝに確實に挫折せしめられることにならう

一 世界貿易總額の低下と共に英國にとつて一段と重要となるのは輸出増進のためあらゆる機會を無視してはならないといふことである、最近英國は特に軍需景氣に潤つてゐるがこの景氣は一時的のものであり、これに反して輸出貿易の維持は恒久的の緊要事である

一 最近商品並に證券市場は落勢にあるがこのことより英國の景氣が連續的に凋落に轉じたと推斷することは正しくない、各市場における投機的事態が整理されることは財界にとつて永い目で見れば悪い材料とは考へられない

一 米國に於ける資本財需要減退の英國に對する悪影響はすでに一巡したる徴候が見え英國工業活動回復の要因は着々と動きつゝある形勢が窺はれる

一 金融情勢について見るに工業並に商業に對する短期貸付需要は著しく回復を見せた、ミッドランド銀行の數字について見るも機械工業、衣服製造業、

小賣業、娯樂企業、公共事業などに對する貸出しは顯著な増加を示してゐる一方かねて豫期されてゐた建築業の衰退も亦さのみ深刻とはなつてゐない

一 一九三七年度の英國國際收支は少くとも五千萬ポンドの支拂超過となるものと思はれる、併しながら過般サー・ロバート・キングスレー氏の豫想した如く英國は海外の長期投資を喚び減らしつゝあるとの見解には相違ない、英國は過去六ヶ年間金の買付けに約六億ポンドを費した、併しそれかと云つて英國の證券がかく多額に外國人の手に渡つた證據はなく又短期債券が激増を來したわけではない、従つて金保有高が殖へたと同程度を以て英國の資本的地位が不利に動いたとの推論には極めて疑問がある、この事實に徴し吾人が過去六年以來資本の上に生活しつゝありとの主張は充分の根據を持つものとは考へられない

十二月中人絹生産高
ロンドン【二三】十二月中のイギリス人絹生産高は千百八十三萬封度で前月に比し百八十九萬封度方減少を示したがこの結果昨年中の生産高は一億五千四百八十一萬封度となり一昨年比しては九百五十萬封度の増加で既往の最高記録を示した

新嘉坡大演習

シンガポール要塞の威力
シンガポール【二三】シンガポールの夕刊紙ストリート・タイムス紙の報道によれば二月二日から五日迄の四日間に亘つて行はれるシンガポール陸、海、空軍の攻防演習に於て

シンガポール要塞地帯の防禦力を實際する爲新裝の十五吋並に十八吋の要塞砲を動員し一噸の實彈を使用して夫々廿哩及び卅哩の標的に對し實彈射撃を行ふこととなつた、巨砲の着陸距離卅哩はその正確さに於て小銃の六百ヤードと等しく又今回新に裝備された三門の十八吋巨砲の威力は現在世界最大の主力艦の有する薄彈距離を以つてしても尚及ばない強力なものである

攻防演習愈々開始

シンガポール【二三】シンガポール新海軍根據地を中心とする海陸空聯合攻防大演習は愈々明日一日から二月五日迄華々しく舉行される、海軍は東印度艦隊司令長官サンダー・ラムゼー中將、陸軍はマレー駐屯軍司令官ウィリアム・ドビー少將、空軍は極東空軍司令官アーサー・テッダー少將が夫々指揮する、曩に香港より到着した航空母艦イーグル號を始め廿六日には支那艦隊代理司令官ルイス・クラップ中將搭乗の巡洋艦ドーセットレーヤ一號(一萬噸)が入港し更に攻撃軍司令官となるラムゼー中將搭乗の旗艦一萬噸巡洋艦ノーフォーク號もエメラルド號其他砲艦三隻を率ひて廿七日入港した、其他支那艦隊の驅逐艦、潜水艦等續々シンガポールに集結してゐる、陸軍部隊はマレー聯邦の四個聯隊に加へ印度駐屯の三個聯隊も既に到着シンガポール常備のシンガポール要塞守備軍一萬の陸兵が待機してゐる、空軍も既に印度イランより重爆撃機等四十八機が到着これにシンガ

英佛空軍會議

英佛空軍提攜緊密化
パリ【二六】フランス商相ピエール・コト氏は去る十二月十六日空相在任當時ロンドンに於て英國空相スウィントン卿

ボーラの卅六機と航空母艦イーグル號の廿機を加へ合計百四機が集結、陸海空に演習氣分が溢溢してゐる、演習内容は未だ發表されないが廿七隻の艦艇と一萬の陸軍、百四機の空軍が亦攻撃、青防禦の二軍に分れて卅一日行動を起し、三百哩沖合で演習をなすつゝ漸次シンガポール攻撃に移りラムゼー提督の率ひる攻撃軍は守備軍の猛烈なる防禦砲火を排除しつゝ敵前上陸を敢行、ドビー及びテッダー兩指揮官麾下の陸空軍との間に激烈な攻防戦が展開されることとならう、演習の結果はシンガポール要塞の輕重を問ふものとして軍事専門家の注視の的となつてゐる

と會談、國際情勢の緊迫に對する英佛兩國空軍の提携策に付き重要協議を遂げた、兩國空軍提携の具體的内容は未だ明かでないが廿八日 A.P. パリ支局がフランス航空省筋から確する所によれば英國空軍に對しフランス本國內に英國空軍の前進基地を提供する以外に地中海、極東に亘つて緊密な作戦提携を實現せんとするもので大要左の如きものといはれる

一 フランス政府は英國空軍に對しフランス本土内に空軍前進基地を提供し第三國飛行機が英國を空襲する場合英國領土内に入るに先立つて之に警告を與へ得る様にする

一 地中海における事變の緊迫により英國空軍がエジプト、印度方面に至る英國通商路を保護することが愈々困難を加へつゝある事情に鑑み英國空軍に對し佛領北アフリカの空軍根據地の使用を許容する

一 極東に於ては濠洲、シンガポール、カルカタを結ぶ通商路の保護に任ずべき英國のラングーン空軍根據地が日本の對支進出によりその意義を喪失する惧れがある事情に鑑みフランス空軍は英國空軍に對し佛領印度支那に於けるフランス軍事飛行場の使用を許容する

佛空軍代表倫敦着

ロンドン【一三】英佛空軍會議出席のフランス代表五名は卅日空路パリからロンドンのクロイドン飛行場に到着した、一行は卅日各英國飛行機製作所を見學した後卅一日から公式會議に出席、英佛空軍の協力策につき具體的討論を行ふ豫定

南阿聯邦に大軍需工場建設

ブレトリア(南阿聯邦)【一三】英國政府は最近印度及び極東への生命線地中海の恃み難きに鑑み萬一に備へて南阿聯邦政府でも之に呼應し國防のため今回重砲、戰車、裝甲車、爆彈等の製造に當てる大規模工場を建設するに決定、その旨廿二日運輸國防相 C. ビロウ氏から發表された、ビロウ國防相の發表によれば新設軍需工場は先づ最初鐵道の建設、貨車の製造に着手するが萬一の場合には直ちに軍需品製造工場に早變りするもので聯邦政府は更に軍隊輸送用の大空軍建設案を殆ど完成したと言はれる

埃及各政派アラビヤ人支持

カイロ【一三】各政黨を網羅するエジプト國會議員五十名は隣邦パレスチナに對する英國政府の分離統治案に反對、カイロ駐劄英國大使マイロズ・ランブソン氏に對し覺書を出し、パレスチナに於けるアラビヤ人の權利を尊重留保すべき旨英國政府に要求することゝなつた、從來パレスチナのユダヤ人對アラビヤ人の抗争に對してはエジプト人は終始アラビヤ人側に同情を示して居り今回の議員團の舉は英國政府のパレスチナ分離統治方式に對するエジプト國民の反對を非公式に闡明するものとして注目される

埃及及古墳を發掘

カイロ【一三】ナイル河の左岸、カイロ市を去る南方約廿料のサラツカに於て約五千年前の埃及貴族の墓が発見されたことが廿一日カイロで發表され古代埃及文明の探求者達に大衝動を惹き起してゐる發見者は英國の考古學者ウォルター・エ

マリー氏でサツカラ沙漠に苦難の發掘を續ける裡、遂にこの古墳を探しあてたもので第二王朝時代の貴族の墓と確認された、墓の内部に安置された棺は発見された時殆ど原形をとどめぬ迄に壞れてゐたがエマリー氏は特殊な蠟と銅と石膏で丹念に組立て、五千年前とそつくりの棺を再製し茲に萬古の謎を秘めて沙漠の下に埋れてゐた古代埃及文明は近代科學の力を借りて完全に再現されるに至つた



シヨータン内閣信任さる

パリ【一三】フランス下院は新内閣成立を迎へて廿一日午後再開、シヨータン首相は午前の國務會議の決定に基き政府の施政方針を提示し議會の支持を要請して左の如く述べた

新内閣はあく迄人民戦線に忠誠を誓ひこの意味で従前の内閣とその方針は些も異なる所はない、人民戦線の利害こそは全國民の利害に外ならず政府は人民戦線の綱領を忠實に實行する決意を有するものである、社會改革については政府は先づ社會平和の空氣を醸成することに努力する、蓋し之なくしては今後新たな改革を望めず尙主並に勞働者諸君の協力を切に要請する次第である、一方應々政變の因を爲す財政危機を回避する爲政府は今後フランス財政經濟の回復に主力を注ぎ生産を擴充しその能率増進に努める方針である

外交に於ては政府は依然フランスの傳統的方针たる集團的安全保障による平和確保を念とする、但しこの平和の理

想を前進させる爲にはフランスの國防力を充實せしめねばならず更にその爲に財政を常に好條件におき三國通貨協定により通貨の安定を確保することが緊要であらう、新内閣は或は廣汎な舉國一致内閣を實現させる爲の過渡的存在に過ぎないかも知れぬ、然し余はこの使命を誇りとするものである

次いで共和左派黨首フランダン氏は中央諸派を代表し現下の財政經濟狀態の重大性に鑑み新内閣を支持する旨表明し續いて左翼各派亦シヨータン内閣を激勵した

が唯一人左翼小會派の「共同戦線」黨ガストン・ベルジュイイ氏のみはシヨータン内閣に反對し左の如く述べた

シヨータン内閣は最早總選舉の精神を代表せず資本家への決定的降服を準備するものに過ぎぬ、以上の理由により余は初めてこの人民戦線内閣に反對するものである

下院は以上五時間亘る討論の後人民戦線各派代表提出の下院は社會進歩・財政經濟回復・國際平和並に國防を中心とするシヨータン内閣の施政方針が總選舉によつて表明された民衆の意思と一致するものと認むとの信任動議を表決に附した結果五〇一票對一票といふ壓倒的の差を以てシヨータン内閣を信任した、これは大戦當時クレマンソー内閣が信任された時以來空前のもの唯一票の反對はベルジュイイ議員が投じ又右翼の一部は棄權した

閣議社會平和條令採擧

パリ【一三】フランス政府は廿七日閣議を開催、新内閣の施政方針に基きシヨータン首相の許で作製中だつた勞資關係調整に關する「社會平和條令」案を討論した結果同案を異議なく可決した、シヨータン首相は廿七日夜ラヂオを以て全國民に對し同法案の趣旨を闡明し社會秩序の維持を要請する筈である、一方フランスの賣叩きは最近又もや猛烈となりシヨータン内閣の前途に暗影を投じてゐる

▲「社會平和條令」案内容、パリ【一三】

「社會平和條令」の内容次の通り

- 一 勞働者の雇傭並に解雇に關する規定
- 一 勞働の交換に關する規定
- 一 團體交渉權
- 一 勞働爭議に於ける調停仲裁に關する規定

一 法律上に於けるストライキの地位

一 勞働者代表に關する規定

一 フラン買支へ中止と新水準

ニユーヨーク【一三】ニユーヨークに於けるフラン爲替はフランス政府のコントロール撤回と共に更に軟化した、フランス政府は曩にパリに於ける爲替取引再開に當り爲替取引は純然たる商業需要に局限すべき旨嚴達したが爲替安定資金の買支へがなくなると流石に軟化した廿一日には現物三セント三一・四分三と昨日に比し再び二ポイント半の低落を告げ三ヶ月先物は三ポイント低落して三セント一九・四分一となつた、尙新内閣が果してよく現下の政治經濟の難局を切抜けて行けるかどうかは未だ疑問視され又新内閣が爲替管理を行はずフランの自由取引を許してゐるのはフランをして自らより低い自然的水準を發見せしめんとして居るのではないかも知れられてゐる

資本逃避でフラン買支新案値へ

ニユーヨーク【一三】廿五日ニユーヨ

想を前進させる爲にはフランスの國防力を充實せしめねばならず更にその爲に財政を常に好條件におき三國通貨協定により通貨の安定を確保することが緊要であらう、新内閣は或は廣汎な舉國一致内閣を實現させる爲の過渡的存在に過ぎないかも知れぬ、然し余はこの使命を誇りとするものである

次いで共和左派黨首フランダン氏は中央諸派を代表し現下の財政經濟狀態の重大性に鑑み新内閣を支持する旨表明し續いて左翼各派亦シヨータン内閣を激勵した

が唯一人左翼小會派の「共同戦線」黨ガストン・ベルジュイイ氏のみはシヨータン内閣に反對し左の如く述べた

シヨータン内閣は最早總選舉の精神を代表せず資本家への決定的降服を準備するものに過ぎぬ、以上の理由により余は初めてこの人民戦線内閣に反對するものである

下院は以上五時間亘る討論の後人民戦線各派代表提出の下院は社會進歩・財政經濟回復・國際平和並に國防を中心とするシヨータン内閣の施政方針が總選舉によつて表明された民衆の意思と一致するものと認むとの信任動議を表決に附した結果五〇一票對一票といふ壓倒的の差を以てシヨータン内閣を信任した、これは大戦當時クレマンソー内閣が信任された時以來空前のもの唯一票の反對はベルジュイイ議員が投じ又右翼の一部は棄權した

閣議社會平和條令採擧

パリ【一三】フランス政府は廿七日閣議を開催、新内閣の施政方針に基きシヨータン首相の許で作製中だつた勞資關係調整に關する「社會平和條令」案を討論した結果同案を異議なく可決した、シヨータン首相は廿七日夜ラヂオを以て全國民に對し同法案の趣旨を闡明し社會秩序の維持を要請する筈である、一方フランスの賣叩きは最近又もや猛烈となりシヨータン内閣の前途に暗影を投じてゐる

▲「社會平和條令」案内容、パリ【一三】

「社會平和條令」の内容次の通り

- 一 勞働者の雇傭並に解雇に關する規定
- 一 勞働の交換に關する規定
- 一 團體交渉權
- 一 勞働爭議に於ける調停仲裁に關する規定

一 法律上に於けるストライキの地位

一 勞働者代表に關する規定

一 フラン買支へ中止と新水準

ニユーヨーク【一三】ニユーヨークに於けるフラン爲替はフランス政府のコントロール撤回と共に更に軟化した、フランス政府は曩にパリに於ける爲替取引再開に當り爲替取引は純然たる商業需要に局限すべき旨嚴達したが爲替安定資金の買支へがなくなると流石に軟化した廿一日には現物三セント三一・四分三と昨日に比し再び二ポイント半の低落を告げ三ヶ月先物は三ポイント低落して三セント一九・四分一となつた、尙新内閣が果してよく現下の政治經濟の難局を切抜けて行けるかどうかは未だ疑問視され又新内閣が爲替管理を行はずフランの自由取引を許してゐるのはフランをして自らより低い自然的水準を發見せしめんとして居るのではないかも知れられてゐる

資本逃避でフラン買支新案値へ

ニユーヨーク【一三】廿五日ニユーヨ

ク外國爲替市場に於て米佛爲替は三仙二八半と前日に比し四ポイント方急落して新安値へ落ち込み三ヶ月先物も三仙二〇より三仙一五へ崩落した、最近フランスの根本原因はフランス資本が又もや國外逃避を開始したことにより、當地金融爲替業者は新ショトタン内閣が果してよく資本流出を阻止し得る能力を有するの否か頗る疑はしいとしてゐる

米國安定資金出動の根拠

ワシントン【二電】ニューヨーク外國爲替市場に於けるフラン貨は米國爲替安定資金の支持あるに拘らず軟勢を示して居るが最近米國の安定資金が公然と出動するに至つた事實は各方面の注目を惹いて居る、而して此の點につき財務省の某高官は左の如く説明して居る

米國の爲替安定資金は最近弗買、フラン買の操作を行ひフランの安定を計つて居るが之は米國の貿易を擁護するため必要な措置である、蓋しフランの激動を放置すればフランス政府は已むなく爲替管理を採用するに至るべく斯くなれば英米佛三國協定は崩壊しその影響計るべからざるものがあるからである、而してフランの買支へを行つたからと云つて米國は損失を蒙る事はない、何となればフランスは米國に巨額の金や弗貨を預金して居る故である、尙ほ最近世界では爲替維持の操作を行ふ國が多敷に上りその重要性は洵に注目すべきものがあるが米國に關係せるものとしては三國通貨協定の他にはメキシコ及びアラジがある、メキシコに關しては過渡爲替安定協定を結び米國はメキシコより銀を買入れると共に

ペソ爲替を一米弗につき三、六ペソに維持する事となりそれによつてメキシコ財界の安定に資する處が大であつたブラジルに關しては昨年七月に金寶却協定を結び爲替安定を企圖したがこの方は不幸にして失敗した模様であるカグラール團爆彈破殺



ドイツ

パリ【二電】廿六日午前九時四十五分パリ市郊外ヴィルジュニエフの市立化學研究所に於て極右秘密テロ結社カグラール團から押収した爆彈を試験中突然大爆發が起り試験に携つてゐた化學部隊の兵十一名慘死を遂げた

トイ

トイ ツ ヒ總統バーベン公使を引見
ベルリン【二電】ヒットラー總統は卅日總統官邸に最近歸還したウィーン駐劄ドイツ大使フォン・パーベン博士を引見、去る廿七日ウィーンに於て行はれたオーストリア・ナチスに對する大手入れに付き同公使から詳細事情を聴取する模様である

科擧探極隊濫洲へ

ジエノア【二電】人類起源學の世界的權威フランクス博士が教授レオ・フロロベニエ博士には未知の原始民族を探ねて西オーストラリアに科擧探極を行ふこととなり廿九日五名の探極隊を引率しイタリア汽船ロモロ號でジエノア港を出發濠洲に向つた

ロゼマイヤー選手慘死

ベルリン【二電】ドイツ著名の自動車競走選手ロゼマイヤー氏は廿八日フランク

フルト、ダルムシュタット間自動車道路でスピード練習中操縦を誤つて自動車を粉砕慘死を遂げた

「日獨學生會」生る

ベルリン【二電】在獨日本人學生と日本研究のドイツ人學生間の親睦連絡機關として今回ベルリンに「日獨學生會」が生れ卅一日午後日獨協會長フェルスター提督以下日獨關係者多數參加の下に發會式が擧行された、同學生會はドイツ學生聯盟極東部長ハインツグ氏、日獨協會書記カール・ツァール氏、交換學生田川四郎氏等指導の下に今後日獨關係並に東亜問題等に關し講演、討論會等を行ふ筈である

ドイツのナンガ登攀一頓挫

ニューデリー【二電】ドイツ山岳界の泰斗ポール・パウエル氏は昨年のナンガパルバットドイツ登攀隊失敗の後を承け、その雪辱を期して本年再びナンガパルバット登攀隊を組織、最近印度のカシミアール王國政府に對し同國通過許可の申請を行つたがカシミアール國政府は從來一年一回を限りヒマラヤ山脈登攀隊のカシミアール國內通過を許可する方針で本年度は既に米國のカラコラム登山隊に對し許可したとの理由でパウエル氏の申請は拒絶した

火藥庫大爆發

ローマ【二電】廿九日朝ローマより五十キロのセンニにある伊太利陸軍火藥庫が大爆發を起し數百名の死傷者を生じ市街



イタリア

も全滅的慘害を受けた模様である、急報に接し國王ヴィットリオ・エマヌエール三世並に皇后兩陛下を始めムツソリーニ首相以下政府大官多數が現場に急行したが廿九日正午迄に發掘した屍體、五十枚容した負傷者は二百名に達してゐる

エチオピアに土民軍蜂起説

ロンдон【二電】ロンдонのエチオピア公使館は廿六日エチオピアから直接入つた情報としてエチオピア北部及び北西部の若干地方に土民軍が蜂起しイタリア守備兵との間に目下激烈な戦闘が展開中でイタリア守備兵は飛行機及び自動車隊を以て喪失地域を奪還せんとしたが一時的成功を見せたに過ぎなかつたと發表した但しローマよりの報道に依ればイタリア官邊では此の報道を絕對に否認してゐる

も全滅的慘害を受けた模様である、急報に接し國王ヴィットリオ・エマヌエール三世並に皇后兩陛下を始めムツソリーニ首相以下政府大官多數が現場に急行したが廿九日正午迄に發掘した屍體、五十枚容した負傷者は二百名に達してゐる

和蘭皇儲女子を分鏡

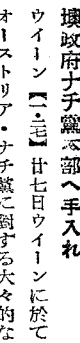
阿姆斯特ダム【二電】オランダ皇儲エリアナ殿下は卅一日午前女子を御分鏡遊ばされた、因みにユリアナ殿下は一九三七年二月ベルンハルト殿下と御結婚遊ばされたもので、ウイヘルミナ女皇に次ぎ次代オランダ女皇として君臨遊ばされる方である

攘政府ナチ黨本部へ手入れ

ウィーン【二電】廿七日ウィーンに於てオーストリア・ナチ黨に對する大々的な手入れが行はれ黨本部は閉鎖ナチ労働者卅二名逮捕された、黨首ヨセフ・レオポルド大尉は取調べを受けた後歸宅を許され自宅で監視されることゝなつた、尙黨

ブルガリア内閣改造

ソフィア【二電】ブルガリア内相クラノウスキー氏及び陸相ルコフ將軍は廿四日辭職し新内相には文相ニコラエフ氏が新陸相にはプレウエン駐屯軍司令官ダスカロフ將軍が夫々任命されニコラエフ氏の後任としてはソフィア國立大學總長マネフ氏が新文相に任命された



ソ

本部から六萬シリングの大金が没收されたが之は来る卅日のヒットラー氏組閣記念日を期して全國的示威運動を行ふ爲の資金と見られてゐる、従来政府はレオポルド大尉一派の行動をオーストリア内のナチ信奉者を政府支持の祖國職へ引入れる運動の一部とするといふ諒解の下に黙認してゐたのであるが大尉が此の協定を履行してゐない事が判明した爲め今回の彈壓となつたものである、但し政府はドイツ其他の諸國との微妙な國際關係を考慮して事態を穩かに收拾しようと努力してゐる

羅政府モスクワ駐劄公使召喚

ブカレスト【二電】ルーマニア政府は卅一日突如モスクワ駐劄公使エドモンド・キウント氏に對し歸國命令を發した、先年十二月極右ゴッガー氏を首班とする新内閣が成立して以來ルーマニアとソヴェトとの關係は冷却化の一途を辿つてゐた折柄キウント公使突然の召還は種々の噂を生んでゐる

中央執行委員會決議

モスクワ【二電】ロシア共和國中央執行

委員會議部は廿九日カリニオン議長司會の下に開會、左の決議を採擇した
ロシア共和國最高會議選舉法審議のた
め来る二月十四日第十六次中央執行委
員會總會を召集する

イズヴェスチヤ紙改組

モスクワ【二三】ソヴェト聯邦最高會議幹部會は廿四日クレムリン宮殿に於てカリニオン議長司會の下に第一回會議を開催討論した結果最高會議の正式機關紙として「ヴェドモスチ・ヴェルホフ・ソヴェタ・エスエスエル」(ソ聯邦最高會議新聞)を共和國各國語で創刊し、從來の中央執行委員會機關紙イズヴェスチヤは「ソ聯邦勤勞代表會議新聞」と改組するに決定した、更に幹部會は次の諸件を採擇した

- 一 第一回ソ聯邦最高會議で通過した諸法令を共和國各國語で公布する
- 一 最高會議で採擇された修正追加を附したスターリン憲法條文を發行する
- 一 代議員證並にパスチを制定する
- 一 一九三八年度生産計畫

モスクワ【二三】ソヴェト重工業人民委員部は去る廿一日一九三八年度生産計畫を決定し之にカガノヴィツチ人民委員の重工業全部門に對する批判指令を附加して卅日發表した、主要計畫次の通り

- 一、重工業關係電力三百四十億基ワット時、二、石炭一億三千九百萬噸、三、石油三千三百五十萬噸、四、鐵礦石三千二百萬噸、五、銑鐵一千五百八十萬噸、六、鋼鐵一千五百六十萬噸、七、伸鐵九十八萬噸、八、鑄鐵卅三萬噸、九、セメント六百廿五萬噸
- カガノヴィツチ重工業人民委員は右生

生産計畫の發表に當り一九三七年度重工業各部門の成績に關し強烈な批判を下したの如く指令した

重工業生産は一九三七年度に於て一九三六年に比し總生産高に於て六・八パーセントの増加を示したが豫定計畫の八八・九パーセントに達したに過ぎない、生産滞滯の原因としては次の諸點を擧げることが出来るやう

- 一 スタハノフ運動の普及が全部門に亘つて廣く行はれなかつた
- 一 勞働者の規律が全般的に弛緩してゐた

- 一 事業經營に當り形式主義、官僚主義が行はれてゐた
- 一 原料は充分だつたが配給が不十分だつた
- 一 日獨兩國の間諜、トロツキーストの妨害活動が行はれた

一九三八年度に於ては以上の困難を克服し豫定計畫を遂行すべきである

農業人民委員報告

モスクワ【二三】最高會議に併行して去る十八日開かれたソヴェト共產黨中央委員會全體會議の席上、農業人民委員ロベルト・エイ・氏は一九三八年度農業計畫に關し報告を行つたが其要旨は次の通り

社會主義農業はその繁榮條件を最大限度迄利用し得る段階に達した、一九三七年十二月一日現在共營農場の数は廿四萬三千七百に達したがこれは全農民の九十三パーセントを結合したことを示す、更に農業施設は全く改善された

全國には今やトラクター・ステイションは五千八百九十九ヶ所ありトラクターは卅六萬七千臺收穫機コンバイン十萬

五千臺その他の機械は數萬臺に達して居る、農業の機械化により農業勞働が工業勞働に新化した程度は大きい、一九三八年に於て我々は重要な計畫を行ふが、この中には播種地域の擴張と穀物耕作面積の縮小がある我々は既に穀物不足の問題を解決したが故に穀物耕地面積を縮小して正しき更代植付けを行ひ、一方野菜類を擴張栽培する方針である、要するに我々は一九三八年に於て一九三七年以上の増産を行ひ以てスターリンの所謂「七乃至八十億ブロードの年産確保」を実現せねばならぬ

ベリカノフ司令官檢舉

【二三】某所着情報によればソ聯赤軍の肅黨工作に軍内部の動搖濃厚なる折柄ツバイカル軍管區司令官ベリカノフ初め十五名の將校が反革命の罪名で檢舉され赤軍内部に大衝動を興へてゐるがこの肅黨工作は最近スターリンより絶大なる信頼を得てゐるイニエヂョフによつて行はれたラシーロフは肅黨工作に何等の權力を持つてゐない、このため肅黨工作の實權を握つてゐるゲ・ベウと赤軍との關係は最近益々悪化して國內分裂の兆は覆ふべくも無く今や國を擧げての不安におのゝいてゐる

【二三】ソヴェト政府は牧畜業不振に鑑み下牧畜關係機關肅清に極力務を以て臨んでゐるが卅一日チリス地方紙の報道に依ればジョルヂア牧畜研究所長ジョルヂア貴族シャルヴァ・ダヂア

【二三】外四名は審理の結果右翼陰謀に加はし動物人工受胎農場に不良の精液を提供し又飼料收穫改良試作を誤り失敗した

☆ 外 交

フィンランド公使更迭

モスクワ【二三】ソヴェト政府は廿六日モスクワ技術研究所技師デレヴィアンスキー氏をフィンランド駐劄公使に正式任命した、之で昨年十一月十二日本國へ召選されたまま消息を斷つてゐたアスムス公使も肅清工作の犠牲となつたことが判明した

領事館閉鎖英國拒絕

モスクワ【二三】ソヴェト政府は最近英國に對しレニングラードの領事館閉鎖方を要求したが、A.P.通信社モスクワ支局の報道に依れば英國政府は之を拒絕其の代りソヴェト政府の外國間諜防止政策を汲んで今後英國の旅券査證はレニングラード領事館に於てのみ發行することに改正したと言はれる、尙ソヴェト政府はラトヴィア、エストニア、ノルウェー及びスウェーデンに對してもレニングラード領事館閉鎖を要求したと言はれる

モスクワ英領事館事務廢止

ロンドン【二三】廿四日ロイター通信社の報道によればモスクワ英國大使館では從來代行して來たモスクワ領事館の職務をソヴェト政府の意を汲んで既に中止して居ると云はれる、従つてソヴェトに駐在する英國領事館は事實上レニングラードの總領事館一ヶ所のみとなつたわけである

【二三】廿一日入手せる確實なる情報に

よればソ聯政府は本年に入つてから既に四十箇所の外國總領事館及び領事館に對し二ヶ月以内に閉鎖を要求し益々鐵國的傾向を顯著ならしめてゐる、その主なるものは次の如くである

トルコ、イギリス、スウェーデン、ノールウェイ、エストニア國に對しレニングラード領事館、チエッコスロヴァキア國に對しキエフ領事館、イラン國に對しバツーム、バク、エリヴァン外五領事館

浦鹽の獨領事館閉鎖

京城【二三】確實な筋への情報によれば在浦鹽獨逸領事館は職務遂行不能に陥り領事の身邊さへ危險を感ずるに至つたでこれに善處措置打合せのため東京大使館に出發せんとし往復査證を申告したところ出國のみ許し再入國を許さぬので領事館閉鎖を決議國旗を引降し日本に出發したが残り二名の書記生も職務整理了したる二日モスクワ獨逸大使館に引揚げた、かくして浦鹽に一名の獨逸人も殘留してゐない、又日本總領事館に對する壓迫は言語に絶し水道の供給を拒絕し日用品の購へさへ妨害し館員の身邊には嚴重な尾行を附するなど其の駐在に對し斷骨な嫌やがらせを行つてゐる

國 境

エストニアに抗議
モスクワ【二三】廿四日タス通信社の發

表に依ればターリオン駐劄ソヴェト大使ニキチン氏は本國政府の訓令に基き廿四日エストニア外務省を訪問、去る十九日のソ・エ國境衝突事件に對する抗議文を手交しソヴェト國境守備兵二名を殺害したエストニア守備兵の處罰、死亡者遺家族に對する適當なる賠償を要求した、事件に關する兩國の主張は著しく相異してゐるがソヴェト側の主張は次の如し

去る十九日ソ・エ國境に横はるベイブス(露語チニードスコエ)湖畔に於てソヴェト國境守備兵二名は二臺の橋に便乗した越境者がエストニア側よりソ領内七百五十米に侵入せるを發見、之を追跡した所突如エストニア領内から同國々境守備兵の爲に約百米に距離に於て發砲を受け兩名共死亡した

中の所最近に至りポーランド政府よりソ聯外務人民委員部に對しモスクワ駐在ポーランド大使ルジホウスキー博士を通じテシエトフカ・ドルブノフの兩閣間の鐵道運輸の安全を維持するため充分な處置を採つた旨の通告があつたので外務人民委員部でも廿七日ポーランド大使館に右處置に對し満足の意を表明し茲に同事件は圓滿に解決した

國境に「防疫地帯」設定か
モスクワ【二一】ソヴェト政府は過般日滿國境の在ソ朝鮮人の大量の強制移住を行つたが廿九日A.P.通信社がモスクワの外人筋から見た情報によればソヴェトは隣接國の攪亂的影響を恐れ目下全ソ國境就中央アジア邊境に住む住民數千名を内地に移住せしめつゝあるといはれる更にフィンランド、ポーランド國境、極東國境地帯では殆ど一般市民の内地引揚を了し一種の「防疫地帯」を實現、唯戰爭の危險に備へて軍隊のみが増強され緊張した空氣が旺盛してゐるといはれる

スヘイン

フランコ將軍國民政府組織
サン・ジャン・ド・リニズ(西佛國境)フランコ將軍の下に委員會組織を採り過渡的政治形態を維持して來たが革命勃發以來一年有半フランコ軍はスペイン全土三分の二を確保し民心を收攬すると共に對外的には日獨伊以下數ヶ國政府の正式承認を受けて國際的地位も著しく強化し

波國境紛爭事件解決
モスクワ【二一】最近ソ波國境ズドルブノゾオ驛に於て鐵道事故が頻發し兩國政府間に於て同地帯の安全確保に關し交渉

民政府」を組織するに決し卅一日自ら首相の印綬を帯びて次の如き顔觸れを決定した
首相 フランシスコ・フランコ將軍
副總理兼外相 ハルダナ伯
文相 サン・ロドリゲス
經濟相 スアンセス
陸相 オロガス將軍
海相 セルヴェラ提督
空相 キンデラン將軍
勞動相 ゴンザレス・ブエノ
内相(新聞宣傳を含む) セリアノ・スネル
農相 アルフォンソ・ペナ
法相 ブエンザ
無任所相フェルナンデス・オウエスタ

チエツコも通商代表任命
プラハ【二三】チエツコスロヴァキア政府は英國にならつて近くベルカ博士をスペインのフランコ政權に對する通商代表に任命する意向といはれる、但し政界では右はチエツコスロヴァキアの商業權益を擁護する爲に過ぎず何等政治的意味はなくマドリッド駐在代理公使は依然留任するといつてゐる

赤色空軍サフランカ空襲
ジブラルタル【二三】廿三日ジブラルタルに達した報道に依ればスペイン赤色政權所屬の空軍五中隊は去る廿一日、長驅フランコ政權の首都サラマンカ市を空襲多數の爆彈を投下し死者二二五名、負傷者四〇〇餘名を出したといはれる

佛西國境を空襲
バルセロナ【二三】フランス、カタロニア國境に近いスペインのバイセルダ市は廿三日午後三時突如フランコ軍所屬と覺しい十五臺の飛行機の大空襲を受け一大修繕場を現出した、飛行機は約一千五百米の上空から五十個の爆彈を投下、内十一個はフランス領に落下した、フランス領内には何等被害はないがスペイン領内では死者卅名、負傷者多數を出し其他の被害も甚大の模様である、空襲に怯えたバイセルダの市民は目下續々フランス領内に避難してゐるが負傷者の多數は最寄りのフランス領フォンロム市の病院で手當を受けてゐる、右飛行機は明らかに同方面に於ける佛西國境の遮斷を企圖したものと思はれるが、ビレネ國境のフランス官憲は即刻フランス政府に對し空軍部隊の即時派遣其他一般非戰鬥員保護の爲に必要な措置をとるよう要請した

フランコ海軍英船を踏破
タンジール【二三】廿六日午後三時タンジールに達した無電によると英國汽船ソフ・クレスト號(二七三〇噸)は廿六日午後ジブラルタル港出帆直後、フランコ政權所屬軍艦の爲人民戦線派向けの武器を積載してゐるとの嫌疑で臨検を受けたが急を聞いて馳せつけた英國軍艦の抗議により釋放された、同船は武器を積載してゐるや否や取調べを受ける爲ジブラ

マドリッド進撃準備
パリ【二三】廿七日パリに達したスペインよりの報道に依ればフランコ將軍の革命政府軍は愈よ最後の決戦を目指してマドリッド攻略を準備中である、フランコ將軍がマドリッド進撃を決意するに至つたのはテルエル陥落後ヒトラ一總統より若し戦局がもつと抄々しく進展しなければ現在フランコ軍に参加してゐるドイツ人飛行士及び技術者を引揚げさせる旨通告して來た爲といはれる、尙フランコ將軍はドイツの援助中止の場合を考慮してムツリニ首相に水に向け交渉の結果既にイタリアから増援軍を派遣する旨の實質を得たと云はれる

▲佛・越境機の無警告射撃命令
パリ【二三】フランコ軍所屬と覺しき飛行機による佛、西國境大空襲はフランス空軍省を痛く憤慨せしめ廿四日國境一帶の高射砲隊に對し越境せんとする飛行機に對しては其の所屬の如何を問はず無警告に發砲すべしとの命令を下した

バルセロナを空襲
バルセロナ【二三】フランコ軍飛行隊は卅日午前九時及び十一時の二回に亘り人民戦線軍假首都バルセロナに猛烈な爆撃を敢行、バルセロナ市中心部に甚大な被害を與へ死者百二人、負傷者數百人を出した

バルセロナを空襲
バルセロナ【二三】フランコ軍飛行隊は卅日午前九時及び十一時の二回に亘り人民戦線軍假首都バルセロナに猛烈な爆撃を敢行、バルセロナ市中心部に甚大な被害を與へ死者百二人、負傷者數百人を出した

バルセロナを空襲
バルセロナ【二三】フランコ軍飛行隊は卅日午前九時及び十一時の二回に亘り人民戦線軍假首都バルセロナに猛烈な爆撃を敢行、バルセロナ市中心部に甚大な被害を與へ死者百二人、負傷者數百人を出した

アジア

シリア國防省設置

ダマスカス【二三】シリアは一九三六年九月フランス政府との友好同盟條約に基づき委任統治から解放されて獨立國となつたが國際情勢の變化に鑑み國防省設置案が政府内に有力化し卅一日國務會議を開催して協議した結果正式に國防省設置を決定、右に關聯し同盟國フランスの協力を仰ぐため軍事使節をパリに派遣することゝなつた

米

米加通商交渉開始

ワシントン【二三】ハル國務長官は米國とカナダとの間に新通商協定を結ぶべく交渉開始の意向なる旨公式に發表した

檢事總長にジャクソン氏

ワシントン【二三】ルーズヴェルト大統領は去る十八日付を以て聯邦大審院判事に任命された檢事總長スタンレー・リー・D氏の後任として廿七日ロバート・H・ジャクソン氏を檢事總長に指名した、ジャクソン氏は民主黨系の辯護士で本年四十七歳である

☆ 議 會

農業法案の妥協成る

ワシントン【二三】常平倉制度を骨子とする新農業法案は十二月中旬上下兩院を通過、爾來兩院協議會で兩院案の相違點妥協に努めて居たが廿三日に至り妥協を見るに至つた妥協を見た要旨は左の通り

△棉花條項
一 一九三八年の棉花生産高を一千六十八萬俵に定む
二 生産者は割當面積に於て生産したる棉花は總べて之を販賣し得る
三 割當面積以外に於て生産した棉花は政府の融資を受ける資格なく又それが販賣に際しては、一割當り二セントの懲罰的税金を課せらる

四 棉花の正常なる供給高を一千八百廿萬俵と定む、而して供給高が一千九百五十萬俵に達したる時は販賣統制を施行す

△小麦條項

一 一九三八年度生産目標を九億四千萬ブツセルとす(右は過去十ヶ年間に於ける國內消費並に輸出高の平均に一割五分の準備額を加算したるもの)
二 農民は供給高が九億四千萬ブツセル以上に達したる場合販賣制限の適用方を申請することを得る

三 販賣割當を施行したる場合、割當以上の販賣に對しては一ブツセル當り十五セントの懲罰的課税をなす
尙ほその他玉蜀黍、煙草及び米に對しても右と同様趣旨の規定が設けられてゐるかくて新妥協案は今週中に上院並に下院にそれ〴〵送附されその最後の承認を求めることとなり昨秋以來揉みに揉んだ農業法案もいよいよ近く成立の運びに至るものと見られる

住宅法案大統領の手許へ

ワシントン【二三】建築工業に對し民間資金の流入を促進し以て財界不振の一對策たらしめんとする米國新住宅法案は昨年十二月廿一日上下兩院協議會に廻附さ

れたが本年初頭以來の通常議會において討論を繼續した結果廿一日に至つて上下兩院とも兩院協議會において成立せる案を可決しホワイトハウスに廻附ルーズヴェルト大統領の署名を求むる事になつた

戦債の代りに島嶼割讓せよ

ワシントン【二三】民主黨上院議員ハミルトン・ルイス氏は卅一日午後の米國上院本會議の席上、歐洲各國は戦債支拂ひの一部として米國に屬島嶼を割くべきだと論じ左の如く述べた

歐洲各國は今や對支援助に付き米國の協力を求めて居るがそれならば各國は宜しくその所有する島嶼の一部を海空兩軍の根據地用として米國に與ふべきだ、これらの諸國は米國に對し百廿億弗の戦債支拂を負つて居るからその支拂ひの意味で目下差し當つて使用の必要ない大西洋、太平洋兩方面の一定島嶼を米國に割くべきである、その代り債務國はヴェルサイユ會議がドイツを支那から追ひ山東を回復した代償として日本に與へた太平洋島嶼を米國に與へる様日本に要請出來よう

之に對し民主黨エドウィン・ジョンソン議員も賛意を表しルーズヴェルト大統領の國防教書を支持した後次の如く述べた余は上院が米國政府の外交政策の實體は果して如何なるものか政府に對し説明を要求する權利ありと考へる、從來各種各様の人によつて各種各様の演説聲明が行はれて來たがいづれもいふ所喚ひ違ひがある、蓋しその理由は米國政府の外交政策の實體が神秘と秘密に包まれてゐるからだ

ト・ウォルシニ、ウイリアム・マカヅーの兩民主黨議員も賛成演説を行つた

☆ 國 防

海軍舉行演習

サンビードロ【二三】合衆國艦隊の驍艦主力艦十隻、甲級巡洋艦十三隻、航空母艦三隻、驅逐艦五十餘隻並に潜水艦數隻は卅一日カリフォルニア州サンビードロ軍港を中心として壯烈な攻防演習を開始した、演習は来る三月舉行される年次大演習の豫行で二月四日迄五日間に亘り近代的立體戰を展開するが今回の演習にはヘップバーン提督の後任として司令長官に就任したアーサー・ブロック提督が初陣の采配を揮つて居る、ブロック提督は演習開始に當り特に全艦隊の將兵を激勵左の訓辭を與へた

我々の存在する所以は一つに戦ひに備ふるにあり、各員奮勵時も心を緩めず艦隊の戦闘力を常に無敵たらしめよ

爆撃機中隊布哇移駐

ハミルトンフィールド(カリフォルニア州)【二三】米國政府は極東に於ける事態の發展に鑑み布哇根據地の防備強化に邁進してゐるが近くハミルトンフィールドにある米國陸軍爆撃機中隊を布哇に移駐させるに決定した旨廿一日ハミルトンフィールド陸軍當局から發表された、右爆撃機中隊長ジェームス・テラー少佐以下士官卅名兵百八十名は爆撃機十三臺と共に来る二月一日運送船レバブリック號でサンフランシスコを出發ホルル近郊のヒックマンフィールド新根據地に向ふ豫定である

☆ 經 濟

銀行持株會社統制案近く立案

ワシントン【二三】ルーズヴェルト大統領の特株會社抹殺聲明以來米國政府の特株會社に對する態度は各方面に於て大に注目されてゐるところであるがモーゲンソウ財務長官は本日新聞記者團との會見に於て銀行持株會社統制に關し次の如く言明した

今週中に聯邦政府の金融關係首腦者の會合を開催して銀行持株會社の統制乃至禁止に關する法案の立案を行ふことになつてゐる

これより先ヴァージニア州選出民主黨上院議員にして上院の銀行通貨委員たるカーター・グラス氏も五ヶ年以内に銀行持株會社を廢止せんとする趣旨の法案を近く提出すべき旨言明した、尙同氏はこの案については別に財務當局と協議した譯ではないといつてゐる

株式空賣壓

ワシントン【二三】米國證券取引所取締役委員會は本日左の趣旨の規定を採擇株式市場に於ける空賣に彈壓を加へることになつた

一 米國內の如何なる株式取引所に於ても前日大引値段より八分一ポイント若しくはそれ以上の上値を以てするに非ざる限り空賣をなすことを得ず

一 右は二月八日より實施す
尙この規定が適用されれば市場が下落趨勢にある場合空賣をなすことは事實上不可能となるので當業者の間にセンチシオンを起してゐる

賃銀引下げに大統領警告

【二五】米國鐵鋼會社と鐵鋼労働組合との現行賃銀協定が来る二月末で満期となるのでこれを機会に鐵鋼價格の引下げ及び鐵鋼労働者の賃銀引下げが行はれるであらうとの風説ありU.S. スチール會社々長ベンジャミン・フエアレス氏も

賃銀の引下げなくしては鐵鋼價格の引下げは行ひ得ない
旨言明したがこれに對し廿五日ルーズウエルト大統領は新聞記者團との會見に於て次の如きステートメントを手交し賃銀引下げに反對なる旨を正式に表明するところがあつた

米國産業の販賣市場は比較的貧困なる労働階級の購買力に依存してゐる、若し昔日の繁榮を再び享受したいと欲するならばこの労働者の購買力の増加を計りこそすれ決してその減退を來す如きことを行つてはならない、生産品の價格が低下する事の實は大量生産を行ふ産業こそが負ふべきものである何となればかかる産業は大量生産することによつてその企業利潤を見出さうとしてゐるからである、蓋し生産品の賣行きを増加する方法は大量が喜んで支拂ひ得るやうな價格で物資を生産する以外には他に途がないのである

消息通はこの大統領のステートメントを以て産業界に對し賃銀引下げは商工業の不況を更に悪化せしめる所以であることを強調し更にその結果景氣後退克服のため政府はビッグ・ビジネスに對し必要な諸々の措置を採るの必要に迫られるであらうと暗示し警告せるものと解し頗る

重要視してゐる

鐵鋼値下げ期待

【二六】ルーズウエルト大統領の聲明に對し一般には次の如き觀測が行はれてゐる
目下各鐵鋼會社において賃銀引下の交渉は於てジョン・ルイス一派の産業組合組織委員會を援助して賃銀引下に反抗せしめんとするにあるものと見られる、この結果鐵鋼業における賃銀引下は全く不可能となつた譯で當分は全般的な鐵鋼價格の引下はあるまいといふのが一般の觀測である

▲賃銀引下反對で株式崩落 ニューヨーク【二六】廿六日のニュー YORK 株式市場は新年來の最も激しい賣り物に壓せられて一弗乃至七弗崩落した、これは先頃來市場の氣配が兎角軟弱化して居た所へ廿五日ルーズウエルト大統領が賃銀引下げ反對の聲明を行つた爲めである、蓋し産業界では最近賃銀引下げの氣分が濃厚で若しこれを實現すれば諸會社の業績に好影響を齎らすべしと期待されてゐたものが右大統領の反對聲明でこれが期待薄となり加ふるにU.S. スチール會社の普通株無配當表を初め一部會社が減額乃至無配を發表した爲め益々賣り物を促進する結果となつたのである

▲大統領自動車業者と協議
ワシントン【二三】ルーズウエルト大統領は廿一日自動車製造業者の有力者を招いて協議するところあつたが右席上では自動車月賦販賣に關しルーズウエルト大統領が抱懐せる意見の開陳があつたもの

如く會談終了後製造業者の有力者は「大統領の抱懐する自動車月賦販賣に關する原則には心から賛成して居た」と語つた、一方自動車製造業者協會長アルヴィン・マコーリー氏は左の如く語つた
普通の月賦販賣はこれを續けて行くが然しセルルスマンをして自動車の押賣をさせることには賛成出來ない旨申上げて來た

最近の就業狀態

【二三】米國労働長官フランシス・パーキンス女史は廿一日米國に於ける最近の労働者就業狀態につき左の如く發表した
昨年十一月十五日から同十二月十五日迄の一月間に於ける米國の就業者狀態は就業者と失業者の差引に於て結局就業者卅萬人の減少となつて居る、而して週賃銀支拂額は同期間中に一千五百八十萬弗の減少を示した、尙ほ工業方面に於ける就業者の減少は小賣業方面に於ける季節的就业増加のため一部相殺された形になつて居る

▲工業生産常態に復す
ワシントン【二七】米國の聯邦準備制度理事會は廿七日、本年一月最初の三週間に於ける米國の工業生産高が略々常態の季節的數量に増大したことを報じ、昨年九月頃から始つた工業生産漸減傾向もこゝに終熄したとなしてゐる

▲造船界活況
ワシントン【二三】造船専門家の計算によれば下院海軍委員長カール・ヴァインソン氏提案の八億弗建艦計畫が實施されることとなれば今後四ヶ年に亘り平均二萬三千三百名の労働者が造船所方面で必要とされるものと豫測される他方聯邦海軍委員會は最近二億弗の豫算を以て大商船隊の建造を開始したが米國造船界はこれ等の註文で稀有の大活況を呈してゐる

▲製鋼作業率縮減
【二四】米國鐵鋼協會調査
今週の製鋼作業率は全能力の三二、七%と見積られ前週に比し二、九%方の恢復を示してゐる

▲US スチール工場近代化
【二三】米國最大の製鋼會社たるU.S. スチール會社々長ベンジャミン・フエアレス氏は廿二日同社の工場近代化計畫につき左の如く發表した
U.S. スチール會社は總額八千萬ドルの費用を使つて工場の近代化計畫を實行する、尤もこの計畫の進行は景氣情勢に依存する所が多いが余の見るところでは米國の景氣はすでに今日見直しつつある

▲造船建造補助
ワシントン【二六】米國政府海軍委員會は豫てアメリカ・ユキスポート汽船會社との間に新船建造補助金問題につき折衝中のところ今回いよいよ協定成立し同汽

船會社は政府補助の下に今後五ヶ年間に三千七百萬弗で一昨年の一千廿四機、金額二千六百萬弗に比すると數に於て減少し金額に於て激増してゐるがこれは航空機が漸次大型となるとともに航空機がこれに應じて高くなつてゐることを示すものである

人絹續々値下げ

▲セラニーズ社も値下げ ニューヨーク【二三】米國に於けるアセテート系最大の生産會社たるセラニーズ・コーポレーションもアセテート系の賣値を一磅につき五仙乃至六仙方引下げる旨發表した

▲人絹相場連續引下げ ニューヨーク【二四】グイスコース社及パデュ・ボン會社は過般グイスコース系並にアセテート糸の値下げを行つたばかりであるがセラニーズ社が一般大巾値下げを斷行したのでこれに順應するため本日更に賣價の大調整を行ひグイスコース糸百五十デニール四十フィラメント、一等品五十四セント、アセテート糸百デニール四十フィラメント七十セントとそれぞれ五セント方の値下げを發表した

▲ベンベルゲも値下げ ニューヨーク【二五】鋼安糸の生産者としてこれまで値下げの圈外にあつたアメリカ・ベンベルゲ會社も廿六日に至り鋼安糸の賣値を一封度につき二乃至七仙方引下げた、これで年初來の米國人絹糸値下げは各種人絹糸全般に及んだ譯である

▲昨年中航空機販賣高
【二七】米國の航空商業會
議所の發表によれば昨年中の米國製航空機及び同附屬品の販賣高は一億一千五百萬弗で一昨年比し五割方の激増であつ

た、その内軍用機は九百四十九機、金額三千七百萬弗で一昨年の一千廿四機、金額二千六百萬弗に比すると數に於て減少し金額に於て激増してゐるがこれは航空機が漸次大型となるとともに航空機がこれに應じて高くなつてゐることを示すものである

▲米棉の危機
【二六】棉花専門家ベンヂヤミン・アドラー氏は棉花は今や一つの危機に臨むとなし左の如く述べてゐる

た、その内軍用機は九百四十九機、金額三千七百萬弗で一昨年の一千廿四機、金額二千六百萬弗に比すると數に於て減少し金額に於て激増してゐるがこれは航空機が漸次大型となるとともに航空機がこれに應じて高くなつてゐることを示すものである

場の低落が人類の小麦消費を促進せず、に獸類のそれを増加したに過ぎなかつた經驗に徴しても明かである、一九三七年の小麦純輸出高は五億七千三百万ツセルと見積られたがこれは萬國農事協會調査の五億三千五百萬ツセルに比し一千五百萬ツセル方少なくまた食糧調査協會調査の五億五千万ツセルに比すれば三千萬ツセル方少ない、今後数年間の純輸出高は年標準五億五千万ツセルを超える事はあるまい、此見積は過少なものと考へられ易い、事實は稍々多きに過ぐる見積りである、而してそれはヨーロッパ諸國に於いて行はれる可能性のある戰爭準備のためのストック集積工作を勘定に入れてゐないからである

因みに國際小麦諮問委員會は一九三三年世界經濟會議に於いて成立の國際小麦協定に基き設定せられた後一九三五年に同協定が骨抜きとなつた後も協定加盟國の連絡機關として存續し今日に至つて居るものである

世界棉花消費高減少
ニューヨーク【一四】ハリマン・キーチ商會のベンチャミン・アドラー氏は一九三七年の棉花消費高を約三千万俵と見積つてゐる、これは前年度の三千万五千五百俵に比し稍々減少である、右三千万俵のうち米棉消費高は一千二百五十萬俵、他國棉花は一千七百五十萬俵とされてゐる、尙本年八月一日現在の米棉消費高は若し來年度米棉生産額がA・A・Aによつて一千五十萬俵以下に制限されない限り總額二千二百五十萬俵に上るであらう

カルテル鐵鋼輸出値段變更
パリ【一三】最近歐洲或は東洋の鐵鋼市場において米國品の安値進出が顯著となり注目されてゐるが歐洲鐵鋼業者もカルテルとして市場の統制に努力しつゝある國際組鐵鋼輸出組合共同委員會はパリに會合を開き對策協議の結果、昨年五月相場引上げの一方策として採用した早期引渡約定に對するプレミアム徴収を愈々廢止することに決定しカルテル關係の鐵鋼輸出値段の變更が行はれた右のプレミアム廢止は米國鐵鋼の安値競争に對し國際組鐵鋼輸出組合の地歩を強化せんとするものであり従つて右に基き値段引下げも各市場の重要性によりそれぞれ相違して居り米國品の競争が特に甚だしい市場、例へば極東市場等に對しては一層大巾の相場引下げが實施された

ゴム輸出割當減額
ロンドン【一五】國際ゴム統制委員會は本日ロンドンに會合本年第二、四半期のゴム輸出割當額につき協議した結果基準割當額の六十パーセントにすることに決定した、これは第一、四半期の七十パーセントに比し十パーセント方の大巾削減に當る、なほ今回の決定に對する市場の反響を見るに當業者は委員會今回の措置を以て相場を上げるための一ゼスチエアと解し大體に於て好感してゐる、なほ今回の引下げの経過本年上半期の輸出割當額は平均六十五パーセントとなるがこの額なれば米國の現在の消費に對應するには十分なりと見られる、しかし米國の産業活動が著しく回復するやうなことがあればこの程度の生産では到底賄ひ切れないことは明瞭で今後の情勢は米國の景氣

如何にかゝるところが多いとされてゐる

國際勞動總會議題
一 技術教育及職業教育並に徒弟制度
二 土民勞動者の雇傭契約の規律
三 移民勞動者の募集、職業紹介及勞動條件(均等待遇)
四 道路車送及使用せらるる運搬の職業的操縦者(及其の助手)の勞動時間及休憩時間の規律
五 労働時間短縮の一般化
六 主要なる鐵山業及製造工業(建築業を含む)並に農業に於ける時間及賃銀の統計

帝國勞動會議不參加決定
【一三】厚生省では廿四日の院內臨時閣議の決定に基き國際聯盟の一機關たる國際勞動會議總會に政府、資本、労働の各派代表とも派遣せざる旨發表した

代表不派遣に労働局重大關心
ジュネーブ【一五】帝國政府が國際勞動會議に代表を派遣することは見合せるに決定したとの通告は廿五日國際勞動局東京支局長鮎澤氏より國際勞動局に正式通達された、同通告に對し労働局では日本が労働會議から正式脱退する第一歩ではないかとて深甚な關心を寄せてゐる

世界經濟再建報告書發表
パリ【一七】ベルギー前首相ヴァン・ゼーランド博士は「國際貿易に於ける割當」に關する報告書は廿七日夜英、佛、白各國外務省から發表されたが、その内容要旨左の通り

國際經濟に於ける各國の協力こそ自給經濟に優るものである、如何なる國も善かれ悪しかれ國際經濟に於ける一般的方向の影響を免れることは不可能である、自給經濟が不可能であるとの理論的結論は下し得ないかも知れないが事實法外に強力な中央政權によつて支配された廣大な國家市場を有するのでなければ自給經濟の實行が不可能な

ことは明瞭である、自給經濟は生活費を昂騰せしめ延いて生活水準の低下を招來した、余が訪問した各國はいづれも原則的には余の使命に對し多大の關心を示したが然し一旦具體的問題に入ると各國共にその態度は著しく消極的になつたことが明瞭に看取された、各國關稅の全面的引下げは全く不可能な現状に鑑み各國政府は今後現行關稅の引上げ乃至は擴張を實施せむこととし同時に特殊關稅の漸進的引下げを行ふことが現状に即した措置と考へる、更に原料品の輸出に影響を及ぼす輸出關稅乃至は諸制限の緩和を提唱する、關稅障壁引下げの最も有効な手段の一つは最惠國約款に基き双務的通商協定の締結にあるが實際の適用に當つてはこの約款を生むに至つた原精神を尊重しなければならぬ、更に國際貿易を阻害する重大支障の一つとして各種の制限的法規による間接保護主義が擧げられその最も顯著な例は

- 一 各種外國農産物の輸入を禁止する爲めにする植物病害豫防法規の濫用
- 一 特定生産者を目標とする法規の制定
- 一 ダンピング法規の濫用

等がある、斯くて二國間の個別的通商協定こそ最も望ましい手段であるが、この場合兩國間に發生する紛議餘旋の爲め調停機關の設置が考慮され得る次に國際貿易の最大支障の一つは割當制である、割當制の漸進的緩和は最も望ましいが割當額を超過した輸入に對しては高率關稅の賦課も已むを得まい但し割當の緩和は決して國際カルテル

世界經濟報告書完成
パリ【一三】ベルギー前首相ヴァン・ゼーランド博士は英佛兩國政府の依頼に基き昨年四月以來世界經濟再建に關する報告



書の起草を急いでゐたがこの程完成を見たので博士は廿一日シヨータン佛首相並びにチエンパレン英首相宛私翰の形式で英佛兩國政府に同報告書を送附した、ヴァン・ゼーランド博士は最初ドイツを始め經濟自給自足策に突進してゐる諸國に對し先づ經濟的援助を與へる方針を保持するに於ては却つて現下の孤立化傾向を促進するに過ぎないとしてこれに反對を表明した、ヴァン・ゼーランド博士は於ても以上の原則に付き譲歩を要求された模様で近く公表される報告書も右英佛兩國側の反對意見を參酌し當初の提案に比し幾多の重要な修正、追加を加へたものと解される

世界經濟再建報告書發表
パリ【一七】ベルギー前首相ヴァン・ゼーランド博士の「國際貿易に於ける割當」に關する報告書は廿七日夜英、佛、白各國外務省から發表されたが、その内容要旨左の通り

國際經濟に於ける各國の協力こそ自給經濟に優るものである、如何なる國も善かれ悪しかれ國際經濟に於ける一般的方向の影響を免れることは不可能である、自給經濟が不可能であるとの理論的結論は下し得ないかも知れないが事實法外に強力な中央政權によつて支配された廣大な國家市場を有するのでなければ自給經濟の實行が不可能な

ことは明瞭である、自給經濟は生活費を昂騰せしめ延いて生活水準の低下を招來した、余が訪問した各國はいづれも原則的には余の使命に對し多大の關心を示したが然し一旦具體的問題に入ると各國共にその態度は著しく消極的になつたことが明瞭に看取された、各國關稅の全面的引下げは全く不可能な現状に鑑み各國政府は今後現行關稅の引上げ乃至は擴張を實施せむこととし同時に特殊關稅の漸進的引下げを行ふことが現状に即した措置と考へる、更に原料品の輸出に影響を及ぼす輸出關稅乃至は諸制限の緩和を提唱する、關稅障壁引下げの最も有効な手段の一つは最惠國約款に基き双務的通商協定の締結にあるが實際の適用に當つてはこの約款を生むに至つた原精神を尊重しなければならぬ、更に國際貿易を阻害する重大支障の一つとして各種の制限的法規による間接保護主義が擧げられその最も顯著な例は

- 一 各種外國農産物の輸入を禁止する爲めにする植物病害豫防法規の濫用
- 一 特定生産者を目標とする法規の制定
- 一 ダンピング法規の濫用

等がある、斯くて二國間の個別的通商協定こそ最も望ましい手段であるが、この場合兩國間に發生する紛議餘旋の爲め調停機關の設置が考慮され得る次に國際貿易の最大支障の一つは割當制である、割當制の漸進的緩和は最も望ましいが割當額を超過した輸入に對しては高率關稅の賦課も已むを得まい但し割當の緩和は決して國際カルテル

如何にかゝるところが多いとされてゐる

國際勞動總會議題
一 技術教育及職業教育並に徒弟制度
二 土民勞動者の雇傭契約の規律
三 移民勞動者の募集、職業紹介及勞動條件(均等待遇)
四 道路車送及使用せらるる運搬の職業的操縦者(及其の助手)の勞動時間及休憩時間の規律
五 労働時間短縮の一般化
六 主要なる鐵山業及製造工業(建築業を含む)並に農業に於ける時間及賃銀の統計

帝國勞動會議不參加決定
【一三】厚生省では廿四日の院內臨時閣議の決定に基き國際聯盟の一機關たる國際勞動會議總會に政府、資本、労働の各派代表とも派遣せざる旨發表した

代表不派遣に労働局重大關心
ジュネーブ【一五】帝國政府が國際勞動會議に代表を派遣することは見合せるに決定したとの通告は廿五日國際勞動局東京支局長鮎澤氏より國際勞動局に正式通達された、同通告に對し労働局では日本が労働會議から正式脱退する第一歩ではないかとて深甚な關心を寄せてゐる

世界經濟報告書完成
パリ【一三】ベルギー前首相ヴァン・ゼーランド博士は英佛兩國政府の依頼に基き昨年四月以來世界經濟再建に關する報告

の抑壓を意味するものではない

最後に國際貿易に對する障礙の中資本乃至商業の支拂から生ずる通貨上の混亂乃至制限程有害にして恐るべき障害はない、國際貨幣本位問題の解決策として金本位を本来の基礎に相當の修正を加へて再建することが現在の經濟情勢に於ては實行可能であるかどうかは別として余は暫定策として英米佛三國協定の修正及び擴張を提言する、以上修正擴張された通貨協定の當事國は各自通貨の相互的平價(レシポ、ロカル、パリテイ)を規定すると共に將來起ることあるべきその變動を少くとも六ヶ月間一定限度内に止むべき義務を負ふものとする、爲替管理制及び爲替清算制を徐々に廢止することは賛成する、之に關し第一に採るべき最も緊急の措置は商品代價支拂に對する制限の除去である、過去の延滞債務清算については債務國が債權國の通貨を以て表示される證券を發行することが望ましい、余は以上の提案が軍備擴張その他未解決の政治問題の投影下にある事實を無視するを得ない

最後に余は主要經濟國家が豫備的會議を開くことを勸奨する、この會議に於ては以上主要經濟國家が國際經濟協力の企圖に参加することに同意するや否や、又本報告書の要點を討議の基礎として受諾するや否やの意向を確めるものとする、次の段階は各國から情報及び通告を受取り建設的の方策を立案する事務局の創設である

米國、輿論の反響注視
ワシントン【二三】ヴァン・ゼーランド

報告書は米國に於ても廿七日國務省から發表されたがハル長官は報告書に對し贊否の意見發表を差控へ單に「報告書はヴァン・ゼーランド氏が處理せんとしてある問題の解決に貢獻する處多いだらう」と語つたに過ぎなかつた、尙報告書は經濟問題を取扱つたものといへば獨伊兩國の自給經濟主義を繞つて歐洲の政治問題にも關聯して來るので米國が直接ヴァン・ゼーランド案に協力すれば歐洲の政治問題に捲込まれる虞があり國務省が報告書を發表するのは之に對する輿論の反響を探る爲と解される、然し報告書中にはハル長官の抱懐する意見を多分に含んでゐるから國內から猛烈な反對が起きない限り米國政府はヴァン・ゼーランド案に協力する意向と見られる、從つて米國政府としては國內の反響及び之と同時に獨伊兩國の反響を見極めた上態度を明かにする壯と見られる

▲英紙論調 ロンドン【二六】英國議會は近くヴァン・ゼーランド報告の討議を行ふ筈であるが政府としては慎重な態度を取つて内容を仔細に検討し各關係國との共同動作の能否を確めた上で其の可能なるものに付き實行案を考究せんとする方針と傳へられてゐる、然し廿八日朝の各新聞論調を見るにヴァン・ゼーランド博士が道義の難事業を引受け兎に角具體的ではない迄も積極的提案を以て關係國政府に考慮を促す所まで漕付けた努力に敬意を拂ふ點に於て一致してゐるが該提案の實行可能性の問題には何れも前途難關多しとの意を洩らしてゐる、例へばデイリー・テレグラフ紙(保守黨系)は諸列強に經濟的協力の決意有りや否やを知る事が國際經濟調整の第一歩だとするに拘らず之に對する答申の曖昧な事は問題の重大性を語るものであると評しタイムズ紙は

ヴァン・ゼーランド報告書の實行には種々の困難を伴ふべく、爲替制限撤廢の如き殊に然りとする、然しヴァン・ゼーランド博士の所論が空理に走らず職業的偏見に捉はれない點は多しとするものである、該報告に對する輿論は區々であらうが、國際協力の一大貢獻を爲した事は疑ふべきでなく、今後の實行は一に關係國政府の處斷如何に在ると論じてゐる、又マンチエスター・ガーディアン紙は自給主義國家に與へる財政的援助が軍備の目的に轉用されはせぬかと憂慮する點を認め、右に關する保障を必要とするが、斯かる保障は政治的性質を帯びざるを得ずと爲した點に注目してゐる、同時に平和的協力を頼みず戰時

經濟主義に走る諸國家に心理的一轉機を齎らす事となれば萬事都合だが然らざる限り握り滑しの運命に瀆ぶだらうと冷やかな批評を加へてゐる、フアイナンシャル・ニュース紙は全體主義國家に對する經濟援助の諸工作は政治協定、軍縮問題等を伴ふのが當然で、結局ナチス經濟體制の崩壊を意味するが斯かる重大問題を傳統的經濟觀念に依り解決すべしと爲すが如きは非現實的の甚しいものだと言論してゐる

國際聯盟

第百回聯盟理事會議
ジュネーヴ【二五】第百回聯盟理事會は愈々廿六日ジュネーヴに於て英國イーデン外相、フランス、デルボス外相、ソ聯邦トヴィノフ外務人民委員等各國代表出席の下に開會されるが同理事會の主要問題はスイス、ポーランド、オランダ等小國側が強硬に主張してゐる聯盟規約改正問題で一方駐英大使郭泰祺、駐佛大使顧維鈞等の支那代表が勢揃ひするに徴し日支問題を再び理事會席上に持出すのではないかとの豫想も行はれてゐる、又最近の新政體に鑑み理事會を機にイタリアのエチオピア併合承認問題が各國代表間に活潑に討議されよう、理事會の主要議題は次の通り

- 一 常設委任統治委員會、財政委員會、法律家委員會、經濟委員會、保健委員會等の事業報告
- 一 經濟不況問題
- 一 避難民の國際的援助
- 一 規約原則の適用問題

英佛は聯盟規約改正反對
パリ【二三】イーデン英外相は廿五日パリに赴きショータン首相、デルボス外相等フランス政府首腦と聯盟對策を協議することとなつた、右席上英佛兩外相は理事會で爲す英佛共同聲明案につき討議する筈で聯盟に對しては兩國はあくまで歩調を合せ權威を失墜した國際機關の起死回生を計る方針と解される、フランス官邊の消息通によれば聯盟理事會に臨む英佛兩國の態度は次の通り

一 聯盟規約改正の聲が高まつてゐるが英佛兩國は規約の改正には賛成し難い蓋し最も問題視されてゐる制裁條項の第十六條については既に對伊制裁當時これを實施するか否かは完全に各國の自由にて委されたからである、一方規約の根本條項の修正は混亂と聯盟の崩壊を招來するを懼れがある

一 エチオピア併合承認問題については今やエチオピア問題は更に重大な地中海問題並にアフリカ植民地問題に發展するに至り一方國際情勢の好轉は唯歐洲の總括的協定によつてのみ可能だとの見地からエチオピア併合の正式承認はなし得ない

これに對しスウェーデン、オランダ、ベルギー、チエコスロヴァキア等小國側は聯盟原則の無條件遵守に對し留保を附する意向の模様で更にポーランド其他若干國政府は規約十六條制裁條項を存續すべきか否かにつき明確な意思表示を行ふべしと主張し制裁條項の廢棄を要求するものと觀測される、以上小國側の規約改正要求の氣運に對し大國側は現在急急に聯盟の將來に影響を及ぼすべき重大決定を

行ふことは差控へねばならぬとの建前から小國の自重を要望すべく何れにせよ各國代表は理事會席上規約改正問題につき夫々自國政府の態度を表明する模様で規約改正問題は理事會開會を機會に重大展開が豫想される

スイス中立復歸宣言か

パリ【二二】スイス外相モッタ氏は連日(二二)英佛の御用機關と化した聯盟の現状を痛癢、スイス政府の對聯盟態度の變更を示唆して各方面に衝動を與へたが確固するにモッタ外相は第百回聯盟理事會開會に際し開かれる規約改正廿八人委員會席上右方針に基きスイスの嚴正中立への復歸を要求する重大聲明を爲すに決したといはれる、スイスは聯盟加入によりその中立性を制限され特に一九二〇年二月の決議により侵略者に対する財政經濟制裁に參加する義務を課されたが最近大國間の軋轢抗争の激化に伴ひスイス政府は聯盟への從屬に漸く不安を感じ同決議を廢棄して嚴正中立に復歸せんと意向を抱くに至つたと見られる、但し英佛兩國は一方的行爲により無條件中立に復歸することには斷然反對でフランスとしては一九二〇年の宣言からスイスを解放することは事情已むを得ないとしてその場合代償として聯盟の所在地たるジュネーヴに治外法權を設立せねばならぬとの見解を持してゐる模様である、既に三日前ベルリン駐劄フランス大使アルファン氏はモッタ外相に對し同問題を廿八人委員會に提出することを止め暫く列國間に討議の餘裕を與へられたいと要請したがモッタ外相は結局右勸告を一蹴したといはれる

白、經濟特別委員會會議提唱か

ロンドン【二三】今次の理事會に於てベルギー政府は非聯盟國との經濟的協力を目的とする經濟特別委員會設置を提議すると見られるが本案はベルギー前首相ヴァン・ゼーランド博士の世界經濟調査報告書の勸告に基きものと考へられる

英米意見交換説を否定

ワシントン【二三】英米兩國政府は最近當面の重要諸問題につき意見交換を行ひ特に米國は英國がイニシアチヴを採るならばイタリアのエチオピア併合を正式承認する意思ありと示唆したとの報道がロンドン方面で傳へられてゐるが右に關し米國々務省は廿五日

エチオピア併合承認につき英米兩國が意見交換したことはない
と右報道を正式に否定した

英首相、外相意見對立説

ロンドン【二三】聯盟理事會を機會に各國代表間にエチオピア問題が論議されると見られるがアヴァス通信社所報ロンドン外交界の消息によればイタリアのエチオピア併合承認問題を繞りチェンバレン首相とイーデン外相との間に意見の相異を來してゐると云はれる、即ちチェンバレン首相は昨年來懸案の英伊會談再開の爲イタリアのエチオピア併合を事實上承認し今後駐伊英國大使の信任狀記載の宛名を「イタリア國王並にエチオピア皇帝」とせんとする意向を有するに對しイーデン外相はこれに反對して居り従つてエチオピア問題は當分未解決の儘殘されるだらうと見られてゐる

▲ベルチナツクス氏所報

イタリアのエチオピア併合の承認問題を繞り英國政府内ではチェンバレン首相とイーデン外相の意見が對立してゐると一部で傳へられるがエコー・ド・パリ紙外報部長ベルチナツクス氏の報する所によればエチオピア併合承認を主張してゐるのは駐伊英國大使パース卿で同大使はイタリアがリビアの防備を固めてゐる事實を指摘し英國政府がエチオピア併合を事實上承認すればイタリアのリビア防備を緩和せしめ得ると爲し政府に對し從來の承認主義變更を建言してゐると言はれる、然しベルチナツクス氏はエマヌエル三世の稱號問題から米伊通商條約の交渉を途中から停止した米國政府の態度が英國政府に少からず影響を與へてゐるからチェンバレン首相もイーデン外相もパース大使の建言を容れまいと觀測してゐる

英佛重要問題の提出を避く

ロンドン【二三】イーデン英外相とショータン佛首相、デルボス外相等との協議につきアヴァス通信社所報消息通筋の情報によれば英佛兩國政府は右會談の結果今次の理事會に於ては聯盟規約改正を初め重要問題の提案は一切差控へることに決定したと言はれる、更に英國政府はイタリアのエチオピア併合承認問題に關しても承認派たるオスロー協商國との正面衝突は極力これを回避し將來イタリア政府が地中海問題に對し若干の讓歩をなすに至つた時にオスロー諸國に倣ひエチオピア併合を事實上承認する意向と云はれる

オスロー協商國協議

ジュネーヴ【二三】ベルギー、スイス、

スウェーデン、デンマーク、オランダ、フィンランド等のオスロー協商國代表は廿七日秘かに會合し理事會に處するオスロー協商國の態度を討議することとなり其の結果は注目されてゐる

天羽公使壽府へ

ジュネーヴ【二三】スイス駐劄帝國公使天羽英二氏は理事會の動向を外部から嚴重監視する爲五日夜ベルンからジュネーヴに到着し直ちに帝國總領事館に於て宇佐美總領事と日支問題を繞る理事會の情勢を検討した、協議は廿六日午後も續行された

米國公使壽府へ

ジュネーヴ【二三】スイス駐劄米國公使レランド・ハリソン氏は本國政府の訓令に基づき廿七日ベルンからジュネーヴに到着することとなつた、公使はヴァンゼーランド報告が近く發表されんとする折柄經濟財政委員會の活動並に理事會に於ける日支問題の討議を注視し之を米國政府へ報告するものと見られる

第百回理事會開會

ジュネーヴ【二三】第百回聯盟理事會は廿六日午前十一時からイラン代表スイス駐劄公使ムスタファ・アドレ氏司會の下に非公開で開會先づ議題の審議に入り滿場一致之を採擇した後散會した、規約第十六條の制裁規定廢棄を主張するオランダ、スイス、ポーランド等の小國群と之に反對する英佛等の大國との意見對立は依然解消してゐないが消息通筋では第十六條を單に形式的に規約中に殘し實質的には聯盟國を制裁適用の義務から免れしむる或種の非公式諒解が成立するだらう

と豫想してゐる

羅馬尼亞民族討議に反對

ジュネーヴ【二三】ルーマニアのゴーガ新内閣は極右國民基督黨の綱領に基き國內ユダヤ人壓迫の政策を取るに至つたがルーマニア外相イストラチ・ミセスコ氏は、同問題の聯盟理事會上討議を懼れ廿七日イーデン英外相、デルボス佛外相宛左の如き警告を發した

聯盟理事會に於て、ルーマニア在住ユダヤ人問題討議の緊急動議が採擇されば、何れ鐵衛團内閣の出現を促す事とならう、一方ゴーガ首相も止むなく一九一九年に締結された、少數民族保護條約をポーランドが行つた様に一方的に廢棄せざるを得ないだらう

對支援助四國會談

ジュネーヴ【二三】聯盟理事會が日支紛争に關する支那側再度の提訴を如何に處理するかは制裁條項撤廢論が有力に唱へられてゐる今日多大の注目を惹いてゐるがイーデン英國代表、デルボス、フランス代表、リトヴィノフ、ソヴェト代表並にアヴァール事務局長は廿八日午前顯維鈞支那代表を加へて豫備的折衝を行ひ支那政府の提訴に對し理事會の採るべき態度に付き鳩首協議を遂げた、會談の内容は明かでないが理事會としては結局支那側の要望を容れ昨年十月六日總會が採擇した決議と同様「聯盟國は夫々獨自の立場から支那を援助すべき」旨を決議してお茶を濁すのが落ちではないかと觀測される、リトヴィノフ代表が日支問題に付き英、佛、支代表と特に豫備的會談に加はつたことは今同が最初で、ソヴェト政府の對支關心の深さを物語るものとして

注目される

四國會談内容

ジュネーブ【二六】英佛ソ支四國會談は廿八日午前十一時から聯盟小委員會室で開かれたが會談内容につき確開するに先づ顧維鈞代表より重慶政府の訓令に基きブリュッセル會議後の支那事變の推移を説明し日本軍の暴狀を訴へて聯盟の積極的態度決定を要求、一方リトヴィノフ代表は飽くまでソ支合作の立場より支那代表を支持し強硬主張を述べた、これに對しイーデン英外相、デルボス佛外相はオスロー協商國、スイス等が聯盟規約第十六條の制裁義務離脱を要求しつゝある事情を指摘、聯盟として對日制裁の如き斷乎たる措置に出で難い窮狀を説いて専らなだめ役に廻り結局廿九日の公開會議に日支問題を上提することに決定を見、その方式につき種々打合せを行ひ前後一時間五十分の懇談の後午後一時散會した

聯盟支那側主張持て餘し

ジュネーブ【二六】廿八日午前の四國會談に引續き支那代表顧維鈞駐佛大使、英國代表イーデン外相、フランス代表デルボス外相及びソヴェト聯邦代表リトヴィノフ外務人民委員は理事會を終了後再度アヴノール事務總長室に參集し日支問題に關する討議を行つた、席上顧維鈞大使とリトヴィノフ外務人民委員とは對日制裁を強硬に主張したがイーデン外相及びデルボス佛外相は聯盟の現状に於て制裁規定の發動は事實上不可能なる旨を力説して説得に努めた模様である、支那側の主張は聯盟の痛い所をついてゐるので聯盟も持て餘しの態で百方手を盡して支那側の不満を抑へると共に顧維鈞大使の面目

を立てるのに腐心してゐる様子である

アレクサンドレツタ問題討議

ジュネーブ【二六】聯盟理事會は廿八日午後マラン代表ムスタファ・アドレ議長會の下に公開會議を開催、トルコ政府の提出に關するアレクサンドレツタ問題を討議した

對支援助議案成る

ジュネーブ【二六】ジュネーブの英佛ソ支四國會談は廿八日午後二回の二回に亘つて開かれ英國代表イーデン外相、フランス代表デルボス外相及びソヴェト代表リトヴィノフ外務人民委員のほか支那代表部より顧維鈞駐佛大使、郭泰祺駐英大使及び胡世澤スイス駐公使等が出席、對支援助並に對日制裁問題を中心に聯盟のとりべき處置を協議したがUP通信社は右四國會談の結果、英佛ソ間に對支援助の議案が出来上つた旨左の如く報じてゐる

四國會談の席上顧維鈞代表は聯盟の對日制裁を強硬に主張したがイーデン、デルボス兩代表は現状に於て制裁發動の不可能な事情を述べ妥協案として對支クレヂットを設定して武器彈藥を供給する案を示唆した結果英佛ソ三國間で對支援助の試案が出来上り更にこの點について米國の協力を求める事に三代表間に意見の一致を見た、對支援助案の内容に於ては各代表共口を揃して語らないが消息道の觀測によれば
(一) 武器彈藥の支給及びクレヂットの提供
(二) 石油の對日輸出禁止
(三) 日本に對する金融的援助の拒絕

より成るものと信ぜられる

右に關して消息通の一人はU・P記者に對し此の協定の成立如何はショータン佛首相の承認如何に懸ると言つてゐる、又他の一人は「對支援助案については未だ米國政府に協力を申入れてはゐない」と語つた

公開理事會開會

ジュネーブ【二六】第百回聯盟理事會は廿八日午後六時から公開で開かれムスタファ・アドレ議長の開會演説に次いで各國代表交々聯盟に對する忠誠を表明せる演説を行つた、英國代表イーデン外相は聯盟の大勢が破滅に瀕する現實を認識すると共に國際協調の原則を繰返すばかりで別段新味は感じられない、次いで行はれたフランス代表デルボス外相の演説はスペイン、極東の事態を指摘し國際無政府狀態に善處することを要望する程度であつた、ソヴェト代表リトヴィノフ外務人民委員は侵略國ファシスト國を槍玉に擧げ規約による集團的、實質的抵抗を強調したが豫期に反して迫力は認められない、ポーランド代表ベック外相に次いで支那代表顧維鈞大使の番となるや外交團席の宇佐美帝國總領事は心持ち身體を乗出し一語も開漏すまいと緊張の面持だ、顧維鈞代表は例により日本を非難し國家主義的利己主義とか平和愛好國民にとり恐るべき近代戰の殘忍とか述べ立てたが徒らに聯盟國の奮起を懇願するのみ演説低調で意氣上らなかつた

代表リトヴィノフ外務人民委員、支那代表顧維鈞大使並にアヴノール事務總長を交へ午後零時半から事務總長室で前日に引續き日支問題處理につき密議を遂げた席上顧維鈞代表は死物狂ひで對日強硬策を英佛兩國に泣きつきイーデン、デルボス兩外相はこれに引連れられ氣味で結局顧維鈞の面目を考慮し決議案文の作成方を事務當局に委嘱した模様である
米國は議府の筈に隔らぬ
ワシントン【二六】ハル國務長官は廿九日新聞記者團との會見に於て米國政府は對支援助案に協力する意思はない旨次の如く語つた
傳へられる對支援助案に關しては余が未だジュネーブから何等通告に接して居ないが米國政府としてはかかる案に協力する積りは全然ない、米國の極東政策は依然不變である
ワシントン【二六】米國上院外交委員長キー・ピットマン氏は卅日左の如く語つた
武器供給による對支援助案の如きは米國の傳統的的政策たる中立主義と全く相容れないものである

聯盟側米國引入れ辯明

ジュネーブ【二六】米國の對支共同援助拒絕の報道につき聯盟筋ではかかる報道は事實無根であるとして極力これが打消しに大重の有様である、即ち聯盟側では理事會乃至は理事會が理事會に於て目下考慮中の決議案に對し米國の支持を要するやうなことは全くあり得ないこと、未だ考慮したこともない、勿論聯盟として米國政府と連絡をとつた事實はあるが然しこれは單に儀禮的意

味で行はれたに過ぎない
と米國引入れ工作失敗の事實につき極力糊塗の辯明に努めてゐる、一方英國代表部方面でも
米國政府が極東問題に關し聯盟と平行して同様の行動に出ることは明白な事實であるから今更米國に對し共同動作を必要とするやうな事態が起る筈はない
とこれまた米國打診の事實を極力隱蔽せんとしてゐるが、米國の消極的態度に四國會談關係國たる英佛ソ支の失望の色は蔽ふべくもない

▲英代表部も否定 ジュネーブ【二六】英國代表部は卅日對支援助に就き米國の參加意嚮を照會したとの説を正式に否定した
對支援助説とソ紙
モスクワ【二六】ソヴェト各紙は卅日一齊に聯盟の對支援助問題が具體化しつゝある旨を報道してゐるが聯邦共產黨機關「フラウダ紙は卅日の紙上に次の如きアチパリヂアン紙ジュネーブ特電を轉載して
リトヴィノフ外務人民委員は廿九日四國會談の席上正式に被侵略國援助の原則に基き支那を金融的に援助すべしと提議したが、英佛兩國はルーズヴェルト米大統領の同問題に對する決定を待ち米國政府と歩調を一つにする意嚮である

聯盟理事會非公開會議

ジュネーブ【二六】聯盟理事會は廿九日午後非公開會議を開催したが日支問題に關する支那政府の提訴は決議案起草で間

に合はず一方代表も本國政府に請訓する必要上卅一日の會議まで議議を延期するに決定した

英リ相互援助條約提唱説

ニューヨーク【二二】廿九日のハースト系各紙はソヴエトが英國に對し相互援助條約締結を提案したとの記事を見出しで掲げ左の如く述べてゐる

確かな筋からの情報によればリトヴィノフソ聯外務人民委員は聯盟理事會開會に際しジュネーブでイデン英外相に對し日獨を對象とする英ソ相互援助條約締結を提唱した模様である、ソヴエトは特にドイツがソヴエトを攻撃した場合英國の援助を期待してゐる

對日決議案を繰り運事會難航

ジュネーブ【二三】聯盟理事會は對日決議の起草に際し豫想外の難局に逢着した。右決議案の作成を繰り理事會の舞臺裏では各國代表の間に非常な暗闘が行はれてゐる。即ち支那代表顧維鈞氏はブリュッセル會議で採擧されたやうな決議を繰返した所で一體何の役に立つかと致函き、支那政府は事態の如何によつては廿三國諮問委員會乃至更に一步進んで聯盟總會の招集を要求するかも知れないと虚勢を張るに對し、歐洲各國代表はブリュッセル會議失敗の繰返しは飽く迄これを避けたい意向で又聯盟總會が招集されて聯盟の弱點が天下に曝け出されるのを最も懼れてゐる、一方ソヴエト代表は極東に於て四國ブロックを結成する以外日本と對抗する途なしと主張してゐると言はれるが、リトヴィノフ代表は英佛ソ支四國會議の席上ブリュッセル會議に於てボチ

ヨムキン代表が行つた言明

太平洋の平和維持に關心を有する各國の有効な共同動作がなされない限り日支紛争は解決し得ないであらう、ソヴエト政府は斯る目的の爲如何なる具體方法をも極力支援するであらう

規約委員會開會

ジュネーブ【二三】聯盟規約の改正を審議すべき廿八國委員會は卅一日午前十時五十分ベルギー代表ブルカン博士司會の下に開會、聯盟機構の將來に重大變革を加ふべき規約第十六條制裁條項の修正問題を中心として討論を開始したが席上スイス代表カミュー・ジョルジュ氏は率直にスイス政府の聯盟に對する不満を表明しスイスの完全中立回復案提示の意圖を闡明して左の如く述べた

スイス政府は聯盟に對し完全中立即ち今後聯盟國として負擔する一切の義務から解放されることを要求せんとするものである、但しスイス政府は今回の理事會に於てこの中立要求をどこまでもつづばらうとする意圖はない、五月の理事會迄待機する方針である、この際特に強調したいことはスイス政府が聯盟の制裁規定に對し特に多大の不滿を持つてゐることである、蓋し右の制裁規定はスイスをして一方的に國際紛争に捲き込まれる危機に曝すものであり、而もその危険に對し聯盟は何等充り分な庇護を提供してゐないからである、次いでスウェーデン代表ウーデン氏はスイス代表の主張を支持し左の如く力説、聯盟は宜しく今後制裁規定の適用を事實上停止する旨正式承認すべきである

次でオランダ代表ルトゲン氏も傾向から聯盟の態度を非難して曰く

對支援助決議案成る

ジュネーブ【二三】英國代表克蘭ポール外務次官、フランス代表ポール・ボンクール氏、ソヴエト代表リトヴィノフ外務人民委員、支那代表顧維鈞大使は一日の理事會非公開會議を前に卅一日午後聯盟事務總長室に會合、アヴノール事務總長を加へて對支援助決議案の辭句に付き推敲を加へた結果遂に意見一致した、仍つて決議案は一日午前中に各國代表に配布する筈であるが本國政府に請訓のため審議延期を要求する者がなければ直ちに午後零時半から開かれる非公開會議に於て次いで公開會議を開いて採擇する段取りである、決議案は各國別對支援助の原則を規定して居るもので要旨次の通りと見られる

支那代表部聲明内容

ジュネーブ【二三】支那代表部は聯盟理事會を機に極東問題に米國を引入れようとして居るとの報道を否定し卅一日午後五時左の聲明を發表した

日本の對支侵略に對し聯盟の有効適切なる行動を要請するに當り支那政府は聯盟規約に則り終始公正且つ論理的な方法を取つて来た、ジュネーブに於ける支那代表部の努力も亦この方針に基いて爲されたものであり従つて支那代表部が米國を抱込んで極東問題に干渉せしめやうと策動したとか、又新聞に報道された如く支那代表部乃至支那以外の代表部が日支紛争に關聯してフランス及び米國を戦争の渦中に捲込まうとしたなど云ふ如きは誠に笑止千萬な話である、事實は理事會間の會談に於て極東に深甚な利害關係を有する米國政府に對しジュネーブの討論内容を従來通り通報すべしとの議が上り同示唆に對しては支那代表部も異議がなかつた、然も右措置はジュネーブに於ける討論の結果が米國政府の判断を爲すに當り有益なる資料となるが故に一層必要と思惟されたのである、米國政府がその外交政策に於て独自の判断を下し並行的動作を採つてゐることは周知の事實であり今更強調するまでもない、従つて最近の新聞紙上に傳へられた某代表部が米國をして聯盟と協調させるため策動したとの報道は全く根據がないものである

同盟旬報

(毎月三回發行)
定部 卅五錢
半年分 五圓五十錢
壹年分 拾圓
送料一部
壹錢五厘
半年以上の
購読は送料本
郵費込

編輯發行人 大川幸之助
東京市神田區神保町一ノ五六番地
印刷所 濱中製版所
東京市京橋區銀座西七丁目一番地
發行所 同人盟通信社
法人 同人盟通信社

同盟通信社發行刊行物に關する御用はすべて左記宛に御願ひします。

東京市銀座西八ノ九

同人盟通信社別館
法人 同人盟通信社出版部
振替 貯金口座
東京八五〇〇番

専用電話

營業專用 銀座(57)一三五一
編輯部専用 銀座(57)三三三一
發行部専用 銀座(57)四八七〇
同人盟旬報専用 銀座(57)四九九六

同 盟 旬 報 索 引

號九十第卷一第至・號一十第卷一第自

部 門 目 次

宮 廷	一
政 治	二
外 交	五
國 防	八
財 政・經 濟	九
產 業	一〇
交 通・通 信・航 空	一一
教 育	一三
社 會	一三
文 化	一五
地 方 殖 民	一六
拓 殖	一七
國 際 情 勢	一八
支 那 事 變	二二
列 國 事 情 (國 別)	二七



イギリス大使夫妻に御陪食……………二〇九
 イタリア皇帝に御祝電……………二一〇
 伊勢神宮の新嘗祭……………二一〇
 石光中將邸へ勅使御差遣……………二一〇
 宇品凱旋館建設に御沙汰……………二一〇
 上田博士邸へ侍從御差遣……………二一〇
 歌會始題著諸役被仰付……………二一〇
 勅題仰出さる……………二一〇
 敵傍東北陵御改修計畫決定……………二一〇
 オランダ・ベ殿下に御見舞……………二一〇
 小串鐵山樵事に御救恤……………二一〇
 大内山の燈火御管制……………二一〇
 加納少將邸に勅使御差遣……………二一〇
 海軍將兵に勅語下賜……………二一〇
 海軍病院に侍從武官御差遣……………二一〇

畏し御繁忙の聖上陛下……………二一〇
 賢所御神樂の御儀……………二一〇
 龜山天皇御分骨所修理完成……………二一〇
 神嘗祭明治神宮の祈願祭……………二一〇
 觀菊御宴お取止め……………二一〇
 救恤賜金……………二一〇
 宮中新年宴會御取止め……………二一〇
 宮内省豫算會議……………二一〇
 顯官御慰勞賜餐……………二一〇
 皇室喪儀令改正公布……………二一〇
 樞密院可決……………二一〇
 皇族懇談會……………二一〇
 皇族親睦會……………二一〇
 サイム名譽領事に賜謁……………二一〇
 西園寺公帝室經濟顧問辭任……………二一〇
 歳末無料診療費況調査……………二一〇
 士官學校に行幸……………二一〇
 侍從武官御差遣(北支)……………二一〇
 社會事業團に御下賜金……………二一〇

暹羅公使に賜謁……………二一〇
 上海將士に勅語下賜……………二一〇
 重臣等に御陪食……………二一〇
 傷痍將士に煙草御下賜……………二一〇
 青年技手の發明天聽に達す……………二一〇
 戰車隊の行進を天覽……………二一〇
 ソ聯大使に御陪食……………二一〇
 外山中將未亡人女官に……………二一〇
 大正天皇祭……………二一〇
 張國務總理に御陪食……………二一〇
 朝鮮人學園に御眞影下賜……………二一〇
 帝國議會開院式仰出さる……………二一〇
 開院式勅語……………二一〇
 帝室博物館勅上……………二一〇
 帝室林野局官制改正……………二一〇
 帝室林野局新廳舎成る……………二一〇
 東京市に丹頂鶴を御下賜……………二一〇
 東京府救濟施設に御下賜……………二一〇
 中島男禮遇復活……………二一〇
 南京陥落のお歎ひ……………二一〇
 新嘗祭の御儀……………二一〇
 馬場氏邸に侍從御差遣……………二一〇
 幕僚長以下拜謁……………二一〇
 ヘルギー皇帝に御祝電……………二一〇
 ホーランド大使に御陪食を賜ふ……………二一〇
 北支將兵に勅語を賜ふ……………二一〇
 滿洲國皇帝の御祝電に御答電……………二一〇
 明治神宮獻歌歌披講式……………二一〇
 明治神宮例祭大祭……………二一〇
 明治節……………二一〇
 御賀賀御取止め……………二一〇
 御賀賀御儀……………二一〇
 安川男爵家業典喪失……………二一〇
 山本氏邸へ勅使御差遣……………二一〇
 陸海軍に優渥なる御言葉……………二一〇
 陸軍部に清酒御下賜……………二一〇
 陸大、參謀本部に行幸……………二一〇
 聯合艦隊長官等に賜餐……………二一〇
 和仁博士邸へ勅使……………二一〇

皇后陛下……………二一〇
 大宮御所行啓……………二一〇
 御歌と御紋菓下賜……………二一〇
 御喪明け……………二一〇
 着物御下賜……………二一〇
 繡帶御下賜……………二一〇
 陸海軍病院行啓……………二一〇
 皇太后陛下……………二一〇
 御謁見……………二一〇
 御參内……………二一〇
 御仁慈……………二一〇
 女子學習院行啓……………二一〇
 赤十字社行啓……………二一〇
 御仁慈赤十字に傳達……………二一〇
 多摩御陵御參拜……………二一〇
 療養所に御下賜……………二一〇
 皇太子陛下……………二一〇
 御歸京……………二一〇
 御參内……………二一〇
 第四回御誕辰……………二一〇
 著袴の御儀御延期……………二一〇
 義宮寮……………二一〇
 大宮御所へ……………二一〇
 第二回御誕辰……………二一〇
 内親王寮……………二一〇
 照宮寮御遠足……………二一〇
 照宮寮と順山榎葉山へ御成……………二一〇
 照宮寮成田山に御參詣……………二一〇
 照宮寮旗行列に御參加……………二一〇
 照宮寮津津御用邸へ……………二一〇
 孝宮寮殿下……………二一〇
 秩父宮殿下……………二一〇
 御歸朝……………二一〇
 ヴィクトリアへ……………二一〇
 御歸朝の途に(宮内省發表)……………二一〇
 御歸朝記念スタンプ……………二一〇
 御歸朝……………二一〇
 賢所御參拜……………二一〇
 御使命を御復命……………二一〇
 多摩御陵御參拜……………二一〇

御參内……………二一〇
 御慰勞御宴……………二一〇
 御西下……………二一〇
 御巾着金下賜……………二一〇
 自動車工業展御成……………二一〇
 秩父宮殿下にドイツ最高勳章……………二一〇
 兩殿下御轉地……………二一〇
 兩殿下發明展御成り……………二一〇
 高松宮殿下……………二一〇
 御歸京……………二一〇
 自動車工業展御成……………二一〇
 上海戰線御視察……………二一〇
 兩殿下正義館御成……………二一〇
 兩殿下祝賀會登臨……………二一〇
 三笠宮殿下……………二一〇
 御進級……………二一〇
 自動車工業展御成……………二一〇
 閑院宮寮(大本營參照)……………二一〇
 朝日社員舞に參謀總長宮御代拜……………二一〇
 御參内……………二一〇
 御祝電……………二一〇
 船舶業者の光榮……………二一〇
 前線將兵へ清酒御下賜……………二一〇
 獨逸から御贈物……………二一〇
 滿鐵從業員に御言葉……………二一〇
 鐵道職員に御言葉……………二一〇
 讀賣社員舞參謀總長宮御代拜……………二一〇
 陸軍病院御見舞……………二一〇
 若宮殿下御從軍……………二一〇
 若宮殿下御精勵……………二一〇
 東伏見宮寮……………二一〇
 愛婦總裁宮海軍病院へ……………二一〇
 愛婦總裁宮陸軍病院へ……………二一〇
 伏見宮寮……………二一〇
 御參内……………二一〇
 御祝電……………二一〇
 獨逸から贈物……………二一〇
 利子女王十周年祭……………二一〇
 令子女王殿下薨去……………二一〇

御父宮は戦線に	六三
御拜儀	六三
宮内省發表	六三
勅使、御使を御差遣	六三
賀陽宮條	六三
遺族に御下賜	六三
御本邸に	六三
兩妃殿下御病勢	六三
久邇宮條	六三
上海戰線御視察	六三
傷病兵御慰問	六三
多嘉王殿下薨去	六三
侍醫御拜診	六三
薨去	六三
宮内省告示	六三
宮中喪仰出さる	六三
御葬儀掛決定	六三
御喪儀日取、御墓所	六三
御喪儀次第御決定	六三
正裝移柩の御儀	六三
御道筋御決定	六三
斂葬の御儀	六三
墓所祭の御儀	六三
御弔問使御差遣	六三
勅使御使御弔問	六三
三殿下御弔問	六三
三條西大宮司伺候	六三
各宮條方久邇宮家御弔問	六三
三陛下より御下賜品	六三
各宮條方御歸京	六三
三陛下御狀	六三
各皇族文武大官參内	六三
各宮條御服喪	六三
張總理大臣弔電	六三
御五十日祭	六三
各宮殿下御西下	六三
勅使御差遣	六三
梨本宮條	六三
御參内	六三
神宮祭主宮御發令	六三

朝香宮條	一四〇
一番乗部隊に御下賜	一四〇
御從軍	一四〇
陣中御近狀	一四〇
野戰病院御見舞	一四〇
陸軍病院御見舞	一四〇
東久邇宮條	一四〇
御視察	一四〇
妃殿下陸軍病院御慰問	一四〇
北白川宮條	一四〇
大妃殿下御慰問	一四〇
李健公殿下	一四〇
御歸京の途に	一四〇
【叙位叙勳】	一四〇
淺野中將特旨叙位	一四〇
伊海軍次官等に御贈勳	一四〇
伊大佐に御贈勳	一四〇
石渡博士に叙位	一四〇
瓜生大將に加授叙位	一四〇
英人教師に勳章御贈與	一四〇
栗野子に加授	一四〇
栗本中佐叙位	一四〇
定期叙位	一四〇
獨高官に御贈勳	一四〇
沼田氏特旨叙位	一四〇
馬場前内相の餘祭	一四〇
佛武官に贈勳の御沙汰	一四〇
マター氏に御贈勳	一四〇
滿洲事變行賞	一四〇
吉田彌平氏に加授	一四〇
【褒章下賜】	一四〇
跡見女史の光榮	一四〇
磯村氏に藍綬褒章下賜	一四〇
嘉納氏等に褒章下賜	一四〇
十五日に紺綬褒章下賜	一四〇
豊田太藏氏に藍綬褒章	一四〇
吉村、關川兩氏に紺綬褒章下賜	一四〇
【賜杯】	一四〇
故福澤村長に銀杯下賜	一四〇
聖德齋詣功勞者に賜杯	一四〇

政 治

有馬農相九州へ講演旅行	一四〇
賀風閣相演説	一四〇
閣議	一四〇
閣僚往來	一四〇
閣僚參内	一四〇
開僚談	一四〇
有馬農相談	一四〇
大谷拓相談	一四〇
賀風閣相談	一四〇
木戸文相談	一四〇
近衛首相談	一四〇
末次新内相談	一四〇
永井遞相談	一四〇
馬場内相談	一四〇
廣田外相防共協定談	一四〇
米内海相談	一四〇
官廳消費節約申合せ	一四〇
官吏の年賀郵便全廢	一四〇
企畫院	一四〇
官制公布	一四〇
企畫審議會設置決定	一四〇
創設	一四〇
バルブ政策決定	一四〇
要綱決定	一四〇
紀元二千六百年祝典委員會	一四〇
來る二月労働調査實施	一四〇
九國會議不参加	一四〇
不参加回答文大綱	一四〇
教育審議會	一四〇
金融顧問官制決定	一四〇
五相會議	一四〇
厚生省決定	一四〇

内 閣

國家總動員法案要綱	一四〇
參議	一四〇
谷參議談	一四〇
宮中席次	一四〇
末次大將辭任	一四〇
定例會同	一四〇
閣議	一四〇
內閣參議制創設	一四〇
初額合せ	一四〇
發令	一四〇
四相會議	一四〇
首相關西財界と懇談	一四〇
首相新黨運動の情勢聽取	一四〇
重要肥料委員會	一四〇
情報部參與額合せ	一四〇
戰況報告	一四〇
南京攻略説明	一四〇
藏相稅制調査會經過報告	一四〇
大本營政府第一回聯絡會同打合	一四〇
對支國策	一四〇
根本方針決定	一四〇
上海方面前後措置策	一四〇
新方針決定	一四〇
對支建設工作協議	一四〇
南京陷落首相談	一四〇
閣議決定	一四〇
北支經濟開發根本方針	一四〇
帝國燃料會社設立經過報告	一四〇
遞相、首相訪問	一四〇
電力國家管理案要綱決定	一四〇
内務大臣更迭	一四〇
年末賞與國債化運動	一四〇
物價對策委員會	一四〇
答申案内容	一四〇
廢止	一四〇
文官任用令改正骨子	一四〇
文相更迭	一四〇
保健社會省	一四〇
滿洲國治外法權撤廢決定	一四〇
豫算閣議	一四〇

各 省

豫算節約決定	一四〇
【大藏省】	一四〇
愛國公債第二回賣出決定	一四〇
賀風閣相明年度豫算談	一四〇
貸付金處理委員會	一四〇
國內資金調查規則要綱	一四〇
社債信託法改正案骨子	一四〇
新規事業費	一四〇
稅制調查會	一四〇
大藏省提出參考案	一四〇
藏相關西財界と懇談	一四〇
日銀條例改正案提出見合せ	一四〇
年末金融對策	一四〇
藥草增產計畫決定	一四〇
分課規程改正	一四〇
預金部運用委員會決議	一四〇
【海軍省】	一四〇
新規事業費	一四〇
【外務省】	一四〇
駐伊堀田大使贈勳さる	一四〇
駐獨國大使更迭	一四〇
東郷茂徳新大使出鏡	一四〇
東郷歐亞局長滿洲視察	一四〇
【司法省】	一四〇
小串嶺山參事調査	一四〇
護法協會設立打合會	一四〇
財界に司法協力要望	一四〇
司法保護研究協議	一四〇
司法保護事業功勞者表彰	一四〇
【社會保險省】	一四〇
全國刑務所長會同	一四〇
福岡に少年院新設	一四〇
法規整備委員會官制	一四〇
總會	一四〇
民事實業家會同	一四〇
【社會保險省】	一四〇
新規事業費	一四〇

【商工省】

- 小串嶺山慘事調査……………二六九、二七〇
- 軍需品調達獨立機關考慮……………二七〇
- 工場の配給統制方針……………二七〇
- 工業獎勵金交付決定……………二七〇
- 産金振興株式會社法案提出……………二七〇
- 十三年度石油販賣割當量發表……………二七〇
- 重要礦物増産法案提出……………二七〇
- 商業組合法改正案提出……………二七〇
- 新規事業費……………二七〇
- 人織使用獎勵具體案成る……………二七〇
- 製鐵事業委員會三件可決……………二七〇
- 石炭生産調査委員會設置……………二七〇
- 石油開發法修正案提出……………二七〇
- 地方工業化方針……………二七〇
- 調査團リマ渣……………二七〇
- 物資調査課創設計畫……………二七〇
- 貿易斡旋所業務開始……………二七〇
- 【拓務省】
- 伊禮拓務參與官滿鮮視察……………二七〇
- 海外拓殖委員會……………二七〇
- 樺太材増伐限度案……………二七〇
- 青少年滿洲移民計畫……………二七〇
- 拓殖獎勵館設立……………二七〇
- 東拓改正案提出決定……………二七〇
- 南洋確保は不動の國策……………二七〇
- 滿洲青少年移民計畫……………二七〇
- 【逓信省】
- 滑空士試験合格者發表……………二七〇
- 漁船無線通信士試験……………二七〇
- 航空局新規事業計畫……………二七〇
- 航空工業統制法案提出……………二七〇
- 船舶管理委員會……………二七〇
- 對支遞信行政處理委員會設置……………二七〇
- 地方海事官會議……………二七〇
- 電力管理法案提出準備……………二七〇
- 東京邊信病院開設……………二七〇
- 永井遞相航空工業視察……………二七〇
- 北支調査……………二七〇
- 郵便取扱所事務擴張……………二七〇

臨時電力調査會……………二七〇、二七一、二七二

- 官制……………二七〇
- 小委員會答申要綱……………二七〇
- 【鐵道省】
- 小串嶺山慘事對策……………二七〇
- 觀光局北支宣傳活躍……………二七〇
- 小運送業審査委員會官制……………二七〇
- 新廳舎修築式……………二七〇
- 鐵道工事指定請負人規程……………二七〇
- 日滿直通小口貨物運賃制度……………二七〇
- 【内務省】
- 小串嶺山慘事對策……………二七〇
- 小學卒業生就職指導通牒……………二七〇
- 軍事扶助法適用に便法……………二七〇
- 國民精神總動員中央聯盟理事會……………二七〇
- 社會事業調査會總會……………二七〇
- 社會事業法議會提出決定……………二七〇
- 社會保險調査會……………二七〇
- 社會保護特別委員會……………二七〇
- 上海の都市防空視察……………二七〇
- 傷痍軍人救護委員會設置……………二七〇
- 新規事業費……………二七〇
- 地方社會事業職員増員……………二七〇
- 地方統後視察……………二七〇
- 地方制度調査會……………二七〇
- 母子保護法施行令要旨……………二七〇
- 臨時軍事援護部新設……………二七〇
- 【農林省】
- 生絲需要増進調査會……………二七〇
- 經濟更生中央委員會……………二七〇
- 産組監査聯合會取締令公布……………二七〇
- 産業獎勵、助成並補助金……………二七〇
- 新規事業費……………二七〇
- 桑園災害施設助成金制訂……………二七〇
- 高橋農林政務次官渡滿……………二七〇
- 農業災害保險法案審議……………二七〇
- 農業保險最後案決定……………二七〇
- 農相帝農役員招待……………二七〇
- 農村時局對策懇談會……………二七〇
- 農地調査法案要綱……………二七〇

農林部内臨時職員設置制中改正……………二七〇

- 買收生糸審査會……………二七〇
- 米穀配給調整中央委員會……………二七〇
- 來議會に新農地法提出……………二七〇
- 【文部省】
- 醫大官制改正……………二七〇
- 大阪帝大官制改正……………二七〇
- 漢字々體整理案成る……………二七〇
- 學校給食費交付……………二七〇
- 教科書調査會……………二七〇
- 教學局參與發令……………二七〇
- 宗教制度特別委員會……………二七〇
- 新規事業費……………二七〇
- 實業教育擴充方策協議……………二七〇
- 實業教育振興委員會……………二七〇
- 全國女學校校長會議……………二七〇
- 全國商業學校長會議……………二七〇
- 拓殖滿蒙開拓指導開設……………二七〇
- 低度實業補助決定……………二七〇
- 都市青年學校振興協議……………二七〇
- 北海道帝大官制改正……………二七〇
- 文理科大學官制改正……………二七〇
- 【陸軍省】
- 陸軍午餐會……………二七〇
- 新規事業費……………二七〇
- 【樞密院】
- 外交報告聽取……………二七〇
- 外地官制改正案下審査……………二七〇
- 企業院官制案可決……………二七〇
- 顧問官増員せず……………二七〇
- 御諮詢案六件可決……………二七〇
- 皇室要儀令改正可決……………二七〇
- 厚生省官制……………二七〇
- 財政經濟策聽取……………二七〇
- 勅令改正七件可決……………二七〇
- 定例參集天機奉伺……………二七〇
- 内閣參議官制案可決……………二七〇
- 日土貿易協定案可決……………二七〇
- 日獨伊防共協定案可決……………二七〇

保險院問題惡化……………二七〇

- 保健社會省官制審査……………二七〇
- 滿洲國治外法權撤廢條約案可決……………二七〇
- 【貴族院】
- 愛知縣多額議員發令……………二七〇
- 議員氏同成會入り……………二七〇
- 大河内正敏子貴族院に復活……………二七〇
- 大竹貢一氏勸選内定……………二七〇
- 近衛前議長に記念品贈呈……………二七〇
- 上海勸業團出發……………二七〇
- 傷痍軍人慰問……………二七〇
- 歐相實院に説明……………二七〇
- 男爵議員補缺選舉詔書公布……………二七〇
- 戸田忠庸子議員當選……………二七〇
- 徳川義貞侯歸る……………二七〇
- 北支慰問團歸京……………二七〇
- 松平議長西下……………二七〇
- 【衆議院】
- 愛知縣第三區線上當選……………二七〇
- 各派交渉會……………二七〇
- 議會振肅委員會……………二七〇
- 九國會讀聲明……………二七〇
- 政府議會振肅委員と懇談……………二七〇
- 第二回皇軍慰問……………二七〇
- 瀧正雄代議士辭任……………二七〇
- 振滿洲國總理歡迎會……………二七〇
- 調查部運用委員會規定……………二七〇
- 由各義治氏線上當選……………二七〇
- 【第七十三回帝國議會】
- 一 般……………二七〇
- 開院式……………二七〇
- 議會召集詔書公布……………二七〇
- 兩院各派努力……………二七〇
- 貴族院……………二七〇
- 各派交渉會……………二七〇
- 皇軍感謝決議……………二七〇

勅語奉答文……………二七〇

- 部長理事決定……………二七〇
- 衆議院……………二七〇
- 委員長制當決定……………二七〇
- 小串嶺山慘事質問書提出……………二七〇
- 賀派捧捧……………二七〇
- 各派交渉會……………二七〇
- 出征將士感謝並敬用決議……………二七〇
- 常任委員長決定……………二七〇
- 對支問題幹事會……………二七〇
- 勅語奉答文……………二七〇
- 南京陷落に關する賀表全文……………二七〇
- 農村振興同盟代表六相と會見……………二七〇
- 部長理事決定……………二七〇
- 本會議……………二七〇
- 【政黨】
- 【實派各派】……………二七〇
- 中島久萬吉公正會入り……………二七〇
- 【民政黨】……………二七〇
- 小串嶺山慰問團調査……………二七〇
- 各地で演說會……………二七〇
- 幹部會……………二七〇
- 議員總會……………二七〇
- 九國會讀聲明……………二七〇
- 軍事扶助案決定……………二七〇
- 經濟團體代表と稅制懇談會……………二七〇
- 國民生活安定復復活要求……………二七〇
- 合同に民政氣乘海……………二七〇
- 參議制聽取……………二七〇
- 統後施設の完備要望……………二七〇
- 政務調査會……………二七〇
- 戰時對策成案決定……………二七〇
- 戰後對策班組織……………二七〇
- 稅制委員會……………二七〇
- 代表首相訪問……………二七〇
- 土木豫算復活要請……………二七〇
- 北支調査員決定……………二七〇
- 【政友會】……………二七〇

上慈安太郎氏を顧問に推薦…………… 一六七
 小串鎮山見舞調査…………… 一六七
 幹部會…………… 一六七
 議員總會…………… 一六七
 議會報告書要旨…………… 一六七
 產業關係復舊復活要求…………… 一六七
 時局對策協議幹部會…………… 一六七
 時局調查項目…………… 一六七
 首相に進言…………… 一六七
 政調正副會長決定…………… 一六七
 對支有志代議士會…………… 一六七
 地方視察報告幹部會…………… 一六七
 東北大會…………… 一六七
 農工對策特別委員決定…………… 一六七
 非常時對策決定…………… 一六七
 部内に解散論起る…………… 一六七
 豫算削減對策幹部會…………… 一六七
 【社會大眾黨】… 一六七
 稻村隆一氏東方會入り…………… 一六七
 神奈川聯合大會…………… 一六七
 皇軍慰問團歸る…………… 一六七
 皇軍感謝決議傳達…………… 一六七
 市議會勞動意見書提出…………… 一六七
 社大黨會館落成式…………… 一六七
 社大黨解黨問題(吉川氏聲明書)…………… 一六七
 政府激勵決議…………… 一六七
 代議士會…………… 一六七
 第六回全國大會…………… 一六七
 中央執行委員會…………… 一六七
 日本品排斥反對通電…………… 一六七
 農地法案要請…………… 一六七
 山森府議等本部役員辭職要求…………… 一六七
 勞働派檢舉社大黨聲明…………… 一六七
 【其 他】…………… 一六七
 國策研究會全畫院と懇談…………… 一六七
 國民同盟議員總會…………… 一六七
 政黨革新大合同運動…………… 一六七
 全農新方針決定…………… 一六七

對支有志代議士會…………… 一六七
 單一政黨運動…………… 一六七
 政友會留く靜觀…………… 一六七
 頭山滿翁等全國民に飛檄…………… 一六七
 民政黨の對策…………… 一六七
 第一議員クラブ…………… 一六七
 第二控室代議士會…………… 一六七
 東方會全體會議…………… 一六七
 社大稻村隆一氏入會…………… 一六七
 常監會有志政民合同申合…………… 一六七
 府市聯合懇談會…………… 一六七
法令公布
 …… 一六七
 海軍省官制中改正…………… 一六七
 外貨評價委員會官制中改正…………… 一六七
 關東局官制中改正…………… 一六七
 關東州軍需工業動員法適用の件…………… 一六七
 關東州臨時船舶管理令…………… 一六七
 關東州臨時船舶管理令…………… 一六七
 樺太廳官制中改正…………… 一六七
 企畫院官制…………… 一六七
 教育審議會官制…………… 一六七
 金委員官制…………… 一六七
 金使用規則…………… 一六七
 金獎勵章製式佩用中改正…………… 一六七
 魚皮工業用鹽規則改正…………… 一六七
 行政法臺灣施行令中改正…………… 一六七
 熊谷陸軍飛行學校令中改正…………… 一六七
 軍事小運送業に關する件…………… 一六七
 軍需評議會規程…………… 一六七
 刑訴改正法中施行期日の件…………… 一六七
 原蠶種管理施行令…………… 一六七
 原蠶種管理法中施行期日の件…………… 一六七
 高等官々等俸給令中改正…………… 一六七
 國防隊金出納保管の件…………… 一六七
 在滿學校組合令…………… 一六七
 資金調整法臺灣施行の件…………… 一六七
 資金調整法朝鮮施行の件…………… 一六七

資金前渡等に關する件…………… 一六七
 資源調查令中改正…………… 一六七
 出征軍人租稅減免猶豫の件…………… 一六七
 製糸備荒蠶生積立要綱…………… 一六七
 製炭事業委員會官制…………… 一六七
 石炭生産能力調查委員會官制…………… 一六七
 稅務署官制中改正…………… 一六七
 船舶管理委員會官制…………… 一六七
 戰時大本營條例廢止の件…………… 一六七
 臺灣總督府官制中改正…………… 一六七
 地方官々制中改正…………… 一六七
 朝鮮總督府官制中改正…………… 一六七
 通信官署官制中改正…………… 一六七
 逓信省官制中改正…………… 一六七
 鐵道工事指定請負人規程…………… 一六七
 都市計畫法施行令特別の件…………… 一六七
 登錄稅法施行規則中改正…………… 一六七
 東京陸軍航空學校令…………… 一六七
 燈臺局官制中改正…………… 一六七
 內務省官制中改正…………… 一六七
 南洋群島臨時資金調整令…………… 一六七
 南洋貿易產業調整の件…………… 一六七
 日土貿易協定の件…………… 一六七
 日獨伊防共協定條約…………… 一六七
 農村負債整理資金特融施行の件…………… 一六七
 農地調整法案要綱…………… 一六七
 農林部內臨時職員設置制中改正…………… 一六七
 白金使用制限規則…………… 一六七
 兵役法施行令中改正…………… 一六七
 米穀應急措置法施行の件…………… 一六七
 米穀輸入稅增加件中改正…………… 一六七
 母子保護法施行令…………… 一六七
 保險業法改正調査委員會官制…………… 一六七
 保健社會省組織大綱…………… 一六七
 法規整備委員會官制…………… 一六七
 防衛司令部令改正…………… 一六七
 防空法權太施行令…………… 一六七
 防空法臺灣施行令…………… 一六七
 防空法朝鮮施行令…………… 一六七
 北海道廳官制中改正…………… 一六七

滿洲國委託通信業務の件…………… 一六七
 滿洲國治外法權廢條約…………… 一六七
 陸軍給與令中改正…………… 一六七
 陸軍航空技術學校令中改正…………… 一六七
 陸軍航空本部令中改正…………… 一六七
 陸軍士官學校令中改正…………… 一六七
 陸軍豫科士官學校令中改正…………… 一六七
 臨時大藏省設置の件…………… 一六七
 臨時資金調整法權太施行の件…………… 一六七
 臨時內閣參議官制…………… 一六七
 臨時肥料配給統制法施行令…………… 一六七
人 事
 …… 一六七
 【叙位叙勳】…………… 一六七
 伊海軍次官等に御贈勳…………… 一六七
 高顯榮氏特旨叙位…………… 一六七
 馬場前內相の餘榮…………… 一六七
 滿洲事變行賞…………… 一六七
 山本佛次郎氏叙位…………… 一六七
 【官廳辭令】…………… 一六七
 宮內省…………… 一六七
 內閣參議發令…………… 一六七
 企畫院總裁瀧正雄…………… 一六七
 次長青木一男…………… 一六七
 法制局長官船田中…………… 一六七
 文部大臣木戶幸一…………… 一六七
 陸軍省…………… 一六七
 小磯國昭…………… 一六七
 畑俊六…………… 一六七
 軍務局長…………… 一六七
 中部防衛司令官…………… 一六七
 海軍省…………… 一六七
 大津要港部司令官…………… 一六七
 海大校長兼海軍技術會議々員…………… 一六七
 教育局長…………… 一六七
 軍事參議官…………… 一六七

軍令部次長…………… 一六七
 佐世保鎮守府司令長官…………… 一六七
 第二艦隊司令長官…………… 一六七
 駐滿海軍部司令官…………… 一六七
 鎮海要港部司令官…………… 一六七
 燃料廠長…………… 一六七
 馬公要港部司令官…………… 一六七
 舞鶴要港部司令官…………… 一六七
 練習艦隊司令官…………… 一六七
 聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令官…………… 一六七
 末次大將豫備役…………… 一六七
 大藏省…………… 一六七
 爲舊局長中村孝次郎…………… 一六七
 司法省…………… 一六七
 司法次官岩村浦世…………… 一六七
 外務省…………… 一六七
 歐亞局長井上庚二郎…………… 一六七
 新嘉坡總領事岡本一策…………… 一六七
 調查部長米澤菊一…………… 一六七
 波蘭大使酒匂秀一…………… 一六七
 內務省…………… 一六七
 岡山縣知事…………… 一六七
 香川縣知事…………… 一六七
 計畫局長…………… 一六七
 醫務局長…………… 一六七
 次 官…………… 一六七
 土木局長…………… 一六七
 栃木縣知事…………… 一六七
 福井縣知事…………… 一六七
 福岡縣知事…………… 一六七
 三重縣知事…………… 一六七
 文部省…………… 一六七
 教學局參與發令…………… 一六七
 大 臣…………… 一六七
 北海道帝大總長…………… 一六七
 農林省…………… 一六七

外 交

時事懇談會發會式……………二七七

參照：「國際情勢」列國事情

一 般

外務省長老招待……………二〇五
遣外國民使節……………二〇五
對滿事務局……………一〇七、一〇七、二〇二、二〇五
次長原邦道……………二〇七
警視廳……………二〇七
歸國總監安倍源基……………二〇七
東京市……………二〇七、二〇七
教育局長……………二〇七
其他任命……………二〇七
大藏省金融顧問……………二〇七
金委員會委員……………二〇七
軍需評議會委員……………二〇七
鑛業法改正調査委員……………二〇七
小運送審査委員……………二〇七
石炭生産能力調査委員……………二〇七
船舶管理委員……………二〇七
中央防空委員……………二〇七
米穀配給調整中央委員會委員……………二〇七
貿易局專門委員……………二〇七
臨時電力調査會幹事及委員……………二〇七
人事往來……………二〇七
大野朝鮮政務總監東上……………二〇七
拓務參與官滿洲視察……………二〇七
東郷鐵道局長滿洲視察……………二〇七
林銃十郎大將名古屋へ……………二〇七
本庄大將歸京……………二〇七
松岡滿鐵總裁東上……………二〇七
天津着……………二〇七
北京へ……………二〇七
其他……………二〇七

時事懇談會發會式……………二七七

大倉使節……………二〇六
ニューヨーク着……………二〇六
パリ着……………二〇六
ローマ着聲明……………二〇六
アウグストス屈覽會參觀……………二〇六
伊極東協會主催歡迎會……………二〇六
伊政府首腦と會見……………二〇六
日伊交際晩餐會……………二〇六
トリポリ着……………二〇六
トリノで歡迎……………二〇六
ローマへ歸還……………二〇六
ム首相生家訪問……………二〇六
飛行機工場見學……………二〇六
イタリヤの印象を語る……………二〇六
防共協定記念章を贈らる……………二〇六
ステートメント發表……………二〇六
御別れ晩餐會……………二〇六
パリ着……………二〇六
ロンドンへ向ふ……………二〇六
出 發……………二〇六
桑港着……………二〇六
龜井使節……………二〇六
米……………二〇六
緋育着……………二〇六
清澤使節……………二〇六
ワルシャワへ向ふ……………二〇六
タイムス紙に寄稿……………二〇六
伍堂使節……………二〇六
訪獨好感……………二〇六
首相訪問……………二〇六
全ドイツへ放送……………二〇六
ステートメント……………二〇六
伯林で語る……………二〇六
獨空相と會見……………二〇六
獨外相と會見……………二〇六
獨外相と會見……………二〇六
獨紙に資源再分配論發表……………二〇六

日本の立場を表明……………二〇六

酒井正義閣長……………二〇六

羅育着……………二〇六

佛敎派遣使節出發(暹羅へ)……………二〇六

町田使節……………二〇六

出 發……………二〇六

紐育着……………二〇六

歐洲に向ふ……………二〇六

パリ着……………二〇六

パリで招待會開催……………二〇六

羅育着……………二〇六

活 躍……………二〇六

英國へ向ふ……………二〇六

紐育着……………二〇六

佛敎派遣使節出發(暹羅へ)……………二〇六

町田使節……………二〇六

出 發……………二〇六

紐育着……………二〇六

歐洲に向ふ……………二〇六

パリ着……………二〇六

パリで招待會開催……………二〇六

羅育着……………二〇六

活 躍……………二〇六

紐育へ……………二〇六

米大統領と會見……………二〇六

日米關係悪化を憂慮……………二〇六

山田女史米大統領夫人と會見……………二〇六

山本カトリック使節出發……………二〇六

シンガポール着……………二〇六

樞密院外交報告聴取……………二〇六

東洋協會政府激勵……………二〇六

在外公館……………二〇六

南阿聯邦に公使館新設……………二〇六

メナド領事館開設……………二〇六

在外使臣……………二〇六

海甸大使信任狀捧呈……………二〇六

谷駐埃公使歸國……………二〇六

駐獨大使更迭……………二〇六

中山公使信任狀捧呈……………二〇六

消息……………二〇六

シヤム公使信任狀捧呈……………二〇六

ポーランド大使信任狀捧呈……………二〇六

對アメリカ……………二〇六

故瓜生大將の書翰到着……………二〇六

龍田丸が手紙押収……………二〇六

日本船アラスカ出漁係争……………二〇六

ビケット實施延期……………二〇六

パネー號事件……………二〇六

相……………二〇六

獨伊新聞評……………二五、二五、二五、七〇〇
英國遺徳とす……………二五

英紙論調……………二五、二五

英消息通密約説否定……………二五

英、中立筋観測……………二五

英米ソ三國政治的示威説……………二五

英米佛三國會議か……………二五

オーストリア紙批評……………二五

九國會議の影響を憂慮……………二五

支那反對……………二五

スイス紙批評……………二五

ソ聯狼狽……………二五

第三インター聲明……………二五、二五

チェッコ反對……………二五

佛社會黨協定反對……………二五

佛政界衝動を受く……………二五

佛、防共協定を適用せん……………二五

佛紙論調……………二五

米官邊の見解……………二五

米財界驚かず……………二五

米紙論調……………二五、二五

米識者の協定観……………二五

米消息通批評……………二五

ベルギー紙批評……………二五

ペルー好感……………二五

ポリヴィア不参加……………二五

ポーランド歓迎……………二五

ポーランド大使キチ宮訪問……………二五

ポーランドの態度……………二五、二五

波蘭、葡國、フランコの態度……………二五

ポルトガル支持……………二五

滿洲國總理祝賀表明……………二五、二五

ユーゴスラヴィア紙批評……………二五

フアシスト訪日使節團發表……………二五、二五

對イラク……………二五、二五

イラク對日求價率變更……………二五

對印度……………二五

日印通商新議定書正式調印……………二五、二五

外務當局談……………二五

批准公布……………二五

批准書交換……………二五

對オーストラリア……………二五

日濠海運會商延期……………二五

日濠海運會商漸く開幕……………二五

對オランダ……………二五

和蘭艦艇聯邦船射擊報告……………二五

蘭印政府に漁船事件を抗議……………二五

對カナダ……………二五

日本漁業の加祭院進出……………二五

對冀東政府……………二五

通州事件解決公文交換……………二五

對シヤム……………二五

日暹通商航海暫定條約調印……………二五、二五

外務當局談……………二五

對スペイン……………二五

サラマンカに日章旗……………二五

スペイン代理公使任命……………二五

高岡代理公使サンセバスチャン着……………二五

フランコ政權承認決定……………二五

閣議承認決定……………二五

外務省聲明、當局談……………二五

西班牙代理公使の感懐……………二五

廣田外相メッセジ……………二五

ロンドン大使館當局談……………二五

革命政權承認放送……………二五

列國反響……………二五

アメリカ……………二五、二五

イギリス……………二五

イタリア……………二五

對ソヴェト……………二五

【一 般】……………二五

太田領事代理歸朝談……………二五

ソ聯日本スバイの活躍を認ふ……………二五

對ソ外交に關する有志進言……………二五

對ソ問題解決促進懇談會……………二五

日ソ關係緩和に支那失望……………二五

【漁業條約問題】……………二五

外務省情報部長談……………二五

日ソ漁業條約會商開始……………二五

會商促進要望外務聲明……………二五、二五

協定再延長……………二五

外務當局談發表……………二五

日ソ條約締結に業者強硬……………二五

日ソ協定延長に業者大不満……………二五

明年度入札漁區發表……………二五

【北權利權問題】……………二五

北權利權問題折衝……………二五

政府、北權利權擁護方針……………二五

ソ聯の北權利權壓迫事實……………二五

【半島同胞壓迫問題】……………二五

沿海州鮮人の強制移住も抗議……………二五

ソ聯在住半島同胞を壓迫……………二五

ソ聯在住半島同胞壓迫情報部長聲明……………二五

ソ聯半島同胞壓迫抗議を拒絶……………二五

半島同胞虐殺事件対策……………二五

【不法事件】……………二五

ソ聯の不當行為に抗議提出……………二五、二五

廣岡氏談……………二五

ソ聯邦船を不法射撃……………二五

照風丸にソ聯の挑撃行為……………二五

對トルコ……………二五

日本土耳其貿易協定艦府可決……………二五

日本土耳其貿易協定正式調印……………二五

新協定要點……………二五

對ドイツ……………二五

ドイツ親日態度強化……………二五、二五

東郷大使着任……………二五

日獨伊防共協定（對イタリアの項参照）……………二五

ヒ總統演説……………二五

獨紙論調……………二五、二五

日獨文化映書交換協定成立……………二五、二五

日獨文化提携……………二五

日獨防共一周年記念祭……………二五

【對イタリアの項参照】……………二五

記念交際放送……………二五

獨逸から贈勳……………二五

大阪の祝賀……………二五、二五

獨逸高官に御贈勳……………二五、二五

獨逸大使館の祝賀……………二五

獨逸大使メッセジ……………二五

獨逸祝賀……………二五

新聞論調……………二五

宣傳相メッセジ……………二五

日獨伊午餐會……………二五

日獨大晚餐會……………二五

武者小路大使談……………二五

防共記念放送……………二五

防共週間開催……………二五

日獨防共協定記念事業……………二五

日獨防共強化同志主催晚餐會……………二五

廣田外相メッセジ……………二五

防共強化運動……………二五

大日本正義國防共決議……………二五

日獨協定強化講演會……………二五

防共協定強化國民大會準備……………二五

防共強化實行委員會計畫決定……………二五

武者小路大使歸國の途に……………二五

歸任挨拶……………二五

獨紙惜む……………二五

對バラグワイ……………二五

バラグワイ國新政府承認……………二五

對ビルマ……………二五

日緬通商條約批准……………二五

對ブラジル……………二五

澤田大使ミナス州訪問……………二五

日伯關係軌道に乗る……………二五

ブラジルに移民問題好轉か……………二五

ブラジルに移民渡航……………二五

ブラジル大使政變説明……………二五、二五

對滿洲國……………二五

既大使伊勢神宮參拜……………二五

青少年滿洲國移民計畫……………二五

孫民政部大臣渡日……………二五

日滿直通小口貨物運賃制度……………二五

日滿通信業務協定調印……………二五

滿洲國治外法權撤廢……………二五

關議決定……………二五

記念交際放送近衛談……………二五

樞密院審議……………二五

日滿軍法法規調整公文交換……………二五

聖上陛下へ御祝電……………二五

聖上陛下御答電……………二五

在滿諸機構改正實施決定……………二五

治外法權撤廢條約……………二五

條約正文、附屬協定……………二五

歴史的調印する……………二五

條約公布……………二五

帝國外務省聲明……………二五

治外法權撤廢の意義……………二五

治外法權撤廢の結果……………二五

滿洲國政府聲明……………二五

滿洲國記者團訪日……………二五

滿洲國大使館祝賀……………二五

滿洲國々々務總理謝電……………二五

滿洲國々々務總理訪日……………二五

滿洲國々々民使節訪日……………二五

滿洲國の祝賀……………二五

郵便年金事務滿洲國委託... 二六六

對南阿弗利加聯邦... 二六六

對國際聯盟... 二六六

「國際情勢」參照... 二六六

天羽公使英代表と會見... 二六六

帝國第二段の策戦に着手... 二六六

聯盟決議と帝國の態度闡明... 二六六

情報部長談話... 二六六

國際動向研究會聲明... 二六六

通商問題(貿易)參照... 二六六

近東視察團がマスカス到着... 二六六

商工省調査團リマ着... 二六六

對米絹業使節と紐育の觀測... 二六六

雜 事(國民外交)

アメリカ兒童に羽子板... 二六六

伊國へ法隆寺壁畫の複製... 二六六

伊大使に京人形寄贈... 二六六

伊大使に日本畫贈呈... 二六六

ウエーブ遺族に日本畫贈呈... 二六六

小川外務書記官渡瀨... 二六六

海外拓殖委員會... 二六六

觀光日本の恩人來朝... 二六六

クロードル氏和歌講演... 二六六

國際親善協會のお茶の會... 二六六

近衛子純育行中止... 二六六

親日佛文藝訪日... 二六六

角阿知良氏に供國勳章... 二六六

赤十字社國際委員ワ左來朝... 二六六

大學教授聯盟外國記者招待... 二六六

日獨伊親善の夕べ... 二七〇

日獨少年交誼計畫進む... 二七〇

日伯商業會議所創立... 二七〇

日秘文化協會生る... 二七〇

日波親善の夕... 二七〇

日暹親善佛敎使節歸る... 二七〇

汎太平洋クラブ二米人招待... 二七〇

ヒ總統に筆筒... 二七〇

米加婦人敎育家來朝... 二七〇

ボルネオ島に初移民... 二七〇

波蘭の「日本特報號」... 二七〇

マター氏の光榮... 二七〇

ルツター元獨首相來朝... 二七〇

ワレニウス將軍來朝... 二七〇

參照「支那事變」(國際情勢)

海軍部當局談... 二七〇

政府との連絡會議續く... 二七〇

戰時大本營條例全文... 二七〇

戰時大本營條例廢止... 二七〇

戰捷の報を内奏... 二七〇

大本營設置... 二七〇

教育總監參內... 二七〇

敎導學校優等生... 二七〇

軍機保護法施行... 二七〇

軍需豫備員令制定... 二七〇

軍需豫備員令制定... 二七〇

憲兵令改正... 二七〇

憲兵令改正... 二七〇

工科學校生徒募集... 二七〇

航空技術學校卒業式... 二七〇

航空學校新設... 二七〇

航空學校生徒採用規則... 二七〇

航空兵科に將校轉科發令... 二七〇

航空本部令一部改正... 二七〇

國防隊令制定... 二七〇

最高部會同... 二七〇

在營期間延長省令公布... 二七〇

士官學校卒業式... 二七〇

死役者特別賜金規程制定... 二七〇

少尉候補者任官... 二七〇

少尉特別進級... 二七〇

少年電信兵卒業式... 二七〇

民間航空機配屬將校發令... 二七〇

豫科士官學校創立記念式... 二七〇

要票司令部條例改正... 二七〇

陸軍順位令制定... 二七〇

陸軍大學卒業式... 二七〇

陸軍大學卒業式... 二七〇

陸軍大に航空學生制度新設... 二七〇

陸軍の用語法改正... 二七〇

陸軍補充令改正公布... 二七〇

陸軍豫科士官學校卒業式... 二七〇

陸軍士官年限更に短縮... 二七〇

陸士所在地相武蔵と御命名... 二七〇

留守部隊在營期間延長... 二七〇

委託飛行練習生卒業式... 二七〇

大角大將佐世保へ... 二七〇

乙巡利根進水... 二七〇

陸軍參謀官航空廠視察... 二七〇

海軍士官二年現役制增設... 二七〇

海兵團令改正... 二七〇

各大臣航空視察... 二七〇

驅逐艦朝雲進水... 二七〇

大阪地方防空演習... 二七〇

官廳防空計畫打合せ... 二七〇

關東、東北防空演習... 二七〇

警視廳防空會議... 二七〇

上海の都市防空視察... 二七〇

西部防衛地區に警戒警報... 二七〇

全國防空協議會... 二七〇

中央防空委員會發令... 二七〇

東部防空演習... 二七〇

防衛司令部公布... 二七〇

防空法外地施行勅令決意... 二七〇

獻金・獻納誌

△獻納機

愛國天津號獻納... 二七〇

大阪の海軍機獻納... 二七〇

大谷婦人生活會自動車獻納... 二七〇

刑務所内に愛國號獻納... 二七〇

女學生號獻納... 二七〇

青年學校職員獻納... 二七〇

全日本飛行機機納運動... 二七〇

△國內獻金八八、〇三三、一六六

香奠をさして獻金... 二七〇

殘留兵士俸給獻金... 二七〇

小學生の陸相激勵獻金... 二七〇

第一練兵士の獻金... 二七〇

幼稚園兒の獻金... 二七〇

陸軍獻金高千七百萬圓突破... 二七〇

△在外同胞獻金

アルゼンチン同胞獻金... 一〇〇〇、三三三

サンパウロ市同胞獻金... 一〇〇〇

ハワイ同胞の獻金四十萬圓八八、九二〇

ブラジル邦人獻金... 八〇〇、〇〇〇

モンパサ在留邦人の獻金... 一〇〇〇

ロンドン在留邦人獻金... 一〇〇〇

在米同胞獻金... 五〇、〇〇〇

南太平洋の孤島から獻金... 一三、〇〇〇

防空

大都市防空打合せ... 二七〇

練習艦隊歸る... 二七〇

兵役法施行令改正... 二七〇

兵器本廠赤坂へ移轉... 二七〇

滿洲事變行賞... 二七〇

△外人獻金品

- イタリヤ人の獻金……………100
- ラトヴィヤ僧獻金……………135
- ロシア人から慰問袋……………141
- 外人記者から獻金……………144
- 外人の獻金一萬餘圓……………146
- 神戸在住外人の獻金……………147
- 支那女性から慰問袋……………148
- 米人の獻金……………150
- 滿洲國大使館員の獻金……………150
- △其他
- 思想轉向者代表具呈軍慰問……………153
- 臺灣銀行軍司令部廳舎獻納……………155
- 白衣の天使の輸血獻納……………155

財政

【一】一般

- 賀屋藏相車中談……………106
- 貸付金處理委員會……………155
- 昭和十一年貿易外收支……………156
- 藏相特銀首腦部と懇談……………161
- 【豫】算
- 海軍豫算發表……………164
- 國庫現計……………167、170、176、180
- 歳入見積り樂觀……………184
- 十三年度豫算綱要……………184
- 十三年度豫算決定……………185
- 賀屋藏相談……………186
- 各省新期事業費……………187
- 歳入見積り決定……………187
- 歳入豫算内譯……………187
- 政黨御批評……………188
- 稅收入見積二億圓増……………188
- 節減額決定……………188
- 豫算概算決定……………188
- 十三年度豫算査定……………188
- 十二年度豫算節約決定……………188



節約額……………194、195

政友會豫算削減對策幹部會……………195

臺灣第二豫備金支出……………196

第二豫備金支出……………196、197、198

特別會計豫算編成……………198

豫算閣議……………198

豫算超過支出公示……………198

【租】稅

稅金移納に便法……………198

稅制調査會……………198

大藏省提出參考案……………198

藏相稅制調査經過報告……………198

葉煙草、鹽、樟腦定價引上……………198

【公】債

赤字公債六百萬圓賣却……………198

五分半利米貨債買入銷却……………198

國債現在高……………198

九月末……………198

十一月末……………198

國債標準發行價格……………198

三分半公債利拂期改正……………198

支那事件公債……………198

四財團職員事變公債應募……………198

第二回事件公債二億圓發行……………198

第三回事件公債發行……………198

公債三億圓發行……………198

事件公債三億圓發行……………198

事件公債三億圓發行內定……………198

小額公債……………198

第一回小額公債發行要綱……………198

小額公債追加賣出……………198

生保筋公債三百萬圓賣付……………198

第一回割引貯蓄債券發行準備……………198

米穀證券借換發行……………198

本年度公債發行減少……………198

【預】金部(金融、其項參照)

蒙疆銀行日本公債百萬圓申込……………198

金融

【一】一般

大藏省年末金融對策……………198

賀屋藏相車中談……………198

計畫資本(九月)……………198

經濟四當局會議……………198

經團聯、專門委員會設置……………198

シ國滿鐵へ三千萬圓融資……………198

商工組合低利資金貸付額決定……………198

東京提資平穩越月……………198

東拓北支農民に金融……………198

日室に二千萬圓融資……………198

拂込金額(九月中)……………198

結城總裁北支開發談……………198

預金通貨回轉速度調査結果……………198

來週中資金移動豫想……………198

【資金調整】

國內資金調査規則要綱……………198

資金審査會認可……………198

資金調整法公布……………198

【爲】替

英の爲替割引拒絕を當局否定……………198

大阪爲替「三水會」組織……………198

爲替不要許可限度引下……………198

正金對米建值異動……………198

正金對米建值引上……………198

【兌換券】

金評價換最初の限外發行……………198

限外發行消滅……………198

小額紙幣發行……………198

鮮銀券發行高二億圓突破……………198

兌換券十七億圓空乘せ……………198

兌換券廿三億……………198

兌換券膨脹……………198

月央限外發行六百卅萬圓……………198

【銀行】

有賀朝鮮殖產頭取辭任……………198

上期銀行業績……………198

關西銀行大會……………198

賀屋藏相演說……………198

結城日銀總裁演說……………198

勸業銀行……………198

應召者の延滞利息減免……………198

中小商工金融に乗出す……………198

興業銀行……………198

五千萬圓債券發行……………198

時局貸出高二億五千萬圓……………198

大同シ國に千二百萬圓融資……………198

中小商工貸出増加……………198

二千八百萬圓債券發行……………198

二千萬圓債券發行……………198

日曹に重役を入れる……………198

融資受付高九億圓……………198

理事發令……………198

鮮銀券發行高二億圓突破……………198

鮮銀總裁任命……………198

全國銀行勸定調……………198

全國組合銀行勸定……………198

貯蓄銀行……………198

九月末全國勸定……………198

債券發行上々……………198

債券二千萬圓易々消化……………198

割増金附貯債條件決定……………198

日本銀行……………198

貸出増加目立つ……………198

貸出七億……………198

外國爲替局新設……………198

金融懇談會……………198

產業懇談會……………198

週報……………198

重役總會……………198

條例改正案提出見合せ……………198

結城總裁談……………198

【手形交換】

全國手形交換高……………198

東京手形交換高……………198

不渡手形(十一月)……………198

【信】託

社債信託法改正案骨子……………198

全國信託財產調……………198

【産組・商工中金】

産組中金貸出限度決定……………198

商工中金總代會……………198

商工中金第二年度業績……………198

中金、農村負債整理事務開始……………198

【預金部・郵貯】

中小産業に預金部融資……………198

東京市債を預金部引受……………198

郵便貯金狀況……………198

郵貯卅六億八千萬圓……………198

預金部更に興銀へ融資……………198

預金部運用委員會決議……………198

預金部資金興銀融資……………198

預金部狀況……………198

【金】利

預金部放出一億八千五百萬圓……………198

勸銀應召者の延滞利息減免……………198

勸銀來期貸付利率据置……………198

商工組合低利資金……………198

不動産貸付利率据置……………198

【會】社

王子製紙事業計畫……………198

上期會社業績……………198

起債界尙ほ靜觀……………198

計畫資本(九月)……………198

資金審査會認可……………198

新興人種三麥傘下へ……………198

大日本麒麟麥酒共販新協定……………198

當期利益金並配當率……………198

東北新興アルミ創立……………198

東北振興化學創立……………198

日産改組總會……………198

日産汽船權太汽船合併……………198

商業

【預】金部(金融、其項參照)

蒙疆銀行日本公債百萬圓申込……………198

【手形交換】

全國手形交換高……………198

東京手形交換高……………198

【會】社

王子製紙事業計畫……………198

上期會社業績……………198

起債界尙ほ靜觀……………198

計畫資本(九月)……………198

資金審査會認可……………198

新興人種三麥傘下へ……………198

大日本麒麟麥酒共販新協定……………198

當期利益金並配當率……………198

東北新興アルミ創立……………198

東北振興化學創立……………198

日産改組總會……………198

日産汽船權太汽船合併……………198

日滿アルミ倍額増資決定……………二〇六
 拂込金額(九月)……………二〇六
 本年上期工業會社業績……………二〇六
 本年社債發行額減少……………二〇六
 滿鐵起債交渉開始……………二〇六
 三菱合資株式會社改組……………二〇六
 三菱社庫容強化……………二〇六
 綿糸棉花取引所義務規定變更……………二〇六
 米子製鋼と大島製鋼合併……………二〇六
 【保 險】
 海保戰時制糧料大市引下……………二〇六
 航空保險更に六社免許……………二〇六
 支那地中海向戰時保險料引下……………二〇六
 傷害保險營業の免許二件……………二〇六
 生保協會配當引下發表……………二〇六
 生保八社の契約者配當引下……………二〇六
 【百貨店】
 日本百貨店組合創立……………二〇六
 百貨店營業許可標準決定……………二〇六
 【倉 庫】
 全國倉庫高減少……………二〇六
 【商 況】
 全國各市場大納會……………二〇六
 南京陷落と各市場……………二〇六
 ▲商 品
 綿
 大阪棉花三月限以降清算復活……………二〇六
 大阪棉花新規賣買停止……………二〇六
 三品一月限總手仕舞完了……………二〇六
 三綿思惑防止方針決定……………二〇六
 東西綿糸取引所受渡細目決定……………二〇六
 標準價格補取市場對策……………二〇六
 棉花補糸綿布標準價格……………二〇六
 棉花補糸最高標準價格……………二〇六
 綿糸一月限受渡問題解決……………二〇六
 綿取對策委員會申合……………二〇六
 生 糸
 乾繭取引は依然不振……………二〇六
 生糸七百圓盛を劃る……………二〇六
 秋蠶生繭相場調……………二〇六

人 絹
 人絹市場暴騰……………二〇六
 米・麥
 越年後の米界強弱觀……………二〇六
 各地期米十二月受渡高……………二〇六
 期米三期新高價……………二〇六
 期米卅五圓臺……………二〇六
 期米新甫絹……………二〇六
 米麥暴騰……………二〇六
 米減收豫想は織込済み……………二〇六
 米收穫豫想高市場に影響……………二〇六
 新米價で思惑餘地縮小……………二〇六
 東京期米當限受渡……………二〇六
 東京米商配當據置……………二〇六
 堂島市場立會中止……………二〇六
 堂島取引員處分決定……………二〇六
 名古屋米取二分減……………二〇六
 糖
 東京糖取決算……………二〇六
 年末需要で精糖躍進……………二〇六
 金 物
 金相場久し振りで昂騰……………二〇六
 金相場低落……………二〇六
 銀相場新安値……………二〇六
 銀建値引上……………二〇六
 錫相場暴騰……………二〇六
 銅建値續落……………二〇六
 銅建値暴落……………二〇六
 其 他
 鶏卵稀有の暴騰……………二〇六
 明年度燐礦石建値……………二〇六
 ▲證 券
 全國株取證券報告決議……………二〇六
 全國有價證券時價總額……………二〇六
 長期株式時價總額(十二月初)……………二〇六
 東西ビル・プロカ協會設立……………二〇六
 株式
 大株長期一部制實施……………二〇六

株式市場暴騰……………二〇六
 株式市場大波瀾……………二〇六
 株式市場暴騰……………二〇六
 株取組合大會議案決定……………二〇六
 新東百五十圓臺に躍進……………二〇六
 主要株式利潤(十二月一日)……………二〇六
 反 落
 全國株取證券大會……………二〇六
 大統領聲明で株式暴落……………二〇六
 東株營業概況(下半年期)……………二〇六
 東株越年證券金……………二〇六
 株價指數……………二〇六
 株主總會……………二〇六
 三部立會復活……………二〇六
 長期時價總額昂騰……………二〇六
 長期十一月限受渡高……………二〇六
 當限受渡高……………二〇六
 配當二分減……………二〇六
 日本製鋼株入札……………二〇六
 債 券
 勸業債券活氣(一)……………二〇六
 勸業債券昂騰……………二〇六
 勸業債券低落……………二〇六
 勸業債券春高期待……………二〇六
 主要債券利廻……………二〇六
 【物價】(商況)產業(其項參照)
 卸賣物價(三菱調査)……………二〇六
 九月物價上昇(三菱調査)……………二〇六
 經團聯、物價對策根本方針……………二〇六
 十月世界物價反落日銀調查……………二〇六
 都市卸賣物價……………二〇六
 都市小賣物價……………二〇六
 東京卸賣物價(十月)……………二〇六
 東京小賣物價(十月)……………二〇六
 物價對策委員會……………二〇六
 第二小委員會答申決定……………二〇六
 廢 止……………二〇六

暴利取締令追加改正……………二〇六
 暴利取締令初發動……………二〇六
 【其 他】
 財界に司法協力要望……………二〇六
 消費節約申合事項……………二〇六
 商相經濟界の推移報告……………二〇六
 全國生計費指數……………二〇六
 大關閣西財界と懇談……………二〇六
 大商の時局懇談會……………二〇六
 都市貨銀指數……………二〇六
 東商の中小工商業委員會……………二〇六
 日商、支那側のデマに對抗……………二〇六
 日商、事變影響調査……………二〇六
 貿 易
 下級生糸輸出検査實施要望……………二〇六
 外地貿易(十月中)……………二〇六
 生糸輸出業者運賃引上反對……………二〇六
 經團聯專門委員會設置……………二〇六
 ゴム原料新規輸入許可……………二〇六
 ゴム木材皮類輸入制限……………二〇六
 工藝品輸出補助金交付……………二〇六
 國際收支……………二〇六
 昭和十一年度國際收支……………二〇六
 日滿を通ずる國際收支……………二〇六
 事變後南阿の邦品防遏急……………二〇六
 植物油、油槽輸出組合設立……………二〇六
 重要品輸出入額……………二〇六
 人絹織物輸出入回復(九月中)……………二〇六
 人絹生地輸出統制方法決定……………二〇六
 人絹輸出高(十一月)……………二〇六
 人絹糸布輸出高(九月中)……………二〇六
 船舶管理委員會發令……………二〇六
 船舶管理第一委員會……………二〇六
 對外貿易……………二〇六
 對米柑橘輸出割當決定……………二〇六
 對米生糸プール成立內定……………二〇六
 對滿支貿易……………二〇六
 地方別貿易……………二〇六

內蒙に見本市團派遣……………二〇六
 日運通商條約正式調印……………二〇六
 日土貿易協定案可決……………二〇六
 日土貿易協定正式調印……………二〇六
 日本貿易新協定要點……………二〇六
 日本海關顧問民懇談會……………二〇六
 パルプ輸入高(十一月)……………二〇六
 北支向農器器械輸出好望……………二〇六
 フランスノ輸出組合發起……………二〇六
 米國が生糸品質低下に苦情……………二〇六
 米國向綿布輸出統制規程……………二〇六
 十二年對外貿易概況……………二〇六
 十二年度重要輸出入品……………二〇六
 十二年度輸入超六億五千萬圓……………二〇六
 十二年度綿布輸出高減少……………二〇六
 本邦生糸輸出高(十一月)……………二〇六
 貿易斡旋所事務開始……………二〇六
 十三年度鉄鋼輸入方針……………二〇六
 メリヤス對英輸出自制……………二〇六
 棉花共同購入組合設立……………二〇六
 棉花輸入爲替許可決定……………二〇六
 棉花輸入統制協會設立……………二〇六
 綿織物輸出減少(十一月)……………二〇六
 綿布輸出本年も世界制糖……………二〇六
 輸出菓子原料砂糖戻金倍増……………二〇六
 輸出制限品目追加……………二〇六
 輸出入許可規則公布……………二〇六
 輸出入許可規則公布……………二〇六
 輸入食肉組合聯合會設立……………二〇六
 輸入制限品目追加方針……………二〇六
 輸入制限豫想額……………二〇六
 臨時輸出入許可規則改正……………二〇六
 倫敦海保利率決定延期……………二〇六
 關東產聯時局對策委員會決定……………二〇六



軍需品調達獨立機關考慮……………	四六一
軍需輸入品消費節約運動……………	四六五
經濟團體聯盟利用を要請……………	四六五
航空工業統制法案提出……………	四六五
國產總動員大博覽會開催……………	四六五
重要物資數量調査規則公布……………	四六五
政經研究會北支開發案建議……………	四六五
政友會產業關係復活要求……………	四六五
全產聯、時局產業對策決定……………	四六五
帝農の事變對策建議……………	四六五
日本產業聯盟(假稱)設立試案……………	四六五
輸出工藝關係技術官會議……………	四六五

朝鮮米第一回收穫豫想高……………	三九〇
帝國農會の米生産實調……………	三九〇
米穀應急措置法施行……………	三九〇
米穀配給價格差……………	三九〇
米穀配給調査委員會總會……………	三九〇
米穀配給調整中央委員會……………	三九〇
米穀等級指定改正……………	三九〇
本年米第一回收穫豫想高……………	三九〇
第二回收穫豫想高……………	三九〇

日ノ漁業問題に業者決意表明……………	二〇九
明年度入札漁區發表……………	二〇九

ジーンズ染色生産制當決定……………	二〇九
十月中綿織物輸出減少……………	二〇九
十月中綿絲生産高減……………	二〇九
十二月綿絲生産高減……………	二〇九
製綿工業組合聯合會創立……………	二〇九
東商の北支棉輸入促進對策……………	二〇九
日本綿絲元賣商業組合設立……………	二〇九
紡績操短率擴張……………	二〇九
紡 聯……………	二〇九
協議會決議事項……………	二〇九
棉花統制協力申合……………	二〇九
棉花生産調節新基準……………	二〇九
棉花共同購入組合設立……………	二〇九
棉花、綿絲及綿布標準價格……………	二〇九
綿業調整要綱決定……………	二〇九
綿工聯……………	二〇九
定款變更……………	二〇九
標準價格設立要望……………	二〇九
綿絲消費統制規定……………	二〇九
綿絲制當基準決定……………	二〇九
綿絲布生産配給統制強化……………	二〇九
綿製品人織混用二月實施……………	二〇九
綿ネル生産制當……………	二〇九
【羊 毛】……………	二〇九
原毛消費制當決定……………	二〇九
梳毛絲六割操短決定……………	二〇九
東洋レヨン、毛絲代用品創製……………	二〇九
毛製品ス・フ混用範圍擴大……………	二〇九
羊毛工業會機能強化策……………	二〇九
【人 絹】……………	二〇九
王紙人絹バルブ製造強化策……………	二〇九
各省官給服ス・フ混用方針……………	二〇九
原毛使用制限……………	二〇九
人絹生産高……………	二〇九
人絹バルブ新規輸入要望……………	二〇九
人絹バルブ割當方法決定……………	二〇九
人絹工聯……………	二〇九
對策研究……………	二〇九
明年一月生産制當……………	二〇九
人絹操短率擴大……………	二〇九

人織工業一元制統制準備……………	二〇九
人織工業委員會……………	二〇九
四特別委員設置……………	二〇九
人織混用規則……………	二〇九
人織法統制方針決定……………	二〇九
ス・フ同業會バルブ統制決定……………	二〇九
ス・フ混用運用方針指示……………	二〇九
染色ジーンズ生産制當……………	二〇九
織絲及織物輸出減少……………	二〇九
東洋レヨン毛絲代用品創製……………	二〇九
內地人絹織物工聯創立……………	二〇九
內地人絹織物統制機關創立……………	二〇九
綿製品人織混用二月實施……………	二〇九
毛製品ス・フ混用範圍擴大……………	二〇九
【製 紙】……………	二〇九
九月中洋紙製造高……………	二〇九
經團聯、紙節約方針決定……………	二〇九
新聞紙節約協議……………	二〇九
製紙操短率三割五分擴張……………	二〇九
製紙操短率四割五分擴張……………	二〇九
東北バルブ會社創立……………	二〇九
バルブ會社設立案……………	二〇九
洋紙製造販賣高(十一月)……………	二〇九
【洋 灰】……………	二〇九
一基洋灰會社特定率復活……………	二〇九
九月中洋灰需給統計……………	二〇九
限產率擴張……………	二〇九
限產率十一月據置……………	二〇九
需給統計……………	二〇九
增產設備不許可通牒……………	二〇九
朝鮮洋灰限產率二分擴張……………	二〇九
朝鮮洋灰限產率六割三分……………	二〇九
洋灰協同販賣……………	二〇九
洋灰北支進出計畫具體化……………	二〇九
【肥 料】……………	二〇九
重要肥料委員會……………	二〇九
肥料配給法朝鮮に適用……………	二〇九
肥料配給統制法施行令……………	二〇九
副産、自家用硫安も統制……………	二〇九
硫安、販賣、買入販賣命令……………	二〇九

確定價格統制紛糾せん……………一六五
確定會社二重ボード制採用……………一六五
確定製組、販賣會社協定……………一六七
確定販賣會社創立……………一六九

原料ゴム配給案決定……………一六六、一七〇
生ゴム配給統制要綱……………一七〇
護謄砂の在荷報告徴収……………一七〇
最高標準價格決定……………一七三

【其他】
過機組消費費割當のみ管掌……………一六八
九月中麥酒造石高……………一六八
鐵鋼、纖維品消費節約策……………一六八
硝酸の製造命令公布……………一七〇
十月中銘仙生産高……………一七〇
石灰窒素次期販賣價格……………一七〇
暹相航空工業視察……………一七〇
東京市工場調査結果……………一七〇
東北アルミ事業計畫進捗……………一七〇
日本莫大小生地聯設立……………一七〇
農相帝農役員招待……………一七〇
別珍生産割當……………一七〇
明年度工業割當大綱……………一七〇
明年度海嶺石建値……………一七〇
輸出狀那鐵器減產決定……………一七〇

【電力管理案】
關西方面でも反對氣勢……………一七四
經聯、電力管理案に反對……………一七五
生保協會電力管理案反對……………一七六
政府、プール案一蹴……………一七六
全產聯管理案に慎重態度……………一七八
電氣料金引下げ……………一七八
電力管理に業者反對……………一七八
電力管理法案提出準備……………一七八
電力業者國家管理案反對決議……………一七八
電力聯盟プール案提唱……………一七八
電聯共同計算案根本方針決定……………一七八
東商、電力國家管理案反對……………一七八
日商電力管理案正式反對……………一七八
日電協、電力案絕對反對……………一七八

臨時電力調査會……………一七四、一七五
國家管理の理由……………一七五
小委員會答申要綱……………一七五
海保戰時割増料大巾引下……………一七五
九月末建造中船舶減少……………一七五
竣工船高記録的好調……………一七五
世界船舶噸數……………一七五
船舶管理委員會……………一七五
太平洋西航同盟運賃引上……………一七五
日濠海運會商漸く開幕……………一七五
山下汽船南米航路に加入……………一七五

交通通信航空

羽越北陸線ダイヤ混亂……………一七六
奥羽線の珍事故……………一七六
海上保險戰時割増料大巾引下……………一七六
各幹線に臨時列車運轉……………一七六
開院參謀總長宮殿下鐵道職員に御言葉……………一七六

關門豆トネル進む……………一七九
觀光局北支宣傳活躍……………一七九
機關手に過失なしの新判例……………一七九
急行列車の火事……………一七九
金華丸進水……………一七九
金龍丸起工式……………一七九
京城放送局ロシア語放送……………一七九
京濱運河起工式……………一七九
京濱電車の大格事……………一七九
建造中船舶減少(九月末)……………一七九
國鐵炭嶽……………一七九
國鐵二恩人の銅像除幕式……………一七九
五十二ヶ列車運轉休止……………一七九
高山線で貨車顛覆……………一七九

興安九年末迄に修理不能……………一八〇
資金貸付船舶の統制通過……………一八〇
竣工船高記録的好調……………一八〇
小運送審查委員會發令……………一八〇
小運送業審查委員會官制公布……………一八〇
省營自動車若江線全通……………一八〇
敦賀港遊離船で羅諾……………一八〇
世界船舶噸數……………一八〇
船舶改善協會管理委員會……………一八〇
船舶管理委員會發令……………一八〇
船舶管理第二回委員會……………一八〇
大連汽船航路復活……………一八〇
太平洋西航同盟運賃引上……………一八〇
太平洋丸入港……………一八〇
第二澄徳丸沈没……………一八〇
立山丸試運轉中の格事……………一八〇
千鳥丸網走沖で激難……………一八〇
地方海事官會議……………一八〇
秋父丸入港……………一八〇
長城丸出帆延期……………一八〇
鐵道工事指定請負人規程……………一八〇
鐵道省新廳舎修築式……………一八〇
東京市電從業員の戰傷者慰問……………一八〇
永井選相燈臺視察……………一八〇
日濠海運會商漸く開幕……………一八〇
日本海員組合米國へ抗議……………一八〇
日滿直通小口貨物運賃制度創設……………一八〇
格名丸入港……………一八〇
「富士」道突事件責任者に判決……………一八〇
北陸線のダイヤ混亂……………一八〇
滿洲移民の客貨割引……………一八〇
御影丸遭難……………一八〇
山下汽船南米航路に加入……………一八〇
臨時物價對策委員會の運賃に關する要綱……………一八〇

官吏の年賀郵便全廢……………一八〇
漁船無電通信士試験……………一八〇
公共用ラヂオ聴取料免除……………一八〇
甲府放送局開局式……………一八〇
國際電氣通信社長決定……………一八〇
信濃丸無電器選信博物館へ……………一八〇
出征祝賀電報好評……………一八〇
對支選信行政處理委員會設置……………一八〇
直通無線局東京へ移轉……………一八〇
選信醫任命……………一八〇
通信省北支調査……………一八〇
電信發明記念講演會……………一八〇
東京選信病院開院……………一八〇
同盟の電送寫眞成功……………一八〇
長崎上海間電信開通……………一八〇
日歐間新聞電報料低減……………一八〇
日希の國際電話開通……………一八〇
日伯國際電話簡易化……………一八〇
日本無線國際電話合併……………一八〇
日滿通信業務協定……………一八〇
年賀狀全國的に大激減……………一八〇
年賀狀廢止に業者陳情……………一八〇
年賀電報用紙準備成る……………一八〇
年賀用新二錢切手……………一八〇
農山漁村に簡便電話……………一八〇
百五十キロ放送明春開始……………一八〇
豐臺、内地間電報開始……………一八〇
防共協定記念交辦放送……………一八〇
北支向軍事小包取扱再開……………一八〇
無線華府會議回顧の會……………一八〇
野戰郵便局活躍……………一八〇
郵便業務移讓成る……………一八〇
郵便從業員の非常時決議……………一八〇
郵便取扱所の事務擴張……………一八〇
郵便年金事務滿洲國委託……………一八〇

赤羽機關大佐逝去……………一八〇
委託飛行練習生卒業式……………一八〇
各帝大に航空學科増設……………一八〇

學生航空選手權大會……………一八〇
學生航空聯盟に從軍許可……………一八〇
學生操縱士北支へ……………一八〇
滑空士試験合格者……………一八〇
グライダー訓練終了式……………一八〇
京阪間壓席難緩和……………一八〇
獻納兵器命名式……………一八〇
航空機乘員臨時養成費……………一八〇
航空機製造事業法施行費……………一八〇
航空局新規事業計畫……………一八〇
航空研究所機試驗飛行準備……………一八〇
試驗飛行……………一八〇
不時着……………一八〇
記錄飛行延期……………一八〇
木更津へ……………一八〇
航空工業統制法案提出……………一八〇
國際航空路開闢準備費……………一八〇
ストツパニ氏訪日飛行說……………一八〇
田中飛行研究所機墜落……………一八〇
高橋中尉墜落重傷……………一八〇
立川機長距離飛行演習……………一八〇
演習終了歸還……………一八〇
不時着……………一八〇
墜落……………一八〇
館山機墜州灘に不時着……………一八〇
中央航空研究機關設立準備費……………一八〇
選信省委託卒業飛行……………一八〇
航空業視察……………一八〇
車中談(本邦航空事業抱負)……………一八〇
南京福岡間寫眞空輸新記録……………一八〇
南洋定期航空路開始……………一八〇
日本航空輸送株式會社積極陳容……………一八〇
福岡臺北線定期航空輸送施設改善費……………一八〇
飛行機で新聞配布……………一八〇
宮原練習機不時著……………一八〇
民間航空機關配屬將校發令……………一八〇
民間飛行士に感狀……………一八〇
民間飛行士の從軍志願……………一八〇

久原氏犯人隠避罪で公判へ	二五七
黒木廣島高師教諭起訴	二六〇
警視廳行幸記念日	二六〇
警視廳警察大部を特設	二六六
警視廳防空會議	二七二
小柳代議士に求刑	二八〇
河野一郎代議士に求刑	二八〇
高晋取縮規則實施	二八六
國鐵疑獄審議決定	二八六
裁判長決定	二八六
公判期日決定	二八六
左翼大檢舉	二八九
合法左翼派一齊檢舉	二八九
主なる檢舉者	二八九
檢舉概要(當局談)	二九〇
無産團體の動向	二九三
新協劇團當局と懇談	二九三
小堀甚二自首	二九三
石本靜枝釋放	二九三
加藤黒田兩代議士正式起訴	二九三
埼玉百萬圓被告に十年求刑	二九三
判決言渡	二九三
歳末違反嚴重取締通達	二九三
歳末辭戒の署長會議	二九三
鹽原三共社長訴へらる	二九三
東村山屠殺疑獄事件	二九三
事件益々發展	二九三
茂澤市議等の判決	二九三
松竹疑獄判決	二九三
執達吏は一時恩給資格なし	二九三
神兵隊事件準備公判	二九三
第二回準備公判	二九三
第一回公判	二九三
公訴事實大要	二九三
關係被告氏名	二九三
第二十四回公判	二九三
第五回公判	二九三
第六、七回公判	二九三
第八、一〇回公判	二九三
第十一回公判	二九三

應召被告の公訴棄却	二九三
デマ問題收る	二九三
人民文庫發禁	二九三
眞嶋若妻殺し求刑	二九三
無罪の判決	二九三
檢舉控訴	二九三
前岡山醫大事務官の判決	二九三
善行醫官表彰式	二九三
田中代議士に求刑	二九三
田中、中島氏等に判決	二九三
第二青酸事件判決	二九三
朝鮮明川事件公判開く	二九三
帝人事件判決	二九三
判決理由書大要	二九三
藤井裁判長談	二九三
平田檢舉談	二九三
批杷田元檢舉談	二九三
鈴木、今村兩辯護士談	二九三
三土、中島、黒田、長崎、河合、島田氏談	二九三
全檢舉團に不満漲る	二九三
檢舉控訴せず	二九三
大野、相田兩氏は復讐	二九三
河合氏刑事補償要求	二九三
當選辭退の津島氏に判決	二九三
東京府警署疑獄求刑判決	二九三
中村嘉壽代議士無罪	二九三
中村(繼)代議士に禁錮三ヶ月	二九三
判決言渡	二九三
練馬警察署新設	二九三
野田俊作氏に禁錮刑	二九三
判決言渡	二九三
白々教事件送局	二九三
長谷部選手に死刑の判決	二九三
林前法相辯護士開業	二九三
平賀周氏等控訴判決	二九三
批杷田檢舉辭職す	二九三
「富士」追突事件責任者に判決	二九三
繼井前代議士檢舉	二九三

兵庫縣警察部の潰陥	二九三
法相瀧淵氏を招待	二九三
北海道水産疑獄事件擴大	二九三
新井水産課長留置	二九三
新井、大矢兩氏送局	二九三
新井課長起訴	二九三
小池、兼古兩氏收容	二九三
當局更に活動	二九三
小池、兼古兩氏起訴	二九三
更に二名護送	二九三
新人物登場	二九三
兩檢舉上場	二九三
東京での取調へ一段落	二九三
更に進展	二九三
松田代議士に無罪の判決	二九三
御木本隆吉氏留置取調	二九三
收容	二九三
放	二九三
宮澤(舊)代議士判決	二九三
茂木元副領事懲役六年	二九三
控訴判決	二九三
横濱市電疑獄求刑	二九三
龍神會盟主等起訴	二九三
殺人自殺傷害	二九三
木村阪和電機社長自殺	二九三
下谷で肉親七名慘殺	二九三
林長二郎斬らる	二九三
犯人捕はる	二九三
永田新興撮影所長召喚	二九三
長二郎退院	二九三
永田氏不起訴	二九三

初演奏會	二九三
淺野中將の英靈凱旋	二九三
舞 儀	二九三
跡見女史の光榮	二九三
伊大使に京人形寄贈	二九三
印度獨立運動志士會合	二九三
ウエーヴ遺族に日本勳章呈	二九三
江澤少年トルコへ	二九三
演藝報國運動	二九三
大谷光昭師南京へ	二九三
大牟田の疫癘猖獗	二九三
岡山のコレラ	二九三
カトリック國民使節決定	二九三
海外婦人協會創立記念會	二九三
角岡知良氏に洪國勳章	二九三
上加茂神社遷座祭	二九三
紙芝居屋の全國統一成る	二九三
官吏の年賀郵便全廢	二九三
觀光日本の恩人來朝	二九三
キリスト教平和論押取	二九三
ギリシヤ汽船社長を起訴	二九三
木村八段名人位獲得	二九三
清岡氏篤志寄附	二九三
軍用動物慰靈塔を建立	二九三
慰靈祭	二九三
慰靈碑除幕式	二九三
刑務所に郷軍人分會組織	二九三
京濱運河起工式	二九三
警視廳歳末統計	二九三
自殺統計	二九三
火災統計	二九三
憲政功勞者三氏の銅像建立	二九三
憲政碑除幕式	二九三
墜陸した支那機帝都へ	二九三
小橋市長歸京	二九三
小峰博士嫡捨山踏査	二九三
故山本悌二郎氏葬儀	二九三
抗日不逞支那人追放	二九三
神戸で支那飛行機發見	二九三
皇威宣揚愛國市民大會	二九三

鴻池重復未亡人の遺言獻金	二九三
國民の感激を圍圖に分つ	二九三
「國民の誓ひ」の主役來朝	二九三
後藤朝太郎氏檢舉さる	二九三
詐欺外人逮捕	二九三
西條八十氏上海へ	二九三
信濃丸無電器滅信博物館へ	二九三
島津丸女史退院	二九三
高橋夫人も退院	二九三
正月お餅の値段決る	二九三
新年奉祝要綱決定	二九三
時局懇談會排英決議	二九三
人民職練打倒演説	二九三
赤十字社國際委員ワ大佐來朝	二九三
桃山御陵參拜	二九三
東京陸軍病院訪問	二九三
關根名人退位聲明	二九三
聲明書	二九三
「川柳」發禁	二九三
全アジヤ民族青年大會	二九三
ダム/生れの技師來朝	二九三
大成丸歸る	二九三
太平洋岸の異常減衰現象	二九三
太平洋丸入港	二九三
對英同志會精成	二九三
武林無想庵歸る	二九三
第六次海軍合同葬	二九三
チルダ・ヘツクさん歸國	二九三
秩父丸入港	二九三
長城丸出帆延期	二九三
貯蓄獎勵資料懸賞當選者	二九三
帝室博物館竣工式	二九三
帝都にコレラ發生	二九三
東京瀕病院開院	二九三
東郷元帥邸を市へ寄附	二九三
邸を公園に	二九三
豊田太藏氏に監授褒章	二九三
土居博士に記念品	二九三
夏川、飯田の結婚式	二九三
習志野招魂社大祭	二九三

日本一の鳥居納祭	一五九
日本書を伊國大使買上	一六〇
日赤十字社赤十字デー記念式	一六〇
日暹親善佛教使節歸途	一六〇
日獨親善少年交歓計畫進む	一六〇
日洪親善使節メ博士來朝	一六〇
年賀狀廢止に業者陳情	一六〇
年賀用新二錢切手賣出	一六〇
ハリソン號で抗日展覽會	一六〇
鳩等橋頭面に面會	一六〇
橋名丸入港	一六〇
萬國博覽會委員會組織	一六〇
記念館設計當選者	一六〇
ヒ總統に賀筒を送る	一六〇
非常時にルンペン減少	一六〇
ブラジル移民渡航	一六〇
移民船出帆	一六〇
舞踏教習所の新設不許可	一六〇
碧眼尼僧來朝	一六〇
ボルネオ島に初移民	一六〇
放養のライオン格闘	一六〇
報國號六機命名式	一六〇
波蘭の「日本特許號」	一六〇
防共協定祝賀	一六〇
日獨伊親善の夕べ	一六〇
日伊兩國祝賀放送	一六〇
各地祝賀	一六〇
丸ビル前の地下道開通	一六〇
三井高修氏別荘開放	一六〇
水久保澄子離婚	一六〇
南支那海から正覺坊	一六〇
元獨逸首相ル博士來朝	一六〇
文部省北支視察團出發	一六〇
靖國神社例大祭	一六〇
山口の眞性コララ六名	一六〇
山田耕筈氏歸省	一六〇
遊就館監獄授受式	一六〇
優秀犬競技大會	一六〇
雪の分類	一六〇
養正館落成式	一六〇

獵友防衛義勇團組織	一六〇
ワレニウス將軍來朝	一六〇
若人七千の大行進	一六〇
社會事業	一六〇
軍事扶助法適用に便法	一六〇
歳末無料診療實況調査	一六〇
小學卒業生の就職指導浦牌	一六〇
社會事業家に紺綬褒章下賜	一六〇
社會事業調査會總會	一六〇
社會事業法議會提出決定(要綱)	一六〇
職業紹介國對策陳情決定	一六〇
統後援後事業強化大綱	一六〇
地方社會事業職員増員	一六〇
母子保護法施行令要旨	一六〇
民政黨家族扶助の公平支給要望	一六〇
民政黨の軍事扶助案決定	一六〇
臨時軍事援助部新設	一六〇
臨時軍事援助部勅令公布	一六〇
椿事奇禍	一六〇
安治川渡船顛覆	一六〇
板橋火藥工場慘事	一六〇
小串鐵山地之り慘事	一六〇
御救恤	一六〇
政友會見舞調査	一六〇
群馬縣知事公報	一六〇
長野縣知事公報	一六〇
鐵山監督局入電	一六〇
慘害狀況	一六〇
遭難者談	一六〇
主なる遭難者	一六〇
救援作業	一六〇
長野原署長、須坂署員急行	一六〇
鐵山本社の對策	一六〇
内務省、鐵道省の對策	一六〇
死體發掘開始	一六〇
死體發掘累計	一六〇
救援陣營成る	一六〇
軍隊出動	一六〇

復舊作業	一六〇
商工省調査	一六〇
吉野商相談	一六〇
鐵山監督局調査	一六〇
各當局の調査	一六〇
災害不可の調査と斷定	一六〇
小倉附近で列車火事	一六〇
關釜船頭安丸乗揚ぐ	一六〇
年末までに修理不可能	一六〇
急行列車の火事	一六〇
京濱電車の大椿事	一六〇
駒込日活館の天井墜落	一六〇
祝賀旗行列中の椿事	一六〇
白根山機發	一六〇
田中飛行機研究所機墜落	一六〇
高山線で貨車顛覆	一六〇
立山丸試運轉中の椿事	一六〇
第二澄徳丸沈没	一六〇
千島丸遭難	一六〇
地下鐵工事場機破	一六〇
東京女師生昇仙峽で遭難	一六〇
長野縣トンネル内の慘事	一六〇
慘事の原因	一六〇
フーズアー號臺灣沖に坐礁	一六〇
救助作業困難	一六〇
我軍艦現場に急行	一六〇
乗客收容作業完了	一六〇
帝國海軍に米國感謝	一六〇
米領事感謝	一六〇
船體買二ツ	一六〇
乗組員隨揚げ	一六〇
御影丸遭難	一六〇
猛吹雪に卅餘名遭難	一六〇
夕張平和炭坑機發	一六〇
勞働	一六〇
小作争議件數(十一年中)	一六〇
全農中央委員會社大黨支持	一六〇
賃銀指數(十三都市十月中)	一六〇
東京勞働賃銀(九月中)	一六〇

東交年度大會	一六〇
登錄勞働者の就勞報告	一六〇
日産勞働組合年次大會	一六〇
日支事變で海員組合米國へ抗議	一六〇
勞働者生計費指數(廿四市九月份)	一六〇
勞働争議減少	一六〇
勞働統計(七月分)	一六〇
勞働賃銀統計(十月分)	一六〇
計	一六〇
赤沼智善師	一六〇
赤羽機關大佐	一六〇
淺井元海軍省編輯官	一六〇
石光陸軍中將	一六〇
石渡敏一博士	一六〇
今井德順大僧正	一六〇
岩井京大教授	一六〇
上田萬年博士	一六〇
牛馬少將	一六〇
潮道佐判事	一六〇
瓜生海軍大將	一六〇
大浦兼武子未亡人	一六〇
岡田春夫代議士	一六〇
奥田砲兵大佐	一六〇
香川陸軍中將	一六〇
兼田秀雄氏	一六〇
神月徹宗師	一六〇
河合德三郎氏	一六〇
木下尙江氏	一六〇
桐馬像一氏	一六〇
栗野慎一郎氏	一六〇
志賀直方氏	一六〇
島田鈞一氏	一六〇
清水孝藏博士	一六〇
相模年寄桑川	一六〇
杉浦宗三郎博士	一六〇
鈴木平塚市長	一六〇
園田實男爵	一六〇
高橋欽哉氏	一六〇

高橋義雄氏	一六〇
高柳元代議士	一六〇
中上川次郎吉氏	一六〇
長野宇平治博士	一六〇
鍋島直明男	一六〇
西村丹次郎代議士	一六〇
沼本直一氏	一六〇
沼田嘉一郎氏	一六〇
龍馬大阪電通社長	一六〇
野間恭一郎氏	一六〇
萩原貞子氏	一六〇
原田貞介工博	一六〇
馬場前内相	一六〇
平山寅次郎氏	一六〇
三浦良幹氏	一六〇
村松山壽氏	一六〇
安田善四郎氏	一六〇
山本勝二郎氏	一六〇
山柄義重氏	一六〇
有働農學博士	一六〇
弓削田端一翁	一六〇
横光大佐	一六〇
吉田清風氏	一六〇
和田重義氏	一六〇
和仁元大審院長	一六〇
映 畫	一六〇
教材シナリオ當選者	一六〇
グレース・ムーア日本訪問	一六〇
國際映畫「荒城の月」入選	一六〇
「國民の誓ひ」の主役來朝	一六〇
駒込日活館の天井墜落	一六〇
上海で同盟ニュース映畫	一六〇
日獨文化映畫交換	一六〇
協定調印	一六〇

日本映畫協會(獨)……………二九七
 林長二郎傷害事件……………二九七
 長二郎東渡……………二九七
 長二郎斬らる……………二九七
 犯人捕はる……………二九七
 長二郎退院……………二九七
 永田新興撮影所長召喚……………二九七
 永田社長は不起訴……………二九七
 P C I 撮影所の火事……………二九七
 水久保澄子離婚……………二九七

衛生

愛知赤十字社工事に不正……………二九七
 井の頭臨病院火事……………二九七
 衛生試験所官制中改正……………二九七
 大牟田の疫禍猖獗……………二九七
 岡山のコレラ……………二九七
 國際清掃會議に東京市参加……………二九七
 赤十字社國際委員の大佐來朝……………二九七
 桃山御陵參拜……………二九七
 東京陸軍病院訪問……………二九七
 帝都にコレラ發生……………二九七
 逓信醫及逓信藥劑師に關する件(法令)……………二九七

演劇

東京逓信病院開院……………二九七
 逓信醫任命……………二九七
 日本赤十字社記念式……………二九七
 マイノン氏日本赤十字に寄附……………二九七
 山口縣の眞性コレラ六名……………二九七

音樂

愛國行進曲當選發表……………二九七
 初の演奏會……………二九七

大塚淳氏渡瀨……………二九七
 乙女五萬人の合唱……………二九七
 近衛子組實行中止……………二九七
 藝演合唱祭の第一位……………二九七
 諏訪根自子嬢ロマへ……………二九七
 大日本女子青年團歌當選發表……………二九七
 藤原義江亞國で活躍……………二九七
 山田耕伴氏歸郷……………二九七
 陸軍々樂隊天津着……………二九七

學術

化學研究所官制中改正……………二九七
 紀元二千六百年奉祝會理事會……………二九七
 小峰博士嫡捨山踏査……………二九七
 新京博物館へ標本寄贈……………二九七
 新城博士の對支文化運動……………二九七
 「北京人類發掘地視察……………二九七
 北支視察談……………二九七
 帝國學士院……………二九七
 池内博士會員に……………二九七
 池内博士會員に……………二九七
 學士院規程中改正……………二九七
 哲學會開會……………二九七
 傳研調查班一行北支奧地へ……………二九七
 土居博士に記念品……………二九七
 東亞文化振興協議會……………二九七
 北支使節入京……………二九七
 鳥居博士リマ瀆……………二九七

大谷光昭師皇軍慰問……………二九七
 大谷婦人法話會獻納……………二九七
 カトリック國民使節決定……………二九七
 在米基督敎婦人會の植兵金……………二九七
 島津ハル子女士退院……………二九七
 邪敎事件の高橋夫人退院……………二九七
 上海戰線從軍僧歸郷……………二九七
 宗敎史蹟となる切支丹屠敷……………二九七
 宗敎制度特別委員會……………二九七
 宗敎團體法案不提出……………二九七
 淨土宗の皇軍慰問……………二九七
 神政龍神會盟主等起訴……………二九七
 石家莊に日本寺院……………二九七
 増上寺職者追悼法會……………二九七
 天主教會皇軍慰問使節派遣……………二九七
 西本願寺がら慰問品……………二九七
 日蓮親善佛敎使節歸郷……………二九七
 白々敎事送局……………二九七
 佛敎派遣使節出發……………二九七
 碧眼尼僧來朝……………二九七
 橫濱區の初代司教任命……………二九七

宗教

伊國へ法隆寺壁畫の複製……………二九七
 一水會展入選發表……………二九七
 岩倉齋伯殉職……………二九七
 ウニエウ選法に日本贈贈呈……………二九七
 キュニメル博士外相懇談……………二九七
 憲政功勞者銅像建立……………二九七
 國際博日本人出品に特賞……………二九七
 在外公館に日本畫……………二九七
 重要美術品認定……………二九七
 新構造社入賞……………二九七
 新興第三回展入選者……………二九七
 新會員……………二九七
 新制作展入選發表……………二九七
 大瀧展入選發表……………二九七
 帝國博物館竣工式……………二九七

日本畫を伊大使買上……………二九七
 文 展……………二九七
 買上決定(文部省)……………二九七
 大臣賞特選……………二九七
 第一、二部入選發表……………二九七
 第三、四部入選發表……………二九七
 閉 幕……………二九七
 ム首相に贈畫製贈呈……………二九七
 遊就館壁畫授受式……………二九七
 ライプチヒ見本市出品……………二九七
 邦氏ベルリン・オペラに出演……………二九七
 伯林で日本舞踊紹介……………二九七
 坂東三津美舞踊大會出席……………二九七

文藝

クロデル氏和歌講演……………二九七
 小堀基二首……………二九七
 國際ペンクラブ決議……………二九七
 西條八十氏上海へ……………二九七
 親日文藝訪日……………二九七
 人民文庫發售……………二九七
 「川柳人發售……………二九七
 武林無想庵歸郷……………二九七
 チルダ・ヘックさん歸國……………二九七
 波蘭の日本特輯號……………二九七
 吉屋信子女士上海慰問……………二九七

磯村氏に監製褒章下賜(大阪府)……………二九七
 板橋火藥工場慘事……………二九七
 宇治川渡船難……………二九七
 宇品凱旋館建設に御沙汰……………二九七
 小串嶺山慘事……………二九七
 追分縣本陣油屋全燒(長野縣)……………二九七
 大阪大踏博團事件擴大……………二九七
 大阪地方防空演習……………二九七
 大谷光昭師上海慰問……………二九七
 上加茂神社遷座祭……………二九七
 關西相撲協會解散……………二九七
 關東、東北防空演習……………二九七
 關釜線與安丸乘揚ぐ……………二九七
 近畿東海警察部長會議……………二九七
 京都帝國大學疑獄事件……………二九七

地方

山本敎授辭職……………二九七
 濱田總長檢事局訪問……………二九七
 小倉附近で列車火事……………二九七
 皇國農民團理事長の慰問……………二九七
 神戸市長再選……………二九七
 鴻池重役未亡人の遺言獻金……………二九七
 國民精神總動員……………二九七
 有馬農相九州講演會へ……………二九七
 全國敎化團體代表大會……………二九七
 大谷拓相金澤講演會へ……………二九七
 埼玉縣會計課百萬圓事件……………二九七
 社會事業團に御下賜金……………二九七
 社會大眾黨神奈川聯合大會……………二九七
 下關市役所火事……………二九七
 白根山(群馬縣)爆發……………二九七
 神職聯合會皇族宣揚所願祭……………二九七
 政友會東北大會……………二九七
 仙臺幼年學校東京へ移轉……………二九七
 戰傷者救済に軍人村建設……………二九七
 全國市會議長會議……………二九七
 全國女學校校長會議……………二九七
 全國小學校の皇軍慰問團歸郷……………二九七
 全國商業學校校長會議……………二九七

全國道府縣別米穀豫想收穫高…… 六六
 大都市防空打合會…… 一三三
 第六次海軍合同葬執行(橫濱賀)…… 一三九
 千葉縣立盲學校生徒の獻金…… 一〇四
 地方縣長政府支持決議提出…… 六五
 地方社會事業職員増員…… 五五
 廳府縣臨時職員等設置制中改正…… 一〇三
 津山前市長有元氏收容…… 一八六
 照宮様成田山に御參詣…… 一〇四
 東北パルプ會社創立…… 一八二
 東北振興聯盟建議…… 九六
 東北北海道産馬が優秀…… 一三三
 東部防空演習…… 一三三
 道府縣會議長會議幹事會決議…… 九六
 道府縣會議長呈軍感謝決議…… 九〇
 豐田太藏(鳥取縣)に監授褒章…… 一三三
 内務省地方統統視察…… 九六
 中村代議士長野縣に禁錮二ヶ月…… 一三三
 長野縣トンネル内の慘事…… 一三三
 西宮市長再選…… 一三三
 沼田嘉一郎死亡(元大阪市議)…… 一三三
 放寮のライオン格闘…… 九六
 と總統に賀詞…… 一三三
 兵庫縣警察部の覆職…… 一三三
 平塚市會議長死去…… 一三三
 平塚鈴木市長決定…… 一三三
 廣島縣立吳二中全變…… 一三三
 福岡市長久世氏辭表提出…… 一三三
 福岡に少年院新設…… 一三三
 福澤村長に銀杯下賜…… 一三三
 藤井前代議士(青森)檢舉…… 一三三
 文理科大學官制改正…… 一三三
 平和炭坑爆發…… 一三三
 褒章御下賜(公益のため私財寄附者)…… 一三三
 防共協定祝賀…… 一三三
 暴利取締令初發動(山形)…… 一三三
 北海道水産課獄…… 一三三
 一三三、一三七、一四九、一五九
 北海道名寄中學焼く…… 九六

北大總長に今博士當選…… 一三三
 北大、阪大兩官制改正…… 一三三
 松田代議士(大阪)に無罪の判決…… 一三三
 民政黨各地で演說會…… 一三三
 褒賞收高(四十六府縣)…… 一三三
 北海道(十二年度)…… 一三三
 木村阪和電鐵社長自殺…… 一三三
 山口縣の眞性コレラ六名…… 一三三
 優秀犬競技大會…… 一三三
 橋本市電疑獄求刑…… 一三三
 和歌山縣西牟婁郡南富田村に御救恤賜金…… 一三三
 和歌山縣南富田小學校火事…… 一三三

東京府市

アメリカ兒童に羽子板…… 一三三
 井の頭腦病院火事…… 一三三
 牛塚氏區議候補届出…… 一三三
 牛塚前市長慰勞金決定…… 一三三
 笠井代議士に罰金三百圓(豐島區)…… 一三三
 蒲田區役所稅務課長石喚…… 一三三
 菊花寮…… 一三三
 軍人遺家族救濟懇談會…… 一三三
 軍用動物慰勞會…… 一三三
 警視廳警察大部を特設…… 一三三
 警視廳歲末統計(犯罪、自殺、火災)…… 一三三
 小橋市長退院…… 一三三
 寺内指揮官に祝電…… 一三三
 戰勝祝電…… 一三三
 歸京…… 一三三
 御下賜金救濟計劃…… 一三三
 高春取締規則實施…… 一三三
 皇威宣揚愛國市民大會…… 一三三
 國際清掃會議に東京市參加…… 一三三
 國民精神總動員演說日程…… 一三三
 演說日誌…… 一三三
 小橋市長告諭…… 一三三
 講習會…… 一三三

駒込日活館の天井墜落…… 一三三
 歳末警戒の署長會議…… 一三三
 歳末窮迫者御下賜金傳達式…… 一三三
 宿營バス平井驛淺草間開設…… 一三三
 市政會市長支持に變る…… 一三三
 市電のオリビック準備…… 一三三
 市電從業員の職傷者慰問…… 一三三
 茂澤市議等の判決…… 一三三
 統後の家命名…… 一三三
 統後後援事業強化大綱…… 一三三
 傷痍軍人職業學校設立…… 一三三
 傷兵療養所に別荘寄附…… 一三三
 増上寺職政者追悼會…… 一三三
 巢鴨若妻殺事件求刑…… 一三三
 政友會府市聯合懇談會…… 一三三
 「川柳人」發禁…… 一三三
 田中代議士(第六區)に求刑…… 一三三
 地下鐵工事場爆發…… 一三三
 帝都祝勝第二夜…… 一三三
 帝都にコレラ發生…… 一三三
 都下乙女五萬人の合唱…… 一三三
 都市計畫東京地方委員會…… 一三三
 東京卸賣物價保合(十月)…… 一三三
 東京小賣物價(十月)…… 一三三
 指數(十一月)…… 一三三

東京市

各町會を統制…… 一三三
 教育局長更迭…… 一三三
 救濟機關設置計畫…… 一三三
 區議選舉…… 一三三
 獻上品議選舉…… 一三三
 工場調査結果…… 一三三
 歳末計畫檢査…… 一三三
 十三年度豫算編成方針…… 一三三
 十三年度豫算要綱…… 一三三
 十三年度豫算査定方針…… 一三三
 統後後援強化…… 一三三
 商品館出張所天津北京に開設…… 一三三
 職制改正…… 一三三
 生計費指數…… 一三三

水道局長決定…… 九六
 東京市會慰問金決定…… 一三三
 賀表呈呈文可決…… 一三三
 皇軍戰勝感謝決議…… 一三三
 東京市債預金部引受…… 一三三
 東京市に丹頂鶴を御下賜…… 一三三
 東京女子師範生遭難…… 一三三
 東京商工統後後援聯盟結成…… 一三三
 東京府教育報國運動…… 九六
 國民精神總動員實行委員會設置…… 一三三
 知事告諭…… 一三三
 參事會…… 一三三
 十三年度豫算追加豫算…… 一三三
 知事通牒…… 一三三
 東京府會慰問費可決…… 一三三
 豫算可決…… 一三三
 閉會…… 一三三
 東京婦人團の總動員協議…… 一三三
 東京旅館組合のオリビック對策…… 一三三
 東京勞働貨銀(九月中)…… 一三三
 東郷元帥邸を東京市(寄附)…… 一三三
 練馬警察署新設…… 一三三
 花の日協會陸軍病院慰問…… 一三三
 PCL撮影所火事…… 一三三
 非常時にルンペン減少…… 一三三
 婦人團山屠殺場疑獄事件…… 一三三
 東京團體遺族慰問…… 一三三
 防火訓練デー…… 一三三
 防共協定祝賀愛國學生行進…… 一三三
 丸ビル前の地下道開通…… 一三三
 明治節愛國大行進…… 一三三
 明治神宮の祈禱祭…… 一三三
 靖國神社祈禱祭…… 一三三
 山本氏區議失格…… 一三三

吉村、關川兩氏に紺綬褒章下賜…… 一三三
 若人七千の大行進…… 一三三

朝 鮮

アメリカ人經營三校廢止…… 一三三
 有賀朝鮮産産頭取辭任…… 一三三
 大野政務總監東上…… 一三三
 風見驛長訪問…… 一三三
 買上米納入成績…… 一三三
 學制改革案檢討…… 一三三
 京城大學の斬髮運動…… 一三三
 惠山線開通式…… 一三三
 國民精神總動員強調週閉南總督聲明…… 一三三
 米第一回豫想收穫高…… 一三三
 第二回豫想收穫高…… 一三三
 財務局長更迭…… 一三三
 殘存米…… 一三三
 統後施設…… 一三三
 水流穂不法射擊事件…… 一三三
 全鮮刑務所機關統制納ノ聯半島同胞を壓迫…… 一三三
 對ノ聲明…… 一三三
 朝鮮銀行銀行券發行高二億圓突破…… 一三三
 總裁任命…… 一三三
 北支に出張所設置…… 一三三

殖

一 般

伊禮拓務參與官滿鮮視察…… 一三三
 海外拓殖委員會…… 一三三
 外地官制改正案下審査…… 一三三
 外地豫算決定…… 一三三
 從軍志願者採用…… 一三三
 防空法海外地施行勅令決定…… 一三三
 大谷拓相談…… 一三三

朝鮮軍新開班開設……………二六〇
 朝鮮人學團に御眞影下賜……………二六〇
 朝鮮煙草北支へ進出……………二六〇
 朝鮮部隊在營延期……………二六〇
 朝鮮洋灰限産率擴張……………二六〇
 勸募人口統計……………二六〇
 白々教事件送局……………二六〇
 半島民衆の愛國熱……………二六〇
 肥料配給法適用……………二六〇
 明川事件公判閉く……………二六〇
 明治節奉祝……………二六〇
 李男中樞院顧問再任……………二六〇
 林野調査委員に賜杯……………二六〇
 棉收穫豫想(十二年度)……………二六〇

臺灣

移出米數量……………二六〇
 産糖第二次豫想……………二六〇
 時差撤廢に稅關執務時間改正……………二六〇
 臺灣銀行軍司令部廳舎を獻納……………二六〇
 臺灣第二豫備金支出……………二六〇
 臺灣米專賣拓務解決定……………二六〇
 額内反對……………二六〇
 提出見合せ……………二六〇
 第二期米豫想收穫高……………二六〇
 古莊臺灣軍司令官澎湖島巡視……………二六〇
 米穀需給實額(十二年度)……………二六〇
 森岡長官臺灣統治報告……………二六〇
 棉作豫想(十二年期)……………二六〇

樺太

今村樺太長官上京……………二六〇
 樺太材増伐限度拓務省議……………二六〇
 北樺太利權擁護方針……………二六〇
 國境線嚴戒……………二六〇
 ソ聯貨物船大泊入港……………二六〇
 ソ聯の北樺太利權壓迫事實……………二六〇
 報國樺太號獻納……………二六〇
 八角拓務次官樺太へ……………二六〇
 ラッセル車出動……………二六〇

關東州

植田司令官旅順視察……………二六〇
 關院總長官滿鐵從業員に御言葉……………二六〇
 關東局官制改正案……………二六〇
 改 正……………二六〇
 關東軍に聖旨令宣傳達……………二六〇
 關東州廳長官更迭……………二六〇
 シ團滿鐵へ三千萬圓融資……………二六〇
 大連民船組合中國臨時政府支持……………二六〇
 中西滿鐵理事上京……………二六〇
 松岡滿鐵總裁……………二六〇
 支那事變に關し米國に聲明……………二六〇
 天津着……………二六〇
 外國記者團に軍事行動説明……………二六〇
 北京へ……………二六〇
 前線慰問終了……………二六〇
 青木對滿事務局次長と會見……………二六〇
 歸 任……………二六〇
 東 上……………二六〇
 滿洲重工業會社設立……………二六〇
 滿鐵社員態度闡明……………二六〇
 滿洲炭鐵會社増産五年計畫決定……………二六〇
 南滿洲鐵道株式會社……………二六〇
 アメリカより貨車購入……………二六〇
 運轉手募集……………二六〇
 肩替會社……………二六〇
 起債交渉開始……………二六〇
 日下純鐵へ日本刀製作……………二六〇
 今後の使命……………二六〇
 佐々木理事東上……………二六〇
 十三年度豫算内容……………二六〇
 鐵道プロック結成へ……………二六〇
 車輛讓受……………二六〇
 奉天鐵路局開設……………二六〇
 北支經濟開發懇談會……………二六〇
 北支經濟開發案……………二六〇
 陸相關東軍に感謝電……………二六〇

南洋群島

お役に立ちたいと南洋から……………二六〇

南洋確保拓務次官談……………二六〇
 南洋群島臨時資金調令公布……………二六〇
 南洋定期航空路開始……………二六〇

一 般

九國條約會議……………二六〇
 【招請狀發送】……………二六〇
 九國會議招請狀發送……………二六〇
 獨ソ兩國招請……………二六〇
 ソ聯不招請說……………二六〇
 ソ聯は最初不招請……………二六〇
 日伊の回答を待つ……………二六〇
 日本再招請論起る……………二六〇
 支那は反對……………二六〇
 非調印國へは改めて招請狀……………二六〇
 六ヶ國招請受諾……………二六〇
 アメリカ參加加正式回答……………二六〇
 ハル長官參加内諾……………二六〇
 米國會議參加内諾……………二六〇
 イタリア參加受諾……………二六〇
 イタリアの態度……………二六〇
 イタリアは不参加方針……………二六〇
 カナダも參加聲明……………二六〇
 スエーデン參加受諾……………二六〇
 ソ聯參加受諾……………二六〇
 ソ聯參加せん……………二六〇
 獨逸不参加回答……………二六〇
 回答正文……………二六〇
 デンマーク參加受諾……………二六〇
 日本招請狀接受……………二六〇
 ベルギー大使堀内次官訪問……………二六〇
 帝國不参加方針……………二六〇
 外務省聲明……………二六〇
 日本參加拒否回答……………二六〇
 日本政府聲明……………二六〇
 英米大使の諒解を求む……………二六〇

英官邊失望……………二六〇
 米國驚かず……………二六〇
 佛官邊大に失望……………二六〇
 日本再招請問題……………二六〇
 關議九國會議參加拒否決定……………二六〇
 駐日帝國大使館聲明……………二六〇
 帝國の方針不問……………二六〇
 ブラジル參加問題聲明を避く……………二六〇
 ポルトガル受諾……………二六〇
 メキシコ參加受諾……………二六〇

【各國準備】

△アメリカ……………二六〇
 アメリカ受動的……………二六〇
 英米緩和策に意見一致……………二六〇
 九國會議を諮問機關と見る……………二六〇
 九國會議に賛成……………二六〇
 孤立主義を避く……………二六〇
 國務次官補談……………二六〇
 國務省日本の行動解釋聲明……………二六〇
 ジョーンソン氏大統領に警告……………二六〇
 國務院外交委員ソ聯の招請要望……………二六〇
 政府首腦會議……………二六〇
 對日強硬態度を回避……………二六〇
 一部官邊で強硬說……………二六〇
 大統領會議具體案言明を避く……………二六〇
 大統領會議に對する米國の立場……………二六〇
 聲明……………二六〇
 大統領岐路に立つ……………二六〇
 大統領邊談話……………二六〇
 ハル長官慎重……………二六〇
 米國代表團額額……………二六〇
 米國代表出發デヴィス代表……………二六〇

△イギリス……………二六〇
 イーデン外相下院で方針聲明……………二六〇
 サイモン藏相英政府の決意を語……………二六〇

ハリファックス樞相政府方針談……………二六〇
 英、對日態度硬化……………二六〇
 英代表團決定……………二六〇
 イーデン外相出馬說……………二六〇
 英白打合せ完了……………二六〇
 △イタリア……………二六〇
 イタリアの態度……………二六〇
 伊政府對策研究……………二六〇
 伊代表決定……………二六〇
 伊外相派遣中止……………二六〇
 伊代表到着……………二六〇
 伊代表、日本支持……………二六〇
 獨伊間協議……………二六〇

△支 那

王大使談話……………二六〇
 王耀惠日本非難……………二六〇
 支那、伊の態度に焦慮……………二六〇
 支那、經濟制裁案要求……………二六〇
 支那側對會議方針……………二六〇
 支那停戰案提出を準備……………二六〇
 支那、經濟制裁案要求……………二六〇
 支那側の態度積極的……………二六〇
 代表談話……………二六〇
 代表到着……………二六〇
 程天放も應援……………二六〇
 △ソ聯邦……………二六〇
 ソ聯邦會議に期待せず……………二六〇
 ソ聯對會議方針……………二六〇
 ソ聯代表決定……………二六〇
 ソ聯代表一行出發……………二六〇
 ソ聯代表到着……………二六〇
 △ドイツ……………二六〇
 獨、ノイラート外相直接交渉力……………二六〇

△日 本

來栖大使、伊代表會見……………二六〇

來栖大使談……………二〇六
 重光大使ブリュッセルへ……………二〇六
 パリで參事官會議……………二〇六
 武者小路大使訪伊……………二〇六
 吉田大使英外相訪問……………二〇六
 吉田大使英代表會見……………二〇六
 △フランス……………二〇六
 佛政府慎重態度……………二〇六
 佛アルボス外相對會議方針演說……………二〇六
 フランス代表決定……………二〇六
 佛代表部の意向……………二〇六
 佛代表到着……………二〇六
 △ベルギー……………二〇六
 白耳義スバーク外相談……………二〇六
 △ポルトガル……………二〇六
 葡葡牙イタリヤに做ふか……………二〇六
 ポルトガルの態度……………二〇六
 【豫備交渉】
 △一 般……………二〇六
 開催地ブリュッセルに確定……………二〇六
 ブラッセルで開催か……………二〇六
 米國ブリュッセル同意……………二〇六
 會議は卅日から……………二〇六
 各國共無策……………二〇六
 精々調停案位か……………二〇六
 デーヴィス氏議長就任拒絕……………二〇六
 白國政府主催コンミニケ……………二〇六
 △英米交渉……………二〇六
 英米折衝開始……………二〇六
 英米兩國が指導……………二〇六
 米、イニシアテイヴを回避……………二〇六
 米當局英外相の言明を否定……………二〇六
 △各國交渉……………二〇六
 英白懇談……………二〇六
 英米佛間の折衝……………二〇六
 ソ支協議……………二〇六
 白、米間折衝……………二〇六
 米支協議……………二〇六
 米、支那に忠告……………二〇六

米佛協議……………二〇六
 △四國調停說……………二〇六
 英米佛伊調停說據頭……………二〇六
 パリ帝國官邊談(日本側の立場)……………二〇六
 米國務省沈黙……………二〇六
 華府外交界觀測……………二〇六
 駐佛支那高官談(和平條件)……………二〇六
 南京政府談話……………二〇六
 駐英帝國大使館談……………二〇六
 【會議經過】
 會議參加國十九箇國……………二〇六
 各國代表預備……………二〇六
 開會延期……………二〇六
 十一月三日開會に決定……………二〇六
 會議次第……………二〇六
 △會議第一日……………二〇六
 スバーク氏議長に當選……………二〇六
 スバーク氏開會演說……………二〇六
 各國代表演說……………二〇六
 日本再招請問題打合……………二〇六
 早くも會議失敗說據頭……………二〇六
 米國務省沈黙……………二〇六
 △會議第二日……………二〇六
 主要國首席代表會議……………二〇六
 和協委員會構成紛糾……………二〇六
 日本再招請案打消……………二〇六
 獨逸參加再要請決定……………二〇六
 支那側コンミニケ發表……………二〇六
 ソウェト代表活躍……………二〇六
 ソ聯の勢力薄弱化する……………二〇六
 △會議第三日……………二〇六
 コンミニケ發表……………二〇六
 對日回答文案議長提示……………二〇六
 回答文案内容……………二〇六
 回答文案練直し……………二〇六
 回答修正案成る……………二〇六
 和協委員會任命も延期……………二〇六
 英、會議の前途を悲觀……………二〇六

英佛外相歸國……………二二六
 會議延引の事情……………二二六
 △會議第四日……………二二六
 コンミニケ發表……………二二六
 對日回答文決定……………二二六
 原案と大差なし……………二二六
 和協委員會構成も決せず……………二二六
 會議當分延期か……………二二六
 米代表部釋明……………二二六
 △會議停頓……………二二六
 會議再開延期さる……………二二六
 各國代表焦慮……………二二六
 ソ聯の參加を苦に病む……………二二六
 日本參加に一縷の望み……………二二六
 帝國外務省對策會議……………二二六
 白國大使回答督促、不参加回答文通達……………二二六
 拒否回答到着……………二二六
 獨逸日本支持……………二二六
 米の態度は漠然……………二二六
 和協委員會構成も擱坐……………二二六
 佛國委員會劃込運動……………二二六
 各國代表協議……………二二六
 英外相下院で説明……………二二六
 英首相演說……………二二六
 米代表訓令内容……………二二六
 對支援助協議說……………二二六
 顯代表放送演說……………二二六
 英米佛ソ代表歸還……………二二六
 ソ聯外相歸國……………二二六
 歸國理由……………二二六
 會議悲觀說……………二二六
 △會議再開……………二二六
 白國外相主催晩餐會……………二二六
 各國代表演說……………二二六
 對日宣言案審議……………二二六
 對日宣言案採擇……………二二六
 伊、スエ、ノー、デン代表演說……………二二六

對日宣言全文……………二二六
 デ代表各國代表と折衝……………二二六
 △會議閉會……………二二六
 宣言文起草……………二二六
 宣言全文……………二二六
 支那代表宣言案に不満……………二二六
 支那代表聲明……………二二六
 支那、到着……………二二六
 支那代表演說……………二二六
 各國熱意を缺く……………二二六
 議長開會の辭……………二二六
 米代表部聲明……………二二六
 聯盟移牒論起る……………二二六
 三國代表歸還……………二二六
 英米代表歸國……………二二六
 デーヴィス代表歸國……………二二六
 【各國動向】
 △アメリカ……………二二六
 條約改訂說と米國……………二二六
 大統領極東問題に觸れず……………二二六
 デ氏問題介入を攻撃……………二二六
 ビ氏日本の自重要望……………二二六
 米國も無感與……………二二六
 米國行過を警戒……………二二六
 米支會談……………二二六
 米代表召還論……………二二六
 ル、單獨調停拒絕說……………二二六
 ミ、單獨調停拒絕說……………二二六
 △イギリス……………二二六
 英下院の論戰……………二二六
 英國失望……………二二六
 米國に期待……………二二六
 △支 那……………二二六
 顧大使宣言文満足……………二二六
 支那代表日本談話を反駁……………二二六
 支那代表部日本非難文書配布……………二二六
 支那聯盟協會へ打電……………二二六
 蔣、會議に期待……………二二六
 蔣介石氏聲明……………二二六
 △ソ 聯 邦……………二二六

ソ聯參加……………二二六
 パリ外交消息筋の觀測……………二二六
 トリビューン紙特派員の觀測……………二二六
 △日 本……………二二六
 國際動向研究會九國會議に打電……………二二六
 衆議院各派交渉會九國會議對策……………二二六
 九國會議聲明……………二二六
 對支有志代議士會九國會議反對聲明……………二二六
 九國條約廢棄勸告……………二二六
 駐白大使館宣言文反駁聲明……………二二六
 日本強硬意見發表……………二二六
 日本宣言文に不満……………二二六
 民政黨九國會議聲明……………二二六
 明倫會九國會議反對聲明……………二二六
 九國條約離脫聲明……………二二六
 吉田大使英外相訪問……………二二六
 △フランス……………二二六
 佛外相聯盟移牒說音明……………二二六
 佛外交界支持……………二二六
 佛國強硬……………二二六
 △白 耳 義……………二二六
 プリニツセル冷靜……………二二六
 【觀 測】
 英消息通の見透し……………二二六
 英、成果を疑問視……………二二六
 記者團會議に期待薄……………二二六
 各國記者團の觀測……………二二六
 期待薄……………二二六
 再聲明散會說……………二二六
 積極的態度否定觀……………二二六
 前途悲觀さる……………二二六
 日本參加を絶望視……………二二六
 日本の方針不動(A.P.の觀測)……………二二六
 米外交政策變化か……………二二六
 米國も逃腰……………二二六
 米消息通悲觀……………二二六

無爲に終幕……………二〇〇
列國何れも鼠乘薄……………二〇〇
聯盟委託説……………二〇〇

【新聞論議】

伊國紙……………八六、二〇七
伊紙日本を支持……………八六
會議の前途……………二〇七

英國紙……………一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一三、一一四、一一五、一一六、一一七、一一八、一一九、一二〇、一二一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一〇

米國の歐起猛進……………二〇四
宣言案批評……………二〇四
九國條約會議の成果……………二〇四
米國の歐起猛進……………二〇四
キユーバ紙……………二〇四
スチムソン主義聯盟弊害指摘……………二〇四
瑞西紙……………二〇四
會議無收穫を慨嘆……………二〇四

ソ聯紙……………二〇四
英國政府の態度……………二〇四
悲觀的見解示唆……………二〇四
獨逸紙……………二〇四
會議の失敗……………二〇四

來るべき英米合奏曲……………二〇四
對日制裁の愚を指摘……………二〇四
日本不参加に同感……………二〇四
佛國紙……………一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一三、一一四、一一五、一一六、一一七、一一八、一一九、一二〇、一二一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一〇

英國の日本牽制……………二〇四
會議の失敗批評……………二〇四
九國會議は無理……………二〇四
支那共產化を重視……………二〇四
四國調停を推す……………二〇四
日本罷迫指導……………二〇四
ペルチナツクス氏所論「會議の前途」……………二〇四

聯盟再審議を唱導……………二〇四
米國紙……………九六、九七、九八、九九、一〇〇、一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一三、一一四、一一五、一一六、一一七、一一八、一一九、一二〇、一二一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一〇

英外相演說評……………二〇四
カーター氏所論「歐洲諸國の動向」……………二〇四

對日制裁不可能……………二〇六
「日本を九國條約會議に出席せしめよ」……………二〇六
「ブリュッセル會議は極東の運命を決する」……………二〇六

ブリュッセルの無駄仕事……………二〇六
ブリュッセル閉會……………二〇六
不干渉委員の二の舞……………二〇六
「深入りの危険」……………二〇六
「米國の極東政策」……………二〇六
「米政府の態度」……………二〇六
白耳義紙……………二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一〇

親日的論說……………二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一〇

白國政府の善處方要望……………二〇七
ベルギー政府を攻撃……………二〇七

建艦問題……………二〇七
米主力艦コロライナ建造線上……………二〇七
米主力艦更に二隻建造を言明……………二〇七
米明年度海軍大擴張……………二〇七

國際聯盟……………二〇七
伊國脫退(歐洲參照)……………二〇七
國際聯盟の危機……………二〇七
佛小國の脱退を憂慮……………二〇七
支那又も日本を認否……………二〇七
支那聯盟に新通牒……………二〇七
瑞西、和蘭聯盟脱退か……………二〇七
スイス對聯盟方針闡明……………二〇七
ドイツ好感……………二〇七
イタリヤ支持……………二〇七
佛聯盟協會反日決議……………二〇七
【聯盟總會】……………二〇七
第一回總會……………二〇七
表決延期……………二〇七
總會經過……………二〇七
波蘭、波蘭棄權……………二〇七
第二回總會……………二〇七
決議案採擇……………二〇七

總會閉幕……………二〇七
九國會議招請狀發送……………二〇七
スペイン決議案不成立……………二〇七
スペイン再提訴か……………二〇七
填荷の背後に伊太利……………二〇七
聯盟決議と各國の態度……………二〇七
帝國態度を闡明……………二〇七
情報部長聲明……………二〇七
天羽公使英代表と會見……………二〇七
帝國第二段の策戦に着手……………二〇七
國防動向研究會聲明……………二〇七
支那代表聲明……………二〇七
ソ聯代表暗躍……………二〇七
聯盟規約改正決議採擇……………二〇七
【聯盟理事會】……………二〇七
對支衛生援助決議……………二〇七
地中海決議要旨……………二〇七
第九十九回聯盟理事會閉會……………二〇七
【廿三國委員會】……………二〇七
日支紛争小委員會構成權限決定……………二〇七
日支紛争小委員會……………二〇七
第二次對日決議案即決延期……………二〇七
日本の侵入爆發遮断承認……………二〇七
九ヶ國會議に轉嫁……………二〇七
報告書起草委員會起草終了……………二〇七
小委員會報告書內容……………二〇七
廿三國委員會總會……………二〇七
報告書草案承認……………二〇七
聯盟硬化の原因……………二〇七
報告書聯盟總會に提出……………二〇七
廿三國委員會延期……………二〇七
【委員會】……………二〇七
委任統治委員會……………二〇七
日本統治報告書審議……………二〇七
帝國委員說明……………二〇七
阿片委員會報告書……………二〇七
タイムズ紙日本を誹謗……………二〇七
經濟委員會……………二〇七
對支技術協力委員會……………二〇七
衛生援助に關する報告書……………二〇七

衛生援助に二百萬法支出……………二〇七
傳染病防止派遣決定……………二〇七
米赤十字社對支衛生援助に十萬弗寄附……………二〇七
殖民地再分配問題……………二〇七
エツプ將軍(獨)殖民地返還要求……………二〇七
英下院が獨殖民地論……………二〇七
【英外相下院演說】……………二〇七
英軍部の意見……………二〇七
英自治領返還反對……………二〇七
英保守黨領土保全決議……………二〇七
國際殖民地會議議說……………二〇七
殖民地問題波政府提起か……………二〇七
ソエルワイン氏報道……………二〇七
波政府筋否定……………二〇七
アヴアス報道……………二〇七
獨宣傳相返還要求演說……………二〇七
ヒ總統殖民地を要求……………二〇七
ヒ總統殖民地返還案宣言……………二〇七
有力筋否定……………二〇七
宣言延期說……………二〇七
ベルギー委任統治地返還せず……………二〇七
倫敦外交通の觀測……………二〇七

防共問題……………二〇七
コミンテルン撤交發表……………二〇七
スイス共產黨一齊檢舉……………二〇七
スイス大統領防共協定不参加言明……………二〇七
アムステルダム・モスクワ兩インター合同會議……………二〇七
アムステルダム代表派遣……………二〇七
合同會議議題……………二〇七
中央バルカン防共陣結成說……………二〇七
駐佛米大使訪波……………二〇七
トロヤノフスキー防共批判講演……………二〇七
獨紙支那スペインのモスクワ化料彈……………二〇七
佛上院議員極東防共陣營離……………二〇七
佛上院議員の防共協定觀……………二〇七

ブラジル外相防共協定不参加言明……………二〇七
アジア情勢……………二〇七
シリア問題……………二〇七
シリア國粹主義團體大示威……………二〇七
トルコ・シリア友好條約を廢棄……………二〇七
トルコ・シリア關係好轉……………二〇七
ソ聯の政策……………二〇七
外蒙援助説を否定……………二〇七
外蒙進出說……………二〇七
外蒙對支援助說……………二〇七
外蒙にソ聯の暗躍……………二〇七
極東問題に留意……………二〇七
新疆省を燃燬……………二〇七
ブ元帥極東問題演說……………二〇七
モロトフ極東問題演說……………二〇七
パレスタイン問題……………二〇七
アラビヤ人首魁死刑宣告……………二〇七
アラビヤ人不穩……………二〇七
英守備隊増援……………二〇七
英兵衝突……………二〇七
反英運動指導者逃亡……………二〇七
ヒリツピン問題……………二〇七
ダヴァオ日本人土地買収案……………二〇七
比島即時獨立法案提出……………二〇七
比島獨立延期論……………二〇七
比島獨立問題……………二〇七
マニラ港を自由港に……………二〇七
滿洲情勢……………二〇七
アメリカ會社對滿融資否定……………二〇七
イタリヤの滿洲國承認……………二〇七
伊國外相の祝辭……………二〇七
伊國承認經緯……………二〇七
伊國承認宣言……………二〇七
伊國領事談……………二〇七
伊紙一齊に支持……………二〇七

駐日大使交還……………二〇七
 日本外務省發表……………二〇八
 滿洲國總理聲明……………二〇九
 滿伊公使交換……………二一〇
 公使交換準備……………二一一
 滿洲國近衛首相以下に謝電……………二一二
 列國反響……………二一三
 英極東策反省……………二一四
 國府狂亂……………二一五
 獨逸大歡迎……………二一六
 米官邊不興……………二一七
 西藏活佛滿洲國訪問……………二一八
 西滿活佛滿洲國訪問……………二一九
 東方旅行社改組……………二二〇
 獨逸染料進出活況……………二二一
 日滿獨伊親善大會舉行……………二二二
 白耳義人の觀た滿洲國……………二二三
 滿洲國英米の爲替管理抗議一蹴……………二二四
 滿洲國をサント・ドミンゴ國承認……………二二五
 か……………二二六
 滿洲國フランコ政權承認……………二二七
 滿洲國境問題……………二二八
 水流礁不法射擊事件……………二二九
 ノ滿船扣留問題解決……………二三〇
 滿獨クレチツト設定……………二三一
 蒙疆代表訪滿(德王一行)……………二三二
 一六六

其 他

印度獨立運動志士會合……………八五
 英連の援助を否定……………八六
 英蘭防衛協定成立說……………八七
 和蘭政府否定……………八八
 全アジア民族青年大會……………八九
 南洋諸島空中偵察談……………九〇
 佛支不可侵條約説否定……………九一
 佛東洋艦隊續々強化……………九二
 アフリカ……………九三
 エチオピア廢帝訴訟提起……………九四
 エチオピア米伊駐屯兵退着……………九五

支那事變

タンチールに共產黨叛亂陰謀……………二〇六
 佛領モロッコに帝國再興陰謀……………二〇七
 「外交」列國事情(中華民國)參照……………二〇八
 國)參照……………二〇九

一般狀況

支那船舶の被害高……………二〇五
 引揚支那人再渡日……………二〇六
 【北支情勢】……………二〇七
 列國(中華民國)參照……………二〇八
 易縣西陲保護……………二〇九
 易州伊太利人宣教師保護……………二一〇
 カトリック教師反共支持放送……………二一一
 喜多少將歸朝談……………二一二
 歸綏兩城活氣づく……………二一三
 窮民救濟……………二一四
 極東白蠟系社結成……………二一五
 玉泉山宣教師救出……………二一六
 經 濟……………二一七
 鮮銀出張所設置……………二一八
 天津貿易轉運所開設準備……………二一九
 ドイツは北支開拓に協力……………二二〇
 北支經濟の開發好望……………二二一
 北支綜合開發要望……………二二二
 北支に商品館設置……………二二三
 東京市商品館出張所開設……………二二四
 北支棉花買付割當……………二二五
 北支羊毛輸入組合設立計畫……………二二六
 棉花荷動き活潑……………二二七
 獻縣宣教師発見……………二二八
 交通之信……………二二九
 京綏線客車運轉開始……………二三〇
 京綏線ダイヤ復舊……………二三一
 膠濟、津浦兩線の修理進む……………二三二
 芝罘、龍口に外國船……………二三三
 鐵道愛護自治會結成……………二三四
 特殊鐵道會社設立の要望……………二三五

平綏線一般營業開始……………九〇
 北京環狀道路完成……………九一
 北京放送局擴大強化……………九二
 北支滿洲國間電話開通……………九三
 北支線ダイヤ改正……………九四
 滿支間列車直通準備……………九五
 山西……………九六
 山西共產化狀況……………九七
 山西共產軍逃亡土匪化……………九八
 山西省民間錫山を怨嘆……………九九
 山西佛敎復興の叫び……………一〇〇
 山東……………一〇一
 山東省政府南方に移轉……………一〇二
 山東同鄉會和平保持宣言……………一〇三
 支那民衆皇軍に感謝……………一〇四
 支那民衆朝鮮行き希望……………一〇五
 順德の寺院修復……………一〇六
 彰德は交通の要地……………一〇七
 親自家釋放さる……………一〇八
 綏遠陷落の意義重大……………一〇九
 綏遠親日滿紙發刊……………一一〇
 青 島……………一一一
 一般狀況……………一二二
 情勢緊迫……………一二三
 膠州灣封鎖に着手……………一二四
 支那側青島に戒嚴令……………一二五
 青島市長市民に避難勸告……………一二六
 青島邦人地帯破壊さる……………一二七
 邦人工場被害……………一二八
 米國軍艦派遣……………一二九
 石家莊……………一三〇
 石家莊大音樂行進……………一三一
 石家莊に「救世軍報國茶屋」……………一三二
 石家莊に日本寺院……………一三三
 石家莊に邦字新聞……………一三四
 大同に國防婦人會……………一三五
 大名米人宣教師保護……………一三六
 太原……………一三七
 太原城内外人保護救出……………一三八

治 安

太原占領の意義……………一二七
 太原で伊太利宣教師拉致……………一二八
 イタリア宣教師救出……………一二九
 太原の復興日盛まし……………一三〇
 邯鄲紅槍會員歸順……………一三一
 北支那恢復狀況……………一三二
 北支那肅正完成に近づく……………一三三
 京漢線に隣る女間諜……………一三四
 濟南の治安早くも回復……………一三五
 四縣自治會長決議通電……………一三六
 石家莊の治安恢復……………一三七
 張敬堂歸順……………一三八
 寺内司令官「北支民衆に告ぐ」……………一三九
 馬賊頭目白占梅歸順……………一四〇
 秘密結社親日に傾く……………一四一
 部隊長河南省主席と會見……………一四二
 北支文明化民間團體生る……………一四三
 芝罘英國商船で復活……………一四四
 中華臨時政府成立……………一四五
 北支派遣軍當局談……………一四六
 湯委員長等寺内司令官訪問……………一四七
 天 津……………一四八
 内ヶ崎文部次官天津視察……………一四九
 天津軍々律軍罰公布……………一五〇
 天津市内一齊臨檢……………一五一
 天津地方邦人村發展狀況……………一五二
 天津中日聯歡會示威……………一五三
 同仁會急難班活躍開始……………一五四
 德縣回教徒停戰要求……………一五五
 德州着々として復興……………一五六
 北 平……………一五七
 北平を北京と改稱……………一五八
 北京社會事業進歩……………一五九
 北京に日本語熟習する……………一六〇
 英國軍艦の狡猾な態度……………一六一
 某國示威的妨害行爲……………一六二
 日本研究熱益々旺盛……………一六三
 滿支婦人の交際……………一六四
 ルーテル博士北支支を視察……………一六五

【支中情勢】

嘉定治安維持會成立……………一六六
 漢 口……………一六七
 外交團一齊に漢口へ……………一六八
 漢口租界に避難民殺到……………一六九
 漢口避難民十萬人に達す……………一七〇
 漢口動搖……………一七一
 漢口に中立地帯案……………一七二
 漢口の邦人工場も全滅……………一七三
 漢口民の親日感情……………一七四
 金山土民の親日感情……………一七五
 湖東避難民歸郷……………一七六
 江蘇省情勢……………一七七
 交 通……………一七八
 京滬線一部運轉……………一七九
 滬杭甬線上海、嘉善間復舊……………一八〇
 江南の水路確保……………一八一
 黃浦江の水路確保……………一八二
 黃浦江閉鎖暫閉作業成功……………一八三
 上海松江間水陸交通路確保……………一八四
 上海南京間列車運轉開始……………一八五
 蘇州河啓開成る……………一八六
 パイロットの貢獻……………一八七
 杭州市内の外人全部無事……………一八八
 杭州城内の外人全部無事……………一八九
 重慶避難民で大混亂……………一九〇
 浙江省情勢……………一九一
 浙江省に集團匪……………一九二
 蘇州自治機關設置近し……………一九三
 中支經濟工作の樹立を要請……………一九四
 長興民衆皇軍に頼る……………一九五
 南 京……………一九六
 各國外交團漢口へ移轉……………一九七
 英大使館漢口移轉決定……………一九八
 英外交團、ビー號で移轉……………一九九
 各國南京聯絡員殘留……………二〇〇
 ノ聯外交團、タス通信も移轉……………二〇一
 獨外交團汽船で移轉……………二〇二

獨軍事顧問移轉……………一三六
米外交團ルンン號で移轉……………一三五
各國大使館南京に歸還……………一三〇
空襲下の南京……………一三二
在任外人避難……………一三三
米國人退去……………一三〇
南京混亂情況……………一三三
南京物資缺乏……………一三三
南京遷都と上海財界の觀測……………一三三
南京自治會長聲明……………一三三
陶委員長聲明……………一三三
南京防戰準備狀況……………一三三
寶山城極樂境……………一三三
無錫に治安維持會準備……………一三三
揚子江ジャンク中に英國船……………一三三

【南支情勢】
一 敵
英國水兵擧漢線で無事南下……………一三三
英艦乘組員香港着……………一三三
抗日分子南支へ逃亡……………一三三
南支恐怖狀態……………一三三
南支經濟的活動沈寂……………一三三
海防經由で武器輸入……………一三三
廣東
一 敵商船廣東航行禁止……………一三三
廣東當局珠江封鎖解除……………一三三
廣東外國船脫出……………一三三
廣東から避難者續出……………一三三
廣東外國船脫出……………一三三
廣東軍動搖……………一三三
廣東抗日日本嫌と化す……………一三三
福建各地排日熱旺盛……………一三三
一般情勢……………一三三
左翼文壇一味香港に集る……………一三三
香港
鈴木少佐事件……………一三五
英國側から對支嚴重抗議……………一三五
香港電報局輻輳……………一四六
香港銀行日銀行との取引斷絶……………一四二

香港港務所布告……………一四二
香港に仇貨根絶會ア行爲……………一四二
香港兵站基地となる……………一四二
香港防空演習猛烈……………一四二
香港貿易額(九月迄)……………一四二

【上海情勢】
一 敵
一 敵狀況……………一四二
慰問袋に咲く日獨防共の花……………一四二
ウツド(ウツド)の上海現狀論……………一四二
英記者流彈で即死……………一四二
英飛行機射撃……………一四二
英國機射撃發表……………一四二
外人記者住宅區域視察……………一四二
川越大使談……………一四二
奇特な外人記者……………一四二
偽裝支那船艇扣留……………一四二
激戰地を戰跡記念地に指定……………一四二
虹橋飛行場に櫻花移植……………一四二
三邦字新聞合同……………一四二
支那側調査損害五億元……………一四二
支那良民を租界へ釋放……………一四二
上海市民協會生る……………一四二
宣 言……………一四二
上海占領地域の制限緩和……………一四二
上海に安堵の色漂ふ……………一四二
上海の入城祝賀會……………一四二
上海の防共協定祝賀會……………一四二
上海明暗二色……………一四二
招商局棧橋倉庫を米人に貸與……………一四二
新銳部隊上陸を支那民歡迎……………一四二
新事處對處領事團會議……………一四二
新城博士歸朝談……………一四二
駐日獨武官オット少將上海着……………一四二
駐日外國武官上海着……………一四二
東亞同文書院灰燼に歸す……………一四二
豐田紡の殘敵放火……………一四二
三菱吉田支店長歸國……………一四二
窮民問題……………一四二

窮民問題重大化……………一四二
失業者救濟運動起る……………一四二
避難民保護……………一四二
共同租界
英、武裝解除兵收容準備……………一四二
各國の警備撤重……………一四二
共同租界に敵の首擧……………一四二
上海外國兵力増加數……………一四二
租界行進英國國民に衝動……………一四二
英外相聲明……………一四二
英紙評論……………一四二
租界行進米國務長官談……………一四二
租界行進佛紙論評……………一四二
租界内敵死者多數……………一四二
避難民租界進入禁止……………一四二
佛租界支那保安隊撤退……………一四二
糧食彈藥輸送佛租界通過……………一四二
經濟
皇軍の威武反映、上海租界に圓貨……………一四二
支那軍總退却で市場一安心……………一四二
上海財界南京陥落を歡迎……………一四二
上海財界頻煩りで越年……………一四二
英汽船奧地に向け運轉開始……………一四二
上海外國船寄港復活……………一四二
上海入港船舶激減……………一四二
大連汽船航路復活……………一四二
上海爲替依然クロスに追隨……………一四二
上海爲替記録の安値……………一四二
上海爲替デッドマーケット化……………一四二
上海金融市場不安……………一四二
上海金融對策要點を説……………一四二
上海銀行家香港に遁る……………一四二
上海四銀行の移轉先……………一四二
政府系銀行と英國の態度……………一四二
中央銀行阿諛的態度……………一四二
英商會業務開始……………一四二
上海物價落潮を示す……………一四二
一部外人工場復舊……………一四二
華人紡七工場復業……………一四二

工場被害狀況……………一四二
支那紡一部復活……………一四二
上海九月中貿易……………一四二

北
英國關北陣地撤收……………一四二
大川内司令官關北民に布告……………一四二
江南に良民部落……………一四二
關北建設の第一歩に入る……………一四二
抗日運動
「不祥事件」参照……………一四二
上海市商會對日經濟絕交宣言……………一四二
上海對日總交委員會規約……………一四二
上海の双十節デモ……………一四二
抗日取締
恐怖を來した共產派と人職派……………一四二
抗日各機關奧地逃避……………一四二
抗日書姿を消す……………一四二
上海支那紙停刊……………一四二
租界内抗日團に解散命令……………一四二
長谷川長官抗日取締布告……………一四二

南
皇軍南市に收容所設置……………一四二
南市救済に努力……………一四二
南市支那側の損害……………一四二
南市支那軍撤退開始……………一四二
南市市民に避難勸告……………一四二
南市特別避難區設置……………一四二
南市避難地區に支那賛成……………一四二
南市避難民蘇る……………一四二
長谷川長官一萬圓義捐……………一四二
悲慘南市特別避難區……………一四二
松井司令官一萬圓義捐……………一四二
南市中立問題(外交参照)……………一四二
南市に保安隊歸隊……………一四二
邦人地區
居留民復興に大奮……………一四二
虹口邦人の喜び關北掃蕩……………一四二
小學校開校式……………一四二
上海滬西方面の復歸許可……………一四二
上海の邦人學校全部開校……………一四二

不祥事件
虹口、楊樹浦支那人居住許可……………一四二
伊太利警備歩哨行方不明……………一四二
英警備兵我が輸送艇阻止……………一四二
英辯護士國旗侮辱事件……………一四二
國旗侮辱事件居留民大會……………一四二
社大黨慰問團よりメッセ……………一四二

シ
國慶後事件決議傳達……………一四二
上海日華紡在庫品掠奪……………一四二
赤系露字社に投擲……………一四二
手榴彈投擲事件……………一四二
租界行進……………一四二
我輸送艇に手榴彈を投ず……………一四二
第二回手榴彈投擲事件……………一四二
南市警備兵狙撃さる……………一四二
便衣隊我が警備兵を狙撃……………一四二
陸伯鴻氏兇彈に斃る……………一四二
我艦載水雷艇と英國兵の関連……………一四二

浦東
浦東大道市政府成立……………一四二

外交關係
【一 敵】
四國調停説(九國會談参照)……………一四二
蘇州分館一日再開……………一四二
通州事件解決……………一四二
日支間に公文交換……………一四二
賠償金の配分方法……………一四二
米、單獨調停拒絕説……………一四二

【海關郵政接收問題】
△一 敵
上海海關郵政接收交渉……………一四二
英國が難關……………一四二
日英折衝……………一四二
上海海關次席赤谷氏任命……………一四二
上海々關外人稅務司總辭職……………一四二
上海々關監督に監視員差遣……………一四二
上海通信機關管理……………一四二

電報局、放送局接收……………二三四

△北支海關の合法的接收……………二三四

王行政委員長の聲明書……………二三四

△アメリカの態度……………二三四

駐日大使申入米政府發表……………二三四

天津海關不變に米安堵……………二三四

米、抗議か(U.P.報道)……………二三四

米國の意圖(英紙報告)……………二三四

米國務省方針(U.P.報道)……………二三四

米國務長官談……………二三四

米國諒解(同盟報道)……………二三四

△イギリスの態度……………二三四

英下院の應答……………二三四

英外相言明……………二三四

英、重視(アヴァス、U.P.報道)……………二三四

英、對日申入れ……………二三四

英の懸念増大……………二三四

英、北支海關接收に懸念……………二三四

英、理解(ロイテル報道)……………二三四

△日本の方針……………二三四

帝國政府の意圖……………二三四

帝國の方針……………二三四

海關、郵政接收交渉……………二三四

△フランスの態度……………二三四

佛駐日大使外相訪問……………二三四

佛當局成行重視……………二三四

△新聞論調……………二三四

伊紙日本支持……………二三四

英國紙……………二三四

米國紙……………二三四

佛國紙……………二三四

ベルチナックス氏觀測……………二三四

【七總統調停問題】……………二三四

英國は否定……………二三四

清澤、ア博士問答……………二三四

在支外交界の觀測……………二三四

支那代表部否定……………二三四

消息通一笑……………二三四

蔣方震ゲリソング空相と會見……………二三四

蔣方震と總統と會見說……………二三四

蔣方震否定聲明……………二三四

駐支獨大使調停說否定……………二三四

帝國情報部長否定……………二三四

帝國の見解……………二三四

獨官邊否定……………二三四

ヒ總統側近者談……………二三四

獨大使川越大使訪問……………二三四

南京政府の意圖……………二三四

廬山交渉……………二三四

英外交界の觀測……………二三四

英國の態度……………二三四

外交部發言人發表……………二三四

支那側事實確認……………二三四

獨大使南南に急行……………二三四

トラウトマン大使歸還……………二三四

新聞通信報道……………二三四

アヴァス社も報道……………二三四

A.P.報道……………二三四

A.P.再報道……………二三四

支那側報道……………二三四

ニューヨーク・タイムスの報道……………二三四

U.P.報道……………二三四

ロイテル報道……………二三四

新聞論調……………二三四

【ジャンク聲沈虚報問題】……………二三四

内山マニラ總領事報告……………二三四

英潜水艦事件調査……………二三四

海軍ジャンク聲沈反駁聲明……………二三四

在英大使館の聲明……………二三四

戒克事件公判……………二三四

ジャンク事件の質問應答……………二三四

獨逸船長デマ否定……………二三四

獨逸領事デマを否定……………二三四

【上海租界問題】……………二三四

共同租界新聞檢閱所接收……………二三四

租界内赤化反日取締要求……………二三四

我軍の租界通過承認……………二三四

兩工部局申込内容……………二三四

【南市、南京中立問題】……………二三四

支那側南市中立案提出……………二三四

原田武官米英佛提督と會見……………二三四

我方斷乎一蹴せん……………二三四

支那側南市避難地區に調印……………二三四

南京中立案(U.P.報道)……………二三四

外交團正式申入……………二三四

陸軍當局一笑に附す……………二三四

避難地區設定準備……………二三四

中立地帶受諾困難……………二三四

南京在留外人撤退勸告……………二三四

帝國大使館聲明……………二三四

【伊首相調停說】……………二三四

伊外交界の觀測……………二三四

伊官邊否定……………二三四

獨紙論評……………二三四

【伊支關係】……………二三四

陳公博訪伊……………二三四

陳、伊外相會見……………二三四

陳公博談……………二三四

陳、ム首相會談……………二三四

陳公博聲明……………二三四

滿洲國承認に支那抗議……………二三四

【英支關係】……………二三四

郭大使英外相訪問……………二三四

陳特使英首相訪問……………二三四

【獨支交渉】……………二三四

【七總統調停問題】を見よ……………二三四

【日伊關係】……………二三四

堀内、伊大使會見重視さる……………二三四

【日英關係】……………二三四

英國司令官松井大將と會見……………二三四

英代理大使川越大使訪問……………二三四

カンタベリ大僧正問題……………二三四

大僧正其他に注意喚起……………二三四

大僧正吉田大僧正に辯明……………二三四

川越大使兩長官訪問……………二三四

在上海英國人損害問題……………二三四

ジェスフィールド事件……………二三四

親支反日策に出先對策……………二三四

高橋大佐英國の認識に努む……………二三四

徳川公等重ねて反駁……………二三四

富井參事官支那空爆宣傳反駁……………二三四

蕪湖英艦誤射事件(外交)參照……………二三四

香港政府に水運總領事注意……………二三四

松井言明英議會に持出さる……………二三四

【日支關係】……………二三四

對日團匪賠償金支拂停止……………二三四

【日白關係】……………二三四

駐白帝國大使館抗議……………二三四

【日米關係】……………二三四

近衛君ル大統領と會見……………二三四

齋藤大使ハル長官訪問……………二三四

パネー一號事件(外交)參照……………二三四

米人ランチ抑留問題……………二三四

事件解決……………二三四

米、松井司令官聲明を重視……………二三四

【佛支關係】……………二三四

佛支不可侵條約說否定……………二三四

【米支關係】……………二三四

王正廷米國務省訪問……………二三四

ル大統領訪問……………二三四

米、支那機の租界飛行に抗議……………二三四

外紙論調……………二三四

【伊國紙】……………二三四

ソ聯依存を改めよ……………二三四

日支直接交渉對支勸告……………二三四

敗北支那の前途……………二三四

【英國紙】……………二三四

八壘、八壘、八壘……………二三四

阿片委員會報告書で誹謗……………二三四

英人の支那事變觀……………二三四

石井使節聲明觀……………二三四

軍事通オースチン日本を説く……………二三四

日支和協案の擡頭につき……………二三四

香港の事態……………二三四

不必要な挑発的行動……………二三四

元海運次官所論……………二三四

【和蘭紙】……………二三四

蘭印の地位……………二三四

【瑞西紙】……………二三四

進退谷まれる支那日本の切札……………二三四

蒙古の更生……………二三四

【上海紙】……………二三四

絕對絶命の關頭……………二三四

【ソ聯紙】……………二三四

ソ紙英國をけしやく……………二三四

【獨逸紙】……………二三四

對日經濟制裁論批評……………二三四

日本と列強……………二三四

日本の障害物と英國……………二三四

日本は經濟長期戦に耐へ得るか……………二三四

列國と極東紛争……………二三四

【佛國紙】……………二三四

對支武器輸出につき……………二三四

支那事變の對歐効果……………二三四

スペイン東洋の戦禍を喜ぶ國あり……………二三四

對支武器輸出につき……………二三四

對日ボイコット批評……………二三四

南京陷落後の日本軍の行動……………二三四

日本と列強……………二三四

日本の支那及び列國との協力……………二三四

日本の對佛影響……………二三四

日本の南方侵出……………二三四

滿洲國に於ける日本の進展……………二三四

【ラジアル紙】……………二三四

反共に共鳴……………二三四

【米國紙】……………二三四

反共に共鳴……………二三四

三八六、四四四、四四四、三三三
お先棒は眞平……………一六五、一六五
カーター氏所論……………八四、一〇元、一三六
一四一、一五五

宣傳とニュース……………一〇元
反日宣傳を痛撃……………八四
反日ポイコット運動の裏面……………一三六
貿易上から見た日支紛争……………一〇元
漢口及び其の彼方……………一〇元
極東に於ける米國資本……………一三六
極東は日本に委せよ……………一〇元
シヨロ教授日本を説く……………一〇元
ジョーンソン將軍ポイコットに反

對……………八四
支那の矛盾と英國の野心……………一三六
「市場としての極東」……………一〇元
「上海の責任」……………一〇元
スチムソン氏書翰……………一〇元
對日ポイコット……………九四
南京陥落U・P 觀測……………一〇元
日支紛争の今後……………一〇元
日本の對支難局……………一〇元
日本を支持せよ(J・フランク
リン氏)……………九四

「日本の回答」……………九四
日本の要求……………一〇元
反日取締布告の反響……………一〇元
米人記者の見た支那軍實況……………八四
ベッカー氏所論……………一〇元
日支事變の將來……………一〇元
メンケン氏所論……………一〇元
極東事情と日本支持……………一〇元

【白耳義紙】……………一〇元
「上海に於て」……………一〇元
ヘルギー記者の觀測……………一〇元

局外國對策……………一〇元
【對支武器援助】……………一〇元
八一 般……………一〇元

額大使武器購入説否定……………一〇元
杉山陸相報告……………一〇元
對支飛行機輸送説……………一〇元
支那飛行機發見……………一〇元
アメリカ……………一〇元
デュボン社支那ヘダイナマイト……………一〇元

ナツセン號の冒險的航海……………一〇元
米國から支那へ義勇兵……………一〇元
米國から支那向飛行機……………一〇元
米人飛行士支那軍参加……………一〇元
イギリス……………一〇元
英國飛行機對支輸出……………一〇元

英の對支軍援助……………一〇元
英國の武器供給制限説……………一〇元
香港經由輸入武器多數……………一〇元
ソ聯邦……………一〇元
ソ聯の對支援助……………一〇元
外蒙古對支援助説……………一〇元
ソ聯積極援助を躊躇……………一〇元
ソ聯積極援助説……………一〇元
ソ聯從軍記者到着……………一〇元
ソ聯航空委員漢口着……………一〇元
ソ聯の仲介で武器讓渡……………一〇元
ソ聯飛行士南京へ……………一〇元
對支飛行機援助……………一〇元
エドカー・スノウ氏報告……………一〇元
A・P 報道……………一〇元
ソ聯供給機合計數……………一〇元
U・P 報道……………一〇元
ボ大使の歸國使命……………一〇元
フランス……………一〇元

支那向武器輸送中止……………一〇元
對支武器輸出につき……………一〇元
對日ポイコット問題……………一〇元
アメリカ……………一〇元
排日貨運動擡頭……………一〇元
A・P・L 不買指命……………一〇元

女學生絹靴下使用禁止決議……………一〇元
桑港海員日貨ポイコット……………一〇元
C・I・O 經濟斷交用意……………一〇元
對日ポイコット行はれず……………一〇元
駐日大使令息がポイコット先鋒……………一〇元

日貨不買依然行はる……………一〇元
バード少將ポイコット主張……………一〇元
米總同盟日貨ポイコット提唱承
認……………一〇元
米陶器界不買運動……………一〇元
邦貨不買から生糸除外……………一〇元
對日ポイコット反對論……………一〇元
シッフステッド上院議員……………一〇元
ジョーンソン將軍ポイコットに
反對……………一〇元
全米戰爭防止聯盟日貨不買反對
決議……………一〇元
米平和團體ポイコット反對宣言……………一〇元
ラモント氏對日制裁論を戒む……………一〇元
イギリス……………一〇元
英政府ポイコットを不可能視……………一〇元
英對日ポイコット運動抑制……………一〇元
英被服業従業員日貨不買……………一〇元
荷役人ポイコット……………一〇元
ランカシア日貨排斥……………一〇元
歐洲新西蘭……………一〇元
歐洲労働組合ポイコット指命……………一〇元
新西蘭労働總同盟對日貿易ポイ
コット要求……………一〇元
カナダ……………一〇元
カナダの對日不買問題……………一〇元
カナダのポイコット運動……………一〇元
對日經濟制裁論批評……………一〇元
フランス……………一〇元

佛勞總同盟反日決議……………一〇元
デルベック氏對日ポイコット論
駁……………一〇元
マタン紙對日ポイコット危險説……………一〇元
香港新嘉坡……………一〇元
新嘉坡支那苦力抗日罷業……………一〇元
新嘉坡排日運動……………一〇元
香港沖仲仕間に排日……………一〇元
メキシコ……………一〇元
メキシコ労働者日貨排斥……………一〇元
【アメリカ】……………一〇元
八一 般……………一〇元

一般情勢……………一〇元
在支米人現在數……………一〇元
支那救濟委員會設立……………一〇元
宣戰布告と米の觀測……………一〇元
漸次實情を認識……………一〇元
對日輿論の底流……………一〇元
南京陥落と米國……………一〇元
ブリュッセル代表召還論……………一〇元
米醫藥品南京着……………一〇元
米官邊の戦局觀……………一〇元
米國財界冷靜……………一〇元
松井司令官の談話好評……………一〇元
極東權益の重要性強調……………一〇元
在支權利確保を重視……………一〇元
青島在留米人に引揚げ勸告……………一〇元
青島の米人引揚……………一〇元
米青島の形勢に注目……………一〇元
ハル國務長官國際的無秩序政
變演説……………一〇元
米警備艦入替……………一〇元
米國務省日本の行動糾纏聲明……………一〇元
米國行過を憂慮……………一〇元
英國歡迎……………一〇元
ドイツ憤慨……………一〇元
ドイツ經濟界反對……………一〇元

獨紙反米論陣……………一〇元
伊紙日本を支持……………一〇元
モスクワ大喜び……………一〇元
聯盟筋大歡迎……………一〇元
米國は當分靜觀か……………一〇元
米事變死傷者に恩給……………一〇元
米大使館上海へ移轉か……………一〇元
米支那駐屯軍交際兵出發……………一〇元
米支那駐屯軍引揚説……………一〇元
米避難民歸還不許可……………一〇元
米飛行機射撃命令……………一〇元
ルーゾウエルト大統領侵略國論
難演説……………一〇元
大統領シカゴ演説の作者……………一〇元
靜觀的態度一擲か……………一〇元
六平和團體反對、中立法要望……………一〇元
上院外交委員長贊成……………一〇元
ボラー・ナイ兩氏反對……………一〇元
ケン大統領領支持……………一〇元
米國各新聞論調……………一〇元
ル大統領爐邊談話……………一〇元
平和團體非難聲明……………一〇元
中立運動……………一〇元
下院議員ハル長官に警告……………一〇元
キヤッセル氏中立要望……………一〇元
中立法發動論ハル長官回答……………一〇元
中立法發動に反對……………一〇元
米議會の中立法論議……………一〇元
上院議員對日干渉反對……………一〇元
上院中立法發動決議案……………一〇元
ビュエール氏中立法適用要請……………一〇元
米國青年平和會議決議……………一〇元
米平和團體政府を非難……………一〇元
【親日言説】……………一〇元
カッター氏親日論……………一〇元
黑人團體から慰問金……………一〇元
在京米宣教師團米政府を非難……………一〇元
NBCの日支問題對論會……………一〇元
米國婦人の親日理解……………一〇元
米評論家の正論……………一〇元

「モノロー博士演説」…………… 九二五
 「持たざる國」を理解せよ…………… 九二五
 △反日言説
 オリジナル東京大取消論…………… 九二七
 ケロッグ前長官聲明…………… 九二七
 四名士反日聲明…………… 九二七
 スチムソン氏對日禁輸を主張…………… 九二八
 太平洋岸勞働組合反日決議…………… 九三〇
 紐育でも反日大會…………… 九三〇
 米國麻藥協會長誹謗…………… 九三三
 米國西藥の反日…………… 九三三
 ポープ米上院議員演説…………… 九三六
 【イギリス】
 △一 般
 英銀行輸入ビドル割引拒絕…………… 九三〇
 英國に調停論有力化…………… 九三五
 英商業會頭穩健論…………… 九三五
 英船上海寄港再開…………… 九三六
 英前駐日大使正論…………… 九三六
 近衛首相時局談の反響…………… 九三六
 上海包圍完成と英字紙社説…………… 九三六
 租界行進批評…………… 九三六
 日英貿易減退せず…………… 九三六
 日本の硬化に英國驚く…………… 九三六
 香港港務所英船檢對策…………… 九三七
 香港に英漁業會社設立…………… 九三七
 香港防空演習猛烈…………… 九三七
 米大統領演説英國歡迎…………… 九三七
 倫敦財界の觀測…………… 九三七
 リットル提督香港へ…………… 九三九
 △政府對策
 英交際兵本國出發…………… 九三九
 英、新事態に注目…………… 九三九
 英大使館重要書類上海送付…………… 九三九
 英對日態度に變化…………… 九三九
 英代理大使上海へ…………… 九三九
 英代理大使支子文協議…………… 九三九
 英代理大使香港着…………… 九三九
 英駐支大使更迭…………… 九三九
 英反日デモ參加者處罰…………… 九三九

新香港總督着任…………… 九三九
 對日武器禁輸英政府拒絕…………… 九四〇
 英對日體擦緩和に努力…………… 九四〇
 ヒュニゲツセン大使歸國決定…………… 九四〇
 ヒュニゲツセン大使語る…………… 九四〇
 北支開發を注視…………… 九四〇
 澳門根據地設置說否定…………… 九四〇
 △議 會
 下院の論戰…………… 九四〇、九四一、九四二
 イーデン外相演説…………… 九四〇、九四一
 イーデン外相對支貿易答辯…………… 九四一
 ウイルソン議員英國の不干渉…………… 九四一
 力説…………… 九四一
 英汽船損傷問題…………… 九四一
 外務次官北支情勢答辯…………… 九四一
 自由黨首の主張…………… 九四一、九四二
 ダムダム彈不供給辯明…………… 九四二
 チェムレン首相の演説要旨…………… 九四二
 日本通信干渉事實なし…………… 九四二
 陸相演説で答辯…………… 九四二
 労働黨首演説…………… 九四二
 労働黨對日勸請…………… 九四二
 開院御語日支問題言及…………… 九四二
 △反日言説
 英產業聯盟政府轉機…………… 九四二
 英の東京大會拒否に支那歡喜…………… 九四二
 英反日民衆大會決議…………… 九四二、九四三
 1010
 カンダベリー大僧正司會…………… 九四二
 大僧正、吉岡大使に辯明…………… 九四二
 スタンダード紙大僧正攻撃…………… 九四二
 支那慰問金募集…………… 九四二
 天津英紙反日虛報…………… 九四二
 反日氣勢漸次平靜…………… 九四二
 ロンドン市市長支那救援…………… 九四二
 労働黨領袖反日放送…………… 九四二
 労働大會決議…………… 九四二
 アトリー黨首の演説…………… 九四二

【イタリア】
 伊、支那軍事顧問引揚げ…………… 九四二
 伊飛行教官に援助中止命令…………… 九四二
 伊、日本の行動を完全理解…………… 九四二
 ム首相日本を支持…………… 九四二
 皇軍の神速を絶讃…………… 九四二
 日本軍勝報に歡喜…………… 九四二
 南京カトリック教司教伊政府と會見…………… 九四二
 米大統領演説と見解は同一だ…………… 九四二
 ローマ教皇臨日本支持指令…………… 九四二
 教皇臨高台談…………… 九四二
 米紙大々的に報道…………… 九四二
 ローマ教皇臨指令を否定…………… 九四二
 【印 度】
 印度學生母國に反省を促す…………… 九四二
 印度でも反日運動…………… 九四二
 在印印度人反日反對通告…………… 九四二
 ヒンズウ教徒皇軍支持…………… 九四二
 【オーストラリア】
 露首相重要提案を期待…………… 九四二
 露首相反日論を戒む…………… 九四二
 露洲の反日運動…………… 九四二
 【カナダ】
 カナダ平和團體排日通牒…………… 九四二
 カナダ牧師日本を誹謗…………… 九四二
 【ソ 聯 邦】
 支那事變に對するソ聯動向…………… 九四二
 赤軍機關紙社説…………… 九四二
 ソ支軍事協定説を否定…………… 九四二
 ソ聯外蒙進出説…………… 九四二
 ソ聯極東軍に欺論…………… 九四二
 ソ聯駐支大使更迭…………… 九四二
 ソ聯の支那壓迫説…………… 九四二
 ソ聯武官武器供給進言…………… 九四二
 米大統領演説ソヴェト紙提灯持…………… 九四二
 米大使歸國問題…………… 九四二、九四三
 モロトフ氏演説…………… 九四二
 レービン少將も罷免か…………… 九四二
 【ドイツ】

オット少將松井司令官訪問…………… 九四二
 駐日オット少將歸任…………… 九四二
 支那紙のデマをドイツ否定…………… 九四二
 獨逸の意圖…………… 九四二
 獨、英のデマ報道に憤慨…………… 九四二
 獨總統皇軍を激賞…………… 九四二
 米大統領演説を輕視…………… 九四二
 ドイツ消息通評…………… 九四二
 【フランス】
 雲南鐵道軍需品禁輸…………… 九四二
 佛國の情勢…………… 九四二
 佛巡洋艦四隻極東へ…………… 九四二
 佛領印度支那の安全を憂慮…………… 九四二
 米大統領演説佛首相賛意…………… 九四二
 聯盟協會反日決議…………… 九四二
 【ベルギー】
 白國大學生反日運動…………… 九四二
 ベルギー宣教師の放送…………… 九四二
 【其 他】
 アフガニスタンで確報…………… 九四二
 海峽植民地、排日支那教科書禁止…………… 九四二
 國際ペンクラブ決議…………… 九四二
 國際聯盟…………… 九四二
 米大統領演説歡迎…………… 九四二
 傳染病防止班派遣決定…………… 九四二
 新嘉坡、蘭印防備強化…………… 九四二
 青年班細亞會議決議宣言…………… 九四二
 諾威平和團體反日決議…………… 九四二
 布哇の邦貨輸入増加…………… 九四二
 パナマ船舶國籍轉移禁止…………… 九四二
 伯國政府の好意…………… 九四二
 マニラ民主主義聯盟反日決議…………… 九四二
 南京陥落に新嘉の歡喜…………… 九四二
 張總理談…………… 九四二
 墨西哥の排日…………… 九四二
 支那側對策
 【國防計畫】
 共産軍動員…………… 九四二
 共産軍改編…………… 九四二

共産軍上海戰線へ…………… 九四二
 共産一第四路軍」組織…………… 九四二
 共産黨首腦軍事委員任命…………… 九四二
 山西共産軍の動向…………… 九四二
 朱德、毛澤東等要職に任命…………… 九四二
 空 軍
 英國優秀機戰線へ…………… 九四二
 廣東で飛行機製作…………… 九四二
 支那空軍に外人飛行士參加…………… 九四二
 支那飛行士の技術拙劣…………… 九四二
 重慶の防空強化…………… 九四二
 新銳機二百臺購入…………… 九四二
 孫科南支防空再建協議…………… 九四二
 日本空襲を企圖…………… 九四二
 偽飛行機で民衆偽購…………… 九四二
 防空部新設とソ聯の關係…………… 九四二
 軍首腦部異動
 朱師長責任自殺…………… 九四二
 第七師長曾萬鍾免職…………… 九四二
 張自忠の自殺要求…………… 九四二
 張自忠の統殺免職…………… 九四二
 張自忠劉汝明を免職…………… 九四二
 羅縉師長軍法會議に…………… 九四二
 軍隊武器補給
 隱密に武器購入…………… 九四二
 海防より武器輸入旺盛…………… 九四二
 漢口に女子軍五百名…………… 九四二
 軍政部毒ガス製造…………… 九四二
 支那の募兵狀況…………… 九四二
 蔣總司令直ちに狂奔…………… 九四二
 孫、宗武器購入に狂奔…………… 九四二
 ダムダム彈四千五百萬發購入…………… 九四二
 對英米武器借款…………… 九四二
 福建でも新兵募集…………… 九四二
 香港から廣東へ軍需品輸送…………… 九四二
 航空路開設
 漢口、重慶、香港間航空路…………… 九四二
 重慶、香港間の航空開始…………… 九四二

中航代表マニラへ……………二四二
モスクワ・漢口間空路短縮……………二四五
作戰方針……………二四五

安慶に第二防禦線構築……………二五元
軍事防衛中心を四川と廣東に……………二五五
五大戰區制定……………二五五
抗戰第二段階の體勢整備說……………二五五
國軍編成替へ……………二六〇
支那軍の懸賞……………二六八
支那別動隊遊撃戰術……………二七四
蔣の遊撃作戰轉向談……………二七五
蔣直系軍隊を漢口に集結……………二八〇
蔣の軍隊訓示内容……………二八〇
戰時約法で山東防備……………二八七
全支を三戰區に分つ……………二八七
白崇禧再北上か……………二九三

蔣介石……………二九三
蔣介石潜伏說……………二九三
蔣介石蘇州で督戰說……………二九四
蔣賴勢挽回に狂奔……………二九四
蔣介石の苦慮(戰局)……………二九六
戰傷卅萬と蔣告白……………二九六

大本營……………二九六
南昌に大本營……………二九七
南昌大本營を強化……………二九五
南京防衛……………二九七
南京死守に賛否兩論……………二九七
南京自發的撤退說……………二九八
南京防衛司令部設置……………二九八
南京防禦陣容……………二九八
南京防禦陣容……………二九八
南京防禦陣容……………二九八

廣東の抗戰運動熾烈……………二九八
廣東海軍全滅……………二九八
廣東抗日本據と化す……………二九八
廣東省總動員計畫……………二九八
廣東全戸に石油用意……………二九八
汕東に軍政……………二九八
南支防備強化……………二九八
揚子江封鎖……………二九八

烏龍山附近封鎖通告……………二九八
揚子江九江に大封鎖線……………二九八
其 他……………二九八
各學校を兵營化……………二九八
漢口日本租界兵營化……………二九八
抗戰動員委員會設置……………二九八
救済資金を軍費に充當……………二九八
軍法執行分府設置……………二九八
支那軍内務抗爭頻々……………二九八
支那軍の第三國旗利用……………二九八
支那軍の内紛(北支)……………二九八
支那軍撤退の原因……………二九八
支那軍負傷者街路に氾濫……………二九八
將校に二元下士兵に一元支給……………二九八
戰傷者の手當不十分……………二九八
蘇州で舊東北軍叛亂說……………二九八
宗哲元軍法會議で軍規維持企圖……………二九八

農産・工礦・貿易三委員會設置……………二九八
國民大會無期延期……………二九八
國民黨改組……………二九八
政治と經濟の機軸分離せん……………二九八
浙江省政府移轉……………二九八
孫科香港で對策協議……………二九八
孫文の遺骸始末に悩む……………二九八
中華民族革命同盟解散……………二九八
福建の恐怖政治……………二九八
國共合作……………二九八
共產黨、國民黨に提案……………二九八
毛澤東の主張……………二九八
共產黨新提案を諸黨派支持……………二九八
國共合作で軍事公路網企圖……………二九八
國共合作に實業界恐慌……………二九八
山西省に延びた赤色魔手……………二九八
支那商業會議所共產化否定辯明……………二九八

朱、白私財提供を要望……………二九八
地方將領共産黨排除通電……………二九八
汪兆銘、張群辭表提出……………二九八
辭表提出理由……………二九八
行政院長に孔任命說……………二九八
吳鐵城轉出說……………二九八
江蘇、浙江主席更迭……………二九八
國府人事異動……………二九八
宣傳部長更迭……………二九八
宋子文廣東省主席任命……………二九八
上海對策……………二九八
國府上海機關引揚……………二九八
上海抗敵後援會國府に要請……………二九八
上海戰線後退理由を告ぐるの書……………二九八
上海辦事處移轉……………二九八
南京政府上海告別の辭……………二九八
南京還都……………二九八
軍事機關を除き南京還都決定……………二九八

選都要綱……………二九八
假首都重慶……………二九八
重慶還都宣言發表……………二九八
選都宣言全文……………二九八
重慶還都式計畫……………二九八
國府更に成都へ還都か……………二九八
國府各機關漢口移轉終了……………二九八
外交部漢口移轉……………二九八
外交部重慶移轉……………二九八
外交、財政、實業各部重慶へ……………二九八
實業部經濟委員會長沙へ移轉……………二九八
政府要人漢口着……………二九八
國府各要人長沙着……………二九八
首席林森重慶へ……………二九八
官吏八割を解雇……………二九八
官吏三班上流へ……………二九八
官東に各部分局設置……………二九八

蔣介石……………二九八
蔣介石も輿地引揚說……………二九八
蔣下野野說否定……………二九八
蔣上海財界に援助懇請……………二九八
蔣の立場……………二九八
消息……………二九八
何應欽廣東入り……………二九八
孔祥熙……………二九八
孔祥熙新嘉坡上陸……………二九八
孔祥熙香港へ……………二九八
孔祥熙香港で協議……………二九八
孔祥熙上海歸着……………二九八
孔祥熙南京へ……………二九八
國府要人多數香港に集る……………二九八
蔡廷楷香港に逃避……………二九八
周恩來山西に去る……………二九八
人民戰線派香港集合……………二九八
浙江財閥巨頭漢口へ……………二九八
浙江財閥巨頭香港へ……………二九八
宋子文も上海脱出……………二九八
宋子文亡命準備說……………二九八

宋姉妹香港に到着……………二九八
宋美齡肋骨挫折……………二九八
孫科香港出發……………二九八
駐ソ支那大使歸國……………二九八
張自忠南京着……………二九八
白崇禧、宋子文暗躍……………二九八
俞市長以下要人香港へ逃亡……………二九八

楊虎城歸國……………二九八
楊虎城南京へ……………二九八
李宗仁南京へ……………二九八
【財 經】……………二九八
印紙稅暫定便法創設……………二九八
會計年度延長說……………二九八
廣東の疲弊極に達す……………二九八
金融機關困難……………二九八
銀保有量半減……………二九八
國防財政破綻に漸す……………二九八
國府募債に苦慮……………二九八
公債總額僅か三千萬圓……………二九八
家賃を救國公債に充當……………二九八
支那各國への借款額……………二九八
上海市政府減俸令……………二九八
製紙業没落……………二九八
政府系銀行南京へ移轉……………二九八
四銀行南京移轉中止……………二九八
政府系金融機關上海放棄……………二九八
政府銀行漢口移轉決定……………二九八
戰時農工商管理條令公布……………二九八
對日團匪賠償金支拂停止……………二九八
中日貿易協會解散……………二九八
通 貨……………二九八
支那幣制動搖……………二九八
南京陷落と支那幣制……………二九八
支那法幣發行高著増……………二九八
河北省紙幣の流通禁止……………二九八
通 商……………二九八
上海貿易(十月)……………二九八
上海の貿易漸次恢復……………二九八

全支貿易額……………	1011、1014
九月中全支出入船舶……………	1008
【要人言説】	
王大使米國で豪語……………	1016
王寵惠毒ガス使用諒告……………	1016
帝國大使館反駁……………	1016
汪、長期抗戰を放送……………	1016
干右任豪語……………	1016
孔祥熙僑購的選都辯……………	1016
孔祥熙豪語……………	1016
孔休戰用意を仄かす……………	1016
孔祥熙香港で豪語……………	1016
國府なほも豪語……………	1016
濟南も自發的拋棄と強がる……………	1016
上海敗退を戰略と辯明……………	1016
蔣介石……………	1016
蔣介石双十節放送……………	1016
蔣徹底抗日を強調……………	1016
上海敗戦に蔣強辯……………	1016
蔣介石豪語……………	1016
蔣南京死守を言明……………	1016
蔣外人記者に強がる……………	1016
蔣介石記者に豪語……………	1016
蔣介石尙も抗戰を宣言……………	1016
張群長期抗戰豪語……………	1016
張群も陳辭に努む……………	1016
楊虎城が反日演説……………	1016
李宗仁豪語……………	1016
【抗日運動】	
抗日三段構へに入る……………	1016
抗日大同盟結成……………	1016
上海對日經濟絕交會決議……………	1016
人戰派抗日策動……………	1016
太原犧牲救國同盟の排日……………	1016
ハリソン號で抗日展覽會……………	1016
佛印支の華僑排日激化……………	1016
邦人權益の破壞に着手……………	1016
漢口日本租界武力回收……………	1016
國府漢口邦人財産使用を命令……………	1016
【其他】	

大公報、申報退却……………	1017
南京で貸地下室業……………	1017
南京美術品奥地へ搬出……………	1017
米宣教師拉致される……………	1017
【對外工作】	
干涉要望……………	1017
英米の干渉要望……………	1017
外國の援助要望(南京還都)……………	1017
國府、ソ聯の態度に失望……………	1017
九國會議の失敗に悲觀色濃厚……………	1017
蔣、英國民に訴ふ……………	1017
ソ聯大使歸任に期待……………	1017
米ソの援助懇願……………	1017
國際聯盟に日本を認告……………	1017
支那赤色スペインの友好示威……………	1017
ソ聯記念日に國府要人祝電……………	1017
北京新政府否認聲明……………	1017
對外宣言……………	1017
華府でも毒瓦斯使用のデマ……………	1017
廣東で對外デマ宣傳……………	1017
國際友誼社結成……………	1017
支那の逆宣傳愈々露骨……………	1017
駐英支那大使館デマ放送……………	1017
南京主教歐洲教徒に訴ふ……………	1017
プレス・コフアレンス廢止……………	1017
駐伊支那大使歸國……………	1017
南京外人に避難勸告……………	1017
松井最高指揮官談話反響……………	1017
廬山の外人に引揚勸告……………	1017
和平論……………	1017
汪精衛和戰演説……………	1017
吳鼎昌和戰兩傑の談……………	1017
孔祥熙講和條件を聲明……………	1017
支那藥界に停戰論擡頭……………	1017
大公報和平論文……………	1017
民間に和平の聲……………	1017
和戰妥協論對立……………	1017
【戰況】	

アメリカ飛行機射撃を命令……………	1018
イギリス……………	1018
英國、關北陣地撤收……………	1018
英國兵五名死傷……………	1018
英武裝解除兵收容準備……………	1018
英の對支軍援助……………	1018
英、我飛行機射撃……………	1018
英人記者流彈で即死……………	1018
支那軍と英國警備軍交戦……………	1018
某國示威的妨礙行為(威海衛)……………	1018
揚子江ジャンク中に英國船……………	1018
外人觀戰……………	1018
英記者皇軍を賞讃……………	1018
各國武官觀戰……………	1018
外國武官大同へ……………	1018
德州視察……………	1018
上海總攻撃に外國武官感歎……………	1018
日本軍の砲撃正確に外人驚歎……………	1018
佛記者皇軍の威力に驚歎……………	1018
米記者の戰局觀……………	1018
ベルギー記者皇軍禮讚……………	1018
メルシエ佛大佐觀戰談……………	1018
支那軍捕虜の日支和平談……………	1018
侍從武官を慰問に御差遣……………	1018
上海各國の警備嚴重……………	1018
上海占領地區制限緩和……………	1018
上海戰歐洲戰比較表……………	1018
日露戰爭と今次事變との比較……………	1018
松井最高指揮官聲明……………	1018
中國人に告ぐ……………	1018
民間飛行士に感狀……………	1018
日支兩軍損害總額……………	1018
十月廿五日迄……………	1018
十一月廿日迄……………	1018
【支那側作戰】	
支那海軍全滅……………	1018
支那軍總死傷八十萬人……………	1018

支那別動隊游擊戰術……………	1019
蔣の軍隊訓示内容……………	1019
贛傷卅萬と蔣告白……………	1019
飛行機の案山子……………	1019
△北 支	
一 般……………	1019
北支支那軍事實上潰滅……………	1019
北支支那軍の陣容……………	1019
空軍根據地……………	1019
支那軍損害……………	1019
公報十一月廿日迄概數……………	1019
忻口死傷七萬餘……………	1019
娘子關……………	1019
津浦及中部損害八萬餘……………	1019
正太線……………	1019
支那軍の内狀……………	1019
劉多荃軍兵變説……………	1019
赤十字章を濫用して退却……………	1019
宋哲元軍法會議……………	1019
九軍長以下戰死……………	1019
退却團長を銃殺……………	1019
中央軍捕虜の談……………	1019
非人進行爲……………	1019
飛行兵の談……………	1019
六十八師長銃殺説……………	1019
河 南……………	1019
確山に空軍根據地……………	1019
彰德による……………	1019
彰德方面退去……………	1019
河 北……………	1019
一 般……………	1019
京漢線遊撃は宋の擊回策……………	1019
京漢線支那軍戰意喪失……………	1019
第廿九軍敗殘兵匪賊化……………	1019
萬福麟軍衰微……………	1019
故城に敗走軍集結……………	1019
順德に據る……………	1019
正定損害多數……………	1019
新樂空襲……………	1019
石家莊……………	1019

石家莊死守を期す……………	1020
孫連仲石家莊總指揮に……………	1020
退却開始……………	1020
程潛が總司令……………	1020
大沽空襲……………	1020
趙州支那軍潰滅……………	1020
滹沱河線に據る……………	1020
山 西……………	1020
一 般……………	1020
援軍廿萬山西へ……………	1020
閻錫山敗狀報告……………	1020
共產軍徹底的に抗日……………	1020
共產軍逃亡土匪化……………	1020
山西支那軍の陣容……………	1020
山西軍の敗退振り……………	1020
山西支那軍の敗退振り……………	1020
崞縣の支那軍編成と損害數……………	1020
忻口嶺……………	1020
ガス彈使用……………	1020
死 守……………	1020
督戰隊と同志討……………	1020
娘子關支那軍敗色……………	1020
太 原……………	1020
閻立退料をせしむ……………	1020
支那軍潰滅……………	1020
白崇禧軍も參加……………	1020
陽泉共產軍中に少女……………	1020
山 東……………	1020
一 般……………	1020
山東省情勢……………	1020
山東省政府南方に移轉……………	1020
山東軍動搖……………	1020
山東軍布告文書……………	1020
山東防備狀況……………	1020
山東の敵機西安に逃避……………	1020
支那軍の活動消極化……………	1020
蔣四ヶ師を山東に急派……………	1020
津浦線前面に韓復榘軍參……………	1020
加……………	1020

中央軍續々北上……………八六
 南山東は李宗仁守備……………五五
 馮玉祥泰山に現はる……………二六三
 禹城防禦陣地……………九六
 黃河戰線
 黃河以北喪失負惜み……………三三六
 黃河鐵橋爆破……………三三六
 黃河南岸に退却……………三三六
 黃河南岸の防備を急ぐ……………三〇六

濟南
 韓復榘窮地に立つ……………九二
 韓復榘戰備を進む……………一〇〇
 韓復榘對日抗戰言明す……………九六
 韓復榘の態度……………一〇一
 韓復榘軍潰滅に瀕す……………三三三
 韓復榘歸德に逃亡……………三三三
 濟南軍事市街化す……………一四〇
 濟南に軍用列車集結……………一〇七
 濟南も自發的拋棄と強がる……………一〇三

青島
 于學忠軍南方へ退却……………一〇六
 膠州灣封鎖に着手……………一〇五
 青島市長市民に避難勸告……………一〇七
 青島戰備……………一〇三
 青島の形勢逼迫……………一〇五
 青島の支那軍海州臨沂へ退却……………一〇三
 青島破壞續……………一〇三
 大汶江に第二線構築……………九七
 芝罘の支那軍撤退……………一〇〇
 德州支那軍潰滅……………八六
 平原に據る……………八三
 瀛口鎮に陣地構築……………一〇七
 臨邑防禦陣地……………九六
 遼遼
 傅作義五原方面に逃走……………八五
 馬占山軍集結……………九四
 馬占山掠奪逃走……………九二

△中支戰況
 一 般
 支那軍内情……………三六
 支那軍中に少年と婦人……………三六
 支那軍内情……………一〇四、一〇五、一〇六
 支那軍の懸賞……………九六
 支那軍敗退の原因(A・P)……………一〇三
 蘇州で舊東北軍叛亂説……………一〇三
 敵將校日記……………一〇三
 捕虜が語る支那軍内情……………九二、九三
 支那軍の犠牲……………一〇〇
 陸軍公報十月五日迄……………八五
 上海死傷卅萬……………一〇〇
 上海の損害甚大……………一〇〇、一〇一
 翁照垣負傷……………一〇六
 湖東作戦支那側損害……………一〇六
 朱帥長自殺……………一〇一
 中央軍精銳大半を失ふ……………一〇一
 二旅長一團長戰死……………一〇一
 白崇禧負傷……………一〇一
 兩廣軍首腦者負傷……………一〇一
 支那軍の不法行爲……………一〇六
 共同租界に盲彈……………一〇六
 第三國旗利用……………九八
 ダムダム彈使用……………九七
 毒瓦斯使用……………九六
 陸軍公報……………九六
 非戰鬥員砲撃に外人注目……………八五
 病院射撃……………一〇五
 防禦作戦……………一〇五
 支那の武器は寄集め……………一〇三
 蔣、沼澤地帯抵抗を策す……………一〇四
 蔣、陣容立直しに狂奔……………一〇三
 蔣督戰に大童……………一〇六
 共產軍改編……………一〇一
 毛澤東ケリラ戰準備……………一〇一
 第七師長曾萬鐘免職……………九六
 第十師長更迭……………八五
 太湖作戦畫餅……………一〇三
 第三陣地構築……………一〇一

第二線陣地……………一〇二
 江陰、無錫の線による……………一〇三
 董子軍を強制徵發……………一〇五
 戴其上海増援軍指揮者に……………一〇四
 嘉興
 敵導師二萬嘉興へ……………一〇二
 退却開始……………一〇三
 句容防禦準備……………一〇三
 陷落前の句容……………一〇三
 湖州に退却……………一〇三
 杭州
 退却開始……………一〇四、一〇五
 反擊の體勢……………一〇六
 廣德支那側損害……………一〇一
 崑山大動搖……………一〇四
 上海
 北四川路支那軍堅壘に據る……………八五
 閩北軍新主と交代……………九三
 閩北大動搖……………九三
 蔡廷鍇上海戦線に……………八五
 上海空襲……………八二、八三、八四、八五、八六、八七
 敵機居住地帯に燒夷彈投下……………九七
 米人負傷……………八五
 上海の支那軍五十萬……………八三
 支那軍混亂狀態……………一〇三
 前線支那兵雨濱要求……………九三
 前線に躍る抗日赤化學生軍……………九三
 退却開始……………一〇三
 北四川路後退開始……………八五
 杭州方面に退却……………一〇三
 退却軍豐田防に侵入……………一〇三
 豐田防の殘敵放火……………一〇六
 南市撤退開始……………一〇一
 佛租界支那保安隊撤退……………一〇一
 敗退辯明……………一〇〇、一〇一、一〇二
 蔣介石・張群……………一〇〇
 敗戦の慘狀……………八五
 保安隊南市に隔斷……………一〇三
 常州市街に大火……………一〇三
 常熟軍動搖……………一〇三

大倉大混亂……………一〇三
 大場鎮……………一〇三
 大場鎮放蕩を辯明……………一〇三
 支那軍の狼狽……………一〇三
 中央軍火藥庫爆發……………一〇三
 當塗退却開始……………一〇六
 南京
 蔣最後會議開催……………一〇三
 蔣南京死守を言明……………一〇三
 南京死守に賛否兩論……………一〇三
 蔣南京脱出……………一〇三、一〇四、一〇五
 蔣南京脱出……………一〇三、一〇四、一〇五
 南京外人避難勸告……………一〇三
 南京軍移動開始……………一〇三
 南京交戦區域布告……………一〇三
 南京市内を燒却……………一〇三
 南京市内の混亂……………一〇三、一〇四、一〇五
 南京籠城狀態に入る……………一〇三
 南京戒嚴狀態に入る……………一〇三
 陷落直前の南京……………一〇三、一〇四
 南京支那軍動搖……………一〇三
 敗殘兵の南京遁入阻止……………一〇三
 南京防衛司令部設置……………一〇三
 南京防衛指揮官任命……………一〇三
 蔣生智悲鳴……………一〇三
 南京防備強化……………一〇三、一〇四、一〇五
 蔣親衛隊を南京市内外に配置……………一〇三
 毒ガス使用……………一〇三
 南翔の陣容……………一〇三
 廟行鎮放棄を辯明……………一〇三
 蕪湖退却開始……………一〇三
 浦東
 浦東から虹口砲撃……………一〇三
 浦東支那軍退却……………一〇三
 無錫退却開始……………一〇三
 揚子江封鎖……………一〇三
 烏龍山附近封鎖勸告……………一〇三
 江陰陷落で封鎖線無効……………一〇三

連雲港に中央軍集中……………八〇
 △南支戰況
 一般商船廣東航行禁止……………八三
 廣東海軍全滅……………九一
 廣東全州に石油用意……………一〇三
 廣東の抗戰運動熾烈……………一〇三
 金門島奪還を圖る……………一〇三
 白雲飛行場充實……………一〇三
 南支恐怖狀態……………一〇三
 香港兵站基地となる……………一〇三
 【内蒙軍作戦】
 伊克昭盟旗の敵武裝解除……………九六
 旗下營攻擊……………八三
 公廟到着……………九三
 綏遠城へ進撃……………九六
 綏遠入城……………九六
 百靈廟占領公報……………八五
 武川占領……………八三
 蒙古各盟旗團結して支那軍追撃……………九六
 李守信軍包頭入城……………九六
 【日本海軍作戦】
 △一 般
 海の荒鷲に感狀……………一〇〇
 海軍活躍の跡(公)……………一〇〇
 長谷川長官講話……………一〇一
 長谷川長官全軍に訓令……………一〇〇
 △支那海運斷
 交通遮斷指揮官變更……………一〇三
 長谷川司令官談……………一〇三
 吉田司令官長官ステートメント……………一〇三
 航行遮斷完全繼續……………一〇三
 先任將校談……………一〇三
 北野艦長談……………一〇三
 青島も航行遮斷……………一〇三
 全支沿岸航行遮斷完成……………一〇三
 △中支戰況
 一 般
 英警備兵我が輸送艇阻止……………一〇三
 神原中佐戰死……………一〇三

連雲港に中央軍集中……………八〇
 △南支戰況
 一般商船廣東航行禁止……………八三
 廣東海軍全滅……………九一
 廣東全州に石油用意……………一〇三
 廣東の抗戰運動熾烈……………一〇三
 金門島奪還を圖る……………一〇三
 白雲飛行場充實……………一〇三
 南支恐怖狀態……………一〇三
 香港兵站基地となる……………一〇三
 【内蒙軍作戦】
 伊克昭盟旗の敵武裝解除……………九六
 旗下營攻擊……………八三
 公廟到着……………九三
 綏遠城へ進撃……………九六
 綏遠入城……………九六
 百靈廟占領公報……………八五
 武川占領……………八三
 蒙古各盟旗團結して支那軍追撃……………九六
 李守信軍包頭入城……………九六
 【日本海軍作戦】
 △一 般
 海の荒鷲に感狀……………一〇〇
 海軍活躍の跡(公)……………一〇〇
 長谷川長官講話……………一〇一
 長谷川長官全軍に訓令……………一〇〇
 △支那海運斷
 交通遮斷指揮官變更……………一〇三
 長谷川司令官談……………一〇三
 吉田司令官長官ステートメント……………一〇三
 航行遮斷完全繼續……………一〇三
 先任將校談……………一〇三
 北野艦長談……………一〇三
 青島も航行遮斷……………一〇三
 全支沿岸航行遮斷完成……………一〇三
 △中支戰況
 一 般
 英警備兵我が輸送艇阻止……………一〇三
 神原中佐戰死……………一〇三

連雲港に中央軍集中……………八〇
 △南支戰況
 一般商船廣東航行禁止……………八三
 廣東海軍全滅……………九一
 廣東全州に石油用意……………一〇三
 廣東の抗戰運動熾烈……………一〇三
 金門島奪還を圖る……………一〇三
 白雲飛行場充實……………一〇三
 南支恐怖狀態……………一〇三
 香港兵站基地となる……………一〇三
 【内蒙軍作戦】
 伊克昭盟旗の敵武裝解除……………九六
 旗下營攻擊……………八三
 公廟到着……………九三
 綏遠城へ進撃……………九六
 綏遠入城……………九六
 百靈廟占領公報……………八五
 武川占領……………八三
 蒙古各盟旗團結して支那軍追撃……………九六
 李守信軍包頭入城……………九六
 【日本海軍作戦】
 △一 般
 海の荒鷲に感狀……………一〇〇
 海軍活躍の跡(公)……………一〇〇
 長谷川長官講話……………一〇一
 長谷川長官全軍に訓令……………一〇〇
 △支那海運斷
 交通遮斷指揮官變更……………一〇三
 長谷川司令官談……………一〇三
 吉田司令官長官ステートメント……………一〇三
 航行遮斷完全繼續……………一〇三
 先任將校談……………一〇三
 北野艦長談……………一〇三
 青島も航行遮斷……………一〇三
 全支沿岸航行遮斷完成……………一〇三
 △中支戰況
 一 般
 英警備兵我が輸送艇阻止……………一〇三
 神原中佐戰死……………一〇三

馬占山掠奪逃走……………九二、九三

太湖作戦畫餅……………一〇三
 第三陣地構築……………一〇一

常熟軍動搖……………一〇三

無錫退却開始……………一〇三

英警備兵我が輸送艇阻止……………一〇三

戰死將校氏名：八三、八六、八三、八〇
八〇、八三、八六、八三、八〇、八三、八六、八〇
八三、八六、八〇、八三、八〇、八三、八六、八〇
八〇、八三、八六、八三、八〇、八三、八六、八〇
八三、八六、八〇、八三、八〇、八三、八六、八〇

全支制壓の體勢成る……二〇〇
損害概況(十一月廿日迄)……二〇〇
寺内司令官督傳達……九七
全軍將士に告ぐるの辭……九七
北支派遣軍勅語奉戴式……三〇
兩軍司令官奉答……三六
南口、南苑に無名勇士の墓……二〇〇

關東軍山西作戰に軍感狀……一〇〇
北支方面部隊に感狀……二〇
九谷部隊に表彰狀……九六
陸相關東軍に感謝電……九六
北支押収兵器(第二回)……一〇〇
北支戰局終幕に近づく……二二

河南省境突破……九六
涇河逆襲軍擊退……一〇〇
漳河畔に進撃……九六、九六
全軍漳河渡河……九六
漳河附近鹵獲品……九六
敗走兵追撃……九六
漳河逆襲軍擊退……一〇〇、一〇〇
彰德占領……一〇六、一〇六
彰德で全軍待機……一〇〇
任縣占領……一〇〇
豐樂鎮占領……九六、九六、九六
敵機擊退……一〇〇
孟固攻撃……一〇〇
臨漳に猛進撃……一〇〇

威縣占領……一〇六、一〇六
鹽山占領……一〇六
河郭鎮占領……一〇〇
賈市莊占領……九六
邯鄲占領……九六

觀臺嶺炭礦占領……一〇三
邱縣占領……一〇三
京漢快速列車追撃戰記……九三、九七
元氏占領……九六
固城鎮占領……九六
光祿鎮占領……九六
廣平に進出……九六
沙河鎮潛入軍潰滅……一〇〇
磁州占領……九六
順德占領……九六
河北省敵據點完全に潰滅……九七
戰車隊順德に迫る……九七
新樂敵機擊退……一〇〇
正定占領……一〇〇
正定東方一里に迫る……一〇〇
敵機逃走……一〇〇
正定入城……一〇〇
敗退軍追撃……一〇〇、一〇〇
正定攻撃戰の我死傷數……一〇〇
井陘占領……一〇〇
井陘西方で三ヶ團の敵を撃滅……一〇〇
井陘南方山地占領……九六
清豐占領……一〇〇
石家莊占領……一〇〇
石家莊戰線概況……九六、八六、八三
豫想より早かつた陥落……八三
石家莊占領陸軍當局談……九六
〇〇部隊長石家莊入城……九六
石家莊敗退軍追撃……九六、九六

石家莊戰の結果……九六
石家莊縣占領……九六
前郭平に進む……九六
莊頭占領……九六
莊頭趙州南方線に進出……九六
大名占領……一〇〇
赤の團士が占領の人柱……一〇〇
大名城入城……一〇〇

中部地帯
中部平原緊迫……八三
河北中部追撃戰續行……九七
中部突破軍の偉功……九六、九六
京漢津浦中間地帯敗殘兵潰滅……一〇〇

定州逆襲軍潰滅……九六
唐山突破……九六
東長壽敗殘兵歸順……九六
内邱入城……九六
南和占領……九六、一〇〇
任縣占領……九六
寧晉占領……九六
寧津占領……一〇〇
馬頭鎮占領……九六
柏鄉突破……九六
美化鎮占領……九六
武定占領……一〇〇
平山占領……一〇〇、八三、八三
保定敵機擊退……九六
滹沱河北岸に達す……九六
滹沱河渡河開始……九六
欒城占領……九六
陞洛關に進む……九六
靈壽縣城占領……九六

河北山西省境突破……九六
軍司令部發表……九六
山西攻略作戦の跡……九六
長谷川快速部隊の戰績……一〇〇
關錫山に勸告ヒラ撒布……九六
葦池占領……一〇〇
右玉入城……九六
下王莊占領……九六
崞縣占領……九六
崞縣城占領……九六
關城鎮占領……一〇〇
祁縣占領……一〇〇
逆襲軍擊退……一〇〇、九六

忻縣占領……一〇〇
敵二機擊退……九六
忻口鎮攻撃……九六、九六、九六、九六
忻口鎮占領……一〇〇
忻口屋根形高地占領……九六、九六
忻口船型高地占領……九六
忻口鎮東西高地占領……九六
輜重隊の苦心……一〇〇
丸山部隊表彰……一〇〇
芥泉鎮占領……一〇〇
原平鎮占領……一〇〇
五臺山敵軍包圍……九六
校桃園南側高地占領……九六
廣陽鎮占領……一〇〇
壽陽占領……一〇〇
娘子關占領……一〇〇
娘子關に迫る……一〇〇
不善の峇娘子關……一〇〇
全軍更に進撃……一〇〇
難攻追撃戰……一〇〇
娘子關新關占領……一〇〇
娘子關新關突破……一〇〇
辛興鎮占領……一〇〇
清源城占領……一〇〇
昔陽共產軍殲滅……一〇〇
測石胎占領……一〇〇
大安驛敗敵を撃滅……一〇〇
大谷攻撃……一〇〇
太原へ進撃……九六、九六、一〇〇、一〇〇
兩線より太原に迫る……一〇〇
太原城攻撃……九六、一〇〇、一〇〇
騎兵部隊北門占領……一〇〇
敵に投降勸告……一〇〇、一〇〇
太原投降勸告應答なし……一〇〇
太原城占領(公)……一〇〇、一〇〇
太原攻略戰記……一〇〇、一〇〇
慘憺たる太原落城の跡……一〇〇
太原占領の意義……一〇〇
太原占領將士に聖旨傳達……一〇〇

太原入城式……一〇〇
太原鹵獲品……一〇〇
太原城内毒瓦斯彈押収……一〇〇
太原南方高地殘兵掃蕩……一〇〇
張蘭鎮敗走兵擊滅……一〇〇
同浦正太進撃……一〇〇
南太原占領……一〇〇
平潭占領……一〇〇
平定占領……一〇〇
平遙占領……一〇〇
平魯占領……一〇〇
馬坊鎮共產軍殲滅……一〇〇
橋次占領……一〇〇
山西共產軍を撃退……一〇〇、一〇〇
陽泉占領……一〇〇
涼城占領……一〇〇
六軒崗嶺擊破……一〇〇

山東攻勢體勢成る……一〇〇
山東河北省境殘敵掃蕩……一〇〇
天津軍山東膺懲を宣言……一〇〇
晏城占領……一〇〇
禹城占領……一〇〇
禹城攻撃……一〇〇
禹城占領……一〇〇
夏口鎮占領……一〇〇
冠縣占領……一〇〇
故城占領……一〇〇
故城攻撃……一〇〇
高唐縣占領……一〇〇
膠濟線を遮斷……一〇〇
黃河涯進出……一〇〇、一〇〇
黃河以北を制壓……九六、九六、九六
黃河大鐵橋に迫る……一〇〇、一〇〇
分進合撃の作戰効果……一〇〇
黃河下流の掃蕩完成……一〇〇
皇軍の意氣既に敵を呑む……一〇〇
黃河敵前渡河……一〇〇
齊河占領……一〇〇

太原入城式……一〇〇
太原鹵獲品……一〇〇
太原城内毒瓦斯彈押収……一〇〇
太原南方高地殘兵掃蕩……一〇〇
張蘭鎮敗走兵擊滅……一〇〇
同浦正太進撃……一〇〇
南太原占領……一〇〇
平潭占領……一〇〇
平定占領……一〇〇
平遙占領……一〇〇
平魯占領……一〇〇
馬坊鎮共產軍殲滅……一〇〇
橋次占領……一〇〇
山西共產軍を撃退……一〇〇、一〇〇
陽泉占領……一〇〇
涼城占領……一〇〇
六軒崗嶺擊破……一〇〇
山東攻勢體勢成る……一〇〇
山東河北省境殘敵掃蕩……一〇〇
天津軍山東膺懲を宣言……一〇〇
晏城占領……一〇〇
禹城占領……一〇〇
禹城攻撃……一〇〇
禹城占領……一〇〇
夏口鎮占領……一〇〇
冠縣占領……一〇〇
故城占領……一〇〇
故城攻撃……一〇〇
高唐縣占領……一〇〇
膠濟線を遮斷……一〇〇
黃河涯進出……一〇〇、一〇〇
黃河以北を制壓……九六、九六、九六
黃河大鐵橋に迫る……一〇〇、一〇〇
分進合撃の作戰効果……一〇〇
黃河下流の掃蕩完成……一〇〇
皇軍の意氣既に敵を呑む……一〇〇
黃河敵前渡河……一〇〇
齊河占領……一〇〇

東京市長賀表捧呈……………五六
古莊司令官戰勝奉告……………五六
【宣傳對策】
瓜生大將の書翰に米感銘……………一〇〇
外人記者懇談會……………一〇三
各種の虛報排撃廣告……………一〇五
虛構宣傳對抗必要論……………一〇八
遣外國使節(外交參照)……………一〇九
近衛君啓蒙の大馬力……………一〇六
在米同胞日本の立場を闡明……………一〇七
デマ排撃報道班……………一〇九
德川侯等五氏ロンドンタイムスに
寄稿……………一一〇
日商支那側のデマに對抗……………一一一
野村大將對米放送……………一一二
米女教員團に事變說明……………一一三
松岡氏米國に聲明……………一一四
松岡總裁外國記者團に說明……………一一五
【從軍運動】
弟の仇討に南米から出征……………一一六
可憐な少年の從軍願……………一一七
學生航空隊に從軍許可……………一一八
學生鳥人壯途……………一一九
志願者採用差支なき限り從軍許可……………一二〇
上海戰線從軍僧歸る……………一二一
獨逸の女醫から從軍願……………一二二
南洋から從軍志願……………一二三
日露勇士廿名從軍志願……………一二四
民間飛行士の從軍志願……………一二五
盲人の從軍願……………一二六
【在外使臣活躍】
齋藤大使演說……………一二七
支那に於ける日本の目的と手段……………一二八

記者俱樂部演說……………一二九
支那事變論……………一三〇
鹽崎參事演說……………一三一
須磨參事演說……………一三二
若杉總領事演說……………一三三
一三三

【對支方針】
上海攻略に際して陸軍當局談……………一三四
南京陥落に伴ふ帝國の方針……………一三五
四相會議新對策協議……………一三六
五相會議新對策協議……………一三七
選相首相訪問……………一三八
陸軍省部會談……………一三九
陸海外務當局打合せ……………一四〇
陸相首相協議……………一四一
蔣政權否認論露頭……………一四二
南京陥落首相談發表決定……………一四三
近衛首相談……………一四四
對支建設工作協議……………一四五
其 他……………一四六
青木次長一行上海着……………一四七
伊藤公使上海視察……………一四八
企鵝院次長報告……………一四九
谷公使車中談……………一五〇
谷公使上海着……………一五一
日高參事官南京歸任……………一五二
外務省文化事業部派遣團(北支)……………一五三
新城博士の對支文化運動……………一五四
東亞文化振興協議……………一五五
東商の對支諸方策……………一五六
【大本營】
大本營設置……………一五七
幕僚長以下拜調……………一五八
兩幕僚長官邸下御招待……………一五九
閣院參謀總長官邸參内……………一六〇
伏見幕僚長官邸下御參内……………一六一
海軍報道部公表戰果……………一六二
北支那方面部隊に感狀……………一六三
濟南占領公表……………一六四
南京攻略當局談發表……………一六五
南京戰捷の報を内奏……………一六六
陸海軍に優渥なる御言葉……………一六七

陸軍部に清酒御下賜……………一六八
パネ1號事件公表……………一六九
蕪湖英艦事件發表……………一七〇
幕僚政府聯絡會議……………一七一
連絡幹事會毎土曜日決定……………一七二
對支根本方策成る……………一七三
御前會議奏請か……………一七四
【弔慰・慰靈祭】
朝日社員葬に參謀總長官御代拜……………一七五
加納、谷川兩原除告別式……………一七六
加納部隊隊長慰靈祭……………一七七
太原支那陣歿將士慰靈祭……………一七八
秩父宮様から御弔慰金……………一七九
讀賣社員葬參謀總長官御代拜……………一八〇
陸海合同慰靈祭……………一八一
【勞働團體】
海員組合米國へ抗議……………一八二
東交年度大會時局決議……………一八三
日産勞働組合時局決議……………一八四
郵便從業員の非常決議……………一八五
勞働總同盟支援助決議……………一八六
【其 他】
淺野上海放送局長赴任……………一八七
英靈列車の標識……………一八八
艦隊郵便局の活動……………一八九
軍國母の美談……………一九〇
獻金獨人に老醫官贈物……………一九一
坂本少佐未亡人の手記……………一九二
社大黨日本品排斥反對通電……………一九三
清和會の防務マスタ作り……………一九四
赤十字看護婦募集……………一九五
船舶業者の光榮……………一九六
戰地から號後の救護へ……………一九七
戰地に正月用品發送……………一九八
戰歿勇士の妻から血染の日の丸……………一九九
父の死を秘する軍國の兄……………二〇〇
對支國際動向研究會獨伊へ感謝電……………二〇一
對支有志代議士會九國條約廢棄案……………二〇二

瀋……………二〇三
帝國報道陣の正確さ……………二〇四
東京府商工團體統後聯盟……………二〇五
同文書院御眞影奉還……………二〇六
白衣の天使の輸血……………二〇七
半島民衆の愛國熱……………二〇八
佛紙記者軍病院に敬服……………二〇九
北支軍事小包開始……………二一〇
野兔百五十萬頭捕獲運動……………二一一

歐洲情勢
伊國國際情勢
【一 般】
伊ソ條約破壞否定……………二一二
イタリヤ帝國建設……………二一三
伊、反佛熱昂……………二一四
伊、米國民主主義を攻撃……………二一五
日獨伊防共聯絡抗議……………二一六
抗議一號……………二一七
羅馬進軍記念首相演說……………二一八
英國の演說評……………二一九
英、タイムスの贊成を非難……………二二〇
ハンガリーは支持……………二二一
【伊、國際聯盟退】
國際聯盟退傳……………二二二
英外務省筋輕視……………二二三
國際聯盟退決行……………二二四
イタリヤ官邊の意向……………二二五
大評議會聯盟退決定……………二二六
退理由……………二二七
首相聲明要旨……………二二八
聯盟職員引揚げ……………二二九
ローマ異常の昂奮……………二三〇
國際勞動局も退還……………二三一
列國動向……………二三二
英對伊強硬策に轉換か……………二三三
オーストリア態度不變……………二三四
スミス嚴正中立復歸論……………二三五
西班牙赤色政權は論難……………二三六

ソ聯重大視……………二三七
獨伊の脱退支持……………二三八
ハンガリー脱退歡迎……………二三九
ポーランドも動かず……………二四〇
新聞論調……………二四一
伊、英、佛、獨、埃、ス、米……………二四二
【伊ニ會談】
伊ニ兩首相會談……………二四三
伊ニ兩首相第二次會談……………二四四
コンミニケ……………二四五
敬皇ニ首相接見……………二四六
首相訪伊……………二四七
首相ミラノ訪問……………二四八
首相歸國……………二四九
【工チオピア問題】
愛蘭エチオピア合併承認……………二五〇
和蘭エチオピア併合承認……………二五一
英國の外交……………二五二
【一 般】
下院外交方針答辯……………二五三
議會外交政策討論……………二五四
外相外交演說……………二五五
伊紙批評……………二五六
國際時局演說……………二五七
伊紙の評……………二五八
首相帝國團結強化演說……………二五九
首相平和演說……………二六〇
セシル卿夫妻訪米……………二六一
前勞働黨首チエッコへ……………二六二
【英伊關係】
伊紙タイムス紙反駁……………二六三
伊紙對英攻擊……………二六四
伊反英宣傳中止要求を一蹴……………二六五
英伊會談……………二六六
イギリス側要求……………二六七
イタリヤ側の要求……………二六八
イタリヤ態度……………二六九
英伊會談延期說……………二七〇
英伊會談再開說……………二七一

ダンチヒ問題

ダンチヒ揚色化演説……………二二七
ダンチヒ金ナチス黨化……………二〇七

中東歐

澳外務次官ボラランド訪問……………二〇二
英外務次官伯林訪問……………二〇二
獨首相洪牙利訪問……………二〇二
希臘國王バリへ……………二〇二
波蘭首相ローマ訪問……………二〇二
獨工航空協定調印……………二〇二
獨チエ新開協定……………二〇二
獨波小數民族協定成立……………二〇二
チエ・波小數民族協定成立か……………二〇二
フィンランド外相ドイツ訪問……………二〇二
波蘭外相瑞典典訪問……………二〇二
波蘭空軍司令訪獨……………二〇二
波、佛外相來訪歡迎……………二〇二
ユ・首相更に訪獨……………二〇二
ユ首相明春ドイツ訪問……………二〇二
ユ・ゴ首相ロンドン着……………二〇二
ユ國ロイテル通信員に退去命令……………二〇二

獨逸國際情勢

【一 般】

ドイツ親日態度強化……………二〇二
ノイラート外相講演……………二〇二
ヒ總統幕僚訪米……………二〇二
ドイツ労働團訪伊……………二〇二
ノ外相獨伊親善強調寄稿……………二〇二
ヘス副總理訪伊ピア訪問……………二〇二
リ大使ローマ訪問……………二〇二
【獨洪首腦會談】
洪首相訪獨……………二〇二
洪首相伯林着……………二〇二
獨外相主催晩餐會……………二〇二
獨内相主催晩餐會……………二〇二
洪首相歸國……………二〇二
【獨ソ關係】

獨ソ監禁者交換

獨白不可侵條約……………二〇二
イタリヤに經過報告……………二〇二
イタリヤも参加か……………二〇二
英國の觀測……………二〇二
フランス驚かず……………二〇二

【獨佛關係】

獨の強硬要求に佛苦慮……………二〇二
獨佛國境住民取極調印……………二〇二
獨佛新聞協定交渉進む……………二〇二
佛首相獨佛青年の親善強調……………二〇二
佛通信社員ドイツ國外退去……………二〇二
佛元首相ドイツ訪問……………二〇二
獨外相と會談……………二〇二

佛國々際情勢

【一 般】

植民地防備強化……………二〇二
佛右翼共和聯合會黨大會……………二〇二
佛外相明春トルコ訪問……………二〇二
佛國境防備計畫……………二〇二
【佛外相四國訪問】
外相小協商國外交行脚……………二〇二
佛外相四國行脚の使命……………二〇二
佛外相パリ出發……………二〇二
獨外相と會見……………二〇二
ワルシヤワ到着……………二〇二
佛波會談……………二〇二
ポーランド首腦と會見……………二〇二
波外相歡迎晩餐會……………二〇二
各國使臣と交際……………二〇二
佛波會談の内容……………二〇二
佛外相談……………二〇二
植民地問題波政府提起か……………二〇二
波政府筋否定報道……………二〇二
クラコウへ……………二〇二
佛外相アカレストへ着……………二〇二
佛羅首腦會談……………二〇二
佛羅兩國外相親善強調……………二〇二

會談コンミニケ

羅國政黨領袖を招待……………二〇二
佛外相暗殺陰謀發覺……………二〇二
共犯者逮捕……………二〇二
佛外相ベオグラード着……………二〇二
佛外相と首腦懇談……………二〇二
佛ユ親善を強調……………二〇二
佛ユ會談の内容……………二〇二
佛外相謝辭放送……………二〇二
佛ユ新經濟協定……………二〇二
ユ政府コンミニケ……………二〇二
佛外相プラハ着……………二〇二
佛チエ交際……………二〇二
佛外相歡迎午餐會……………二〇二
佛チ會談コンミニケ……………二〇二
獨逸の少數民族問題討議……………二〇二
佛外相歸國……………二〇二
佛外相外交行脚報告……………二〇二

其 他

歐洲安定裏面工作説……………二〇二
チエコ外相外交演説……………二〇二
パリ伯にスイス退去命令……………二〇二
ビンガム駐英大使歐洲政局時局談……………二〇二
白國皇帝御渡英……………二〇二
リユクサンブル中立保障……………二〇二

兩米情勢

アメリカ外交政策

【一 般】

歐洲問題介入反對論……………二〇二
國務次官外交策論明……………二〇二
コマス紙タイムス紙論評……………二〇二
ハウス大佐積極策を勸告……………二〇二
ハル國務長官國際的無秩序攻撃……………二〇二
ピットマン氏銀政策聲明……………二〇二
米外交方針岐路に立つ……………二〇二
ロンドン・タイムス報道……………二〇二

タイムスの論評

ランドン氏現外交政策支持……………二〇二
ル・ラ書翰交換及反響……………二〇二
ル大統領領軍備制限用意聲明……………二〇二
ル大統領領略略論難……………二〇二
事前に國務省の諒解なし……………二〇二
大統領演説に對する觀測……………二〇二
米國各新聞論調……………二〇二
米國の實否兩論……………二〇二
列國の態度……………二〇二
イギリス歡迎外相満足を表明……………二〇二

イギリス新聞論調……………二〇二
イギリニ首相の演説要旨……………二〇二
イタリヤ見解は同一……………二〇二
支那大使演説禮讚……………二〇二
王外交部長聲明……………二〇二
薩米國に緘る……………二〇二
ソヴェト紙提灯持……………二〇二
日本情報部長聲明……………二〇二
聲明の反響……………二〇二
ドイツは輕視……………二〇二
非公式見解表明……………二〇二
新聞論調……………二〇二
ドイツ消息通評……………二〇二
フランス満足佛首相贊意……………二〇二
聯盟筋歡迎……………二〇二
ル大統領平和強調(休戰記念日)……………二〇二
ル大統領領略談話……………二〇二
外交問題……………二〇二
戰爭懸念を一掃……………二〇二
演説好評……………二〇二
平和團體非難聲明……………二〇二
【極東對策】
米極東政策硬化か……………二〇二
對極東態度硬化示唆か……………二〇二
【憲法修正問題】
憲法修正法案スチムソン氏反對……………二〇二

上院議員も憲法修正案

【戰債問題】
戰債年賦金不拂……………二〇二
ブルム氏渡米説……………二〇二
【太平洋防備問題】
太平洋防備強化意見……………二〇二
太平洋防備強化宣言……………二〇二
前陸軍工務局長布哇防備調查……………二〇二
【中立法問題】
中立法協議會開催要請……………二〇二
中立法廢止法案起草……………二〇二
【中南米事情】
アルゼンチン米人記者に退去命令……………二〇二
ウルグワイ、フランコ承認……………二〇二
ニカラガ、ホンデユラス紛争……………二〇二
ハイチ、ドミニカ紛争……………二〇二
パラグワイ軍隊叛亂……………二〇二
ブラジル
ブランドン外相クーデター説明……………二〇二
イズヴェスチヤ紙評……………二〇二
九國會議代表驚く……………二〇二
ドイツ歡迎……………二〇二
フランス憂慮……………二〇二
米深甚の關心……………二〇二
米金融業者の見解……………二〇二
米國務次官談……………二〇二
米國の意圖……………二〇二
メキシコ労働組合反對……………二〇二
在伯同胞歡迎……………二〇二
米紙論調……………二〇二
米棉花業者懸念……………二〇二
ニューヨークで公債崩落……………二〇二
防共協定参加辭退……………二〇二

海外拂一時停止……………二九六
 外債支拂停止通告……………二九六
 爲替公定相場廢止……………二九七
 日滿工業事情講演……………三〇〇
 メキシコ蔵相訪米……………三〇〇

經濟

一 般
 ウアン・ゼーランド世界經濟調查報告……………二九二
 經濟會議提唱か……………二九二
 英首相の通商政策演說……………二九三
 新刊労働事務局長年報……………二九三
 國際經濟會議提唱……………二九四
 モーゲンソー言明……………二九四
 英開催說支持……………二九四
 シヤハト氏世界經濟觀……………二九六
 フォード氏景氣觀……………二九六

爲 替
 ウルグワイ爲替管理令……………二九五
 コロンビア外國爲替許可證發給停……………二九五
 佛藏相爲替管理排障……………二九六
 伯爲替統制法令發布……………二九六
 米墨爲替安定協定成立……………二九六

關 稅
 カナダ對米關稅引上か……………二九六
 コスタリカ關稅引上……………二九六
 フランス絹關稅引上……………二九六
 金 融
 アメリカ金喪失豫想外に多額……………二九七
 對佛第一回金積出し(米)……………二九五
 在米外國資金の還流……………二九六
 對獨凍結クレヂット會議……………二九七
 對獨短資協定延長……………二九七
 フラン及びギルダー強調……………二九七
 フランス對英鐵道借款償還……………二九八

フランス對和借款成立……………二九七
 ベルギー政府對英借款に成功……………二九七
 白藏相渡英……………二九七
 波蘭銀行利下げ……………二九七
 銀 協 定
 國際銀協定消滅……………二九八
 スタチスト所論……………二九八
 米財務當局の見解……………二九八
 米政府銀政策繼續を暗示……………二九八
 支那銀貨紓育へ……………二九八
 ビットマン氏銀政策聲明……………二九八
 紐育銀も昏迷……………二九八
 ロンドン銀塊落付き……………二九八
 ロンドン銀塊急落……………二九八

産 業
 英財團メキシコ石油利權契約……………二九八
 國際ゴム限産擴張……………二九八
 國際錫統制委員會……………二九八
 砂糖明年度割當發表……………二九八
 米上院國際砂糖協定批准……………二九八
 馬來錫生産許可卒縮減……………二九八
 通商協定
 伊埃通商協定成立……………二九八
 伊洪爲替決済協定調印……………二九八
 英米新通商交渉……………二九八
 英產聯意見書……………二九八
 澳洲新協定支持……………二九八
 ロンドン・タイムス論評……………二九八
 瑞典運雜通商條約成立……………二九八
 ソ白通商條約延長……………二九八
 ソ聯リトワニア通商協定……………二九八
 獨芬經濟商議開始……………二九八
 獨佛植民地通商交渉……………二九八
 米伊暫定的通商取極め……………二九八
 米暹通商友好條約締結……………二九八
 米チエツコ通商交渉開始……………二九八

貿 易
 アメリカ極東向輸出趨勢……………二九八

アメリカ武器輸出統計……………二九八
 アルゼンチン小麦輸出解禁……………二九八
 海峽植民地雜物輸入許可量……………二九八
 國際茶輸出許可率緩和……………二九八
 シンガポール日本製品の輸入制限……………二九八
 フランス人絹織物輸入割當増加……………二九八
 マレイ輸入制限採用……………二九八
 マレイ輸入割當追加案通過……………二九八

航空

【アメリカ】
 海軍機空中衝突……………二九八
 太平洋横斷は飛行船……………二九八
 ニュージランド米國間航空路開拓成る……………二九八
 ハワイに新國際空港……………二九八
 旅客機遭難……………二九八
 【イリス】
 英濠開福際飛行出發……………二九八
 ロンドン香港間大旅客機運航……………二九八
 【イタリヤ】
 ストツパニ機長距離飛行の壯途……………二九八
 ストツパニ機の長距離記録……………二九八
 ストツパニ氏訪日飛行談……………二九八
 ブルーノ君奇蹟……………二九八
 【インド】
 印度飛行家墜死……………二九八
 【オランダ】
 蘭印空軍司令官墜死……………二九八
 【ドイツ】
 陸上機速度世界記録……………二九八
 旅客機墜落……………二九八
 【ヒリッピン】
 比島參謀總長行方不明事件……………二九八
 【フランス】
 イルズ麓新記録を樹立……………二九八
 巨人水上機長距離記録……………二九八

巨人機大西洋横斷飛行を斷念……………二九八
 コドス機大西洋横斷飛行……………二九八
 ジャビー機巴里西貢間飛行……………二九八
 【イタリヤ】
 メンチ機巴里西貢飛行……………二九八

話題

X光線を毒瓦斯防止に使用……………二九八
 新發明「羽れぬ」錠……………二九八
 北極越年班報告(ソ)……………二九八
 國際會議
 回教大會日本代表出發……………二九八
 國際清淨會議に東京市參加……………二九八
 國際電信電話會議代表出發……………二九八
 國際都市會議辭退にドイツ同情……………二九八
 事故災害
 シリア大洪水……………二九八
 フーヴァー號臺灣沖に坐礁……………二九八
 ベルギーの激震……………二九八
 メキシコに激震……………二九八
 スポーツ
 エヴェレスト登攀決行……………二九八
 オリエンピック東京大會取消運動……………二九八
 ガバラ選手參加制止運動……………二九八
 自動車速度世界新記録……………二九八
 米體協オリエンピック出場禁止問題……………二九八
 レ博士I.O.C委員辭退……………二九八
 ノーベル章
 セシル卿に平和賞……………二九八
 一九三七年度授賞者……………二九八
 文學賞受賞者決定……………二九八

傳 覽 會
 ニューヨーク博覽會契約署名……………二九八
 バリ萬國博覽終了……………二九八
 バリ博覽會再開可決……………二九八

計

ケロッグ逝去……………二九八
 スタラスキー氏死去……………二九八
 ベーカー氏(N)逝去……………二九八
 マック元英首相逝去……………二九八
 オグデン・スミス氏逝去……………二九八
 ルザーフ・フォード卿逝去……………二九八
 ロリマー氏逝去……………二九八
 【其 他】
 アルプス山上にマルコーニ候の記念碑……………二九八
 英國の「國民音樂祭」……………二九八
 女子の職業を返せ……………二九八
 「新市民教育養成」の要……………二九八
 世界最初の映畫大學……………二九八
 聖書の小説化……………二九八
 ソヴェト青年の進出……………二九八
 ダンノチオ自殺延期……………二九八
 ドイツ學生精神作興十誠……………二九八
 泥棒の新聞……………二九八
 謎のソヴェト金鑽……………二九八
 犯罪病を突き止む……………二九八
 ミツキー土人部落へ進出……………二九八

列 國 事 情

參照「國際情勢」
 ▲ 政 治
 アメリカ
 大統領休職記念日布告……………二九八
 ナイ氏武器商人を攻撃……………二九八
 ハル長官カナダ訪問……………二九八

ラ紐育市長再選……………二九七
臨時議會十一月十五日召集……………二九二
ル大統領……………二八二

軍備制限用意聲明……………二八五
平和強調……………二八五
爐邊談話……………二九七
側近者の釋明……………二九七
爐邊談話要旨……………二九七
演說好評を一掃……………二九七
平和團體非難聲明……………二九七

▲議 會
歐洲問題介入反對論……………二九七
外國の煽動を警戒せよ……………二九七
タイムズ紙論評……………二九七
中立法……………二九七

下院中立法發動阻止……………二九七
中立法廢止法案起草……………二九七
上院中立法發動決議案……………二九七
中立法修正決議案起草……………二九七
ハラルド・トリビュン紙評……………二九七

パリー孤立政策演說……………二九七
ブリュッセル代表召還論……………二九七
議會開かる……………二九七

閉 會……………二九七
大統領敬書……………二九七
憲法修正請願近く提出……………二九七
大戦秘密文書公開要求……………二九七
住宅法案……………二九七

大統領談……………二九七
大統領特別敬書……………二九七
住宅法案提案發表……………二九七
上院國際砂糖協定批准……………二九七
上院の「反」新政策「運動」……………二九七
スミス案上院本會議……………二九七
農家融資々金支出案(上院)……………二九七
農業法案……………二九七

政府下院に送附……………二九七
下院で立案……………二九七
上院議員も提出か……………二九七
下院農業委員會棉花統制案採擇……………二九七

新立法の前途多難……………二九七
農務省の農業政策……………二九七
上院新農業法案案成る……………二九七
下院新農業法案案成る……………二九七
大統領書翰……………二九七
加工税問題再燃か……………二九七
新農業法案行街み……………二九七
上院新農業法案可決……………二九七
新農業法案内容……………二九七
農産物統制案下院通過……………二九七
ビットマン氏銀政策聲明……………二九七
比島即時獨立法案提出……………二九七
遊難民引揚費支出動議……………二九七
未配當収益秘藏……………二九七
下院緩和案採擇……………二九七
要地帯秘密化法案……………二九七
聯邦道路建設費削減大統領敬書……………二九七
労働法案掘り潰しか……………二九七

▲一 般
極東政策硬化か……………二九七
憲法修正問題……………二九七
上院議員も憲法修正案……………二九七
ステイムソン氏反對……………二九七
ロマンズ氏論評……………二九七
國務次官閣明……………二九七
戦債年賦金不拂……………二九七
タイムズ紙の外交論評……………二九七
中立法協議會開催要請……………二九七
駐英大使ビンガム氏逝去……………二九七
駐英大使にケネディ氏……………二九七
駐獨大使更迭説……………二九七
デーヴィン代表歸國……………二九七
ビンガム駐英大使談……………二九七

米國和平工作……………二九七
ル大統領演說要旨……………二九七
ル大統領演說に對する觀測……………二九七
大統領演說と各國……………二九七
新聞論調……………二九七
米國務省聲明全文……………二九七
國務省聲明と各國……………二九七
ル大統領、ランドン兩氏信書交換……………二九七
ランドン氏現外交政策支持……………二九七
ル大統領の返書……………二九七
ル大統領詰る……………二九七
極東態度硬化示唆か……………二九七
書籍交換の反響……………二九七
積極策を勸告(ハウス大佐)……………二九七
ロンドン・タイムズ報道……………二九七

▲對 英
英米新通商交渉……………二九七
▲對 伊
米伊暫定的通商取極め……………二九七
▲對 ス・ペイン
米、領事に歸國命令……………二九七
▲對 ソ 聯
駐ソ米國大使歸國……………二九七
▲對 波 蘭
駐佛大使訪波……………二九七
▲對 日 (「外交」國際情勢「參照」)
日本船アラスカ出漁保爭……………二九七

▲對 暹 羅
米暹通商友好條約締結……………二九七
▲國 防
再軍備を急ぐ……………二九七
參謀總長年報……………二九七
南洋諸島空中偵察談……………二九七
パナマ運河警備嚴重……………二九七
布哇に新國際空港……………二九七
布哇の空軍充實……………二九七
米伊駐屯兵悶着……………二九七
米墨國境に軍事根據地新設か……………二九七

▲海 軍
一萬噸巡洋艦大量建造か……………二九七
カロライナ號建造繰上げ……………二九七
海空軍擴張計畫……………二九七
海軍軍壯舉……………二九七
海軍演習開始……………二九七
海軍擴張預算増額要求……………二九七
海軍機アラスカへ……………二九七
海軍機空中衝突……………二九七
海軍機大編隊飛行計畫……………二九七
海軍々令組織統一案……………二九七
海軍長官充實力説……………二九七
艦隊不可解な移動……………二九七
海軍當局談……………二九七
サンデイエゴ軍港活況……………二九七
太平洋洋警備強化か……………二九七
太平洋洋で驅逐艦活躍……………二九七
目的は不正漁船一掃……………二九七
軍艦建造サボタージュ事件……………二九七
サンペドロ海軍練習……………二九七
主力艦更に二隻建造……………二九七
巡洋艦進水……………二九七
ウイチタ號……………二九七
ナツシユビル號……………二九七
新艦建造注文……………二九七
新艦案に賛否區々……………二九七
太平洋防備強化意見建言……………二九七
布哇の防備強化……………二九七
米艦出動騒ぎ……………二九七
明年度海軍大演習……………二九七
明年度海軍大擴張……………二九七
聯合艦隊司令長官更迭……………二九七
▲陸 軍
國防計畫を語る……………二九七
重機十三臺追加注文……………二九七
前陸軍工務局長布哇防備調査……………二九七
「超空の要塞」完成……………二九七
マックアーサー將軍辭職……………二九七
陸軍次官談……………二九七

▲財 政
陸軍長官年次報告……………二九七
銀貨上値段引下布告……………二九七
銀政策の一步退却……………二九七
財務長官豫算方針闡明……………二九七
十一月末國庫現計……………二九七
募債計畫發表……………二九七
メキシコ銀貨入繼續……………二九七
綿製品關稅引下を考慮……………二九七
豫算見解替……………二九七
▲經 濟
インフレ氣構へに株式好調……………二九七
海保業者戰時保險中止……………二九七
外國筋依然米國證券買付……………二九七
株式は依然デリア……………二九七
極東向輸出勢……………二九七
金約訴訟判決……………二九七
金流出……………二九七
銀 塊……………二九七
銀の標準工業價格發表……………二九七
支那銀貨紐育へ……………二九七
ニューヨーク銀も低迷……………二九七
景氣指數、景氣觀測……………二九七
景氣漸次好轉か……………二九七
在米外國資金の還流……………二九七
シカゴ取引所新開立會延期……………二九七
準銀公開市場政策……………二九七
女學生絹靴下使用禁止決議……………二九七
南相商工界前途樂觀……………二九七
證券取引取締委員長主張……………二九七
人絹糸値下げ……………二九七
製紙パルプ値下げ……………二九七
政府銀政策繼續を暗示……………二九七
全米の商況減退……………二九七
對佛金現送……………二九七
大産業に警告……………二九七
大統領經濟反動策……………二九七
鐵鋼類輸出高……………二九七
ナンヨナル・シチイ月報……………二九七

- ニューヨーク株式續落……………二七〇
- 反撥……………二七〇
- ニューヨーク株取手數料値上げ……………二七〇
- 日本筋鐵買付再開……………二七〇
- 飛行機輸出額……………二七〇
- 百貨店賣行不振……………二七〇
- ブリキ屑輸出高引下……………二七〇
- 武器輸出統計……………二七〇
- 米財務當局の見解(ロンドン銀急落)……………二七〇
- 米艦沈没事件で株式急落……………二七〇
- 米、チエッコ通商交渉開始……………二七〇
- 米墨爲替安定協定成立……………二七〇
- マニラ港を自由港に……………二七〇
- 棉花定期取引出來高公表……………二七〇
- 棉花取引制限……………二七〇
- レーヨン値下げ……………二七〇
- 【産 業】
- アラスカ漁業紛争……………二七〇
- 機械工具注文激減……………二七〇
- 鋼鐵界見直し……………二七〇
- G・M三萬人解雇……………二七〇
- 人絹工場新設計畫……………二七〇
- 人絹操縦……………二七〇
- 製鋼作業率續減……………二七〇
- 大統領、農業統制法に警告……………二七〇
- 鐵鋼類輸出高……………二七〇
- 農産物價の低落……………二七〇
- 農民所得增加……………二七〇
- 農務長官放逐……………二七〇
- 農務長官棉花統制方針闡明……………二七〇
- ブリキ屑輸出高引下……………二七〇
- 米國産業沈滞の原因……………二七〇
- 米棉收穫公報……………二七〇
- 紡績のコスト増大……………二七〇
- 明年度砂糖割當發表……………二七〇
- U・S・スチール統制會社新設……………二七〇
- 【交 通】
- 海軍委員會古船廢船發表……………二七〇

- 太平洋橫斷は飛行船……………二七〇
- 東洋客船航路廢止……………二七〇
- 旅客機遭難……………二七〇
- 【教 育】
- 米女教師團訪日……………二七〇
- 【社 會】
- 「支那事變」參照……………二七〇
- ▲一 股
- ウインザー公來訪を鶴首……………二七〇
- 休戰記念日……………二七〇
- 國際陸聯書記長米の反省を求む……………二七〇
- 支那事變米紙論調……………二七〇
- 重罪犯人脱獄……………二七〇
- 新發明「湖れぬ」錠……………二七〇
- 太平洋岸大暴風雨……………二七〇
- 龍田丸から手紙押収……………二七〇
- 日支系學生の喧嘩……………二七〇
- 日米親善義射會……………二七〇
- 日本の洋服新調取止を讀議……………二七〇
- 犯罪病を突き止む……………二七〇
- ヒュエゴ判事罷免却下……………二七〇
- ピエール教授言論統制を力説……………二七〇
- ブラック判事ラヂオで釋明……………二七〇
- 米國作家行方不明……………二七〇
- 米體協、真相を闡明(體協問題)……………二七〇
- リンクパーク大佐歸る……………二七〇
- ▲勞 働
- クライスター職工待命通知……………二七〇
- 護謨會社の罷業……………二七〇
- タイヤ罷業終息……………二七〇
- 労働組合和平會議……………二七〇
- ▲計 劃
- N・ペーカー氏逝去……………二七〇
- ケロッグ氏逝去……………二七〇
- ロリマー氏逝去……………二七〇
- 【文 化】
- X線を毒瓦斯防止に使用……………二七〇
- グレース・ムーア日本訪問……………二七〇
- ケラー女史記念運動……………二七〇
- 一九三七年度ノーベル賞受賞者……………二七〇

- 經育博覽會契約署名……………二七〇
- アルゼンチン
- 亞國小麥收穫減少……………二七〇
- 亞國小麥輸出解禁……………二七〇
- 亞國次期大統領決定……………二七〇
- 亞國米人記者に退去命令……………二七〇
- イギリス
- 【宮 廷】
- 皇帝休戰記念祭に臨御……………二七〇
- 【政 治】
- 「支那事變」參照……………二七〇
- ▲一 股
- 郡會議員選舉……………二七〇
- チエンパレン首相演説……………二七〇
- チエンパレン首相團結強化演説……………二七〇
- ▲議 會
- 一 股
- 會期繰上げ行はず……………二七〇
- 魚類輸入制限法提出……………二七〇
- 開院勸語……………二七〇
- 閉院勸語……………二七〇
- 上 院……………二七〇
- 下 院……………二七〇
- 外相演説……………二七〇
- 外交方針答辯……………二七〇
- 日本向軍需品輸出額……………二七〇
- 日支問題論戰……………二七〇
- 支那關稅行政方針不變……………二七〇
- 日本通信干涉事實なし……………二七〇
- 獨植民地論……………二七〇
- フエルト帽輸入制限法……………二七〇
- ▲政 黨
- 黒襪衣黨大會お流れ……………二七〇
- 保守黨大會……………二七〇
- 首相の演説要旨……………二七〇
- 首相平和演説……………二七〇
- 労働黨對日演説……………二七〇

- 労働自由黨領袖首相と會見……………二七〇
- 【外 交】
- ▲對アメリカ
- 英米通商交渉……………二七〇
- 英米通商協定骨子……………二七〇
- 英首相の聲明……………二七〇
- 新協定と英自治領の關係……………二七〇
- ▲對イタリヤ
- 新協定は英米の提携強化……………二七〇
- 米國業者の觀測……………二七〇
- 米國務長官の言明……………二七〇
- ▲對イタリヤ
- 英伊會談……………二七〇
- 英伊豫備交渉開始……………二七〇
- 英國側の要求……………二七〇
- 伊太利側の要求……………二七〇
- 對伊交渉再開……………二七〇
- 英伊會談延期……………二七〇
- 英伊會談前途遠慮……………二七〇
- 新聞評……………二七〇
- ▲對オランダ
- 英國防衛協定成立……………二七〇
- ▲對ドイツ
- 英獨會談……………二七〇
- 英獨相訪獨……………二七〇
- 英政府の言明……………二七〇
- 英獨相獨外相會見……………二七〇
- 英獨相と總統會談……………二七〇
- 英獨相獨空相會談……………二七〇
- 獨外相訪英受諾……………二七〇
- 會談終了……………二七〇
- 英獨會談内容……………二七〇
- 獨逸政府の見解……………二七〇
- 英首相聲明……………二七〇
- 英獨相歸國……………二七〇
- 列國動向……………二七〇
- ▲對フランス
- 英佛軍事提携……………二七〇
- 英佛會談……………二七〇
- 英國側出席者額觸……………二七〇
- 英政府の意向……………二七〇
- 佛政府の意向……………二七〇
- 會談第一日……………二七〇
- 會談第二日……………二七〇
- 會談コミュニケ……………二七〇
- 佛首相相歸國……………二七〇
- 佛首相四國訪問決定……………二七〇
- 獨政府注視……………二七〇
- 新聞論調……………二七〇
- ▲對ソ連
- AP報道……………二七〇
- 英紙論調……………二七〇
- 佛紙論調……………二七〇
- 獨紙論調……………二七〇
- ベルチナツクス氏の報道……………二七〇

- 同盟報道……………二七〇
- 佛伊兩國神經過敏……………二七〇
- 獨植民地返還問題……………二七〇
- 英軍部の意見……………二七〇
- 英自治領返還に反對……………二七〇
- 倫敦外交通の觀測……………二七〇
- ▲對フランス
- 英佛軍事提携……………二七〇
- 英佛會談……………二七〇
- 英國側出席者額觸……………二七〇
- 英政府の意向……………二七〇
- 佛政府の意向……………二七〇
- 會談第一日……………二七〇
- 會談第二日……………二七〇
- 會談コミュニケ……………二七〇
- 佛首相相歸國……………二七〇
- 佛首相四國訪問決定……………二七〇
- 獨政府注視……………二七〇
- 新聞論調……………二七〇
- ▲對ソ連
- AP報道……………二七〇
- 英紙論調……………二七〇
- 佛紙論調……………二七〇
- 獨紙論調……………二七〇
- ベルチナツクス氏の報道……………二七〇
- 【國 防】
- 英濠間編隊飛行出發……………二七〇
- 埃及へ派兵……………二七〇
- 英ソ、英獨海軍條約發動……………二七〇
- 再軍備費二億九千磅……………二七〇
- 巡洋艦オロラ號竣工……………二七〇
- 巡洋艦進水……………二七〇
- 新嘉坡根據地完成近し……………二七〇
- 砲艦進水……………二七〇
- 陸軍大異動發表……………二七〇
- 【經濟財政】
- 英財團メキシコ石油利權契約……………二七〇
- 英蘭銀行總裁再選……………二七〇
- 英蘭銀行保證準備額……………二七〇
- 鋼鐵生產高新記録……………二七〇
- 銑鐵生產新記録……………二七〇

首相演説に株式上向く……………二六九
首相の經濟觀……………二六九
對日石油輸出額……………二七〇
炭礦合同案……………二七〇
貿易惡化……………二七〇
ロンドン銀塊急落……………二七〇
【社 會】
ワインザー公
渡米延期……………二七一
東洋御訪問……………二七一
獨逸へ……………二七一
布旺居住説……………二七一
エヴェレスト登攀決定……………二七一
國民音樂祭……………二七一
自動車速度世界新記録……………二七一
失業者統計……………二七一
【新市民の養成の要】
セシル卿にノール平和賞……………二七一
セシル卿夫妻訪米……………二七一
聖書の小説化……………二七一
一九三七年度ノール賞受賞者……………二七一
前労働黨首チエツコへ……………二七一
ダブリンの爆彈騒ぎ……………二七一
報 報
ステイヴンス氏追悼式……………二七一
マクドナルド氏逝去……………二七一
ルザーフォード卿逝去……………二七一
列車衝突……………二七一
ロイド・ジョージ氏佛へ……………二七一

イタリヤ

大評議會開幕……………二七二
全國湧立つ……………二七二
ム首相の駭愕晚餐會……………二七二
【外 交】
△對アメリカ
米國民主主義を攻撃……………二七二
△對イギリス
英伊會談(イギリス)外交の項
参照)
伊紙、英攻撃……………二七二
伊紙タイムズ紙反駁……………二七二
反英宣傳中止警告一號……………二七二
△對オーストリア
伊境通商協定成立……………二七二
△對國際聯盟
聯盟脫退説傳はる……………二七二
聯盟脫退理由……………二七二
イタリヤ官邊の意圖……………二七二
英外務省筋輕視……………二七二
大評議會に附議決定……………二七二
ム首相聯盟脫退宣言……………二七二
ローマ異常の昂奮……………二七二
國際労働局も脱退……………二七二
△對ソ聯邦
伊ソ條約破棄否定……………二七二
△對ドイツ
伊法相訪獨……………二七二
△對日本
【外交】參照
日伊新通商條約進む……………二七二
日伊政治協定否定……………二七二
日本へ近く使節團派遣……………二七二
堀田大使伊外相訪問……………二七二
△對ハンガリー
伊洪爲替決済協定調印……………二七二
△對フランス
駐佛大使召還……………二七二
反佛熱昂る……………二七二
△防共問題

「外交」國際情勢參照
中歐バルカン防共陣結成説……………二七二
フランコ軍積極支援か……………二七二
防共協定祝賀フランスト黨員の
示威……………二七二
△對滿洲國
イタリヤ滿洲國承認……………二七二
滿伊公使交換……………二七二
△對ユーゴスラヴィヤ
伊、ユ兩首相會談……………二七二
第二次會談……………二七二
會談コミュニケ……………二七二
伊、ユ首腦交離……………二七二
教皇ユ首相接見……………二七二
ユ首相訪伊……………二七二
ユ首相ミラノ訪問……………二七二
ユ首相歸國……………二七二
【防 防】
アオスタ公空軍大將に……………二七二
潜水艦進水……………二七二
兵士除隊延期……………二七二
【財政經濟】
イタリヤ新財政々策……………二七二
株式會社に新資本稅設定……………二七二
リラ切下げを豫想……………二七二
【航 空】
長距離飛行の壯途……………二七二
【社 會】
マルコニエ侯の記念碑……………二七二
エチオピア土民の叛亂……………二七二
世界最初の映畫大學……………二七二
ダマソチオ自殺延期……………二七二
大僧正共產撲滅を力説……………二七二
對伊制裁記念大會……………二七二
ブルノ君奇蹟……………二七二
ム首相囚人大赦……………二七二
ムツソリーニ孫生る……………二七二
ローマ進軍記念十五周年式……………二七二
無電王遺業完成決意……………二七二

イラク

イラク對日米債率變更……………二七二
イラン
中山公使信任狀捧呈……………二七二
印度
印度飛行家墜死……………二七二
國際茶輸出許可率緩和……………二七二
日印通商條約批准……………二七二
日印通商新議定書正式調印……………二七二
ウルグワイ
ウルグワイ爲替管理令……………二七二
エクアドル
エクアドル軍政府獨立……………二七二
エジプト
埃及空襲防備に大章……………二七二
埃及國王と首相確執……………二七二
埃及首相狙撃さる……………二七二
エジプト徵兵制施行……………二七二
埃及内閣更迭……………二七二
英領マレイ
マレイ輸入割當制採用……………二七二
オーストラリア
「支那事變」參照
滿洲總選舉施行……………二七二
オーストリア
境外務次官伯林訪問……………二七二
境外務次官ポランド訪問……………二七二
境首相洪牙利訪問……………二七二
シユ公結婚……………二七二
オランダ
和蘭エチオピア併合承認説……………二七二
和蘭聯盟脫退か……………二七二
支那事變新聞論調……………二七二
蘭領東印度
國際茶輸出許可率緩和……………二七二
關印空軍司令官墜死……………二七二
カナダ
「支那事變」參照
カナダ對米關稅引上か……………二七二
九國條約會議……………二七二
海峽植民地
海峽植民地織物輸入許可量……………二七二
日本製品の輸入制限……………二七二
キューバ
マチヤド將軍逮捕……………二七二
ギリシヤ
希土軍事協定成立か……………二七二
ギリシヤ國王バリへ……………二七二
ギリシヤ首相トルコ訪問……………二七二
コスタリカ
コスタリカ關稅引上……………二七二
コロンビア
外國爲替許可證發給停止……………二七二
サント・ドミンゴ
滿洲國承認か……………二七二
シヤム
「支那事變」參照
暹羅反政府陰謀發覺……………二七二
日暹通商條約正式調印……………二七二
パンコック博覽會……………二七二
シリア

國粹主義團體大示威……………三六九
シリア大洪水……………二〇三
シリアフアツシヨ離職……………二〇三
ペイルト米領總射殺……………九七

スイス

一九三七年度ノベル賞受賞者……………三六〇
國際決済銀行總支配人……………三六三
瑞西聯盟脫退か……………七〇三
瑞西共產黨一齊檢舉……………七〇三
スイス大統領パウマン氏……………三六二
スイス大統領不參加言明……………二〇九
スイス對佛鐵道借款……………七〇三
スイス對聯盟方針闡明……………七〇一

スエーデン

九國條約會議……………二〇三、二〇四
瑞西運通商條約成立……………二〇三

スペイン

【國際情勢】スペイン問題
の項参照

【革命政權】
フランコ政府正式成立……………二〇九
米、領事に歸國命令……………二〇九
【人民戦線派】
ヴァレンシア政廳遷都か……………二〇九
ヴァレンシア防備を強化……………二〇九
首都バルセロナに移轉……………二〇九

戦況

革命軍海陸から攻撃……………二〇九
革命軍空襲……………二〇九、二〇九
バルセロナ空襲……………二〇九
革命軍近江總攻撃……………二〇九
革命軍ヒホン占據……………二〇九
グラダラハ戦線……………二〇九
スペイン政府船撃沈さる……………二〇九

ソヴェト聯邦

【政 治】

△一 般
イェゾフ氏政治局員候補に……………二〇九
行政區劃分割……………二〇九
刑法一部改正……………二〇九
經濟審議會創設……………二〇九
人民委員會副議長任命……………二〇九
全蘇非常委員會廿週年……………二〇九
ソ聯制度廿年の成果……………二〇九
モスクワ・アムステルダム會議……………二〇九
ワ將軍極東訪問說……………二〇九

△最高會議總選舉
候補者登録開始……………二〇九
候補者指名登録終了……………二〇九
選舉期日決定……………二〇九
總選舉戰開始……………二〇九
イェゾフ選舉演說……………二〇九
國防相選舉演說……………二〇九
スターリン選舉演說……………二〇九
デミトロフ國民に要請……………二〇九
モロトフ氏選舉演說……………二〇九
總選舉執行……………二〇九
選舉最後結果……………二〇九
選舉成功の大デモ……………二〇九
總選舉の盛況……………二〇九
スターリン反對者百萬……………二〇九

△肅清工作
一 般
一ヶ月で百五十四名……………二〇九
肅清工作續く……………二〇九
死刑執行……………二〇九、二〇九、二〇九
清掃犠牲者千名……………二〇九
アルメニア高官逮捕……………二〇九
アゼルバイジャン首相罷免……………二〇九
イズヴェスチヤ紙主筆更迭……………二〇九
ウクライナで卅二名死刑……………二〇九
カラハ高等官處刑……………二〇九
日本外務當局見解……………二〇九
艦隊司令官更迭……………二〇九
共產黨極東書記長更迭說……………二〇九

極東共產黨書記長失脚確實……………二〇九
極東鐵道從業員死刑……………二〇九
コーカサス肅清……………二〇九
交通人民委員部に手入……………二〇九
航空關係者に波及……………二〇九
空軍指導者罷免……………二〇九
商業航空界に手入……………二〇九
國內商業人民委員更迭……………二〇九
國防工業人民委員更迭……………二〇九
國立銀行總裁罷免……………二〇九
新聞檢閱官逮捕……………二〇九
赤軍機關紙主筆罷免……………二〇九
前ゲ・ベ・ウ次長消息不明……………二〇九
前ゲ・ベ・ウ長官處刑……………二〇九
前赤軍將校暴露聲明……………二〇九
前バルセロナ總領事罷免……………二〇九
ダゲスタンにも波及……………二〇九
對外交文化協會長逮捕……………二〇九
中央ロシアに波及……………二〇九
駐希大使辭表提出……………二〇九
駐獨波土三大使召還……………二〇九
ツボレフ氏逮捕……………二〇九
鐵道從業員大量處刑……………二〇九
トロツキー派大量處刑……………二〇九
獨探逮捕……………二〇九
獨探判決……………二〇九
日獨探逮捕……………二〇九
農業人民委員更迭……………二〇九
農場員處刑……………二〇九
フィンランド駐劄公使逮捕……………二〇九
アプノフ氏罷免……………二〇九
プリアート蒙古首相罷免……………二〇九
婦人指導者逮捕……………二〇九
ベラ・クン氏逮捕……………二〇九
貿易人民委員代理罷免……………二〇九
ユレネフ大使辭任……………二〇九
リトヴィノフ氏辭職……………二〇九
旅行協會長免職……………二〇九
林業人民委員罷免……………二〇九
ワルシヤワ大使館搜索……………二〇九

【外 交】

伊波兩國にも閉鎖交渉……………二〇九
伊領事館五ヶ所閉鎖……………二〇九
外蒙援助說を否定……………二〇九
ソ伯通商條約延長……………二〇九
ソ聯外交轉換か……………二〇九
ソ聯駐米大使辭任……………二〇九
ソ聯トリツニア通商協定……………二〇九
對支那關係……………二〇九
「支那事變」參照……………二〇九
駐支大使更迭……………二〇九
新大使任命……………二〇九
對支武器援助……………二〇九
レービン少將も罷免か……………二〇九
トウヴ國首相モスクワ訪問……………二〇九
獨ソ監察者交換……………二〇九
「日本スパイの活躍」を諷ふ……………二〇九
リ外相演說……………二〇九

△一 般
軍需品大量購入……………二〇九
新國防人民委員部長……………二〇九
赤軍機關紙社説……………二〇九
△海 軍
浮ドック極東廻航……………二〇九
海軍建艦計畫……………二〇九
海軍秋期演習……………二〇九
海軍人民委員部新設……………二〇九
極東空海軍を增強……………二〇九
ソ聯の海軍力(獨紙)……………二〇九

△陸 軍
浦鹽に大地下飛行場……………二〇九
プ元帥豪語……………二〇九
プ元帥ハ市に滞在……………二〇九
【財政經濟】
鋼板壓延機を注文……………二〇九
謎のソヴェット金鑽……………二〇九
明年度工業生産計畫……………二〇九

【交 通】

浦鹽ハ市間電送實現成功……………二〇九
西伯利亞鐵道能率化……………二〇九
シベリア鐵道復線完成……………二〇九
北極遭難機捜査繼續……………二〇九
【社 會】
革命廿周年記念日……………二〇九
記念大祝賀會……………二〇九
コミンテルン撤文發表……………二〇九
トロヤノフスキー氏講演……………二〇九
ワラシロフ元帥布告……………二〇九
重工業労働者大會……………二〇九
新憲法一周年祝賀祭……………二〇九
ソヴェット青年の進出……………二〇九
大學教授に定給々與……………二〇九
プ元帥毒殺計畫……………二〇九
米國作家行方不明……………二〇九
北極越年班報告……………二〇九
北極探險隊懸念なし……………二〇九
モスクワ、アムステルダム會議……………二〇九
アムステルダム代表團到着……………二〇九
反ファシズム戰線統一決議……………二〇九
労働者賃銀値上……………二〇九

外蒙對支援助說……………二〇九
外蒙にソ聯の暗躍……………二〇九
タンヂール
タンヂール共產黨叛亂陰謀……………二〇九
ダンチヒ褐色化演說……………二〇九
ダンチヒ全ナチス黨に……………二〇九

チエツコソロヴァキア
チエコ外相外交演說……………二〇九
チエコ商相後任……………二〇九
チエコ新職相……………二〇九
チエコナチス領袖自殺……………二〇九

中華民國

北支那

【政 治】

△一 般 缺員縣長を急速に選任…………… 二〇三
山東同鄉會和平保持宣言…………… 二〇九
大名縣長建設促進通電…………… 二〇五
北平を「北京」に改稱…………… 二〇四

△冀東政府

冀東政權一周年記念式…………… 二〇三
冀東政府新政權合流決定…………… 二〇〇

△治 維 會

河南省

河南省自治政府成立…………… 二〇五
部隊長河南省主席と會見…………… 二〇三
河南民衆聯合會議…………… 二〇二
武安縣治維會成立…………… 二〇〇

河北省

河北省行政委員會準備員派遣…………… 二〇〇
邯鄲治維會成立…………… 二〇四
冀南治維聯合會成立…………… 二〇三
冀南治維會呈軍感謝…………… 二〇一
京津聯合秘書長に雷壽榮氏…………… 二〇〇
溫世珍氏を海關監督に…………… 二〇三
徵稅總處開設…………… 二〇〇
四縣治維會長決議通電…………… 二〇二

順德治安維持會成立…………… 一九九

石家莊治安維持會成立…………… 一九八

石家莊治安維持會成立…………… 一九八

大城縣武裝治安維持會成立…………… 一九八

天津治維會國府否認通電…………… 一九八

北京治維持會籌算會議…………… 一九六

北京治安維持會活動…………… 一九六、一九三

山西省

山西省臨時政府成立…………… 一九〇、一九三
魯北治維會國府否認表明…………… 一九三

山東省

故城恩縣治安維持會成立…………… 一九九
山東省自治政府設置されん…………… 一九〇
德州治安維持會成立…………… 一九三
德州治維會轉に和平勸告…………… 一九九

△中國臨時政府

新政權樹立運動…………… 一九〇
新政權運動に外人乗出す…………… 一九〇
新政權運動の根本精神…………… 一九三
新政權過渡的體制論…………… 一九四
新政權樹立民衆要望…………… 一九〇、一九三

△中國臨時政府成立

中國臨時政府成立…………… 一九〇
中華民國臨時政府生誕…………… 一九〇
臨時政府の機構大綱…………… 一九〇
臨時政府の宣言全文…………… 一九〇
王行政委員長の聲明書…………… 一九〇
臨時政府の施政大綱…………… 一九〇

△政 初 會 議

議政初會議で根本國策討論…………… 一九〇
行政部の官制組織發表…………… 一九〇
首腦者五氏北京歸還…………… 一九〇
周慶滿氏北寧局長代理就任…………… 一九〇
政府機關人事整備さる…………… 一九〇
湯委員長等寺內司令官訪問…………… 一九〇
北支派遣軍當局談…………… 一九〇

△施 政 一 般

鹽務行政の根本的建直し…………… 一九〇
關稅政策の大綱…………… 一九〇
海關行政根本方針…………… 一九〇
各稅關のスタツプ…………… 一九〇
北支海關の合法的接收…………… 一九〇
教育方針の立案を急ぐ…………… 一九〇
經濟開發中樞機關設置…………… 一九〇
災區救濟部活動開始…………… 一九〇
災民救濟事業進む…………… 一九〇
收入は擧げて行政費に…………… 一九〇
成立後一週間の治績…………… 一九〇
地方制度整備、道を復活…………… 一九〇

治安確保の原則成る…………… 一九〇

初の行政委員會議…………… 一九〇

農村復興の經濟建設計畫…………… 一九〇

日本から各部門專門家招聘…………… 一九〇

文教部を教育部と改稱…………… 一九〇

北支經濟顧問設置進む…………… 一九〇

聯合準備銀行設定…………… 一九〇

自治政權支持合流…………… 一九〇

各縣代表絕對支持を決議…………… 一九〇

各省自治政府から祝電…………… 一九〇

各政權新政府と協力…………… 一九〇

冀東政府合流…………… 一九〇

合流折衝開始…………… 一九〇

京津治維會合流…………… 一九〇

山西臨時政府合流…………… 一九〇

山東北部治維會も合流せん…………… 一九〇

蒙疆聯合會協力通電…………… 一九〇

支持歸屬…………… 一九〇

股同氏參加…………… 一九〇

言論機關一齊に支持…………… 一九〇

在臺華僑支持…………… 一九〇

在鮮中國人續々參加…………… 一九〇

大連民船組合支持…………… 一九〇

張鎮南浦領事も參加聲明…………… 一九〇

范總領事臨時政府傘下へ…………… 一九〇

新政府支持團體生れん…………… 一九〇

△蒙疆政府

歸綏行政公署樹立宣言…………… 一九〇

德王綏遠恢復に感謝…………… 一九〇

蒙疆聯合委員會成立…………… 一九〇

蒙疆聯合三條例發布…………… 一九〇

蒙古王侯德王に使者派遣…………… 一九〇

蒙古自治政府機構完成…………… 一九〇

庶政刷新の蒙疆新政府將來洋…………… 一九〇

蒙古民族大會…………… 一九〇、一九一、一九二

開催準備…………… 一九〇、一九一

【外 交】

英、海關接收に懸念…………… 一九〇

通州事件解決…………… 一九〇

日支間に公文交換…………… 一九〇

賠償金の配分方法…………… 一九〇

日本其他の承認を期待…………… 一九〇

日滿兩國に代表派遣…………… 一九〇

蒙疆委員會代表選滿決定…………… 一九〇

【財政經濟】

△金 融

冀東銀行擴充計畫進む…………… 一九〇

新金融機關設立予定…………… 一九〇

鮮銀出頭所設置…………… 一九〇

東拓北支農民に金融…………… 一九〇

蒙疆銀行開業…………… 一九〇、一九一、一九二

日本公債百萬圓申込…………… 一九〇

△經濟開發

大阪商議の北支産業開發案…………… 一九〇

ドイツ北支開拓に協力…………… 一九〇

日支經濟提携に期待…………… 一九〇

北支開發委員會設置…………… 一九〇

北支經濟の開發希望…………… 一九〇

北支綜合開發要案…………… 一九〇、一九一、一九二

滿鐵北支經濟開發案…………… 一九〇

滿鐵北支經濟開發懇談會…………… 一九〇

△鐵 業

興中公司石家莊に進入…………… 一九〇

北支鐵鑛開發計畫進む…………… 一九〇

龍烟鐵鑛採掘開始…………… 一九〇

龍烟鐵鑛の内地向積出し…………… 一九〇

六河江茨近く採掘開始…………… 一九〇

△通商貿易

大商貿易激増…………… 一九〇

冀東關稅修正要案…………… 一九〇

北支關稅問題解決…………… 一九〇

長蘆鹽橫出運る…………… 一九〇

三市見本市設置進む…………… 一九〇

天津貿易輪船所開設準備…………… 一九〇

△電 力

東京市商品館出張所開設…………… 一九〇

興中公司北京電業經營に參劃…………… 一九〇

電聯北支電力開拓に乗出す…………… 一九〇

△棉 花

河北棉花五割減收…………… 一九〇

天津棉花組合に邦商加盟…………… 一九〇

東拓の北支棉花栽培計畫…………… 一九〇

滿鐵輸出統制協會設立…………… 一九〇

北支棉花會社設立決定…………… 一九〇

北支棉花買付計畫…………… 一九〇

北支棉花大量買付要望…………… 一九〇

北支棉花輸入團組織…………… 一九〇

棉花荷動き活潑…………… 一九〇

輸出協會中入棉輸出引受…………… 一九〇

△羊 毛

北支羊毛輸入組合設立計畫…………… 一九〇

蒙疆地方羊毛買付組合組織…………… 一九〇

蒙疆羊毛の生産増進…………… 一九〇

蒙疆羊毛類配給組合設立…………… 一九〇

△其 他

セメント北支進出具體化…………… 一九〇

天津地方邦人紡發展狀況…………… 一九〇

日支合辦事業進捗を期待…………… 一九〇

△交 通

運輸機關恢復狀況…………… 一九〇、一九一、一九二

京綏線一般營業開始…………… 一九〇

客車運轉開始…………… 一九〇

京綏線ダイヤ復舊…………… 一九〇

正太鐵路開通…………… 一九〇

鐵道愛護自治會結成…………… 一九〇

特種鐵道會社設立の要望…………… 一九〇

北京順德間旅客列車運轉…………… 一九〇

北寧線ダイヤ改正…………… 一九〇

滿支間貨物列車直通準備…………… 一九〇

△通 信

北京放送局擴大強化…………… 一九〇

北支滿洲國間電話開通…………… 一九〇

蒙疆電信電話會社設立決定…………… 一九〇

ラヂオ放送局元且開局…………… 一九〇

△其 他

北京環狀道路完成…………… 一九〇、一九一

北支五大河の治水調査…………… 一九〇

【社 會】

- 北支溝溝修築計畫進む……………五九七
- △慰靈祭
 - 京漢正太線慰靈祭……………二二〇
 - 山西攻擊軍合同慰靈祭……………二二〇
 - 神式慰靈祭舉行……………二二〇
 - 太原支那陣殺將士慰靈祭……………二二〇
- △治安狀況
 - イタリヤ宣教師救出……………二二〇
 - 易州伊太利人宣教師保護……………二二〇
 - 河北南部河南北部の復興……………二二〇
 - 邯鄲紅槍會員歸順……………二二〇
 - 玉泉山宣教師救出……………二二〇
 - 石家莊の治安恢復……………二二〇
 - 太原城外外人救出……………二二〇
 - 太原で伊太利宣教師拉致……………二二〇
 - 太原の復讐目覚まし……………二二〇
 - 大名彭徳の外入保護……………二二〇
 - 張敬堂歸順す……………二二〇
 - 天津市内一齊臨檢……………二二〇
 - 德州清々として復興……………二二〇
 - 馬賊頭目白占梅歸順……………二二〇
 - 秘密結社親日に傾く……………二二〇
 - 米人宣教師保護……………二二〇
 - 北支恢復状況……………二二〇
 - 北支肅正完成に近づく……………二二〇
 - 北支治安恢復状況……………二二〇
 - 濮陽民衆暴動説……………二二〇
- △難民救護
 - 同仁會救護班活躍開始……………二二〇
 - 北京同仁會診療所開設……………二二〇
 - 涿州住民を救恤……………二二〇
 - 德州方面農民救済策……………二二〇
 - 北支窮民救済運動……………二二〇
 - 鐘紡難民救済に献金……………二二〇
- △新 民 會
 - 北支明朗化民間團體生る……………二二〇
 - 教化團體新民會成立す……………二二〇
 - 新民會副會長に張燕卿氏……………二二〇

△人事往來

- 内ヶ崎文部次官天津視察……………二二〇
- 寺内大將天津歸還……………二二〇
- 本庄大將北支へ……………二二〇
- 松岡滿鐵總裁天津着……………二二〇
- 松岡滿鐵總裁外國記者團に説明……………二二〇
- 松岡滿鐵總裁北平へ……………二二〇
- 松岡滿鐵總裁前線慰問終る……………二二〇
- 有志代議士天津着……………二二〇
- ルーデル博士北支を視察……………二二〇
- △雜 事
 - 愛國天津號獻納……………二二〇
 - 淺井敏夫少佐逝去……………二二〇
 - 英國商船で芝罘復活……………二二〇
 - 英船にコレラ發生……………二二〇
 - カトリック教師反共支持放送……………二二〇
 - 外國武官德州視察……………二二〇
 - 歸綏兩城活氣づく……………二二〇
 - 江朝宗氏萬壽山で盛宴……………二二〇
 - 高崇祥君談……………二二〇
 - 國際防共戰線強化を期待……………二二〇
 - 山西省民間錫山を怨嘆……………二二〇
 - 支那村民皇軍に賜物……………二二〇
 - 親日家釋放さる……………二二〇
 - 綏遠親日滿紙發行……………二二〇
 - 石家莊大音樂行進……………二二〇
 - 石家莊に邦字新聞……………二二〇
 - 戰地視察の外國武官談……………二二〇
 - 大同に國婦人會……………二二〇
 - 太原占領日伊防共祝賀會……………二二〇
 - 大名市民日本軍歡迎會……………二二〇
 - 通州遭難同胞百日忌……………二二〇
 - 天津英紙反日虛報……………二二〇
 - 天津中日聯歡迎示威……………二二〇
 - 天津に「慈の家」……………二二〇
 - 德縣回教徒停戰要求……………二二〇
 - 南口南苑に無名勇士の墓……………二二〇
 - 白系騷人團結結成……………二二〇
 - 班禪喇嘛の追悼會……………二二〇

北京社會事業進歩

- 北京社會事業進歩……………二二〇
- 滿支婦人の交際……………二二〇
- 易縣西陵保護……………二二〇
- 外務省文化事業部派遣團……………二二〇
- 各大學管理規定公布……………二二〇
- 孔子誕辰記念式典……………二二〇
- 山西の發疹チブス滅滅工作……………二二〇
- 山西佛教復興の叫び……………二二〇
- 山西文化同盟設立……………二二〇
- 新城博士對支文化運動……………二二〇
- 新城博士「北京人類」發掘地視察……………二二〇
- 新民學院第一期生決定……………二二〇
- 新民學院院長に池氏就任せん……………二二〇
- 順徳の寺院修復……………二二〇
- 石家莊に日本寺院……………二二〇
- 傳研調査班一行北支奥地へ……………二二〇
- 東亞文化振興協議會……………二二〇
- 北支使節渡日……………二二〇
- 日支兒童作品交際……………二二〇
- 日本研究熱益々旺盛……………二二〇
- 北京の古蹟と文化保護……………二二〇
- 北京に日本語塾昂まる……………二二〇
- 蒙疆回教徒大會開催決定……………二二〇
- 文部省北支視察團出發……………二二〇
- 陸軍軍樂隊天津着……………二二〇

【政 治】

- 廈門恐怖政治を現出……………二二〇
- 廣東に各部分局設置……………二二〇
- 共產黨國民黨に提案……………二二〇
- 共產黨新提案を諸黨派支持……………二二〇
- 緊急救済委員會設置……………二二〇
- 國都移轉……………二二〇
- 軍事機關を除き南京遷都決定……………二二〇
- 重慶遷都宣言發表……………二二〇
- 遷都宣言全文……………二二〇
- 孔祥熙備略の遷都辯……………二二〇
- 重慶遷都式計畫……………二二〇
- 首席林森重慶へ……………二二〇
- 官吏三班上流へ……………二二〇
- 實業部經濟委員會長沙に移轉……………二二〇
- 孔財部部長漢口へ……………二二〇
- 外交部漢口移轉……………二二〇
- 各機關漢口移轉終了……………二二〇
- 要人漢口着……………二二〇
- 各要人長沙着……………二二〇
- 王張漢口入り……………二二〇
- 外交部重慶移轉……………二二〇
- 國府更に成都へ遷都か……………二二〇
- 軍法執行分處設置……………二二〇
- 孔を迎へ要人會議開催……………二二〇
- 國民政府の情勢……………二二〇
- 國府内に二潮流對立……………二二〇
- 國民政府の内紛表面化……………二二〇
- 國民大會無期延期……………二二〇
- 國民黨改組……………二二〇
- 最高國務會議議決事項……………二二〇
- 上海告別の辭……………二二〇
- 上海辦事處移轉……………二二〇
- 蔣介石八十節放送……………二二〇
- 蔣最後會議開催……………二二〇
- 蔣上海財界に援助懇請……………二二〇
- 人 事
 - 汪兆銘張群辭表提出……………二二〇
 - 汪張の辭表提出理由……………二二〇
 - 何應欽廣東入り……………二二〇
 - 廣西何應欽の軍權下に……………二二〇
 - 行政院長に孔任命説……………二二〇
 - 吳鐵城轉出説……………二二〇
 - 孔祥熙歸國……………二二〇
 - 孔祥熙新嘉坡上陸……………二二〇
 - 孔祥熙香港へ……………二二〇
 - 孔祥熙香港で協議……………二二〇
 - 孔祥熙上海歸着……………二二〇
 - 孔祥熙南京へ……………二二〇
 - 江蘇浙江主席更迭……………二二〇
 - 國府人事異動……………二二〇

【外 交】

- 國府人事異動理由……………二二〇
- 朱德毛澤東等要職に任命……………二二〇
- 蔣介石……………二二〇
- 蔣介石潜伏説……………二二〇
- 蔣苦境に立つ……………二二〇
- 蔣介石南京滞在……………二二〇
- 蔣南京落ち決意……………二二〇
- 蔣衡山到着……………二二〇
- 蔣下野説擡頭……………二二〇
- 蔣下野説否定……………二二〇
- 宣傳部長更迭……………二二〇
- 宋子文を廣東省主席に任命……………二二〇
- 宋子文亡命準備説……………二二〇
- 宋姉妹香港に到着……………二二〇
- 孫科香港で對策協議……………二二〇
- 孫科香港出發……………二二〇
- 張學良浙江に健在……………二二〇
- 張自忠劉汝明を免職……………二二〇
- 楊虎城南京へ……………二二〇
- 政治と經濟機軸分離の危機……………二二〇
- 浙江省政府移轉……………二二〇
- 汕頭に軍政……………二二〇
- 宋蔣介石と協議……………二二〇
- 地方將領共產黨排除通電……………二二〇
- 南京政府最後の足掻き……………二二〇
- 農産工鑛貿易三委員會設置……………二二〇
- 福建の恐怖政治……………二二〇
- 松井最高指揮官談話反響……………二二〇
- △一 般
 - 英米の干渉を熱望……………二二〇
 - 外蒙自治取消を宣傳……………二二〇
 - 九國條約會議……………二二〇
 - 代表到着……………二二〇
 - 代表部發語……………二二〇
 - 對會議方針……………二二〇
 - 程天放も應援……………二二〇
 - 支那部文書配布……………二二〇
 - 代表部文書配布……………二二〇
 - 米支會談……………二二〇

帝國談話を反駁……………二二九

九國會議の失敗に悲觀色濃厚……………二二〇

△對アメリカ……………二二〇

王大使ル大統領訪問……………二二〇

△對イギリス……………二二〇

郭大使英外相訪問……………二二〇

陳特使英首相訪問……………二二〇

△對イタリヤ……………二二〇

伊滿洲國承認で國府狂亂……………二二〇

伊政府に抗議……………二二〇

伊の滿洲國承認を聯盟へ抗議……………二二〇

駐伊支那大使歸國……………二二〇

△對ソ聯邦……………二二〇

駐ソ支那大使歸國……………二二〇

△對日本……………二二〇

孔祥熙購和條件を聲明……………二二〇

△對北支……………二二〇

北京新政權否認聲明……………二二〇

【國 防】

「支那事變」參照……………二二〇

△一 般……………二二〇

安慶に第二防禦陣構築……………二二〇
慰問義金募集……………二二〇
一般商船廣東航行禁止……………二二〇
各學校を兵營化……………二二〇
廣東省總動員計畫……………二二〇
廣東の抗日運動機烈……………二二〇
漢口日本租界武力回収方針……………二二〇
國府漢口邦人財産使用を命令……………二二〇
軍事防衛中心を四川と廣東に……………二二〇
軍政部毒ガス製造……………二二〇
五大戰區制定……………二二〇
膠州灣封鎖……………二二〇
抗戰動員委員會設置……………二二〇
抗日三段構へに入る……………二二〇
抗日第二段階の體勢整備……………二二〇
國共合作で軍事公路網企圖……………二二〇

國軍編成替へ……………二二〇

支那別動隊遊撃戰術……………二二〇

重慶の防空強化……………二二〇

將校二元下士兵に一元支給……………二二〇

蔣親衛隊を南京市内外に配置……………二二〇

蔣直系軍隊を漢口に集結……………二二〇

蔣の軍隊訓示内容……………二二〇

蔣の遊撃作戰轉向談……………二二〇

全支を三戰區に分つ……………二二〇

張學良ソ聯と聯絡……………二二〇

南京政府大本營に改組……………二二〇

南京防衛司令部設置……………二二〇

南支防備強化……………二二〇

南昌に大本營設置……………二二〇

南昌大本營を強化……………二二〇

武漢に戒嚴令……………二二〇

揚子江烏龍山附近封鎖……………二二〇

揚子江九江に大封鎖……………二二〇

△共 産 軍……………二二〇

共産軍改編……………二二〇

共産黨首腦軍事委員任命……………二二〇

共産軍上海戰線へ……………二二〇
共産黨第四路軍組織……………二二〇
毛澤東ゲリラ戰準備……………二二〇
△空 軍……………二二〇
確山に空軍根據地……………二二〇
空軍に外人飛行士参加……………二二〇
空軍は外人が活殺……………二二〇
飛行士の技術冊劣……………二二〇
△人 事……………二二〇
蔡廷楷上海戦線に……………二二〇
蔡廷楷香港に逃避……………二二〇
朱帥長責任自殺……………二二〇
周恩來山西に去る……………二二〇
宋哲元軍法會議……………二二〇
第七師長曾萬鍾免職……………二二〇
白崇禧暗躍……………二二〇
白崇禧再北上……………二二〇
平望鎮敗將統殺……………二二〇
羅霖師長軍法會議……………二二〇

李宗仁南京到着……………二二〇

△兵器補給……………二二〇

英國優秀機戦線へ……………二二〇

隱密に武器購入……………二二〇

海防より武器輸入旺盛……………二二〇

廣東で飛行機製作……………二二〇

新鋭機二百臺購入……………二二〇

ソ聯重機九臺漢口に到着……………二二〇

孫、宋武器購入に狂奔……………二二〇

對英米武器借款談……………二二〇

香港から廣東へ軍需品輸送……………二二〇

△兵力補給……………二二〇

漢口に女子軍五百名……………二二〇

福建でも新兵募集……………二二〇

募兵状況……………二二〇

【財政・經濟】

△一 般……………二二〇

國共合作に實業界恐怖……………二二〇

上海財界頹冠りで越年……………二二〇

上海市商會對日經濟絶交宣言……………二二〇

浙江財閥巨頭漢口へ……………二二〇

戰時農工商管理條令公布……………二二〇
宋子文香・廣に經濟力扶植暗躍……………二二〇
南支經濟的活動沈衰……………二二〇
中日貿易協會解散……………二二〇
△為 替……………二二〇
上海爲替依然クロスに追隨……………二二〇
上海爲替記録的安値……………二二〇
△金 融……………二二〇
金融機關困憊……………二二〇
上海金融恐慌……………二二〇
政府系銀行南京へ移轉……………二二〇
四銀行南京移轉中止……………二二〇
上海四銀行の移轉先……………二二〇
政府系銀行漢口移轉決定……………二二〇
香港銀行日銀行との取引斷絶……………二二〇
△財 政……………二二〇
印紙稅暫定便法創設……………二二〇

會計年度延長說……………二二〇

廣東省政府の窮乏……………二二〇

救済資金を軍費に充當……………二二〇

國府財政破綻に瀕す……………二二〇

國府募債に苦慮……………二二〇

公債應募額僅か三千萬圓……………二二〇

家賃を救國公債に充當……………二二〇

支那各國への借款額……………二二〇

朱、白私財提供を要望……………二二〇

對日團匪賠償金支拂停止……………二二〇

△産 業……………二二〇

江南農林江西省移住計畫……………二二〇

△通 貨……………二二〇

河北省紙幣の流通禁止……………二二〇

銀保有量半減……………二二〇

支那銀行貸育へ……………二二〇

支那幣制動搖……………二二〇

紙幣發行高急増……………二二〇

南京陥落と支那幣制……………二二〇

△貿 易……………二二〇

上海九月中貿易……………二二〇

全支九月出入船舶……………二二〇
全支貿易輸出増加……………二二〇
全支十月貿易額……………二二〇
全支十一月貿易……………二二〇
香港貿易額……………二二〇
【交 通】……………二二〇
漢口重慶香港間新空路……………二二〇
香港、重慶間定期空路開始……………二二〇
支那船舶の被害高……………二二〇
中航代表マニラへ……………二二〇
モスクワ、漢口間空路短縮……………二二〇
臨洪口假埠頭完成……………二二〇
【社 會】……………二二〇
火災庫機破……………二二〇
官吏庫機を解雇……………二二〇
漢口情勢……………二二〇
邦人權益破壞に着手……………二二〇
漢口恐怖時代……………二二〇

漢口混亂狀況……………二二〇

漢口日本人租界兵營化す……………二二〇

漢口租界に避難民殺到……………二二〇

漢口避難民十萬人に達す……………二二〇

廣東の人心動搖……………二二〇

窮民問題重大化……………二二〇

江蘇浙江兩省情勢……………二二〇

抗日大同盟結成……………二二〇

國慶日の支那側救國運動……………二二〇

山西に於ける共産黨の活躍……………二二〇

支那民衆朝鮮行き希望……………二二〇

上海市……………二二〇

上海抗敵後援會國府に要請……………二二〇

上海市政府減俸令……………二二〇

上海對日絶交委員會規約……………二二〇

上海の双十節デモ……………二二〇

新贛省赤化狀況……………二二〇

人戦派抗日策動……………二二〇

青島市長市民に避難勧告……………二二〇

青島日本人紡績工場を破壊……………二二〇

ソ聯記念日に國府要人祝電……………二二〇
蘇州で舊東北軍叛亂説……………二二〇
宋美齡肋骨挫折……………二二〇
孫文の遺骸始末に悩む……………二二〇
大公報申報上海退却……………二二〇
太原犠牲救國同盟の排日……………二二〇
中華民族革命同盟解散……………二二〇
南京情勢……………二二〇
外人に避難勧告……………二二〇
外人に避難勧告……………二二〇
混亂情況……………二二〇
食料品缺乏……………二二〇
美術品奥地へ搬出……………二二〇
負傷兵で難路……………二二〇
南京主教歐洲教徒に訴ふ……………二二〇
班禪喇嘛病死……………二二〇
米宣教師拉致……………二二〇

香港沖仲仕間に排日.....(一〇六)
民間に和平の聲.....(一〇七)
揚虎城歸國.....(一〇七)
中支情勢

【政治】

嘉定治安維持會成立.....(一〇九)
金山土民の親日感情.....(一一〇)
湖東避難民歸郷.....(一一一)
蘇州自治機關設置近し.....(一一一)
長興民衆軍に頼る.....(一一二)
浦東大道市政府成立.....(一一三)
無錫に治安維持會準備.....(一一四)

【交通】

京滬線一部運轉.....(一一三)
杭滬中線上海、嘉定間復舊.....(一一四)
黃浦江の水路確保.....(一一五)
江南の水路確保.....(一一六)
上海南京間列車運轉開始.....(一一六)
蘇州河啓開成る.....(一一六)
西藏
班禪喇嘛死去.....(一一六)

デンマルク

九國條約會議.....(一二六、一二七)

ドイツ

【政治】
經濟相後任.....(一二七)
シヤハト經濟相辭職問題.....(一二七)
黨副總理メッセーヂ.....(一二七)
ヒットラー總統演說.....(一二七)
リ大使歸國.....(一二七)
【外交】
對獨逸結クレチツト會議.....(一二七)
對政界ノ聯選舉に關心.....(一二七)

獨逸經濟商議開始.....(一二八)
ヒ總統アガ・カン氏會見.....(一二八)
リユクサンブル中立保障.....(一二八)
△植民地要求問題
「イギリス」外交參照

【外交】參照

支那事變獨逸調停問題.....(一二八)
親日態度強化.....(一二八)
△對ハンガリー
獨逸首相伯林演說.....(一二八)
獨逸首相主催晚餐會.....(一二八)
内相主催午餐會.....(一二八)
獨逸主權會談.....(一二八)
洪首相歸國.....(一二八)
△對フランス

【防共問題】

獨逸少數民族協定成立.....(一二九)
△防共問題
獨逸傳相メッセーヂ.....(一二九)
日獨伊防共協定「外交」參照
防共協定祝賀防共週開催.....(一二九)
【防】
ルーデンドルフ將軍逝去.....(一二九)
ルーデンドルフ將軍國葬.....(一二九)
練習艦進水.....(一二九)

【航】

陸上機速度世界記録.....(一二九)
旅客機墜落.....(一二九)
【社】
「國基友の會」發會.....(一二九)
邦氏ベルリン・オペラに出演.....(一二九)
失業者數統計.....(一二九)
政治犯一千名釋放.....(一二九)
ドイツ學生精神作興十談.....(一二九)
日獨文化提携.....(一二九)

獨逸文化映畫協定調印.....(一三〇)
日映畫映寫大會.....(一三〇)
日本語研究熱.....(一三〇)
伯林で日本舞踊紹介.....(一三〇)
伯林で鳩山氏歡迎會.....(一三〇)
元ドイツ共產黨首領移送.....(一三〇)
労働者慰撫策.....(一三〇)

ドミニカ

ドミニカ、ハイチ紛争.....(一三〇)
トルコ
土、友好條約廢棄.....(一三〇)
トルコ・シリア關係好轉.....(一三〇)
トルコ内閣更迭.....(一三〇)

ニカラガ

ニカラガ・ホンチユラス紛争.....(一三〇)
【支那事變】參照
九國條約會議.....(一三〇)
ハイチ
ハイチ、ドミニカ險惡.....(一三〇)
ハンガリー
一九三七年度ノーベル賞受賞者.....(一三〇)
洪首相訪獨.....(一三〇)
洪陸相ローマ訪問.....(一三〇)
獨逸親善.....(一三〇)

パラグワイ

パラグワイ軍隊反亂.....(一三〇)
パレスチナ
アラビア人首魁死刑宣告.....(一三〇)
アラビア人不穩.....(一三〇)
守備隊増援.....(一三〇)
反英運動指導者逃亡.....(一三〇)
パレスチナ不穩.....(一三〇)

日緬通商條約批准.....(一三一)
フィンランド
軍事顧問後任任命.....(一三一)
國語統一.....(一三一)
フィンランド外相獨逸訪問.....(一三一)

フィリッピン

通常議會閉會.....(一三一)
比大統領入院.....(一三一)
比島獨立問題.....(一三一)
獨立延期論.....(一三一)
マニラ自由港問題.....(一三一)

フランス

【政治】
△一 般
右翼共和聯合黨大會.....(一三一)
急進社會黨決議.....(一三一)
縣會議員選舉結果.....(一三一)
△議會
議會再開.....(一三一)
議會再開期日決定.....(一三一)
下院共產黨排撃で混亂.....(一三一)
下院戰爭不擴大決議.....(一三一)
外相外交行脚報告.....(一三一)
官吏増俸案討議.....(一三一)
財政狀態改善.....(一三一)
礦相演說.....(一三一)
秘密武裝團取締法通過.....(一三一)
豫算

海軍豫算

海軍豫算下院通過.....(一三一)
航空豫算下院通過.....(一三一)
明年度豫算下院通過.....(一三一)
陸軍豫算議會通過.....(一三一)

【外交】

△一 般
外相小協商國外交行脚.....(一三一)
佛外相四國行脚の使命.....(一三一)

【政治】
△一 般
右翼共和聯合黨大會.....(一三一)
急進社會黨決議.....(一三一)
縣會議員選舉結果.....(一三一)
△議會
議會再開.....(一三一)
議會再開期日決定.....(一三一)
下院共產黨排撃で混亂.....(一三一)
下院戰爭不擴大決議.....(一三一)
外相外交行脚報告.....(一三一)
官吏増俸案討議.....(一三一)
財政狀態改善.....(一三一)
礦相演說.....(一三一)
秘密武裝團取締法通過.....(一三一)
豫算

海軍豫算

海軍豫算下院通過.....(一三一)
航空豫算下院通過.....(一三一)
明年度豫算下院通過.....(一三一)
陸軍豫算議會通過.....(一三一)

【外交】

△一 般
外相小協商國外交行脚.....(一三一)
佛外相四國行脚の使命.....(一三一)

パリ出發……………(一四九)
 外相明春トルコ訪問……………(一五〇)
 「日獨伊防共協定」參照……………(一五二)
 佛上院議員の防共協定觀……………(一五三)
 △對アメリカ……………(一五三)

「米國和平工作」參照……………(一六〇)
 新駐米大使內定……………(一六三)
 ブルム氏渡米說……………(一六六)
 △對イギリス……………(一六九)
 英との協議說否定……………(一七〇)
 英佛會談……………(一七二)
 英佛空相會談……………(一七三)
 英佛提携工作進む……………(一七四)
 鐵道借款償還……………(一七五)
 佛大使英外相會談……………(一七六)
 △對支那……………(一七六)

「支那事變」參照……………(一七八)
 佛支不可侵條約說否定……………(一八〇)
 △對チエツコ……………(一八二)
 佛外相ブラハ着……………(一八三)
 佛チエニ交離……………(一八四)
 會談コミニケ……………(一八五)
 佛外相歡迎午餐會……………(一八六)
 △對ドイツ……………(一八六)

首相獨佛青年の親善強調……………(一八七)
 駐獨大使歸國……………(一八八)
 ドイツ少數民族問題討論……………(一九〇)
 獨の強硬要求に佛苦慮……………(一九一)
 佛外相獨外相と會見……………(一九二)
 佛前首相獨外相會談……………(一九三)
 佛獨植民地通商交渉……………(一九四)
 △對ポーランド……………(一九四)

佛外相ポーランド首腦と會見……………(一九五)
 アウアス報道……………(一九六)
 各國使臣と交離……………(一九七)
 ソーエルワイン氏報道……………(一九八)
 佛外相談……………(一九九)
 佛波會談の内容……………(二〇〇)
 波政府植民地問題提起か……………(二〇一)
 波政府筋否定……………(二〇二)

佛外相クラコへ……………(二〇三)
 △對ユーゴ……………(二〇三)
 佛外相ベオグラード訪問……………(二〇四)
 佛外相ニ首相懇談……………(二〇五)
 佛ニ會談……………(二〇六)
 コミニケ……………(二〇七)
 佛外相謝辭放送……………(二〇八)
 佛ニ新經濟協定……………(二〇九)
 △對ルーマニア……………(二一〇)
 佛外相アレストへ……………(二一一)
 羅政府反對派歡迎拒否……………(二一二)
 佛羅首腦會談……………(二一三)
 會談コミニケ……………(二一四)
 兩國外相親善強調……………(二一五)
 羅國政黨領袖を招待……………(二一六)

空軍大演習……………(二一七)
 空軍の現状……………(二一八)
 航空相語る……………(二一九)
 國防相軍備充實を強調……………(二二〇)
 植民地防備強化……………(二二一)
 新建艦計畫發表……………(二二二)
 東洋艦隊續々強化……………(二二三)
 佛瑞國境防備計畫……………(二二四)
 鐵相爲管理排擊……………(二二五)
 【財政經濟】……………(二二五)
 絹繭稅引上……………(二二六)
 人絹織物輸入割當増加……………(二二七)
 對英鐵道借款償還……………(二二八)
 對和借款成立……………(二二九)
 佛銀公定歩合引下げ……………(二三〇)
 佛蘭西銀行週報……………(二三一)
 フラン急落……………(二三二)
 フラン強調……………(二三三)
 フラン浮動……………(二三四)
 明年度預算……………(二三五)
 【航 空】……………(二三五)
 コドス機大西洋橫斷飛行……………(二三六)
 ジャツビ機パリ出發……………(二三七)
 水上機長距離記録……………(二三八)

大西洋斷斷飛行を斷念……………(二三九)
 巴里西貢記録飛行計畫……………(二四〇)
 メンチ機出發……………(二四一)
 メンチ機ベヌラ着……………(二四二)

【社 會】……………(二四二)
 陰謀事件……………(二四三)
 外相暗殺陰謀發覺……………(二四四)
 新陰謀發見……………(二四五)
 ソ聯秘密機關活躍……………(二四六)
 武裝團陰謀發覺……………(二四七)
 背後關係摘發……………(二四八)
 首魁逮捕……………(二四九)
 武裝陰謀團全貌……………(二五〇)
 秘密結社隱匿武器發見……………(二五一)
 ゴンクール賞授與……………(二五二)
 カルコ氏ゴンクール會員に……………(二五三)

官吏増俸……………(二五七)
 クロイデル氏和歌講演……………(二五八)
 四十時間労働制緩和……………(二五九)
 親日文豪訪日……………(二六〇)
 ドレ氏決闘問題……………(二六一)
 ノーベル文學賞受賞者決定……………(二六二)
 パリ伯に退去命令……………(二六三)
 パリ萬博閉會……………(二六四)
 パリの總罷業……………(二六五)
 パリ萬國博覽會明春再開……………(二六六)
 フニミナ賞授與……………(二六七)
 フランス社會黨解散か……………(二六八)
 元首相ドイツ訪問……………(二六九)
 佛領モロッコ……………(二七〇)
 佛領モロッコに帝國再興陰謀……………(二七一)

【政 治】……………(二七一)
 ヴアルガス・クーデター……………(二七二)
 ヴアルガス大統領談……………(二七三)
 大統領放逐……………(二七四)
 共産黨強硬派強行……………(二七五)
 クーデター成功……………(二七六)
 軍隊へ布告……………(二七七)

【政 治】……………(二七七)
 ヴアルガス・クーデター……………(二七八)
 ヴアルガス大統領談……………(二七九)
 大統領放逐……………(二八〇)
 共産黨強硬派強行……………(二八一)
 クーデター成功……………(二八二)
 軍隊へ布告……………(二八三)

【政 治】……………(二八三)
 ヴアルガス・クーデター……………(二八四)
 ヴアルガス大統領談……………(二八五)
 大統領放逐……………(二八六)
 共産黨強硬派強行……………(二八七)
 クーデター成功……………(二八八)
 軍隊へ布告……………(二八九)

【政 治】……………(二八九)
 ヴアルガス・クーデター……………(二九〇)
 ヴアルガス大統領談……………(二九一)
 大統領放逐……………(二九二)
 共産黨強硬派強行……………(二九三)
 クーデター成功……………(二九四)
 軍隊へ布告……………(二九五)

國內辭職……………(二九六)
 新憲法發布……………(二九七)
 新憲法國民投票期は不明……………(二九八)
 政府海外拂一時停止……………(二九九)
 内閣總辭職……………(三〇〇)
 ブランドン外相聲明……………(三〇一)
 列國反響……………(三〇二)
 新聞論調……………(三〇三)
 ドイツ歡迎……………(三〇四)
 フランス憂慮……………(三〇五)
 米金融業者の見解……………(三〇六)
 米國務省沈黙……………(三〇七)
 九國會議代表驚く……………(三〇八)
 戒嚴令……………(三〇九)
 舊政黨に解散命令……………(三一〇)
 共產黨撲滅策……………(三一〇)

憲法改正か……………(三一〇)
 在伯邦人副郡長に任命……………(三一〇)
 新移民法公布か……………(三一〇)

【外 交】……………(三一〇)
 「九ヶ國會談」參照……………(三一〇)
 クーデター對日説明内容……………(三一〇)
 伯國外相防共協定不参加言明……………(三一〇)
 經濟……………(三一〇)

外債支拂停止通告……………(三一〇)
 米支拂停止を重視……………(三一〇)
 爲替統制法令發布……………(三一〇)
 爲替公定相場廢止……………(三一〇)
 コーヒー統制放棄新法令成立……………(三一〇)
 對日ロ、ア横出し……………(三一〇)
 日伯商業會議所創立……………(三一〇)
 日滿工業事情講演……………(三一〇)
 輸入稅改正……………(三一〇)
 其他……………(三一〇)

天皇陛下に著書獻上……………(三一〇)
 日伯國際通話簡易化……………(三一〇)

【宮 廷】……………(三一〇)
 國王政界各領袖と協談……………(三一〇)
 白國王倫敦御訪問……………(三一〇)
 白國王御渡英……………(三一〇)

【政 治】……………(三一〇)
 ヴ氏組閣を辭退……………(三一〇)
 ゼ氏下院議員も辭職……………(三一〇)
 ゼ首相辭職決意……………(三一〇)
 ゼ内閣總辭職……………(三一〇)
 白國內閣組織難……………(三一〇)
 白新内閣成立……………(三一〇)
 ビェルロー氏組閣に着手……………(三一〇)

【外 交】……………(三一〇)
 「九國條約會議」……………(三一〇)
 前首相の世界經濟調查報告……………(三一〇)
 白委任統治地返還せず……………(三一〇)
 白政府對英借款に成功……………(三一〇)
 白前首相經濟會議提唱か……………(三一〇)
 白藏相渡英……………(三一〇)

【外 交】……………(三一〇)
 「九國條約會議」……………(三一〇)
 前首相の世界經濟調查報告……………(三一〇)
 白委任統治地返還せず……………(三一〇)
 白政府對英借款に成功……………(三一〇)
 白前首相經濟會議提唱か……………(三一〇)
 白藏相渡英……………(三一〇)

【外 交】……………(三一〇)
 「九國條約會議」……………(三一〇)
 前首相の世界經濟調查報告……………(三一〇)
 白委任統治地返還せず……………(三一〇)
 白政府對英借款に成功……………(三一〇)
 白前首相經濟會議提唱か……………(三一〇)
 白藏相渡英……………(三一〇)

【外 交】……………(三一〇)
 「九國條約會議」……………(三一〇)
 前首相の世界經濟調查報告……………(三一〇)
 白委任統治地返還せず……………(三一〇)
 白政府對英借款に成功……………(三一〇)
 白前首相經濟會議提唱か……………(三一〇)
 白藏相渡英……………(三一〇)

【外 交】……………(三一〇)
 「九國條約會議」……………(三一〇)
 前首相の世界經濟調查報告……………(三一〇)
 白委任統治地返還せず……………(三一〇)
 白政府對英借款に成功……………(三一〇)
 白前首相經濟會議提唱か……………(三一〇)
 白藏相渡英……………(三一〇)

【外 交】……………(三一〇)
 「九國條約會議」……………(三一〇)
 前首相の世界經濟調查報告……………(三一〇)
 白委任統治地返還せず……………(三一〇)
 白政府對英借款に成功……………(三一〇)
 白前首相經濟會議提唱か……………(三一〇)
 白藏相渡英……………(三一〇)

波佛外相來訪歡迎……………二六七
波蘭銀行利下げ……………二六三
波蘭空軍司令獨訪問……………二六一
波蘭もフランコ政權承認……………二五五

ポルトガル

九國條約會議……………二六二
日獨伊防共協定……………二六二

滿洲國

【宮廷】
皇帝陛下西陵保護に御感謝……………二六八
德王一行皇帝陛下に拜謁……………二六九
日滿將士に御慶賀……………二六八
溥傑上尉婚禮披露……………二七〇
浩夫人新京へ……………二七〇
羅馬教皇國務卿等に叙勳……………二六八
【政治】
國家總動員法制定……………二六二
資源調査法決定……………二六八
人事異動……………二六八
間島省長任命……………二六九
參議其他更迭……………二七〇
下村氏哈市特派員に任命……………二七〇
孫民政部大臣渡日……………二七〇
治外法權撤廢關係法規決定……………二七〇
治水事業開始……………二六八
張總理大臣歸任……………二六九
平井出交通部次長歸滿……………二六九
北鐵讓渡物資拂付……………二六九
滿洲移民協議會……………二七〇

滿伊公使交換……………二六九
伊太利代表入京……………二六九
交還準備……………二六九
駐滿イタリヤ公使任命……………二六九
張總理アグレマン奏請……………二六九
アグレマン手交……………二六九
兩國駐日大使交還……………二六九
近衛首相以下に謝電……………二七〇

△對ソ聯邦
ソ滿船舶扣留問題解決……………二七〇
半島同胞虐殺事件對策……………二七〇
フランコ政權承認……………二六九
國務院會議承認決定……………二六九
滿西兩國相互承認交換公文……………二七〇

△對ドイツ
張國務總理聲明……………二六九
大橋外務局長官談……………二六九
阮大使ステートメント……………二六九
感謝電報交還……………二六九
近衛首相以下に謝電……………二六九

△對日本
中銀對獨クレヂット設定……………二六八
滿獨物資クレヂット設定……………二六八
治外法權撤廢……………二六九
歷史的調印了る……………二六九
條約正文……………二六九
滿洲國政府聲明……………二六九
國務總理謝電……………二六九
張國務總理答禮訪日……………二七〇
張國務總理に御陪食……………二七〇

△對イタリヤ
伊國滿洲國承認宣言……………二六九
承認經緯……………二六九
伊外相の祝辭……………二六九
伊太利領事談……………二六九
日本外務省發表……………二六九
滿洲國總理聲明……………二六九
海外反響……………二六九

△其 他
英米の爲替管理抗議一號……………二六九
冀東駐劄代表赴任……………二六九
サント・ドミンゴ承認か……………二六九

△防
中國臨時政府に期待……………二七〇
蒙古政權代表滿洲國訪問……………二七〇
德王一行植田司令官訪問……………二七〇
一行奉天着……………二七〇

△一 般
奉天に鐵道警備隊設置……………二七〇
滿洲國軍北支に活躍……………二七〇
滿洲防空協會寄附金……………二七〇
匪賊討伐……………二七〇
寬甸縣匪賊討伐……………二七〇
共匪わが移民を襲ふ……………二七〇
三江省肅清進捗……………二七〇
朝鮮南方匪賊討伐……………二七〇
堂垂中尉戰死……………二七〇
賓江省匪賊討伐……………二七〇
奉天省匪團殲滅……………二七〇
北滿匪賊討伐狀況……………二七〇
木蘭縣匪賊討伐……………二七〇
松本部隊討匪戰死者……………二七〇

△財政經濟
産業一般
産業五ヶ年計畫再編成……………二七〇
十一年度國際收支受取勘定……………二七〇
滿鐵來年度簿算内容……………二七〇
改正爲替管理法公布……………二七〇
資源調査法公布……………二七〇
商工會法制定……………二七〇
重工業會社管理法公布……………二七〇
重工業會社管理法要旨……………二七〇
從軍者減免稅令公布……………二七〇
新關稅法公布……………二七〇
新關稅法細目……………二七〇
貿易統制法制定……………二七〇
當局談……………二七〇
貿易統制法要綱……………二七〇
△財 政
公債發行限度五億圓に……………二七〇

△商 業
國庫歲入増加……………二七〇
事業公債八千萬圓發行……………二七〇
積極財政方針採用……………二七〇
第三次公債發行……………二七〇
滿洲國酒類專賣制度制定……………二七〇
明年度豫算編成要綱……………二七〇
明年度豫算決定……………二七〇
割増金附貯蓄債券發行……………二七〇
滿洲中銀改組……………二七〇
滿洲國損害保險會社創立……………二七〇
滿洲不動產株式近く成立……………二七〇
滿洲國石油倍額増資……………二七〇
滿洲油化工業改組増資……………二七〇
△工 業
康德毛織會社設立……………二七〇
東洋航空工業會社設置案……………二七〇
バルブ各社明春操業開始……………二七〇
滿洲重工會社設立……………二七〇
對滿事務局發表……………二七〇
設立要綱(日産發表)……………二七〇
松岡滿鐵總裁談……………二七〇
滿洲國の方針……………二七〇
新會社總裁粘川氏に内定……………二七〇
事業資金獲得方針……………二七〇
滿鐵系肩替會社……………二七〇
滿洲重工會社設立準備……………二七〇
小日山製綱社長協議……………二七〇
粘川日産社長來滿……………二七〇
重工會社社重役決定……………二七〇
東邊道鐵礦資源評價解決……………二七〇
重工業初總會日取決定……………二七〇
日産最終總會……………二七〇
滿洲紡績操短不可避……………二七〇
滿洲絹業増資募決定……………二七〇
滿洲絹業聯合會結成……………二七〇
滿洲油化工業會社設立……………二七〇
滿鐵今後の使命……………二七〇
松岡總裁上京……………二七〇

△鑛 業
黑河上流に金鑛發見……………二七〇
國立金鑛精練所事業開始……………二七〇
産金計畫倍加……………二七〇
産金助成金交付……………二七〇
通化製鐵所増額案……………二七〇
東邊道有望……………二七〇
東邊道に新鐵鑛發見……………二七〇
滿鐵増産五ヶ年計畫決定……………二七〇
△農 林
農産物第二次收穫豫想……………二七〇
第三回全滿農作物豫想……………二七〇
棉花統制法施行對策……………二七〇
△貿 易
八月中對外貿易概況……………二七〇
九月中對外貿易……………二七〇
十月中對外貿易……………二七〇
十一月貿易……………二七〇
對獨大豆輸出額……………二七〇
獨逸染料進出活況……………二七〇
ドイツの豆油買付……………二七〇
米印棉に代へ北支棉買入……………二七〇
△鐵 道
虎林線營業開始……………二七〇
國線の躍進的増收……………二七〇
東方旅行社改組……………二七〇
日滿直通小口貨物運賃制度……………二七〇
滿支間鐵道運賃に銀一制……………二七〇
滿支間旅客列車増設……………二七〇
滿洲移民の客貨割引……………二七〇
滿鐵車輛讓受……………二七〇
滿鐵鐵道ブロック結成へ……………二七〇
滿鐵奉天鐵路局開設……………二七〇
滿鐵行運轉手募集……………二七〇
△其 他
河川改修に權威者招聘……………二七〇
航空國策の飛躍……………二七〇
滿洲國船舶法規制定……………二七〇
【教育文化】

國際寫眞新聞

本社の世界「ニュース」網から集る内外寫眞を中心とした寫眞畫報。毎月二回發行。全アト菊倍判五十二頁。一部金五拾錢。一ヶ年金九圓。

經濟小冊子

毎年四、五回發行する世界經濟問題の解説。四六版八十頁内外。定價金五拾錢。最新刊「大英帝國の經濟」「世界は何處へ」「金の悲喜劇」「支那通貨の運命」

同盟パンフレット

時事問題解説書。四六版七、八十頁内外。隨時發行定價金貳拾錢。最新刊「増稅稅整は國民にどう響くか」「世相から見た新時代のソ聯邦」

ジヤパン・ガイド

日本商品を全世界で紹介する目的で發行する英文貿易年鑑我生産品數百を網羅して解説す。四六倍判八百頁定價金貳拾五圓。

國際經濟週報

本社に入電した外電、國內經濟「ニュース」を編輯し、之に時事關係記事を盛つた週刊經濟雜誌。毎週木曜日發行。一部金貳拾五錢。一ヶ年金拾貳圓五拾錢。

新聞寫眞年鑑

(ジヤパン・フォト・アルマナック)全國各新聞社寫眞班の手になるニュース寫眞中心の寫眞年鑑。毎年一回十一月發行。菊倍判總アト二百頁。定價金五圓。

人絹年鑑

レイヨン、ステーション・ファイバ、バルンに關する綜合辭典で企業家は素より全商業家の好伴侶を以て任ずる。毎年一回四月發行。菊判千五百餘頁總布表紙。定價金五圓。

◎御申込は振替口座東京八五〇〇〇番又は本社各地支社局御利用を!

◎合本お知らせ

社団法人「同盟通信社」の名によつて蒐集された「ニュース」の整理綜合編纂以上の目的をもつて「同盟旬報」を發刊してから滿六ヶ月、この事業たるや極めて特殊なものであるにも拘らず、各方面から意想外の御好評を賜つてゐることを感謝します。

「同盟旬報」は三ヶ月毎に索引を附して、その使命を完うする方針でありまして、十四號末に「自第一卷第一號至第一卷第十號」の索引を附しました。

然して「同盟旬報」には昭和十二年六月一日以降即ち近衛内閣成立以降の記事を蒐録したのであります。が、はからずも日支事變が勃發して精細なる事變記録となり、讀者諸氏の中には創刊以降の送本を希望せられる方が多いので、今回索引作製を機會に二百部限り自第一卷第一號至第一卷第十號の合本を調製しました。

御希望の方は直接本社「出版部宛」御申込下さい。

同盟旬報

自第一卷第一號至第一卷第十號

クロス表紙金字入

索引附合本

定價一部金三圓五十錢

送料

市内 六錢
地方 二十二錢
植民地 六十二錢

東京市橋區銀座八丁目九番地

同盟通信社出版部

電話用專座銀一四四三

（用經編報初盟同）
（用經編報初盟同）
（用經編報初盟同）

振替口座東京八五〇〇〇番

新 刊 發 賣

昭和十三年版

時 事 年 鑑

同盟に繼承 面目一新!!

政治、經濟、外交、軍事、勞働、統計
人名、教育、工業、演藝等の諸年鑑が
打つて一九二四年となつてゐる綜合年鑑。

- ◇四六倍判 八四〇頁
- ◇クローヌ裝上製函入
- ◇定價貳圓五拾錢 送料卅三錢

昭和十三年版

新 聞 寫 真 年 鑑

內容精選 體裁完備!!

本年鑑に收載せる寫真は昭和十二年
度に於て、全國各新聞社の寫真班員
が撮影せるもの、中より最も優秀な
るものを選択した寫真記錄。

- ◇菊倍判 二百數十頁
- ◇總アートの布上製
- ◇定價五圓 送料卅三錢

同盟經濟冊子

支 那 通 貨 運 命

時代の要求 萬人必讀!!

支那通貨は何故複雑か、元以前の通
貨問題、元の確立と新たな危機、幣
制改革の斷行、新幣制の舞臺裏、新
しき支那の誕生、事變勃發す、支那
幣制は何處へ行く。

- ◇四六版 一四五頁
- ◇定價五拾錢 送料六錢

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京市京橋區銀座西七丁目一番地

社 同 盟 通 信 社

電話銀座代表番號(57)二二二番(5)
振替貯金口座東京八五〇〇〇番

東京市京橋區銀座西八丁目九番地

同 盟 通 信 社 出 版 部

專 用 電 話 銀 座 番 〇〇〇五八京東座口替振

一四四三
三八九二
五七九三
一〇六一
一〇六一
（新刊週
或同報
業同報
業同報
用編編
用編編
用編編）